SH-01C

ISSUE DATE: '10.11

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書〈詳細版〉

NTT docomo

docomo PRIME series

ドコモ　W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式

このたびは、「docomo PRIME series SH-01C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

SH-01Cは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ、伝言メモ、音声メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、
  GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、
  セコムトラストシステムズ株式会社、
  株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.、Go Daddy, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.

本書のご使用にあたって

本FOMA端末は、きせかえツール（☞P.114）に対応しております。きせかえツールを利用してノーマルメニュー画像を変更した場合、メニューの操作履歴に従ってノーマルメニューの項目が変わるものがあります。また、機能番号を入力しても項目を選択できないものがあります。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかたについて

本書では、FOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- ディスプレイに表示されるアイコンや画面は、本体色に合わせて初期設定されています（きせかえツール☞P.114）。本体色ごとのお買い上げ時の設定内容は、P.492「メニュー一覧」を参照してください。本書では、主にきせかえツールの設定が本体色「Black」の場合で説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

本書の引きかたについて

次のような方法で、説明ページを探すことができます。

索引から（☞P.566）	機能名・サービス名で探します。
かんたん検索から（☞P.4）	よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。
表紙インデックスから（☞表紙）	表紙のインデックスを使用して、本書をめくりながら探します。

（詳しくは次ページ）

目次から	☞P.6
主な機能から	☞P.8
メニュー一覧から	☞P.492

- この『SH-01C取扱説明書詳細版』の本文中においては、「SH-01C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- FOMAカード（緑色・白色）をご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。
- 本書ではmicroSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要となります。microSDカードについては☞P.365
- 本書ではmicroSDカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書では「ＩＣカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を、「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

ボタン表記と操作手順

- 本書ではボタンの表記を簡略したデザインで表記しております。

実際のボタン	本書での表記
1	1（P.30「各部の名称と機能」を参照してください）

- 操作手順の表記と意味は次のとおりです。

表　記	意　味
ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]	ノーマルメニューで⊗で[本体設定]にカーソルを合わせて⦿を押す→⊗で[画面・ディスプレイ]にカーソルを合わせて⦿を押す

・本書では、項目を選択／入力して⦿を押す操作については、最後に⦿を押す操作を省略して記載しています。

- 本書では、ボタンでもタッチパネルでも操作できる場合はボタン操作を優先して記載しています。タッチパネルの主な操作方法については、P.46「タッチパネルの操作」を参照してください。

- お買い上げ時の設定については☞P.492

ディスプレイの表示について

- 本書では、お買い上げ時の状態をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更などによっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。
- Flash画像やアニメーション効果を持つアイコンなどが表示されている場合には、ディスプレイの表示が本書の表記とは異なる場合があります。

索引、かんたん検索、表紙インデックスからの引きかたは、アラーム機能を例に説明します。
- 本文中のページとは内容が異なります。

索引から☞P.566

ディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能の名称やサービスの名称がわかっている場合はここから探します。

アラーム
1 06:55 スヌーズ 5分
2 --:--
3 --:--
4 --:--
5 --:--
6 --:--
7 --:--

かんたん検索から☞P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

こんなこともできます

P.412
「アラーム」
の説明ページへ

表紙インデックスから☞表紙

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に知りたい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。

おサイフケータイ／トルカ
地図・GPS機能
データ管理
便利な機能
文字入力
ネットワークサービス
海外利用

機能名称
索引には、この名称を記載しています。

各機能の概要や補足事項などを記載しています。

操作を順番に説明しています。

操作に関する補足事項、注意事項やアドバイスを記載しています。
選択する項目によって操作が異なるときは、「◆」で分けて各操作を説明しています。

インデックスから章ごとに検索できます。

各機能を利用する場合に必要な内容、注意事項や参考となる内容を記載しています。

ページ

画面表示について、説明を記載しています。お使いのFOMA端末と照らし合わせてご覧ください（数値や設定、任意に入力する文字などはすべて一例です）。

アラーム

指定した時刻にアラームで知らせる

指定した時刻・曜日に、アラーム音やランプ、バイブレータでお知らせしたり、ワンセグを起動することができます。

- あらかじめ、次の操作を行ってください。
  - ■ 日付時刻設定（☞P.61）
  - ■ チャンネル設定（☞P.250）
  - ■ はじめてワンセグを利用するときに表示される免責事項の確認（☞P.248）
- アラームは9件まで登録できます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[アラーム]
- 待受画面の待受時計をタッチしても起動できます。

2 登録する番号を選ぶ

3 各項目を設定▶📷
- 項目の切替：
- ワンセグ設定でワンセグ利用欄を[する]に設定している場合、連絡先設定はできません。
- 連絡先設定で連絡先欄を[あり]に設定している場合、ワンセグ設定はできません。
- メッセージは全角30文字（半角60文字）まで入力できます。

- 複数のアラームを同じ時刻に設定したときは、次の優先順位で動作します。

	優先順位（高→低）
アラーム機能	アラーム→スケジュール→視聴予約

便利な機能

アラーム設定内容画面の見かた

1 アラーム設定中　2 繰り返し
3 設定時刻　4 スヌーズ設定

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。ワンセグ利用を[する]に設定している場合は、ワンセグが起動します。
- FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに[アラーム鳴動中]と表示されます。
- 登録されている連絡先に電話をかける：▶[はい]▶電話をかける
  - 連絡先には電話番号または名前（電話帳に登録されているとき）が表示されます。名前が表示されているときは、[はい]を選択すると電話帳内容表示画面（☞P.96）が表示されます。
- 1分が経過すると、アラームが止まります。スヌーズを設定しているとスヌーズが動作します。

アラーム鳴動中のボタン操作

アラーム停止（スヌーズは動作）	MENU、📷、✉、i、●、…、1～9、*、0、#、…
アラーム停止（スヌーズ解除）	

- FOMA端末を閉じているときまたはビューアポジションのときは、Dを押すとアラームが停止します（スヌーズは動作）。
- モーションサイレント（☞P.105）でアラームを止めることもできます（スヌーズは動作）。

- 次の場合は、設定時刻になってもアラームが動作しません。通信・操作を終了したあとにアラームが動作します。
  - ■ 電話の発着信中、呼出中、切断中　■ 64Kデータ通信の発着信中
  - ■ データ転送モード中　■ 赤外線リモコン使用中

412

- 本文中のページとは内容が異なります。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

ワンセグを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

こんなこともできます

※1 有料サービスです。
※2 お申し込みが必要な有料サービスです。

目次

かんたん検索／目次／注意事項

SH-01Cの主な機能

iコンシェル ☞P.211

待受画面上のキャラクタ（マチキャラ）が役立つ情報（インフォメーション）を教えてくれるサービスです。FOMA端末でメモやスケジュールを作ったり、トルカを取得したり、サイトからiスケジュールをダウンロードすることにより便利にご利用いただけるサービスです。
FOMA端末に保存されたメモやスケジュール、ToDoに対して、関連する情報をお伝えしたり、スケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店や会社の住所情報などを自動で追加したりできます。

使いかたガイド ☞P.51

使いたい機能の操作方法をFOMA端末で確認できる便利な機能です。手元に取扱説明書がなくても、すぐに調べられます。キーワードを入力したり、機能一覧から検索することにより、機能の説明や操作方法を確認することができ、さらにその機能を起動することもできます。

オートGPS ☞P.333

オートGPS機能により、お客様の居場所付近の天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせする便利なサービスをご利用いただけます。
また、お客様の居場所や移動した距離などを利用するゲームもご利用いただけます。

音声クイック起動 ☞P.50

利用したい機能を話しかけるだけで、機能を起動させることができます。使いたい機能がメニューのどこにあるのかわからないときや、すぐに起動させたいときに便利です。

国際ローミング ☞P.468

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3G・GSMエリアに対応）。
また、海外でも3G・GPRSエリアにいるときはGPS機能を利用して現在地を確認したり、対応iアプリを利用することができます。

Wi-Fi ☞P.484

ご家庭のアクセスポイントや公衆無線LANサービスなどに接続したり、FOMA端末をアクセスポイント（親機）にしてWi-Fi対応機器を接続したりできます。

DLNA ☞P.488

パソコンやテレビなどのDLNA対応機器とFOMA端末を家庭内でWi-Fi接続して、保存されている画像や動画、音楽データを共有できます。

高機能カメラ ☞P.216

有効画素数約1410万画素（記録画素数：約1400万画素）の高機能カメラを搭載しています。
人物や犬、猫の顔を検出できる顔認識フォーカスに対応しています。
オススメフォトやベストセレクトフォトなど、連写カメラを利用してお好みの写真を選んで保存することができます。
また、エフェクトカメラを利用すると、さまざまな効果を付けて撮影することができます。

■ 防水／防塵性能☞P.22

外部接続端子カバー、HDMI端子カバーをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5（旧JIS保護等級５）、IPX7（旧JIS保護等級７）の防水性能およびIP5X（JIS保護等級５）の防塵性能を有しています。雨の中や風呂場、プールサイドなどで通話やワンセグ視聴ができます。また、FOMA端末に付着した汚れを、水道水で洗い流すことができます。

■ 3.4型FWVGA液晶＆タッチパネル☞P.46

タッチパネル（ディスプレイ）を直接指で触り、操作を行うことができます。タッチ操作によるメニュー選択や文字入力、スライド操作による音量調節や画面スクロールなどが利用できます。

■ ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ☞P.240

カメラを使って漢字や英単語を読み取り、読みかたや意味をディスプレイに表示します。読み取った文字を辞書で検索することもできます。

■ ゴルフスイングビデオカメラ☞P.246

撮影した映像を２画面で同時再生して、ゴルフスイングのチェックができます。

■ HDMI接続☞P.398

FOMA端末とHDMI端子付きテレビを接続すると、撮影した静止画や動画などをテレビに表示することができます。

■ 手書きメモ☞P.405

タッチパネルで、手書きの絵や文字が入ったメモやGIFアニメーションを作成できます。また、道路や線路のペンを選んで地図を作成することもできます。

■ テレビ電話☞P.64

■ ｉモード／デコメール®／デコメ絵文字®／かんたんデコメ☞P.143、P.147、P.178、P.446

■ ｉアプリ／メガｉアプリ／直感ゲーム☞P.284、P.290

■ 高速通信対応☞P.478

■ 着うたフル®／うた・ホーダイ／Music&Videoチャネル☞P.266、P.272、P.279

● 「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■ ミュージックプレーヤー☞P.272

■ GPS機能☞P.324

■ おサイフケータイ／トルカ☞P.312、P.316

■ きせかえツール☞P.114

■ 各種ネットワークサービス☞P.454

■ あんしん設定☞P.122

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
  また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末・電池パック・アダプタ・卓上ホルダ・ドコモUIMカードの取り扱いについて(共通)

⚠危険

禁止
高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止
分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止
水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能については下記をご参照ください。
☞P.22「防水/防塵性能」

指示
FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止
強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止
充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止
使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示
ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください(ＩＣカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)。

指示
使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
- FOMA端末の電源を切る。
- 電池パックをFOMA端末から取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止
ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止
湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

次ページへ続く▸▸

指示
乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示
FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止
赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

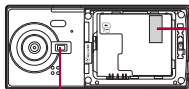
禁止
赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止
ピクチャーライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
注意事項：
当製品に使用されているピクチャーライト光源LEDは、指定されていない調整などの操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。

EN60825-1:1994 A1:2002 & A2:2001

クラス 1 LED製品

CAUTION-CLASS 2
LED RADIATION WHEN
OPEN DO NOT STARE
INTO THE BEAM

ピクチャーライト

禁止
FOMA端末内のドコモUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止
自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示
航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示
ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

Earphone Signal Level
The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 28.0 mV.

指示
心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーショントラッキングやモーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶など内部の物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液晶など内部の物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について☞P.16「材質一覧」

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタ・卓上ホルダの取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ：AC100V

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

アダプタをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示 **医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。**

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示 **満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。**

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。**

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。**

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
FOMA端末の表面	ディスプレイ面の側面、左側、右側、ボタン面の周囲、ヒンジ部表側	ガラス入りポリアミド樹脂／UV塗装
	ディスプレイ面、ディスプレイ面の裏側	アクリル樹脂／ハードコート
	ボタン面	UV硬化樹脂
	ヒンジ部、ヒンジ部裏側	ABS樹脂／UV塗装
	ヒンジ部ネジ	SWCH／ニッケルメッキ
カメラパネル（飾りを含む）		アクリル樹脂／ハードコート
カメラ窓		アクリル樹脂／ハードコート
リアカバー	リアカバー	ガラス入りポリアミド樹脂／UV塗装
	レバー	POM樹脂
	パッキン	EPDM／シリコン皮膜処理
	無線対策シール	IFL12（磁性粉＋ウレタン樹脂）／PET
ピクチャーライト		PC樹脂
当たりカバー	ディスプレイ面、ボタン面	ポリウレタン
操作ボタン（飾りを含む）		UV硬化樹脂
操作ボタンベースシート		UV硬化樹脂

使用箇所		材質／表面処理
サイドボタン		アルミニウム／アルマイト
ワンセグアンテナ	ワンセグアンテナ	SUS／焼付け塗装
	金属部分	SUS／ニッケルメッキ、3価クロムメッキ
外部接続端子	外部接続端子	SUS／ニッケルメッキ
	カバー	PC樹脂／UV塗装
	パッキン	EPDM／シリコン皮膜処理
HDMI端子	HDMI端子	SUS／ニッケルメッキ
	カバー	PC樹脂／UV塗装
	パッキン	EPDM／シリコン皮膜処理
赤外線ポート		ABS樹脂
充電端子		SUS／金メッキ
microSDカードスロット内部		SUS／ニッケルメッキ
ドコモUIMカードトレイ		POM樹脂
電池収納面		PET ガラスエポキシ基板
電池収納部	電池収納部周囲	ガラス入りポリアミド樹脂
	ネジ	SUS／パシベート処理

使用箇所		材質／表面処理
電池端子	電池端子コネクタ本体	LCP
	電池端子	銅合金／金メッキ
電池パック	電池パック本体	PC樹脂／放電加工
	端子部	銅合金／全面ニッケル下地メッキ、金メッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **SH-01Cは防水／防塵性能を有しておりますが、FOMA端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

次ページへ続く

- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- 電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
  タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
  温度は５℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
  故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子カバー、HDMI端子カバーをはめた状態でご使用ください。
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
  故障、破損、誤動作の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - ■ 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - ■ 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本、または残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - ■ 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のＩＣカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- ＩＣ部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ＩＣを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

次ページへ続く

● Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 周波数帯について
FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① ② ③
2.4FH1
④

① 2.4：2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ▬▬▬：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

● Bluetooth機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

● 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について
WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

① ② ③ ④
2.4DS/OF4
⑤

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ▬▬▬：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
フランスなど、一部の国／地域では、Wi-Fiの使用が制限されます。海外で利用するときは、その国／地域の法規制など条件をご確認ください。

- 2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCaリーダー／ライターについて

- FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク 〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。
- FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末のFeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

防水／防塵性能

SH-01Cは、外部接続端子カバー、HDMI端子カバーをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5（旧JIS保護等級５）※1、IPX7（旧JIS保護等級７）※2の防水性能、IP5X（JIS保護等級５）※3の防塵性能を有しています。

※１ IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約３mの距離から12.5リットル/分の水を最低３分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※２ IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深１mのところにSH-01Cを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※３ IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を８時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

SH-01Cが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます（１時間の雨量が20mm程度）。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流（６リットル/分以下、常温（５℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。リアカバーを取り付けてロックした状態で、外部接続端子カバー、HDMI端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください（☞P.26）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けないでください。
- 風呂場で使用できます。ただし、湯船には浸けないでください。

ご利用にあたって

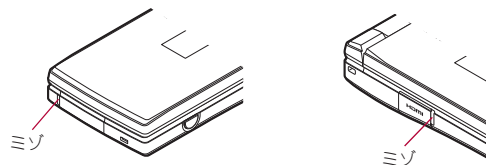
防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

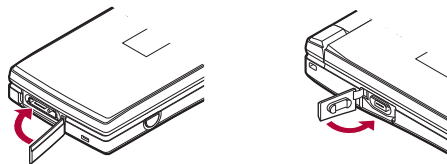
- 外部接続端子カバー、HDMI端子カバー、リアカバーをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- 外部接続端子カバーやHDMI端子カバー、リアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- リアカバーのレバーがLOCK位置にあることを確認してから使用してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、外部接続端子カバー、HDMI端子カバー、リアカバーはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。

■ 外部接続端子カバー、HDMI端子カバーの開きかた

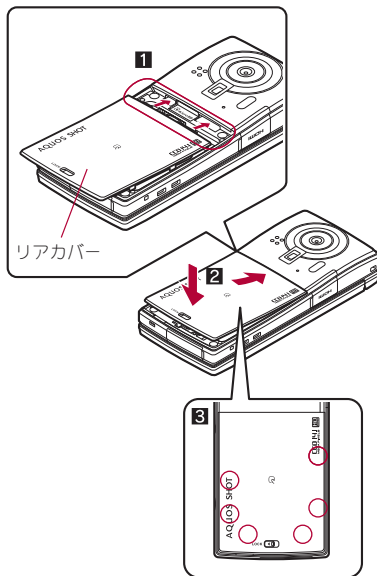
ミゾに指をかけて、開けてください。

ミゾ

ミゾ

■ 外部接続端子カバー、HDMI端子カバーの閉じかた

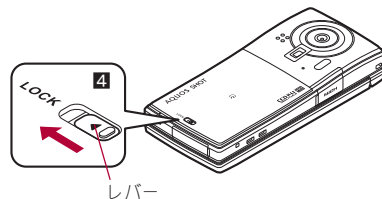
FOMA端末と外部接続端子カバー、HDMI端子カバーにすき間が生じないように、矢印の方向にしっかりと押して閉じてください。

■ リアカバーの取り付けかた

1 リアカバーの先のツメをFOMA端末のミゾに差し込み(1)、矢印の方向(2)に取り付け、両手でしっかりと押す(3)

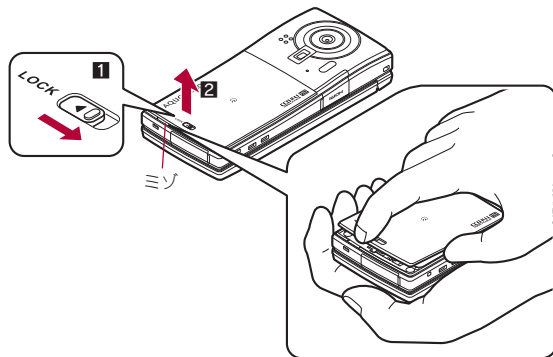
- リアカバーの裏側にも、6箇所に取り付け用のツメが付いています。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように、ツメの位置を上から両手でしっかりと押して取り付けてください。

リアカバー

ツメの位置を上から両手でしっかりと押す

2 リアカバーのレバーを矢印の方向(4)にスライドさせてロックする

レバー

■ リアカバーの取り外しかた

1 リアカバーのレバーを矢印の方向(1)にスライドさせてロックを外し、リアカバーを取り外す(2)

- FOMA端末には、リアカバー取り外し用のミゾが付いています。リアカバーに無理な力を加えないよう、図のようにFOMA端末をしっかりと持ち、ミゾに爪などをかけて上方向に取り外してください。

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

注意事項

- 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子カバー、HDMI端子カバーの開閉はしないでください。
- リアカバーは確実にロックし、外部接続端子カバー、HDMI端子カバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など)が挟まると、水や粉塵が浸入する原因となります。
- 外部接続端子カバーまたはHDMI端子カバー、リアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子カバー、HDMI端子カバー、リアカバーのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  外部接続端子カバー、HDMI端子カバー、リアカバーのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- 外部接続端子カバーやHDMI端子カバー、リアカバーのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉塵が浸入する原因となります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 水中でFOMA端末を使用(開閉、ボタン操作を含む)しないでください。故障の原因となります。
- 規定(☞P.22)以上の強い水流(6リットル/分を超える)を直接当てないでください。SH-01CはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温(5℃～35℃)の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへはFOMA端末が常温になってから持ち込んでください。

- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間使用しないでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- FOMA端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口、受話口、スピーカに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。付属の卓上ホルダにFOMA端末を差し込んだ状態の場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

せっけん／洗剤／入浴剤　海水　プール

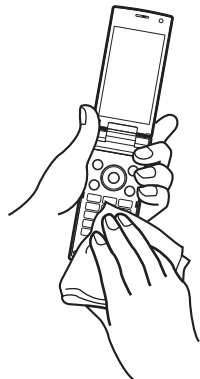
温泉　砂／泥

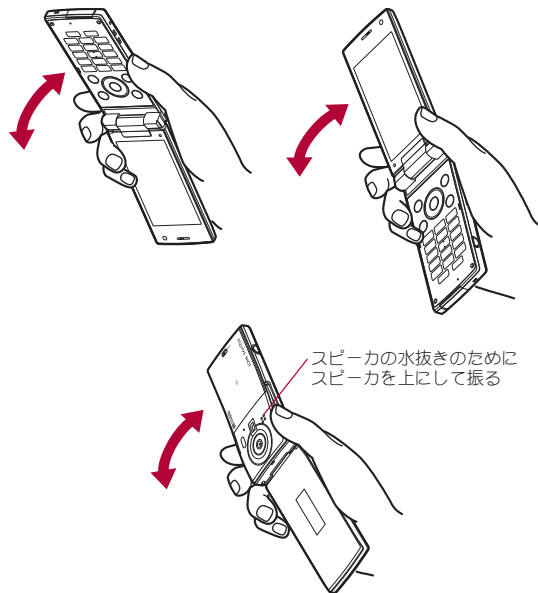
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

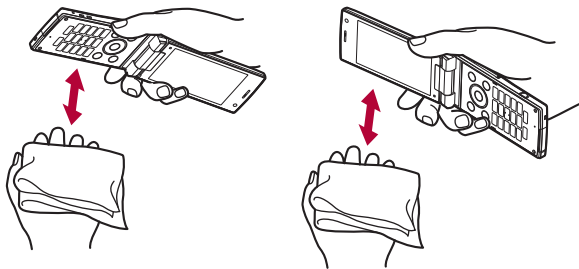
水に濡れたときの水抜きについて

FOMA端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

1 FOMA端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

- ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

2 FOMA端末のヒンジ部をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

スピーカの水抜きのためにスピーカを上にして振る

3 送話口、受話口、スピーカ、ボタン、ヒンジ部などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出してください。

4 FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

充電のときには

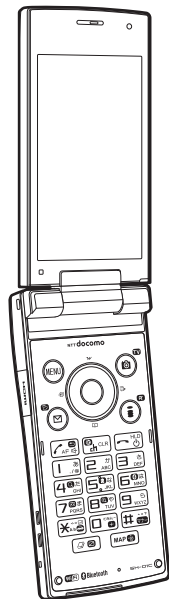
付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

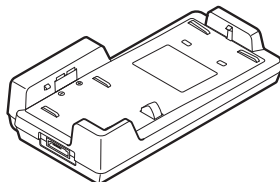
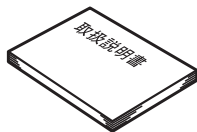
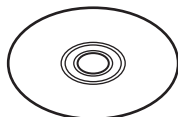
- FOMA端末が濡れていないか確認してください。濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の浸入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。

- FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

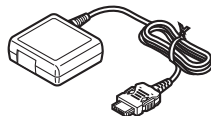
本体付属品および主なオプション品

■ 本体付属品

SH-01C本体
（保証書・リアカバー SH44含む）

電池パック SH23

卓上ホルダ SH34

取扱説明書

SH-01C用CD-ROM

● PDF版「パソコン接続マニュアル」、「区点コード一覧」を収録しています。

■ 主なオプション品

FOMA ACアダプタ01／02
（保証書・取扱説明書付き）

その他のオプション品については
☞P.524

ご使用前の確認

各部の名称と機能

- 本書で記載しているボタンは、実際のデザインとは異なります。

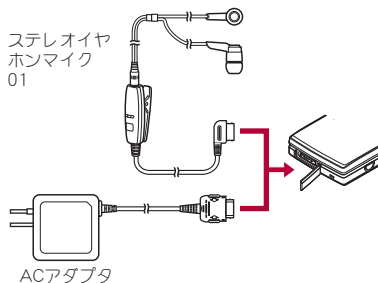
イヤホンのご利用について

別売りの外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。
なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売りの変換アダプタを接続してご利用ください。

外部接続端子用ステレオイヤホンマイク01(別売)接続例

ACアダプタ(充電)およびステレオイヤホンマイク 01(イヤホンマイク端子)の差込口が共通になっております。

ステレオイヤホンマイク01

ACアダプタ

1 受話口
- 相手の声がここから聞こえます。
- 伝言メモや音声メモの再生内容がここから聞こえます。

2 メインディスプレイ／タッチパネル（☞P.35、P.46）

3 明るさセンサー（☞P.112）
- 周りの明るさを検知して、ディスプレイの照明の明るさやボタンの照明を自動的に点灯させるかどうかを調整します。
- センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。明るさを検知できないことがあります。

4 MENU：MENU／操作ガイダンス用ボタン
- メニューを利用するときに押します（☞P.42）。
- 操作ガイダンスの機能を実行します（☞P.34）。

5 ✉：メール／操作ガイダンス用ボタン
- メール機能を利用するときに押します（☞P.140）。
- 操作ガイダンスの機能を実行します（☞P.34）。

6 ✆：開始／ハンズフリーボタン
- 音声電話をかける／受けるときに押します。
- ハンズフリーを利用できます（☞P.68）。

7 1～9、＊、0、#：ダイヤル／文字入力ボタン
- 電話番号や文字を入力します。
- 項目番号（1、2、3など）に対応するダイヤルボタンを押すと機能を選択することができます。

8 MULTI：MULTI／ベールビューボタン
- マルチアシスタントを利用できます（☞P.411）。
- ベールビューを設定／解除できます（☞P.120）。

9 サブカメラ
- 自分を撮影するときに使用します。
- テレビ電話で自分側の映像を送信するときに使用します。

10 ✣●：マルチガイドボタン
- カーソルを移動させて項目を選んで、実行／決定します（☞P.34）。

11 📷：カメラ／TV／操作ガイダンス用ボタン
- カメラ／ワンセグを起動します（☞P.224、P.252）。
- 操作ガイダンスの機能を実行します（☞P.34）。

12 i（αプ）：ｉモード／操作ガイダンス用ボタン
- ｉモードを利用するときに押します（☞P.178）。
- 操作ガイダンスの機能を実行します（☞P.34）。

13 CLR（ch）：ｉチャネル／クリアボタン
- チャネル一覧を表示します（☞P.210）。
- ｉアプリ待受画面設定中はｉアプリを実行します（☞P.304）。
- 1つ前の画面に戻します。
- 入力した文字や電話番号を削除します。

14 ⏻：電源／終了ボタン
- 電源を入れる／切るときに2秒以上押します（☞P.60）。
- 起動中の機能を終了して待受画面に戻します。

15 MAP：MAP／GPSボタン
- GPS対応ｉアプリを起動します（☞P.327）。
- 自分の現在地を確認できます（☞P.326）。

16 送話口／マイク
- 自分の声をここから伝えます。

17 充電端子（☞P.56）
- 付属の卓上ホルダで充電するための端子です。

18 HDMI端子（type D）（☞P.398）
- 市販のHDMIケーブル接続時に使用する端子です。

19 ストラップ取り付け口

20 FOMAアンテナ
- FOMAアンテナが内蔵されています。よりよい条件で通話するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

21 サブディスプレイ（☞P.35）

22 着信／充電ランプ
- 着信時などに点滅します（☞P.118）。
- 充電中に点灯します（☞P.55）。
- 機能によって点滅する位置は異なります。

23 外部接続端子
- 充電時およびイヤホンマイク接続時などに使用する統合端子です。
- FOMA ACアダプタ01／02（別売）、FOMA DCアダプタ01／02（別売）、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）、ステレオイヤホンマイク 01などを接続します（☞P.57、P.375）。

24 D：サイドボタン
- 静止画や動画を撮影するときに使用します（☞P.224、P.225）。
- FOMA端末を閉じた状態で押すと、サブディスプレイに時計を表示します。
- FOMA端末を閉じた状態で1秒以上押すと、ピクチャーライトが点灯／消灯します。

25 microSDカードスロット（☞P.366）

26 ワンセグアンテナ（☞P.250）
- ワンセグを受信するときに使用します。

27 スピーカ
- 着信音や音楽などがここから聞こえます。
- ハンズフリー通話中は相手の声がここから聞こえます。

28 撮影ランプ
- カメラ起動中に点灯します(☞P.216)。
- 動画撮影時に点滅します(☞P.225)。

29 メインカメラ
- 静止画や動画を撮影するときに使用します(☞P.216)。
- テレビ電話時にカメラ映像を相手に送信するときに使用します(☞P.64)。

30 赤外線ポート
- 赤外線通信、IrSS™通信を利用するときに使用します(☞P.382)。
- 赤外線リモコンを利用するときに使用します(☞P.386)。

31 撮影用アウトマイク

32 ピクチャーライト
- カメラ起動中／撮影中に点灯します(☞P.225、P.227)。

33 ⓕマーク
- ＩＣカードが搭載されています(取り外しはできません)。ⓕマークを読み取り機にかざしておサイフケータイとして使用します(☞P.314)。
- ｉＣ通信でデータの送受信時に使用します(☞P.386)。

34 リアカバー(☞P.23、P.54)
- リアカバーの裏側に、無線対策のためのシールが貼られています。このシールをはがさないでください。

35 リアカバーのレバー(☞P.23、P.54)

■ 待受画面のボタン操作

待受画面で各ボタンを操作すると次の動作になります。

ボタン	動　作	１秒以上押したときの動作
[MENU]	メニューを表示(☞P.42)	
[カメラ]	カメラを起動(☞P.224)	ワンセグを起動(☞P.252)
[メール]	メールメニューを表示(☞P.140)	メール／メッセージ問合せ(☞P.153)
[i]	ｉMenuを表示(☞P.178)	ｉアプリのフォルダ一覧画面を表示(☞P.285)
[●]	フォーカスモードを起動(☞P.45)	ロックセレクション画面を表示(☞P.130)
[上]	ｉウィジェット画面を表示(☞P.309)	受話音量調節画面を表示(☞P.103)
[下]	電話帳を表示(☞P.94)	電話帳登録画面を表示(☞P.90)
[左]	着信履歴一覧画面を表示(☞P.69)	赤外線受信を起動(☞P.385)
[右]	リダイヤル一覧画面を表示(☞P.69)	ＩＣカードロックを起動(☞P.315)
[開始]	電話番号入力画面を表示(☞P.65)	音声クイック起動を起動(☞P.50)
[終了]	待受画面の切替(☞P.44)	電源を切る※(☞P.60)
[CLR]	チャネル一覧を表示(☞P.210)	
[1]	「１」を入力	割り当てられた機能を実行(☞P.421)
[2]	「２」を入力	
[3]	「３」を入力	
[4]	「４」を入力	クイック検索を起動(☞P.422)
[5]	「５」を入力	ecoモードの設定／解除(☞P.113)
[6]	「６」を入力	Bluetooth電源のON／OFF切り替え(☞P.436)
[7]	「７」を入力	伝言メモ／音声メモ画面を表示(☞P.84、P.425)
[8]	「８」を入力	文字サイズの一括設定(☞P.119)
[9]	「９」を入力	きせかえツール設定のリセット(☞P.115) フォント選択のリセット(☞P.119)
[*]	「*」を入力	公共モード(ドライブモード)の設定／解除(☞P.81)
[0]	「０」を入力	「＋」を入力
[#]	「＃」を入力	マナーモードの設定／解除(☞P.105)
[メモ]	新規起動メニューを表示(☞P.411)	ベールビューの設定／解除(☞P.120)

ボタン	動　作	1秒以上押したときの動作
MAP	GPS対応ｉアプリを起動（☞P.327）	自分の現在地を確認（☞P.326）
D	–	ハンドミラーを起動（☞P.246）

※ 2秒以上押してください。

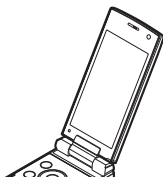
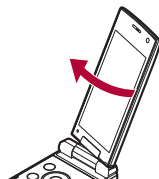
ビューアポジションについて

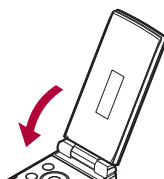
FOMA端末を利用するときは、FOMA端末を開くか（通常ポジション）、ビューアポジションにします。

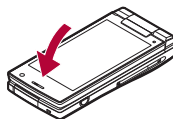
- 待受画面表示中にはじめてビューアポジションにしたときは、自動的に待受時回転連動設定画面が表示されます。通常ポジションで待受画面を表示中にビューアポジションにした場合に起動する機能を設定します（☞P.110）。
  - ・タッチパネルの操作方法については☞P.46
- 通常ポジションで機能を利用中にビューアポジションにした場合、引き続きタッチパネルで操作を継続できます。
  - ・機能によってはビューアポジションで利用できない場合があります。
- 携帯するときは、操作1の図のようにFOMA端末を閉じておくことをおすすめします。

1

両手で持って軽く開く。

2

3

ディスプレイを右回りに180度回転させる。

4

ディスプレイを手前に倒す。

5

ディスプレイ回転時のご注意

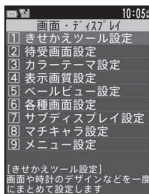
- FOMA端末のディスプレイを回転させるときは、次の点にご注意ください。
  - ■ ディスプレイ側をボタン面などに当てないようにしてください。ボタン面を傷つけたり破損する場合があります（図「ディスプレイ回転時のご注意」）。
  - ■ 左回りに回転させたり180度以上回転させないでください。

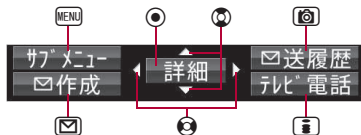
基本の操作

ここでは基本的な操作について詳しく説明しています。

- 本書の操作手順の記載方法については☞P.1

■ 項目の選択

⊗で項目にカーソルを合わせて⦿を押すと選択できます。カーソルを合わせている項目には枠が表示されたり、色が変わったりします。

■ マルチガイドボタンと操作ガイダンス用ボタンについて

操作ガイダンスに表示されているメニューの選択/実行などに使用します。操作ガイダンスに表示されているメニューを選択/実行するために割り当てられたボタンは次のとおりです。

操作ガイダンスメニューについて

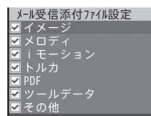
操作ガイダンスには、利用している機能や状況に応じてメニューが表示されます。

ここでは、主に表示される操作ガイダンスメニュー例を記載します。

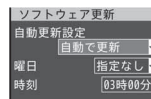
決定	選択した項目を決定
サブメニュー	サブメニューを表示
確認	選択した画像や音楽などを確認
戻る	1つ前の画面に戻る
再生/停止	Flash画像などを再生/停止
全画面	選択した画像などをディスプレイいっぱいに表示
全表示	フォルダ分けしたファイルなどを一覧で表示
拡大/縮小	選択した画像などを拡大/縮小で表示
メール	メール作成画面を表示
送信	メールを送信
中止	メール受信などの動作を中止
全選択/全解除	選択できる項目のすべてを選択/解除
▲ページ/▼ページ	ページ単位でスクロール表示
▶ページ/◀ページ	ページ切替
待受貼付	待受タッチランチャに登録
閉じる	サブメニュー画面などを閉じる

■ チェックボックスを利用する

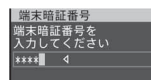
チェックボックスが表示されているときは、⊗で項目にカーソルを合わせて⦿を押すと複数の項目を選択することができます。

- 複数の項目を繰り返し選択できます。
- ☑は選択、☐は解除の状態です。
- 操作ガイダンスに[全選択]/[全解除]が表示されているときは、該当する操作ガイダンス用ボタンを押すとすべての項目を選択/解除できます。

■ 設定欄が表示されたとき

設定欄が表示されたときは、各設定欄にカーソルを合わせて⦿を押すとプルダウンメニューが表示されます。表示された項目から設定を選択してください。

文字入力欄が表示されたときは、文字入力欄にカーソルを合わせて⦿を押し、文字を入力します。

■ 端末暗証番号を入力する

端末暗証番号の入力画面が表示されたときは、4~8桁の端末暗証番号を入力して⦿を押してください。

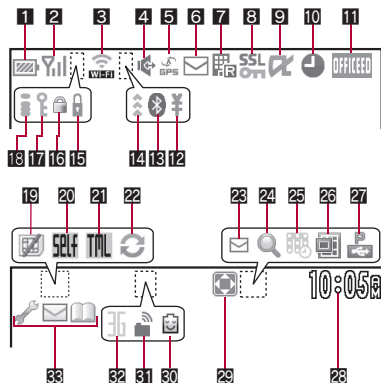
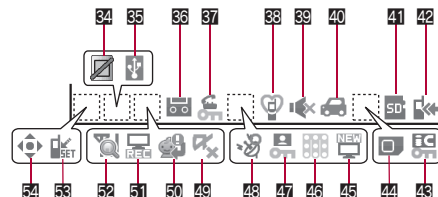
- 端末暗証番号については☞P.122

■ 確認画面が表示されたとき

登録内容の削除や設定などの操作中に確認画面が表示されたときは、記載内容を確認して[はい]／[いいえ]を選択してください。

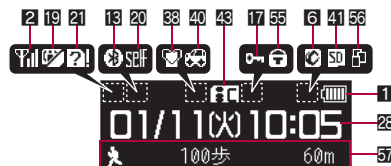
- [はい(以後非表示)]を選択すると、次回から確認画面は表示されません。
- 機能によっては[はい]／[いいえ]以外の項目が表示される場合もあります。

ディスプレイの見かた

- アイコンはメインディスプレイ／サブディスプレイの順で記載しています。

メインディスプレイ上部

メインディスプレイ下部

サブディスプレイ

画面は、サブディスプレイ設定の待受表示設定(☞P.112)で時計表示を[待受時計(小)]に、小時計機能表示を[歩数・距離]に設定した場合です。

01/11(火)10:05
100歩 60m

1 電池残量表示(☞P.58)

／：電池残量の表示

- 充電中は電池アイコンが点滅します。
- 電池アイコンは変更できます(☞P.59、P.116)。

2 電波状態表示

／：電波の状態を表示

- →→→の順に電波は弱くなります。
- [圏外]が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。アンテナアイコンは変更できます(☞P.116)。

3 Wi-Fi表示(☞P.484)

：クライアントモードでWi-Fiを利用中※1※2

：アクセスポイントモードでWi-Fiを利用中

※1 →→→→の順に受信レベルが低くなります。

※2 クライアントモードでフルブラウザに接続している場合、[FB]が小さいマークで表示されます。

次ページへ続く

ご使用前の確認

4 ハンズフリー／Bluetooth表示（☞P.68、P.437）
：ハンズフリー中
：USBハンズフリー中
：Bluetoothハンズフリー中
：Bluetoothヘッドセット通信中
：Bluetoothキーボード通信中

5 GPS表示（☞P.326、P.328、P.333）
（青色）：位置提供可否設定を［位置提供ON］／［電話帳登録外拒否］に設定中で、オートGPS機能動作中
（青色）：位置提供可否設定を［位置提供ON］／［電話帳登録外拒否］に設定中で、オートGPS動作設定を［OFF］に設定中
（グレー）：位置提供可否設定の許可期間を設定中で位置提供拒否期間中、かつオートGPS機能動作中
（グレー）：位置提供可否設定の許可期間を設定中で位置提供拒否期間中、かつオートGPS動作設定を［OFF］に設定中
：位置提供可否設定を［位置提供OFF］に設定中で、オートGPS機能動作中
：GPS測位中

6 ｉモードメール／SMS／エリアメール／メッセージR/F／インフォメーション受信表示（☞P.152、P.171、P.212）
：ｉモードメール／SMSの受信状態、受信メールを保存するメモリの状態を表示
／：エリアメールの受信状態を表示
：メッセージR／Fの受信状態、メッセージR／Fを保存するメモリの状態を表示
／：新着インフォメーションあり

7 ｉモードセンター保管状態表示（☞P.152、P.171）
：メール、メッセージR／Fの保管状態を表示
- ｉモードセンター保管中でも表示されないことがあります。

8 SSL／TLS表示（☞P.179、P.183）
：SSL／TLSページ表示中
：SSL／TLSページフレーム拡大表示中
：SSL／TLSページフレーム拡大表示中で、別フレームアクセス中
- マルチアシスタント動作時に表示されているときは、マルチアシスタントを利用してｉモード／フルブラウザ／ｉアプリ／ソフトウェア更新を実行中です。

9 ｉアプリ表示（☞P.285）
：ｉアプリ起動中
（オレンジ）：ｉアプリ待受画面起動中
（グレー）：ｉアプリ待受画面設定中※1
：ｉアプリDX起動中
（オレンジ）：ｉアプリDX待受画面起動中
（グレー）：ｉアプリDX待受画面設定中※1
：ｉアプリコールあり※2
※1　ｉアプリが待受画面として表示されますが操作できない状態です。
※2　ｉアプリやｉアプリDXが起動中または待受画面に設定中の場合は、小さいマークで表示されます。
- ｉウィジェット画面では表示されません。

10 アラーム／スケジュール表示（☞P.258、P.412、P.416）
：アラーム設定中
：視聴予約／録画予約／スケジュールアラーム設定中
：アラーム、視聴予約／録画予約／スケジュールアラーム設定中

11 OFFICEEDエリア表示（☞P.466）
：OFFICEEDエリア内

12 通話料金表示
：積算通話料金の上限を超過すると表示

13 Bluetooth表示（☞P.431）
（青色）／：Bluetooth登録待機中、Bluetooth接続待機中、Bluetooth接続中
（グレー）／：Bluetooth省電力中（FOMA端末から一定時間データが送信されないときに表示）
- Bluetooth登録待機中、Bluetooth接続待機中は点灯、Bluetooth接続中は点滅します。

14 赤外線通信表示（☞P.382、P.386）
：赤外線通信機能で他の機器とデータ通信中、赤外線リモコン送信中

15 自動キーロック（☞P.128）
：自動キーロック中

16 サイドキーロック（☞P.130）
：サイドキーロック中

17 シークレットモード表示（☞P.131）
／：シークレットモード［ON］に設定中
- シークレット属性を設定した電話帳、スケジュールを選択中に点滅します。

18 ｉモード表示（☞P.179）
：ｉモードの状態を表示

⑲ ドコモUIMカードエラー表示
　／：ドコモUIMカードが未挿入、またはドコモUIMカードに異常があるときに表示

⑳ セルフモード表示（☞P.127）
　／：セルフモード設定中

㉑ ターミナルリンク表示
　／：ターミナルリンク中

㉒ データ転送モード表示（☞P.365、P.386、P.431）
　：データ転送モード中

㉓ ｉモードメール自動送信表示（☞P.150、P.151）
　：送信日時予約／圏内自動送信メールあり
　：送信日時予約／圏内自動送信メール自動送信失敗

㉔ フレーム表示（☞P.179、P.183）
　：フレーム拡大表示中
　：フレーム拡大表示中で、別フレームアクセス中

㉕ Music&Videoチャネル番組予約表示（☞P.267）
　：Music&Videoチャネルの番組配信12時間前になると表示

㉖ 電子コミック表示（☞P.394）
　：電子コミックのコマ表示中に表示
　：電子コミックのページ表示中に表示

㉗ パケット通信中表示
　：USB接続でパケット発信・接続中
　：USB接続でパケット送受信中
　：Bluetooth機能でパケット発信・接続中
　：Bluetooth機能でパケット送受信中

㉘ 時計表示（☞P.61）

㉙ フルブラウザ表示（☞P.182）
　：PCレイアウトモード中
　：ケータイモード中

㉚ ecoモード表示（☞P.113）
　：ecoモード設定中

㉛ フェムトセル表示（☞P.440）
　：フェムトセル利用可能

㉜ 3G／GSM表示
（黄色）：3Gネットワーク（パケット通信可）
（青色）：3Gネットワーク（パケット通信可／通話可）
（赤色）：3Gネットワーク（パケット通信不可）
（黄色）：GSM／GPRSネットワーク（パケット通信可）
（青色）：GSM／GPRSネットワーク（パケット通信可／通話可）
：GSM／GPRSネットワーク（パケット通信不可）

㉝ マルチタスク表示（☞P.411）
起動中の機能を表示します。
　：テレビ電話
　：音声電話
　：テレビ電話／音声電話切替中
　：テレビ電話／音声電話切断中
　：電話帳
　：プロフィール表示中
　：USB接続／Bluetooth機能でパケット通信中
　：ソフトウェア更新中
　：ソフトウェア更新の通知あり
　：GPSの現在地確認
　：GPSの現在地通知
　：GPSの位置提供
　：GPS自動測位起動中
　：GPSの位置履歴／オートGPS履歴
　：Bluetooth機能
　：ｉアプリ
　：ｉモード、ｉチャネル、インターネットムービープレーヤー
　：フルブラウザ／RSSリーダー
　：ｉコンシェル
　：メール／メッセージ問合せ、SMS問合せ、メール受信中、メッセージR／F受信中
　：SMS受信中
　：メール・デコメアニメ®・SMS作成中
　：着信履歴表示中
　：リダイヤル表示中
　：メール受信履歴表示中
　：メール送信履歴表示中
　：プレゼンアシスト
　：ウェルネス
　：方位計起動中
　：Wi-Fi起動中
　：手書き
　：静止画撮影
　：動画撮影
　：プリティアレンジカメラ
　：コラムリーダー
　：バーコードリーダー

:ショットメモ
:ラクラク瞬漢/瞬英ルーペ
:名刺リーダー
:情報リーダー
:モーションデコ
:ショットデコ
:ボイスレコーダー
:ワンセグ
:スケジュール/スケジュールアラーム、メモ
:電卓
:マンガ・ブックリーダー/辞書
:クイックランチャ
:クイック検索
:音声入力
:トルカ
:アラーム
:お知らせタイマー
:microSD
:各種設定
(グレー):各種設定保留中
:音声/伝言メモ
:ネットワークサービス設定中
:PDF対応ビューア
:ドキュメントビューア
:ケータイデータお預かりサービス
:ケータイデータお預かりサービス通信履歴確認中
:イメージビューア
:iモーション・ムービー
:MUSIC
:Music&Videoチャネル
:Music&Videoチャネル番組取得中
:メロディ
:キャラ電
:きせかえツール
:データ検索
:音量設定
:エリアメール起動中
:使いかたガイド
:外部データ連携中
:プライバシー設定のシークレット反映中
:パターンデータ更新/バージョン表示
:Bluetooth機能で64Kデータ通信中
:64Kデータ通信中
:ホームネットワーク起動中

34 ベールビュー表示(☞P.120)
:ベールビュー設定中

35 USB接続中表示(☞P.375)
:通信モードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)接続中

36 伝言メモ表示(☞P.83)
:伝言メモ設定中
● 音声電話伝言メモとテレビ電話伝言メモが合わせて4件録音/録画されると、[ ]が表示されます。

37 ダイヤル発信制限表示(☞P.129)
:ダイヤル発信制限中

38 マナーモード表示(☞P.105)
/ :マナーモード/オリジナルマナーモード設定中

39 サイレント/バイブレータ表示(☞P.103、P.104)
:電話着信音量を[Silent]に設定中
:着信バイブレータ設定中
:電話着信音量を[Silent]に設定中で、着信バイブレータ設定中

40 公共モード(ドライブモード)表示(☞P.81)
/ :公共モード(ドライブモード)設定中

41 microSDカード表示(☞P.365、P.375)
/ :microSDカードを挿入中かつ使用可で、USBモードを通信モードに設定中
/ :microSDカードを挿入中かつ使用不可で、USBモードを通信モードに設定中
(青色)/ :microSDカードを挿入中かつ使用可で、USBモードをmicroSDモードに設定中
(青色)/ :microSDカードを挿入中かつ使用不可で、USBモードをmicroSDモードに設定中
(グレー):microSDカードが未挿入で、USBモードをmicroSDモードに設定中
(青色)/ :microSDカードを挿入中かつ使用可で、USBモードをMTPモードに設定中
(青色)/ :microSDカードを挿入中かつ使用不可で、USBモードをMTPモードに設定中
(グレー):microSDカードが未挿入で、USBモードをMTPモードに設定中

42 ソフトウェア更新/パターンデータ更新表示(☞P.544、P.549)
:ソフトウェア更新書換え予告あり

:ソフトウェア更新予約中
:ソフトウェア更新必要あり
:パターンデータ受信成功
:パターンデータ受信失敗

43 ＩＣカードロック表示(☞P.315)
／:ＩＣカードロック中
- おまかせロック中は表示されません。

44 ドコモUIMカード読み込み表示(☞P.52)
:ドコモUIMカード読み込み中

45 ワンセグ録画予約表示(☞P.258)
:ワンセグ録画予約成功
:ワンセグ録画予約失敗

46 Music&Videoチャネル表示(☞P.266)
:Music&Videoチャネル取得成功
:Music&Videoチャネル取得失敗

47 パーソナルデータロック表示(☞P.129)
:パーソナルデータロック中

48 GPS位置提供表示(☞P.330)
:GPS位置提供成功
:GPS位置提供失敗
:GPS位置提供を未確認で終了

49 ｉアプリ自動起動失敗表示(☞P.302)
:ｉアプリ自動起動に失敗すると表示

50 マチキャラアップデート可能表示(☞P.116)
:マチキャラが更新可能なときに表示

51 ワンセグ録画表示(☞P.257)
:録画準備中
:FOMA端末に録画中
:microSDカードに録画中

52 ネットワーク再検索表示(☞P.473)
:ネットワーク再検索が可能なときに表示

53 遠隔カスタマイズ表示(☞P.138)
:遠隔カスタマイズ中

54 フォーカスモード表示
:フォーカスモード中に利用可能なマルチガイドボタンを表示

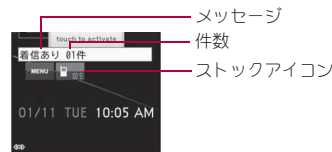
55 制限表示
:オールロック中、サイドキーロック中、パーソナルデータロック中

56 操作中表示
:メインディスプレイに待受画面以外を表示中

57 機能表示(☞P.112)
- サブディスプレイ設定の待受表示設定で、小時計機能表示に設定した機能が表示されます。

- FOMA端末上では、microSDカードは[microSD]または[SD]と表示されます(☞P.365)。
- 本書で記載しているディスプレイの表示は、一部変形・省略しているものもあります。
- FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- サブディスプレイの表示時間は表示時間設定に従います。
- サブディスプレイのアイコンは変更できません。

ストックアイコンからお知らせ内容を確認する

かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあるときなどに、待受画面にストックアイコンを表示してお知らせします。待受画面でストックアイコンを選び、お知らせの内容を確認することができます。

ストックアイコンの種類

アイコン	メッセージ	ページ
	着信あり　○件※1	P.82
	伝言メモ　○件※1	P.84
	留守録音あり　○件※1	P.454

アイコン	メッセージ	ページ
(メールアイコン)	新着メールあり　○件※1	P.152、P.175
(トルカアイコン)	新着トルカあり　○件※1	P.317
(レコーダーアイコン)	新着レコーダー動画あり　○件	P.357
(送信結果アイコン)	圏内自動送信結果あり	P.151
(iアプリコールアイコン)	ｉアプリコールあり	P.303
MENU	ノーマルメニュー／ベーシックメニュー／セレクトメニュー※2	P.43

※1　FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに同様の内容が表示されます。
※2　メニュー画面やポジションによって、表示されるメッセージが異なります。

1 待受画面にストックアイコン表示▶●

- フォーカスモードになります。
- ストックアイコンをタッチしてもメッセージを表示できます。ストックアイコンをもう一度タッチすると内容を確認できます。

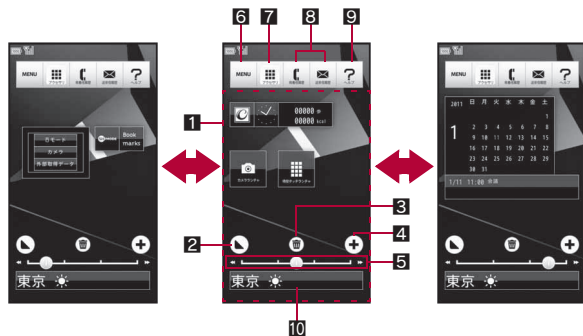
2 ストックアイコンを選ぶ

- ストックアイコンとポップアップメッセージの両方が表示されているときは、◎でストックアイコンとポップアップメッセージの選択を切り替えることができます。
- 内容を確認するとストックアイコンとメッセージは消えます。

● 待受画面に設定しているｉモーションの再生中や、ｉアプリ待受画面実行中は、ストックアイコンが表示されません。

待受アクセサリの表示と操作

待受アクセサリは、電卓や時計、スライドショーなどのコンテンツ（アクセサリアイコン）を待受画面に表示し、さまざまな機能を実行することができます。あらかじめ用意されているアクセサリアイコンを好きな位置に貼り付けることができます。

● 待受アクセサリの操作については☞P.108

1 アクセサリアイコン貼り付けエリア
2 待受アクセサリの表示／非表示切替
3 ごみ箱
4 アクセサリアイコン表示設定
- 表示する機能を設定／解除します。

5 表示領域ガイド
- ライン上の[◎]は現在の表示領域を示します。アクセサリアイコン貼り付けエリアで左右にスライドして、表示領域を切り替えることができます。

6 MENUボタン
- メニューを表示します。

7 アクセサリアイコン表示ボタン
8 発着信履歴／メール送受信履歴ボタン
- 発着信履歴とメール送受信履歴を表示し、ワンタッチでメール作成画面や電話発信画面を表示できます。また、短縮登録を設定することもできます。

9 ヘルプ
10 ｉチャネルテロップ

● 用意されているアクセサリアイコンは次のとおりです。

項　目	機　能
デジタル時計	デジタル時計と日付、曜日を表示します。
アナログ時計	アナログ時計を表示します。
カレンダー	簡易カレンダーを表示します。
スケジュール	当日のスケジュールを表示します。当日のスケジュール登録後、待受アクセサリを表示したときに表示内容を更新します。
歩数計	歩数計を表示する機能の簡易版です。ウェルネスの歩数計設定を[ON]にしているときに表示を更新します。
テキストメモ表示	メモを表示する機能の簡易版です。待受メモにメモを登録している場合に、内容を表示します。
手書きメモ表示	待受メモ(手書きメモ)を表示する機能の簡易版です。待受メモ(手書きメモ)を保存している場合に、内容を表示します。
タッチランチャ	待受タッチランチャを表示する機能の簡易版です。アイコンの登録、移動、削除などの操作は、待受タッチランチャのサブメニューから行います。
電卓	電卓を起動します。
SH-Mode	ｉMenu内のサイト[SH-MODE]に接続します。
ブックマーク一覧	Bookmark一覧機能の簡易版です。
フォトフレーム	データBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダ、[ｉモード]フォルダ、[外部取得データ]フォルダのうち、選択したフォルダ内の画像をスライドショーで表示します。
動画撮影機能	動画撮影を起動します。
マナーモード	マナーモードを設定／解除します。前回設定したマナーモードが設定されます。
セルフモード	セルフモードを設定／解除します。
公共モード(ドライブモード)	公共モード(ドライブモード)を設定／解除します。
ピクチャーライト	ピクチャーライトをワンタッチで点灯／消灯します。点灯時間は約30秒です。
おみくじ	おみくじを表示します。
サイコロ	サイコロを表示します。
カメラランチャ	静止画撮影、動画撮影、プリティアレンジカメラ、エフェクトカメラ、オススメフォト、ショットメモ、ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ、ゴルフスイングビデオカメラ、ショットデコを起動できます。
ｉコンシェル	ｉコンシェル画面を表示します。

ポップアップメッセージからｉコンシェルを起動する

インフォメーションを受信したり、今日の予定通知設定時刻、スケジュールアラーム設定時刻になると、待受画面にポップアップメッセージを表示してお知らせします。ポップアップメッセージからｉコンシェルを起動して、インフォメーションや、今日の予定の内容を確認することができます。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

1 待受画面にポップアップメッセージ表示▶◉

- フォーカスモードになります。
- ポップアップメッセージをタッチしても起動できます。

2 ポップアップメッセージを選ぶ

- ｉコンシェルを起動するとポップアップメッセージは消えます。

メニューの設定と選択

機能の設定、変更、登録は、メニュー画面から行うことができます。

- メニューは機能ごとに分類されています(☞P.492)。
- 利用できるメニューは次のとおりです。

スタートメニュー	特　徴
ノーマルメニュー	あらかじめ登録されているきせかえツール(☞P.114)を選んで設定することができます。きせかえツールは、それぞれ異なった機能やデザインで構成されています。サイトなどからきせかえツールをダウンロードして利用することもできます。
ベーシックメニュー	メニューに表示されるアイコンを選んで、機能を呼び出すことができます。また、設定メニューに割り当てられた機能番号を入力して、すばやく目的の機能を呼び出すこともできます。
セレクトメニュー	よく使う機能や人物・グループを登録してオリジナルメニューを作成することができます。

- タッチパネルの操作については☞P.49

本書では、ノーマルメニューから機能を呼び出す方法を基準に説明しています。

各メニューを表示する

待受画面で[MENU]を押すと、ノーマルメニュー、ベーシックメニュー、セレクトメニューを表示できます。

待受画面

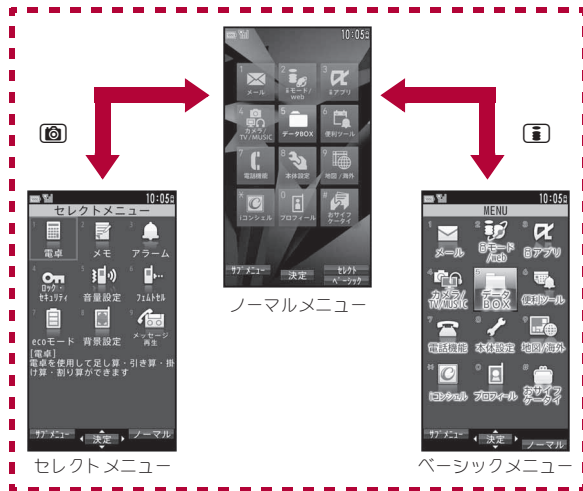
[MENU]

- [MENU]を押したときに表示されるメニューは変更することができます(☞P.115)。

ノーマルメニュー

[カメラ]

セレクトメニュー

[i]

ベーシックメニュー

■ ノーマルメニュー画面のサブメニュー操作

[きせかえツール] ☞P.114

[機能上書き登録] ▶ 割り当てる機能を選ぶ

[機能入替え] ▶ 入れ替え先を選ぶ

[リセット]

▶ [メニュー操作履歴リセット] ☞P.115

▶ [メニュー設定オールリセット] ☞P.115

[表示メニュー設定] ☞P.115

[機能説明文表示OFF]/[機能説明文表示ON]

[機能上書き登録]、[機能入替え]について

- 手動カスタマイズに対応したきせかえツールを設定している場合に操作できます。

[機能説明文表示OFF]、[機能説明文表示ON]について

- 文字サイズ設定(☞P.119)の全体が[大]または[最大]に設定されている場合に設定できます。

■ ベーシックメニュー画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、ノーマルメニュー画面のサブメニュー操作(☞P.43)を参照してください。
  - ■ きせかえツール　■ 表示メニュー設定
  - ■ 機能説明文表示OFF　■ 機能説明文表示ON

[アイコン変更] ☞P.117

[メニュー設定オールリセット] ☞P.118

■ セレクトメニュー画面のサブメニュー操作

[追加登録] ☞P.421

[上書き登録] ☞P.421

[入替え] ▶ 入れ替え先を選ぶ ▶ [はい]

[アイコン変更] ▶ アイコンを選ぶ
- 変更前のアイコンに戻す:📷

[メニューグループ名変更] ▶ メニューグループ名を編集 ▶ 📷

[削除]

▶ [1件削除] ▶ [はい]

▶ [全件削除] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ [はい]

[表示メニュー設定] ☞P.115

各メニューから機能を呼び出す

- 選択できる機能については☞P.492
- すべてのメニューで✖を使用することができます。
- メニューの項目番号(1、2、3など)に対応するダイヤルボタンを押しても機能を選択することができます。ただし、ノーマルメニューでは、メニューの項目番号で選択できないことがあります。
- ノーマルメニューに設定したきせかえツールによっては、機能の選択方法が異なる場合があります。
- 機能を選び直すときに、CLRを押すと1つ前の画面に戻ります。⌒を押すと待受画面に戻ります。

待受画面にストックアイコン(☞P.39)が表示されているときは、[MENU]を選択すると各メニューが表示されます。

ここでは、マルチガイドボタンを使ってアラームを起動する方法を例に説明します。

■ ノーマルメニューから呼び出す

✖◉ ➡ ✖◉ ➡

ノーマルメニュー　[便利ツール]を表示　アラームを起動

● きせかえツールを利用してノーマルメニュー画面を変更したときは、操作方法が本書の説明と異なる場合があります。そのときは、ベーシックメニューに切り替える（☞P.42）か、メニュー画面リセット（☞P.115）を行ってください。

■ ベーシックメニューから呼び出す

ベーシックメニュー → [便利ツール]を表示 → アラームを起動

■ セレクトメニューから呼び出す

セレクトメニュー → アラームを起動

● あらかじめメニューの登録が必要です（☞P.421）。

● 人物を登録して呼び出すと、電話帳に登録されている情報を使って次の操作ができます。

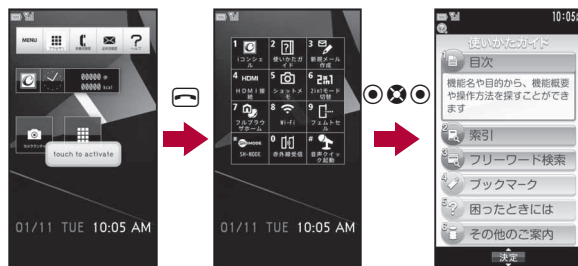
■ 音声電話／テレビ電話発信　■ メール作成・送信
■ SMS作成・送信　■ URLに接続　■ 詳細情報表示

待受タッチランチャから機能を呼び出す

待受画面で⊟を押すと、待受タッチランチャが表示されます。アイコンをタッチするか、◉を押し、✪でアイコンを選択すると、目的の機能をすばやく呼び出すことができます。

● 待受画面の壁紙（時計やｉチャネルテロップが表示されている部分、およびステータスバーを除く）を上下にすばやくスライドしても操作できます。

● ⊟を押す、または上下にすばやくスライドすると、待受タッチランチャが非表示になります。

例：使いかたガイドを表示する

待受画面 → 待受タッチランチャ → [使いかたガイド]を表示

■ 待受タッチランチャ画面のサブメニュー操作

[アイコン登録]	☞P.421
[アイコン移動] ▶ 移動先を選ぶ ● アイコンの位置を入れ替えます。	

[タイトル編集] ▶ タイトルを編集 ▶ [📷]

[削除]

▶ [1件削除] ▶ [はい]

▶ [全件削除] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ [はい]

[リセット] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ [はい]

● 待受タッチランチャをお買い上げ時の状態に戻します。

[タイトル編集]について

● 全角10文字(半角20文字)まで入力できます。

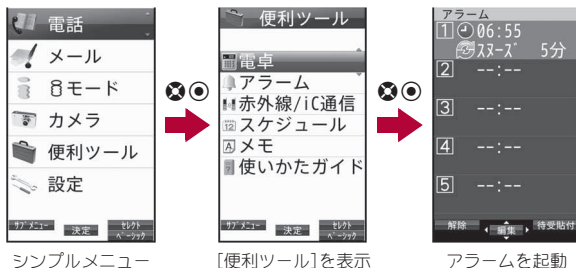
■ 待受タッチランチャの表示について設定する
<待受タッチランチャ設定>

1 **ノーマルメニューで[本体設定] ▶ [画面・ディスプレイ] ▶ [待受画面設定] ▶ [待受タッチランチャ設定]**

2 **設定を選ぶ**

シンプルメニューから機能を呼び出す

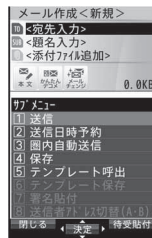
● ノーマルメニュー[シンプル]の内容については、メニュー一覧をご覧ください(☞P.517)。

例:アラームを起動する

シンプルメニュー　✪◉ ➡　[便利ツール]を表示　✪◉ ➡　アラームを起動

サブメニューから機能を選択する

操作ガイダンスに[サブメニュー]が表示されているときにMENUを押すと、その画面で使用できる機能(サブメニュー)が表示されます。✪を使って、表示されたサブメニューを選択してください。

サブメニューに複数のページがある場合は、✪を使ってページを切り替えます。

メニューの項目番号(1、2、3など)に対応するダイヤルボタンを押しても機能を選択することができます。ただし、項目番号がないサブメニューもあります。

サブメニュー画面

■ サブメニューから機能を操作したときに対象となるデータについて

● 一覧画面のサブメニューから機能を操作したとき、選択しているデータのみが対象になる場合と、一覧画面のすべてのデータが対象になる場合があります。選択しているデータのみが対象になる機能を操作する場合は、あらかじめ対象にしたいデータを選択してから操作してください。

■ 選択しているデータのみが対象になる機能
例:タイトル編集、ファイル名編集、1件削除など

■ 一覧画面のすべてのデータが対象になる機能
例:全件削除、フォルダ内全件コピー、フォルダ内全件移動など

フォーカスモードから機能を呼び出す
<フォーカスモード>

待受画面にストックアイコンが表示されているときやカレンダー/待受カスタマイズを設定しているときなどは、フォーカスモードを利用して対応する情報をすばやく表示できます。

● インフォメーションについては☞P.211

● カレンダー/待受カスタマイズが設定されているときにインフォメーションが表示されると、カレンダー/待受カスタマイズにカーソルを移動できません。

1 待受画面で◉▶ストックアイコンまたはエリアを選ぶ

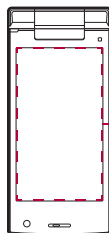
- ストックアイコンまたはエリアをタッチしても起動できます。
- 解除するとき：CLR、⌒
- ストックアイコンにカーソルを合わせてCLRを1秒以上押すと、ストックアイコンは一時的に消えます。新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再び表示されます。

- フォーカスモード中は、MENUを押してもメニューを表示できません。機能によってはサブメニューが表示されます。

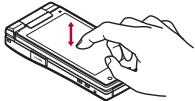
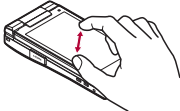
タッチパネル

タッチパネルの操作

タッチパネル（ディスプレイ）を直接指で触り、操作を行うことができます。

- 本書では、ボタンでもタッチパネルでも操作できる場合はボタン操作を優先して記載しています。ここでは、タッチパネルの基本的な操作を説明します。
- タッチパネルで操作できる範囲は次のとおりです（機能によって操作範囲は異なります）。

タッチパネルの操作範囲

- ディスプレイの表示が消えているときは、いずれかのボタンを押すと画面が表示され、タッチ操作を行うことができます。
- ディスプレイに触れている間はその他の操作ができませんのでご注意ください。
- テレビ電話中、64Kデータ通信中はタッチパネルを操作できません。
- タッチパネルを利用できないときは、操作ができない旨のメッセージが表示される場合があります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ■ 手袋をしたままでの操作
  - ■ 爪の先での操作
  - ■ 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ■ 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ■ タッチパネルが濡れたままでの操作
  - ■ 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - ■ 水中での操作

通常ポジション時のタッチパネルの利用について設定する<タッチパネルON／OFF>

1 ノーマルメニューで［本体設定］▶［その他設定］▶［タッチパネルON／OFF］

2 設定を選ぶ

タッチパネルの基本操作

タッチパネルの操作のしかたと主な操作の目的、同じ役割をするボタン操作例は次のとおりです。

操作のしかた	主な操作の目的	ボタン操作例
タッチ ● タッチパネルに触れて、指を離します。	選択・決定 ● 画面に表示されるボタンをタッチします。	◉
ロングタッチ ● タッチパネルに触れたままにします。	連続操作 ● 音量調節や早戻し／早送りなど、画面に表示されるボタンをロングタッチすると連続した操作に変わります。	◎（1秒以上）／◎（1秒以上）や、◎（1秒以上）／◎（1秒以上）など
	項目の選択 ● 画面に表示される項目をロングタッチします。	◎
スライド ● タッチパネルに触れたまま、指を動かします。	画面のスクロール ● サイト表示中など、上下左右にスライドします。	◎
	選択の中止 ● メニューや項目に間違って触れたときは、メニューや項目から離れるようにスライドします。	－
すばやくスライド ● すばやくスライドし、指を離します。	ページ切替 ● メニュー画面などで左右にすばやくスライドします。 前／次のデータを表示 ● 画像やメールなどを表示中に左右にすばやくスライドします。	◎
2本の指の間隔を広げる／狭める ● 2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げるようにスライド、または狭めるようにスライドします。	拡大／縮小 ● 画像表示中に2本の指の間隔を広げる／狭めます。	3／1
「CLR」をタッチ	中止／終了 ● 「CLR」をタッチします（表示されている場合）。	CLR／⏎

● 利用中の機能や画面によって操作は異なります。
● タッチパネルに指が触れるとバイブレータが動作します。ただし、カメラ起動中や音声入力中など、バイブレータが動作しない場合があります。
・ バイブレータのON／OFFを設定できます（☞P.104）。

タッチ操作での画面の見かた

■ 縦／横表示

ビューアポジションでは、FOMA端末の向きに応じて縦／横表示が自動的に切り替わります。

- FOMA端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 利用中の機能や画面によっては切り替わらない場合があります。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、縦横が正しく表示されない場合があります。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます（☞P.110）。また、縦横切替HOLDボタンやサブメニューから一時的に切り替わらないようにすることもできます。
- 機能によって表示できる画面やボタンは異なります。
- 通常ポジションからビューアポジションにした場合、機能によっては全画面表示されることがあります。

■ 画面の見かたと操作方法

縦表示

例：受信BOX

横表示

例：受信BOX

1 操作ガイダンス（☞P.34）

操作ガイダンスメニューを選択／実行するときにタッチします。

- 本書では、操作ガイダンスの説明をボタン操作で説明しています。タッチ操作の操作ガイダンスメニューは、次のボタンで操作する操作ガイダンスメニューに対応しています。

縦表示

横表示

- 機能によっては、マルチガイドボタンに対応した操作ガイダンスメニューが表示される場合があります。
- 縦表示のときに表示される操作ガイダンスメニューが、横表示ではコントロールボタンやサブメニューとして表示される場合があります。

2 MULTIボタン

マルチアシスタントを利用するときにタッチします。ロングタッチすると、ベールビューを設定／解除することができます。

3 CLRボタン

１つ前の画面に戻したり、入力した数字や文字を削除するときにタッチします。起動中の機能を終了して待受画面に戻るときにはロングタッチします。

- CLR／と同様の操作ができます。

4 縦横切替HOLDボタン

FOMA端末を傾けても一時的に縦／横表示が切り替わらないようにするときにタッチします。

- 縦横画面自動切替が[OFF]に設定されているときは、縦横切替ボタンが表示されます。縦／横表示を切り替えるときにタッチします。

- 機能によってはコントロールボタン（☞P.49）で表示される場合があります。

メニューの設定と選択

■ 各メニューから機能を呼び出す

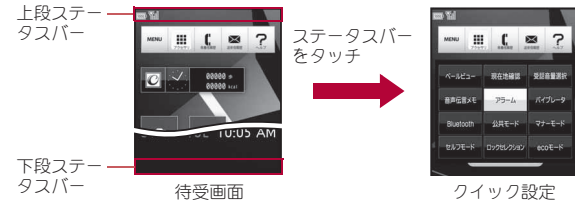
ボタン操作と同様に、各メニューから機能を呼び出します。

- 待受タッチランチャやノーマルメニューなどからメニュー項目を選択するときは、メニューアイコンをタッチして選択します。メニューをスクロールする場合は、メニューが表示されている部分を上下にスライドします。画面をタッチするとスクロールバーが表示されることがあります。スクロールバーの部分を上下にスライドしてスクロールすることもできます。

■ クイック設定から機能を呼び出す

待受画面で上段ステータスバーまたは下段ステータスバーをタッチすると、クイック設定が表示されます。各ボタンをタッチすると、対応する機能を起動できます。

- CLR／を押すか、クイック設定以外をタッチすると、クイック設定が非表示になります。
- 起動できる機能については☞P.516

上段ステータスバー
下段ステータスバー
待受画面
ステータスバーをタッチ
クイック設定

■ サブメニューから機能を選択する

ボタン操作と同様に、サブメニューから操作や設定変更などを行います（画面によっては、選択できないメニューがある場合や、メニューが異なる場合があります）。

- [Sub Menu]や操作ガイダンスの[サブメニュー]をタッチすると、サブメニューが表示されます。
- ピクチャテーブル表示中は表示されません。
- サブメニューをスクロールする場合は、サブメニューが表示されている部分を上下にスライドします。

機能利用中の操作

■ コントロールボタンで操作する

機能利用中は、コントロールボタンが表示されます。

- 機能によってはロングタッチで表示される場合があります。
- 機能やFOMA端末の向きによって、コントロールボタンが常に表示される場合と、表示／非表示を切り替えられる場合があります。コントロールボタンが非表示のときは、機能利用中に画面をタッチ／ロングタッチするとコントロールボタンが表示されます。

例：ワンセグ

例：ミュージックプレーヤー

- コントロールボタンを非表示にする方法は次のとおりです。機能によってはどちらかの方法でしか操作できない場合があります。
  - ■ コントロールボタン以外をタッチ
  - ■ コントロールボタンが表示されている状態で約7秒間何も操作しない
- コントロールボタンに複数のページがある場合は[次ページ Next]が表示されます。[次ページ Next]をタッチするとコントロールボタンの表示が切り替わります。
- コントロールボタンの形や表示される文字などは、縦／横表示や操作などによって異なる場合があります。
- コントロールボタンが表示される位置は、FOMA端末の向きや操作、機能によって異なります。
- コントロールボタンの有無はFOMA端末の向きや機能によって異なります。

■ タッチ操作で操作する

サブメニューやコントロールボタンを表示しなくても、指の操作で簡単に操作できます。

- 機能や画面によって操作できるタッチ操作は異なります。

- 画面に表示されているボタンなどをタッチしないように操作してください。
- 電子書籍やWord、Excelファイルなどを表示中は、コントロールボタンを非表示にしてからタッチ操作をしてください。
- メールテロップ表示中は、サイト表示中のスクロールなどタッチ操作ができない場合があります。テロップ以外をタッチしてテロップを非表示にしてから操作してください。

■ ロングタッチメニューで操作する

ビジュアルメニュー（☞P.341）で画像／ｉモーションのデータ一覧画面を表示している場合、ロングタッチメニューを利用すると、画像やｉモーションの次の操作を簡単に利用できます。

■ メール添付　■高速赤外線通信（IrSS™機能）で送信（JPEG画像）
■ 削除　■FOMA端末とmicroSDカードの間で移動／コピー

1 画像／ｉモーションのデータ一覧画面で画像／ｉモーションをロングタッチ

- ロングタッチメニューが表示されます。

2 データを目的の機能の上に重ねるようにスライド

■ その他の操作

ページの切り替え

メニュー画面などに複数のページがある場合は、左右にすばやくスライドしてページを切り替えます。

- 画面に[▲]／[▼]などのボタンが表示されている場合は、ボタンをタッチしてページを切り替えることができます。

音量調節

音量バーが表示された場合、音量バーをタッチしたまま上下にスライドすると、音量を調節できます。

数字入力

端末暗証番号やPINコードなど数字入力が必要なとき、数字パネルが表示されます。なお、日時の設定などの場合、入力欄をタッチしてカーソルを合わせ、もう一度タッチすると数値設定ドラムが表示されます。数値設定ドラムをタッチしたまま上下にスライドして数値を選び、[決定]をタッチすると数値を入力できます。

数字パネル　数値設定ドラム

文字入力

- タッチパネルで文字を入力する方法については☞P.446

音声クイック起動

音声クイック起動を利用する

待受画面から音声で機能を呼び出して実行することができます。
利用したい機能がメニューのどこにあるのかわからないときや、利用したい機能をすばやく起動させることができます。

- 次のような操作は音声ではできません。
  - ■ 機能起動後の操作　■ 特定のサイトの表示
  - ■ メールBOXやデータBOXなどの中にある特定のデータの表示／再生

1 待受画面で✓(1秒以上)

- はじめて起動したときは、音声クイック起動についての説明や発話例が表示されます。記載内容をお読みになり[利用する]を選択するか、📷を押してください。
- 表示される文章の音声読み上げ切替：MENU
- 音声読み上げの音量を調節：音声読み上げ中に◎
- 音声読み上げを次に進める：📷
- 操作ガイドの表示：i

2 [それではどうぞ　★★音声受付中★★]と表示されたら、送話口に向かって起動したい機能を話す

- 約10秒以内で話してください。話し終わるか、約10秒経過する、または◉を押すと音声入力が終了し、該当する機能を起動します。
- 音声が認識されなかった場合は、◉を押すと音声入力できます。
- 機能を起動するために追加の情報が必要なときは、質問が表示されます。必要な情報を話してください。
- 起動する機能を特定できないときは、使いかたガイドを起動します。
- 音声クイック起動の終了：☎▶[はい]

例：利用したい機能の機能名を話す

■「電卓」と話す：電卓が起動
■「ワンセグ」と話す：ワンセグが起動

例：利用したい機能のキーワードを話す

■「計算」と話す：電卓が起動
■「テレビ」と話す：ワンセグが起動
■「アドレス交換」と話す：赤外線通信でプロフィールの送受信が起動

例：利用したい機能のキーワードを複数話す

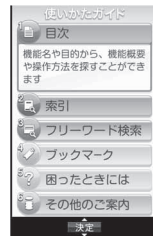
■「写真　見る」と話す：マイピクチャが起動
■「メール　問い合わせ」：メール／メッセージ問合せが起動
■「スケジュール　4月25日」：その年の4月25日のスケジュールを表示
■「○○さんにメール」※：宛先に○○さんのメールアドレスを入力したメール作成画面を表示

※ 電話帳に登録している名前を発声してください。同じ名前を複数登録している場合は電話帳の一覧が表示されます。

- 次の場合は正しく認識できないことがあります。
  ■ 声が大きすぎたり、小さすぎる場合
  ■ 周囲の雑音が大きい場合
  ■ 発声が明瞭でない場合
  ■ 発声が不自然だったり、速度が速すぎる場合

使いかたガイド

使いかたガイドを利用する

FOMA端末の操作方法がわからないときに利用してください。使いかたガイドが表示され、それぞれの機能の説明や操作方法などを確認することができます。また、使いかたガイドから機能を直接起動することもできます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[使いかたガイド]

2 項目を選ぶ

- フリーワード検索では、単語や文章を入力して探すことができます。
- Bookmarkに登録して、一覧から表示することもできます。

■ 内容表示画面のサブメニュー操作

[ズーム]▶設定を選ぶ

[ブックマーク登録]

ドコモUIMカードを使う

ドコモUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているＩＣカードです。ドコモUIMカードには、電話帳のデータやSMSを保存できます。ドコモUIMカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることもできます。

- ドコモUIMカードを取り付けないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、iモード、メールの送受信、パケット通信などの通信機能を利用できません。
- 本FOMA端末ではFOMAカード（青色）はご使用になれません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取替えください。

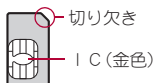
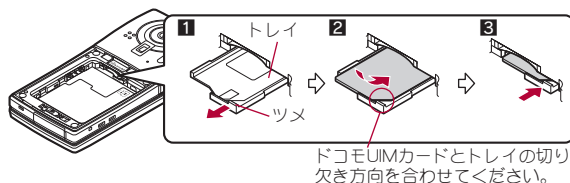
取り付けかた／取り外しかた

- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから背面を上向きにし、電池パックを取り外してから行ってください。FOMA端末は、閉じた状態で両手でしっかり持ってください。

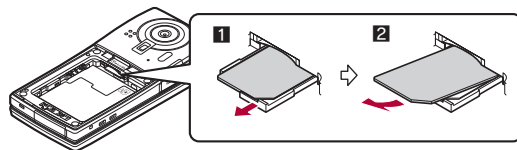
■ 取り付けかた

1 ツメに指などをかけて、トレイを引き出す（1）

- トレイが止まるところまで、まっすぐ引き出します。

2 ドコモUIMカードのＩＣ（金色）面を下に向けて、トレイにセットする（2）

3 トレイを奥まで差し込む（3）

■ 取り外しかた

1 ツメに指などをかけて、トレイを引き出し（1）、ドコモUIMカードを取り外す（2）

- 取り外す際は、ドコモUIMカードを落とさないようにご注意ください。

- 無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとドコモUIMカードが破損したり、トレイが変形したりするおそれがありますので、ご注意ください。
- ドコモUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモUIMカードの取扱説明書を参照してください。
- 取り外したドコモUIMカードは、なくさないようにご注意ください。
- トレイが外れたときは、トレイをガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。

暗証番号

ドコモUIMカードには「PIN1コード」、「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも［0000］に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます（☞P.124）。

ドコモUIMカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するための機能として、ドコモUIMカードセキュリティ機能（ドコモUIMカード動作制限機能）が搭載されています。

- FOMA端末にドコモUIMカードを挿入した状態で、次のいずれかの方法でデータやファイルを取得したり、iアプリを起動したりすると、取得したデータやファイルにはドコモUIMカードセキュリティ機能が自動的に設定されます。
  - ■ サイトやインターネットホームページから画像やメロディ、PDF、XMDF形式／テキスト形式の電子書籍などのファイルをダウンロードしたとき
  - ■ サイトやインターネットホームページを画面メモ登録したとき
  - ■ ファイルが添付されているiモードメールを受信したとき
  - ■ iアプリを起動したとき
- ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイル、ソフトは、取得時に挿入していたドコモUIMカードが挿入されているときのみ、表示／再生／iモードメールへの添付／ソフトの起動／赤外線通信機能やiC通信機能によるデータの送信、microSDカードへのコピーなどを実行できます。別のドコモUIMカードに差し替えると、これらの操作が実行できなくなります。
- ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されるデータは次のとおりです。
  - ■ メロディ
  - ■ 画像（アニメーション、Flash画像を含む）
  - ■ 画面メモ
  - ■ 着うた®※・着うたフル®
  - ■ キャラ電
  - ■ メッセージR／Fに添付されているファイル
  - ■ iモーション
  - ■ トルカ（詳細）の画像
  - ■ PDFデータ
  - ■ デコメール®や署名に挿入されている画像
  - ■ きせかえツール
  - ■ iアプリ（iアプリ待受画面を含む）
  - ■ マチキャラ
  - ■ ダウンロードフォント
  - ■ ダウンロード辞書
  - ■ コンテンツ移行対応のデータ
  - ■ メッセージR／F本文中の画像
  - ■ Music&Videoチャネルの番組
  - ■ ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されたデータが含まれたデコメール®のテンプレート
  - ■ デコメアニメ®テンプレート
  - ■ 電子書籍／電子辞書／電子コミック
  - ■ 下記以外のiモードメールに添付されているファイル
    - ・トルカ　・電話帳　・スケジュール
    - ・Bookmark　・ドキュメント
  - ■ テレビ電話伝言メモ、動画メモ

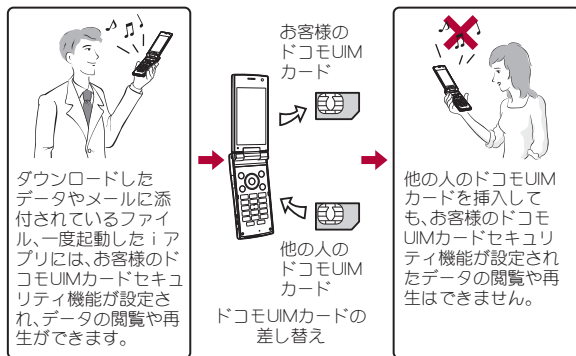
  ※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- ドコモUIMカードに保存される設定は次のとおりです。
  - ■ 自局電話番号
  - ■ UIMカード（FOMAカード）設定
  - ■ Select language（バイリンガル）
  - ■ SSL／TLS証明書
  - ■ 有効期限設定
  - ■ 本文入力設定
  - ■ SMSセンター設定
  - ■ 優先ネットワーク設定
- 以降、データやファイルの取得時に挿入していたドコモUIMカードを「お客様のドコモUIMカード」、それ以外のドコモUIMカードを「他の人のドコモUIMカード」として説明しています。

ダウンロードしたデータやメールに添付されているファイル、一度起動したｉアプリには、お客様のドコモUIMカードセキュリティ機能が設定され、データの閲覧や再生ができます。

お客様のドコモUIMカード

他の人のドコモUIMカード

ドコモUIMカードの差し替え

他の人のドコモUIMカードを挿入しても、お客様のドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されたデータの閲覧や再生はできません。

- 他の人のドコモUIMカードに差し替えたときに、ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルを待受画面や着信音などに設定できません。
- ドコモUIMカードを他の人のドコモUIMカードに差し替えると、ドコモUIMカードセキュリティ機能がはたらき、サイトなどからダウンロードしたデータやファイルを待受画面や着信音などに設定していた場合、お買い上げ時の設定で動作します。お客様のドコモUIMカードを挿入し直すと、設定した状態に戻ります。

  例：ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定された[メロディA]を着信音に設定したとき

  お客様のドコモUIMカードを抜いたり、他の人のドコモUIMカードに差し替えたりすると、着信音はお買い上げ時に設定されていた着信音になります。お客様のドコモUIMカードを挿入し直すと、[メロディA]の着信音に戻ります。
- 赤外線通信機能やデータの送受信機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影した静止画や動画などには、ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されません。
- 他の人のドコモUIMカードを挿入した状態でも、ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルを移動したり削除することはできます。
- ｉモードメールのメール詳細画面で反転表示されている文字などを選択して、ｉアプリを起動する場合、ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されていると、起動や取得ができません。
- ｉアプリ待受画面を設定後、他の人のドコモUIMカードに差し替えると、設定したｉアプリを待受で起動できないため、待受画面選択で設定した画像が表示されます。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

電池パックは、FOMA端末専用の電池パック SH23をご利用ください。

- FOMA端末の電源を切り、閉じた状態で、両手で持って行ってください。
- 電池パックは防水／防塵性能を有しておりません。

■ 取り付けかた

1 リアカバーを取り外す（☞P.24）

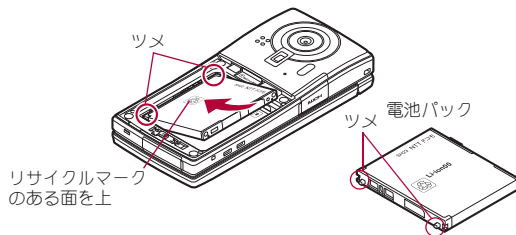
2 電池パックを取り付ける

- 電池パックのリサイクルマークのある面を上に向けて、FOMA端末と電池パックのツメを合わせて取り付けてください。

ツメ

電池パック

ツメ

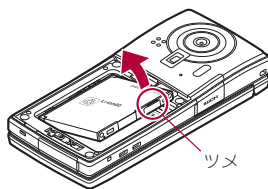
リサイクルマークのある面を上

3 リアカバーを取り付ける（☞P.23）

■ 取り外しかた

1 リアカバーを取り外す(☞P.24)

2 電池パックを取り外す

- 電池パックには取り外し用のツメが付いています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指をかけて上方向に取り外してください。

ツメ

- 無理に取り付けたり、取り外したりすると、FOMA端末の電池パックとの接続端子(充電端子)が破損することがあります。
- リアカバーはしっかりと閉めてください。不十分だとリアカバーが外れ、振動で電池パックが外に飛び出すおそれがあります。また、防水/防塵性能が損なわれ、水や粉塵が浸入する原因となります。

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタ(別売)、DCアダプタ(別売)で充電してからご使用ください。

- 外部接続端子カバーの閉め忘れによる水や粉塵の浸入を防ぐため、付属の卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします(☞P.56)。
- ACアダプタ、卓上ホルダは防水/防塵性能を有しておりません。FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。充電時の、防水/防塵性能に関する注意事項については☞P.27

■ 充電時のご注意

- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、FOMA端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。
  このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタからFOMA端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、電池アラーム音が鳴る、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされ、電池アラーム音が鳴ったあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 電池切れの表示がされ、電池アラーム音が鳴ってから60秒以内に充電を始めると、通常の状態に復帰します。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから(電池残量が減ってからなど)充電することをおすすめします。

■ 充電時間の目安とランプ表示について

FOMA端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間の目安は次のとおりです。

FOMA ACアダプタ01/02	約120分
FOMA DCアダプタ01/02	約120分

- 充電中は充電ランプが赤色で点灯し、充電が完了すると消えます。
- 充電ランプが赤色で点滅したときは、電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。また、電池パックが寿命のときも赤色で点滅します。
- FOMA端末の電源を入れておいても充電できます(充電中は電池アイコンが点滅します)。

次ページへ続く

- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。充電停止中は、充電ランプは消灯します(電池アイコンは停止中でも点滅します)。

■ 十分に充電したときの利用可能時間(目安)

連続通話時間	FOMA/3G		音声電話時:約220分
			テレビ電話時:約110分
	GSM		音声電話時:約200分
連続待受時間	FOMA/3G	3G/GSM切替:3G	移動時:約330時間
		3G/GSM切替:自動	移動時:約310時間
			静止時:約460時間
	GSM	3G/GSM切替:自動	静止時:約250時間
ワンセグ視聴時間			約290分

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態で使用できる時間の目安であり、連続待受時間は、FOMA端末を折りたたんで、電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。iモード通信を行うと、通話(通信)・待受時間は短くなります。iチャネルをご契約の場合は、情報を自動的に受信して更新しますので、通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信を行わなくても、画像の撮影や編集、ワンセグの視聴、iモードメールの作成、ダウンロードしたiアプリやiアプリ待受画面の起動、ミュージックプレーヤー、iモーションプレーヤー、Bluetooth機能、Wi-Fiの使用、データ通信、Music&Videoチャネルの番組の取得や再生、オートGPS機能の利用などによって、通話(通信)・待受時間は、短くなります。iアプリのソフトによって、ダウンロードしたあとも通信を行う場合があります。あらかじめ設定することによって、接続を行わないようにできます。
- 実際のご利用時間は、待受と通話の組み合わせとなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。
- ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク 01(別売)を使用して視聴できる時間の目安です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより、通話(通信)・待受時間が半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。

■ 電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらiアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion00

■ 充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ01/02(別売)、FOMA海外兼用ACアダプタ01(別売)、FOMA DCアダプタ01/02(別売)の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ02/FOMA海外兼用ACアダプタ01は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

卓上ホルダを使って充電する

- FOMA端末を開いた状態やビューアポジションでも充電できます。

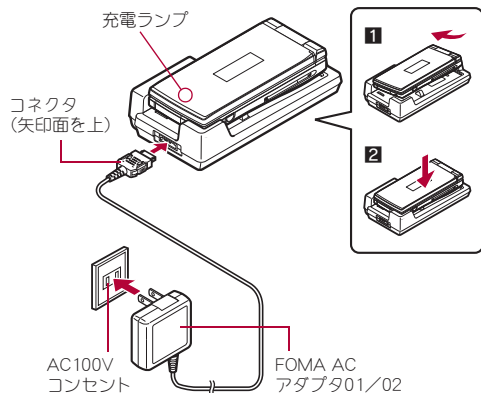
1 ACアダプタのコネクタの矢印面を上に向けて、卓上ホルダの接続端子に差し込む

- コネクタが卓上ホルダに水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

3 **FOMA端末を卓上ホルダに置くと、充電確認音が鳴り、充電ランプが点灯して、充電が開始する**

- 卓上ホルダにFOMA端末の左側面部を当て（1）、下方向（2）に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

充電ランプ
コネクタ（矢印面を上）
AC100V コンセント
FOMA AC アダプタ01／02

4 **充電確認音が鳴り、充電ランプが消灯すると、充電が完了する**

- 卓上ホルダを押さえながら、FOMA端末を持ち上げます。

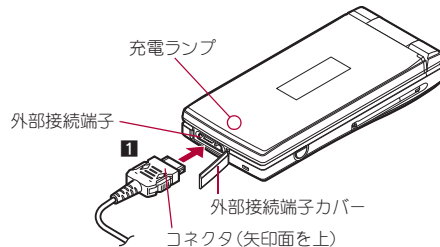
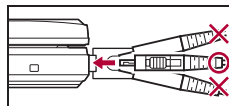
- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 充電確認音が鳴らないときや充電ランプが点灯しないときは、FOMA端末が卓上ホルダに正しく置かれていないことがあります。正しく置きなおしてください（電源を切っているときやマナーモード中、充電確認音が［OFF］の場合は除く）。
- FOMA端末を卓上ホルダに置くときは、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- FOMA端末を卓上ホルダに装着した状態でビューアポジションにするときは、卓上ホルダから外れないようにFOMA端末を押さえながら操作してください。

ACアダプタ／DCアダプタを使って充電する

［必ずFOMA ACアダプタ01／02（別売）、FOMA DCアダプタ01／02（別売）の取扱説明書を参照してください］

- FOMA端末を開いた状態やビューアポジションでも充電できます。

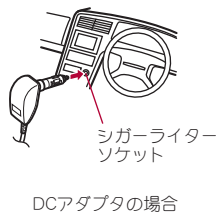
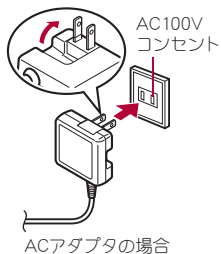
1 **外部接続端子カバーを開き、ACアダプタまたはDCアダプタを外部接続端子に水平に差し込む（1）**

充電ランプ
外部接続端子
外部接続端子カバー
コネクタ（矢印面を上）

- コネクタの向き（裏表）をよく確かめ、FOMA端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む、またはDCアダプタの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込むと、充電確認音が鳴り、充電ランプが点灯して、充電が開始する**

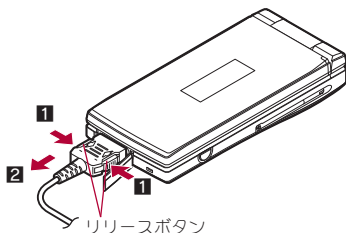
次ページへ続く

AC100V
コンセント

シガーライター
ソケット

ACアダプタの場合　DCアダプタの場合

3 充電確認音が鳴り、充電ランプが消灯すると、充電が完了する

- コネクタを取り外すときは、コネクタの両側にあるリリースボタンを押したまま(1)、コネクタを水平に抜いてください(2)。

リリースボタン

- 無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子やコネクタが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。
- 長時間使用しないときは、アダプタをコンセントまたはシガーライターソケットから抜いてください。
- 外部接続端子カバーは無理に引っ張らないでください。破損することがあります。

- 充電時FOMA端末の周りに物などを置かないでください。FOMA端末に傷を付けるおそれがあります。ビューアポジションで充電すると、ディスプレイなどに傷が付く場合があります。

DCアダプタのとき

- DCアダプタはマイナスアース車専用です(DC12V・24V両用)。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズ(2A)は消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。
- 詳しくは、FOMA DCアダプタ01／02の取扱説明書をご覧ください。

電池残量

電池残量の確認のしかた

電池残量をアイコンやパーセント表示で確認できます。

- 電池アイコン設定で電池アイコンを変更すると、[LOW]、[5%]～[99%]、[FULL]と表示することもできます。
- 表示されるアイコンやパーセント表示は目安です。
- 使用状況によっては、電池残量が大きく変動することがあります。
- 充電完了後でも、FOMA端末を長時間放置している場合や、電源を入れたままにしている場合は、電池残量が減少している場合があります。

	81～100%	電池残量が十分残っています。
	61～80%	電池残量が残っています。
	41～60%	電池残量が少なくなっています。
	21～40%	電池残量が残りわずかになっています。
	1～20%	電池残量がほとんどありません。充電してください。

■ 電池アイコンのデザインを変更する<電池アイコン設定>

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[電池]▶[電池アイコン設定]

2 設定を選ぶ

■ 電池アイコンを一時的にパーセント表示にする<電池マーク%一時表示>

ディスプレイの表示が消えた状態から再度表示させると、電池アイコンが約３秒間パーセント表示されます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[電池]▶[電池マーク%一時表示]

2 設定を選ぶ

電池残量を音と表示で確認する<電池残量>

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[電池]▶[電池残量]

- 電池残量をパーセント表示とグラフィックで表示します。また、電池残量に応じて、電池残量確認音の鳴動回数でもお知らせします。

グラフィック	電池残量確認音の鳴動回数
Level 5	5回
Level 4	4回
Level 3	3回
Level 2	2回
Level 1	1回

- 約３秒間経過すると表示は消えます。
- 電池残量確認音は、キー確認音の設定に従い、電話着信音量で設定した音量で鳴ります(☞P.103)。ただし、電話着信音量が[Steptone]のときは[Level 5]で鳴ります。
- マナーモードを設定している場合、電池残量確認音はマナーモードのキー確認音、電話着信音量の設定に従います。

電池が切れたら

電源が切れそうになると、[電池がありません。操作を終了して充電してください]と表示され、電池アラーム音が「ピピピ…」と鳴ります。端末の操作ができなくなり、約60秒後に電源が切れます。

- ⌐を押すと電池アラーム音が止まります。
- 音声電話やテレビ電話の通話中や発信中も同じメッセージが表示され、電池アラーム音が受話口から聞こえます。約20秒後に通話が切れ、約60秒後に電源が切れます。
- マナーモードや公共モード(ドライブモード)を設定しているときは、電池アラーム音は鳴りません(通話中を除く)。

電源ON／OFF

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 (2秒以上)

- ウェイクアップ画面が表示されます。表示されるまで時間がかかることがあります。
- はじめて電源を入れたときは、初期設定(☞P.60)の操作を行ってください。
- 初期設定が完了しているときは、電源を入れると待受画面が表示されます。

Welcomeメールについて

- お買い上げ時は、「Welcome E★エブリスタ」、「SH-01Cデビュー!!」が保存されています。
- Welcomeメールの確認：待受画面で◉▶ストックアイコン[✉](新着メールあり)を選ぶ
  - ・以降の操作については☞P.155

待受画面

- 初期設定が完了していないときは、電源を入れるたびに設定画面が表示されます。
- ドコモUIMカードが挿入されていないときは、[ドコモUIMカード(FOMAカード)を挿入／再確認してください]と表示され、ドコモUIMカードエラーが表示されます(☞P.37)。
- [PIN1コードを入力してください]と表示されたときは、PIN1コード(☞P.124)を入力します。
- ドコモUIMカードを差し替えたときは、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。正しく入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。ただし再度電源を入れることは可能です。
- [圏外]が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。表示が消えるところまで移動してください。

■ 電源を切る

1 (2秒以上)

- 電源が切れるまで時間がかかることがあります(電源が切れるまでディスプレイに終了画面が表示されます)。

初期設定

初期設定を行う

はじめてFOMA端末の電源を入れると自動的に初期設定画面が表示されます。各設定項目はメニューからも設定できます(初期設定が完了しているときは、待受画面が表示されます)。

- 端末暗証番号または位置提供可否が設定されていないときは、FOMA端末の電源を入れるたびに、設定画面が表示されます。
- ノーマルメニューで[本体設定]▶[その他設定]▶[初期設定]でも設定画面を表示できます。
- 初期設定を中止するときは、を押します。

1 [日付時刻設定]▶日付・時刻を設定(☞P.61)

2 [端末暗証番号設定]▶端末暗証番号を登録(☞P.123)

3 [キー確認音設定]▶キー確認音を設定(☞P.103)

4 [文字サイズ設定]▶文字サイズを一括設定(☞P.119)

5 [位置提供可否設定]▶GPS位置提供可否を設定(☞P.328)

6 [📷]

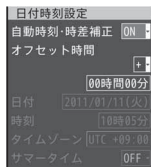
- 初期設定が完了するとソフトウェア更新機能確認画面が表示されます。記載内容をお読みになり[確認]を選択してください(メニューから初期設定を行ったときや、ソフトウェア更新を[自動で更新]以外に設定しているときは表示されません)。

日付時刻設定

日付・時刻を合わせる

FOMA端末の日付と時刻を設定します。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[時計]▶[日付時刻設定]

- 通話料金自動リセット設定が[ON]に設定されている場合は、端末暗証番号を入力する必要があります。

2 各項目を設定▶[📷]

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 自動時刻・時差補正：時刻や時差の補正を自動で行うかどうかを設定します。
    - ・[ON]に設定した場合は、オフセット時間を設定できます。[OFF]に設定した場合は、日付、時刻、タイムゾーン、サマータイムを設定できます。
  - ■ オフセット時間：設定した時刻から時間を進めたり、遅らせることができます。
    - ・[＋]に設定すると、時間が進み、[－]に設定すると、時間が遅れます。
  - ■ 日付：日付を設定します。
    - ・2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。
  - ■ 時刻：時刻を設定します。
  - ■ タイムゾーン：タイムゾーンを設定します。
  - ■ サマータイム：サマータイムを利用するかどうかを設定します。

- 設定した日付・時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、約30秒以上電池パックを外した状態が続くとリセットされます。また、電池残量のない状態で放置するとリセットされることがあります。そのときは、充電してから設定し直してください。

- 日付・時刻を正しく設定しないと、次の機能が正しく利用できません。
  - ■ リダイヤル、着信履歴
  - ■ 自動電源ON／OFF
  - ■ アラーム
  - ■ スケジュール
  - ■ SSL／TLS通信（認証）
  - ■ ｉアプリ自動起動
  - ■ ｉアプリDX起動
  - ■ 視聴予約、録画予約
  - ■ マチキャラ
  - ■ ソフトウェア更新
  - ■ パターンデータ更新
  - ■ 音声電話伝言メモ、テレビ電話伝言メモ
  - ■ カメラ画像のタイトル・撮影日時記録
  - ■ 再生期限／再生期間が設定されているｉモーションや音楽データの再生
  - ■ 閲覧期限／閲覧期間が設定されている電子書籍／電子辞書／電子コミックの表示

自動時刻・時差補正を[ON]にしたとき

- 電源を入れたときにネットワークの時刻情報をもとに、時刻の補正を行います。
- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。
- 海外などで時差補正が行われると、リダイヤル、着信履歴やメール受信／送信履歴一覧（SMSのみ）、伝言メモ一覧、受信／送信メール一覧、位置履歴一覧には現地での日時と[🌐]が表示されます。受信／送信メールは表示されている日時の順ではなく、メールを受信／送信した順に表示されます。
- メールの未送信BOXには、[🌐]は表示されません。また、未送信BOXを日付順表示にしていると、未送信メールは表示されている日時の順に表示されます。
- 海外通信事業者のネットワークによっては時差補正が行われないときがあります。タイムゾーンを手動で変更してください。

次ページへ続く▶▶

- 海外でご利用時、次の場合を除いて日本時間と現地時間(または都市設定で設定した時間)がデュアル表示されます。
  - ■ 自動時刻・時差補正が[ON]で、海外通信事業者のネットワークから時刻補正情報を受信していないとき
  - ■ 自動時刻・時差補正が[OFF]で、都市設定を日本時間と同じ都市に設定しているとき

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

音声電話やテレビ電話をかけるときに、相手の電話機(ディスプレイ)に自分の電話番号(発信者番号)を表示させることができます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知するかしないかの設定については、十分にご注意ください。
- 発信者番号通知機能は、相手の電話機が発信者番号を表示可能な場合に利用できます。
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にするか「186」を付けてからおかけ直しください。
- 圏外のときは、発信者番号通知を設定できません。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[発着信・通話設定]▶[発信者番号通知]

2 項目を選ぶ

- ◆ **[設定確認]▶[はい]▶[OK]**
- ◆ **[設定]▶設定を選ぶ▶[OK]**

プロフィール

自分の電話番号を確認する

1 ノーマルメニューで[プロフィール]

- Aナンバー/Bナンバーの切替(2in1[デュアルモード]時):[i]

- 2in1のBナンバーを変更したときは、次のいずれかの方法で正しいBナンバーを取得してください。
  - ■ 2in1機能をOFFにしてから、再度2in1機能をONにする
  - ■ 2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定しているとき、Bナンバーのプロフィール情報表示画面で◉▶端末暗証番号を入力▶[MENU]▶[Bナンバー取得]▶[はい]▶[OK]
  - ■ 2in1契約問い合わせを行う
- ドコモUIMカードの差し替え(2in1契約者→2in1未契約者)を行ったときは、2in1機能をOFFにしてください。
- ドコモUIMカードの差し替え(2in1契約者→2in1契約者)を行ったときは、2in1契約問い合わせを行ってください。
- プロフィール登録については☞P.423

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話の設定

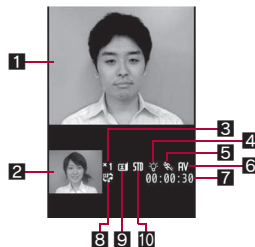
テレビ電話

画面に映ったお互いの映像を見ながら通話することができます。

- テレビ電話は64K(kbps)で通信できます。
- 相手がテレビ電話に出ると、画面下部に[テレビ電話接続]と点滅表示されます。この時点からデジタル通信料がかかりますので、ご注意ください。
- 緊急通報番号(110番、119番、118番)へテレビ電話をかけることはできません。
- テレビ電話通信機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。
- テレビ電話中は、お互いの映像を見ながら通話できるように、イヤホンマイク(別売)(☞P.430)を利用するか、ハンズフリーを利用してください。
- ドコモのテレビ電話は、「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1 3GPP(3rd Generation Partnership Project):第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2 3G-324M:第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

テレビ電話中の画面の見かた

- 画面はイメージで、実際に同じ画面は表示されません。

1 親画面:相手側の映像(お買い上げ時)

2 子画面:自分側の映像(お買い上げ時)

3 ズームマーク

×1 :×1(標準)～×16(16倍)

4 ライトON

5 送信画像品質

HQ :画質優先

🏃 :動き優先

- 送信画像品質が標準以外のときに表示されます。

6 音声・映像送受信中／受話音量マーク

A :音声送受信中

V :映像送受信中

AV :音声・映像送受信中

🔈5 :🔈1(音量1)～🔈10(音量10)

7 通話時間

- 表示される通話時間は目安です。通話時間は23:59:59まで表示され、これを超えると00:00:00に戻ります。

8 音声電話／テレビ電話切替可

- 音声電話／テレビ電話の切り替えが可能な場合に表示されます。

9 状態マーク

📷 :自画像を送信中

🖼 :代替画像を送信中

:キャラ電を送信中
:静止画を送信中
:通話保留中
:応答保留中
:伝言メモ動作中
:動画メモ録画中

10 送信画像モードマーク
STD :標準モード※1
Action:全体アクション※2
Parts:パーツアクション※2
※1 キャラ電以外のときに表示されます。
※2 キャラ電のときに表示されます。

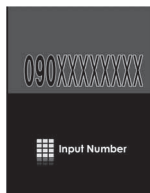
● テレビ電話中のディスプレイの明るさは、テレビ電話動作設定の明るさ調整の設定に従います。

電話/テレビ電話をかける

● 電波が強く[Yıl]が表示されていて移動せずに通話をしているときでも、通話が切れることがあります。
● マルチナンバーを選んでかけるとき☞P.461
● 2in1利用時に発信番号を選んでかけるとき☞P.462

1 待受画面で電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 80桁まで入力できます。
- 最後の1桁を消去:CLR
- すべての桁を消去:CLR(1秒以上)

090XXXXXXXX
Input Number

2 (音声電話)/(テレビ電話)

- 2in1のモードが[デュアルモード]のときは、発信番号選択画面が表示されます。発信番号を選択してください。
- 携帯電話は一般の電話と違い、「ルルル……」という呼出音の前に「プッププッ」という発信音が入ります。
- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。電話を切り、しばらくたってからかけ直してください。

音声電話中のボタン操作
- トリプルくっきりトークの設定/解除:
- 電話帳の表示:

テレビ電話中のボタン操作
- 代替画像/自画像の切替:
- 親画面/子画面の切替:
- メインカメラ/サブカメラの切替:
- 親画面のサイズ切替:(1秒以上)
- ピクチャーライトの点灯/消灯:(1秒以上)
  - 自画像送信中でメインカメラ使用時のみ操作できます。

3 通話が終わったら

音声電話のとき
● 操作1と2の手順を逆にしても電話をかけることができます。このとき、電話番号を入力してから約5秒間何も操作しないと発信します。

テレビ電話のとき
● テレビ電話に対応していない端末にテレビ電話をかけたときは接続できません。また、ネットワーク状況によって64Kが利用できない機器と接続するときも接続できません。
● キャッチホンをご契約いただいている場合、テレビ電話中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、着信履歴に記憶され、ストックアイコン[](着信あり)が表示されます。
● 音声や映像の送受信に失敗したとき、自動的に復旧はしません。もう一度テレビ電話をかけ直してください。

次ページへ続く

テレビ電話がつながらなかったとき

- テレビ電話がつながらなかったときは、接続できなかった理由をメッセージで表示します。なお、相手のFOMA端末の種類やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とは異なる場合があります。
  - ■ [番号をご確認の上おかけ直しください]:使われていない電話番号にかけたときに表示されます。
  - ■ [お話中です]:相手が通話中に表示されます(相手の端末によっては、パケット通信中のときにも表示されることがあります)。
  - ■ [電波の届かない所にいるか、電源が切れています]:相手が圏外にいるか、または電源を入れていません。
  - ■ [発信者番号通知をONにしてください]:発信者番号非通知で接続したときに表示されます(ビジュアルネットなどの発信時)。
  - ■ [音声電話でおかけ直しください]:転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末のときに表示されます。
  - ■ [パケット通信中です]:相手がパケット通信中に表示されます。
  - ■ [上限額を超過しているため接続出来ません]:リミット機能付プランの上限額を超過しているときに表示されます。
  - ■ [接続できませんでした]:いずれの理由にも該当しないときに表示されます。

トリプルくっきりトークについて

- トリプルくっきりトーク設定中は、[トリプルくっきりトーク]と表示されます。
- ノイズキャンセラを[トリプルくっきりトーク]に設定した場合のみ、通話中にトリプルくっきりトークの設定/解除を行うことができます。
- 次の場合はトリプルくっきりトークを通話中に解除しても、再度トリプルくっきりトークが設定されます。
  - ■ テレビ電話から音声電話に切り替えた場合
  - ■ キャッチホンの電話を受けるなど、別の電話を受けた場合

フェムトセル利用時の表示について

- フェムトセルの設定については☞P.440
- フェムトセル利用中は、その旨が表示されます。
  - ■ 音声電話/テレビ電話の発信中:[フェムトセル発信中]
  - ■ 音声電話/テレビ電話の呼出中:[フェムトセル呼出中]
  - ■ 音声電話の通話中:[フェムトセル通話中]

■ 電話番号入力画面のサブメニュー操作

[発信オプション]	☞P.67
[着もじ]	☞P.72
[マルチナンバー]	☞P.461
[自局番号](2in1のモードが[デュアルモード]のときのみ)▶電話番号の種類を選ぶ	
[電話帳新規登録]▶電話帳に登録	
[電話帳更新登録]▶電話帳に登録	

■ 音声電話中画面のサブメニュー操作

[着信履歴]	☞P.69
[リダイヤル]	☞P.69
[日付時刻設定]	☞P.61
[再接続アラーム音]	☞P.76
[通話品質アラーム音]	☞P.76
[通話中クローズ設定]	☞P.76
[ダイヤル入力]	
[Bluetooth通話切替]/[本体通話切替] ● Bluetooth機器を利用した通話の詳細については☞P.437	

■ テレビ電話中画面のサブメニュー操作

[音声電話切替]	☞P.68
[カメラ調整]	☞P.87
[代替画像]	
▶[キャラ電設定]	
▶[キャラ電切替]	☞P.85
▶[アクション切替]	☞P.85
▶[アクション一覧]	☞P.86
▶[カメラオフ画像]	☞P.86
▶[静止画]	☞P.86

[ライトON]／[ライトOFF]

[メインカメラへ切替]／[サブカメラへ切替]

[画像品質設定] ☞P.87

[テレビ電話動作設定] ▶ 各項目を設定 ▶ [カメラ]

[DTMF送信]
- ダイヤルボタンを押すとプッシュホン信号を送信します。

[Bluetooth通話切替]／[本体通話切替]
- Bluetooth機器を利用した通話の詳細については☞P.437

■ 発信オプションを使って電話をかける<発信オプション>

発信方法や番号通知などの条件を設定して電話をかけることができます。

1 待受画面で電話番号を入力 ▶ [MENU] ▶ [発信オプション]

2 各項目を設定

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 着もじ：☞P.71
  - ■ マルチナンバー：☞P.461
  - ■ 自局番号：☞P.462
  - ■ 発信方法：☞P.65
  - ■ 番号通知：☞P.72
  - ■ プレフィックス：☞P.75
  - ■ 国際電話発信：☞P.74、P.471
  - ■ 国際プレフィックス：☞P.74
  - ■ 国番号：☞P.74、P.471

3 [カメラ]

通話中に保留する

1 通話中に◉

2 通話を再開するときは[通話]／◉

- テレビ電話中は[メール]を押すと代替画像で再開できます。

- 相手には保留音が流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。テレビ電話のとき、相手にはテレビ電話画像選択の通話中保留画像（☞P.87）で設定した画像が送信されます。
- 保留中にFOMA端末を閉じたときの動作は、通話中クローズ設定に従います。ただし、イヤホンマイク（別売）などを接続しているときは、保留中にFOMA端末を閉じても保留状態は続きます。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

次ページへ続く▶▶

● FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話発信した場合は切断されます。音声自動再発信（☞P.87）を［ON］に設定している場合、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

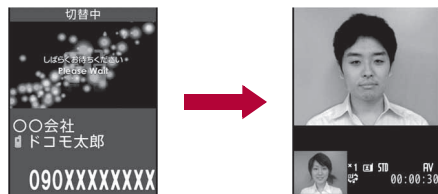
テレビ電話切替／音声電話切替

電話／テレビ電話を切り替える

自分から電話をかけたときに、音声電話⇔テレビ電話を切り替えることができます。

● 相手のFOMA端末のテレビ電話切替機能通知（☞P.88）が「開始」に設定されている必要があります。
● 電話を受けたときは切り替えることができません。相手から切り替えてもらってください。

1 音声電話通話中に[i]▶［はい］

• テレビ電話通話中に音声電話に切り替え：MENU▶［音声電話切替］▶［はい］
• 切り替えには、約5秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかるときがあります。切り替え中は、［しばらくお待ちください］と表示され、音声ガイダンスが流れます。

音声電話からテレビ電話へ切り替えるとき

● 国際ローミング中は切り替えることができません。
● 音声電話⇔テレビ電話を切り替えると、通話時間表示は0秒から開始されます。
● 電波状況によっては、音声電話からテレビ電話またはテレビ電話から音声電話に切り替わらず、接続が切れるときがあります。
● 切り替え中は、通話時間に含まれず、料金は加算されません。

音声電話からテレビ電話へ切り替えるとき

● 相手が映像を表示しないように選択したとき、相手側のカメラ映像は表示されません。
● パケット通信中のときは、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
● ハンズフリーの切り替えは、テレビ電話動作設定のハンズフリー設定に従います。
● キャッチホンでの通話中に、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。

テレビ電話から音声電話へ切り替えるとき

● ハンズフリーは解除されます。

ハンズフリー

ハンズフリーに切り替える

ハンズフリーを利用すると、通話中の相手の音声などをスピーカから流して通話することができます。

● ハンズフリーを利用する場合、送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
● 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所でハンズフリー通話を行うときは、イヤホンマイク（別売）をご利用ください。

1 通話中に[✓]

• ハンズフリー通話中、音が割れて聞きとりにくいときは、受話音量を下げてください。

ハンズフリーの解除

• 通話中に[✓]

● テレビ電話中のハンズフリーは、テレビ電話動作設定のハンズフリー設定に従います。
● 発信中、呼出中も操作できます。着信中は操作できません。
● 通話を終了するとハンズフリーは解除されます。

リダイヤル／着信履歴を利用する

最新の履歴からそれぞれ30件までFOMA端末に記憶されます。

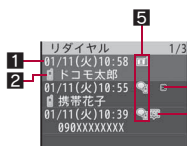
- 同じ電話番号に複数回かけたときは最新の１件だけがリダイヤルに記憶されます。ただし、「186」や「184」を付けて電話をかけたときは、別のリダイヤルとして記憶されます。
- 2in1利用時は、AナンバーとBナンバーのリダイヤル／着信履歴がそれぞれ30件まで記憶されます。
- 電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。
- 着もじを受信した着信履歴の場合、画面下部に受信したメッセージが表示されます。

1 待受画面で◎(⇒)(リダイヤル)／◎(⇒)(着信履歴)

- ノーマルメニューでは：[電話機能]▶[発着信履歴]▶[着信履歴]／[リダイヤル]
- 詳細画面の表示：電話番号を選ぶ
- 次ページ／前ページの切替：◎
- メールの作成：電話番号にカーソルを合わせる▶✉
  - ・電話帳未登録の電話番号または電話帳にメールアドレスが登録されていない名前の場合は、SMSを作成します。
- SMSの作成：電話番号にカーソルを合わせる▶✉(１秒以上)

リダイヤル 1/3
01/11(火)10:58
ドコモ太郎
01/11(火)10:55
携帯花子
01/11(火)10:39
090XXXXXXXX

リダイヤル一覧画面

着信履歴 1/3
01/11(火)11:19
携帯花子
01/11(火)11:12
090XXXXXXXX
01/11(火)11:04 4"
ドコモ太郎

着信履歴一覧画面

1 発着信日時
　:海外などで日時が時差補正されたときに表示

2 相手の名前／電話番号
- 電話帳に登録されているときは、名前と電話種別アイコンが表示されます。
- 電話帳未登録でリダイヤルにある電話番号から着信した場合は、着信履歴で電話番号と[(折り返し着信)]が表示されます。

3 2in1のモード種別
B :Bナンバー発着信(2in1のモードが[デュアルモード]時のみ)

4 リダイヤルの種類
:発信者番号を通知したリダイヤル
:発信者番号を通知しなかったリダイヤル

5 電話の種類
:音声電話
:音声電話(国際発信)
:テレビ電話
:テレビ電話(国際発信)
:64Kデータ通信(着信履歴のみ)
:64Kデータ通信(国際発信)(着信履歴のみ)
:フェムトセル在圏中の音声電話
:フェムトセル在圏中の音声電話(国際発信)
:フェムトセル在圏中のテレビ電話
:フェムトセル在圏中のテレビ電話(国際発信)

6 着信履歴の種類
:不在着信(電話に応答しなかったもの、転送先や留守番電話サービスセンターに転送したもの、メモリ別着信許可(☞P.131)、メモリ別着信拒否(☞P.131)、メモリ登録外着信拒否(☞P.131)、着信拒否設定(☞P.132)、公共モード(ドライブモード)(☞P.81)の設定により着信が拒否されたもの)
:伝言メモで用件を録音／録画したもの※
:着もじ
:着もじ付き不在着信
:着もじ付き伝言メモ※

※ 伝言メモを削除すると、不在着信のマークに変わります。

7 不在着信時の呼出時間
- 呼出時間は０秒～99秒まで表示されます。

2 電話番号にカーソルを合わせる

3 ⌒(音声電話)／▣(テレビ電話)

次ページへ続く▶▶

- シークレット属性を設定した電話帳データは、シークレットモードが[OFF]で電話帳のプライバシー設定の発着信履歴に表示を[しない]に設定している場合、リダイヤル／着信履歴画面に表示されません。発着信履歴に表示を[する]に設定している場合は、電話番号のみが表示されます。
- 通話中に音声電話⇔テレビ電話を切り替えても、電話の種類には発信時／応答時の種類が表示されます。
- ダイヤルインをご利用の相手からの着信のとき、相手のダイヤルイン番号とは異なる番号が表示されるときがあります。
- 着もじを受信した着信履歴から発信しても、受信した着もじは送信されません。
- 電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、先に登録した方の名前が表示されます。
- 人物画像表示設定を[ON]に設定しているときは、リダイヤル／着信履歴詳細画面にも電話帳に設定している画像が表示されます。ただし、次の場合は表示されません。
  - ■ パーソナルデータロック中
  - ■ 名刺リーダーで撮影した画像を電話帳に設定している場合
  - ■ シークレットモードが[OFF]でシークレット属性を設定している電話帳データの場合

■ リダイヤル一覧画面のサブメニュー操作

[発信オプション] ☞P.67

[着もじ] ☞P.72

[マルチナンバー] ☞P.461

[自局番号](2in1のモードが[デュアルモード]のときのみ)▶電話番号の種類を選ぶ

[居場所を確認]▶[はい]

[登録]

▶[電話帳新規登録]▶電話帳に登録

▶[電話帳更新登録]▶電話帳に登録

[削除]

▶[1件削除]▶[はい]

▶[選択削除]▶電話番号を選ぶ▶📷▶[はい]

▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[着信履歴] ☞P.69

[居場所を確認]について

- イマドコかんたんサーチのｉモードサイトに接続します。イマドコかんたんサーチの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- ご利用には別途検索料（検索成功時のみ）とパケット通信料がかかります。

[削除]について

- リダイヤルを全件削除すると、AナンバーとBナンバーのすべてのリダイヤルが削除されます。

■ 着信履歴一覧画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、リダイヤル一覧画面のサブメニュー操作（☞P.70）を参照してください。

■ 発信オプション	■ 着もじ	■ マルチナンバー
■ 自局番号	■ 居場所を確認	■ 登録
■ 削除		

[リダイヤル] ☞P.69

[表示切替]▶表示方法を選ぶ

- 呼出開始前に切れた電話を着信履歴に表示するかを設定します。

[削除]について

- 着信履歴を全件削除すると、AナンバーとBナンバーのすべての着信履歴が削除されます。

[表示切替]について

- 呼出動作開始時間設定の着信呼出動作が[ON]で、時間内不在着信表示が[表示しない]に設定されている場合に、電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたとき、次の着信は、着信履歴には表示されません。
  - ■ 呼出動作開始時間内に電話が切断された着信
  - ■ 電波の状況が悪いために切断された着信

  ただし、[すべての履歴]を選択すると表示させることができます。

■ リダイヤル詳細画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、リダイヤル一覧画面のサブメニュー操作（☞P.70）を参照してください。

■ 発信オプション	■ 着もじ	■ マルチナンバー
■ 自局番号	■ 居場所を確認	■ 登録
■ 削除（1件削除、全件削除）	■ 着信履歴	

［画像／名前表示切替］▶表示方法を選ぶ

■ 着信履歴詳細画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、リダイヤル一覧画面のサブメニュー操作（☞P.70）を参照してください。

■ 発信オプション	■ 着もじ	■ マルチナンバー
■ 自局番号	■ 居場所を確認	■ 登録
■ 削除（1件削除、全件削除）		

［リダイヤル］ ☞P.69

［画像／名前表示切替］▶表示方法を選ぶ

着もじ

着もじを使う

音声電話やテレビ電話をかけるときに同時にメッセージ（着もじ）を送信して、呼び出し中の相手のFOMA端末に表示し、あらかじめ用件を伝えることができます。

- 全角・半角・絵文字・記号問わず10文字まで送信できます。
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金がかかりません。
- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- オールロック中やパーソナルデータロック中は、着もじを受信しても表示されません。ロックを解除すると、着信履歴でメッセージを確認することができます。
- 着もじが表示されるのは着信中（発信中）のみです。通話を開始したら着もじは消えます。

例：音声電話で着もじを受信したとき

メッセージの編集や設定をする

■ メッセージを登録する<メッセージ作成>

- メッセージは10件まで登録できます。

1 **ノーマルメニューで［電話機能］▶［着もじ］▶［メッセージ作成］**

2 **［<新しいメッセージ>］**
- 登録しているメッセージの編集：メッセージを選ぶ

3 **メッセージを入力**

4 **📷**

■ メッセージ一覧画面のサブメニュー操作

［送信メッセージ履歴引用］▶メッセージを選ぶ

［1件削除］▶［はい］

［全件削除］▶［はい］

■ メッセージの表示について設定する<メッセージ表示設定>

1 **ノーマルメニューで［電話機能］▶［着もじ］▶［メッセージ表示設定］**

2 **表示方法を選ぶ**

メッセージを付けて電話をかける<着もじ>

1 待受画面で電話番号を入力▶MENU▶［着もじ］

- 電話番号を入力して[i]を押しても操作できます。
- 電話帳やリダイヤル、着信履歴の詳細画面では：[カメラ]

2 メッセージを選ぶ

◆［メッセージ作成］▶メッセージを入力▶[カメラ]
◆［メッセージ選択］▶メッセージを選ぶ
◆［送信メッセージ履歴］▶メッセージを選ぶ

3 [カメラ]（音声電話）／[i]（テレビ電話）

- 着もじが相手に届くと［送信しました］と表示され、送信料金がかかります。

● 送信メッセージ履歴は、最後に送信したものから10件まで記憶されます。2in1利用時は、AナンバーとBナンバーの送信メッセージ履歴がそれぞれ10件まで記憶されます。
● 音声自動再発信時には、テレビ電話発信時の着もじが自動で送信されます。
● 次の状態のときも、送信料金はかかります。
　■ 電波状態によって、相手側の端末に着もじが届いていても送信側に送信結果が表示されないとき
　■ 呼出動作開始時間設定で設定した時間より呼出時間が短いとき
● 着信側が次の状態の場合、着もじを付けて発信しても着もじは表示されず、送信料金はかかりません。
　■ 相手が対応端末でないとき
　■ メッセージ表示設定で許容している着信以外の着信のとき
　さらに、着信側が次の設定・状態の場合、送信側の画面には送信結果も表示されません（着信側の着信履歴に、着もじは保存されません）。
　■ 圏外のときや電源が入っていないとき
　■ 公共モード（ドライブモード）を設定しているとき
　■ 伝言メモの応答時間を「0秒」に設定しているとき
● 海外での利用時には着もじを送受信することはできません。

番号通知／非通知

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

1回の通話ごとに、相手に自分の電話番号を通知するかどうかを設定できます。

● あらかじめ設定する方法（☞P.62）より、電話発信するときの指定が優先されます。

電話をかけるときに通知／非通知を指定する <番号通知>

1 待受画面で電話番号を入力▶MENU▶［発信オプション］

2 番号通知欄を選ぶ▶設定を選ぶ

- ［指定なし］に設定すると、発着信・通話設定の発信者番号通知（☞P.62）に従います。

3 [カメラ]（音声電話）／[i]（テレビ電話）

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けてダイヤルする

■「186」を付けてダイヤルする（番号通知）

1 待受画面で1 8 6 ▶ 電話番号を入力

2 （音声電話）／（テレビ電話）

■「184」を付けてダイヤルする（番号非通知）

1 待受画面で1 8 4 ▶ 電話番号を入力

2 （音声電話）／（テレビ電話）

ポーズダイヤル

プッシュホン信号を送る

チケットの予約や銀行の残高照会サービスの電話番号と送信するメッセージ（番号）などの組み合わせを電話帳に登録しておくと、簡単な操作で送信できます。

- 通話中にダイヤルボタンを押すと、押したボタンの番号がプッシュホン信号として1つずつ送信できます。
  - ・キャラ電を送信中のときはサブメニューで[DTMF送信]を選択して送信する番号を入力してください（☞P.66）。

電話帳にプッシュホン信号を登録する

1 電話帳に電話番号を入力 ▶ ✱（1秒以上）／#（1秒以上）

- ✱を1秒以上押すとポーズ「P」が入力されます。
- #を1秒以上押すとタイマー「T」が入力されます。

2 送信する番号を入力

- 番号を入力したあと、✱／#を1秒以上押すと続けて番号を入力できます。

3 電話帳を登録

プッシュホン信号を利用してメッセージを送る

- ポーズダイヤルは音声電話のみに対応しています。

1 プッシュホン信号を登録した電話帳から音声電話をかける

- 登録した「P」以降の番号が表示されます。

2 タイミングを合わせて◉

- 「P」以降の番号がプッシュホン信号で送信されます。
- 「P」で区切った複数の番号を登録しているときは、◉を押すたびに送信されます。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できないときがあります。

WORLD CALL

国際電話を利用する

WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせてWORLD CALLもご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

[通話方法]010 ▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番） ▶ 相手先電話番号 ▶

- 009130 ▶ 010 ▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番） ▶ 相手先電話番号 ▶ でもかけられます。
- 上記の操作方法を、FOMA端末の電話帳に登録できます。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- WORLD CALLの料金は毎月の携帯電話の通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- WORLD CALLをご利用されたときは、直前の通話時間の概算がFOMA端末の画面で確認できます（☞P.425）。

次ページへ続く

● WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
● ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接、お問い合わせください。
● 一部ご利用できない料金プランがあります。

海外の特定3G通信事業者をご利用のお客様、またはFOMA端末をご利用のお客様と国際テレビ電話がご利用いただけます。
● 接続可能な国および通信事業者などの情報については、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
● 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

■「＋」を入力して国際電話をかける

日本から国際電話をかけるときに、電話番号の先頭に「＋」を入力すると、自動的に国際電話アクセス番号に変換して発信できます。

1 待受画面で「＋」(0を1秒以上)、国番号、地域番号(市外局番)、電話番号を入力

・「＋」を国際電話アクセス番号に変換して付加した番号が表示されます。

2 (音声電話)／(テレビ電話)

3 [はい]

・[元の番号で発信]を選択した場合は、国際電話アクセス番号に変換せず、入力した番号のままで国際電話をかけることができます。

■ 国際電話アクセス番号／国番号を指定して国際電話をかける＜国際電話発信＞

地域番号(市外局番)、相手先電話番号のみを入力し、国際プレフィックスで設定した国際電話アクセス番号の名称や、国番号で設定した国名を選んで国際電話をかけることができます。

1 待受画面で地域番号(市外局番)、電話番号を入力▶MENU▶[発信オプション]

2 国際電話発信欄を選ぶ▶[ON]

3 国際プレフィックス欄を選ぶ▶国際電話アクセス番号の名称を選ぶ

4 国番号欄を選ぶ▶国名を選ぶ

5 (音声電話)／(テレビ電話)▶[はい]

● 通信事業者によっては、発信者番号通知(☞P.62)を[通知する]に設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴から電話をかけることはできません。

国際ダイヤルアシスト

国際電話の設定をする

国際電話の各種設定をします。
● 国番号に登録している国に電話をかける方法については☞P.74、P.471
● 国際プレフィックスに登録している番号を利用して電話をかける方法については☞P.74

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[海外設定]▶[国際ダイヤルアシスト]

2 項目を選ぶ

◆ **[自動変換機能]▶各項目を設定▶**
・設定できる項目は次のとおりです。
■ 国番号変換：海外で電話をかけるときに、電話番号の先頭の「０」を自動的に国番号に変換して発信するかを設定します。
■ 国際プレフィックス変換：「＋」を入力して、自動的に国際電話アクセス番号に変換するかを設定します。

◆ **[国番号]▶国番号を選ぶ▶各項目を設定▶**
・設定できる項目は次のとおりです。
■ 国名称：国の名称を設定できます。
・全角８文字(半角16文字)まで入力できます。
■ 国番号：国番号を設定できます。
・５桁まで入力できます。
・海外から国際電話をかけるときに利用する国番号は22件まで登録できます。

- 登録した番号を自動変換対象に設定：番号にカーソルを合わせる▶[カメラ]
  - 自動変換対象に設定した場合、国番号の左に[✔]が表示されます。

◆ **[国際プレフィックス]▶登録する番号を選ぶ▶各項目を設定▶[カメラ]**

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 名称：国際プレフィックスの名称を設定できます。
    - 全角８文字（半角16文字）まで入力できます。
  - ■ 国際アクセス番号：国際電話アクセス番号を設定できます。
    - 10桁まで入力できます。
- 日本から国際電話をかけるときに利用する国際アクセス番号は、３件まで登録できます。
- 登録した番号を自動変換対象に設定：番号にカーソルを合わせる▶[カメラ]
  - 自動変換対象に設定した場合、国際電話アクセス番号の左に[✔]が表示されます。

■ 国際プレフィックス一覧画面のサブメニュー操作

[編集]▶各項目を設定▶[カメラ]
[自動変換設定]
[削除]▶[はい]

■ 国番号一覧画面のサブメニュー操作

● 国番号一覧画面のサブメニュー操作は、国際プレフィックス一覧画面のサブメニュー操作（☞P.75）を参照してください。

発信詳細設定

発信の詳細について設定する

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[発着信・通話設定]▶[発信詳細設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[サブアドレス設定]▶設定を選ぶ**

- ISDN端末に電話をかけるときに、サブアドレスを使用して特定の端末を呼び出すかどうか設定できます。

◆ **[プレフィックス設定]▶プレフィックス番号を入力▶[カメラ]**

- 国際電話アクセス番号や「186」／「184」など、電話番号の先頭に付けるプレフィックス番号を登録できます。
- ３件まで登録できます。電話帳、リダイヤル、着信履歴からの発信時にも付加できます。
- 10桁まで入力できます。
- 登録済みの番号を削除する場合は、入力した番号をすべて削除して[カメラ]を押してください。

[サブアドレス設定]について

● サブアドレスとは、１つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。

プレフィックス番号を付けて電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力▶[MENU]▶[発信オプション]

2 プレフィックス欄を選ぶ▶プレフィックス番号を選ぶ

3 [カメラ]（音声電話）／[i]（テレビ電話）▶[はい]

サブアドレスを指定して電話をかける

● 電話番号とサブアドレスは相手にお問い合わせください。

1 待受画面で電話番号、「＊」、サブアドレスの順に入力

- 電話番号の先頭に「＊」を入力したり、「186」、「184」、プレフィックス設定で付加された番号のあとに「＊」を入力すると、「＊」以降は電話番号とみなされます。
- ポーズ「P」やタイマー「T」を入力したあとに「＊」を入力した場合は、「＊」を含んだプッシュホン信号とみなされます。

2 [発信]（音声電話）／[カメラ]（テレビ電話）

通話中詳細設定

通話中の詳細について設定する

通話中の動作について設定します。

1 **ノーマルメニューで[電話機能]▶[発着信・通話設定]▶[通話中詳細設定]**

2 **項目を選ぶ**

◆ **[通話品質アラーム音]▶アラーム音を選ぶ**
- 通話が途切れそうなときのアラーム音を設定できます。

◆ **[再接続アラーム音]▶アラーム音を選ぶ**
- 電波の状態などで通信が途切れた通話を自動的に再接続するときのアラーム音を設定できます。

◆ **[ノイズキャンセラ設定]▶設定を選ぶ**
- 音声電話／テレビ電話中に、周囲のノイズを低減したり、エコーを抑えたり、相手の声を強調したりして、通話を明瞭にできます(トリプルくっきりトーク)。
- 通常は、[トリプルくっきりトーク]でのご使用をおすすめします。
- 通話中にトリプルくっきりトークを設定／解除するときは☞P.65

◆ **[通話中クローズ設定]▶項目を選ぶ**
- FOMA端末を閉じたときに、通話を終了／保留するかどうか設定できます。
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 切断:通話を終了します。
  - ■ 保留:通話を保留し、保留音が流れます。テレビ電話のときは、相手にはテレビ電話画像選択の通話中保留画像(☞P.87)で設定した画像が送信されます
  - ■ 通話継続(マイクミュート):保留音は流れません。テレビ電話のときは、テレビ電話画像選択の代替画像(☞P.87)で設定した画像が送信されます。

◆ **[保留音設定]▶項目を選ぶ**
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 応答保留ガイダンス設定:応答保留ガイダンス設定については☞P.80
  - ■ 通話保留音:通話保留時に相手に流すメロディ音を設定できます。

◆ **[受話音量]▶◎**
- [Level 1]～[Level10]に調節できます。

[通話品質アラーム音]について
- 通話品質アラーム音は、音声電話のみに対応しています。
- 急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

[再接続アラーム音]について
- 電波の状態により再接続可能な時間は異なります。再接続されるまでの間(最長約10秒間)、相手は無音状態になります。また、この間も通話料金がかかります。

[ノイズキャンセラ設定]について
- 通話を明瞭にするために音声の加工処理をします。周囲のノイズ状態や、話しかたにより、音声の聞こえかたが変わることがあります。
- トリプルくっきりトークを利用する場合は、送話口をできるだけ近づけてお話しください。

[通話中クローズ設定]について
- [保留]または[通話継続(マイクミュート)]に設定しているとき、再び通話するときは、FOMA端末を開きます。
- イヤホンマイク(別売)などを接続しているときは、設定にかかわらずFOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- FOMA端末を閉じた状態でイヤホンマイクを抜くと、設定にかかわらずミュート状態になります。再びイヤホンマイクを接続するか、FOMA端末を開くと、通話できます。
- 音声電話中にビューアポジションにしたときは、通話中クローズ設定に従います。

ハンズフリー対応機器を利用する

FOMA端末をカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

- Bluetooth接続（ワイヤレス）でも利用できます（☞P.437）。
- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- 着信時の画面表示や着信音などの動作、公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らすように設定している場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を［Silent］に設定していても、電話の着信時にハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- FOMA端末から音を鳴らすように設定している場合、通話中にFOMA端末を閉じたときは通話中クローズ設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らすように設定しているときは、通話中クローズ設定にかかわらずFOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- 伝言メモ設定中は、ハンズフリー対応機器と接続中でも伝言メモの設定に従います。
- ハンズフリー対応機器の特性や仕様によっては、FOMA端末の一部の通話操作ができないことがあります。

電話／テレビ電話を受ける

着信は、着信音、着信ランプ、バイブレータなどで確認できます。

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 発信者番号が通知されたときは、電話番号を表示します。電話帳に登録されている電話番号からの着信のときは、名前、会社名もあわせて表示します。人物画像表示設定を［ON］に設定しているときは、電話帳に設定している画像も表示されます。
- 発信者番号が通知されないときは、非通知理由が表示されます。
  - ・［非通知設定］：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信したとき
  - ・［公衆電話］：公衆電話などから発信したとき
  - ・［通知不可能］：海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信したとき（ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されることもあります）

着信中の操作

- 着信音量の変更：Ⓠ
  - ・着信音量の変更は、その着信に限り有効です。
- 応答保留（☞P.80）
- クイック伝言メモ（☞P.84）
- モーションサイレント（☞P.105）

2 ［通話キー］

- 音声電話のときはエニーキーアンサーで電話を受けることができます（☞P.79）。
- 代替画像で応答（テレビ電話）：［メールキー］

3 通話が終わったら［終話キー］

- サブアドレスが通知されてきた場合は、発信者番号の後ろに［*］とサブアドレスが表示されます。
- 電話帳未登録でリダイヤルにある電話番号から着信した場合は、着信画面で［折り返し着信］が表示されます。
- テレビ電話の場合、相手側から映像が送信されてこないときには黒い画面が表示されます。
- マルチナンバー利用中、登録しているマルチナンバーに着信があると、［着信中］／［テレビ電話着信中］とマルチナンバー名称が1秒ごとに表示されます。

通話中に「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえたとき

- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただいているとき、通話中着信設定を「開始」に設定し、通話中の着信動作選択を[通常着信]に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次のサービスを利用できます(音声電話中に別のテレビ電話を着信したとき、またはテレビ電話中に別の電話を着信したときは、キャッチホンは利用できません)。
  - ■ 留守番電話サービス(☞P.454)
  - ■ キャッチホン(☞P.455)
  - ■ 転送でんわサービス(☞P.456)

■ 音声電話着信中画面のサブメニュー操作

[着信拒否]

[留守番電話]

[転送でんわ]

■ テレビ電話着信中画面のサブメニュー操作

- テレビ電話着信中画面のサブメニュー操作は、音声電話着信中画面のサブメニュー操作(☞P.78)を参照してください。

■ 音声電話通話中着信画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、音声電話着信中画面のサブメニュー操作(☞P.78)を参照してください。

■ 着信拒否　■ 留守番電話　■ 転送でんわ

[通話切断]

■ テレビ電話通話中着信画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、音声電話着信中画面のサブメニュー操作(☞P.78)を参照してください。

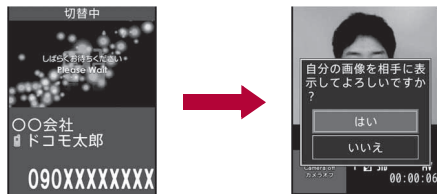
■ 着信拒否　■ 留守番電話　■ 転送でんわ

[通話切断]

電話/テレビ電話を切り替える

相手(発信側)の操作で音声電話⇔テレビ電話を切り替えます。

- 自分(着信側)から切り替えることはできません(音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種でご利用いただけます)。
- 自分のFOMA端末のテレビ電話切替機能通知(☞P.88)を「開始」に設定しておく必要があります。

1 通話中に、相手がテレビ電話/音声電話に切り替える

音声電話からテレビ電話へ切り替えるとき

- 切り替えには、約5秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかるときがあります。切り替え中は、[しばらくお待ちください]と表示され、音声ガイダンスが流れます。

音声電話からテレビ電話に切り替えたとき

- 音声ガイダンスが流れたあと、前記画面が表示されます。[はい]を選択すると、カメラ映像を送信します。[いいえ]を選択すると代替画像に[Camera off カメラオフ]という文字を重ねた映像を送信します。

テレビ電話から音声電話に切り替えたとき

- 音声ガイダンスが流れたあと、音声電話に切り替わります。そのまま音声電話を始めてください。

- 保留中、パケット通信中、FOMA端末を閉じているときなどは、切り替えることができません。

着信詳細設定

着信の詳細について設定する

着信時の動作について設定します。

1 **ノーマルメニューで[電話機能]▶[発着信・通話設定]▶[着信詳細設定]**

2 **項目を選ぶ**

◆ **[エニーキーアンサー設定]▶設定を選ぶ**
- エニーキーアンサー設定を[ON]に設定すると、[発信キー]に加え、[1]～[9]、[0]、[*]、[●]で音声電話の通話を開始することができます。

◆ **[オート着信設定]▶各項目を設定▶[カメラ]**
- ステレオイヤホンマイク 01(別売)を接続しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話を自動的に受けるように設定できます。
- 自動着信時間(秒)を「0秒」に設定すると、着信音やバイブレータが動作せずに電話を受けますので、ご注意ください。
- オート着信設定の着信時間と伝言メモ応答時間は、同じ時間に設定できません。
- 留守番電話サービスとオート着信設定を同時に設定している場合、留守番電話サービスの呼出秒数とオート着信設定の着信時間が同じときは、留守番電話サービスが優先されることがあります。オート着信設定を優先させるためには、留守番電話サービスの呼出秒数よりも着信時間を短く設定してください(転送でんわサービスについても同様です)。

◆ **[呼出動作開始時間設定]▶各項目を設定▶[カメラ]**
- 電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたとき、設定した秒数後に着信音が鳴るように設定できます。
  - ワン切りなどの迷惑電話を防ぐ対策の1つです。
- 呼出動作開始時間設定とメモリ登録外着信拒否を同時に設定することはできません。
- 伝言メモや留守番電話サービスを設定しているとき、呼出動作開始時間設定を優先させるためには、伝言メモや留守番電話サービスの呼出時間より短く設定してください。

◆ **[マルチアクセス中表示]▶設定を選ぶ**
- マルチアクセス中に優先的に表示する通信を設定できます。

[オート着信設定]について
- [オート着信あり]に設定していても、ステレオイヤホンマイク 01を接続していないときは、自動的に電話を受けることはできません。
- メモリ別着信拒否などで電話を受けないようにしている相手からの着信には応答しません。

[呼出動作開始時間設定]について
- 呼出動作開始時間設定と公共モード(ドライブモード)を同時に設定したときは、公共モード(ドライブモード)が優先されます。
- 呼出動作開始時間を設定したとき、呼出開始前に切れた電話を着信履歴に表示するかどうかも設定できます。
- オールロック中、パーソナルデータロック中は、電話帳登録している相手からの電話でも呼出動作開始時間設定に従って動作します。
- 呼出動作開始時間設定とマナーモードを同時に設定したときは、設定した時間が経過したあとにマナーモードの設定に従って動作します。ただし、伝言メモの応答時間には着信音が鳴るまでの時間も含まれます。

[マルチアクセス中表示]について
- [設定なし]に設定しているときは、あとから発生した通信を優先して表示します。

受話音量調節

相手の声の音量を調節する

- [Level 1]～[Level 10]に調節できます。
- 通話中や待受中に調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。
- 待受中の受話音量調節については☞P.103

1 **通話中に[方向キー上下]**
- 呼出中も操作できます。
- 音量調節後、約2秒経過すると通話画面に戻ります。

発着信時の動作を設定する

発着信したときの動作(着信音、発着信画像、バイブレータなど)を設定します。

音声電話発着信時の動作を設定する<電話発着信設定>

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[発着信・通話設定]▶[電話発着信設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[電話発信設定]▶各項目を設定▶📷**
- 電話発信設定については☞P.110

◆ **[電話着信設定]▶各項目を設定▶📷**
- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定しているときは、Aナンバー／Bナンバーの選択画面が表示されます。
- 着信音に映像と音声を含んだｉモーションを選択した場合、イメージ表示は[着モーション]になります。
- 電話着信設定については☞P.102、P.110

◆ **[発着信番号表示設定]▶設定を選ぶ**
- 電話の発着信時、通話中にタイトルに表示する記号を変更します。

テレビ電話発着信時の動作を設定する<テレビ電話発信設定／テレビ電話着信設定>

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[テレビ電話設定]▶[テレビ電話発信設定]／[テレビ電話着信設定]

- テレビ電話着信設定の場合、2in1のモードを[デュアルモード]に設定しているときは、Aナンバー／Bナンバーの選択画面が表示されます。

2 各項目を設定▶📷

- テレビ電話発信設定、テレビ電話着信設定については☞P.102、P.110

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

- 応答保留中も、相手に通話料金がかかります。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスをご契約されているときは、留守番電話サービスセンターへの接続や転送先への転送ができます(☞P.78)。

1 着信中に⌒

- 相手には、応答保留ガイダンスが流れます。
- テレビ電話をかけてきた相手には、テレビ電話画像選択の応答保留画像(☞P.87)で設定した画像に[Respond and Hold 応答保留]という文字が重なって表示されます。
- 応答保留中に⌒を押す、または相手が電話を切ると通話が終了します(着信履歴に記憶されます)。

2 電話に出られるようになったら✓

応答保留音を設定する

応答保留中に相手へ流れるガイダンスを設定します。

- 応答保留音は、あらかじめ次のガイダンスが登録されています。
  - ■ 内蔵音：ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[発着信・通話設定]▶[通話中詳細設定]▶[保留音設定]▶[応答保留ガイダンス設定]

2 各項目を設定▶📷

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 保留音：応答保留音の種類を設定できます。
  - ■ ガイダンスの編集：応答保留音の再生、録音、削除ができます。
    - 保留音を[録音データ]に設定した場合は、応答保留音を録音してください。
    - 内蔵音は削除できません。

公共モードを利用する

公共モード(ドライブモード)と公共モード(電源OFF)を利用できます。

- 留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2は、公共モードに優先して動作します。
  ※1 呼出時間が0秒以外での音声電話に対しては、公共モードのガイダンスのあとにサービスが動作します。
  ※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モードは動作しません。

公共モード(ドライブモード)を利用する
<公共モード(ドライブモード)>

公共モード(ドライブモード)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(ドライブモード)を設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所(電車、バス、映画館など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モード(ドライブモード)の設定/解除は、待受中のみできます(画面に[圏外]が表示されているときでも可能です)。
- 公共モード(ドライブモード)設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。

1 待受画面で[✱](1秒以上)

- 公共モード(ドライブモード)が設定され、[🚗]が表示されます。
- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モード(ドライブモード)の設定が優先されます。

公共モード(ドライブモード)を解除する

- 待受画面で[✱](1秒以上)
  - 公共モード(ドライブモード)が解除され、[🚗]が消えます。

■ 公共モード(ドライブモード)を設定すると

お客様のFOMA端末に音声電話やテレビ電話がかかってきても、着信音は鳴りません。ディスプレイにストックアイコン[着信]（着信あり）が表示され、着信履歴に記憶されます(☞P.69)。

- 音声電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。テレビ電話をかけてきた相手には、公共モード(ドライブモード)の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。ただし、電源が入っていないときや電波が届かないところにいるときは、公共モード(ドライブモード)のガイダンスは流れず、圏外時と同じガイダンスが流れます。
- iモードメール、SMSやメッセージR/Fは、着信バイブレータを設定しても振動しません。また、着信音も鳴りませんが自動的に受信し着信のマークが表示されます。エリアメールの専用警報音(ブザー音)・バイブレータ・着信ランプについては、マナー/公共モード時設定(☞P.174)で設定できます。
- データ通信を着信したときも着信バイブレータ・着信音・着信ランプは動作しません。
- 地図・GPS機能の位置情報の提供を要求されたとき、サービスごとの利用設定で、位置提供を[許可]に設定している場合、位置提供の確認画面のあと、GPS測位画面が表示されてGPS測位後位置提供されますが、位置提供/許可音、位置提供/毎回確認音、バイブレータ、着信ランプは動作しません。また、サービスごとの利用設定で、位置提供を[毎回確認]に設定している場合、位置情報は提供されません。

- 公共モード(ドライブモード)設定中にアラーム時刻になっても、アラーム音は鳴らず、着信ランプやバイブレータも動作しません。また、サブディスプレイも点灯しません。
- 公共モード(ドライブモード)設定中に、緊急通報番号(110番、119番、118番)へダイヤルすると、発信後に公共モード(ドライブモード)の設定は解除されます。

公共モード(電源OFF)を利用する
＜公共モード(電源OFF)＞

公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面で⊛2525 1▶✆

- 公共モード(電源OFF)が設定されます(待受画面上の変化はありません)。
- 公共モード(電源OFF)設定後、電源を切った際の着信時に、携帯電話の電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れます。

公共モード(電源OFF)を解除する

- 待受画面で⊛25250▶✆
  - ・公共モード(電源OFF)が解除されます。

公共モード(電源OFF)の設定を確認する

- 待受画面で⊛25259▶✆
  - ・現在の設定状況を確認できます。

■ 公共モード(電源OFF)を設定すると

公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。サービスエリア外または電波が届かないところにいるときも、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

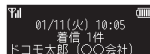
不在着信

不在着信を確認する

かかってきた電話に出られなかったときは、ストックアイコン[▮](着信あり)と着信件数が表示されます(不在着信表示)。

- サブディスプレイには相手の名前や会社名が表示されます。

touch to activate
着信あり 01件
MENU
01/11 TUE 10:05 AM

01/11(火) 10:05
着信 1件
ドコモ太郎 (○○会社)

1 待受画面で◉

- ◎(⇥)を押しても、着信履歴を確認できます。

2 ストックアイコン[▮](着信あり)を選ぶ

- 着信履歴一覧画面が表示されます。不在着信には[▮]が表示されます。
- 着信履歴と同様の操作で、詳細を確認したりできます。
- 不在着信を確認するか、ストックアイコンにカーソルを合わせてCLRを1秒以上押すと、ストックアイコンの表示が消えます。

伝言メモ／テレビ電話伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときにFOMA端末が応答して伝言を預かることができます。音声電話がかかってきたときは、音声ガイダンスを流して相手の用件を録音します。テレビ電話がかかってきたときは、応答画像で応対して相手の画像と音声を録画します。

- 伝言メモはFOMA端末の電源が切れていたり、電波の届かない場所にいるときには利用できません。ネットワークサービスの留守番電話サービスをあわせてご利用になると便利です。
- 音声電話伝言メモはテレビ電話伝言メモと合わせて4件(1件あたり約30秒)まで録音／録画できます。通話中音声／動画メモや待受中音声メモの件数は含みません。
- 2in1利用時は、AナンバーとBナンバーの音声電話伝言メモ、テレビ電話伝言メモを合わせて4件まで録音／録画できます。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって録音／録画内容が消失するときがあります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、音声電話伝言メモ、テレビ電話伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

伝言メモ／テレビ電話伝言メモを設定する <伝言メモ設定>

- 応答ガイダンスは、あらかじめ次のガイダンスが登録されています。
  - ■ 内蔵音：ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[伝言メモ／音声メモ]▶[伝言メモ設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[ON]**
- ・伝言メモが設定され、ディスプレイに[]が表示されます。

◆ **[OFF]**
- ・伝言メモを解除できます。

◆ **[応答時間の変更]▶応答時間を入力**
- ・着信音を鳴らさずに、伝言メモが応答するようにするとき：「0秒」に設定
- ・オート着信設定と同じ時間には設定できません。
- ・留守番電話サービスや転送でんわサービスを伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるためには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモの応答時間を短く設定してください。

◆ **[伝言メモガイダンスの設定]▶各項目を設定▶[]**
- ・設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 伝言メモ応答ガイダンス：応答ガイダンスの種類を設定できます。
  - ■ ガイダンスの編集：応答ガイダンスの再生、録音、削除ができます。
    - ・伝言メモ応答ガイダンスを[録音データ]に設定した場合は、応答ガイダンスを録音してください。
    - ・応答ガイダンスは1件あたり約10秒まで録音できます。
    - ・内蔵音は削除できません。

- 音声電話伝言メモとテレビ電話伝言メモが合わせて4件録音／録画されると、[]が表示され、それ以降、音声電話やテレビ電話がかかってきても伝言メモで応答しません。不要な用件を削除すると、伝言メモが再び有効になります。
- 留守番電話サービスを利用すると、1件あたり最長約3分間、それぞれ20件まで録音／録画できます。設定しているときは、音声電話伝言メモとテレビ電話伝言メモが合わせて4件録音／録画されていても留守番電話サービスセンターで用件をお預かりします。

伝言メモ／テレビ電話伝言メモを設定したときは

1 電話がかかってくると、応答時間のあとに伝言メモが応答する

- 応答中の画面が表示されます。音声電話のとき、相手には音声ガイダンスが流れます。テレビ電話のとき、相手には応答メッセージが流れ、テレビ電話画像選択の伝言メモ画像(☞P.87)で設定した画像が送信されます。
- 伝言メモ応答中、録音／録画中に[]で電話に出ることができます。

2 相手の用件を録音／録画する

- 録音／録画を開始するときに、相手に「ピー」と発信音が流れます。
- インジケータ、時間は目安です。
- 録音／録画中は、受話口から相手の声は聞こえません。テレビ電話伝言メモのときは、相手の画像も表示されません。

音声電話伝言メモ
録音中

テレビ電話伝言メモ
録画中

- 伝言メモが約３秒以下のとき、録音／録画されないことがあります。
- テレビ電話伝言メモの応答中または録画中、相手にはテレビ電話画像選択の伝言メモ画像で設定した画像に[Preparing to record 伝言メモ録画準備中]または[Recording 伝言メモ録画中]という文字が重なって表示されます。
- 伝言メモ録音／録画中は別の電話がかかってきても受けることができません。相手には話中音が流れます。
- 公共モード(ドライブモード)を設定しているときは、伝言メモは動作しません。
- 次の場合は伝言メモを録音／録画できません。
  - ■ オールロック中
  - ■ おまかせロック中
  - ■ パーソナルデータロック中

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、伝言メモを設定していないときも、その着信に限り用件を録音／録画できます。

1 着信中に7(１秒以上)／D(１秒以上)

- 伝言メモについては☞P.82

- 次の場合は伝言メモを録音／録画できません。
  - ■ オールロック中
  - ■ おまかせロック中
  - ■ パーソナルデータロック中

伝言メモ一覧／音声メモ一覧

伝言メモ･音声メモを再生／削除する

伝言メモの用件、音声メモの内容を再生／削除します。

- 発着信履歴表示設定を[OFF]に設定しているときは、伝言メモは再生できません。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[伝言メモ／音声メモ]▶[伝言メモ一覧]／[音声メモ一覧]

- 待受画面で7(１秒以上)▶[伝言メモ一覧]／[音声メモ一覧]でも操作できます。

メモリスト画面

ストックアイコン[ ](伝言メモ)が表示されているとき

- 待受画面で◉▶ストックアイコン[ ](伝言メモ)を選ぶ

メモの種類

- ：音声電話伝言メモ
- ：再生済み音声電話伝言メモ
- ：テレビ電話伝言メモ
- ：再生済みテレビ電話伝言メモ
- ：通話中音声メモ

表示なし：待受中音声メモ

- 2in1のモードが［デュアルモード］のとき、Bナンバーで発着信した伝言メモ／音声メモには［B］が表示されます。
- 選択している伝言メモ／音声メモが国際電話発着信時の伝言メモ／音声メモのとき、［ ］が表示されます。海外などで日時が時差補正されたときには［ ］が表示されます。

2 メモを選ぶ

- ハンズフリーの設定／解除：
- 再生を途中で止める：
- 音量調節：
- 伝言メモ・音声メモの再生中に着信やアラームが動作した場合や他の機能を起動した場合は、再生が止まります。アラームや他の機能を終了したときに再生停止確認画面が表示されます。

伝言メモ再生中
Playing
携帯花子
090XXXXXXXX
インジケータ

音声電話
伝言メモの場合

3 ［いいえ］

- メモを削除するとき：［はい］

- シークレット属性を設定した電話帳やグループの伝言メモ・音声メモは、シークレットモードが［OFF］で電話帳のプライバシー設定の発着信履歴に表示を［しない］に設定していると、メモリスト画面に表示されません。電話帳のプライバシー設定の発着信履歴に表示を［する］に設定していると、電話番号のみが表示されます。

■ メモリスト画面のサブメニュー操作

［再生］	
［削除］	
▶［1件削除］▶［はい］	
▶［全件削除］▶端末暗証番号を入力▶［はい］	
［発信オプション］	☞P.67
［電話帳新規登録］▶電話帳に登録	
［電話帳更新登録］▶電話帳に登録	

［削除］について

- 全件削除を行うと、シークレット属性を設定した電話帳やグループの伝言メモ・音声メモもすべて削除されます。

キャラ電を利用する

- キャラ電については☞P.361

テレビ電話中にキャラ電を切り替える <キャラ電切替>

1 代替画像でキャラ電を送信中に MENU ▶［代替画像］▶［キャラ電設定］▶［キャラ電切替］

2 キャラ電にカーソルを合わせる▶ 📷

全体アクションとパーツアクションを切り替える <アクション切替>

1 代替画像でキャラ電を送信中に MENU ▶［代替画像］▶［キャラ電設定］▶［アクション切替］

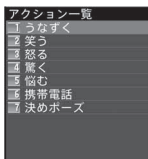
- ［ ］（1秒以上）でも操作できます。
- 全体アクションモードとパーツアクションモードが交互に切り替わります。

キャラ電にアクションをさせる<アクション一覧>

● アクション一覧を表示せずに、アクションの番号（1～9、#）を押してアクションをさせることもできます。
● サブメニューで[DTMF送信]を選択した場合は、ダイヤルボタンでプッシュホン信号が送出されるため、キャラ電のボタン操作ができません。
● パーツアクションの中には、別のアクションと組み合わせて実行できるものがあります。
● キャラ電によっては、アクションしないものや操作しなくてもアクションを行うものもあります。

1 代替画像でキャラ電を送信中にMENU▶[代替画像]▶[キャラ電設定]▶[アクション一覧]
- iでも操作できます。

アクション一覧
1 うなずく
2 笑う
3 怒る
4 驚く
5 悩む
6 携帯電話
7 決めポーズ

2 アクションを選ぶ
- アクションの中止：0
- 詳細の表示：アクションにカーソルを合わせる▶MENU

テレビ電話で送信する映像について設定する

テレビ電話で送信する画像について設定できます。
● データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」以下のサイズの静止画を利用できます。ただし、GIFアニメーションは利用できません。
● FOMA端末外への出力が禁止されている静止画は利用できません。ただし、FOMA端末で撮影した静止画はファイル制限に関係なく利用できます。

テレビ電話中に送信する画像を切り替える<代替画像>

テレビ電話中に、相手に送信する画像を変更できます。
● 設定した画像は、テレビ電話を終了すると解除されます。

1 テレビ電話中にMENU▶[代替画像]
- テレビ電話中に✉を押すと代替画像と自画像を切り替えることができます。

2 送信する画像を選ぶ

◆ **[キャラ電設定]▶[キャラ電切替]▶キャラ電にカーソルを合わせる▶📷**
◆ **[カメラオフ画像]**
・テレビ電話画像選択の代替画像（☞P.87）で設定した画像に[Camera off カメラオフ]という文字が重なって表示されます。
◆ **[静止画]▶静止画にカーソルを合わせる▶📷**

● microSDカード内の静止画は直接利用できません。あらかじめFOMA端末にコピーしてご利用ください。

テレビ電話中にカメラ映像のズームを調整する

1 カメラ映像を送信中に⊕

● メインカメラは8段階、サブカメラは2段階のズームが設定できます。

テレビ電話中にメインカメラとサブカメラを切り替える<メインカメラへ切替／サブカメラへ切替>

1 カメラ映像を送信中にMENU▶[メインカメラへ切替]／[サブカメラへ切替]
- iを押しても切り替えることができます。

● テレビ電話を終了すると、サブカメラに戻ります。
● メインカメラとサブカメラを切り替えると、カメラ映像のズーム倍率は標準（約1倍）になります。
● 電池残量が少ないときやメインカメラ周辺の温度が高いときはメインカメラを利用できません。メインカメラ使用中は、メインカメラが使用できなくなり、代替画像に切り替わります。サブカメラ使用中は、メインカメラに切り替えることができません。

テレビ電話中にカメラ映像の明るさを調整する ＜明るさ＞

1 **カメラ映像を送信中にMENU ▶ [カメラ調整] ▶ [明るさ]**

2 **設定を選ぶ**

テレビ電話中に利用する画像について設定する ＜テレビ電話画像選択＞

1 **ノーマルメニューで[電話機能] ▶ [テレビ電話設定] ▶ [テレビ電話画像選択]**

2 **項目を選ぶ**

3 **各項目を設定 ▶ 📷**

[代替画像]について

- 代替画像は次の優先順位で送信されます。

	優先順位（高→低）
画像	電話帳のテレビ電話代替画像→テレビ電話画像選択の代替画像

テレビ電話中の受信／送信画質を設定する ＜画像品質設定＞

受信／送信画質について、動きを優先するか、画質を優先するかを設定できます。

1 **テレビ電話中にMENU ▶ [画像品質設定]**

2 **項目を選ぶ**

3 **画質を選ぶ**

- 設定できる画質は次のとおりです。
  - ■ 標準：撮影対象の動きと形や色のバランスがとれた画質です。
  - ■ 動き優先：撮影対象の動きを優先した画質です。
  - ■ 画質優先：撮影対象の形や色などを優先した画質です。

- テレビ電話中の送信側と受信側の画質設定は異なります。
- その通話に限り有効です。

テレビ電話動作設定

テレビ電話中の動作を設定する

テレビ電話画面設定

両方　相手画像　自画像

子画面表示

相手画像　自画像

1 **ノーマルメニューで[電話機能] ▶ [テレビ電話設定] ▶ [テレビ電話動作設定]**

2 **各項目を設定 ▶ 📷**

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 音声自動再発信：テレビ電話をかけたときに接続できなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて再発信するかどうかを設定します。

次ページへ続く

■ テレビ電話画面設定:表示する画像を設定します。
■ 子画面表示:子画面に表示する画像を設定します。
■ 画面サイズ設定:親画面のサイズを設定します。
■ 受信画質設定:受信する画像の画質を設定します。
■ 明るさ調整:テレビ電話中の明るさを設定します。
■ ハンズフリー設定:テレビ電話開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定します。

● ISDNの同期64Kのアクセスポイント、3G-324M(☞P.64)に対応していないISDNのテレビ電話など(2010年10月現在)や間違い電話をかけたときなどは、音声自動再発信を行わないことがあります。また、通信料金が発生することもありますので、ご注意ください。
● テレビ電話通信が開始された場合、音声自動再発信は行いません。
● 音声電話で再発信したときは、音声電話通話料になります。
● 通話中にハンズフリーに切り替えるときは☞P.68

テレビ電話切替機能通知

電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

相手に自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能かどうかを通知する設定です。
● テレビ電話切替機能通知を「停止」に設定すると、相手から切り替えることはできません。
● 音声電話中、テレビ電話中、および圏外時にテレビ電話切替機能通知を変更することはできません。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[テレビ電話設定]▶[テレビ電話切替機能通知]

2 項目を選ぶ▶[はい]▶[OK]

パケット通信中着信設定

iモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する

● ソフトウェア更新中、パターンデータ更新中、パケット通信を利用したデータ通信中にテレビ電話がかかってきたときは、着信拒否されます。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[テレビ電話設定]▶[パケット通信中着信設定]

2 応答方法を選ぶ

• 設定できる応答方法は次のとおりです。
  ■ テレビ電話優先:かかってきたテレビ電話に出ることができます。
    ・[テレビ電話優先]に設定していても、テレビ電話に出ないとパケット通信は継続されます(テレビ電話に出ると、パケット通信は切断されます)。
  ■ パケット通信優先:テレビ電話着信を拒否します。
  ■ 留守番電話:自動的に留守番電話サービスに接続します。
  ■ 転送でんわ:自動的に転送でんわサービスに接続します。
• [留守番電話]や[転送でんわ]に設定するには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのお申し込みが必要です。なお、未契約のときは、[留守番電話]や[転送でんわ]に設定しても[パケット通信優先]となります。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳

FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳の両方を使用できます。FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳のそれぞれに、名前、電話番号、メールアドレスなどを登録できます。

FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳について

お客様のドコモUIMカードを他のFOMA端末にセットしても、ドコモUIMカード電話帳のデータを利用できます。複数のFOMA端末で電話帳を共用したい場合は、ドコモUIMカード電話帳に登録しておくと便利です。

■ 電話帳登録件数

電話帳	登録件数
FOMA端末電話帳	2000件
ドコモUIMカード電話帳	50件

電話帳登録／UIMカード(FOMAカード)操作

電話帳に登録する

FOMA端末電話帳またはドコモUIMカード電話帳に登録します。

- 1件の電話帳に登録できる内容は次のとおりです。
  - ■ FOMA端末電話帳：メモリ番号、名前、フリガナ、画像・動画、グループ、電話番号、メールアドレス、誕生日、テキストメモ、郵便番号／住所、位置情報、会社名、所属、役職名、URL
    - ・電話番号、メールアドレスは5件まで登録できます。
  - ■ ドコモUIMカード電話帳：名前、フリガナ、グループ、電話番号、メールアドレス

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[電話帳]▶[電話帳登録]／[UIMカード(FOMAカード)操作]

- 待受画面で◎(1秒以上)でも表示できます。
  - ・登録先はFOMA端末電話帳になります。

2 各項目を設定▶📷

- 名前だけでも登録できます。名前だけ入力すると、登録する項目は自由に選ぶことができます。登録したあとで、修正することもできます。
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ メモリ番号：メモリ番号を入力します。
    - ・0010～1999→0000～0009の順で未登録番号が入力されます。
    - ・4桁(0000～1999)で入力できます。
  - ■ 名前：名前を入力します。
    - ・全角16文字(半角32文字)まで入力できます。
    - ・ドコモUIMカード電話帳では、全角10文字(半角21文字)まで入力できます。
  - ■ フリガナ：フリガナを入力します。
    - ・半角32文字まで入力できます。
    - ・ドコモUIMカード電話帳では、全角12文字(半角英数字のみは25文字)まで入力できます。
    - ・名前を入力すると自動的に入力されます。条件によりフリガナに反映されないことがあります。
  - ■ 画像・動画：発信時や電話帳確認時に表示するデータを登録します。
    - ・画像登録後は、MENUを押すと画像を表示できます。
  - ■ グループ：グループに分けて登録できます。
    - ・グループ設定していない電話帳は[グループなし]にグループ分けされます。
    - ・グループ設定については☞P.92
  - ■ 電話番号：電話番号を登録できます。FOMA端末電話帳では、電話番号を35種類のアイコンで分類できます。
    - ・26桁まで入力できます。市外局番から入力してください。
    - ・電話番号には「P」、「T」、「＋」、「＃」、「＊」も入力できますが、正しく発信できないときがあります。ドコモUIMカード電話帳では、「T」は入力できますが、保存できません。
  - ■ メールアドレス：メールアドレスを登録できます。FOMA端末電話帳では、メールアドレスを24種類のアイコンで分類できます。
    - ・半角英数字、一部の記号を半角50文字まで入力できます。
  - ■ 誕生日：誕生日を登録できます。
    - ・1850年1月1日～2050年12月31日まで入力できます。
    - ・登録した誕生日データは、スケジュールに表示されます(☞P.414)。

- ■ テキストメモ：テキストメモを登録できます。
  - ・全角100文字（半角200文字）まで入力できます。
- ■ 郵便番号／住所：郵便番号と住所を登録できます。
  - ・住所は全角100文字（半角200文字）まで入力できます。
- ■ 位置情報：位置情報（緯度、経度、測地系、測位レベル）を登録できます。
- ■ 会社名：会社を登録できます。
  - ・全角50文字（半角100文字）まで入力できます。
- ■ 所属：所属を登録できます。
  - ・全角50文字（半角100文字）まで入力できます。
- ■ 役職名：役職を登録できます。
  - ・全角50文字（半角100文字）まで入力できます。
- ■ URL：URLを登録できます。
  - ・半角256文字まで入力できます。
- 2in1利用中は、利用中のモードによって電話帳2in1設定が［A］／［B］に設定されます。2in1のモードが［デュアルモード］のときは、電話帳2in1設定画面が表示されます。電話帳2in1設定を設定してください。

- 電話帳に同じ電話番号やメールアドレスを重複して登録した場合、先に登録した方の名前が表示されます。

FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳の間でコピーする

- 一部利用できない文字がスペースに変換されることがあります。
- 同じグループ名があるときは、そのまま登録されます。同じグループ名がないときは、［グループなし］となります。全角半角は別の文字として扱われます。

FOMA端末→ドコモUIMカードへコピーしたとき

- 名前は全角10文字（半角21文字）を超えた文字は破棄されます。
- フリガナを半角カタカナで登録している場合は、全角カタカナでコピーされ、半角カタカナ以外の文字は、そのままコピーされます。全角12文字（半角25文字）を超えた文字は破棄されます。
- 電話番号にタイマー「T」が入力されている場合は、タイマー「T」が削除されます。

ドコモUIMカード→FOMA端末へコピーしたとき

- フリガナは半角で登録されます。
- 電話番号、メールアドレスは、それぞれ１件目に保存されます。
- メモリ番号は、0010～1999→0000～0009の順で未登録番号に登録されます。

■ 電話帳リスト画面でコピーする

＜ドコモUIMカード（FOMAカード）コピー／本体へコピー＞

1 待受画面で◎▶MENU▶［コピー／お預かり］▶［データコピー］▶［ドコモUIMカード（FOMAカード）コピー］

- ドコモUIMカードからFOMA端末へコピー：待受画面で◎▶📷▶MENU▶［コピー］▶［本体へコピー］

2 名前を選ぶ

3 📷

■ 電話帳内容表示画面でコピーする

＜ドコモUIMカード（FOMAカード）コピー／本体へコピー＞

1 待受画面で◎▶名前を選ぶ▶MENU▶［コピー］▶［データコピー］▶［ドコモUIMカード（FOMAカード）コピー］

- ドコモUIMカードからFOMA端末へコピー：待受画面で◎▶📷▶名前を選ぶ▶MENU▶［コピー］▶［本体へコピー］

グループを設定する

電話帳にグループを設定して、グループごとの名前、着信音、着信ランプや電話がかかってきたときの画像を設定することができます。

- FOMA端末電話帳は31グループ、ドコモUIMカード電話帳は11グループ設定できます。
  - ・ドコモUIMカード電話帳は、グループ名変更のみできます。

グループを追加する<グループ登録>

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[電話帳]▶[グループ登録]

2 グループ名を入力▶📷

グループ名を変更する<グループ名変更>

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[電話帳]▶[電話帳検索]▶[グループ検索]

- FOMA端末電話帳／ドコモUIMカード電話帳の切替：📷

2 グループにカーソルを合わせる▶MENU▶[グループ名変更]

3 グループ名を入力

- 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
- ドコモUIMカード電話帳では、全角・半角問わず10文字（半角英数字のみは21文字）まで入力できます。
- ドコモUIMカード電話帳のグループ名をお買い上げ時の名前に戻すときは、グループ名を削除してください。

4 📷

グループ別に発着信設定をする<グループ別発着信設定>

FOMA端末電話帳のグループごとに発着信時の動作を設定することができます。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[電話帳]▶[電話帳検索]▶[グループ検索]

2 グループにカーソルを合わせる▶MENU▶[グループ別発着信設定]

3 各項目を設定▶📷

- 項目の切替：◎

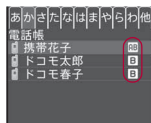
- 着信音、発着信画像、着信バイブレータ、着信イルミネーションパターン、着信イルミネーションカラーを[端末設定に従う]に設定すると、それぞれ着信音設定（☞P.102）、電話発着信画像（☞P.110）、バイブレータ設定（☞P.104）、イルミネーション設定（☞P.118）の設定に従います。

電話帳検索

電話帳から電話をかける

登録した電話帳を呼び出して電話をかけたり、メールを送信できます。

■ 2in1利用時の電話帳について

- 2in1のモードによって表示される電話帳については☞P.464
- [デュアルモード]のときは、どのモードの電話帳に登録されているかを次のマークで確認できます。

電話帳リスト画面　電話帳内容表示画面

マークの意味

A　:A
B　:B
AB　:共通

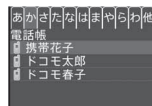
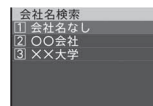
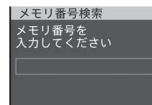
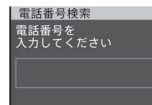
■ iコンシェルのインフォメーションについて

電話帳にiコンシェル住所、iコンシェルメモ、iコンシェルURLの3つの項目を追加登録できます。

- 項目が追加された電話帳には、電話帳リスト画面に[ ]が表示され、電話帳内容表示画面には次のマークが表示されます。マークを選択して、地図を表示したりサイトに接続したりできます。
  - iコンシェルをご契約されていない場合は表示されません。

マークの意味

：iコンシェル住所
：iコンシェルメモ
：iコンシェルURL

電話帳の検索方法を選択する<検索方法選択>

全件表示(50音)　グループ検索　会社名検索

メモリ番号検索　電話番号検索

1 待受画面で◎▶MENU▶[検索方法選択]

- ノーマルメニューでは：[電話機能]▶[電話帳]▶[電話帳検索]

2 検索方法を選ぶ

- 設定できる検索方法は次のとおりです。
  - ■ 全件表示(50音)：FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳が、それぞれフリガナ順に表示されます。
  - ■ グループ検索：FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳が、それぞれグループごとに表示されます。
  - ■ 会社名検索：FOMA端末電話帳が会社名ごとに表示されます。
  - ■ メモリ番号検索：FOMA端末電話帳がメモリ番号順に表示されます。
  - ■ 電話番号検索：入力した数字を含む電話番号を検索し、電話帳を表示します。
- 待受画面で◎を押して表示される検索方法を設定：検索方法にカーソルを合わせる▶MENU

検索して電話をかける

1 待受画面で◎

- FOMA端末電話帳／ドコモUIMカード電話帳の切替：📷

2 名前にカーソルを合わせる

全件表示（50音）

- フリガナを50音順に並べ、50音とその他（英字→数字→記号）のタブに表示されます。
- フリガナを1文字ずつ入力して、最も近い電話帳を順次表示できます（スピーディーサーチ）。

グループ検索

- 電話帳登録時に指定したグループに振り分けられています。
- グループを選択すると、電話帳リスト画面が表示されます。
  - ・電話帳リスト画面では全件表示（50音）と同じ順で表示されます。

会社名検索

- 電話帳登録時に登録した会社名で振り分けられています。
- 会社名を選択すると、電話帳リスト画面が表示されます。
  - ・電話帳リスト画面では全件表示（50音）と同じ順で表示されます。

メモリ番号検索

- メモリ番号を入力して📷を押すと、最も近い電話帳から一覧で表示できます。
  - ・メモリ番号を入力しないで📷を押すと、メモリ番号順に表示されます。

電話番号検索

- 電話番号を入力して📷を押すと、その番号を含む電話帳が一覧で表示されます。
  - ・FOMA端末電話帳はメモリ番号順に表示され、ドコモUIMカード電話帳は全件表示（50音）と同じ順で表示されます。

3 📞（音声電話）／📺（テレビ電話）

■ 電話帳リスト画面のサブメニュー操作

[発信オプション／メール]

- ▶[発信オプション] ☞P.67
- ▶[メール作成]▶メールを作成・送信
- ▶[メール添付]▶メールを作成・送信
- ▶[SMS作成]▶SMSを作成・送信
- ▶[URL起動]▶接続方法を選ぶ
  - ● ｉコンシェルURLも登録されているとき：[URL起動]▶接続先を選ぶ▶接続方法を選ぶ
- ▶[メール検索]▶メールの種類を選ぶ
- ▶[地図を見る]
  - ● ｉコンシェル住所も登録されているとき：[地図を見る]▶住所を選ぶ

[新規登録]▶電話帳に登録

[編集／設定]

- ▶[編集] ☞P.98
- ▶[個別着信設定] ☞P.98
- ▶[入替え] ☞P.99
- ▶[詳細設定]
  - ▶[シークレット属性設定]／[シークレット属性解除]（シークレットモードが[ON]のときのみ） ☞P.99
  - ▶[発番号設定]▶端末暗証番号を入力▶番号を選ぶ▶設定を選ぶ
  - ▶[着信許可／拒否設定]▶端末暗証番号を入力▶番号を選ぶ▶設定を選ぶ
  - ▶[シークレットコード設定] ☞P.99
  - ▶[電話帳2in1設定] ☞P.462

[検索方法選択] ☞P.93

[位置情報／居場所]

- ▶[位置情報利用] ☞P.336

▶[居場所を確認]▶[はい]
● 電話番号が複数登録されているとき:[居場所を確認]▶電話番号を選ぶ▶[はい]

[電話帳削除]	☞P.99
[確認/表示切替]	
▶[基本情報]	
▶[登録件数確認]	
▶[画像確認]	
▶[表示切替]	☞P.97
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.385
▶[iC送信]	☞P.387
▶[Bluetooth送信]	☞P.439
[コピー/お預かり]	
▶[データコピー]	
▶[ドコモUIMカード(FOMAカード)コピー]	☞P.91
▶[microSDへ1件コピー]	☞P.371
▶[microSDへ全件コピー]	☞P.371
▶[項目コピー]▶項目を選ぶ ● 電話帳に登録した項目の内容をコピーします。	
▶[お預かりセンターに接続]	☞P.134

[居場所を確認]について

● イマドコかんたんサーチのiモードサイトに接続します。イマドコかんたんサーチの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
● ご利用には別途検索料(検索成功時のみ)とパケット通信料がかかります。

■ ドコモUIMカード電話帳リスト画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、電話帳リスト画面のサブメニュー操作(☞P.94)を参照してください。
- ■ 発信オプション/メール(発信オプション、メール作成、メール添付、SMS作成、メール検索)
- ■ 新規登録　■ 検索方法選択
- ■ 確認/表示切替(基本情報、登録件数確認、表示切替)
- ■ データ送信

[編集]	☞P.98
[電話帳削除]	
▶[1件削除]▶[はい]	
▶[選択削除]▶名前を選ぶ▶📷	
[コピー]	
▶[本体へコピー]	☞P.91
▶[項目コピー]▶項目を選ぶ ● 電話帳に登録した項目の内容をコピーします。	

■ グループ一覧画面のサブメニュー操作

[グループ追加]	☞P.92
[グループ名変更]	☞P.92
[グループ削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]	
[1つ上へ移動]	
[1つ下へ移動]	
[検索方法選択]	☞P.93
[グループ別発着信設定]	☞P.92
[シークレット属性設定]/[シークレット属性解除](シークレットモードが[ON]のときのみ)	☞P.99

■ ドコモUIMカード電話帳グループ一覧画面のサブメニュー操作

[グループ名変更]	☞P.92
[検索方法選択]	☞P.93

■ 会社名一覧画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、グループ一覧画面のサブメニュー操作（☞P.95）を参照してください。
  - ■ 1つ上へ移動 ■ 1つ下へ移動
  - ■ 検索方法選択 ■ シークレット属性設定、シークレット属性解除

[会社名削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[会社名別発着信設定] ☞P.98

電話帳内容表示画面から操作する

1 待受画面で◎

2 名前を選ぶ

- 電話帳に登録した項目がアイコンで表示されます。アイコンを選ぶと操作ガイダンスに利用可能な機能が表示されます。割り当てられたボタンを押して、操作することができます。

電話帳内容表示画面

■ 電話帳内容表示画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、電話帳リスト画面のサブメニュー操作（☞P.94）を参照してください。
  - ■ 発信オプション／メール ■ 新規登録 ■ 編集／設定
  - ■ 位置情報／居場所
  - ■ 確認／表示切替（基本情報、登録件数確認、画像確認） ■ データ送信

[着もじ／マルチナンバー]
- ▶[着もじ] ☞P.71
- ▶[マルチナンバー] ☞P.461

[着もじ／自局番号]（2in1のモードが[デュアルモード]／[Bモード]のときのみ）
- ▶[着もじ] ☞P.71
- ▶[自局番号]▶電話番号の種類を選ぶ

[電話帳削除]▶[はい]

[確認／表示切替]
- ▶[画像／名前表示切替] ☞P.97

[コピー]
- ▶[データコピー]
  - ▶[ドコモUIMカード（FOMAカード）コピー] ☞P.91
  - ▶[microSDへ1件コピー] ☞P.371
- ▶[項目コピー]▶項目を選ぶ
  - 電話帳に登録した項目の内容をコピーします。

■ ドコモUIMカード電話帳内容表示画面のサブメニュー操作

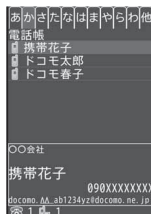
- 次の機能については、電話帳リスト画面のサブメニュー操作（☞P.94）を参照してください。
  - ■ 発信オプション／メール（発信オプション、メール作成、メール添付、SMS作成、メール検索）
  - ■ 新規登録
  - ■ 確認／表示切替（基本情報、登録件数確認） ■ データ送信
- 次の機能については、電話帳内容表示画面のサブメニュー操作（☞P.96）を参照してください。
  - ■ 着もじ／マルチナンバー ■ 着もじ／自局番号
  - ■ 電話帳削除 ■ 確認／表示切替（画像／名前表示切替）
  - ■ コピー（項目コピー）

[編集] ☞P.98

[コピー]
- ▶[本体へコピー] ☞P.91

電話帳リスト画面の表示方法を変更する<表示切替>

電話帳リスト画面に、登録した画像やメールアドレスなどを表示できます。

1 電話帳リスト表示画面で MENU ▶［確認／表示切替］▶［表示切替］▶ 表示方法を選ぶ

名刺表示　　リスト表示　　ピクチャー一覧

- 表示される電話番号／メールアドレスは、表示方法により次のように異なります。
  - ■ リスト表示：1件目の電話番号
  - ■ 名刺表示、ピクチャー一覧：1件目の電話番号、1件目のメールアドレス
- 通常ポジションでは、表示された電話番号に電話をかけることができます。
- 個人の電話帳の<画像選択・撮影>欄とグループ別発着信設定の発着信画像の両方に画像を設定したときは、個人ごとの設定が優先されます。

電話帳内容表示画面の表示方法を変更する <画像／名前表示切替>

1 電話帳内容表示画面で MENU ▶［確認／表示切替］▶［画像／名前表示切替］▶ 表示方法を選ぶ

画像表示優先　　名前表示優先　　画像登録時のみ表示

［画像登録時のみ表示］について

- 電話帳に画像が登録されていない場合は、［名前表示優先］と同じ画面が表示されます。

電話帳

編集

電話帳を修正する

電話帳に登録／設定した内容を、項目ごとに編集できます。

1 待受画面で◎▶名前にカーソルを合わせる▶MENU▶[編集／設定]▶[編集]

2 電話帳を修正▶📷

- 修正した内容を新規の電話帳として登録するときは、メモリ番号も修正します。

3 電話帳に登録

◆ **[上書き登録]**

◆ **[新規登録]**

・メモリ番号がすでに使用されているときは、[新規登録]選択時にメモリ番号が置き換わります。もう一度、📷▶[新規登録]を選択すると、新しい電話帳として登録されます。

● オールロック、ダイヤル発信制限を設定しているときは、編集できません。

電話帳ごとに着信動作を設定する<個別着信設定>

FOMA端末電話帳の電話番号やメールアドレスごとに、着信時の動作を設定できます。

1 待受画面で◎▶名前にカーソルを合わせる▶MENU▶[編集／設定]▶[個別着信設定]

2 各項目を設定▶📷

- 項目の切替：◎

● 電話帳にグループを設定している場合、各項目で[グループ設定に従う]を設定すると、グループ別発着信設定に従います。
グループを設定せずに会社名を設定している場合は、各項目で[会社名設定に従う]を選択できます。[会社名設定に従う]に設定すると、会社名別発着信設定に従います。

● 電話帳にグループ、会社名のどちらも設定していない場合は、[端末設定に従う]を設定できます。着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションパターン、着信イルミネーションカラー、テレビ電話代替画像を[端末設定に従う]に設定すると、それぞれ着信音設定（☞P.102）、バイブレータ設定（☞P.104）、イルミネーション設定（☞P.118）、代替画像（☞P.87）の設定に従います。

会社別に発着信動作を設定する<会社名別発着信設定>

FOMA端末電話帳の会社名ごとに発着信時の動作を設定することができます。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[電話帳]▶[電話帳検索]▶[会社名検索]

2 会社にカーソルを合わせる▶MENU▶[会社名別発着信設定]

3 各項目を設定▶📷

- 項目の切替：◎

● 着信音、発着信画像、着信バイブレータ、着信イルミネーションパターン、着信イルミネーションカラーを[端末設定に従う]に設定すると、それぞれ着信音設定（☞P.102）、電話発着信画像（☞P.110）、バイブレータ設定（☞P.104）、イルミネーション設定（☞P.118）の設定に従います。

電話帳や電話番号の順番を入れ替える<入替え>

メモリ番号や、電話帳に登録している電話番号、メールアドレスの順番を入れ替えることができます。

1 待受画面で◎ ▶ 名前にカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [編集/設定] ▶ [入替え]

2 項目を選ぶ

◆ **[電話番号入替え] ▶ 電話番号を選ぶ**
- 選択した電話番号が、1件目に登録されている電話番号と入れ替わります。
- 電話帳に複数の電話番号が登録されているときのみ操作できます。

◆ **[メールアドレス入替え] ▶ メールアドレスを選ぶ**
- 選択したメールアドレスが、1件目に登録されているメールアドレスと入れ替わります。
- 電話帳に複数のメールアドレスが登録されているときのみ操作できます。

◆ **[メモリ番号入替え] ▶ 名前を選ぶ**
- 選択した電話帳のメモリ番号が、操作1で選択した名前と入れ替わります。
- 電話帳が複数登録されているときのみ操作できます。

メールアドレスにシークレットコードを設定する <シークレットコード設定>

1 待受画面で◎ ▶ 名前にカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [編集/設定] ▶ [詳細設定] ▶ [シークレットコード設定] ▶ 端末暗証番号を入力

2 メールアドレスを選ぶ ▶ シークレットコード(4桁)を入力

- シークレットコードを解除するには、シークレットコードを削除してください。

- シークレットコードや、自分のシークレットコードの登録については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

電話帳削除

電話帳を削除する

1 待受画面で◎ ▶ 名前にカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [電話帳削除]

2 削除方法を選ぶ

◆ **[1件削除] ▶ [はい]**

◆ **[選択削除] ▶ 名前を選ぶ ▶ 📷**

◆ **[全件削除] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ [はい]**

シークレット属性設定

電話帳にシークレット属性を設定する

他人に見られたくない電話帳やグループを非表示にします。シークレット属性を設定した電話帳は、シークレットモードが[ON]に設定されているときだけ表示されます。

- あらかじめシークレットモードを[ON]に設定しておいてください(☞P.131)。

1 待受画面で◎ ▶ 名前にカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [編集/設定] ▶ [詳細設定]

2 [シークレット属性設定]

- シークレット属性設定の解除:[シークレット属性解除]

- シークレットモードが[ON]のときシークレット属性設定されたデータを選ぶと、電話帳リスト画面や電話帳内容表示画面で[🔑]が点滅します。

クイックダイヤル/クイックメール

少ないボタン操作で電話発信やメール送信をする

FOMA端末電話帳のメモリ番号[0000]～[0099]に登録した相手には、簡単な操作で電話をかけたり、iモードメールやSMSを作成して送信することができます。

1 **待受画面でメモリ番号の下1桁または下2桁の数字を入力**

2 **機能を選ぶ**

- 音声電話:
- テレビ電話:
- メールの作成: ▶メールを作成・送信
- SMSの作成: (1秒以上)▶SMSを作成・送信
- 着もじ:

- パーソナルデータロック中は利用できません。
- 電話帳に複数の電話番号/メールアドレスが登録されているときは、1件目に登録されている電話番号/メールアドレスが利用できます。

クイック電話帳検索

読みを簡単に入力して電話帳を検索する

待受画面でフリガナを入力して電話帳を検索することができます。ダイヤルボタンに割り当てられているすべての文字の組み合わせから、電話帳の候補を表示します。

例:「田中(たなか)」を含む電話帳を検索するとき

1 **待受画面で4▶●▶[電話帳検索]**

- 4に割り当てられた「た」「ち」「つ」「て」「と」「G」「H」「I」「4」をフリガナに含む電話帳が一覧表示されます。
- 待受画面で452▶●▶[電話帳検索]で検索することもできます。
- 検索文字列は10文字まで入力できます。

2 **5**

- 45に対応した「たな」「たに」「つね」などをフリガナに含む電話帳が表示されます。

3 **2**

- 452に対応した「たなか」「たにく」などをフリガナに含む電話帳が表示されます。

4 **名前を選ぶ**

- メール一覧を表示:名前にカーソルを合わせる▶
- 使いかたガイドの表示:MENU

- 濁点、半濁点、記号の入力は不要です。
- パーソナルデータロック中は検索できません。
- 2in1のモードが[Aモード]の場合はAモードの電話帳から、[Bモード]の場合はBモードの電話帳から検索されます。
- シークレットモードが[OFF]に設定されている場合、シークレット属性設定が設定されている電話帳は検索できません。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

着信音設定

着信音を変える

- お買い上げ時に登録されているメロディや、iモードで取得したメロディ、着うた®、iモーション、着うたフル®、FOMA端末で撮影した動画などを設定できます。
- iモーションを設定すると、着信時に映像や音声が再生されます（着モーション）。
- 2in1の着信設定については☞P.463

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[音／バイブ／マナー]▶[着信音設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[音声電話]▶項目を選ぶ**
- ・設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 電話着信音：音声電話着信音を設定できます。
  - ■ 着信拒否設定：着信拒否設定については☞P.132

◆ **[テレビ電話]**

◆ **[メール]▶項目を選ぶ**
- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定しているときは、Aナンバー／Bナンバー（メールのときはAアドレス／Bアドレス）の選択画面が表示されます。

3 各項目を設定▶📷

- microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のiモーションや[iモード(microSD)]フォルダ内の着うたフル®は直接設定できますが、設定されたiモーション、着うたフル®はFOMA端末に移動されます。移動先は次のとおりです。
  - ■ iモーション：データBOXのiモーション・ムービーの[iモード]フォルダ
  - ■ 着うたフル®：データBOXのミュージックの[iモード(本体)]フォルダ
- 着うたフル®を設定するときは、1曲全部を設定（まるごと設定）したり、曲の一部分を設定（オススメ設定）することができます。
- 次の場合は、着信音に設定できません。
  - ■ microSDカードからFOMA端末にコピーしたiモーション
  - ■ 映像のみのiモーション
  - ■ テロップの付いたiモーション
  - ■ 再生制限のある着うた®やiモーション、着うたフル®、うた・ホーダイ
  - ■ 再生期限および更新有効期間が終了したうた・ホーダイ
  - ■ 着信音設定が[不可]の着うた®やiモーション、着うたフル®、うた・ホーダイ
  - ■ 対応するミュージック（会員制）サービスのライセンスがないうた・ホーダイ
  - ■ ダウンロードの途中で保存した着うたフル®

- 着信音を変更すると、着信画面も変更されるときがあります。
- 複数の着信音が設定されているときは、次の優先順位で鳴ります。

	優先順位（高→低）
着信音	電話帳の電話着信音→グループの電話着信音→会社名の電話着信音→通常のテレビ電話着信音／電話着信音
メール着信音	電話帳のメール着信音→グループのメール着信音→会社名のメール着信音→通常のメール着信音

- ・マルチナンバー利用時、付加番号に着信した場合は、電話帳の電話着信音→グループの電話着信音→会社名の電話着信音→マルチナンバーの着信音の順に鳴ります。
- ・2in1利用時、Aナンバー／Bナンバーに着信した場合は、電話帳の電話着信音→グループの電話着信音→会社名の電話着信音→Aナンバー／Bナンバーの着信音の順に鳴ります。
- ・2in1利用時、Bアドレス宛のメールを受信した場合は、電話帳のメール着信音→グループのメール着信音→会社名のメール着信音→Bアドレス宛のメール着信音の順に鳴ります。
- ・シークレット属性を設定した電話帳やグループから電話を着信したときや、フォルダシークレットを設定したフォルダに振り分けられるメールを受信したときは、シークレットモードが[OFF]でプライバシー設定の電話帳の着信音鳴動を[通常]以外、メールの受信時表示・鳴動設定を[通常]以外に設定していると、着信音は鳴りません。
- ・公衆電話／非通知／通知不可能の電話を着信したときは、それぞれ着信拒否設定で設定した着信音が優先されます。ただし、非通知のテレビ電話を着信したときは、テレビ電話着信音が優先されます。

- データ通信時の着信音と着信画面は、音声電話の設定と同じです。
- 受信・自動送信表示を[通知優先]に設定していても、次の場合は、メールを受信してもメール着信音は鳴りません。
  - 通話中
  - ｉアプリ起動中
  - カメラ起動中(コラムリーダー、バーコードリーダーを除く)
  - パターンデータ更新中
  - エリアメール自動表示中
  - HDMI出力中
  - 音声入力中

■ お買い上げ時に登録されているメロディ

曲　名	3D情報	曲　名	3D情報
着信音１	−	着信音２	−
着信音３	−	着信音４	−
着信音５	−	着信音６	−
黒電話	−	着信音(大)	−
メールが届きました	−	Ave Maria	有
Beat On Motion	有	Simple Life	有
My Journey	有	Ride On	有
Honey Toast	−	Green Sleeves	−
エリーゼのために	−	High and Low	−
8 bit Heroes	有	サイレント	−
TI(標準音)	−	TI(時間です)	−
TI(It's time)	−		

その他音設定

各種設定音を変える

アラーム音やキー確認音などの各種設定音を設定できます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[音／バイブ／マナー]▶[その他音設定]

2 項目を選ぶ

- ◆ [ｉコンシェル着信音]▶各項目を設定▶📷
- ◆ [GPS測位鳴動音]▶項目を選ぶ▶各項目を設定▶📷
- ◆ [アラーム音]▶項目を選ぶ▶各項目を設定▶📷
- ◆ [操作確認音]▶項目を選ぶ▶設定を選ぶ
- ◆ [充電確認音]▶設定を選ぶ
- ◆ [電池アラーム音]▶設定を選ぶ

音量設定

着信音や各種設定音の音量を変える

着信音やアラーム音、操作確認音などの各種設定音の音量を調節できます。

- 調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。
- マナーモード設定中は、マナーモードの設定に従います(受話音量を除く)。
- 各音量の設定できる値は次のとおりです。
  - 電話着信音量、メール・メッセージ着信音量、GPS測位鳴動音量、ｉコンシェル着信音量、アラーム音量、スケジュール音量:[Level 1]〜[Level10]、[Silent][Steptone](だんだん大きな音になる)
  - 受話音量:[Level 1]〜[Level10]
  - ワンセグアラーム音量:[Level 1]〜[Level25]、[Silent]
  - ｉアプリ音量、操作確認音量、メロディ音量、待受ｉモーション音量:[Level 1]〜[Level10]、[Silent]

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[音／バイブ／マナー]▶[音量設定]

2 項目を選ぶ

- ◆ [着信音量]▶項目を選ぶ▶⓪
  - ・待受画面で⓪(１秒以上)でも受話音量を調節できます。
  - ・通話中の受話音量の調節については☞P.79
- ◆ [メール・メッセージ着信音量]▶⓪
- ◆ [GPS測位鳴動音量]▶⓪
- ◆ [ｉコンシェル着信音量]▶⓪
- ◆ [アラーム音量]▶項目を選ぶ▶⓪
- ◆ [ｉアプリ音量]▶⓪
- ◆ [操作確認音量]▶⓪
- ◆ [メロディ音量]▶⓪
- ◆ [待受ｉモーション音量]▶⓪

次ページへ続く▶▶

- Steptone：[Level10]で◎
- Silent：[Level 1]で◎

[着信音量]、[アラーム音量]について
- 通話直後や伝言メモ／音声メモの再生中に着信／アラームの動作があった場合、着信音／アラーム音は設定にかかわらず[Level 1]で鳴ります。

音楽再生音優先設定

優先する再生音を設定する

- ミュージックプレーヤーで音楽再生中にｉアプリを起動したとき、[ON]に設定しているとバックグラウンド再生できます。ただし、ｉアプリからの音は設定に関係なく優先して鳴ります。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[音／バイブ／マナー]▶[音楽再生音優先設定]

2 設定を選ぶ

スピーカーブースター設定

スピーカの音質について設定する

スピーカ出力時の音質を向上し、より自然な音で再生するように設定できます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[音／バイブ／マナー]▶[スピーカーブースター設定]

2 設定を選ぶ

バイブレータ設定

着信やアラームを振動で知らせる

着信時、GPS測位時、アラーム鳴動時、ｉアプリ利用時、タッチ操作時の振動を設定できます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[音／バイブ／マナー]▶[バイブレータ設定]

2 項目を選ぶ

3 バイブレータを選ぶ

- [メロディ連動]に設定すると、バイブレータが動作するように作成されたメロディのとき、メロディと連動してバイブレータが振動します。連動していないメロディのときは、パターンＡで振動します。
- ｉアプリ利用時、タッチ操作時は、[ON]／[OFF]のみ設定できます。
- [パターンＡ]～[パターンＣ]にカーソルを合わせると、バイブレータの振動を確認できます。

- シークレット属性を設定した電話帳やグループから電話を着信したときや、フォルダシークレットを設定したフォルダに振り分けられるメールを受信したときは、シークレットモードが[OFF]でプライバシー設定の電話帳の着信音鳴動を[消音]、メールの受信時表示・鳴動設定を[表示しない／鳴動なし]に設定していると、バイブレータは動作しません。
- バイブレータを設定したとき、机の上などにFOMA端末を置いておくと、振動によって落下するおそれがありますので、ご注意ください。

メロディコール

呼出音を変える

音声電話をかけてきた相手に、「プルル‥」という呼出音の代わりに季節感のあるメロディを流します。お好みのメロディに変更することもできます。

- テレビ電話から発信された場合、メロディコールは流れません。
- メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- メロディコールの利用方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[メロディコール]▶[はい]

- メロディコールのｉモードサイトに接続します。ｉモードサイトに接続するとパケット通信料がかかります（設定サイトはパケット通信料がかかりません）。

2 設定する

マナーモード選択

電話から鳴る音を消す

公共の場所などで電話の音を周囲に出したくないときは、マナーモードを利用しましょう。FOMA端末から音を出さないように、切り替えることができます。

- マナーモード設定中も、次の音は鳴ります。
  - ■ カメラのシャッター音
  - ■ カメラの撮影開始音／停止音
  - ■ ボイスレコーダーの開始音／停止音
- マナーモード設定中に緊急地震速報を受信すると、マナーモードの設定にかかわらずバイブレータは動作します。また、オリジナルマナーモードで、次のいずれかの音を鳴らす設定になっているときは専用警報音（ブザー音）も鳴ります。
  - ■ キー確認音　■ 電話着信音量　■ メール着信音量
  - ■ アラーム音　■ 電池アラーム音
- マナーモードの種類によって、各機能の設定内容が異なります。

機　能	通　常	サイレント	オリジナル※1
バイブレータ	ON	OFF	ON
キー確認音、開閉操作音	OFF	OFF	OFF
電話着信音量、メール着信音量、ｉコンシェル着信音量、メロディ音量、GPS測位動作音量	消音	消音	消音
電池アラーム音、アラーム音、スケジュール音、ｉアプリ音	OFF	OFF	OFF
マイク感度UP※2	ON	ON	ON
伝言メモ	OFF※3	OFF※3	ON

※1　オリジナルマナーモードの設定は変更できます。
※2　マイク感度UPを設定すると、通話中のマイクの感度が高くなり、小さな声でも通話できます。ただし、ハンズフリーでの通話中は、マイク感度は変わりません。
※3　伝言メモ設定を[ON]にした場合は、伝言メモは有効になります。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[音／バイブ／マナー]▶[マナーモード選択]

2 種類を選ぶ

- ◆ [通常マナーモード]
- ◆ [オリジナルマナーモード]▶各項目を設定▶[カメラ]
- ◆ [サイレントマナーモード]
- マナーモードを設定すると、[マナー]が表示されます。

■ 指定した時刻にマナーモードを自動的に解除する＜マナー解除＞

1 待受画面で解除時刻（4桁:24時間制）を入力▶●▶[マナー解除]

- 一度マナーモードが解除されると、マナー解除の設定は無効になります。繰り返し利用する場合は毎回マナー解除を設定してください。

ワンタッチでマナーモードを設定／解除する

1 待受画面で[#]（1秒以上）▶種類を選ぶ

マナーモードを解除する

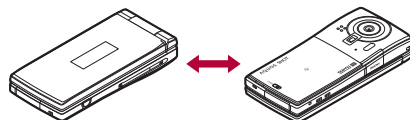
- 待受画面で[#]（1秒以上）

モーションサイレントで着信音やアラーム音を止める

マナーモードを設定していないときでも、FOMA端末を裏返して一時的に着信音やアラーム音、タイマー音などを止めることができます。

- あらかじめモーションサイレントを[ON]に設定してください。

1 着信中やアラーム鳴動中などにFOMA端末を裏返す

次ページへ続く

- 着信中は⊞／Ⓓを押しても操作できます。
  - ・⊞／Ⓓでの操作は、モーションサイレントを[OFF]に設定している場合でも操作できます。

■ モーションサイレントを利用する＜モーションサイレント＞

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[音／バイブ／マナー]▶[モーションサイレント]

2 設定を選ぶ

待受画面設定

メインディスプレイの待受画面の表示を変える

メインディスプレイの待受画面の表示を設定します。

待受画面の表示を設定する＜待受画面選択＞

- 2in1待受画面設定については☞P.462

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[待受画面設定]▶[待受画面選択]

2 項目を選ぶ

◆ **[縦画面設定]▶項目を選ぶ**
- ・設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ イメージ設定：あらかじめ登録されている画像やFOMA端末で撮影した静止画、サイトから取得した画像などを待受画面に設定できます。
  - ■ ランダムイメージ設定：指定したフォルダ内の画像を設定した時間ごとに切り替えて待受画面に表示します。
  - ■ ｉモーション／ムービー設定：FOMA端末で撮影した動画、サイトから取得した動画などを待受画面に設定できます。
  - ■ ｉアプリ設定：ｉアプリ設定については☞P.304
  - ■ きせかえツールに従う：きせかえツールに従います。

◆ **[横画面設定]▶項目を選ぶ**
- ・設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ イメージ設定：あらかじめ登録されている画像やFOMA端末で撮影した静止画、サイトから取得した画像などを待受画面に設定できます。
  - ■ きせかえツールに従う：きせかえツールに従います。
- 2in1利用時は、現在のモードの待受画面が設定されます。2in1のモードが[Bモード]または[デュアルモード]のときは、静止画のみ設定できます。

- microSDカード内の画像は設定できません。FOMA端末にコピー／移動してから設定してください。
- 音声のみ／再生制限あり／ASF形式のｉモーションは待受画面に設定できません。
- 動画／ｉモーションは、画像サイズが「QVGA：320×240」、「hQVGA：240×176」、「QCIF：176×144」の場合のみ待受画面に設定できます。
- microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のｉモーションは直接設定できますが、設定されたｉモーションはFOMA端末のデータBOXのｉモーション・ムービーの[ｉモード]フォルダに移動されます。
- 待受画面に設定した画像を削除すると、データBOXのマイピクチャの[プリインストール]フォルダ内の画像が設定されます。
- サイトなどから取得した画像によっては、正しく表示されないときがあります。

[縦画面設定]について
- ランダムイメージ設定の切替設定を[30分ごと]に設定した場合は毎時0分と30分に、[60分ごと]に設定した場合は毎時0分に、[開閉ごと]に設定した場合はFOMA端末を開くたびに画像が切り替わります。

■ 待受画面から画像を変更する＜クイック壁紙セッティング＞

- 設定されているきせかえツールによっては、変更できない場合があります。
- 待受アクセサリを設定している場合は、クイック壁紙セッティングを起動できません。

1 待受画面をロングタッチ▶[確認]
- 画像が全画面表示になります。

2 画像を選ぶ
- 画像の切替：Ⓞ

- タッチ操作のとき:左右にすばやくスライドして画像を切り替える ▶画面をタッチしてボタンを表示▶[決定]/[OK]をタッチ
- 待受画面に設定している画像と同じフォルダに保存されている画像から選択できます。
  - フォルダ内の画像が1枚のみの場合は変更できません。
- iモーションやiアプリを設定している場合は変更できません。
- 通常ポジション/ビューアポジションで縦表示のときは縦画面設定を、ビューアポジションで横表示のときは横画面設定を設定できます。

■ 待受画面選択した画像の操作

- 待受画面に選択したFlash画像やGIFアニメーション、iモーションは、次の操作を行うと再生されます。
  - ■ FOMA端末を開く
  - ■ 画像の停止中に[キー]を押して待受画面の表示を切り替える
  - ■ 他の画面から待受画面に戻る
- 待受画面を表示すると、時計などのFlash画像やGIFアニメーションは、一定時間再生されたあとに停止します。
- ecoモードになっているときは、いずれかのボタンを押すと画面が表示されます。音声電話中以外は、押したボタンの機能は実行されません。

Flash画像、GIFアニメーション

- Flash画像は最初の1コマ目から最長約1分再生され、ループ回数が設定されているGIFアニメーションは最大16回まで繰り返し再生されます。再生終了後は1コマ目が待受画面として表示されます。再生中に[キー]を押すと一時停止/再生を切り替えることができます。
- Flash画像の時計が止まった場合は、Flash画像の再生を行うと再開されます。時計の時刻がずれている場合は、Flash画像再生時に更新され、正しい時刻が表示されます。
- Flash画像の効果音は再生されません。

iモーション

- 動画の最後まで1度再生され、再生終了後は1コマ目が待受画面として表示されます。再生中に[キー]を押すと1コマ目に戻り停止します。再度[キー]を押して待受画面の表示を切り替えると再生されます。
- 再生中に音声の有無を切替:MAP(1秒以上)

カレンダーや新着情報などを表示する <カレンダー/待受カスタマイズ>

待受画面にカレンダーや新着情報などを表示させることができます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[待受画面設定]▶[カレンダー/待受カスタマイズ]

2 項目を選ぶ

◆ **[カレンダー]▶各項目を設定▶[カメラキー]**
- 待受画面にカレンダーを表示させることができます。

◆ **[待受カスタマイズ]▶表示パターンを切り替える▶表示エリアを選ぶ▶表示項目を選ぶ▶[カメラキー]▶[はい]**
- 待受画面をいくつかのエリアに分割し、新着情報、スケジュール、カレンダー、メモを表示します。
- 表示パターンの切替:[キー]
- 設定できる表示項目は次のとおりです。
  - ■ 表示なし:エリアに何も表示しません。
  - ■ 新着情報:新着情報を表示します。
  - ■ スケジュール:スケジュールを表示します。
  - ■ カレンダー:カレンダーを表示します。
    - 表示エリアによってはカレンダーが設定できない場合があります。
    - 週の先頭となる曜日はスケジュール表示設定のカレンダーモードの設定に従います。
  - ■ メモ一覧:メモ一覧を表示します。
  - ■ メモ内容:メモの内容を表示します。
- 待受画面にiモーションまたはiアプリを設定している場合は、待受カスタマイズに設定できません。

◆ **[OFF]**

■ 待受画面でのカレンダー操作

- 待受画面の表示切替:[キー]
- 前後のカレンダーを表示:カレンダー表示中に[キー]▶カレンダーにカーソルを合わせる▶[キー]
- スケジュールの表示:カレンダー表示中に[キー]▶カレンダーを選ぶ

時計を表示する<時計表示設定>

待受画面に時計を表示させることができます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[待受画面設定]▶[時計表示設定]

2 各項目を設定▶📷

● 時計表示設定が[ON]で、待受画面にｉモーションまたはｉアプリを設定している場合は、デザインの設定にかかわらず[デジタル４]が表示されます。ｉモーション停止中またはｉアプリ終了時は設定したデザインの時計が表示されます。

待受メモを表示する<待受メモ表示設定>

待受画面に待受メモを表示させることができます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[待受画面設定]▶[待受メモ表示設定]

2 設定を選ぶ

■ 待受メモ表示の切替

1 待受メモ表示中に◉▶📷

- 待受画面の表示切替：⌐

● 待受メモ（手書きメモ）を表示した状態で縦表示から横表示に切り替えた場合、待受メモ（手書きメモ）は縮小して表示されます。

■ 待受メモを作成する

待受メモ（手書きメモ）／待受メモ（エージェントメモ）は、それぞれ１件保存できます。

1 待受メモ表示中に◉▶MENU▶[新規]

- エージェントメモの場合、待受メモ（エージェントメモ）表示中に◉▶◉でもメモ編集画面を表示できます。
- タッチ操作のとき：待受メモをロングタッチ▶[新規]

2 メモを入力

- 手書きメモの操作については☞P.405「手書きメモを作成する」の操作２へ
- エージェントメモの操作については☞P.427「メモを入力する」の操作２へ

● 手書きメモで作成した待受メモは、データBOXのマイピクチャの[手書きメモ]フォルダに保存されます。
● パーソナルデータロック中は待受メモの内容が表示されません。

■ 待受メモ（手書きメモ）の拡大表示

1 待受メモ（手書きメモ）表示中に◉▶◉

- タッチ操作のとき：待受メモ（手書きメモ）をタッチ
- いずれかのボタンを押すと拡大表示を終了します。

■ 待受メモ画面のサブメニュー操作

[新規]	☞P.108
[編集]／[追記]▶メモを入力	
[破棄]（手書きメモのみ）▶[はい]	
[手書きメモを表示]／[エージェントメモを表示]	

待受アクセサリ設定

待受画面に各種機能を表示する

待受画面に電卓や時計、スライドショーなどのコンテンツ（アクセサリアイコン）を表示させることができます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[待受画面設定]▶[待受アクセサリ設定]

2 設定を選ぶ

● 待受画面にJPEG画像、GIF画像以外を設定した場合や、ランダムイメージ設定を設定した場合は、待受アクセサリ設定は[OFF]になります。
● 2in1機能をONにすると、待受アクセサリ設定は[OFF]になります。

待受アクセサリを操作する

- 待受タッチランチャ、カレンダー／待受カスタマイズ、待受メモ、ウェルネス表示を表示中は、非表示にしてからタッチ操作をしてください。

1 待受アクセサリ表示中に画面をタッチ

- 左右の領域の表示：アクセサリアイコンが表示されていない部分をタッチしたまま左右にスライド
- サブメニューの表示：MENU

2 アクセサリアイコンをタッチ

- マルチガイドボタンでも操作できます。ただし、一部操作できないものがあります。

■ 待受アクセサリ画面のサブメニュー操作

[Menuを表示する]	☞P.42
[壁紙を見る]／[機能を表示する]	
[機能を追加する]	☞P.109
[この機能を削除する]	
[購入時の状態に戻す]	

待受アクセサリを管理する

■ 待受アクセサリに表示する機能を設定／解除する

- 縦／横表示それぞれの待受アクセサリに表示する機能を設定／解除することができます。縦／横表示を切り替えて操作してください。

1 待受アクセサリ表示中に画面をタッチ

2 [＋]をタッチ

3 設定／解除する項目をタッチ

- ☑は設定、☐は解除の状態です。
- 項目を追加／削除することはできません。

4 [×]をタッチ

■ アクセサリアイコンを移動する

1 待受アクセサリ表示中に画面をタッチ

2 アクセサリアイコンをタッチしたまま、移動位置までスライド

3 アクセサリアイコンが表示されていない場所をタッチ

■ アクセサリアイコンを削除する

1 待受アクセサリ表示中に画面をタッチ

2 削除するアイコンをタッチしたまま、ごみ箱の上へスライド

■ 短縮登録を設定する

- あらかじめ登録したい電話番号／メールアドレスを電話帳に登録してから操作してください。

1 待受アクセサリ表示中に画面をタッチ

2 発着信履歴／メール送受信履歴ボタンをタッチ

3 [短縮登録]をタッチ

4 登録したい電話番号／メールアドレスの[登録]をタッチ

- 定型文を設定するとき：登録したいメールアドレスの[定型文]をタッチ▶登録したい定型文をタッチ

■ 短縮登録を削除する

1 待受アクセサリ表示中に画面をタッチ

2 発着信履歴／メール送受信履歴ボタンをタッチ

3 [削除]をタッチ

4 削除したい短縮登録をタッチ

画面切替時エフェクト設定

画面切替時の効果を設定する

待受画面に表示するカレンダーや待受メモなどの表示切替の設定をすることができます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[待受画面設定]▶[画面切替時エフェクト設定]

2 設定を選ぶ

卓上設定

充電中に卓上時計／スライドショーを表示する

ビューアポジションで待受画面表示中に充電を開始すると、卓上時計やスライドショーを表示することができます。

- 表示を開始してから2時間経過すると待受画面に戻ります。
- 卓上時計は[明るさ3]で表示されます。
- 次の動作で待受画面に戻ります。
  - ■ Dを押す
  - ■ タッチ操作
  - ■ メールの受信
  - ■ 電話の着信
  - ■ アラームの動作
  - ■ FOMA端末の開閉操作
  - ■ ACアダプタ／DCアダプタ、卓上ホルダの取り外し
  - ■ 縦／横表示を切替(スライドショーのみ)

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[待受画面設定]▶[卓上設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[卓上時計]▶各項目を設定▶📷**

◆ **[スライドショー]▶各項目を設定▶📷**

・指定したフォルダ内の画像を連続して表示します。

◆ **[OFF]**

[スライドショー]について

- スライドショーの再生間隔、効果設定は、データBOXのスライドショー設定と連動しています。

縦横画面自動切替

縦／横表示の自動切替について設定する

ビューアポジションのときにFOMA端末の向きに応じて縦／横表示を自動で切り替えるかどうかを設定します。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[縦横画面自動切替]

2 設定を選ぶ

待受時回転連動設定

ビューアポジションにしたときの動作を設定する

待受画面表示中にビューアポジションにしたときの動作を設定できます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[待受画面設定]▶[待受時回転連動設定]

2 設定を選ぶ

- [カメラ]に設定した場合、起動時の撮影モードはカメラボタン設定(☞P.234)に従います。

各種画面設定

各種画面を設定する

背景画像や発着信時／メール送受信時に表示される画像や、各種画面の設定を変更することができます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[各種画面設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[背景設定]▶各項目を設定▶📷**

・電話帳、メール、データBOXなど各種画面の背景画像を統一して変更します。
・プレビュー表示:[✉]

◆［電話発着信画像］▶項目を選ぶ
・設定できる項目は次のとおりです。
■ 電話発信設定:電話発信時に表示する画像を設定できます。
■ 電話着信設定:電話着信時に表示する画像を設定できます。
■ 人物画像表示設定:電話発着信時に電話帳に登録されている画像を表示するかどうか設定できます。
■ 着信拒否設定:着信拒否設定については☞P.132

◆［メール送受信画像］▶項目を選ぶ▶各項目を設定▶[📷]

◆［テレビ電話画像］▶項目を選ぶ▶各項目を設定▶[📷]

◆［着信表示設定］▶項目を選ぶ
・設定できる項目は次のとおりです。
■ 電話／メール着信時設定:電話やメールの着信時に、電話番号や電話帳に登録している名前などをディスプレイに表示するかどうかを設定できます。
■ 不在着信お知らせ:不在着信や新着メールがあったときにランプを約4秒間隔で点滅してお知らせします。

◆［発着信履歴表示設定］▶端末暗証番号を入力▶設定を選ぶ

◆［メール送受信履歴設定］▶端末暗証番号を入力▶設定を選ぶ

● microSDカード内の画像は設定できません。FOMA端末にコピー／移動してから設定してください。
● 電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール受信完了画像設定には、iモーション(音声のみのiモーションは除く)も設定できます。
● microSDカードからFOMA端末にコピーしたiモーションは電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール受信完了画像設定に設定できません。撮影した動画は、FOMA端末に直接保存して、設定してください。
● microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のiモーションは電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール受信完了画像設定に直接設定できますが、設定されたiモーションはFOMA端末のデータBOXのiモーション･ムービーの[iモード]フォルダに移動されます。

[背景設定]について
● カラーテーマ設定の設定によっては画面が見えにくくなる場合があります。背景設定の画像や濃度を変更するか、カラーテーマ設定を変更してください。
● データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像、GIF画像を設定できます。サイトからダウンロードした画像も利用できます。ただし、ファイル制限ありの画像は設定できません。
● 背景画像(縦)、背景画像(横)を[ランダム]に設定すると、設定したフォルダ内の画像を1日ごとにランダムで表示することができます。ただし、サイトからダウンロードしたファイル制限ありの画像は表示されません。

[電話発着信画像]について
● 電話発信設定、電話着信設定に設定した画像を削除すると、[標準画像]になります。
● 画像は次の優先順位で表示されます。

	優先順位(高→低)
画像	電話帳の画像→グループの発着信画像→会社名の発着信画像→通常の電話発着信画像／テレビ電話発着信画像 ● iモーションを設定している場合は、設定しているiモーションが優先されるときがあります。

● 相手の発信者番号が通知されない場合や、電話帳に画像を設定していないときは、人物画像表示設定を[ON]に設定しても画像は表示されません。

[テレビ電話画像]について
● 非通知のテレビ電話着信は、テレビ電話着信画面が優先されます。

[着信表示設定]について
● 電話／メール着信時設定を[名前のみ]や[名前表示]、[名前＋題名]に設定しても、電話帳に登録されていない相手から着信したときは電話番号やメールアドレスが表示されます。
● 不在着信お知らせを[ON]に設定した場合、不在着信と新着メールの両方があるときは、不在着信のランプ色で点滅します。
● 不在着信お知らせを[ON]に設定した場合、不在着信のランプ色は、電話着信のイルミネーションカラーで設定したイルミネーションカラーに従います。ただし、電話着信のイルミネーションカラーが[レインボー]または[ランダム]のとき、またはきせかえツールが設定されているときは、ランプ色[カラー8]で点滅します。

次ページへ続く▶▶

- 不在着信お知らせを[ON]に設定した場合、新着メールのランプ色は、メール着信のイルミネーションカラーで設定したイルミネーションカラーに従います。ただし、メール着信のイルミネーションカラーが[レインボー]のときは、ランプ色[カラー８]で点滅します。[ランダム]のとき、またはきせかえツールが設定されているときは、ランプ色[カラー２]で点滅します。
- 不在着信お知らせのランプが点滅し始めてから約６時間何も操作しなかったときは、不在着信お知らせのランプが消灯します。

[発着信履歴表示設定]について

- [OFF]に設定している間も履歴は記憶されます。[ON]に設定すると確認できます。
- [OFF]に設定しているときは、伝言メモを再生できません。

[メール送受信履歴設定]について

- [OFF]に設定している間も履歴は記憶されます。[ON]に設定すると確認できます。

サブディスプレイ設定

サブディスプレイを設定する

サブディスプレイの待受画面の表示を設定します。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[サブディスプレイ設定]

2 項目を選ぶ

- ◆ **[待受表示設定]▶各項目を設定▶📷**
- ◆ **[アニメーション設定]▶項目を選ぶ▶設定を選ぶ**
- ◆ **[表示時間設定]▶表示時間を入力▶📷**

[待受表示設定]について

- [待受時計(縦・大)]／[待受時計(横・大)]は時刻のみ、[待受時計(小)]は日付、曜日、時刻、設定した機能が表示されます。
- 電池アイコンを表示させるときは[待受時計(小)]に設定してください。
- 小時計機能表示を利用する場合は、あらかじめウェルネス表示設定を[ON]に設定してください。また、歩数計を利用する場合は、あらかじめ歩数計設定を[ON]に設定してください。

照明設定

ディスプレイとボタンの照明を設定する

ディスプレイとボタンの照明を設定します。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[照明・イルミネーション]▶[照明設定]

2 項目を選ぶ

- ◆ **[照明点灯時間設定]▶項目を選ぶ▶設定を選ぶ**
  - 一定時間FOMA端末を使用しなかったときに、照明が点灯している時間を各機能ごとに設定できます。
  - 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。
- ◆ **[画面オフ時間設定]▶時間を選ぶ**
  - 一定時間FOMA端末を使用しなかったときに、ディスプレイの表示を消します。
- ◆ **[明るさ調整]▶⊚**
  - ５段階で調整できます。調整しながら明るさを確認できます。
  - 明るさセンサーのON／OFF：MENU
    - ☑はON、□はOFFの状態です。
    - 明るさセンサーを使用すると、周囲の明るさによって自動的にディスプレイの明るさを調整します。
  - 明るくすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。
- ◆ **[キーバックライト設定]▶各項目を設定▶📷**
  - [ON]に設定すると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[照明点灯時間設定]について

- 通常時以外の項目を[端末設定に従う]に設定すると、通常時で設定した点灯時間に従って照明が点灯します。

[画面オフ時間設定]について

- ディスプレイの表示が消えているときに、いずれかのボタンを押すと画面が表示されます。
- ｉチャネルテロップ表示中でも、画面オフ時間設定に従ってディスプレイの表示が消えます。ただし、[15秒]、[30秒]に設定した場合、約60秒間はディスプレイの表示が消えません。
- 次の場合は、画面オフ時間設定の時間が経過してもディスプレイの表示は消えません。
  - ■ 着信中
  - ■ テレビ電話中
  - ■ カメラ起動中
  - ■ ｉモーション再生中※
  - ■ スライドショー再生中
  - ■ GPS測位中
  - ■ 外部機器とのデータ転送中
  - ■ ワンセグ視聴中・録画中
  - ■ ビデオ再生中
  - ■ 卓上時計／スライドショー表示中
  - ■ ワンセグの自動チャンネル設定中
  - ■ うた文字が含まれている音楽データ再生中
  - ■ 照明点灯時間設定の各項目を[常時点灯]に設定中

  ※ 待受ｉモーションを除く。

[キーバックライト設定]について

- [ON]に設定したときの点灯時間は、照明点灯時間設定に従います。

ecoモード

ecoモードを設定する

ディスプレイの表示時間などを短くして電池の消耗を抑えることができます。

- ecoモードに設定すると、照明時間などが次のようになります。

項目	設定
不在着信お知らせ	OFF
キー確認音	OFF
開閉操作音	OFF
照明点灯時間設定	0秒※
画面オフ時間設定	15秒
明るさ調整	1
キーバックライト設定	OFF
電話着信イルミネーション	OFF
メール着信イルミネーション	OFF
ｉコンシェル着信イルミネーション	OFF
通話中イルミネーション	OFF
GPS測位イルミネーション(現在地確認、現在地通知)	OFF
ＩＣカードアクセスイルミネーション	OFF
開閉イルミネーション	OFF
ワンセグecoモード	ON

※ 通常時以外は、各機能の設定に従います。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[電池]▶[ecoモード]

- ecoモードに設定すると、[]が表示されます。

ワンタッチでecoモードに設定する

1 待受画面で5(1秒以上)

ecoモードを解除する

- 待受画面で5(1秒以上)

自動的にecoモードに設定する<自動ecoモード設定>

電池残量が少なくなったときに、自動的にecoモードを設定することができます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[電池]▶[自動ecoモード設定]

2 各項目を設定▶📷

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 自動ecoモード設定:自動ecoモードを利用するかどうかを設定できます。
  - ■ 電池残量:自動ecoモードを設定する電池残量を設定できます。

きせかえツール

ノーマルメニューのデザインを変更する

きせかえツールを利用してノーマルメニュー画面や待受画面、メニューアイコン、着信音などをまとめて変更できます。

- きせかえツールのダウンロードについては☞P.196
- 変更される項目の一覧は次のとおりです。ただし、変更される項目は、きせかえツールにより異なります。

画面	待受画面(縦)、待受画面(横)、音声電話発信画面、テレビ電話発信画面、音声電話着信画面、テレビ電話着信画面、メール送信画面、メール受信画面、メール受信完了画面、メッセージR受信完了画面、メッセージF受信完了画面、SMS受信完了画面、アンテナアイコン、電池アイコン、ノーマルメニュー画像、マチキャラ、背景画像(縦)、背景画像(横)、iモード問い合わせ画面、ベールビュー
着信音	音声電話着信音、テレビ電話着信音、メール着信音、メッセージR着信音、メッセージF着信音、SMS着信音、iコンシェル着信音、アラーム音(すべてのアラーム音)
その他	カラーテーマ、文字サイズ、フォント、テロップ表示設定、テロップ文字サイズ、テロップ色、背景設定、音声電話着信ランプ、テレビ電話着信ランプ、メール受信ランプ、開閉連動ランプ、時計表示設定

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[きせかえツール設定]

2 きせかえツールにカーソルを合わせる▶📷▶[はい]

- データの確認:きせかえツールを選ぶ(きせかえツール内データ一覧画面を表示)▶データを選ぶ
  - 音声電話着信ランプ、テレビ電話着信ランプ、メール受信ランプ、開閉連動ランプの場合は、データを選ぶとランプの色と点滅パターンを確認できます。

- きせかえツールを利用してノーマルメニュー画像を変更した場合、メニューの操作履歴に従ってノーマルメニューの項目が変わるものがあります。また、機能番号を入力しても項目を選択できないものがあります。
- microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のきせかえツールは、データ確認はできますが、直接設定することはできません。FOMA端末に移動してから設定してください。
- 2in1利用時、きせかえツールを設定しても次の項目には反映されません。
  - ■ [デュアルモード]と[Bモード]の待受画面(☞P.462)
  - ■ Bナンバーの音声電話着信音、テレビ電話着信音、SMS着信音、Bアドレスのメール着信音(☞P.463)

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
▶[フォルダ新規作成] ☞P.377
▶[フォルダ名編集] ☞P.378
▶[フォルダセキュリティ] ☞P.378
[削除] ☞P.378
[表示切替] ☞P.343
[microSDへ移動] ☞P.372
[メモリ確認] ☞P.382
[参照先切替]
▶[本体]
▶[microSD]

■ きせかえツール一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]
▶[タイトル編集] ☞P.378
▶[情報表示] ☞P.380
[削除] ☞P.380
[分類登録] ☞P.379
[一括設定]▶[はい]

[移動]	
▶[フォルダ間移動]	☞P.379
▶[microSDへ移動]	☞P.372
[きせかえツール設定]	
▶[表示切替]	☞P.343
▶[ソート]	☞P.379
[参照先切替]	
▶[本体]	
▶[microSD]	

■ きせかえツール内データ一覧画面のサブメニュー操作

[音量設定]▶Ⓢ

[待受 i モーション設定]▶サイズを選ぶ
● 待受画面選択時の表示サイズを設定します。

きせかえツール設定を初期状態に戻す
<きせかえツールのリセット>

■ 画面/着信音のすべての設定項目を初期状態に戻す<画面/音設定の初期化>

1 待受画面で9(1秒以上)▶[きせかえツールのリセット]

2 [画面/音設定の初期化]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

■ メニュー画面だけをリセットする<メニュー画面リセット>

1 待受画面で9(1秒以上)▶[きせかえツールのリセット]

2 [メニュー画面リセット]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

■ 最後にきせかえられた項目をまとめて元に戻す<一括解除>

1 待受画面で9(1秒以上)▶[きせかえツールのリセット]

2 [一括解除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

メニュー設定

メニューについて設定する

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[メニュー設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[表示メニュー設定]▶メニューを選ぶ**
・待受画面表示中にMENUを押したとき表示されるメニューを設定できます。

◆ **[セレクトメニュー登録]▶P.421**

◆ **[リセット]▶リセットの種類を選ぶ**
・リセットの種類は次のとおりです。
■ メニュー操作履歴リセット:自動カスタマイズされたメニューをリセットできます。
■ メニュー設定オールリセット:手動カスタマイズされたメニューをリセットできます。

自動カスタマイズについて
● きせかえツールによっては、メニューの操作履歴に従ってノーマルメニューの項目を自動的に並べ替えるものがあります。これを自動カスタマイズといいます。
● お買い上げ時に登録されている[ダイレクトメニュー]は自動カスタマイズに対応しています。
● きせかえツールによって、並べ替えかたなどは異なります。

手動カスタマイズについて
● きせかえツールによっては、ノーマルメニューの項目を他の機能に変更できます。これを手動カスタマイズといいます。

マチキャラ

マチキャラを設定する

マチキャラを設定すると待受画面にキャラクタが表示されます。不在着信／新着メール／ポップアップメッセージがあるときや、時間帯、誕生日などによってマチキャラの表示が異なります。

- マチキャラのダウンロードについては☞P.196
- 待受画面にｉアプリを設定している場合、マチキャラは表示されません。
- マチキャラのアクションによっては、マチキャラの一部が表示されない場合があります。
- パーソナルデータロック中は、マチキャラ設定することができません。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[マチキャラ設定]

2 設定を選ぶ

◆ **[表示設定]▶各項目を設定▶[📷]**
- マチキャラを変更するとアップデート通知設定が[ON]に設定されます。

◆ **[自動アップデート設定]▶設定を選ぶ**
- 自動アップデート設定を[ON]に設定するとアップデート通知設定も[ON]に設定されます。
- 手動でアップデートすることもできます(☞P.363)。

◆ **[アップデート通知設定]▶設定を選ぶ**
- マチキャラをアップデートする必要がある場合に待受画面に[🔃]を表示して通知するかどうかを設定できます。

[表示設定]について
- 表示設定を[OFF]に設定してから、再度[ON]に設定するとマチキャラの変更はリセットされます。

■ マチキャラを自動アップデートする

- 自動アップデートのご利用時にはパケット通信料がかかります。
- 自動アップデートはｉコンシェルを契約しなくても、一部のマチキャラを除いて利用することができます。

1 待受画面に[🔃]表示▶◉▶[🔃]を選ぶ▶[はい]

マチキャラと会話できるように設定する <マチキャラおしゃべり設定>

音声クイック起動を利用するときにマチキャラの音声を出力するかどうかを設定できます。

- お買い上げ時にプリインストールされている[メイちゃん]、[セイリアン]はマチキャラおしゃべり設定に対応しています。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[音／バイブ／マナー]▶[マチキャラおしゃべり設定]

2 設定を選ぶ

ディスプレイをアレンジする

ディスプレイの配色やデザインを設定できます。

マークのデザインを変更する <電池アイコン設定／アンテナアイコン設定>

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[待受画面設定]▶[電池アイコン設定]／[アンテナアイコン設定]

2 設定を選ぶ

画面の配色を変更する<カラーテーマ設定>

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[カラーテーマ設定]

2 カラーテーマを選ぶ
- カラーテーマにカーソルを合わせると、配色を確認できます。

- カラーテーマ設定の設定によっては画面が見えにくくなる場合があります。カラーテーマ設定を変更するか、背景設定を変更してください。

メニューや画面のデザインをカスタマイズする
<トータルカスタマイズ>

メニューや待受画面などのデザインをトータルカスタマイズに登録し、切り替えて使うことができます。

- 3件まで登録できます。

1 **ノーマルメニューで[本体設定]▶[きせかえ／ライフスタイル]▶[トータルカスタマイズ]**

2 **登録する番号を選ぶ**

- 登録したトータルカスタマイズの設定：トータルカスタマイズにカーソルを合わせる▶📷

3 **各項目を設定▶📷**

- タイトルは全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

曜日や時刻に合わせて画面のデザインやマナーモードを切り替える<ライフスタイル設定>

曜日や時刻に合わせてトータルカスタマイズやマナーモードを自動的に切り替えることができます。

- 18件まで登録できます。

1 **ノーマルメニューで[本体設定]▶[きせかえ／ライフスタイル]▶[ライフスタイル設定]**

2 **登録する番号を選ぶ**

- 登録したライフスタイルの設定／解除：ライフスタイルにカーソルを合わせる▶MENU

3 **各項目を設定▶📷**

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 時刻：ライフスタイルを自動的に切り替える時刻を設定します。
  - ■ 繰り返し：ライフスタイルの繰り返しを設定します。
  - ■ タイトル：ライフスタイルのタイトルを設定します。
    - ・全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
  - ■ トータルカスタマイズ：ライフスタイルの自動切替時にトータルカスタマイズを変更するかどうかを設定します。
  - ■ マナーモード：ライフスタイルの自動切替時にマナーモードの設定を変更するかどうかを設定します。

- 次の場合はライフスタイルの切替が遅れることがあります。
  - ■ 電源が入っていないとき
  - ■ 電池切れの警告画面表示中
  - ■ オールロック中
  - ■ ソフトウェア更新中
  - ■ 他の機能が起動しているとき
  - ■ アラーム鳴動中
- ライフスタイル設定で設定した画像が削除された場合は、[待受画面1]が表示されます。
- 次の表示はライフスタイル切替後も変更されません。
  - ■ カレンダー／待受カスタマイズ
  - ■ ｉチャネルテロップ
  - ■ ストックアイコン
- ｉアプリ待受画面設定中は、ライフスタイルの切替はできません。

ベーシックメニューのデザインを変更する

ベーシックメニューのアイコンや背景画像を変更できます。

- 1つのアイコンに対して非選択時用、選択時用の2枚の画像を設定できます。

1 **ベーシックメニューでMENU▶[アイコン変更]**

2 **変更するアイコンを選ぶ**

- 背景の変更：i▶背景画像にカーソルを合わせる▶📷▶操作5へ

3 **非選択時用の画像にカーソルを合わせる▶📷**

4 **[はい]▶選択時用の画像にカーソルを合わせる▶📷**

5 **📷**

- アイコンには横152×縦152ドット、横76×縦76ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。サイトからダウンロードした画像も利用できます。

次ページへ続く

● アイコンの非選択時用画像にGIFアニメーションを設定したとき、選択時用画像は設定できません。
● 背景画像にはJPEG画像、GIF画像を利用できます。サイトからダウンロードした画像も利用できます。

ベーシックメニューをお買い上げ時の状態に戻す
<メニュー設定オールリセット>

1 ベーシックメニューで MENU ▶[メニュー設定オールリセット]

2 端末暗証番号を入力▶[はい]

イルミネーション設定

イルミネーションを設定する

着信時や通話中、GPS機能利用時などに点滅するイルミネーションの色やパターンを設定できます。

● お買い上げ時に設定されているきせかえツールによって、イルミネーションの設定が異なります。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[照明・イルミネーション]▶[イルミネーション設定]

2 項目を選ぶ

3 各項目を設定▶ 📷

- 項目によって、設定できる内容が異なります。
- イルミネーションパターン選択時、パターンにカーソルを合わせると、イルミネーションの点滅パターンを確認できます。
- イルミネーションカラー選択時、色にカーソルを合わせると、イルミネーションの色を確認できます。

● データ通信時の着信イルミネーションカラーは、電話着信のイルミネーションカラーで設定したイルミネーションカラーと同じです。

● 複数の着信イルミネーションが設定されているときは、次の優先順位で点滅します。

	優先順位(高→低)
電話着信イルミネーション	電話帳の電話着信イルミネーション→グループの電話着信イルミネーション→会社名の電話着信イルミネーション→通常の電話着信イルミネーション
メール着信イルミネーション	電話帳のメール着信イルミネーション→グループのメール着信イルミネーション→会社名のメール着信イルミネーション→通常のメール着信イルミネーション

表示画質設定

ディスプレイの画質を変更する

ディスプレイの画質を設定します。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[表示画質設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[鮮やか画質モード設定]▶機能を選ぶ▶画質を設定▶ 📷**
- 画像や映像を表示する機能ごとに、ディスプレイの画質を設定できます。
- 設定できる画質は次のとおりです。
  - ■ ノーマル:通常の画質
  - ■ ダイナミック:彩度をアップし、エッジを強調
  - ■ ビビッド:彩度をアップ
  - ■ シャープネス:エッジを強調
  - ■ ゲーム:ゲームに適した画質
  - ■ ジャンル連動:番組のジャンルに連動して画質調整
  - ■ 映画:映画に適した画質
  - ■ スポーツ:スポーツ番組に適した画質
  - 機能によって、設定できる画質が異なります。

◆ **[シーン別制御]▶設定を選ぶ**
- 映像や周囲の明るさに応じて、画質や照明の明るさを自動制御します。

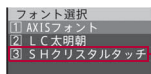
・設定できる自動制御方法は次のとおりです。
- ■ ON(明るく):見た目の明るさが変わらないように、明るさを重視して自動制御します。
- ■ ON:見た目の明るさは変えず、電池の消費を抑えるように、省電力を重視して自動制御します。
- ■ OFF:自動制御しません。

[シーン別制御]について

● 次の画面で有効になります。
- ■ ｉモーション再生中
- ■ ムービー再生中
- ■ ビデオ再生中
- ■ Music&Videoチャネル再生中
- ■ ワンセグ視聴中

フォント選択

文字の設定(フォント)を変える

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[文字表示／入力]▶[フォント選択]

フォント選択
1 AXISフォント
2 ＬＣ太明朝
3 ＳＨクリスタルタッチ
ダウンロードフォント

- [③]～[⑤]には、サイトからダウンロードしたフォントを登録できます(☞P.196)。お買い上げ時は[③]に[SHクリスタルタッチ]が登録されています。

2 フォントを選ぶ

- フォントにカーソルを合わせると、見本のフォントを確認できます。
- ダウンロードフォントの削除:フォントにカーソルを合わせる▶MENU▶[はい]
- フォントの情報表示:フォントにカーソルを合わせる▶📷
  - ・情報表示で表示される書体名はフォント名と異なる場合があります。

● お買い上げ時に登録されているダウンロードフォントを削除後にもう一度ご利用になるときは、i Menu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます(☞P.137)。

フォント選択をお買い上げ時の状態に戻す

<フォント(書体)のリセット>

1 待受画面で⑨(１秒以上)▶[フォント(書体)のリセット]▶[はい]

文字サイズ設定

文字のサイズを変える

ディスプレイに表示される文字のサイズを変更できます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[文字表示／入力]▶[文字サイズ設定]

2 項目を選ぶ▶文字サイズを選ぶ

- 項目により選択できる文字サイズは異なります。全体で選択した文字サイズが対応していない項目には、最も近い文字サイズが設定されます。
- 文字サイズ選択時、文字サイズにカーソルを合わせると変更後の状態を確認できます。全体で文字サイズを選択時は、表示されていない項目の変更後の状態を基本文字サイズの項目に表示します。

● 全体を変更すると、ベーシックメニューの機能番号が変更されるものがあります。

ワンタッチで文字サイズを一括設定する

1 待受画面で⑧(１秒以上)

- 文字サイズが[大きい]→[最大]→[標準]の順に切り替わります。

Select language

画面を英語表示に切り替える

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[文字表示／入力]▶[Select language]▶[English]

- 英語表示から日本語表示に切替：ノーマルメニューで[Setting]▶[Text display/input]▶[バイリンガル]▶[日本語]

● ドコモUIMカードを挿入しているとき、設定はドコモUIMカードにも保存されます。FOMA端末とドコモUIMカードの設定が異なるときは、ドコモUIMカードの設定が優先されます。

ベールビュー

周りの人からディスプレイを見えにくくする

ディスプレイにパターン（図柄やアニメーション）を表示させて、周りの人から見えにくくします。

1 [ ]（1秒以上）

- ベールビューを設定すると、[ ]が表示されます。
- 表示パターン設定や濃度設定を行ってもベールビューが設定されます。

ベールビューを解除する

- [ ]（1秒以上）

● 電源を切るとベールビューは解除されます。ただし、マナーモード連動が[ON]でマナーモード設定中は、解除されません。
● 表示中の画面によっては、画面の色が異なって見える場合があります。

ベールビューについて設定する<ベールビュー設定>

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[ベールビュー設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[マナーモード連動]▶設定を選ぶ**
- マナーモードを設定したときに、自動的にベールビューも設定します。
- マナーモード設定中でも、ベールビューを設定／解除することができます。

◆ **[表示パターン設定]▶パターンを選ぶ**
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ イメージ設定：あらかじめ登録されている画像やFOMA端末で撮影した静止画、サイトから取得した画像などをベールビューに設定できます。
  - ■ きせかえに従う：きせかえツールに従います。
- 周りの人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

◆ **[濃度設定]▶濃度／見栄えを設定する**
- 濃度の変更：[ ]
- 正面からの見栄えを調整：[ ]
- 濃度を[薄い]に設定している場合は、見栄えの調整はできません。
- 濃度は[濃い]、[標準]、[薄い]の順で周りの人から見えにくくする効果があります。

[表示パターン設定]について

● サイトからダウンロードしたファイル制限ありの画像は設定できません。

あんしん設定

暗証番号

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

ケータイデータお預かりサービスを利用する

お買い上げ時の状態に戻す

遠隔初期化を利用する

遠隔カスタマイズを利用する

その他の「あんしん設定」

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 端末暗証番号（各種機能用の暗証番号）、ネットワーク暗証番号、iモードパスワード、PIN1コード・PIN2コード入力時は、[＊]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（☞P.123）。

- 間違った端末暗証番号を入力したときは、[端末暗証番号が誤っています]と表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。
- 端末暗証番号の入力を、5回連続して間違えると電源が切れます。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、iモードからは、[iMenu]▶[お客様サポート]▶[各種設定（確認・変更・利用）]▶[ネットワーク暗証番号変更]からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My docomo」、「お客様サポート」については、取扱説明書の裏表紙の裏面をご覧ください。

iモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります（その他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。

- iモードパスワードは、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
- iモードから変更される場合は、[iMenu]▶[お客様サポート]▶[各種設定（確認・変更・利用）]▶[iモードパスワード変更]から変更ができます。

PIN1コード・PIN2コード

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（☞P.124）。

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号(コード)です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号(コード)です。

- PIN1コード、PIN2コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1コード、PIN2コードがロックされます。
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

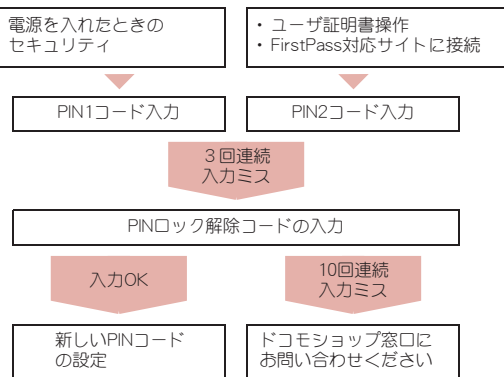
- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとドコモUIMカードが完全にロックされます。

電源を入れたときのセキュリティ → PIN1コード入力

・ユーザ証明書操作
・FirstPass対応サイトに接続 → PIN2コード入力

3回連続入力ミス → PINロック解除コードの入力

入力OK → 新しいPINコードの設定

10回連続入力ミス → ドコモショップ窓口にお問い合わせください

端末暗証番号設定

端末暗証番号を変更する

端末暗証番号(4～8桁の数字)を変更できます。

1. **ノーマルメニューで[本体設定]▶[ロック・セキュリティ]▶[端末暗証番号設定]▶現在の端末暗証番号を入力**
2. **新しい端末暗証番号を入力**
3. **もう一度、新しい暗証番号を入力**
4. **[カメラキー]**

手書き認証について

タッチパネル上で文字や記号を手書きし、認証を行います。セキュリティ機能として端末暗証番号入力の代わりに利用できます。端末暗証番号入力に比べて登録内容の自由度が高くなります。ただし、厳密な筆跡による認証は行っておりませんので、登録内容は他人に知られないように十分ご注意ください。

- 手書き認証技術は完全に本人認証を保証するものではありません。当社では本製品を第三者に使用されたこと、また手書き認証の誤認証により使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- オールロックの解除など一部利用できない場合があります。

手書き認証を設定する<手書き認証設定>

手書き認証に必要な文字や記号を登録します。

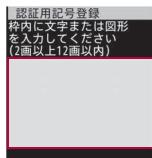
- 手書き認証に失敗したとき、エラー発生日時がエラー履歴に記憶され確認することができます。最新のものから9件まで記憶されます。

1. **ノーマルメニューで[本体設定]▶[ロック・セキュリティ]▶[手書き認証設定]▶端末暗証番号を入力▶[ON]**
2. **[OK]▶[認証用記号登録]▶[OK]**

次ページへ続く▶▶

- 登録した認証用記号の変更：[認証用記号登録]▶[上書登録]▶[OK]
- 登録した認証用記号の確認：[認証用記号登録]▶[登録データ確認]
  - 認証用記号の削除：MENU▶[はい]
- エラー履歴の確認：[エラー履歴]

3 文字入力部分に文字・記号を手書き入力▶◉

認証用記号登録
枠内に文字または図形を入力してください（2画以上12画以内）

文字入力部分

- 2画以上12画以内で入力します。複数の記号に分けても登録できます。
- 1画ごとの入力の長さが短いと正確な認証ができないことがあります。
- 入力した文字・記号の消去：[↩]をタッチ
- 認証用記号登録の終了：[終了 End]をタッチ

4 📷▶[OK]

手書き認証を実行する

1 手書き認証画面で、登録した認証用記号を手書き入力▶◉

- 登録時と同じ筆順で入力してください。
- 端末暗証番号入力に切替：[暗証番号 Sec Code]をタッチ
- 入力した文字・記号の消去：CLR
- 手書き認証の終了：[終了 End]をタッチ
- 認証に失敗すると、[登録された認証用データと一致しません]と表示されます。手書き認証に2回続けて失敗すると、端末暗証番号入力画面が表示されます。

UIMカード（FOMAカード）設定

PINコードを設定する

PINコードを設定します。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[ロック・セキュリティ]▶[UIMカード（FOMAカード）設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[PIN1コード変更]▶端末暗証番号を入力▶現在のPIN1コードを入力▶新しいPIN1コードを入力▶もう一度、新しいPIN1コードを入力▶📷**
- PIN1入力ON／OFF切替が[OFF]に設定されているとき、PIN1コードは変更できません。
- 間違ったPIN1コードを入力すると、[PIN1コードが認識できませんでした]と表示されます。

◆ **[PIN2コード変更]▶端末暗証番号を入力▶現在のPIN2コードを入力▶新しいPIN2コードを入力▶もう一度、新しいPIN2コードを入力▶📷**
- 間違ったPIN2コードを入力すると、[PIN2コードが認識できませんでした]と表示されます。

◆ **[PIN1入力ON／OFF切替]▶[ON]▶PIN1コードを入力**
- 電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定できます。

- 設定はドコモUIMカードに保存されます。

■ 電源を入れたときにPIN1コードを入力する

PIN1入力ON／OFF切替を[ON]に設定すると、電源を入れたときに、PIN1コードの入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。

あんしん設定

PINロックを解除する

1 **PINロック中にPINロック解除コード入力画面でPINロック解除コード（8桁の数字）を入力**

2 **新しいPINコードを入力**

3 **もう一度、新しいPINコードを入力**

4 [カメラ]

各種ロック機能

電話帳の呼び出し、登録、削除やダイヤルボタンでの発信などの機能を制限できます。

ロック機能		動作・制限内容	ページ
オールロック		電源のON／OFFと音声電話／テレビ電話に応答する以外の操作ができないようにします。	P.126
おまかせロック		FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、個人データやＩＣカード機能にロックをかけることができます。	P.126
セルフモード		電話やｉモードメール、ｉモード、ｉＣ通信、赤外線通信などで、通信ができないように設定します。	P.127
パーソナルデータロック		メールや個人情報などを表示できないようにします。	P.129
ダイヤル発信制限		電話帳に登録していない相手への電話発信、ｉモードメール／SMS送信ができないようにします。	P.129
自動キーロック		FOMA端末を閉じたり、ディスプレイの表示が消えてから設定した時間が経過すると、自動的にタッチパネルやボタンを操作できないようにします。	P.128
ロックセレクション	クローズロック	FOMA端末を閉じてから設定した時間が経過すると、自動的にロックが設定されるようにできます。	P.128
	画面オフロック	ディスプレイの表示が消えてから設定した時間が経過すると、自動的にロックが設定されるようにできます。	P.128
	ＩＣカードロック	ＩＣカード機能を利用できないようにロックします。	P.315
	サイドキーロック	サイドボタンを操作できないようにして、誤動作を防ぎます。	P.130
	プライバシー設定	シークレット属性設定した電話帳の着信動作や、フォルダシークレットを設定したフォルダに振り分けられるメールの受信動作を設定できます。	P.130
	シークレットモード	電話帳、スケジュールを表示したときに、通常のデータとシークレット属性設定したデータの両方を表示します。	P.131
	端末暗証番号変更	端末暗証番号を変更できます。	P.123
	その他のセキュリティ	ロック・セキュリティ画面を表示します。	－

オールロック

他の人が使用できないようにする

FOMA端末の無断使用を防ぐため、電源ON／OFFと音声電話／テレビ電話に応答する以外の操作ができないようにします。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[ロック・セキュリティ]▶[ロック設定]▶[オールロック]▶端末暗証番号を入力

- オールロックを設定すると、待受画面に[オールロック中]と表示されます。

オールロックを解除する

- 待受画面で端末暗証番号を入力

- オールロック中はメモリ別着信拒否／許可、メモリ登録外着信拒否の設定にかかわらず着信します。
- オールロック中は待受画面には[待受画面1]が表示され、カレンダーやマチキャラは表示されません。オールロックを解除すると元の設定に戻ります。
- オールロックを設定しても、ＩＣカード機能はロックされません。
- オールロック中に不在着信があっても画面には表示されません。オールロックを解除するとストックアイコン[]（着信あり）が表示されます。
- オールロック中は音声電話やテレビ電話をかけることはできません。ただし、緊急通報番号（110番、119番、118番）には発信できます。発信するときは、端末暗証番号入力画面で電話番号を入力してを押します。電話番号は[＊＊＊]で表示されます。
- オールロック中は着もじを受信しても表示されません。
- オールロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- オールロック中も、ｉモードメール、SMSやメッセージR／Fの自動受信ができますが、画面には表示されません。オールロックを解除すると、ｉモードメールやSMS、メッセージR／Fのアイコンが表示されます。
- オールロック中も、エリアメールは自動受信され、画面に表示されます。
- オールロック中も、地図・GPS機能の位置提供の要求には対応します。
- オールロック中にｉアプリコールを受信しても、着信音は鳴らず、着信ランプやバイブレータも動作しません。また、[]やストックアイコン[]（ｉアプリコールあり）も表示されません。オールロックを解除すると表示されます。
- オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。再び電源を入れて、正しい端末暗証番号を入力してください。

おまかせロック

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのＩＣカード機能にロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時に圏外などでおまかせロックがかからなくても、1年以内に通信が可能になった場合、自動的にロックがかかります。ただし、解約・利用休止・電話番号変更・紛失時などで新しいドコモUIMカードの発行（番号を指定してロックした場合のみ）を行った場合は1年以内であっても自動的にロックはかかりません。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

- ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります（ただしご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります）。
- おまかせロック中も位置提供可否設定を[位置提供ON]または[電話帳登録外拒否]に設定している場合は、ケータイお探しサービスなどのGPS機能の位置提供要求に対応します。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間　24時間（年中無休）
※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。
- パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックの詳細については、『ご利用ガイドブック（基本編）』をご覧ください。
- おまかせロックを設定すると[おまかせロック中です]と表示されます。

- おまかせロック中は、音声／テレビ電話の着信に対する応答と電源ON／OFFの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能（ＩＣカード機能を含む）を使用することができなくなります。
- 音声／テレビ電話の着信は可能ですが、電話帳に登録されている名前、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。
- おまかせロック中に受信したメールは、ｉモードセンターに保存されます。
- 電源ON／OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
- ドコモUIMカードやmicroSDカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

- 他の機能が起動中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用することができます。
- FOMA端末の圏外・電源OFF時・海外での使用時はロックおよびロック解除はできません。その他お客様の利用方法などにより、ロックおよび解除ができない場合があります。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のドコモUIMカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード

発信や着信ができないようにする

電話やｉモードメール、ｉモード、ｉＣ通信、赤外線通信などで、通信ができないように設定します。

- 次の機能で通信ができないように設定できます。
  - ■ 音声電話　■ テレビ電話　■ ｉモードメール
  - ■ SMS　■ メッセージR／F　■ ｉモード
  - ■ ｉコンシェル　■ ｉＣ通信　■ 赤外線通信
  - ■ 赤外線リモコン操作　■ Bluetooth機能　■ ソフトウェア更新
  - ■ ネットワークサービス　■ Wi-Fi
  - ■ データ通信（パケット通信／64Kデータ通信）

1 ノーマルメニューで[本体設定] ▶ [その他設定] ▶ [セルフモード]

2 設定を選ぶ ▶ [はい]

- セルフモードを設定すると、[Yıl]が消え[SELF]が表示されます。

- ｉモード接続中（[ｉ]点滅）は、セルフモードを設定できません。

セルフモード中は

- 緊急通報番号（110番、119番、118番）へはダイヤルできます。発信後にセルフモードの設定は解除されます。
- 電話がかかってきても、セルフモード解除後にストックアイコン[ ]（着信あり）や[ ]（留守録音あり）などは表示されません。
- 電話がかかってきたとき、相手には電波が届かないか電源が入っていないことを通知するガイダンスが流れます。ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用のとき、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスをご利用になれます。
- 送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターで、SMSはSMSセンターで、お預かりします。受信するときはセルフモードを解除して、メール／メッセージ問合せ、SMS問合せを行ってください。
- 地図・GPS機能の現在地確認、現在地通知、位置提供、地図や、現在地通知先の登録、修正、削除、位置提供可否設定のサービス利用設定、オートGPSサービスの利用を行うことができません。

自動キーロック

自動的にロックする

FOMA端末を閉じたり、ディスプレイの表示が消えてから設定した時間が経過すると、自動的にタッチパネルやボタンを操作できないようにします。

- 自動キーロックを設定していても、次の場合は自動キーロックが動作しません。
  - ■ ｉモードメール／SMS送受信中
  - ■ エリアメール受信中
  - ■ メール／メッセージ問合せ中
  - ■ 発着信中
  - ■ 通話中
  - ■ アラーム鳴動中
  - ■ お知らせタイマー起動中※
  - ■ 赤外線通信中
  - ■ ｉＣ通信中
  - ■ Bluetooth通信中
  - ■ カメラ起動中
  - ■ メロディプレーヤー起動中
  - ■ ｉモーションプレーヤー起動中
  - ■ ミュージックプレーヤー起動中
  - ■ Music&Videoチャネルプレーヤー起動中
  - ■ ワンセグ視聴中
  - ■ ビデオ再生中
  - ■ インターネットムービープレーヤー起動中
  - ■ プレゼンアシスト中
  - ■ 位置測位中
  - ■ インフォメーション受信中
  - ■ ソフトウェア更新中
  - ■ データ通信(パケット通信／64Kデータ通信)

  ※ 画面オフロックが動作しません。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[ロック･セキュリティ]▶[ロック設定]▶[自動キーロック]

2 ロックの種類を選ぶ▶端末暗証番号を入力▶各項目を設定▶[カメラ]

- 設定できるロックの種類は次のとおりです。
  - ■ クローズロック設定:FOMA端末を閉じてから設定した時間が経過すると、自動的にロックが設定されるようにできます。
  - ■ 画面オフロック設定:ディスプレイの表示が消えてから設定した時間が経過すると、自動的にロックが設定されるようにできます。
- 自動キーロックを設定すると、[鍵]が表示されます。

自動キーロックを一時的に解除する

- クローズロックの一時解除:FOMA端末を開いて端末暗証番号を入力
  - ・ディスプレイ表示中やロック中画面が表示されたときは、[MENU]を押すと端末暗証番号入力画面が表示されます。
- 画面オフロックの一時解除:いずれかのボタンを押してディスプレイを表示▶[MENU]▶端末暗証番号を入力
  - ・FOMA端末を開いても、端末暗証番号入力画面が表示されます。
- オートGPSを利用しているときは端末暗証番号入力画面で[カメラ]▶[はい]でオートGPSを一時停止できます。自動キーロックを一時的に解除すると、オートGPSを再開できます。手書き認証の場合は[GPS停止 GPS OFF]をタッチ▶[はい]で操作できます。

- 自動キーロック中でも、次の機能は動作します。
  - ■ アラーム
  - ■ スケジュールアラーム
  - ■ お知らせタイマー
  - ■ ｉモードメール送受信
  - ■ SMS送受信
  - ■ メッセージR／F受信
  - ■ ポップアップメッセージ通知
  - ■ エリアメール受信
  - ■ メール／メッセージ問合せ
  - ■ ｉモード／フルブラウザ
  - ■ ｉアプリ※
  - ■ おサイフケータイ
  - ■ データ転送(OBEX™通信)
  - ■ お預かりセンターに接続
  - ■ パターンデータ更新
  - ■ 地図･GPS機能の位置提供
  - ■ 電話発着信
  - ■ 通話
  - ■ 音声メモの録音
  - ■ データ通信(パケット通信／64Kデータ通信)
  - ■ 緊急通報番号(110番、119番、118番)への発信
  - ■ Wi-Fi接続
  - ■ ソフトウェア更新

  ※ 自動起動により起動した場合に操作できます。
- 緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信するときは、端末暗証番号入力画面で電話番号を入力して[発信]を押します。電話番号は[＊＊＊]で表示されます。
- 自動キーロック中でも、次の操作はできます。
  - ■ 電話着信中、通話中のボタン操作※
  - ■ 伝言メモ録音中、音声メモ録音中のボタン操作
  - ■ アラーム鳴動中のボタン操作
  - ■ 電源を入れる／切る

  ※ 一部利用できない操作もあります。
- ｉアプリ起動中に自動キーロックが動作した場合、ｉアプリの画面を表示したままロックが設定されます。

パーソナルデータロック

メールや個人情報などを表示できないようにする

● パーソナルデータロックを設定すると、次の機能のみ利用できます。
- ■ 電源ON／OFF
- ■ 音声電話／テレビ電話※1
- ■ リダイヤル／着信履歴※1
- ■ 不在着信表示※1
- ■ ネットワークサービスの設定※2
- ■ ATコマンドによる制御

※1 電話帳を利用できなくなり、電話帳に登録した内容(名前やメモリ番号など)や電話帳に対して設定した内容(メモリ別着信許可など)が無効になります。

※2 一部設定できない機能もあります。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[ロック・セキュリティ]▶[ロック設定]▶[パーソナルデータロック]▶端末暗証番号を入力

2 設定を選ぶ

- パーソナルデータロックを設定すると、[ ]が表示されます。

● パーソナルデータロック中はマチキャラは表示されません。パーソナルデータロックを解除すると元の設定に戻ります。
また、ベーシックメニューやセレクトメニュー、待受タッチランチャの起動が制限されている機能や人物のアイコンに[ ]や[ ]が表示されます。セレクトメニューの場合、人物名は[＊＊＊]で表示されます。

● パーソナルデータロックを設定しても、ＩＣカード機能はロックされません。

● パーソナルデータロック中は着もじを受信しても表示されません。

● パーソナルデータロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。

● パーソナルデータロック中も、ｉモードメール、SMS、メッセージR／FやエリアメールはO自動受信され、画面に表示されます。

● パーソナルデータロック中も、地図・GPS機能の位置提供の要求には対応します。

● パーソナルデータロック中は以下のストックアイコンは表示されません。
- ■ [ ](伝言メモ　○件)
- ■ [ ](留守録音あり　○件)
- ■ [ ](新着トルカあり　○件)
- ■ [ ](ｉアプリコールあり)※

パーソナルデータロックを解除すると表示されます。

※ 着信音は鳴らず、着信ランプやバイブレータも動作しません。

ダイヤル発信制限

ダイヤルボタンでの発信を禁止する

電話帳(microSDカード内の電話帳を除く)に登録していない相手への電話を発信できないようにします。

● ダイヤル発信制限を設定していても、緊急通報番号(110番、119番、118番)へはダイヤルできます。また、電話帳に登録している電話番号へは、リダイヤル／着信履歴からも発信できます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[ロック・セキュリティ]▶[ダイヤル発信制限]▶端末暗証番号を入力

2 設定を選ぶ

- ダイヤル発信制限を設定すると、[ ]が表示されます。

● ダイヤル発信制限を設定すると、次の機能も禁止されます。
- ■ 直接アドレス入力によるSMSおよびｉモードメールの送信(電話帳からのアドレス入力の場合は可能)
- ■ 電話帳の登録／修正／削除
- ■ アラームからの発信(電話帳に登録されている場合は可能)
- ■ 赤外線通信やｉＣ通信、Bluetooth通信による電話帳データ、現在地通知先の送受信
- ■ プレフィックス設定
- ■ 国際プレフィックス
- ■ Phone To(AV Phone To)機能
- ■ Mail To機能
- ■ FOMA端末とドコモUIMカード、microSDカード間の電話帳のデータ転送(もしくは、コピー)
- ■ 現在地通知先の登録／修正／削除
- ■ 直接入力による現在地通知
- ■ ダイヤル入力によるネットワークサービスの利用

プライバシー設定

電話帳やメールのプライバシーを守る

シークレット属性を設定した電話帳やグループへの着信動作や、フォルダシークレットを設定したフォルダに振り分けられるメールの受信動作を設定できます。

● プライバシー設定を行うと、シークレットフォルダに振り分けられるメールを受信したあと、次の動作になります。
あらかじめ、フォルダシークレット（☞P.163）と振分け条件設定（☞P.167）を行ってください。
- ・未読マーク・受信件数表示を［表示しない］に設定している場合、待受画面にストックアイコン［✉］（新着メールあり）は表示されません。また、受信状態を表すマーク（☞P.152）は表示されません。［電波アイコン変更］に設定している場合は、設定したアイコンが表示されます。FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに送信元のメールアドレスや名前、受信したメールの合計の件数は表示されません。
- ・送受信履歴を［保存しない］に設定している場合、メール受信／送信の履歴一覧画面に表示されません。
- ・受信時表示・鳴動設定を［表示しない／鳴動なし］に設定している場合、シークレットフォルダに振り分けられるメールのみを受信したときは、メール着信音が鳴らず、メール受信画面と受信完了画面も表示されません。

1 ノーマルメニューで［本体設定］▶［ロック・セキュリティ］▶［プライバシー設定］▶ 端末暗証番号を入力

2 項目を選ぶ ▶［OK］

3 各項目を設定 ▶ [📷]

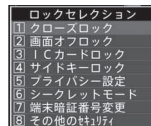
ロックセレクション

ロックセレクションを利用する

ワンタッチ操作で各種ロック機能の選択画面を表示できます。

● 選択できるロック機能は次のとおりです。
- ■ クローズロック（☞P.128）
- ■ 画面オフロック（☞P.128）
- ■ ＩＣカードロック（☞P.315）
- ■ サイドキーロック（☞P.130）
- ■ プライバシー設定（☞P.130）
- ■ シークレットモード（☞P.131）
- ■ 端末暗証番号変更（☞P.123）
- ■ その他のセキュリティ

1 待受画面で◉（１秒以上）

ロックセレクション
1 クローズロック
2 画面オフロック
3 ＩＣカードロック
4 サイドキーロック
5 プライバシー設定
6 シークレットモード
7 端末暗証番号変更
8 その他のセキュリティ

ロックセレクション画面

サイドボタンを操作できないようにする ＜サイドキーロック＞

FOMA端末を閉じているときに、サイドボタンを操作できないようにして、誤動作を防ぎます。

1 ロックセレクション画面で［サイドキーロック］
- ● サイドキーロックを設定すると、［🔒］が表示されます。

サイドキーロックを解除する
- ● ロックセレクション画面で［サイドキーロック］

● サイドキーロックを設定していても、着信中のモーションサイレントは利用できます。

シークレットモード

シークレット属性設定されている情報を表示する

シークレットモードを設定すると、電話帳、スケジュールを表示したときに、通常のデータとシークレット属性設定したデータの両方が表示されます。また、データBOXのマイピクチャやｉモーション・ムービーで、フォルダセキュリティを[ON(シークレット)]に設定したフォルダも表示されます。

- シークレットモードを解除すると、通常のデータだけが表示されます。
- 待受中に、ディスプレイの表示が消えたときやFOMA端末を閉じたときに、シークレットモードが自動的に解除されるように設定できます。
- 電源を切ると、シークレットモードは解除されます。
- 電話帳のシークレット属性設定については☞P.99
- スケジュールのシークレット属性設定については☞P.418

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[ロック・セキュリティ]▶[シークレットモード]▶端末暗証番号を入力

2 各項目を設定▶[カメラ]

- シークレットモードを設定すると、[?]が表示されます。

メモリ着信拒否／許可

電話帳を利用して着信拒否／許可を設定する

電話帳に登録した相手からの着信だけを受ける／受けないように設定したり、電話帳に登録されていない相手からの着信を受けないように設定したりできます。

- つながらなかった相手へは、話中音が流れます。このとき、ストックアイコン[?](着信あり)が表示され、着信履歴に記憶されます。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[発着信・通話設定]▶[メモリ着信拒否／許可]

2 項目を選ぶ

◆ **[メモリ別着信拒否／許可]▶端末暗証番号を入力▶設定を選ぶ**

- 指定した相手からの着信だけ受ける／受けないように設定できます。メモリ別着信拒否／許可を設定するには、あらかじめ電話帳で着信許可／拒否設定(☞P.94)を登録しておく必要があります。
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 設定解除：着信許可／拒否設定の設定に関わらず着信を許可します。
  - ■ 拒否設定：着信許可／拒否設定を[着信拒否]に設定している相手からの着信を拒否します。[着信許可]に設定している場合や、設定していない場合は着信を許可します。
  - ■ 許可設定：着信許可／拒否設定を[着信許可]に設定している相手からの着信を許可します。[着信拒否]に設定している場合や、設定していない場合は着信を拒否します。

◆ **[メモリ登録外着信拒否]▶端末暗証番号を入力▶設定を選ぶ**

- 電話帳に登録されていない相手から電話がつながらないように設定できます。

[メモリ別着信拒否／許可]について

- 相手が電話番号を通知してきたときのみ有効です。メモリ別着信許可の場合は番号通知お願いサービスを、メモリ別着信拒否の場合は番号通知お願いサービスや着信拒否設定をあわせて設定することをおすすめします。
- パーソナルデータロック中はメモリ別着信拒否／許可は設定できません。

[メモリ登録外着信拒否]について

- 相手が発信者番号を通知しているときのみ有効です。番号通知お願いサービスもあわせて設定することをおすすめします。
- メモリ登録外着信拒否と公共モード(ドライブモード)を同時に設定したときは、メモリ登録外着信拒否が優先されます。
- メモリ登録外着信拒否を設定しているときも、発信者番号のわからない電話は着信拒否設定が優先されます。
- メモリ登録外着信拒否と呼出動作開始時間設定を同時に設定することはできません。呼出動作開始時間を解除してからやり直してください。

着信拒否設定

発信者番号のわからない着信への対応を設定する

発信者番号が通知されない着信があったとき、非通知理由によって異なる着信動作を設定できます。

- 非通知理由には次の種類があります。内容については☞P.77
  - ■ 非通知設定　■ 公衆電話　■ 通知不可能
- 着信拒否として指定した非通知理由に該当する相手から電話がかかってきたとき、電話はつながらなくなります。それ以外の非通知理由のときはつながります。着信拒否の相手へは、話中音が流れます。このとき、ストックアイコン[▮](着信あり)が表示され、着信履歴に非通知理由が記憶されます。
- パーソナルデータロック中は着信拒否設定は設定できません。
- メモリ登録外着信拒否を設定しているときも、発信者番号のわからない電話は着信拒否設定が優先されます。
- 着信拒否設定の[着信拒否]と公共モード(ドライブモード)を同時に設定したときは、着信拒否設定が優先されます。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。

1. **ノーマルメニューで[本体設定]▶[ロック・セキュリティ]▶[着信拒否設定]▶端末暗証番号を入力**
2. **非通知理由の種類を選ぶ**
3. **各項目を設定▶[📷]**

- 着信音に映像と音声を含んだｉモーションを選択した場合、イメージ表示は[着モーション]になります。

ケータイデータお預かりサービス

ケータイデータお預かりサービスを利用する

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・動画・メール・Bookmark・メモ・スケジュール・トルカ・現在地通知先・メロディ・メールの振分け条件設定などの設定情報(以下「端末データ」といいます)を、ドコモのお預かりセンターにバックアップでき、万が一の紛失時や誤って削除した際などに復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知できます。パソコン(My docomo)があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- 電話帳、画像([自動お預かり]フォルダ内)、Bookmark、メモ、スケジュール、トルカ、メールの振分け条件設定などの設定情報は、自動更新機能※により、定期的に自動でバックアップできます。
  - ※ 端末データにより、自動更新の初期設定状態(自動更新する/しない)が異なります。設定状態の確認・変更については☞P.135
- 自動更新機能をご利用になる場合、パケット通信料が高額になるおそれがありますのでご注意ください。
- WORLD WINGご契約の場合、海外でも利用することができます。ただし、パケット通信料が日本国内よりも高額になるおそれがありますのでご注意ください(お客様がｉモードパケット定額サービスをご契約されていても、国際ローミング利用中におけるFOMAパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスの対象外となります)。
- 著作権保護されているデータは、お預かりセンターに預けることができません。
- ケータイデータお預かりサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです(お申し込みにはｉモード契約が必要です)。

お預かりセンターにデータをバックアップする <電話帳等を更新>

FOMA端末電話帳、Bookmark、メモ、スケジュール、トルカをお預かりセンターにバックアップできます。

● すでにお預かりセンターにデータをバックアップしているときは、最新の内容にデータが更新されます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[ケータイデータお預かりサービス]▶[電話帳等を更新]

2 項目を選ぶ▶📷▶[はい]

3 端末暗証番号を入力

● iモードサービスエリア圏外・電源OFF時などでは利用できません。
● ドコモUIMカード電話帳やmicroSDカード内の電話帳はバックアップできません。
● FOMA端末のデータを削除したあと、お預かりセンターに接続し、データを更新すると、お預かりセンターにバックアップしたデータも削除されます。お預かりセンターにバックアップしているデータをFOMA端末に復元する場合は、次の操作を行ってください。
■ ケータイデータお預かりサービス契約のみの場合
・ iモードサイト:[iMenu]▶[マイページ]▶[マイメニュー／マイボックス]▶[ケータイデータお預かり]※▶[お預かりデータ確認]▶iモードパスワードを入力▶[決定]▶画面に従って復元するデータを選ぶ▶[OK]▶待受画面を表示(約15秒後に復元を開始)
※ iコンシェルをご契約の場合は、[ケータイデータお預かり／iコンシェル]と表示されます。

お預かりセンターにバックアップできる電話帳の画像の制限について

● JPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションをバックアップできます。
● FOMA端末外への出力が禁止されている画像はお預かりセンターにバックアップされません。

■ iコンシェル画面からお預かりセンターにバックアップする＜お預かりデータ確認／設定／更新＞

FOMA端末内に保存されている電話帳、Bookmark、メモ、スケジュール、トルカは、iコンシェルのメニューからもお預かりセンターにバックアップできます。

1 ノーマルメニューで[iコンシェル]▶[設定]▶[お預かりデータ確認／設定／更新]▶[電話帳やメモなどの更新]

2 項目を選ぶ▶📷▶[はい]

3 端末暗証番号を入力

自動お預かりフォルダ内の画像をお預かりセンターにバックアップする

データBOXのマイピクチャの[自動お預かり]フォルダに保存されている画像を、お預かりセンターにバックアップすることができます。

● 画像の形式や設定などによっては、[自動お預かり]フォルダに保存できない画像があります。
● お預かりセンターにバックアップされた画像には、[自動お預かり]フォルダのデータ一覧画面でお預かり済みアイコンが表示されます。
　▦ :ファイル制限なしの画像
　▦ :FOMA端末でファイル制限ありに設定した画像
　・ [自動お預かり]フォルダから別のフォルダへ移動すると、[▦]／[▦]は消えます。
● お預かりセンターにバックアップしたあと[自動お預かり]フォルダ内の画像を変更／追加した場合、次回更新時にお預かりセンターに新規にバックアップされます。また、[自動お預かり]フォルダの画像を削除／移動しても、お預かりセンターにバックアップした画像はそのまま残ります。

画像の自動更新について

[自動お預かり]フォルダ内の画像を定期的に自動でお預かりセンターにバックアップするには、自動更新するように設定されていることをご確認ください。

● 自動更新の確認／設定については☞P.135

■ データを自動お預かりフォルダに移動する＜自動お預かりへ移動＞

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 データにカーソルを合わせる▶MENU▶[移動／コピー]▶[自動お預かりへ移動]

3 移動方法を選ぶ

◆ [1件移動]
◆ [選択移動] ▶ データを選ぶ ▶ 📷
◆ [フォルダ内全件移動] ▶ 端末暗証番号を入力
- 再配布不可のデータは[自動お預かり]フォルダへ移動できません。

■ 手動で画像をお預かりセンターにバックアップする ＜画像を更新＞

1 ノーマルメニューで[便利ツール] ▶ [ケータイデータお預かりサービス] ▶ [画像を更新]

2 ◉ ▶ [はい] ▶ 端末暗証番号を入力

■ お預かり済みアイコンを消す＜お預かり済アイコンクリア＞

- お預かり済みアイコンを消去すると、次回更新時に、再度お預かりセンターにバックアップされます。

1 ノーマルメニューで[データBOX] ▶ [マイピクチャ] ▶ [自動お預かり]

2 データにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [移動／コピー] ▶ [お預かり済アイコンクリア] ▶ [OK]

設定情報をお預かりセンターにバックアップする ＜設定情報を更新＞

FOMA端末に保存されている設定情報をお預かりセンターにバックアップすることができます。

- 次の設定がお預かりセンターにバックアップされます。
  - ■ メールの振分け条件設定
  - ■ 署名編集設定
  - ■ 受信・自動送信表示
  - ■ メール受信添付ファイル設定
  - ■ 緊急速報「エリアメール」設定
  - ■ メール送受信履歴
  - ■ メモリ別着信許可
  - ■ 着信拒否設定
  - ■ 伝言メモの応答時間
  - ■ メール表示画面の文字サイズ設定
  - ■ メール選択受信設定
  - ■ メッセージ自動表示設定
  - ■ 添付ファイル自動再生設定
  - ■ メール／メッセージ問合せ設定
  - ■ メモリ登録外着信拒否
  - ■ メモリ別着信拒否
  - ■ 伝言メモ設定
  - ■ リダイヤル／着信履歴
  - ■ ユーザ辞書
  - ■ アラーム
  - ■ 学習された文字変換候補

1 ノーマルメニューで[便利ツール] ▶ [ケータイデータお預かりサービス] ▶ [設定情報を更新]

2 [設定情報のお預かり]／[設定情報のダウンロード] ▶ [はい] ▶ 端末暗証番号を入力

- 更新完了画面表示中に📷を押すと、バックアップされた設定の詳細情報を確認できます。

データを選んでお預かりセンターにバックアップする＜お預かりセンターに保存＞

各種データ一覧画面のサブメニュー操作で、データを選んでお預かりセンターにバックアップ（更新）することができます。

- お預かりセンターにバックアップ（更新）できるのは次のデータです。
  - ■ 電話帳☞P.93
  - ■ Bookmark☞P.189
  - ■ メモ☞P.427
  - ■ 動画☞P.351
  - ■ トルカ☞P.317
  - ■ メール☞P.155
  - ■ スケジュール☞P.414
  - ■ 画像（Flash画像を除く）☞P.343
  - ■ メロディ☞P.364
  - ■ 現在地通知先☞P.331

例：メール一覧画面のとき

1 メールにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [移動／コピー] ▶ [お預かりセンターに保存]

2 バックアップ方法を選ぶ

◆ [1件保存]
◆ [選択保存] ▶ メールを選ぶ ▶ 📷
・30件まで選択できます。

3 [はい] ▶ 端末暗証番号を入力

- 一度の操作で合計10240Kバイトまでバックアップできます。

メールについて

- FOMA端末に保存されているｉモードメールやSMSをバックアップできます。
- 本文サイズが10000バイトまたは挿入画像の合計が90Kバイトを超えるメールはバックアップできません。
- SMS送達通知はバックアップできません。

トルカについて

- 利用済みトルカはバックアップできません。

スケジュールについて

- スケジュールのうち、誕生日データ、週間天気予報、休日設定／祝日設定、視聴予約／録画予約はバックアップできません。
- 通常スケジュールはバックアップできますが、自動更新はされません。

お預かりセンターのデータの確認や自動更新の設定を行う<データ確認／ダウンロード>

お預かりセンターに接続し、各種お預かりデータの確認や自動更新の設定をすることができます。

- 自動更新の設定は、ｉモードの「ケータイデータお預かりサイト」（ｉモードサイト：[ｉMenu]▶[マイページ]▶[マイメニュー／マイボックス]▶[ケータイデータお預かり]※）からもご利用いただけます。
  ※ ｉコンシェルをご契約の場合は、[ケータイデータお預かり／ｉコンシェル]と表示されます。

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[ケータイデータお預かりサービス]▶[データ確認／ダウンロード]▶[はい]**

トルカについて

- お預かりセンターで自動更新されたトルカを表示すると、次回も自動更新するか、トルカを削除するかを選択する画面が表示されます。ひとつのトルカについて一度だけ設定できます。

自動更新について

- データの自動更新時に他の機能を起動していたときは自動更新されません。データの自動更新が起動されなかったときは、待受画面に[お預かりセンター　更新通知あり]を表示してお知らせします。

ケータイデータお預かりサービスの設定を行う<詳細設定／通信履歴>

データを自動更新するかどうか設定したり、お預かりセンターとの通信履歴を表示したりできます。

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[ケータイデータお預かりサービス]▶[詳細設定／通信履歴]**

2 **項目を選ぶ**

◆ **[自動更新設定]▶[はい]**

◆ **[電話帳画像送信設定]▶項目を設定▶[📷]**

・電話帳をお預かりセンターにバックアップするときに、電話帳に設定した画像もバックアップするかどうかを設定できます。

◆ **[メモ添付画像送信設定]▶項目を設定▶[📷]**

◆ **[その他設定]▶[はい]**

◆ **[通信履歴確認]▶履歴を選ぶ**

・お預かりセンターとの通信履歴を、最新のものから30件まで確認できます。
・通信履歴が30件を超えたときは、古い履歴から順に上書きされます。
・設定情報の履歴を確認する場合は、[📷]を押すと詳細情報を確認できます。

各種設定リセット

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

お客様が設定できる内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時の状態、各種設定リセットでお買い上げ時の状態に戻る項目については☞P.492

1 **ノーマルメニューで[本体設定]▶[その他設定]▶[各種設定リセット]**

2 **端末暗証番号を入力**

3 **項目を選ぶ▶[📷]▶[はい]**

次ページへ続く▶▶

- 次のものはリセット(削除・変更)されません。リセットするときは、それぞれのページを参照してください。
  - 伝言メモなどの録音内容(☞P.85)
  - 電話帳の登録内容(☞P.99)
  - Select language(バイリンガル)(☞P.120)
  - 端末暗証番号(☞P.123)
  - メール(☞P.165)
  - 署名の登録内容(☞P.168)
  - 画面メモ(☞P.192)
  - microSDカード内のデータ(☞P.380)
  - データBOXのデータ(☞P.380)
  - アラーム(☞P.413)
  - スケジュール(☞P.414)
  - 待受タッチランチャ(☞P.44)
  - プロフィール(☞P.423)
  - メモ(☞P.428)
  - ダウンロード辞書(☞P.449)
  - 歩数の履歴(☞P.402)
  - ネットワークサービスの設定(☞P.454~P.466)
- iモード/フルブラウザの設定リセットについては☞P.201
- iモード設定をリセットすると、iチャネルテロップは表示されなくなります。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、iチャネルテロップが自動的に表示されます。
- 基本設定をリセットすると、2in1機能はOFFになります。また、次の設定はリセットされます。
  - 2in1モード切替
  - 着信設定
  - 発着信番号表示設定
  - モード切替連動設定
  - モード別待受画面設定
- パーソナルデータロック中は、各種設定リセットできません。
- Bluetooth電源がONのときは、[基本設定]のリセットができません。

データ一括削除

登録データを一括して削除する

お客様が登録されたデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- FOMA端末の保護されているデータも削除されます。
- お買い上げ時の状態については☞P.492

削除されるデータ	電話帳(電話帳2in1設定含む)、データBOX内の静止画・着うたフル®・Music&Videoチャネル・動画・ワンセグデータ・メロディ・PDFデータ・きせかえツール・マチキャラ・キャラ電・その他、iアプリ、メール(受信BOXの「Welcome E★エブリスタ」、「SH-01Cデビュー!!」を含む)、メッセージR/F、Bookmark、画面メモ、ダウンロード辞書、音声メモ、メモ、アラーム設定、リダイヤル、着信履歴、送信メッセージ履歴、メール送信履歴、メール受信履歴、URL入力履歴、署名、ユーザ辞書、電子書籍/電子辞書/電子コミック、マンガ・ブックリーダーのしおり、ユーザフォルダ、SMS、iアプリメールのデータ、デコメール®テンプレート、デコメアニメ®テンプレート、伝言メモ(録音した応答ガイダンス含む)、バーコードリーダーで読み取ったデータ、スケジュール(登録・変更した祝日を含む)、サイト閲覧履歴、ケータイデータお預かりサービスの通信履歴、メッセージ(着もじ)、位置履歴、オートGPS履歴、現在地通知先、ソフトウェア更新関連情報(予約情報、更新お知らせアイコン、書換え予告アイコン、ダウンロード済みの更新ファイル)、録画予約履歴、手書き認証登録データ、うた・ホーダイの再生期限情報、RSS、インフォメーション、iアプリコール履歴、プレゼンデータ、プロフィール登録、歩数の履歴、iチャネル、検索サービス、視聴予約、録画予約、赤外線/iC受信済みデータ、Bluetooth登録機器情報、使いかたガイドの検索履歴、使いかたガイドのBookmark

お買い上げ時の状態に戻る設定	各種設定リセット（☞P.135）の対象となる設定、待受画面設定、音選択、伝言メモガイダンス、定型文、学習機能、各種設定、端末暗証番号、日付時刻設定、ベーシックメニュー、待受タッチランチャ、通話時間、USSD応答ワーディング登録、USSD登録、プロフィール（ご契約の電話番号以外）、メールグループ、URL入力、プレフィックス設定、データBOXのマイピクチャ・ｉモーション・ムービー・ワンセグ・メロディ・マイドキュメント・きせかえツール・マチキャラ・キャラ電の各種動作設定、メール設定（有効期限設定、本文入力設定、SMSセンター設定を除く）、ｉモード／web設定、ｉアプリ設定、GPS設定、国際プレフィックス、国番号、オペレータ名表示設定、ネットワークサーチ設定、放送用保存領域のデータ、テレビリンク、チャンネルリスト
お買い上げ時に登録されているデータで削除されないもの	メロディ、マイピクチャ、ｉモーション、きせかえツール、マチキャラ、PDFデータ、キャラ電、ｉアプリ、電子書籍／電子辞書、フォルダ、デコメール®テンプレート、デコメアニメ®テンプレート

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[その他設定]▶[データ一括削除]

2 端末暗証番号を入力▶[はい]

- 端末の再起動後にデータ一括削除が実行されます。
- データ一括削除には、20分程度かかることがあります。

- データ一括削除中は、他の機能を使用できません。また、音声電話／テレビ電話の着信やメールの受信、アラーム、ワンセグ録画予約などは動作しません。
- データ一括削除は、電池残量が[▱]以上の状態で行ってください。電池残量が不十分のときは、データ一括削除できないことがあります。
- データ一括削除を行っているときは、電源を切らないでください。
- ドコモUIMカードやmicroSDカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
- 他の機能が動作中は、データ一括削除できません。
- パーソナルデータロック中は、データ一括削除できません。
- データ一括削除中は、表示が乱れることがありますのでFOMA端末を閉じないでください。
- データ一括削除を行うと、ｉチャネルテロップは表示されなくなります。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、ｉチャネルテロップが自動的に表示されます。

SH-MODEの利用方法

お買い上げ時に登録されているデータなどを、ｉMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。

[ｉMenu]▶[メニューリスト]▶[ケータイ電話メーカー]▶[SH-MODE]

- ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

サイト接続用QRコード

遠隔初期化

遠隔初期化を利用する

本機能の利用契約（ビジネスmoperaあんしんマネージャー）をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ（本体／microSDカード／ドコモUIMカード内のメモリ）を初期化することができます。

詳細はドコモの法人向けサイトをご確認ください。

docomo Business Online

パソコンから　http://www.docomo.biz/

※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

- 遠隔初期化はご契約が必要なサービスです。

遠隔カスタマイズ

遠隔カスタマイズを利用する

本機能の利用契約(ビジネスmoperaあんしんマネージャー)をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各機能(カメラ機能やロック設定など)の利用の制限や、ON/OFF設定を遠隔から行うことができるサービスです。
詳細はドコモの法人向けサイトをご確認ください。
docomo Business Online
パソコンから　http://www.docomo.biz/
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

- 遠隔カスタマイズはご契約が必要なサービスです。

遠隔カスタマイズの設定を確認する
<リモート機能設定確認>

1 **ノーマルメニューで[本体設定]▶[その他設定]▶[リモート機能設定確認]**

その他の「あんしん設定」

FOMA端末を安心してお使いいただくため、次の設定や機能を利用できます。

機能/サービス名称	目　的	参照先
ＩＣカードロック	ＩＣカード機能の不正使用を防止したい。	P.315
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない。	P.457
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない。	P.458
FirstPass	電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい。 ※ FirstPass対応サイトに限ります。	P.202
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい。	P.544
スキャン機能	障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい。	P.548
メール選択受信	大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい。	P.153
「ｉモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。	
メールアドレス変更		
迷惑メール対策 (URL付きメール拒否設定) (受信/拒否設定) (かんたん設定) (ｉモード/spモードメール大量送信者からのメール受信制限) (SMS拒否設定) (未承諾広告※メール拒否) (メール設定確認)		
メール機能停止/再開		
メールサイズ制限		
ケータイお探しサービス		
イマドコかんたんサーチ		

メール

ｉモードメール

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計２Mバイト以内のファイル（写真や動画ファイルなど）を10個まで添付することができます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えられるほか、デコメ絵文字®も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。
さらにメッセージや画像を挿入したFlash画像のデコメアニメ®にも対応しております。

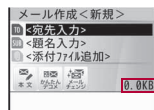
- ｉモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉモードメール作成・送信

ｉモードメールを作成して送信する

- 2in1のモードが［デュアルモード］の場合に、送信元アドレスを切り替えて作成・送信するとき☞P.462
- 宛先に［電話帳検索］、［メールグループ］を利用する場合は、あらかじめ電話帳（☞P.90）、メールグループ（☞P.169）を登録してください。

1 待受画面で✉▶［新規メール作成］

- 2in1のモードが［デュアルモード］の場合、送信元アドレスなしのときはメール作成画面左上に［AB］、送信元アドレスがBアドレスのときはメール作成画面左上に［B］が表示されます。

本文中に入力したバイト数

メール作成画面

2 TO欄を選ぶ▶項目を選ぶ

- 選択できる項目は次のとおりです。
  - ■ 電話帳検索：電話帳から検索して宛先を入力できます。
  - ■ メール送信履歴：メール送信履歴から選んで宛先を入力できます。
  - ■ メール受信履歴：メール受信履歴から選んで宛先を入力できます。
  - ■ 送信回数ランキング：送信回数の多い宛先から選んで宛先を入力できます。
    - ・メール送信履歴のうち送信回数の多い順に10件まで表示します。
  - ■ メールグループ：メールグループを選んで宛先を入力できます。
  - ■ ブログ／SNS投稿先：ブログ／SNS投稿先から選んで宛先を入力できます。
    - ・ブログ／SNS投稿先の登録については☞P.170
  - ■ 直接入力：宛先を直接入力できます。
    - ・半角50文字まで入力できます。
  - ■ 送信種別変更：２件目以降の宛先の送信種別を変更できます。
    - ・To ：送信相手の宛先です。［To］で指定したアドレスは他の送信相手に表示されます。
    - ・Cc ：［To］宛に送信したメールを第三者に知らせるときに使います。
    - ・Bcc：［Cc］と同じように第三者に知らせるときに使いますが、［Bcc］で指定したアドレスは、［To］や［Cc］の相手には表示されません。
    - ・［To］と［Cc］で指定したアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。
  - ■ 宛先確認：入力した宛先を確認できます。
  - ■ 宛先削除：入力した宛先を削除できます。
- 宛先の追加：１件目を入力すると入力欄が追加▶入力欄を選ぶ▶入力方法を選ぶ
  - ・宛先は４件まで追加できます。
- ｉモード端末に送信するときは、「@docomo.ne.jp」を省略できます。
- 電話帳に登録されている相手のときは、TO欄に名前が表示されます。
- 2in1のモードが［Aモード］／［Bモード］のときは、それぞれのモードの送信元アドレスになります。［デュアルモード］のときは、最後に入力した宛先の電話帳2in1設定によって、次のように送信元アドレスが設定されます。
  - ■ 電話帳2in1設定が［A］・または［共通］のとき：Aアドレス

■ 電話帳2in1設定が[B]のとき：Bアドレス
・宛先が入力されていない場合や、電話帳未登録のアドレスを入力した場合は、送信元アドレスが設定されません。
・宛先が複数あるときに宛先を削除すると、残りの宛先に従って送信元アドレスが設定されます。

3 SUB欄を選ぶ▶題名を入力

- 全角100文字(半角200文字)まで入力できます。
- 題名に[↲](改行)は入力できません。

4 [本文]▶本文を入力

- 全角5000文字／半角10000文字(10000バイト)まで入力できます。
- [↲](改行)は全角1文字としてカウントします。全角、半角のスペース(空白)もそれぞれ全角1文字、半角1文字としてカウントします。
- 位置情報URLも文字数にカウントされます。
  ・位置情報URLの前には[♪]が付加されます。
- 日・英語入力予測が[ON]のときはメール起動時表示(☞P.151)に従い、定型文や学習した文章などの一覧が表示されます。

5 [📷]

- 送信の中止：◉／[⏎]
  ・タイミングにより送信されることがあります。
- 圏外で送信できないときは☞P.151
- ｉモードメールの送信に失敗すると、送信失敗音・バイブレータが動作します。
- 宛先が「携帯電話番号」または「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳にシークレットコードが設定されているかどうかを自動的に調べ、シークレットコードが設定されているときは、シークレットコードを付けて送信します。

- 複数の宛先に送信しても、1件の送信メールとして保存されます。送信メール詳細画面では、送信に成功した宛先がすべて表示されます。
- 複数の宛先に送信した場合、送信に失敗した宛先があったときは、送信メール1件と未送信メール1件が保存されます。未送信メールには、送信されていない宛先がすべて表示されます。
- 受信側の機種によっては題名をすべて受信できないことがあります。
- 何らかの原因で送信できなかったｉモードメールは、未送信メールとして保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されないときがあります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に削除されます。サイズの大きい添付ファイルを送信すると、複数の送信メールが削除されます。
- シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメール送信を行ったときは、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 他社の携帯電話に絵文字入りのｉモードメールを送ると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。ただし、送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
- メール作成画面のデザインは、カラーテーマ設定に連動して変更されます。

■ メール作成画面のサブメニュー操作

操作	参照
[送信]	
[送信日時予約]	☞P.150
[圏内自動送信]	☞P.151
[保存]	☞P.150
[テンプレート呼出]▶テンプレートにカーソルを合わせる▶[📷]	
[テンプレート保存]▶[はい] ● デコメール®をテンプレートとして保存します。	
[署名貼付]	
[送信者アドレス切替(A・B)]	☞P.462

[テンプレート保存]について

- メールメニューのデコメテンプレートの[デコメール]に保存されます。
- デコメール®のテンプレートを呼び出して作成したときは、保存方法を選択できます。
- 保存したテンプレートには、自動的に保存日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
  例：2011年1月11日午後1時5分7秒に保存→[110111_130507]

次ページへ続く▶▶

- 作成または送受信したデコメール®に添付ファイルがあっても、添付ファイルなしで保存されます。
- ファイル制限されているときは、画像は削除されて保存されます。
- デコメアニメ®は、テンプレート保存できません。

■ 本文入力画面のサブメニュー操作

[デコレーション] ☞P.143

[デコアシスト]
- ▶[ショットデコ] ☞P.244
- ▶[モーションデコ] ☞P.245
- ▶[手書きデコメ] ☞P.145
- ▶[画像挿入]▶画像にカーソルを合わせる▶[📷]
  - [画像挿入]について☞P.145

[テンプレート呼出]▶テンプレートにカーソルを合わせる▶[📷]

[コピー・切取り・その他]
- ▶[コピー] ☞P.448
- ▶[切り取り] ☞P.448
- ▶[貼り付け] ☞P.448
- ▶[範囲選択] ☞P.144
- ▶[元に戻す]
- ▶[参照メールコピー]▶始点を選ぶ▶終点を選ぶ
  - 参照メールの本文の内容をコピーできます。
- ▶[情報表示]
  - 挿入した画像の情報を表示します。

[定型文・データ引用]
- ▶[署名]
- ▶[定型文] ☞P.446
- ▶[区点] ☞P.449
- ▶[電話帳]▶名前を選ぶ▶情報を選ぶ
- ▶[プロフィール情報]▶端末暗証番号を入力▶情報を選ぶ
- ▶[バーコードリーダー] ☞P.241
- ▶[電卓]▶計算する
- ▶[Bookmark]▶Bookmarkを選ぶ
  - 選択したBookmarkのタイトルとURLを本文に入力します。
- ▶[位置情報] ☞P.335
- ▶[絵文字・記号・顔文字]
  - ▶[絵文字] ☞P.446
  - ▶[記号] ☞P.446
  - ▶[顔文字] ☞P.446

[音声で文字入力] ☞P.450

[単語・定型文登録]
- ▶[単語登録] ☞P.449
- ▶[定型文登録] ☞P.448

[参照メール表示] ☞P.143

[入力設定]
- ▶[2タッチ入力]／[かな入力]
- ▶[日・英語入力予測OFF]／[日・英語入力予測ON]
  - 日・英語入力予測の詳細については☞P.442
- ▶[自動カーソル]▶設定を選ぶ
  - 自動カーソルの詳細については☞P.442
- ▶[辞書連携優先辞書]▶設定を選ぶ
  - 辞書モードで優先して使用する辞書を設定します。
- ▶[語調選択]▶設定を選ぶ
- ▶[2タッチガイドOFF]／[2タッチガイドON]
- ▶[パレット設定ON]／[パレット設定OFF]
  - パレットを表示するかどうかを設定します。
- ▶[メール起動時表示] ☞P.151
- ▶[メール文章履歴ON(学習／表示設定)]／[メール文章履歴OFF(学習／表示設定)]

[プレビュー]

■ 参照メールを表示しながらメールを作成する＜参照メール表示＞

1 本文入力画面でMENU ▶ [参照メール表示]

2 [参照メールON] ▶ [受信メール]／[送信メール]

- 参照メールを変更：[参照メール変更] ▶ [受信メール]／[送信メール]
- 次／前のメールを表示：[次メール]／[前メール]
- 参照メール表示の解除：[参照メールOFF]

3 メールを選ぶ

- メールにカーソルを合わせて📷でも操作できます。
- 受信／送信BOXを表示する：MENU
- 本文入力画面下部に参照メールエリアが表示され、引き続き、本文の入力や編集ができます。
- 操作する画面の切替：✍

参照メールエリアのボタン操作

- 前／次のメールを表示：◎
- 前／次のページを表示：✉／i
- 参照メールのコピー：MENU ▶ 始点を選ぶ ▶ 終点を選ぶ
- 参照メール表示の解除：📷
- 参照メールエリアはタッチ操作でスクロールしたり、前／次のメールを表示することもできます。

● 参照メールの添付ファイルは表示されません。

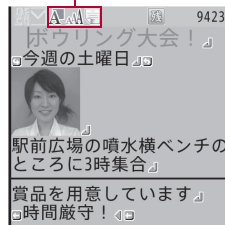
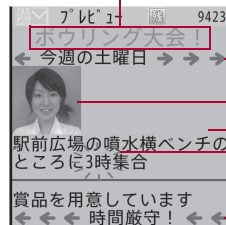
デコメール®

デコメール®を作成する

iモードメール作成時、本文の色や文字サイズを変更したり、Flash画像などの画像を挿入する、背景に色を付けるなどの装飾を行うことができます。
また、ショットデコやモーションデコで作成したデコメ®ピクチャやデコメ絵文字®を使用することもできます。

- 作成できるデコメール®の本文は10000バイトまでです。挿入画像またはデコメ絵文字®は、最大20種類、合計90Kバイトまで挿入できます。ただし、Flash画像は２個までとなります。
- メール作成中にデコメ絵文字®を入力すると、デコメール®になります。

現在有効な装飾の種類　文字色・文字サイズ・文字位置

ボウリング大会！
今週の土曜日
駅前広場の噴水横ベンチのところに3時集合
賞品を用意しています
時間厳守！

スウィング
画像挿入
背景色
点滅
ライン挿入
テロップ

本文入力画面　プレビュー画面

■ 装飾を指定してから文字を入力する＜デコレーション＞

1 本文入力画面でMENU ▶ [デコレーション]

2 装飾する

- パレットやサブメニューから装飾方法を選び、装飾内容を設定して本文を入力します。
- 装飾の内容と操作方法については☞P.144

■ 入力済みの文字を装飾する<範囲選択>

1 本文入力画面で装飾開始位置にカーソルを合わせる▶[MENU]▶[コピー・切取り・その他]▶[範囲選択]

- [i]を押しても操作できます。

2 装飾終了位置を選ぶ

- すべての文章を選択：[📷]
- 文頭／文末にカーソルを合わせる：[✉]／[i]
  - ページが複数ある場合は、1ページずつスクロールします。
- 選択を取り消す：[MENU]

3 装飾する

- 装飾の内容と操作方法については☞P.144
- 同じ範囲を繰り返し装飾できます。
  - [パレット設定OFF]の場合、繰り返し装飾するときは[📷]を押します。

4 装飾が終わったら[📷]

- [パレット設定OFF]のときは、装飾が終わったら◉を押します。

■ 装飾の内容と操作方法

サブメニューやパレットから装飾方法を選んで装飾することができます。

サブメニュー操作

- デコレーションと範囲選択では項目が異なります。

サブメニュー	装飾の内容と操作方法
[文字色]	文字に色を付けます。絵文字も設定した色で表示されます。通常の絵文字色にしたいときは、[指定なし]に設定してください。 色を選ぶ▶文字を入力
[文字サイズ]	文字の大きさを変更します。 文字サイズを選ぶ▶文字を入力 ● デコメ絵文字®のサイズは変更できません。
[画像挿入]	本文中に画像を表示します。GIFアニメーションなど動きがある画像は、一定時間が経過すると止まります。 画像にカーソルを合わせる▶[📷]
[点滅]	文字を点滅させます。一定時間が経過すると止まります。 [設定]▶文字を入力
[テロップ]	テロップ表示します。一定時間が経過すると止まります。 [設定]▶文字を入力
[スウィング]	文字を左右に揺らして表示します。一定時間が経過すると止まります。 [設定]▶文字を入力
[文字位置]	文字の配置を変更します。 位置を選ぶ▶文字を入力
[ライン挿入]	本文中にライン(罫線)を挿入します。[文字色]で設定した色で、1行分のラインが挿入されます。
[背景色]	メール本文の背景に色を付けます。 色を選ぶ
[デコレーション変更]	範囲を指定して装飾を行います。 終了位置を選ぶ▶装飾を指定 ● 画像挿入、ライン挿入、背景色は選択できません。
[元に戻す]	直前に行った編集を取り消します。 ● 10回前の操作まで戻すことができます。
[デコレーションなし]	デコレーションのときは、装飾されていない通常の文字を入力します。範囲選択のときは、選択範囲の装飾を解除します(背景色を除く)。
[コピー]	範囲指定した文字をコピーします。
[切り取り]	範囲指定した文字を切り取ります。
[範囲選択解除]	範囲指定を解除します。
[全解除]	すべての装飾を解除します。
[文字入力]	文字を入力します。
[プレビュー]	装飾を確認します。 ● 本文入力画面で[i](1秒以上)でも操作できます。 ● 100Kバイト以下のメロディを添付しているときは自動再生されます。

パレット操作

画面上に表示されるパレットからメニューを選択して装飾することができます。

- 各パレット選択後の操作方法はサブメニュー操作と同様です。

デコレーションメニュー　　範囲選択メニュー

1 文字色	2 文字サイズ	3 点滅
4 テロップ	5 スウィング	6 文字位置
7 画像挿入	8 ライン挿入	9 背景色
10 コピー	11 切り取り	12 元に戻す

- 受信側のｉモード端末によっては、メール本文に閲覧用のURLが記載されます。ただし、端末によっては、閲覧用のURLがないメールを受信することがあります。
- 受信側のｉモード端末がFlash画像の挿入されたデコメール®に非対応の場合は、メール本文に閲覧用のURLが記載されます。ただし、端末によっては、装飾が解除されたメールを受信することがあります。
- 装飾を決定すると、状態アイコン[]が表示されます。

［画像挿入］について

- Flash画像に含まれているFlash®Videoは再生できません。Flash画像だけが見えている状態になります。
- 同一画像を複数挿入したときは１種類の画像として扱われます。ただし、同一画像を含む署名を挿入したときは同一画像とはみなされません。
- 受信したデコメール®を引用返信または転送したときは、装飾や挿入した画像も引用されます（ファイル制限ありの画像を除く）。
- 挿入するJPEG画像の画像サイズが「QVGA：240×320」を超える場合は、画像サイズやファイルサイズを変更する画面が表示されます。［サイズ中（640×480）］、［サイズ小（320×240）］を選択すると、選択した画像サイズに変更して挿入します。［そのまま挿入］を選択すると、画像サイズを変更せずに挿入しますが、ファイルサイズが90Kバイト以上の場合は、ファイルサイズを90Kバイト未満に変更して挿入します。ただし、画像サイズやファイルサイズが大きい場合は、ファイルサイズが変更されず挿入できないことがあります。

手書きのイラストを挿入する<手書きデコメ®>

デコメール®に手書きのイラストを挿入できます。

1 **本文入力画面でMENU▶［デコアシスト］▶［手書きデコメ］**

2 **イラストを作成する**

- 手書きイラストの作成方法については☞P.405「手書きメモを作成する」の操作２へ

3 **MENU▶［保存］▶［OK］▶MENU**

4 **画像サイズを選ぶ**

デコメアニメ®

デコメアニメ®を作成する

デコメアニメ®とは、デコメアニメ®テンプレートを利用し、メッセージや画像を挿入したFlash画像を使った表現力豊かなメールサービスです。お買い上げ時に登録されているテンプレートのほかに、サイトなどからダウンロードしたテンプレートを利用して作成できます。

- 作成できるデコメアニメ®のテンプレートと画像の合計は90Kバイトまでです。また、メッセージは10000バイトまでです。これらのバイトを超えるときは、メッセージや画像を挿入できません。

1 **待受画面で✉▶［新規デコメアニメ作成］▶［編集］**

2 **テンプレートにカーソルを合わせる▶📷**

編集項目リスト
- 編集できる項目がリスト表示されます。編集できる項目はテンプレートによって異なります。

マークの意味
- ：文字を編集できます。
- ：デコレーションを編集できます。
- ：画像を編集できます。

3 編集項目を選ぶ

◆ [] ▶ 項目を選ぶ ▶ 編集する
◆ [] ▶ 編集する
◆ [] ▶ [画像選択] ▶ 画像にカーソルを合わせる ▶
- 画像の削除：[削除] ▶ [はい]
- 初期の画像に戻す：[初期画像に戻す] ▶ [はい]

- 文字入力画面には、入力可能な文字数の残バイト数が表示されます。
- 入力した文字の合計が10000バイトを超えた場合、文字入力画面の残バイト数が0でなくても、文字を入力できないことがあります。
- デコメアニメ®合成時に画像ファイルのサイズが増加するため、メールの残バイト数以下の画像でも挿入できないことがあります。
- GIFアニメーションやFlash画像を挿入した場合、デコメアニメ®送信時にサイズオーバーになることがあります。
- プレビュー表示：
  - デコメアニメ®編集画面に戻る：MENU
  - 再生をやり直す：
  - 再生を停止：

4

- 受信側のｉモード端末がデコメアニメ®非対応の場合は、メール本文に閲覧用のURLが記載されます。ただし、端末によっては、挿入したメッセージのみが記載されたメールを受信することがあります。
- 送信／保存したデコメアニメ®は再編集できません。また、編集中に破棄したり、送信に失敗したデコメアニメ®も再編集できません。

- デコメアニメ®作成では、次の操作はできません。
  - 文字入力画面での文字や画像の挿入位置の変更
  - 文字入力画面での署名の貼り付け
- Flash画像に含まれているFlash®Videoは再生できません。Flash画像だけが見えている状態になります。

■ デコメアニメ®作成画面のサブメニュー操作

操作	参照
[送信]	
[送信日時予約]	☞P.150
[圏内自動送信]	☞P.151
[保存] ▶ [はい]	
[テンプレート呼出] ▶ テンプレートにカーソルを合わせる ▶	
[プレビュー]	
[送信者アドレス切替(A・B)]	☞P.462

■ デコメアニメ®編集画面のサブメニュー操作

操作	参照
[テンプレート呼出] ▶ [はい] ▶ テンプレートにカーソルを合わせる ▶	
[プレビュー]	
[リセット] ▶ [はい]	
[参照メール表示]	☞P.143

デコメ®テンプレート

テンプレートを利用してデコメール®／デコメアニメ®を作成する

テンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール®／デコメアニメ®用のひな形です。お買い上げ時に登録されているテンプレートのほかに、サイトなどからダウンロードしたり、作成または送受信したデコメール®をテンプレートとして保存できます。
- 保存できる件数は次のとおりです。
  - デコメール®のテンプレート：最大100件

■ デコメアニメ®のテンプレート：最大100件

1 **待受画面で[✉]▶[デコメテンプレート]▶[デコメール]／[デコメアニメ]**

2 **テンプレートにカーソルを合わせる▶[📷]**

■ デコメール®テンプレート一覧画面のサブメニュー操作

[編集]▶デコメール®を編集▶保存方法を選ぶ	
[タイトル編集]▶タイトルを編集	
[削除]	
▶[1件削除]▶[はい]	
▶[選択削除]▶テンプレートを選ぶ▶[📷]▶[はい]	
▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]	
[情報表示]	
[メモリ確認]	☞P.382

[タイトル編集]について
- 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

■ デコメアニメ®テンプレート一覧画面のサブメニュー操作

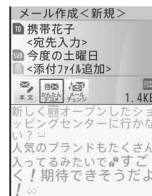
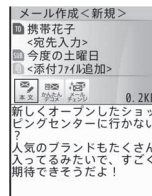
- 次の機能については、デコメール®テンプレート一覧画面のサブメニュー操作（☞P.147）を参照してください。

■ タイトル編集　■ 削除　■情報表示　■ メモリ確認

[microSDへコピー]	☞P.371
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.385
▶[ｉＣ送信]	☞P.387
[microSDデータ参照]	☞P.374

かんたんデコメ

かんたんデコメを利用して絵文字／デコメ絵文字®を入力する

メール本文を入力して変換すると、文章から予測して自動的に絵文字やデコメ絵文字®が入力され、文字色、文字サイズ、背景色も変更されます。お好みの変換候補から選ぶことができます。
また、変換パターンを変更することで、女性向けや男性向けなど、変換候補の表現を変更できます。
- ｉMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードした変換パターンも利用できます（☞P.137）。

1 **本文入力後、メール作成画面で[かんたんデコメ]**

2 **候補を選ぶ**
- 変換候補を一時的に保存：[✉]
- 保存していた変換候補に戻す：[i]
- 変換パターンの変更：[MENU]▶[変換パターン]▶変換パターンを選ぶ
- 絵文字の入力箇所を変える：[MENU]▶[絵文字挿入]▶設定を選ぶ
- 自動的に文字色／文字サイズ／背景色を変える：[MENU]▶変換項目を選ぶ▶設定を選ぶ
- [📷]を押すたびに設定した変換項目に従って変更されます。
- 引き続き、本文入力画面で入力や編集をすることができます。

- デコメ絵文字®が入力された場合や文字色、文字サイズ、背景色が変更された場合は、デコメール®になります。
- デコメアニメ®でかんたんデコメは利用できません。

■ 変換パターンを確認する＜変換パターン＞

1 待受画面で✉▶［デコメアイテム］▶［変換パターン］

2 変換パターンを選ぶ

- 変換パターンの削除：変換パターンにカーソルを合わせる▶📷▶［はい］

● プレビュー画像がないデータは確認できません。
● お買い上げ時に登録されている変換パターンは削除できません。

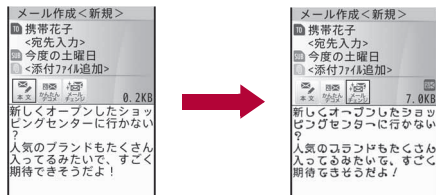
メールチェンジ

メールチェンジを利用してメールを装飾する

メール本文を入力して変換すると、フォントを変えたりデコメアニメ®を作成したりできます。

メール本文を入力してフォントを変える＜フォントチェンジ＞

メール本文を入力して変換すると、フォントを変えることができます。

● ｉMenu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードしたフォントも利用できます（☞P.137）。

1 本文入力後、メール作成画面で［メールチェンジ］▶［フォントチェンジ］

2 ［はい］

3 候補を選ぶ

- 前の変換候補／次の変換候補に変更：MENU／📷
- フォントの種類を選ぶ：✉▶フォントを選ぶ
- 引き続き、本文入力画面で入力することができます。

● フォントチェンジを行うと、デコメール®になります。
● フォントが変更された文字はGIF画像として本文中に表示されます。フォントを変更した文字を編集することはできません。
● フォントチェンジを行うと点滅やテロップ、スウィングの装飾は解除されてフォントが変わります。
● フォントチェンジを行った場合に、作成できる画像の種類やサイズを超えたとき、フォントチェンジができない旨のメッセージが表示されます。本文中のデコメ絵文字®または文字数を減らしてから再度操作してください。
● デコメアニメ®でフォントチェンジは利用できません。

■ フォントを確認する＜フォント＞

1 待受画面で✉▶［デコメアイテム］▶［フォント］

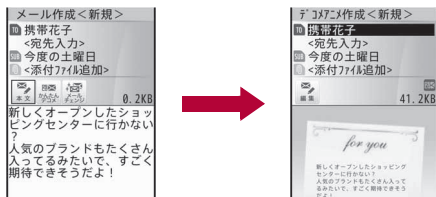
2 フォントを選ぶ

- フォントの削除：フォントにカーソルを合わせる▶📷▶［はい］

● プレビュー画像がないデータは確認できません。
● お買い上げ時に登録されているフォントは削除できません。

メール本文を入力してデコメアニメ®を作成する

<デコメアニメ®>

メール本文を入力して変換すると、デコメアニメ®テンプレートに文章が反映され、デコメアニメ®を作成することができます。

1 本文入力後、メール作成画面で[メールチェンジ]▶[デコメアニメ]

2 テンプレートにカーソルを合わせる▶📷

- 引き続き、デコメアニメ®作成画面で入力や編集をすることができます。

- 入力したメール本文がデコメアニメ®テンプレートの入力可能文字数を超えている場合、超えた文字は破棄されます。
- 入力したメール本文がデコレーションされている場合、デコレーションを編集可能なデコメアニメ®テンプレート以外は選択できません。

添付ファイル

ファイルを添付する

ｉモードメールに静止画や動画／ｉモーションなどを添付して送信できます。

- データは合計で最大２Mバイト、10個まで添付できます。
- ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送信できません。

1 メール作成画面で添付欄を選ぶ

- 添付ファイルを追加するとき：添付欄を選ぶ▶[添付ファイル追加]

2 添付ファイルを選ぶ

- 添付できるファイルの種別は次のとおりです。
  - ■ イメージ：JPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像を添付できます。
  - ■ メロディ：SMF形式、MFi形式のメロディを添付できます。
  - ■ ｉモーション：MP4形式の動画／ｉモーションを添付できます。
  - ■ トルカ：トルカは１Kバイトまで、トルカ（詳細）は100Kバイトまで添付できます。
  - ■ PDF：ダウンロード中およびページ単位で部分的にダウンロードしたPDFは添付できません。
  - ■ 電話帳：vCard形式のデータを添付できます。
  - ■ スケジュール：vCalendar形式のデータを添付できます。
  - ■ メモ：メモを添付できます。
  - ■ Bookmark：vBookmark形式のデータを添付できます。
  - ■ その他：microSDカード内の[その他]フォルダのファイルを添付できます。
  - ■ カメラ起動（静止画）：カメラを起動し、撮影した静止画を添付できます。
    - ・撮影サイズは「待受：480×854」に設定されています。
    - ・撮影サイズを「14M：3240×4320」、「14M：スマートリサイズズーム」、「10M：2736×3648」、「５M：1944×2592」に設定することはできません。
    - ・撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに保存されます。
  - ■ カメラ起動（動画）：カメラを起動し、撮影した動画を添付できます。
    - ・撮影サイズは「QCIF：176×144」に設定され、変更できません。
    - ・撮影した動画はデータBOXのｉモーション・ムービーの[カメラ]フォルダに保存されます。
    - ・撮影した動画を２Mバイト対応機種以外の機種に送る場合は、ファイルサイズ制限を[メール用（短）]または共通再生モードを[ON]に設定して撮影してください。
- 添付欄には、現在添付されているファイル件数と添付ファイルの合計ファイルサイズが表示されます。

次ページへ続く▶▶

- 受信側の端末によっては、受信できなかったり、正しく表示・再生できないことがあります。また、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されることがあります。
- 添付するJPEG画像の画像サイズが「QVGA：240×320」を超える場合は、画像サイズやファイルサイズを変更する画面が表示されます。
  [サイズ中（640×480）]、[サイズ小（320×240）]を選択すると、選択した画像サイズに変更して添付します。
  [そのまま添付]を選択すると、画像サイズを変更せずに添付しますが、ファイルサイズが2Mバイトを超える場合は、ファイルサイズを2Mバイト以下に変更して添付します。
- 添付する動画／iモーションのファイルサイズが500Kバイトを超える場合、または画像サイズが「QVGA：320×240」を超える場合は、ファイルサイズや画像サイズ変更の確認画面が表示されます。ファイルサイズが500Kバイトを超えているときは、500Kバイト以下または2Mバイト以下になるように先頭から切り出して添付できます。
- 添付するファイルのファイルサイズが100Kバイトを超える場合、添付するかどうかの確認画面が表示されるときがあります。[はい]を選択すると、ファイルが添付されます。
- Flash画像に含まれているFlash®Videoは再生できません。Flash画像だけが見えている状態になります。
- 効果音を含むデコメアニメ®にメロディを添付した場合、添付したメロディが再生されます。

■ 添付ファイルを解除する

1 添付欄を選ぶ▶ファイルにカーソルを合わせる▶[カメラ]

2 解除方法を選ぶ
◆ [1件解除]
◆ [選択解除]▶ファイルを選ぶ▶[カメラ]
◆ [全件解除]

3 [はい]

iモードメール保存

iモードメールを保存しておき、あとで送信する

作成したiモードメールを保存しておき、あとで送信することができます。

iモードメールを保存する<保存>

1 メール作成画面で[MENU]▶[保存]

2 [はい]
- 待受タッチランチャに貼り付けない場合：[いいえ]
- 未送信BOXに保存されます。

指定した日時にメールを自動送信する<送信日時予約>

指定した日時にメールを自動送信することができます。
- 10件まで送信日時予約を設定できます。設定したメールは[未送信トレイ]に保存されます。
- 送信日時予約を設定するとディスプレイ上部に[✉]が表示されます。
- 圏内で自動送信に失敗したメールは未送信BOXに保存され、ディスプレイ上部に[✉]が表示されます。自動送信に失敗したメールを再度編集するか、送信日時予約を解除すると、非表示になります。
- 圏外で自動送信に失敗したメールは未送信BOXに保存され、自動的に圏内自動送信が設定されます（☞P.151）。
- 2in1利用時は、モードにかかわらず送信日時予約を設定したメールは自動送信されます。ただし、送信結果は次のとおり表示されます。
  ■ [Aモード]のとき：Aアドレスのメールの結果
  ■ [Bモード]のとき：Bアドレスのメールの結果
  ■ [デュアルモード]のとき：すべてのメールの結果

1 メール作成画面で[MENU]▶[送信日時予約]

2 各項目を設定▶[カメラ]

- 設定可能な時刻は、現在時刻の３分先以降となります。

送信日時予約の確認／解除

- 未送信メール一覧画面でメールにカーソルを合わせる▶[カメラ]／[i]

電波の届くところになったらメールを自動送信する <圏内自動送信>

圏外のためにメールが送信できなかった場合、圏内になったときにメールを自動送信することができます。

- 30件まで圏内自動送信を設定できます。設定したメールは[未送信トレイ]に保存されます。
- 圏内自動送信を設定するとディスプレイ上部に[✉]が表示されます。
- 自動送信に失敗したメールは未送信BOXに保存され、ディスプレイ上部に[✉]が表示されます。自動送信に失敗したメールを再度編集するか、圏内自動送信を解除すると、非表示になります。
- 2in1利用時は、モードにかかわらず圏内自動送信したメールは自動送信されます。ただし、送信結果は次のとおり表示されます。
  - [Aモード]のとき：Aアドレスのメールの結果
  - [Bモード]のとき：Bアドレスのメールの結果
  - [デュアルモード]のとき：すべてのメールの結果

1 メール作成画面で[MENU]▶[圏内自動送信]

圏内自動送信の解除

- 未送信メール一覧画面でメールにカーソルを合わせる▶[i]

保存したｉモードメールを編集・送信する

1 未送信メール一覧画面でメールを選ぶ▶メールを編集▶[カメラ]

メールの冒頭文を手早く入力する

メール本文入力開始時に、定型文や学習した文章などを表示し、簡単に入力することができます。

- あらかじめ、日・英語入力予測を[ON]に設定しておいてください(☞P.442)。

1 本文入力画面で入力文を選ぶ

- 学習した文章の削除：学習した文章にカーソルを合わせる▶[MENU]▶[削除]
- 定型文を確認：定型文にカーソルを合わせる▶[カメラ]
- 一覧の上部には、最近使用された定型文や学習した文章が３件まで表示されます。右端には[●]が表示されます。

表示する文章を設定する<メール起動時表示>

メール本文入力開始時に表示する文章を設定します。

1 本文入力画面で[MENU]▶[入力設定]▶[メール起動時表示]

2 設定を選ぶ

- 設定できる文章の種類は次のとおりです。
  - 文頭予測：文頭に入力すると思われる候補を表示します。
  - クイック定型文※：登録されている定型文と、メール本文入力時に文頭に入力した一文を学習し、表示します。
  - 登録定型文※：登録されている定型文を表示します。

※ 定型文種別が[装飾線]、[アドレス・データ形式]のものは表示されません。

- デコメ絵文字®やデコレーションは学習の対象外です。

メール自動受信

ｉモードメールを受信したときは

メールを受信すると、マークやテロップを表示してお知らせします。

- メールを受信すると次のマークが表示されます。

マークの意味

[✉]※：未読ｉモードメールあり
[✉]※：未読ｉモードメールとSMSあり
[FULL]※：FOMA端末内の受信ｉモードメールやSMSがいっぱい
[FULL]※：FOMA端末内の受信ｉモードメールやSMSおよびドコモUIMカード内のSMSがいっぱい
[✉]※：未読SMSあり
[FULL]※：ドコモUIMカード内のSMSがいっぱい
[✉]※：未読エリアメールあり
[▦]：ｉモードセンターにメールあり
[▦]：ｉモードセンターのメールがいっぱい
[▦]：ｉモードセンターにメール、メッセージR、メッセージFのうち２種類以上あり
[▦]：ｉモードセンターにメール、メッセージR、メッセージFのうち２種類以上あり、ｉモードセンターがいっぱいになっているものがある

※ メッセージR／Fを受信したときなどは、[R]／[F]が小さいマークで表示されます（☞P.171）。

・ｉモードセンターにメールが保管されていても、[▦]、[▦]、[▦]、[▦]が表示されないときがあります。
・メール選択受信設定を［ON］に設定しているときは、[▦]、[▦]、[▦]、[▦]は表示されません。

- メールを受信するとメールテロップが表示されます。
  ・受信BOXの表示：メールテロップ表示中に[✉]（１秒以上）またはメールテロップをタッチ

- ｉモードメール１件につき、添付ファイルも含めて100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます（☞P.154）。
- FOMA端末に保存した受信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、受信メールのうち古いメールから順に削除されます。
サイズの大きい添付ファイルを取得すると、複数の受信メールが削除されます。

- FOMA端末が次のようなときに送られてきたｉモードメールやメッセージR／Fは、ｉモードセンターに保管されます。
  - ■ 電源が入っていないとき ■ セルフモード中 ■ 圏外
  - ■ テレビ電話中 ■ おまかせロック中 ■ 赤外線通信中
  - ■ FirstPassセンター接続中
  - ■ 保護や未読のｉモードメールがいっぱいで空き容量がないとき
  - ■ ｉＣ通信中 ■ Bluetooth通信中

新着ｉモードメールを表示する

1 ｉモードメールを自動的に受信（[✉]点滅）

- 受信の中止：⦿
  ・タイミングにより受信されることがあります。

2 受信終了後、受信完了画面が表示され、ｉモードメール着信音が鳴る（[✉]表示）

- 受信完了画面で、何も操作しないでそのままにしておくと、約15秒後、自動的に受信前の画面に戻ります。また、メール着信音の鳴動時間を15秒より長く設定している場合は、設定した時間を経過すると自動的に受信前の画面に戻ります。
- 待受画面に戻るとストックアイコン[✉]（新着メールあり）が表示されます。

サブディスプレイで確認する

- FOMA端末を閉じているときにｉモードメールを受信すると、受信完了画面に、最後に受信したメールの差出人と題名が表示されます。
- 一定時間が経過すると、ｉモードメール、SMS、エリアメールの合計の件数が表示されます。
- 電話／メール着信時設定のメール本文表示を［ON］に設定している場合、待受画面で件数が表示されているときにⒹを押すと、最新のメール本文がサブディスプレイにスクロール表示されます。もう一度Ⓓを押すと、スクロールが停止します。
  ・停止した状態でⒹを押すと再度スクロールを開始します。Ⓓを１秒以上押すと件数の表示に戻ります。
- デコメール®の一部は正しく表示されません。

着信音を止める

- 受信BOX一覧画面を表示：⦿
- 受信前の画面を表示：CLR、[終話]

- 受信完了画面を表示：✖
- モーションサイレント（☞P.105）

3 ［メール］▶メールを選ぶ

- To、Cc、Bccを設定できるFOMA端末やパソコンなどから送信されたｉモードメールは、自分がTo、Cc、Bccのどれに当てはまるかを、FOMA端末で確認できます。
- 次の場合は、メールを受信してもメール受信画面と受信完了画面は表示されません。また、メール着信音は鳴らず、メール着信イルミネーションやメール着信バイブレータも動作しません。
  - ■ 通話中
  - ■ ｉアプリ起動中
  - ■ カメラ起動中（コラムリーダー、バーコードリーダーを除く）
  - ■ GPS測位中
  - ■ パターンデータ更新中
  - ■ エリアメール自動表示中
  - ■ microSDカード参照中
  - ■ ｉモーション取得中（ストリーミングタイプ）
  - ■ ｉウィジェット起動中
  - ■ プレゼンアシスト中
  - ■ HDMI出力中
  - ■ 音声入力中

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめメール選択受信設定を［ON］に設定します。なお、［ON］に設定したときは、自動的にｉモードメールを受信できません。

- ｉモードセンターにｉモードメールが届くと、［センターに✉あり］が表示されます。
- メール選択受信設定については☞P.169

1 待受画面で✉▶［メール選択受信］

2 メールごとに項目を選ぶ

添付ファイルのマーク

📷 ：画像
■ ：トルカ
♪ ：メロディ
🗎 ：その他のファイル
🎥 ：ｉモーション

- メールをすべて削除：ページの最下部の［削除］▶［決定］

3 ［受信／削除］▶［決定］

- メールを選び直す：［キャンセル］

- メモリが不足しているときに、残容量より大きい添付ファイルを取得すると、保護されていない既読の受信メールが削除されることがあります。

■ ｉモードから選択受信する<メール選択受信>

1 ノーマルメニューで［ｉモード／web］▶［ｉMenu🔍検索］▶［メニューリスト］▶［メール選択受信］

メール／メッセージ問合せ

ｉモードメールがあるかを問い合わせる

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたｉモードメールやメッセージR／FはｉモードセンターにＨ保管されています。ｉモードセンターに問い合わせて受信できます。

1 待受画面で✉▶［メール／メッセージ問合せ］

- ✉（1秒以上）でも問い合わせできます。
- 問い合わせは［✉］、［R］、［F］の順に点滅して受信します。

メール

iモードメール返信

iモードメールに返信する

iモードメールの返信方法には、受信メールの本文を引用して返信する方法と、本文を引用しないで返信する方法があります。

● 参照メール(☞P.143)を表示しながら返信することもできます。

1 受信メール詳細画面でMENU▶[返信/転送]

- 送信元のメールアドレスが50文字を超えているときは返信できません。返信できないiモードメールには受信メール詳細画面で[✉]が表示されます。

2 返信方法を選ぶ

◆ [返信]
◆ [参照返信]
◆ [クイック返信]▶本文を選ぶ
◆ [デコメアニメ返信]
◆ [参照デコメアニメ返信]
◆ [引用返信]
・デコメアニメ®は、引用返信できません。

- 同報が設定されているメールに返信する場合は、宛先を選択できます。

3 メールを作成・送信

- 受信メールの題名の先頭に[Re:]が付いた題名が入力されています。
- 引用返信には、本文の先頭に引用文字が挿入され、受信メールの内容が引用されます。引用文字は変更できます(☞P.170)。

iモードメール転送

iモードメールを他の宛先に転送する

1 受信メール詳細画面でMENU▶[返信/転送]▶[転送]

2 宛先を入力・送信

- 受信メールの題名の先頭に[Fw:]が付いた題名が入力されています。
- デコメアニメ®を転送するときは編集できません。また、本文を転送できない旨の確認画面が表示されることがあります。

● 取得が完了した添付ファイルのみ転送されます。取得していない選択受信添付ファイルは転送されません。
● 識別できなかったファイルも転送できます。

メールに表示されたメールアドレスや電話番号を利用する

受信メールや送信メールの送信元や宛先、またはメール本文に書かれたメールアドレスや電話番号を選択して、メールの作成や電話発信、電話帳の登録などを行うことができます。

● メールによっては利用できない場合があります。

1 メール詳細画面でメールアドレスや電話番号を選ぶ

2 利用方法を選ぶ

◆ [メール/SMS作成]▶メールを作成・送信
◆ [電話発信]▶電話をかける
◆ [電話帳登録]▶電話帳に登録
◆ [コピー]

選択受信添付ファイルを取得する

受信したiモードメールのサイズが添付ファイルを含めて100Kバイトを超えるときは、一部またはすべての添付ファイルは自動的に取得されず、選択受信添付ファイルとして受信します。この場合は、iモードセンターからファイルを取得する必要があります。

1 受信メール詳細画面で添付ファイル名を選ぶ

● 未取得の選択受信添付ファイルがあるときは、最下部に保存期限が表示されます。すべてのファイルを取得すると、保存期限の表示が消えます。

添付ファイルを確認・保存・削除する

受信した添付ファイルを確認、保存、削除します。

- 添付ファイルの種類
  - ■ 静止画 ■ PDFデータ ■ iモーション
  - ■ メロディ ■ 電話帳 ■ スケジュール
  - ■ Bookmark ■ トルカ ■ ドキュメントファイル
- 添付ファイルはそれぞれのカテゴリの選択した保存先に保存されます。
- 識別できないファイルは、microSDカードの[その他]フォルダに保存されます。
- 添付ファイルによっては、正しく再生・表示できないことがあります。

1 添付ファイルにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [登録/保存] ▶ [添付ファイル]

2 利用方法を選ぶ

◆ **[保存] ▶ [はい]**

・ファイルによってフォルダを選んだり、[本体]/[microSD]の選択画面が表示されます。

◆ **[メールから削除] ▶ [はい]**

◆ **[添付ファイル一覧]**

・添付ファイルの確認:添付ファイルを選ぶ

・添付ファイルの削除:添付ファイルにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [はい]

・添付ファイルの保存:添付ファイルにカーソルを合わせる ▶ 📷 ▶ [はい]

・100Kバイトを超えるメロディや500Kバイトを超えるFlash画像は再生できません。

・Flash画像に含まれているFlash®Videoは再生できません。Flash画像だけが見えている状態になります。

[保存]について

- iモーションをパソコンなどで再生するときは、対応のソフトが必要です。詳しくは、ドコモのホームページを参照してください。
- その他のファイルをmicroSDカードに保存したとき、ファイル名は「OTHER001」~「OTHER999」に変更されます。

受信BOX/送信BOX/未送信BOX

受信/送信/未送信BOXのメールを表示する

- それぞれのBOXにはiモードメールとSMSを合わせて、次の件数まで保存できます。ただし、メールサイズによっては、件数は異なります。

受信メール	最大2500件
送信メール	最大500件
未送信メール(自動保存されたメールも含む)	最大500件

・2in1利用時は、AアドレスとBアドレスの合計の件数となります。

- お買い上げ時は、Welcomeメール「Welcome E★エブリスタ」、「SH-01Cデビュー!!」が受信BOXに保存されています。通信料はかかっていません。また、Welcomeメールには返信できません。

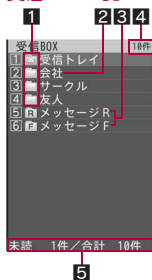
1 待受画面で✉

2 BOXを選ぶ

- BOX内のメールをすべて表示する:📷
- 受信/送信/未送信トレイのメール一覧を表示する:✉
- 受信/送信BOXを表示する:i

3 メールを選ぶ

- 受信/送信メールの場合、デコメアニメ®のときは再生画面が表示されFlash画像が再生されます。
- 受信/送信メール詳細画面で添付ファイルを選ぶと、添付ファイルを確認できます。

■ BOX一覧画面の見かた

受信BOX一覧　送信BOX一覧　未送信BOX一覧

1 フォルダマーク
未読メールがあるとき、または未送信BOXにメール編集中断時に自動保存されたメールがあるときは、ピンク色で表示されます。
：ユーザフォルダ
：フォルダシークレットが設定されているフォルダ
：メール連動型ｉアプリのフォルダ

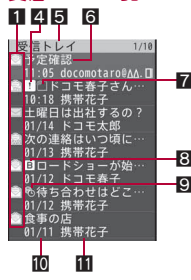
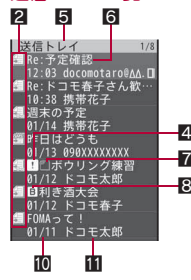
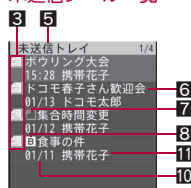
2 フォルダ名

3 メッセージR／F用フォルダ
未読メッセージがあるときは、ピンク色で表示されます。
：メッセージRが保存されるフォルダ
：メッセージFが保存されるフォルダ

4 総保存件数※
BOX内のメールの総件数が表示されます。

5 フォルダ内保存件数※
選んだフォルダ内の保存件数が表示されます。受信BOXでは、未読メールの件数も表示されます。

※ 2in1の各モードごとの件数になります。

■ メール一覧画面の見かた

受信メール一覧　送信メール一覧　未送信メール一覧

● ［プレビュー表示OFF］の画面です。

1 受信メールの種類
［受信トレイ］の場合は、FOMA端末とドコモUIMカードのｉモードメールとSMSが混在表示されます。
：未読ｉモードメール
：未読ｉモードメール（保護有）
：既読ｉモードメール
：既読ｉモードメール（保護有）
：未読SMS
：未読SMS（保護有）
：既読SMS
：既読SMS（保護有）
：メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール
：メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール（保護有）

:メール連動型iアプリでの既読iモードメール
:メール連動型iアプリでの既読iモードメール(保護有)
:返信済みiモードメール
:返信済みiモードメール(保護有)
:転送済みiモードメール
:転送済みiモードメール(保護有)
:迷惑メール報告を行ったiモードメール
:迷惑メール報告を行ったiモードメール(保護有)
:ドコモUIMカード未読SMS
:ドコモUIMカード既読SMS
:未読エリアメール
:既読エリアメール
:メール連動型iアプリでの未読エリアメール
:メール連動型iアプリでの既読エリアメール
:転送済みエリアメール
:転送済みメール連動型iアプリでのエリアメール

2 送信メールの種類

[送信トレイ]の場合は、FOMA端末とドコモUIMカードのiモードメールとSMSが混在表示されます。

:送信済みiモードメール
:送信済みiモードメール(保護有)
:送信済みSMS
:送信済みSMS(保護有)
:メール連動型iアプリでの送信済みiモードメール
:メール連動型iアプリでの送信済みiモードメール(保護有)
:ドコモUIMカード送信済みSMS

3 未送信メールの種類

:未送信iモードメール
:未送信iモードメール(保護有)
:未送信SMS
:未送信SMS(保護有)
:自動送信されているiモードメール
:自動送信されているiモードメール(保護有)
:自動送信に失敗したiモードメール
:自動送信に失敗したiモードメール(保護有)

4 フラグ

フラグが設定されているときに表示されます。

5 フォルダ名

6 題名

先頭から全角10文字(半角21文字)まで表示されます。全角10文字(半角21文字)を超えると、全角9文字(半角19文字)まで表示され、以降は「…」の表示となります。題名のないメールは[無題]と表示されます。

7 添付種別マーク

:JPEG画像/GIF画像/GIFアニメーション/Flash画像
:動画/iモーション
:メロディ
:PDFデータ
:トルカ・トルカ(詳細)
:電話帳
:Bookmark
:スケジュール
:未取得のスケジュール
:Wordファイル/Excelファイル/PowerPointファイル/Textファイル/BMPファイル/PNGファイル
:iアプリToの情報
:表示できないデータ
:添付ファイル複数あり

8 2in1のモード種別

[デュアルモード]のときに表示されます。

:Bアドレスで送受信したメール/Bアドレスで作成した未送信メール/Bナンバーで受信したSMS

9 時差補正

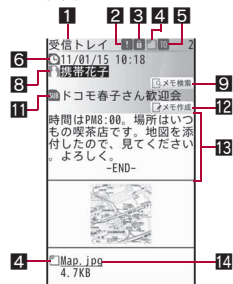
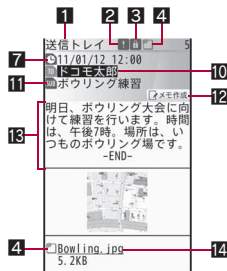
:海外などで日時が時差補正されているiモードメール/SMS

10 受信日時(受信メール)/送信日時(送信メール)/保存日時(未送信メール)

当日は時間、当日以外は日付が表示されます。

11 送信元/宛先(送信先)

■ 詳細画面の見かた

受信メール詳細

送信メール詳細

1 フォルダ名

2 フラグ
フラグが設定されているときに表示されます。

3 保護／迷惑メール報告マーク
保護されているときや、迷惑メール報告を行ったときに表示されます。
- ：保護されている場合
- ：迷惑メール報告を行った場合
- ：迷惑メール報告を行った場合（保護有）

4 添付種別マーク
- ：JPEG画像／GIF画像／GIFアニメーション／Flash画像
- ：動画／ｉモーション
- ：メロディ
- ：PDFデータ
- ：トルカ・トルカ（詳細）
- ：電話帳
- ：Bookmark
- ：スケジュール
- ：未取得のスケジュール※1
- ：Wordファイル／Excelファイル／PowerPointファイル／Textファイル／BMPファイル／PNGファイル
- ：ｉアプリToの情報※1
- ：表示できないデータ
- ：添付ファイル複数あり※1
- ：未取得の選択受信添付ファイル※2
- ：取得途中の選択受信添付ファイル※2
- ：取得不可の選択受信添付ファイル※2
- ：貼り付けデータ不正／削除済みの添付ファイル※2
- ：ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されているファイル※2

5 受信種別※3
受信種別（To／Cc／Bcc）が表示されます。

6 受信日時※3
ｉモードセンターまたはSMSセンターで受信した日時が表示されます。

7 送信日時※3

8 送信元※3
送信種別（To／Cc）は同報が設定されていると表示されます。
- ：Toに指定されていたアドレスが返信不可の場合（50文字を超える場合など）
- ：Ccに指定されていたアドレスが返信不可の場合（50文字を超える場合など）

9 メモ検索※4
送信元のメールアドレスに関連するメモを検索します。
- ｉコンシェル未契約のときは利用できません。

10 宛先（送信先）※3
メールの宛先（送信先）と送信種別（To／Cc／Bcc）が表示されます。

11 題名※3

12 メモ作成※4
表示中のメールをもとに、メモを作成します。

13 本文
文末には[- END -]が表示されます。受信可能文字数を超えたときは、[/]または[//]が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。

14 添付ファイル名

※1　画面上部にのみ表示されます。
※2　添付ファイル名の左側にのみ表示されます。
※3　2in1のBアドレスで送受信したメール／Bナンバーで受信したSMSのときは、受信種別やアイコンの色が紫色で表示されます。
※4　SMSには表示されません。

● 詳細画面のデザインは、カラーテーマ設定に連動して変更されます。

■ 各メール画面のボタン操作

メール一覧画面

操作	ボタン	操作	ボタン
返信※1	[カメラ]	編集※2	[カメラ]
既読／未読の変更※1	[メール]	参照返信※1	[i]
受信BOX表示※2	[i]	文字を小さくする※3	1
保護設定／解除	2	文字を大きくする※3	3
フラグON／OFF	5	画面を上にスクロール※3	7
画面を下にスクロール※3	9		

※1 受信メールのみ操作できます。
※2 送信メールのみ操作できます。
※3 [プレビュー表示ON]のときに操作できます。

● 1～9、0、*、#に割り当てられた機能は変更できます（☞P.171）。

メール詳細画面

操作	ボタン	操作	ボタン
返信／参照返信※1※2	[カメラ]	編集※3	[カメラ]
デコメアニメ®を再生	[決定]	画面を上下にスクロール	[上下]
前のメールを表示	[左]	次のメールを表示	[右]
文字を小さくする	1	保護設定／解除	2
文字を大きくする	3	前の未読メールを表示※1	4
フラグON／OFF	5	次の未読メールを表示※1	6
画面を上にスクロール	7	画面を下にスクロール	9

※1 受信メールのみ操作できます。
※2 返信ガイド設定の設定によって操作できるメニューが切り替わります。
※3 送信メールのみ操作できます。

● 1～9、0、*、#に割り当てられた機能は変更できます（☞P.171）。

デコメアニメ®再生画面

操作	ボタン	操作	ボタン
デコメアニメ®を再生	[i]	デコメアニメ®を停止	[メール]
メール詳細画面を表示	MENU		

■ 各メール画面のタッチパネル操作

● デコメアニメ®再生画面表示中はタッチパネルで操作できません。
● タッチパネルの主な操作については☞P.46

メール一覧画面

● プレビュー表示部分で次のタッチ操作ができます。

操作	タッチ操作
画面を上下にスクロール	上下にスライド
文字サイズを大きくする／小さくする	2本の指の間隔を広げる／狭める

メール詳細画面

● コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
[返信]	返信／参照返信※1※2	[編集]	編集※3
[>]	次のメールを表示	[<]	前のメールを表示

※1 受信メールのみ表示されます。
※2 返信ガイド設定の設定によって操作できるメニューが切り替わります。
※3 送信メールのみ表示されます。
・横表示のとき画面をタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

● 次のタッチ操作ができます。

操作	タッチ操作
画面を上下にスクロール	上下にスライド※
次／前のメールを表示	左右にすばやくスライド
文字サイズを大きくする／小さくする	2本の指の間隔を広げる／狭める

※ [▲]／[▼]をタッチしても画面をスクロールできます。

● 反転表示された情報（☞P.193）や添付ファイルをタッチして選択できます。

● 効果音を含むデコメアニメ®は、再生画面では効果音が再生されますが、メール詳細画面では再生されません。
● デコメアニメ®では、iアプリTo、Media To機能や位置情報の利用はできません。

- ｉモードの端末情報利用設定を[利用しない]に設定しているときは、デコメアニメ®再生画面とデコメアニメ®作成画面、メール詳細画面で表示が異なる場合があります。
- Flash画像に含まれているFlash®Videoは再生できません。Flash画像だけが見えている状態になります。

■ BOX一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
- ▶[フォルダ新規作成] ☞P.163
- ▶[フォルダ名編集]▶フォルダ名を編集▶📷
  - ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。
- ▶[フォルダ移動(↑)]
  - フォルダの表示順を上に移動します。
- ▶[フォルダ移動(↓)]
  - フォルダの表示順を下に移動します。
- ▶[フォルダシークレットON]/[フォルダシークレットOFF] ☞P.163

[メール検索] ☞P.165

[削除] ☞P.164

[振分け条件設定] ☞P.167

[メール再振分け] ☞P.164

[ｉモードメール閲覧]
- メール連動型ｉアプリを起動せずにフォルダ内のｉモードメールを表示します。

[データ送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.385
- ▶[ｉC送信] ☞P.387
- ▶[Bluetooth送信] ☞P.439

[microSDへ全件コピー] ☞P.371

[フォルダ移動(↑)]、[フォルダ移動(↓)]について
- [受信トレイ]や[送信トレイ]、[未送信トレイ]は移動できません。
- フォルダシークレットを設定している場合、非表示のフォルダがあるときは移動できません。

■ 受信メール一覧画面のサブメニュー操作

[返信/転送]
- ▶[返信] ☞P.154
- ▶[参照返信] ☞P.154
- ▶[クイック返信] ☞P.154
- ▶[デコメアニメ返信] ☞P.154
- ▶[参照デコメアニメ返信] ☞P.154
- ▶[引用返信] ☞P.154
- ▶[転送] ☞P.154

[保護/フラグ]
- ▶[保護設定] ☞P.164
- ▶[保護解除] ☞P.164
- ▶[フラグON] ☞P.165
- ▶[フラグOFF] ☞P.165

[メール検索] ☞P.165

[削除] ☞P.165

[移動/コピー]
- ▶[移動] ☞P.164
- ▶[microSDへコピー] ☞P.371
- ▶[ドコモUIMカード(FOMAカード)へコピー] ☞P.176
- ▶[お預かりセンターに保存] ☞P.134

[データ送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.385
- ▶[ｉC送信] ☞P.387
- ▶[Bluetooth送信] ☞P.439

[登録]

▶[電話帳登録]▶電話帳に登録

▶[振分け条件登録] ☞P.168

▶[スケジュール作成]▶スケジュールを作成

▶[ショートカット設定] ☞P.171

[差出人へ電話発信]▶電話をかける

[受信／拒否設定]

▶[受信／拒否設定]▶[はい]

▶[迷惑メール報告]▶メールを作成・送信

- 簡単な操作で、受信したメールから法令に違反して送信された広告宣伝を目的とした迷惑メールや迷惑SMSをドコモに転送したりすることができます。

[表示設定]

▶[プレビュー表示OFF]／[プレビュー表示ON]

- メール一覧画面の本文表示について設定します。

▶[一覧表示]▶表示方法を選ぶ

- 一覧画面の表示方法を選ぶことができます。

▶[ソート]▶ソート方法を選ぶ

▶[チャット表示]

- 特定の相手と送受信したメールを、受信BOXと送信BOXから検索してチャットのように一覧で表示します。

▶[アドレス確認]

- 受信メールの差出人のアドレスを表示します。

[電話帳登録]について

- 受信メールや送信メールの送信元や宛先、またはメール本文に書かれたメールアドレスや電話番号を選んで、電話帳に登録できます。

[差出人へ電話発信]について

- 電話帳に電話番号を登録している送信元またはSMSの送信元に電話をかけることができます。

[受信／拒否設定]について

- 迷惑メール対策として、次のメールアドレス／電話番号を指定し、メールの受信／拒否を登録できます。
  - ■ 送信元　■ 同報送信されたメールアドレス
  - ■ メール本文中のメールアドレス／電話番号
- 迷惑メール／SMSの情報をドコモに転送いただく際、お客様による受信時には削除されている対象迷惑メール／SMSの送信経路情報などを、システムまたはFOMA端末により、自動的に付加させていただいた上で情報提供いただく場合があります。
- 迷惑メール対策の詳細については、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

[迷惑メール報告]について

- ドコモでは法令に違反した迷惑メール／SMSの送信者への措置などの対策を講じるため、お客様からの情報提供をお願いしております。
- 迷惑メール報告で作成したメールは、同報の宛先以外は編集できません。

[プレビュー表示OFF]、[プレビュー表示ON]について

- マルチウインドウのときは、プレビュー表示できません。

■ 送信メール一覧画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、受信メール一覧画面のサブメニュー操作(☞P.160)を参照してください。
  - ■ 保護／フラグ　■ メール検索　■ 削除
  - ■ 移動／コピー　■ データ送信　■ 登録
  - ■ 表示設定(プレビュー表示OFF、プレビュー表示ON、一覧表示、ソート、チャット表示)

[宛先へ電話発信]▶電話をかける

[受信／拒否設定]▶[はい]

[宛先へ電話発信]について

- 電話帳に電話番号を登録している宛先またはSMSの宛先に電話をかけることができます。

■ 未送信メール一覧画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、受信メール一覧画面のサブメニュー操作（☞P.160）を参照してください。
  - ■ メール検索　■ 削除
  - ■ 移動／コピー（移動、microSDへコピー、お預かりセンターに保存）
  - ■ データ送信　■ 登録（電話帳登録、ショートカット設定）
  - ■ 表示設定（プレビュー表示OFF、プレビュー表示ON、一覧表示、ソート）

[保護]
- ▶[保護]　☞P.164
- ▶[解除]　☞P.164

[宛先へ電話発信]▶電話をかける
- [宛先へ電話発信]について☞P.161

[送信予約]
- ▶[自動送信エラー表示]
  - 自動送信のエラー情報を確認します。
- ▶[送信予約解除]▶解除方法を選ぶ
  - 選択している予約メールのみ解除：[i]
- ▶[送信日時予約確認]▶[確認]
- ▶[送信日時予約解除]▶[はい]

[送信予約解除]について
- 次の操作を行ったときも解除されます。
  - ■ 未送信BOXから送信予約メールを選んで編集したとき
  - ■ ｉモード／web設定の共通設定の接続先設定を変更したとき
  - ■ ドコモUIMカードを差し替えたとき

■ 受信メール詳細画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、受信メール一覧画面のサブメニュー操作（☞P.160）を参照してください。
  - ■ 返信／転送　■ データ送信　■ 差出人へ電話発信
  - ■ 受信／拒否設定　■ 表示設定（チャット表示）

[保護／フラグ]
- ▶[保護ON]／[保護OFF]
  - 保護の詳細については☞P.164
- ▶[フラグON]／[フラグOFF]
  - フラグの詳細については☞P.165

[クイック検索]　☞P.423

[移動／コピー／削除]
- ▶[1件移動]　☞P.164
- ▶[コピー]　☞P.164
- ▶[microSDへ1件コピー]　☞P.371
- ▶[ドコモUIMカード（FOMAカード）へコピー]　☞P.176
- ▶[お預かりセンターに保存]　☞P.134
- ▶[1件削除]　☞P.165

[登録／保存]
- ▶[添付ファイル]　☞P.155
- ▶[本文中画像確認]▶データを選ぶ
  - デコメール®に挿入されている画像を確認／保存します。
  - 画像の保存：データにカーソルを合わせる▶[📷]▶[はい]▶フォルダにカーソルを合わせる▶[📷]
- ▶[電話帳登録]▶電話帳に登録
  - [電話帳登録]について☞P.161
- ▶[テンプレート保存]▶[はい]
  - デコメール®をテンプレートとして保存します。
  - [テンプレート保存]について☞P.141
- ▶[デコメ絵文字一括保存]▶[はい]
- ▶[スケジュール作成]▶スケジュールを登録
- ▶[振分け条件登録]　☞P.168
- ▶[ショートカット設定]　☞P.171

[メモ作成／検索]
- ▶[メモ作成]　☞P.427
- ▶[メモ検索]

[表示設定]

▶[文字サイズ設定]▶文字サイズを選ぶ

[本文中画像確認]について
- デコメ絵文字®は、データBOXのマイピクチャの[デコメ絵文字]フォルダに保存されます。

[デコメ絵文字一括保存]について
- デコメ絵文字®は、データBOXのマイピクチャの[デコメ絵文字]フォルダに保存されます。
- 同一画像を一括保存したときは1種類の画像として保存されます。

[スケジュール作成]について
- 表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されます。
  - 日時:受信/送信日時
  - 詳細:メールの題名と本文(全角300文字(半角600文字)まで)
  - 連絡先:差出人/宛先が登録されている電話帳の1つ目のメールアドレス

■ 送信メール詳細画面のサブメニュー操作
- 次の機能については、受信メール一覧画面のサブメニュー操作(☞P.160)を参照してください。
  - ■ データ送信　■ 受信/拒否設定　■ 表示設定(チャット表示)
- 次の機能については、受信メール詳細画面のサブメニュー操作(☞P.162)を参照してください。
  - ■ 保護/フラグ　■ 移動/コピー/削除
  - ■ 登録/保存　■ メモ作成/検索　■ 表示設定(文字サイズ設定)

[編集]▶メールを編集▶📷

[宛先へ電話発信]▶電話をかける
- [宛先へ電話発信]について☞P.161

メールを管理する

受信/送信/未送信BOX内のフォルダ、メールを管理するために、フォルダの作成/削除やメールの移動/コピーなどができます。

■ ユーザフォルダを作成する<フォルダ新規作成>
受信/送信/未送信BOX一覧画面にユーザフォルダを新規作成することができます。ユーザフォルダは、それぞれ最大20個作成することができます。
- 受信/送信BOXにフォルダを新規作成するときは、振分け条件を設定できます。

1 **BOX一覧画面でMENU▶[フォルダ管理]▶[フォルダ新規作成]**

2 **フォルダ名を入力▶📷**
- 全角9文字(半角18文字)まで入力できます。
- 未送信BOXのときは、操作完了となります。

3 **[はい]▶振分け条件を設定**
- 振分け条件の設定については☞P.167
- 振分け条件を設定しないとき:[いいえ]

■ ユーザフォルダを非表示にする <フォルダシークレットON/フォルダシークレットOFF>
- フォルダシークレットを設定すると、フォルダは表示されなくなります。BOX一覧画面で#を1秒以上押し、端末暗証番号を入力すると、フォルダシークレットを一時解除できます。

1 **ユーザフォルダにカーソルを合わせる▶MENU▶[フォルダ管理]▶[フォルダシークレットON]/[フォルダシークレットOFF]**

2 **端末暗証番号を入力**

- フォルダシークレットを一時解除しているときにBOX一覧画面で#を1秒以上押すかFOMA端末を閉じると、フォルダシークレットを設定したフォルダ(シークレットフォルダ)は表示されなくなります。

■ ユーザフォルダを削除する＜削除＞

1 ユーザフォルダにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ ［削除］

2 削除方法を選ぶ

- ◆ ［フォルダ１件削除］
- ◆ ［フォルダ選択削除］▶ フォルダを選ぶ ▶ 📷
- ◆ ［全フォルダ内既読削除］※
- ◆ ［全フォルダ内未読削除］※
- ◆ ［全フォルダ内全件削除］
- ◆ ［全フォルダ削除］

※ 受信BOXのみ表示されます。

- ドコモUIMカード内のSMSは削除されません。
- 保護されているメールや保護されているメールがあるフォルダは削除できません。
- メール連動型ｉアプリを残したままで、対応するメール連動型ｉアプリ用フォルダは削除できません。メール連動型ｉアプリがないときはフォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOXに作成されたフォルダがまとめて削除されます。
- 全フォルダ内既読削除、全フォルダ内未読削除、全フォルダ内全件削除、全フォルダ削除を行った場合、表示されていないフォルダシークレットを設定したフォルダも削除されます。
- 全フォルダ内既読削除、全フォルダ内未読削除、全フォルダ内全件削除、全フォルダ削除を行っても、メッセージR／Fは削除されません。

3 端末暗証番号を入力 ▶ ［はい］

■ メールを別のフォルダに移動する＜移動＞

1 メールにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ ［移動／コピー］▶ ［移動］

2 移動方法を選ぶ

- ◆ ［１件移動］
- ◆ ［選択移動］▶ メールを選ぶ ▶ 📷
  - ・選択できるのは50件までです。
- ◆ ［フォルダ内全件移動］
  - ・2in1のモードにかかわらず、AアドレスとBアドレスのすべてのメールが移動されます。

3 フォルダを選ぶ

■ メールの本文などをコピーして利用する＜コピー＞

文字をコピーしたり、コピーした文字をもとにGPS対応ｉアプリを起動したりできます。

1 メール詳細画面で MENU ▶ ［移動／コピー／削除］▶ ［コピー］

2 利用方法を選ぶ

- アドレスをコピーすると、操作が終了します。

3 始点を選ぶ

4 終点を選ぶ

- 文頭／文末にカーソルを合わせる：MENU／📷

■ メールを再振分けする＜メール再振分け＞

FOMA端末に保存されているｉモードメールやSMSを、振分け条件設定に従って再振分けします。

- 振分け条件に一致しないメールは、［受信トレイ］／［送信トレイ］に保存されます。

1 受信／送信BOX一覧画面で MENU ▶ ［メール再振分け］

2 端末暗証番号を入力 ▶ ［はい］

■ メールを保護する＜保護設定／保護解除＞

1 メールにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ ［保護／フラグ］▶ ［保護設定］／［保護解除］

2 保護／解除方法を選ぶ

- ◆ ［１件保護］／［１件解除］
- ◆ ［選択保護］／［選択解除］▶ メールを選ぶ ▶ 📷
  - ・選択できるのは50件までです。
- ◆ ［フォルダ内全件保護］／［フォルダ内全件解除］
  - ・2in1のモードにかかわらず、AアドレスとBアドレスのすべてのメールが保護／解除されます。
- エリアメールは保護できません。
- ドコモUIMカード内のSMSは保護できません。保護されているSMSをドコモUIMカードにコピーすると、保護は解除されます。

■ メールにフラグを設定する<フラグON／フラグOFF>

メールにフラグを設定することで、目印として使用したり、メール検索で利用したりできます。

1 メールにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [保護／フラグ] ▶ [フラグON]／[フラグOFF]

2 設定方法を選ぶ

- ◆ **[1件設定]**
- ◆ **[選択設定] ▶ メールを選ぶ ▶ 📷**
  - ・選択できるのは50件までです。
- ◆ **[フォルダ内全件設定]**

■ メールを削除する<削除>

1 メールにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [削除]

2 削除方法を選ぶ

- ◆ **[1件削除]**
- ◆ **[選択削除] ▶ メールを選ぶ ▶ 📷**
  - ・選択できるのは50件までです。
- ◆ **[フォルダ内既読削除]※ ▶ 端末暗証番号を入力**
- ◆ **[フォルダ内未読削除]※ ▶ 端末暗証番号を入力**
- ◆ **[フォルダ内全件削除] ▶ 端末暗証番号を入力**

※ 受信メールのみ表示されます。

- 保護されているメールは削除できません。
- フォルダ内既読削除／フォルダ内未読削除／フォルダ内全件削除を行っても、ドコモUIMカード内のSMSは削除されません。
- フォルダ内既読削除／フォルダ内未読削除／フォルダ内全件削除を行った場合、2in1のモードにかかわらず、AアドレスとBアドレスのすべての該当メールが削除されます。

3 [はい]

■ メールを検索する<メール検索>

1 BOX一覧画面で MENU ▶ [メール検索]

- ヘルプの表示：MENU

2 各項目を設定 ▶ 📷

- 検索履歴の利用：i ▶ 履歴を選ぶ
- 題名／本文を複数の単語で検索する場合、単語と単語の間にスペースを入力します。

- 検索履歴は5件まで記憶されます。
- 検索履歴は題名／本文を指定して検索した場合のみ記憶されます。

メール送信履歴／メール受信履歴

メールの履歴を利用する

送受信したメールの履歴を利用して、メールを送信したり、相手のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

- 最新のものから受信／送信それぞれ30件まで記憶されます。それを超えると、古い履歴の順に削除されます。
- 2in1利用時は、AアドレスとBアドレスの受信／送信履歴がそれぞれ30件まで記憶されます。
- 同報メールの場合、アドレス1件が1つの送信履歴として表示されます。

1 待受画面で ✉ ▶ [メール送受信履歴] ▶ [メール送信履歴]／[メール受信履歴]

- リダイヤル／着信履歴一覧画面では：📷

■ 履歴一覧画面／履歴詳細画面の見かた

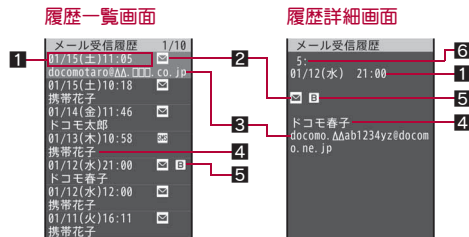
履歴一覧画面

メール受信履歴 1/10
01/15(土)11:05
docomotaro@ΔΔ.□□□.co.jp
01/15(土)10:18
携帯花子
01/14(金)11:46
ドコモ太郎
01/13(木)10:58
携帯花子
01/12(水)21:00
ドコモ春子
01/12(水)12:00
携帯花子
01/11(火)16:11
携帯花子

履歴詳細画面

メール受信履歴
5:
01/12(水) 21:00
ドコモ春子
docomo.ΔΔab1234yz@docomo.ne.jp

メール

次ページへ続く

1 受信日時（メール受信履歴）／送信日時（メール送信履歴）
：海外などで日時が時差補正されたときに表示（ｉモードメール受信時は表示されません）

2 履歴の種類
：ｉモードメール
：SMS
：返信できないメールまたは発信者番号非通知のSMS（メール受信履歴）／送信を失敗したメール（メール送信履歴）

3 相手のメールアドレスまたは電話番号

4 相手の名前
電話帳に登録されているときに表示されます。

5 2in1のモード種別
［デュアルモード］のときに表示されます。
：Bアドレスで送受信したメール／Bナンバーで受信したSMS

6 履歴番号
新しい順に番号が表示されます。

■ 履歴一覧画面のサブメニュー操作

［電話帳登録］▶電話帳に登録

［削除］
- ▶［1件削除］▶［はい］
- ▶［選択削除］▶履歴を選ぶ▶［📷］▶［はい］
- ▶［全件削除］▶端末暗証番号を入力▶［はい］

［電話発信］▶電話をかける
● 電話帳に電話番号を登録している相手に発信できます。

［削除］について
● 送受信履歴を全件削除すると、AアドレスとBアドレスのすべての送受信履歴が削除されます。

■ 履歴詳細画面のサブメニュー操作

［電話帳登録］▶電話帳に登録

［削除］▶［はい］

［メール作成］
- ▶［ｉモードメール作成］▶メールを作成・送信
- ▶［デコメアニメ作成］▶デコメアニメ®を作成・送信

［電話発信］▶電話をかける
● 電話帳に電話番号を登録している相手に発信できます。

履歴を利用してメールを送信する

1 履歴を選ぶ▶◉

2 メールを作成・送信
- SMS履歴のとき：SMSを作成・送信

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

振分け条件の設定や署名の貼り付けなどができます。

メールやメッセージR／Fの表示について設定する ＜表示設定＞

1 待受画面で✉▶［メール設定］▶［表示設定］

2 項目を選ぶ

◆ **［受信･自動送信表示］▶通知方法を選ぶ**
- 設定できる通知方法は、次のとおりです。
  - ■ 通知優先：通常のメール受信時の表示や動作を行います。
  - ■ 操作優先：受信したｉモードメール、メッセージR／F、SMSのマークのみ表示されます。

◆ **［送信中画面表示設定］▶設定を選ぶ**
- メール送信処理を待たずに他の操作を行うことができるように、メール送信中画面を表示しないように設定できます。

◆ **［メッセージ自動表示設定］▶表示方法を選ぶ**
- 自動表示を行うメッセージの種類と、優先順位を設定できます。
- 設定できる表示方法は、次のとおりです。
  - ■ メッセージR優先：メッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージRを自動表示します。
  - ■ メッセージF優先：メッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージFを自動表示します。

■ メッセージRのみ:メッセージRのみ自動表示します。
■ メッセージFのみ:メッセージFのみ自動表示します。
■ 自動表示なし:自動表示しません。

◆ [詳細直接表示設定] ▶ 設定を選ぶ
・受信完了画面で[メール]や[メッセージR]、[メッセージF]を選んで詳細画面を表示させるかどうかを設定できます。

◆ [プレビュー後既読設定] ▶ 設定を選ぶ
・受信メール一覧画面の表示設定が[プレビュー表示ON]のとき、メールを最後までスクロールして既読にするかどうかを設定できます。

◆ [メモ検索リンク表示設定] ▶ 設定を選ぶ
・受信メール詳細画面にメモ検索のリンクを表示するかどうかを設定できます。

[受信・自動送信表示]について
- インフォメーションを受信したときも、受信・自動送信表示の設定に従います。

[送信中画面表示設定]について
- [表示しない]に設定すると、メールはバックグラウンドで送信されます。バックグラウンド送信時にエラーとなった場合、送信失敗画面が表示され、送信失敗音・バイブレータが動作します。

[メッセージ自動表示設定]について
- 次の場合は、メッセージ自動表示の設定にかかわらず自動表示されません。
  ■ オールロック中　■ パーソナルデータロック中
  ■ おまかせロック中

[詳細直接表示設定]について
- 複数のメールやメッセージR/Fを受信した場合は、最後に受信したメールが表示されます。前のメールを表示することはできません。このとき、前のメールを表示するには受信BOXから操作してください。

メールを自動的にフォルダに振り分ける <振分け条件設定>

ユーザフォルダに振分け条件を設定すると、条件に合ったｉモードメールやSMSを自動的に振り分けることができます。

- 受信／送信BOXで、それぞれ25個のフォルダ(ｉアプリフォルダを含む)まで振分けができ、1つのフォルダに30件まで振分け条件を設定できます。
- ユーザフォルダの中で複数のフォルダの振分け条件に合致したときは、一番上に表示されているフォルダが最も優先順位が高く、一番下に表示されているフォルダが最も優先順位が低くなります。
- 電話帳データにシークレット属性設定を設定していても、振分け条件は有効になります。
- 送信元がｉモード端末(mova含む)のアドレスのときは、「@docomo.ne.jp」は省略できます。また、電話番号を指定するとSMSも振り分けられます。
- 通常のメールをメール連動型ｉアプリフォルダに振り分けることもできます。このとき、メール連動型ｉアプリの振分け条件が優先されます。
- ｉアプリメールは振分け条件に関係なく、対応するメール連動型ｉアプリフォルダに振り分けられます。

1 フォルダにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [振分け条件設定]

2 登録する番号を選ぶ
- 2in1利用時、2in1のモードが[デュアルモード]のときは振分け条件を適用するアドレスを設定できます。設定できる項目は次のとおりです。
  ■ Aアドレス:Aアドレスのメールに振分け条件を適用します。
  ■ Bアドレス:Bアドレスのメールに振分け条件を適用します。
  ■ 設定なし:Aアドレス／Bアドレスのメールに振分け条件を適用します。

3 振分け条件を設定
- 設定できる振分け条件は次のとおりです。
  ■ アドレス(差出人):差出人のメールアドレス別に振り分けます(受信メールのみ)。
  ■ アドレス(差出人／同報)／アドレス(送信先／同報):受信メールはFrom、To、Cc、送信メールはTo、Cc、Bcc別に振り分けます。
  ■ ドメイン(差出人):差出人のメールアドレスのドメイン別に振り分けます(受信メールのみ)。
  ・ドメインの末尾に振分け条件で設定した文字列が含まれているときに指定フォルダへ振り分けられます。

■ グループ:FOMA端末電話帳に設定されているグループ別に振り分けます。
■ 題名:題名に含まれている文字列別に振り分けます。
・ 全角15文字/半角30文字まで入力できます。
■ 電話帳登録なし:FOMA端末電話帳に登録されていない相手からのメールを振り分けます。
・ 送信メールは、電話帳未登録のアドレスが送信先/同報に1件でも存在するときに振り分けます。
■ 全ての受信(送信)メール:すべてのメールを振り分けます。
・ 振分け条件の先頭に設定されます。

4 複数の振分け条件を設定するときは、操作2~3を繰り返す

5 [カメラ]

● 2in1利用時、設定した振分け条件は、モードにかかわらず有効になります。
● 2in1利用時、Aアドレスで設定した振分け条件は、[Bモード]のときは表示されません。同様に、Bアドレスで設定した振分け条件は、[Aモード]のときは表示されません。
● 2in1利用時、振分け条件を適用するアドレスを変更する場合は、登録済みの振分け条件を選択し、[2in1アドレス設定]を選択してください。
● 2in1利用時、[Aモード]/[Bモード]のときに設定した振分け条件は[設定なし]で登録されます。

■ 振分け条件設定画面のサブメニュー操作

[1件削除]▶[はい]▶[カメラ]
[全件削除]▶[はい]▶[カメラ]

■ 受信/送信メールから振分け条件を設定する <振分け条件登録>

受信/送信したメールの題名や送信元/宛先のメールアドレスを振分け条件として設定し、メールを再振分けします。
● メールによっては振分け条件を設定できない場合があります。

1 受信/送信メール一覧画面でメールにカーソルを合わせる▶[MENU]▶[登録]▶[振分け条件登録]

2 振分け条件を選ぶ

3 設定方法を選ぶ
• ユーザフォルダを新規作成して設定:[はい]
• 振分け条件の追加:[条件追加のみ]▶ユーザフォルダを選ぶ▶登録する番号を選ぶ▶アドレス/題名を編集する
• 2in1利用時、2in1のモードが[デュアルモード]のときは振分け条件を適用するアドレスを設定できます。設定できる項目は次のとおりです。
■ Aアドレス:Aアドレスのメールに振分け条件を適用します。
■ Bアドレス:Bアドレスのメールに振分け条件を適用します。
■ 設定なし:Aアドレス/Bアドレスのメールに振分け条件を適用します。

4 [はい]▶端末暗証番号を入力▶[はい]
• 再振分けしないとき:[いいえ]

iモードメールの署名について設定する <署名編集設定>

署名の内容を登録したり、iモードメールを作成するときに自動で署名を貼り付けるように設定します。
● 署名は1件のみ登録できます。
● 本文は全角5000文字(半角10000文字)まで、挿入画像は90Kバイトまで入力できます。[↲](改行)も入力できます。

1 待受画面で[メール]▶[メール設定]▶[署名編集設定]
• 2in1利用時は、登録時の2in1のモードによって、Aアドレス/Bアドレスの署名が登録されます。[デュアルモード]のときは、アドレス選択画面が表示されます。登録するアドレスを選択してください。

2 署名を入力
• 署名の削除:署名表示で[CLR](1秒以上)▶[●]▶[OFF]

3 設定を選ぶ
• 手動で署名を貼り付けることもできます(☞P.141)。

● 2in1利用時に署名を貼り付ける場合は、送信元アドレスに従って貼り付ける署名が自動に切り替わります。[デュアルモード]で署名編集設定を[OFF]に設定している場合は、署名貼付時に選択画面が表示され、貼り付ける署名を選択できます。

単語／定型文を登録する<定型文／単語登録>

ユーザ辞書に単語を登録したり、よく使う言葉を定型文として登録できます。

1 **待受画面で✉▶[メール設定]▶[定型文／単語登録]**

2 **項目を選ぶ**

◆ **[定型文]▶P.448**

◆ **[単語登録]▶P.449**

メール／メッセージ問合せの内容を設定する<メール／メッセージ問合せ設定>

メール／メッセージ問合せをするかどうかを種類別(メール、メッセージR／F)に設定できます。

1 **待受画面で✉▶[メール設定]▶[メール／メッセージ問合せ設定]**

2 **種類を選ぶ**

3 **設定を選ぶ**

iモードメールの受信について設定する<受信設定>

1 **待受画面で✉▶[メール設定]▶[受信設定]**

2 **項目を選ぶ**

◆ **[メール選択受信設定]▶設定を選ぶ**

◆ **[メール受信添付ファイル設定]▶添付ファイルを選ぶ▶📷**

・受信する添付ファイルの種類を設定できます。

・設定できる添付ファイルの種類は次のとおりです。

■ イメージ：JPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像を受信できます。

■ メロディ：SMF形式、MFi形式のメロディを受信できます。

■ iモーション：MP4形式の動画／iモーションを受信できます。

■ トルカ：トルカは1Kバイトまで、トルカ(詳細)は100Kバイトまで受信できます。

■ PDF：PDFデータを受信できます。

■ ツールデータ：vCard形式(電話帳)、vCalendar形式(スケジュール)、vBookmark形式(Bookmark)のデータを受信できます。

■ その他：BMP画像、PNG画像、JPEG画像、GIF画像、Wordファイル、Excelファイル、PowerPointファイル、Textファイルなどを受信できます。

◆ **[添付ファイル自動再生設定]▶設定を選ぶ**

・メールに添付されているメロディを、開封時に自動再生するかどうかを設定できます。

◆ **[メール着信音]▶P.102**

[メール選択受信設定]について

● メール選択受信設定を[ON]に設定しても、メール／メッセージ問合せを行うとすべてのメールを受信します。受信したくないときは、メール／メッセージ問合せ設定でメールを[OFF]に設定してください。

[メール受信添付ファイル設定]について

● 受信しないように設定した添付ファイルは選択受信添付ファイルになります。

● メッセージR／Fは、設定にかかわらず、すべての添付ファイルを受信します。

● メール本文中に貼り付けられたMFi形式のメロディは、設定にかかわらず受信します。

[添付ファイル自動再生設定]について

● 100Kバイトを超えるメロディは自動再生されません。

メールグループを登録する<メールグループ>

メールグループに登録しておくと、宛先を1件ずつ指定する同報送信の操作とは異なり、一度に複数の宛先を指定できます。

次ページへ続く

● メールグループは、10件まで登録できます。1つのメールグループには、5件のメールアドレスが登録できます。
● 通信料は、1通のみの送信時と同じです。ただし、追加した宛先の情報量が通信料として増えます。

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[メールグループ]

2 登録先を選ぶ

3 登録する番号を選ぶ

4 入力方法を選ぶ

5 メールアドレスを選択/入力

- 複数のメールアドレスを登録するときは、操作3～5を繰り返します。

6 📷

■ メールグループ一覧画面のサブメニュー操作

[グループ名編集]▶グループ名を編集

[グループ名1件リセット]▶[はい]

[グループ名編集]について
● 全角10文字(半角20文字)まで入力できます。

■ メールグループ詳細画面のサブメニュー操作

[1件削除]▶[はい]▶📷

[グループ内全件削除]▶[はい]▶📷

iモードメールの返信について設定する<返信設定>

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[返信設定]

2 項目を設定する

◆ **[返信ガイド設定]▶設定を選ぶ**
・受信メール詳細画面で📷に割り当てる返信方法を設定できます。

◆ **[メール返信引用設定]▶各項目を設定▶📷**
・引用文字の設定や、📷を押して返信メールを作成するときに本文を引用するかどうかを設定できます。

◆ **[クイック返信設定]▶設定を選ぶ**
・📷を押して返信メールを作成するときクイック返信を利用するかどうかを設定をできます。

◆ **[クイック返信本文登録]▶変更する本文を選ぶ▶本文を編集**
・あらかじめ登録されている10件のクイック返信時の本文を変更して登録できます。
・1件につき全角250文字(半角500文字)まで入力できます。
・本文の内容をリセット:本文一覧画面でMENU▶端末暗証番号を入力▶[はい]

◆ **[デコメ絵文字自動学習]▶設定を選ぶ**

◆ **[メール返信時自動学習]▶設定を選ぶ**

◆ **[返信時アドレス登録設定]▶設定を選ぶ**
・メール返信時、電話帳未登録のアドレスを電話帳に登録するかどうかを設定できます。

ブログ/SNS投稿先を登録する <ブログ/SNS投稿先設定>

ブログ/SNSの投稿先として投稿先アドレスと投稿タイトルを登録できます。メールの宛先に投稿先を指定すると、投稿先アドレスがメールアドレスに入力され、投稿タイトルがメールの題名に入力されます。
● 投稿先は5件まで登録できます。

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[ブログ/SNS投稿先設定]

2 登録する番号にカーソルを合わせる▶✉

- 投稿先登録内容の削除:i▶[はい]

3 各項目を設定▶MENU

- 投稿先名は全角16文字(半角32文字)まで入力できます。
- 投稿タイトルは全角100文字(半角200文字)まで入力できます。

メールの自動保存について設定する <編集時自動保存設定>

誤操作で編集中のメールが消えるのを防ぐことができます。

- メール作成の終了確認画面で[終話]を押した場合、未送信BOXに編集中のメールが自動保存されます。

1 **待受画面で[メール]▶[メール設定]▶[編集時自動保存設定]**

2 **設定を選ぶ**

メールアドレス変更や迷惑メール対策の設定などを行う<アドレス・迷惑メール設定>

メールアドレスの変更や迷惑メール対策などを行うｉモードサイトに接続します。詳しい設定方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- 受信メール一覧画面または受信メール詳細画面のサブメニュー操作からメールアドレス／電話番号を指定して、受信／拒否設定することもできます。

1 **待受画面で[メール]▶[メール設定]▶[アドレス・迷惑メール設定]**

2 **[はい]**

ショートカット設定

各メール画面のボタン操作を変更する

メール一覧画面、メール詳細画面で[1]～[9]、[0]、[*]、[#]に割り当てられた機能を変更できます。

1 **メール一覧画面で[MENU]▶[登録]▶[ショートカット設定]**

2 **登録する番号を選ぶ**

- 設定の削除：登録済みの番号にカーソルを合わせる▶[MENU]

3 **設定を選ぶ▶[カメラ]**

メッセージR／F受信

メッセージR／Fを受信したときは

メッセージサービスを提供するサイトにお申し込みいただくことにより、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。メッセージにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

- メッセージR／Fは、それぞれ50件まで受信BOXに保存できます。メッセージのサイズによっては、保存できる件数が変わります。
- メッセージR／Fを受信すると次のマークが表示されます。

マークの意味

[R]（青色）／[F]（緑色）：未読メッセージR／Fあり※

[R]（赤色）／[F]（赤色）：FOMA端末内の受信メッセージR／Fがいっぱい※

[R]／[F]：ｉモードセンターにメッセージR／Fあり

[R]／[F]：ｉモードセンターのメッセージR／Fがいっぱい

[複]（青色）：ｉモードセンターにメール、メッセージR、メッセージFのうち２種類以上あり

[複]（赤色）：ｉモードセンターにメール、メッセージR、メッセージFのうち２種類以上あり、ｉモードセンターがいっぱいになっているものがある

※ ｉモードメールやSMS、エリアメールについてのマーク（☞P.152）が表示されているときは、小さいマークになります。

- ｉモードセンターのメッセージR／Fがいっぱいのときは、新しいメッセージが上書きされることがあります。
- メッセージR／Fのｉモードセンター問い合わせ方法については☞P.153

- FOMA端末に保存したメッセージR／Fが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、メッセージR／Fのうち古いメッセージから順に削除されます。

新着メッセージR／Fを表示する

メッセージR／Fが届くと、最新の１件が自動的に表示されます。ただし、メッセージ自動表示設定を［自動表示なし］に設定している場合、受信したメッセージR／Fは表示されません。

1 **メッセージR／Fを自動的に受信（[R]／[F]点滅）**

2 受信終了後、受信完了画面が表示され、メッセージ着信音が鳴る（[R]／[F]表示）

- メッセージを約15秒間表示し、自動的に待受画面に戻ります。

自動で表示されないとき

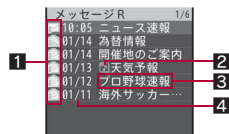
- 受信完了画面で[メッセージR]／[メッセージF] ▶ メッセージを選ぶ

メッセージR／F表示

メッセージBOXのメッセージR／Fを表示する

1 待受画面で[✉] ▶ [受信BOX]

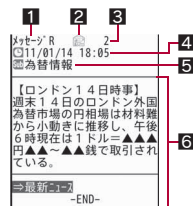
2 メッセージを選ぶ

■ メッセージ一覧画面の見かた

1 未読／既読／保護マーク
　／：未読メッセージR／F
　／：既読メッセージR／F
　／：既読メッセージR／F（保護有）

2 添付種別マーク
　：JPEG画像／GIF画像／GIFアニメーション／Flash画像
　：メロディ
　：トルカ
　：添付ファイル複数あり

3 題名

4 受信日時
　当日は時間、当日以外は日付が表示されます。

■ メッセージ詳細画面の見かた

1 メッセージの種別

2 保護マーク
　：メッセージR（保護有）
　：メッセージF（保護有）

3 メッセージ番号

4 受信日時

5 題名

6 本文

■ メッセージ一覧画面のサブメニュー操作

[保護ON]／[保護OFF]

[削除]
- ▶ [1件削除] ▶ [はい]
- ▶ [選択削除] ▶ メッセージを選ぶ ▶ [📷] ▶ [はい]
- ▶ [全件削除] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ [はい]

[ソート] ▶ ソート方法を選ぶ

[保護ON]、[保護OFF]について

- メッセージR／Fはそれぞれ25件まで保護できます。ただし、メッセージのサイズによって、保護できる件数が少なくなります。
- 未読のメッセージR／Fは保護できません。

[全件削除]について

- 未読または保護されているメッセージR／Fは削除されません。

■ メッセージ詳細画面のサブメニュー操作

[保護ON]／[保護OFF]
- [保護ON]、[保護OFF]について☞P.172

[添付ファイル確認] ▶ 添付ファイルを確認／保存
- 画像の保存：📷 ▶ [はい] ▶ フォルダにカーソルを合わせる ▶ 📷
- メロディ／トルカの保存：📷 ▶ [はい] ▶ 保存先を選ぶ

[本文中画像確認] ▶ 画像を確認／保存
- 挿入された画像を確認／保存します。
- 画像の保存：📷 ▶ [はい] ▶ フォルダにカーソルを合わせる ▶ 📷

[1件削除] ▶ [はい]

[電話帳登録] ▶ 電話帳に登録

[文字サイズ設定] ▶ 文字サイズを選ぶ

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。
- 次の場合は、受信できません。
  - ■ 音声電話中　■ テレビ電話中　■ おまかせロック中
  - ■ 赤外線通信中　■ ｉＣ通信中　■ 電源OFF時
  - ■ 圏外時　■ 国際ローミング中　■ セルフモード設定中
- 次の場合は、受信しない場合があります。
  - ■ パケット通信中（ｉモード通信中、データ通信中）
  - ■ ソフトウェア更新中　■ パターンデータ更新中
- 次の場合は、受信しても自動表示しないことがあります。
  - ■ パケット通信中（ストリーミング再生中、ｉモード通信中、データ通信中）
  - ■ 公共モード（ドライブモード）中　■ ソフトウェア更新中
  - ■ パターンデータ更新中　■ 電池残量が少ない場合
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。
- ｉモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。

緊急速報「エリアメール」受信

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールが送られてきたときは自動的に受信します。
- エリアメールは30件まで受信BOXに保存できます。

1 エリアメールを自動的に受信

2 受信すると、専用警報音（ブザー音）またはエリアメール専用着信音が鳴り、着信ランプが点滅（[✉]表示）
- エリアメールには、受信完了後に本文が自動表示されるものと、[エリアメールを受信しました]と表示されるものがあります。
- 本文が自動表示された場合は、◉、CLR、⌒を押すと受信前の画面に戻ります。
- [エリアメールを受信しました]と表示されたときは、約30秒経過すると自動的に受信前の画面に戻ります。
- 受信完了後にエリアメールの本文を自動表示するかどうかは、配信側で設定されます。

サブディスプレイで確認する
- FOMA端末を閉じているときにエリアメールを受信すると、[メッセージ受信　エリアメール]と表示されます。
- 一定時間が経過すると、ｉモードメール、SMS、エリアメールの合計の件数が表示されます。

- 緊急地震速報の場合、専用警報音（ブザー音）とバイブレータが動作し、本文を自動表示してお知らせします。音量は[Level10]、バイブレータは[メロディ連動]に設定されています。専用警報音（ブザー音）の音色や音量、バイブレータの種類は変更できません。
- エリアメール専用着信音の音色は変更できません。鳴動時間はメール鳴動時間設定に、音量はメール着信音量に、バイブレータはメール着信バイブレータの設定に従います。ただし、バイブレータの種類は[メロディ連動]で動作します。
- エリアメールの着信イルミネーションは、イルミネーションカラーが[カラー1]、イルミネーションパターンが[メロディ連動]に設定されていて変更できません。

次ページへ続く▶▶

- FOMA端末に保存したエリアメールが最大保存件数を超えた場合は、エリアメールのうち古い既読のメールから順に削除されます。エリアメールがすべて未読のときは、古い未読のメールから順に削除されます。

緊急速報「エリアメール」設定

緊急速報「エリアメール」の設定を行う

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[緊急速報「エリアメール」設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[受信設定]▶設定を選ぶ**
- エリアメールを受信するかどうかを設定できます。

◆ **[ブザー鳴動時間]▶ブザー音を鳴らす時間を入力**

◆ **[マナー／公共モード時設定]▶設定を選ぶ**
- 専用警報音（ブザー音）またはエリアメール専用着信音やバイブレータを公共モード／マナーモードの設定に従うかどうかを設定します。

◆ **[着信音確認]▶項目を選ぶ**
- 専用警報音（ブザー音）またはエリアメール専用着信音、着信ランプやバイブレータを確認します。

◆ **[その他]▶[受信登録]▶端末暗証番号を入力▶MENU▶エリアメール名を入力▶MessageIDを入力**
- 緊急情報（緊急地震速報、災害・避難情報）のほかに受信したい情報のエリアメール名とMessageID（サービス提供者から付与されるID）を登録できます。
- 緊急情報（緊急地震速報、災害・避難情報）を受信する場合には受信登録の必要はありません。
- 20件まで設定できます（緊急情報を含まず）。
- 設定した内容を修正するときは、設定済みの受信登録を選択します。
- 受信登録の削除：受信登録にカーソルを合わせる▶📷▶[はい]
- エリアメール名は、任意の名前（全角15文字（半角30文字）まで）を付けられます。
- お買い上げ時に登録されている緊急情報は編集・削除できません。

[受信設定]について
- 各種設定リセットを行うとお買い上げ時の設定[利用する]に戻ります。

[マナー／公共モード時設定]について
- [各モードに従う]に設定していても、マナーモード設定中に緊急地震速報を受信すると、マナーモードの設定にかかわらずバイブレータは動作します。また、オリジナルマナーモードで、メール着信音量を[消音]に設定していても、他の設定項目のいずれかで音を鳴らすように設定しているときは、専用警報音（ブザー音）も[Level 10]で鳴ります。
- [各モードに従う]に設定している場合、マナーモードと公共モードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

SMS作成・送信

SMSを作成して送信する

携帯電話番号を宛先とするSMSを利用できます。

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 待受画面で✉▶[新規SMS作成]

2 TO欄を選ぶ▶項目を選ぶ

- 選択できる項目は次のとおりです。
  - ■ 電話帳検索：電話帳から検索して宛先を入力できます。
  - ■ メール送信履歴：メール送信履歴から選んで宛先を入力できます。
  - ■ メール受信履歴：メール受信履歴から選んで宛先を入力できます。
  - ■ 送信回数ランキング：送信回数の多い宛先から選んで宛先を入力できます。
    - メール送信履歴のうち送信回数の多い順に10件まで表示します。
  - ■ 直接入力：宛先を直接入力できます。
  - ■ 宛先確認：入力した宛先を確認できます。

- 宛先の電話番号は20桁まで入力できます。
- 「＋」は先頭でのみ有効となります。「＋」を入力したときは、21桁まで入力できます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者のときは、「＋」（0を1秒以上）、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まるときは「0」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。受信した海外からのSMSに返信するときは、「010」を入力してください。
- 「186」／「184」を付けても送信できます。ただし、「184」を付けても発信者番号を通知して送信されます。
- 電話帳に登録されている相手のときは、TO欄に名前が表示されます。

3 **[本文]▶本文を入力**

4 **📷**

- SMSの本文に半角カタカナや絵文字、特殊記号を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に削除されます。
- 何らかの原因で送信できなかったSMSは、未送信SMSとして保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されないことがあります。
- 2in1のモードを[Bモード]に設定しているとき、SMSの作成・送信はできません。
- 保存したSMSはメールと同じ方法で編集・送信できます（☞P.151）。

■ SMS作成画面のサブメニュー操作

[送信]
[保存]
[SMS送達通知設定]▶設定を選ぶ
[SMS有効期間設定]▶有効期限を選ぶ

SMSがあるかを問い合わせる<SMS問合せ>

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたSMSはSMSセンターに保管されています。SMSセンターに問い合わせて受信できます。

1 **待受画面で✉▶[SMS問合せ]**

- 問い合わせを行っても、自動受信がすぐに始まらない場合があります。
- FOMA端末およびドコモUIMカード内のSMSが最大保存件数を超えたとき、またはFOMA端末およびドコモUIMカード内の保存するメモリの空き容量がないときは、SMS問合せを行えません。

SMS受信

SMSを自動受信する

- 海外から送られてきたSMSには[🌐]が表示されるときがあります。
- SMSを受信したときに表示されるマークについては☞P.152

1 **SMSを自動的に受信（[✉]点滅）**

2 **受信終了後、受信完了画面が表示され、SMS着信音が鳴る（[✉]表示）**

- 受信完了画面で、何も操作しないでそのままにしておくと、約15秒後、自動的に受信前の画面に戻ります。また、SMS着信音の鳴動時間を15秒より長く設定されている場合は、設定した時間を経過すると自動的に受信前の画面に戻ります。
- 待受画面に戻るとストックアイコン[✉]（新着メールあり）が表示されます。

サブディスプレイで確認する

- FOMA端末を閉じているときにSMSを受信すると、受信完了画面に、最後に受信したSMSの差出人が表示されます。
- 一定時間が経過すると、iモードメール、SMS、エリアメールの合計の件数が表示されます。
- 電話／メール着信時設定のメール本文表示を[ON]に設定している場合、待受画面で件数が表示されているときにDを押すと、最新のメール本文がサブディスプレイにスクロール表示されます。もう一度Dを押すと、スクロールが停止します。

・停止した状態でⒹを押すと再度スクロールを開始します。Ⓓを1秒以上押すと件数の表示に戻ります。

3 [メール]▶SMSを選ぶ

- FOMA端末に保存した受信メールが最大保存件数/最大保存容量を超えた場合は、受信メールのうち古いメールから順に削除されます。
- SMSはメールと同じ方法で保護や削除、移動など、管理することができます(☞P.163)。

SMS設定

SMSの設定を行う

SMSの各種設定をします。

※通常は、SMSセンター設定の設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で✉▶[メール設定]▶[SMS設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[送達通知設定]▶設定を選ぶ**
・送信するSMSの送達通知を受け取るかどうかを設定できます。

◆ **[有効期限設定]▶有効期限を選ぶ**
・送信したSMSが圏外などで届かなかったときに、SMSセンターに保管する期限を設定します。

◆ **[本文入力設定]▶文字の種類を選ぶ**

◆ **[SMSセンター設定]▶項目を選ぶ**
・設定できる項目は次のとおりです。
■ ドコモ:ドコモのSMSセンターを利用します。
■ ユーザ設定:ドコモ以外のSMSセンターを利用します。
・SMSセンターのアドレスは、20桁まで入力できます。

- 有効期限設定、本文入力設定、SMSセンター設定の設定はドコモUIMカードに保存されます。

SMSをドコモUIMカードに保存する

FOMA端末に保存されているSMSを、ドコモUIMカードにコピーできます。

- ドコモUIMカードには、受信SMS、送信SMSを合わせて20件まで保存できます。
- 受信SMSは[受信トレイ]に、送信SMSは[送信トレイ]にコピーされます。
- FOMA端末とドコモUIMカード間での移動はできません。
- 未送信SMSはドコモUIMカードにコピーできません。
- SMS送達通知のある送信SMSをコピーした場合、SMS送達通知もコピーされます。SMS送達通知だけのコピーはできません。
- 送信SMSの送信日時は、コピーされません。

■ メール一覧画面でコピーする <ドコモUIMカード(FOMAカード)へコピー/本体へコピー>

1 待受画面で✉▶[受信BOX]/[送信BOX]

2 SMSにカーソルを合わせる▶MENU▶[移動/コピー]▶[ドコモUIMカード(FOMAカード)へコピー]/[本体へコピー]

3 [はい]

■ メール詳細画面でコピーする <ドコモUIMカード(FOMAカード)へコピー/本体へ1件コピー>

1 待受画面で✉▶[受信BOX]/[送信BOX]

2 SMSを選ぶ▶MENU▶[移動/コピー/削除]▶[ドコモUIMカード(FOMAカード)へコピー]/[本体へ1件コピー]

3 [はい]

ｉモード／フルブラウザ

ｉモード

フルブラウザ

サイトの見かたと操作

ｉモード／フルブラウザの便利な機能

サイトから画像やメロディなどをダウンロードする

サイトに画像や動画／ｉモーションをアップロードする

ｉモード／フルブラウザの設定を行う

証明書を利用する

iモード

iモードでは、iモード対応FOMA端末(以下iモード端末)のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- iモードの詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

■ iモードのご利用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページからiモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のドコモUIMカードを差し替えたり、ドコモUIMカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル(静止画・動画・メロディなど)、「画面メモ」および「メッセージR／F」などを表示・再生できません。
- ドコモUIMカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定着信音などに設定している場合、別のドコモUIMカードを差し替えたり、ドコモUIMカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

i Menu

i Menuを表示する

IP(情報サービス提供者)が提供する各種サービスをご利用いただけます。FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。サイトによりサービス内容は異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。

1 待受画面で[i]

- ノーマルメニューでは：[iモード／web]▶[i Menu検索]
- 接続の中止：[i]点滅中に[カメラ]

2 項目を選ぶ

- iモードの終了：[終話]▶[はい]

- iモードボタン設定(☞P.199)を[iモードメニュー表示]に設定すると、待受画面で[i]を押したときにiモードメニューを表示させることができます。
- ポインタ表示設定を[表示する]に設定すると、ポインタを動かして項目を選択することができます。
- サイトによっては、FOMA端末の持っている最大表示色数で表示できないことがあります。
- データBOXのフォルダ一覧やデコメール®テンプレート一覧、デコメアニメ®テンプレート一覧、iアプリのソフト一覧、おサイフケータイメニューなどで[iモードで探す]を選択すると、サイトに接続することができます。

ミュージックプレーヤー利用履歴の送信について

- ｉモードサイトやメッセージR/F、トルカから、ミュージックプレーヤーで再生した音楽データの履歴を送信できます。送信用のボタンを選択すると、サイトからお客様の携帯電話で再生した楽曲情報が要求され、楽曲情報送信の確認画面が表示されます。
［はい］を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報（タイトル名、アーティスト名、再生日時）が送信されます。
送信される楽曲情報は、IP（情報サービス提供者）がお客様に、カスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

■ サイト表示画面の見かた

マーク表示位置
タブ

サイト表示画面

ｉモード中に表示されるマーク

- ：ｉモード接続中（点滅）
- ：パケット通信中（点滅）
- ：SSL／TLSページ表示中
- ：フレーム拡大表示中
- ：フレーム拡大表示中で、別フレームアクセス中
- ：SSL／TLSページフレーム拡大表示中
- ：SSL／TLSページフレーム拡大表示中で、別フレームアクセス中

■ サイト表示画面のボタン操作

操作	ボタン
タブウィンドウの切替※1	
新しいタブウィンドウで開く	（1秒以上）
戻る／進む※2	／
ページ単位で上下にスクロール※2※3	／
画面を上下にスクロール	
ポインタ表示の切替	（1秒以上）

※1　表示しているサイトが1つのときは新しいタブウィンドウを開きます。

※2　で[←戻る]／[進む→]（前のページに戻る／次のページに進む）と[▲ページ]／[▼ページ]（ページ単位で画面を上下にスクロール）を切り替えます。

※3　ボタンを押し続けると、連続してスクロールできます。

■ サイト表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
タブ Tab	タブ操作	Bookmark	Bookmark
再読み込み Reload	再読み込み	ビジュアル履歴 Visual History	ビジュアル履歴の表示
戻る Back	戻る	進む Next	進む
部分拡大表示 ON	拡大表示ON	部分拡大表示 OFF	拡大表示OFF
OK	項目の実行／決定	▲	上のリンクにカーソルを移動
▼	下のリンクにカーソルを移動	◀	左のリンクにカーソルを移動
▶	右のリンクにカーソルを移動	前検索 Prev	前を検索※
次検索 Next	次を検索※		

※ ページ内検索中のみ表示されます。

・ 画面をロングタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

操作	タッチ操作
画面を上下にスクロール	上下にスライド
画面を上下に大きくスクロール	上下にすばやくスライド
ビジュアル履歴を表示し次／前のページに移動※1	左右にすばやくスライド
次／前のページに移動（ビジュアル履歴表示時のみ）	左右にすばやくスライド
リンク先に移動	リンクをタッチ
リンクにカーソルを合わせる（拡大表示OFF時のみ）	リンクをロングタッチ

ルーペ表示(拡大表示ON時のみ)	表示したい部分をロングタッチ
文字サイズを大きくする／小さくする	2本の指の間隔を広げる／狭める
タブウィンドウの切替※2	画面上部のタブをタッチ

※1 ビジュアル履歴表示中は、左右にすばやくスライドするとページを移動できます。
※2 複数のサイトを表示中に操作できます。

● サイトによってはタッチパネルで操作できない場合があります。

■ サイト表示画面のサブメニュー操作

[Bookmark]
- ▶[Bookmark一覧]
  - ● Bookmarkの詳細については☞P.189
- ▶[Bookmark登録] ☞P.189

[画面メモ]
- ▶[画面メモ一覧]
  - ● 画面メモの詳細については☞P.191
- ▶[画面メモ保存] ☞P.191

[サイト閲覧履歴] ☞P.189

[i Menu検索] ☞P.178

[フルブラウザ]
- ▶[フルブラウザホーム] ☞P.182
- ▶[フルブラウザ切替] ☞P.187

[タブ操作]
- ▶[新しいタブで開く] ☞P.186
- ▶[タブを閉じる]▶閉じるタブウィンドウを選ぶ▶[はい]
- ▶[タブ切替]▶表示するタブウィンドウを選ぶ

[再読み込み]

[URL入力・情報]
- ▶[URL入力] ☞P.188
- ▶[URL入力履歴] ☞P.188
- ▶[URL表示]
  - ● URLをコピー:URL表示画面で[📷]

[表示]
- ▶[文字サイズ変更]▶文字サイズを選ぶ
- ▶[リトライ]
  - ● Flash画像やGIFアニメーションの再生をやり直します。
- ▶[文字コード変換]
  - ● サイトの文字が正しく表示されないときは、正しい文字に変換して再表示します。
- ▶[証明書参照]▶証明書を選ぶ
  - ● サイトのサーバ証明書を表示します。
- ▶[ガイド表示]▶設定を選ぶ

[機能／画像保存]
- ▶[ビジュアル履歴]
  - ● 縮小されたサイト表示画面を履歴の順に並べて表示します。
- ▶[レイアウト表示]
- ▶[メール作成]▶メールを作成・送信
  - ● サイトのURLを記載したメールを作成します。
- ▶[電話帳登録]▶電話帳に登録
- ▶[画像保存] ☞P.196
- ▶[ログイン情報]
  - ▶[ログイン情報登録] ☞P.187
  - ▶[ログイン情報貼付] ☞P.188
- ▶[FOMA／Wi-Fi接続切替]

[ページ操作]
- ▶[戻る]
- ▶[進む]
- ▶[ページの先頭に移動]
- ▶[ページの末尾に移動]

- ▶[フレーム表示へ戻る]
- ▶[テキスト範囲選択] ☞P.187
- ▶[ドラッグ]
- ▶[ページ内検索]▶キーワードを入力
  - ● ページ内の文字列を検索します。
- ▶[操作切替]
  - ● [メール]と[i]に割り当てられた機能を切り替えます。
- ▶[操作ガイド]

[設定]

- ▶[サウンド設定] ☞P.198
- ▶[画像表示設定] ☞P.198
- ▶[Script動作設定] ☞P.198
- ▶[ポインタ表示設定] ☞P.198
- ▶[ポインタ加速度設定] ☞P.199
- ▶[ポインタ移動距離設定] ☞P.199
- ▶[自動レイアウト表示設定] ☞P.199
- ▶[照明時間設定]▶設定を選ぶ
- ▶[Cookie設定] ☞P.198
- ▶[Referer設定] ☞P.198
- ▶[端末情報利用設定] ☞P.198

[URL表示]について

- URLとは「http://www.xxx.△△.jp」などで表示されるアドレスです。URLは半角2033文字(「http://」などを含む)まで表示できます。

[文字コード変換]について

- 文字コード変換を繰り返しても、正しく表示できないときがあります。
- 4回繰り返すと、元の表示に戻ります。

[証明書参照]について

- 最大10枚まで参照できます。

携帯電話/ドコモUIMカードの製造番号送信について

サイトなどを表示する場合、携帯電話情報の送信確認画面が表示されるときがあります。携帯電話情報を送信するときは[はい]を選びます。

- 携帯電話/ドコモUIMカードの製造番号が送信される前に必ず、送信確認画面が表示されます。自動的に送信されることはありません。
- 送信するお客様の「携帯電話/ドコモUIMカードの製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。

SSL/TLS対応のページを表示するとき

SSL/TLSとは、認証/暗号技術を使用してより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL/TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

- ● SSL/TLS対応ページを表示しようとしているときは、[SSL/TLS通信を開始します(認証中)]が表示され、次のいずれかの証明書が使用されます。
  - ■ CA証明書 ■ ドコモ証明書 ■ ユーザ証明書
- ● SSL/TLS通信の中止:[カメラ]

- ユーザ証明書送信時に、有効な証明書が複数存在する場合は、ユーザ証明書選択画面が表示されます。使用する証明書を選択してください。

■ 通常のサイトに戻る

SSL/TLS対応ページから通常のサイトに戻るときには、SSL/TLSページを終了するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選びます。

マイメニュー

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録すると、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

● マイメニューは45件まで登録できます。登録できないサイトもあります。

1 サイト表示中にマイメニュー登録用メニューを選ぶ

2 iモードパスワードを入力▶［決定］

● 各サイトによってページ構成が異なります。
● 有料サイトに申し込むと、自動的にマイメニューに登録されます。

登録したサイトを表示する

1 ノーマルメニューで［iモード／web］▶［iMenu検索］▶［マイページ］▶［マイメニュー／マイボックス］

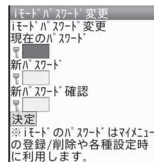
2 サイトを選ぶ

● デュアルネットワークサービスをご利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末でご利用になれない場合があります。

iモードパスワード変更

iモードパスワードを変更する

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、iモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときには、4桁のiモードパスワードが必要です。なお、iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。

1 ノーマルメニューで［iモード／web］▶［iMenu検索］▶［お客様サポート］▶［各種設定（確認・変更・利用）］▶［iモードパスワード変更］

2 現在のiモードパスワードを入力

3 新しいiモードパスワードを入力

4 もう一度新しいiモードパスワードを入力▶［決定］

● iモードパスワードをお忘れのときは、ご契約いただいたご本人であるかどうかを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口にご持参いただき、iモードパスワードを［0000］にリセットさせていただきます。

フルブラウザホーム

パソコン向けのホームページを表示する

フルブラウザを利用すると、iモードに対応していないサイトをパソコンと同じようにFOMA端末で表示することができます。

● 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと通信料金が高額になりますのでご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
● フルブラウザでの表示中の操作は、iモードのサイト表示中の操作と基本的な部分は同様です。ここでは、異なる部分を中心に説明します。

1 ノーマルメニューで［iモード／web］▶［フルブラウザホーム］

● 表示させるサイトを変更することもできます（☞P.198）。
● 情報量の多いサイトは、正しく表示されない場合があります。
● フルブラウザでは、1ページあたり最大3Mバイトまで表示できます。

- メロディ、iアプリ、iモーションのダウンロードや保存はできません。
- Wi-Fiを使用してフルブラウザを利用することができます（☞P.487）。Wi-FiからFOMAのネットワークに切り替えるとパケット通信料がかかります。接続切替画面設定を［表示しない］に設定した場合、接続先切替確認画面は表示されません。また、FOMAのネットワークに切り替えた場合、自動的にWi-Fiには戻りませんのでご注意ください。
- ドコモUIMカード未挿入でも、Wi-Fiを使用してフルブラウザを利用することができます。

■ サイト表示画面の見かた

マーク表示位置

タブ

サイト表示画面

フルブラウザ中に表示されるマーク

- ：iモード接続中（点滅）
- ：パケット通信中（点滅）
- ：PCレイアウトモード中
- ：ケータイモード中
- ：Wi-Fiでフルブラウザ接続中
- ：SSL／TLSページ表示中
- ：フレーム拡大表示中
- ：フレーム拡大表示中で、別フレームアクセス中
- ：SSL／TLSページフレーム拡大表示中
- ：SSL／TLSページフレーム拡大表示中で、別フレームアクセス中

■ サイト表示画面のボタン操作

操作	ボタン
タブウィンドウの切替※1	[カメラ]
戻る／進む※2	[メール]／[i]
ページ単位で上下にスクロール※2※3	[メール]／[i]
画面を上下にスクロール	[2]／[8]
文字サイズを大きくする／小さくする（ケータイモード時）	[3]／[1]
表示倍率を拡大／縮小（PCレイアウトモード時）	[3]／[1]
画面を左右にスクロール（PCレイアウトモード時）	[4]／[6]
ページのレイアウト表示	[5]
新しいタブウィンドウで開く	[7]／[カメラ]（1秒以上）
タブウィンドウを閉じる※4	[9]
ビジュアル履歴の表示	[*]
ログイン情報貼付	[0]
Bookmarkフォルダ一覧の表示	[#]
ポインタ表示の切替	[CLR]（1秒以上）

※1 複数のサイトを表示中に操作できます。表示しているサイトが1つのときは新しいタブウィンドウを開きます。

※2 [CLR]で［←戻る］／［進む→］（前のページに戻る／次のページに進む）と［▲ページ］／［▼ページ］（ページ単位で画面を上下にスクロール）を切り替えます。

※3 ボタンを押し続けると、連続してスクロールできます。

※4 複数のサイトを表示中に操作できます。

- [1]～[9]、[0]、[*]、[#]に割り当てられた機能は変更できます（☞P.198）。

■ サイト表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
タブ Tab	タブ操作	Bookmark	Bookmark
再読み込み Reload	再読み込み	ビジュアル履歴 Visual History	ビジュアル履歴の表示
進む Next	進む	戻る Back	戻る
部分拡大表示 ON	拡大表示ON	部分拡大表示 OFF	拡大表示OFF
前検索 Prev	前を検索※	次検索 Next	次を検索※

※ ページ内検索中のみ表示されます。

・画面をロングタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

● 次のタッチ操作ができます。

画面を上下左右にスクロール	上下左右にスライド
画面を上下に大きくスクロール	上下にすばやくスライド
ビジュアル履歴を表示し次／前のページに移動（ケータイモード時のみ）	左右にすばやくスライド
次／前のページに移動（ビジュアル履歴表示時のみ）	上下左右にすばやくスライド
画面を左右に大きくスクロール（PCレイアウトモード時のみ）	左右にすばやくスライド
リンク先に移動	リンクをタッチ
リンクにカーソルを合わせる（拡大表示OFF時のみ）	リンクをロングタッチ
ルーペ表示（拡大表示ON時のみ）	表示したい部分をロングタッチ
文字サイズを大きくする／小さくする（ケータイモード時のみ）	２本の指の間隔を広げる／狭める
画面の一部を拡大／縮小（PCレイアウトモード時のみ）	２本の指の間隔を広げる／狭める
タブウィンドウの切替※	画面上部のタブをタッチ

※ 複数のサイトを表示中に操作できます。

■ サイト表示画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、ｉモードのサイト表示画面のサブメニュー操作（☞P.180）を参照してください。

■ Bookmark　■ 画面メモ　■ サイト閲覧履歴
■ タブ操作　■ 再読み込み　■ URL入力･情報
■ 表示（文字サイズ変更、リトライ、文字コード変換、証明書参照、ガイド表示）
■ 機能／画像保存（ビジュアル履歴、レイアウト表示、メール作成、電話帳登録、画像保存、ログイン情報、FOMA／Wi-Fi接続切替）
■ ページ操作　■ 設定

[フルブラウザホーム]
- ▶[ホーム表示]
- ▶[ホーム登録]▶[はい]
  - ● 表示中のサイトをフルブラウザホームに設定します。

[ｉモードブラウザ]
- ▶[ｉMenu🔍検索]　☞P.178
- ▶[ｉモードブラウザ切替]　☞P.187

[表示]
- ▶[ズーム]▶設定を選ぶ
  - ● [倍率指定(60～400)]を選択したときは、倍率を入力してください。
- ▶[表示モード切替]　☞P.198

[機能／画像保存]
- ▶[RSS]
  - ▶[RSSリーダー]　☞P.194
  - ▶[RSS登録]　☞P.194

フルブラウザの利用確認画面について

● フルブラウザ利用設定が[利用しない]に設定されている場合、フルブラウザ起動時に、フルブラウザを利用するかどうかを確認するフルブラウザ利用設定画面が表示されます。[利用する]を選択すると、フルブラウザ利用設定が[利用する]に設定変更され、フルブラウザでインターネットホームページが表示されます。フルブラウザを終了しても、この設定は有効です。
・ フルブラウザ機能を利用するときは、フルブラウザ利用設定画面内の[注意事項の詳細]を必ずお読みください。

● フルブラウザ確認表示を[毎回表示]に設定している場合、Bookmark一覧やURL入力履歴一覧などからフルブラウザに接続するときに、フルブラウザで接続するかどうかを確認するフルブラウザ接続確認画面が表示されます。[はい]を選択するとフルブラウザで接続します。[はい(以後非表示)]を選択すると、フルブラウザ確認表示が[表示しない]に設定され、フルブラウザで接続します。フルブラウザを終了しても、この設定は有効です。

サイトの見かたと操作

サイト表示中は新しいタブウィンドウで別のサイトを表示したり、フルブラウザでの表示に切り替えたりすることができます。

サイトなどでの画面表示

サイトやｉモードメール、メッセージR／Fで画像が表示されるときがあります。

● 表示できる画像の種類は、JPEG画像、GIF画像、BMP画像、PNG画像、Flash画像です。
● 画像を受信中は[🖻]が表示されます。
● 画像を取得できなかった場合は[?]、表示できなかった場合は[☒]が表示されます。
● Flash画像については☞P.197

● 保存した画像は、サイトなどでの見えかたと異なるときがあります。

リンク先や項目を選択する

リンクが設定されている文字列は、通常、青色で表示されます。選択されているリンクは、反転表示されます。

● 画像にリンクが設定されていることもあります。選択すると画像が実線で囲まれます。

■ リンクを選んで画面を移動する

1 サイト表示中にリンクを選ぶ

• 項目の先頭に番号が付いているときは、番号と同じダイヤルボタンを押して移動することもできます。一部利用できない場合もあります。

● リンクによっては、ｉモードからフルブラウザに切り替えたり、フルブラウザからｉモードに切り替えたりします。

■ サイトなどの項目選択や文字入力

サイトなどで、次の方法で項目を選択したり、文字入力を行うことができます。

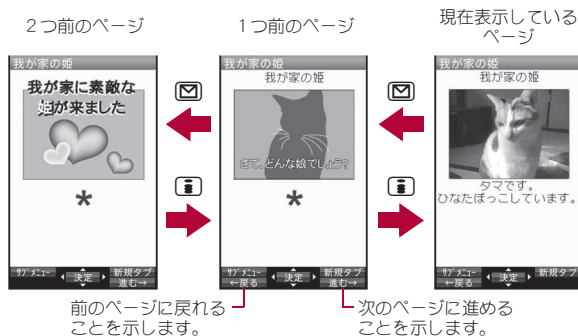
名　称	表示例	内　容
ラジオボタン	○：非選択状態 ◉：選択状態	１つの項目のみ選択できます。
チェックボックス	□：非選択状態 ☑：選択状態	複数の項目を選択できます。
プルダウンメニュー	東　京 足立区 北　区	プルダウンメニューを選ぶと、選択できる項目の一覧が表示されます。
テキストボックス	ID パスワード	文字を入力できます。また、文字入力画面でバーコードリーダーを利用し、JANコードやQRコードの文字情報を読み取って入力することもできます(☞P.444)。

前のページに戻る／次のページに進む(キャッシュについて)

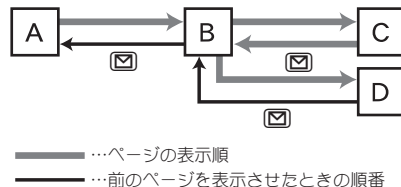
サイトなどを表示してきた経路を15Mバイトまで記憶しています。通信を行わず✉／ⓘを押して表示することができます。これを「キャッシュ」といいます。

例：ｉモードの場合

2つ前のページ　1つ前のページ　現在表示しているページ

前のページに戻れることを示します。　次のページに進めることを示します。

- キャッシュに記憶されたページを表示するときは、以前入力した文字や設定などの情報は表示されません。
- ［メール］／［iモード］を押して、前または次のページを表示するときに、キャッシュ内にそのページが残っていない場合や、FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしている場合、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたサイトのページを表示する場合は、通信を行います。
- Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。
- キャッシュの情報は、iモード／フルブラウザを終了するとリセットされます。
- ［メール］を続けて押すと、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、途中で［メール］を押して前のページを表示させ（「C」から「B」に戻る）、そのページから他のページ（「D」）を表示させたときは、「D」から［メール］を2回押しても「C」は表示されません。「B」→「A」の順で前のページを表示します。

例：画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき

…ページの表示順
…前のページを表示させたときの順番

- iモードからフルブラウザに切り替えたときは、［メール］を押してiモードで表示していたページに戻ることができます。同様に、フルブラウザからiモードに切り替えたときでも、［メール］を押してフルブラウザで表示していたページに戻ることができます。

複数のホームページを表示する<新しいタブで開く>

サイトを表示中に、新しいタブウィンドウで別のサイトを表示することができます。

- タブウィンドウは最大5枚開くことができます。ただし、iチャネルを表示する場合のみ6枚目のタブウィンドウを開くことができます。

1 サイト表示中に［MENU］▶［タブ操作］▶［新しいタブで開く］

2 他のサイトを指定

◆ **［リンク］**
- あらかじめ、リンクのある項目を選んで操作してください。

◆ **［Bookmark］▶Bookmarkを選ぶ**

◆ **［サイト閲覧履歴］▶サイト閲覧履歴を選ぶ**

◆ **［i Menu検索］**
- フルブラウザでサイト表示中は表示されません。

◆ **［フルブラウザホーム］**
- iモードでサイト表示中は表示されません。

◆ **［URL入力］▶URLを入力▶［iモード］／［フルブラウザ］**

◆ **［URL入力履歴］▶URL入力履歴を選ぶ▶［iモード］／［フルブラウザ］**

◆ **［iチャネル］▶チャネルを選ぶ**

・フルブラウザでサイト表示中は表示されません。

ポインタを表示して操作する

サイト表示中はポインタを操作して、項目の選択やリンク先へ移動することができます。

● サイト表示中は、ポインタ（[ ]など）を動かして項目を選択することができます。
● リンクがあるときは[ ]が表示されます。リンク先へ移動する場合は◉を押します。
● ポインタの表示／非表示を設定できます（☞P.198）。

● サイトによってはポインタで操作できない場合があります。操作できない場合は、ポインタ表示設定を［表示しない］に設定すると、カーソルを移動して項目を選択できることがあります。

テキスト範囲選択モードに切り替えて操作する ＜テキスト範囲選択＞

テキスト範囲選択モードに切り替えると、範囲を選択してサイトに表示された文字をコピーしたり、選択した文字をもとに検索やGPS対応ｉアプリを起動したりできます。

1 サイト表示中にMENU▶［ページ操作］▶［テキスト範囲選択］

2 始点を選ぶ▶終点を選ぶ

3 利用方法を選ぶ

・［コピー］を選択した場合、全角・半角問わず4096文字までコピーできます。サイトによってはコピーできない場合や、操作が異なる場合があります。

フレーム対応のホームページを表示する

複数のフレームで構成されたサイトを表示すると、フレーム選択画面になります。フレームを選択するとフレームごとにページを表示できます。

● 合計で50フレームまで表示できます。

1 フレーム対応のホームページを表示

2 フレームを選ぶ

ブラウザを切り替える ＜フルブラウザ切替／ｉモードブラウザ切替＞

ｉモード／フルブラウザで表示したサイトが正しく表示されないとき、ブラウザを切り替えることができます。

ｉモードのとき

1 ｉモードでサイト表示中にMENU▶［フルブラウザ］▶［フルブラウザ切替］

フルブラウザのとき

1 フルブラウザでサイト表示中にMENU▶［ｉモードブラウザ］▶［ｉモードブラウザ切替］

● クライアントモードでWi-Fi接続中でも、FOMAのネットワークを利用している状態でフルブラウザに切り替えた場合はパケット通信料がかかります。
● ｉモードとフルブラウザでは通信料金が異なりますので、切り替えるときはご注意ください。
● ブラウザを切り替えると、裏タブウィンドウは閉じます。

ログイン情報登録

IDとパスワードを登録する

サイトによっては、IDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。あらかじめログイン情報（IDとパスワード）を登録しておくと、テキストボックスに簡単に入力することができます。

● 20件まで登録できます。

1 ノーマルメニューで［ｉモード／web］▶［ｉモード／web設定］▶［共通設定］▶［ログイン情報登録］

2 端末暗証番号を入力

3 登録する番号を選ぶ

次ページへ続く

4 各項目を設定▶MENU

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ タイトル:タイトルを入力します。
    - ・全角12文字(半角24文字)まで入力できます。
  - ■ 項目1:IDを入力します。
    - ・全角64文字(半角128文字)まで入力できます。
  - ■ 項目2:パスワードを入力します。
    - ・全角64文字(半角128文字)まで入力できます。

- 各サービスのIDやパスワードは、他人にわかりやすい番号、文字や記号はお避けください。また、IDやパスワードの使用および管理については、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、IDやパスワードが他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 登録したログイン情報は、iモードとフルブラウザの両方で利用できます。

登録したログイン情報を利用する<ログイン情報貼付>

テキストボックスにログイン情報を一括して貼り付けます。サイトによっては、貼り付けられないこともあります。

1 サイト表示中にテキストボックスにカーソルを合わせる▶MENU▶[機能/画像保存]▶[ログイン情報]▶[ログイン情報貼付]

2 端末暗証番号を入力

3 ログイン情報を選ぶ

ログイン情報を削除する

1 ログイン情報登録一覧画面で情報にカーソルを合わせる▶📷

2 削除方法を選ぶ▶[はい]

インターネット接続

インターネットホームページを表示する

インターネットホームページのアドレス(URL:「http://」などで始まるアドレス)を入力して、接続できます。

1 ノーマルメニューで[iモード/web]▶[URL入力]▶[URL入力]

2 URLを入力

- 半角2033文字まで入力できます(「http://」などを含む)。

3 接続方法を選ぶ

- iモードで接続した場合、iモードに対応していないサイトや、情報量の多いサイトは正しく表示されないことがあります。

- 受信したデータが1ページの最大サイズを超えたときは、受信を中断します。取得したところまでのデータが表示されることがあります。

URL入力履歴を使ってページを表示する<URL入力履歴>

iモードメニューの[URL入力]から接続したインターネットホームページの履歴を50件まで記憶しています。50件を超えたときは、古い履歴から順に上書きされます。

1 ノーマルメニューで[iモード/web]▶[URL入力]▶[URL入力履歴]

2 URL入力履歴を選ぶ

- iモードのURL入力履歴とフルブラウザのURL入力履歴が混在して表示されます。iモードのURL入力履歴には[i]が、フルブラウザのURL入力履歴には[🌐]が表示されます。

3 接続方法を選ぶ

■ URL入力履歴一覧画面のサブメニュー操作

[URL表示]

- URLをコピー:URL表示画面で📷

[削除]

▶[1件削除]▶[はい]

▶[選択削除]▶URL入力履歴を選ぶ▶[📷]▶[はい]

▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

サイト閲覧履歴

以前表示したページに再接続する

iモード/フルブラウザを終了すると、表示したページのURLがサイト閲覧履歴として、最新のものから50件まで記憶されます。

- サイト閲覧履歴一覧画面にはタイトルが表示されます。タイトルがないときはURLが表示されます。

1 ノーマルメニューで[iモード/web]▶[サイト閲覧履歴]

2 サイト閲覧履歴を選ぶ

- iモードのサイト閲覧履歴とフルブラウザのサイト閲覧履歴が混在して表示されます。iモードのサイト閲覧履歴には[i]が、フルブラウザのサイト閲覧履歴には[🖼]が表示されます。
- iモードのサイト閲覧履歴はiモード接続し、フルブラウザのサイト閲覧履歴はフルブラウザ接続します。

- URLが半角2048文字を超えるページは表示できないときがあります。
- ダウンロード画面など、ページによってはサイト閲覧履歴に記憶されないときがあります。

■ サイト閲覧履歴一覧画面のサブメニュー操作

[URL表示]

- URLをコピー:URL表示画面で[📷]

[削除]

▶[1件削除]▶[はい]

▶[選択削除]▶サイト閲覧履歴を選ぶ▶[📷]▶[はい]

▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[URL表示]について

- 半角2048文字まで表示されます。

Bookmark

サイトやホームページを登録してすばやく表示する

よく見るサイトやインターネットホームページのURLをBookmarkに登録しておくと、すぐに見たいページを表示できます。

Bookmarkに登録する<Bookmark登録>

Bookmarkは最大20個のフォルダに合計200件まで登録できます。

- 1件あたりのURLの文字数は、iモードが半角256文字まで、フルブラウザが半角512文字までです。URLの文字数が上限を超えるときは登録できません。

1 サイト表示中に[MENU]▶[Bookmark]▶[Bookmark登録]

2 [OK]

- タイトルを編集して登録:タイトルを編集▶[OK]
  - 全角12文字(半角24文字)まで入力できます。

3 フォルダを選ぶ

- タイトルの先頭から全角12文字分(半角24文字分)までが登録されます。タイトルの文字数が全角12文字(半角24文字)を超えるときは、超えた部分が削除されて登録されます。タイトルがないとき、Bookmark一覧にはURLが表示されます。
- サイトなどで選択した項目や入力した文字は、Bookmarkには登録されません。
- サイトなどによっては、Bookmarkに登録できないときがあります。

Bookmarkからサイトやインターネットホームページを表示する<Bookmark>

1 ノーマルメニューで[iモード/web]▶[Bookmark]

次ページへ続く▶▶

2 Bookmarkを選ぶ

- Bookmark一覧は利用した順に表示されます。
- ｉモードのBookmarkとフルブラウザのBookmarkが混在して表示されます。ｉモードのBookmarkには[i]／[i]が、フルブラウザのBookmarkには[FB]／[FB]が表示されます。
- ｉモードのBookmarkはｉモード接続し、フルブラウザのBookmarkはフルブラウザ接続します。

■ Bookmarkフォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]

▶[フォルダ新規作成]▶フォルダ名を入力
- ユーザフォルダを作成します。

▶[フォルダ名編集]▶フォルダ名を編集

▶[フォルダ並べ替え]▶移動先を選ぶ
- ユーザフォルダを並べ替えます。

▶[フォルダセキュリティ]▶端末暗証番号を入力▶設定を選ぶ

[削除]▶削除方法を選ぶ▶端末暗証番号を入力▶[はい]
- ユーザフォルダを削除します。

[データ送信]

▶[赤外線送信]	☞P.385
▶[ｉＣ送信]	☞P.387
▶[Bluetooth送信]	☞P.439
[microSDへ全件コピー]	☞P.371
[お預かりセンターに接続]	☞P.134

[表示切替]
- 表示方法をサムネイル表示／リスト表示に変更します。

[フォルダ新規作成]について
- 全角９文字（半角18文字）まで入力できます。

[フォルダセキュリティ]について
- フォルダセキュリティを設定すると、フォルダに[🔒]のマークが付きます。Bookmark一覧を表示するときは、端末暗証番号を入力します。

■ Bookmark一覧画面のサブメニュー操作

[編集]▶タイトルを編集▶[OK]

[URL表示]
- URLをコピー：URL表示画面で📷

[移動]

▶[１件移動]▶移動先フォルダを選ぶ

▶[選択移動]▶Bookmarkを選ぶ▶📷▶移動先フォルダを選ぶ
- すべてを選択／解除する：MENU▶[全件選択]／[全件選択解除]

▶[フォルダ内全件移動]▶移動先フォルダを選ぶ

[削除]

▶[１件削除]▶[はい]

▶[選択削除]▶Bookmarkを選ぶ▶📷▶[はい]
- すべてを選択／解除する：MENU▶[全件選択]／[全件選択解除]

▶[フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[メール添付]▶メールを作成・送信

[データ送信]

▶[赤外線送信]	☞P.385
▶[ｉＣ送信]	☞P.387
▶[Bluetooth送信]	☞P.439
[microSDへコピー]	☞P.371

[表示切替]
- 表示方法をサムネイル表示／リスト表示に変更します。

[編集]について
- 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

ツータッチサイトを利用する<ツータッチサイト>

Bookmarkをツータッチ登録すると待受画面からすばやく表示できます。

■ ツータッチサイトを登録する<ツータッチサイト登録>

- ツータッチサイトは10件まで登録できます。

1 ノーマルメニューで[ｉモード／web]▶[ツータッチサイト]

2 [未登録]が表示されている番号を選ぶ
- サイトを表示:登録済みのBookmarkを選ぶ
- URLを表示:登録済みのBookmarkにカーソルを合わせる▶[カメラ]

3 Bookmarkを選ぶ
- ｉモードのBookmarkとフルブラウザのBookmarkが混在して表示されます。ｉモードのBookmarkには[i]／[i]が、フルブラウザのBookmarkには[FB]／[FB]が表示されます。

■ ツータッチサイト一覧画面のサブメニュー操作

[ツータッチサイト登録]([未登録]選択時)▶Bookmarkを選ぶ
[ツータッチサイト解除](登録済みのBookmark選択時)
[URL表示] ● URLをコピー:URL表示画面で[カメラ]
[URLコピー]

■ ツータッチサイトを表示する

1 待受画面でツータッチサイトに登録した番号を入力▶[i]

画面メモ

サイトの内容を保存する

お好きなサイトなどの画面を、FOMA端末やmicroSDカードに画面メモとして登録(保存)しておくことができます。
- FOMA端末には画面メモを最大400件、microSDカードには最大1000件まで登録できます。登録できる件数はデータ量によって変わります。登録した画面メモのデータ量が大きいときは、登録できる件数は少なくなります。
- 1件の登録サイズは、ｉモードで最大500Kバイト、フルブラウザで最大3Mバイトです。

1 サイト表示中に[MENU]▶[画面メモ]▶[画面メモ保存]

2 保存先を選ぶ▶[はい]
- 画面メモが登録されます。
- スクリーンキャプチャのみ登録:保存先を選ぶ▶[表示のみ保存]
- 画面メモ登録時、FOMA端末に登録件数分または1件あたりのサイズ分の空き容量がないときは、他の画面メモを上書きするメッセージが表示されます。microSDカードの空き容量がないときは、保存できません。

- 画面メモには、スクリーンキャプチャが含まれています。
- スクリーンキャプチャとは、表示されているサイトのイメージを画像として登録したデータです。
- サイトや画面メモのページ上で選択した項目や入力した文字、ゲームスコア、お客様が更新された記録などの内容は保存されません。
- ページサイズが0バイトのサイトや画面メモ保存不可の指定をしているサイトなど、サイトによっては画面メモに登録できない場合があります。
- FOMA端末に保存した画面メモをmicroSDカードへ移動すると、ページサイズが大きくなるため、メモリの空き容量が少ない場合は画面メモをFOMA端末へ戻せないことがあります。

画面メモを表示する<画面メモ>

1 ノーマルメニューで[ｉモード／web]▶[画面メモ]

2 画面メモを選ぶ
- 前／次の画面メモを表示:画面メモ表示画面で[メール]／[i]
- microSDカードの画面メモを表示:[カメラ]
- ｉモードの画面メモとフルブラウザの画面メモが混在して表示されます。ｉモードの画面メモには[i]が、フルブラウザの画面メモには[FB]が表示されます。
- 画面メモ内のリンクを選んだ場合、ｉモードの画面メモではｉモード接続し、フルブラウザの画面メモではフルブラウザ接続します。
- microSDカードに保存した画面メモの件数が多い場合、表示されるまでに時間がかかります。

- 画面メモに表示される情報は登録した時点の情報です。最新の情報と異なる場合があります。

次ページへ続く▶▶

● microSDカードに保存された画面メモのタイトルは、正しく表示されないことがあります。

■ 各画面メモ画面のタッチパネル操作

● タッチパネルの主な操作については☞P.46
● コントロールボタンで次の操作ができます。

画面メモ一覧画面

⇒SD	microSDカードの画面メモを表示	⇒端末	FOMA端末の画面メモを表示

画面メモ表示画面

進む Next	次のメモを表示	戻る Back	前のメモを表示
部分拡大表示 ON	拡大表示ON	部分拡大表示 OFF	拡大表示OFF

● 次のタッチ操作ができます。

画面メモ表示画面

画面を上下左右にスクロール	上下左右にスライド
画面を上下に大きくスクロール	上下にすばやくスライド
次／前のメモを表示	左右にすばやくスライド

■ 画面メモ一覧画面のサブメニュー操作

[タイトル編集]▶タイトルを編集

[URL表示]
● URLをコピー：URL表示画面で📷

[削除]
▶[1件削除]▶[はい]
▶[選択削除]▶画面メモを選ぶ▶📷▶[はい]
● すべてを選択／解除する：MENU▶[全件選択]／[全件選択解除]
▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[保護／保護解除]
▶[1件保護／保護解除]▶[はい]
▶[選択保護／保護解除]▶画面メモを選ぶ▶📷▶[はい]
● すべてを選択／解除する：MENU▶[全件選択]／[全件選択解除]
▶[全件保護]▶[はい]
▶[全件保護解除]▶[はい]

[microSDへ移動]
▶[1件移動]
▶[選択移動]▶画面メモを選ぶ▶📷
▶[全件移動]

[microSD参照]

[タイトル編集]について
● 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

[全件削除]について
● 保護されている画面メモは削除されません。

[保護／保護解除]について
● microSDカードに保存された画面メモは保護することができません。

■ 画面メモ表示画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、iモード／フルブラウザのサイト表示画面のサブメニュー操作（☞P.180、P.184）を参照してください。
■ 表示（文字サイズ変更、ズーム、表示モード切替、リトライ、文字コード変換、証明書参照、ガイド表示）
■ 機能／画像保存（レイアウト表示、メール作成、電話帳登録、画像保存、ログイン情報、FOMA／Wi-Fi接続切替）
■ ページ操作（ページの先頭に移動、ページの末尾に移動、フレーム表示へ戻る）
■ 設定

[1件削除]

[タイトル編集]▶タイトルを編集
● [タイトル編集]について☞P.192

[保護／保護解除]▶[はい]
● [保護／保護解除]について☞P.192

[キャプチャ表示]
- 画面メモからスクリーンキャプチャを表示します。

[表示]
- [URL表示]
  - URLをコピー：URL表示画面で[📷]

■ **スクリーンキャプチャ表示画面のサブメニュー操作**
- 次の機能については、画面メモ表示画面のサブメニュー操作（☞P.192）を参照してください。
  - ■ 1件削除　■ タイトル編集　■ 保護／保護解除

[URL表示]
- URLをコピー：URL表示画面で[📷]

[画面メモ表示]
- 画面メモがあるスクリーンキャプチャから画面メモを表示します。

[取得元URL接続]
- スクリーンキャプチャを登録したサイトに接続します。

[ガイド表示]▶設定を選ぶ

反転表示された情報を利用する

サイトやメール、トルカなどで反転表示された情報（電話番号、メールアドレス、URLなど）を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示したりできます。また、ワンセグの起動、視聴予約／録画予約、iアプリの起動なども行うことができます。
- パソコンなどから送信されたメールやサイトによっては、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To、Media To機能が使用できないときがあります。
- 位置情報の利用については☞P.336
- 反転表示された情報でも利用できないことがあります。

Phone To（AV Phone To）機能を使う

電話番号の情報を使って、音声電話やテレビ電話の発信、SMS送信ができます。
- ｉモードメール表示中の操作については☞P.154

1 電話番号の情報を選ぶ▶電話をかける

- ダイヤル発信制限中は、Phone To（AV Phone To）機能を利用できません。

Mail To機能を使う

メールアドレスの情報を使って、メールを送ったり、ブログ／SNSの投稿先を登録したりできます。
- ｉモードメール表示中の操作については☞P.154

1 メールアドレスの情報を選ぶ

2 利用方法を選ぶ
- 利用方法は次のとおりです。
  - ■ 新規メール作成：メールを作成・送信できます。
  - ■ 投稿アドレス登録：ブログ／SNS投稿先の登録については☞P.170
- メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。51文字以上のアドレスを選択したときは、50文字で削除されます。

- メールアドレスが2つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できないときがあります。
- ダイヤル発信制限中は、Mail To機能を使ってｉモードメールを送ることはできません。

ｉアプリTo機能を使う

ｉアプリのアドレス（URL）の情報を使って、ｉアプリを起動することができます。

1 ｉアプリのアドレス（URL）の情報を選ぶ▶[はい]
- URLが半角512文字を超えるときは、ｉアプリを起動できません。
- ソフトによっては、ダウンロードが必要なものがあります。

Web To機能を使う

アドレス(URL)の情報を使って、サイトなどを表示することができます。

1 アドレス(URL)の情報を選ぶ

- URLが半角2048文字を超えるときは、サイトなどを表示できません。

■ ｉモードメール表示中にWeb To機能を使う

1 ｉモードメール本文のアドレス(URL)情報を選ぶ

2 接続方法を選ぶ

- ｉモード接続：MENU
- フルブラウザ接続：ｉ

Media To機能を使う

番組情報のリンクからワンセグを起動したり、視聴予約や録画予約ができます。

1 番組情報のリンクを選ぶ

- チャンネル設定をしていない状態でMedia To機能からワンセグを起動しようとすると、チャンネル設定が起動します。

RSSリーダー

RSSリーダーを利用する

フルブラウザでニュースサイトやブログなどが提供するRSSをRSSリーダーに登録しておくと、RSSを更新することで、登録したサイトの最新記事の見出しや概要などを取得できます。

- 最大20件のRSSを登録できます。RSS１件につき最大100件、全体で最大1000件(２Mバイト)の記事を保存できます。

RSSリーダーに登録する<RSS登録>

1 フルブラウザでサイト表示中にMENU▶[機能／画像保存]▶[RSS]▶[RSS登録]

2 登録するRSSを選ぶ▶[はい]▶[はい]

- １件あたりのURLの文字数は、半角2048文字までです。URLの文字数が上限を超えるときは登録できません。
- RSSに対応したサイトでもページ内の記述内容により登録できない場合があります。

RSSリーダーを表示する<RSSリーダー>

1 ノーマルメニューで[ｉモード／web]▶[RSSリーダー]

- 全件更新：📷▶[はい]

マークの意味

- ：未読記事あり
- ：新着記事あり
- ：既読記事のみ、または記事なし

2 RSSを選ぶ

マークの意味

- ：未読記事
- ：未読記事(保護有)
- ：既読記事
- ：既読記事(保護有)

3 記事を選ぶ

- 記事中のアドレスへメール送信する：メールアドレスを選ぶ▶メールを作成・送信
- 記事中のリンクへサイト接続する：リンクを選ぶ▶[はい]
- 記事概要画面では、画像は表示されません。

■ 記事概要画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

OK	項目の実行／決定	▲	上のリンクにカーソルを移動
▼	下のリンクにカーソルを移動	◀	前の記事概要を表示
▶	次の記事概要を表示		

- 次のタッチ操作ができます。

次／前の記事概要を表示	左右にすばやくスライド

■ RSSリーダー一覧画面のサブメニュー操作

[更新]
- ▶[1件更新]▶[はい]
- ▶[選択更新]▶RSSを選ぶ▶📷▶[はい]
- ▶[全件更新]▶[はい]

[タイトル編集]▶タイトルを編集▶[OK]

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶RSSを選ぶ▶📷▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[情報表示]

[更新]について
- クライアントモードでWi-Fi接続中でも、Wi-Fiを使用して更新することはできません。更新にはパケット通信料がかかります。

[タイトル編集]について
- 全角12文字(半角24文字)まで入力できます。

[削除]について
- 保護されている記事があるRSSは削除できません。

■ 記事一覧画面のサブメニュー操作

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶記事を選ぶ▶📷▶[はい]
- ▶[既読全削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[保護設定]▶設定を選ぶ

[すべて既読]▶[はい]

■ 記事概要画面のサブメニュー操作

[文字サイズ設定]▶文字サイズを選ぶ

サイトから各種データ(ファイル)をダウンロードする

サイトから各種データをダウンロードすることができます。

- ｉモードサイトからダウンロード可能なデータ(ファイル)と、ダウンロード可能な最大サイズは次のとおりです。
  - ■ 画像(GIF、JPEG、SWF、BMP、PNG):500Kバイト
  - ■ ｉモーション:10Mバイト
  - ■ 着うたフル®:5Mバイト
  - ■ うた文字:50Kバイト
  - ■ メロディ(SMF、MFi):100Kバイト
  - ■ デコメール®テンプレート:200Kバイト
  - ■ デコメアニメ®テンプレート:100Kバイト
  - ■ 変換パターン(デコメ®アイテム):2Mバイト
  - ■ フォント(デコメ®アイテム):2Mバイト
  - ■ PDFデータ:2Mバイト
  - ■ きせかえツール:2Mバイト
  - ■ マチキャラ:5Mバイト
  - ■ キャラ電:100Kバイト
  - ■ ｉアプリ:2Mバイト
  - ■ ダウンロード辞書:20Kバイト
  - ■ トルカ:1Kバイト
  - ■ トルカ(詳細):100Kバイト
  - ■ メモ(vNote):15Mバイト
  - ■ XMDF形式/テキスト形式の電子書籍(.zbf、.zbk):10Mバイト
  - ■ フォント(TTF):6Mバイト
  - ■ 通常スケジュール/ｉスケジュール(vCalendar):1Mバイト
  - ■ フルブラウザ検索設定ファイル:10Kバイト
  - ■ Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint(.doc、.docx、.xls、.xlsx、.ppt、.pptx):2Mバイト
  - ■ ムービー(Windows Media®ファイル):10Mバイト
  - ■ ムービー(メタファイル):100Kバイト
  - ■ メール(vMessage):15Mバイト

次ページへ続く▶▶

■ 現在地通知先(vInformedlist):15Mバイト
■ オリジナル証明書:100Kバイト

- PDFデータには次のタイプがあり、ダウンロードの操作方法が異なります。
  ■ 保存後に表示するタイプ:ダウンロード保存確認画面が表示され、PDFデータを表示する前にファイル全体をダウンロードし、指定したフォルダに保存します。
  ■ 表示後に保存するタイプ:1ページ目がダウンロードされるとPDF対応ビューアが起動し、PDFデータが表示されます。残りのページのダウンロードも継続されます。また、リンクを選んで他のページに移動するときは、そのページもダウンロードできます。
- 保存可能件数については☞P.556
- 保存先のフォルダを選択できないデータ(ファイル)は、それぞれ所定の保存先に保存されます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータ(ファイル)はmicroSDカードに直接保存することができます(コンテンツ移行対応)。
- メモリの空き容量がないときは保存できません。不要なデータ(ファイル)を削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください。
- microSDカードのフォルダ構成については☞P.367
- お買い上げ時に登録されているデータ(ファイル)やFOMA端末で使用できるダウンロード辞書は、[SH-MODE]からダウンロードできます(☞P.137)。
- フルブラウザ検索設定ファイルのダウンロードについては☞P.422
- フルブラウザサイトからのダウンロードについては☞P.197

画像をダウンロードする<画像保存>

サイトなどから画像やフレーム、スタンプをダウンロードして保存できます。保存した画像は待受画面などに設定できます。

1 サイト表示中にMENU▶[機能/画像保存]▶[画像保存]

2 保存方法を選ぶ

◆ **[画像1件保存]▶画像を選ぶ▶[はい]**
◆ **[画像複数保存]▶画像を選ぶ▶📷▶[はい]**
　・すべてを選択/解除する:MENU▶[全件選択]/[全件選択解除]
◆ **[画像一括保存]▶[はい]**
◆ **[背景画像1件保存]▶画像を選ぶ▶[はい]**
◆ **[背景画像複数保存]▶画像を選ぶ▶📷▶[はい]**
　・すべてを選択/解除する:MENU▶[全件選択]/[全件選択解除]
◆ **[背景画像一括保存]▶[はい]**

3 フォルダにカーソルを合わせる▶📷

- 表示画面に設定するとき:[はい]▶画面設定の種類を選ぶ
  ・待受画面に設定するとき:[はい]▶[待受画面設定]▶設定先を選ぶ▶[はい]
- 画像サイズが20×20ドットでファイル制限なしのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションは、デコメ絵文字®として[デコメ絵文字]フォルダに保存されます。
- 画像複数保存または画像一括保存を行う場合、ファイル制限のある画像やデコメ絵文字®が含まれるときは、保存先にmicroSDカードを選択できません。
- GIF画像とJPEG画像はデータBOXのマイピクチャに、BMP画像とPNG画像は、microSDカード内の[その他]フォルダに保存されます。BMP画像、PNG画像のみを保存するときは、操作3は必要ありません。

- ダウンロードした画像のサイズによっては、待受画面などに設定した場合、すべて表示できないときがあります。
- サイトによっては画像保存できない場合があります。

iモードで各種データ(ファイル)をダウンロードする

1 サイト表示中にデータを選ぶ

2 [保存]

- データによっては、保存先を選ぶ操作が必要なものや各設定操作を行う必要があるものがあります。また、[再生]、[プレビュー]などが表示され、データを確認できるものもあります。
  メロディは、[再生]を選ぶと電話着信音量の音量で再生されます。電話着信音量が[Silent]、[Steptone]のときは、[Level 1]で再生されます。

- メモ、通常スケジュール／ｉスケジュールは、ダウンロード後保存しようとしたときに、メモ、スケジュールなど同じ機能を起動中の場合は保存できません。
- ダウンロードフォントは、フォント選択の[3]～[5]に保存されます（☞P.119）。お買い上げ時は[3]に[SHクリスタルタッチ]が登録されています。

デコメール®テンプレート、デコメアニメ®テンプレートについて
- テンプレートを保存しないと、メールは作成できません。

XMDF形式／テキスト形式の電子書籍について
- 表示できる電子書籍などの種類（拡張子）については☞P.394

■ PDFデータをダウンロードする

1 サイト表示中にPDFデータを選ぶ▶［はい］

2 フォルダにカーソルを合わせる▶📷
- PDFデータ（表示後に保存するタイプ）のとき：PDFデータの表示画面でMENU▶［保存］▶［はい］▶フォルダにカーソルを合わせる▶📷
- ファイルサイズが不明のPDFデータは、ダウンロードできません。
- ページ単位でダウンロードしたPDFデータは、microSDカードに保存できません。
- ダウンロードに失敗したPDFデータでも再度ダウンロードすると表示できます。ただし、再度ダウンロードしても表示できないこともあります。
- しおりやマークが10件を超えると保存や終了ができません。10件以内になるように、しおりやマークを削除してください。

フルブラウザで各種データ（ファイル）をダウンロードする

- フルブラウザからダウンロード可能なデータ（拡張子）と、ダウンロード可能な最大サイズは次のとおりです。ダウンロードする操作方法はｉモードと同様です（☞P.196）。
  - ■ 画像(.gif)：2Mバイト
  - ■ 画像(.jpg、.bmp、.png)：3Mバイト
  - ■ Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint(.doc、.docx、.xls、.xlsx、.ppt、.pptx)：2Mバイト
  - ■ PDF(.pdf)：2Mバイト
  - ■ XMDF形式／テキスト形式の電子書籍(.zbf、.zbk)：10Mバイト

Flash機能について

Flashとは絵や音を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。Flash画像をダウンロードして再生したり、待受画面に設定することもできます。

- 画像表示設定を［表示しない］に設定しているときは、Flash画像は表示されません。
- 待受画面や発着信画面に設定されたFlash画像の効果音は再生されません。
- Flash画像によっては、再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。バイブレータを［OFF］に設定していても振動しますので、ご注意ください。
- Flash画像によっては、サイト内でマルチガイドボタンやダイヤルボタンを押して操作ができるものがあります。
- Flash画像が表示されている場合は、動作が通常のサイトと異なるときがあります。
- 縦／横表示の切替や、ビューアポジションにすることによって、Flash画像は最初から再生されます。Flash画像によっては、入力した文字などが削除される場合があります。
- Flash画像をデータBOX、画面メモ、microSDカードなどに保存／登録して再生した場合、保存箇所によって、サイトなどでの見えかたと異なるときがあります。
- フルブラウザではFlash画像を保存できません。

Flash®Videoとは

Flash®Video（FLV）とは、Adobe Flash Playerで再生できる映像です。
- 再生できるFLVファイルの種類やファイル形式は次のとおりです。

種　類	説　明
プログレッシブ型再生	Flash画像とは別に作成されたビデオデータを配信サーバからダウンロードしながら再生するタイプの方法です。
埋め込み型再生	Flash画像の中に、要素の１つとして、ビデオデータを埋め込むタイプの方法です。

コーデック	ビデオ	Sorenson Spark／On2VP6
	オーディオ	MP3
ビットレート	ビデオ	400Kbps
	オーディオ	96Kbps
ビデオサイズ		QVGA:320×240
フレームレート		15fps

- ｉモード／フルブラウザ中、画面メモ表示中に再生できます。また、データBOXに保存した場合や待受画面などに設定した場合も再生できます（ただし、データBOXに保存した場合や待受画面などに設定した場合に再生できるファイルの種類は、埋め込み型再生のみです）。
- サイトによってはFLVファイルを再生できない場合があります。
- ファイル形式が対応していても、ファイルによってはデータ取得や再生ができない場合があります。
- プログレッシブ型のFLVファイルの保存や画面メモ登録はできません。
- プログレッシブ型のFLVファイルは、最大10Mバイトまで再生できるため、大容量データを受信する可能性があります。データ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。

アップロード

サイトに画像や動画／ｉモーションをアップロードする

FOMA端末またはmicroSDカードに保存されている静止画（JPEG画像、GIF画像）や動画／ｉモーションを、２Mバイトまでアップロードすることができます。

- サイトによって、アップロードできるファイルの種類が異なる場合があります。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像はアップロードできません。
- アップロードの方法はサイトによって異なります。画面表示に従って操作してください。

ｉモード／フルブラウザの設定を行う

ｉモード接続とフルブラウザ接続に関する各種の機能を設定します。

各ブラウザの設定を行う
＜ｉモードブラウザ設定／フルブラウザ設定＞

- ｉモード／フルブラウザで設定できる項目は異なります。
- ｉモードブラウザ設定とフルブラウザ設定のどちらにもある項目を設定する場合、ｉモードの設定をするときはｉモードブラウザ設定、フルブラウザの設定をするときはフルブラウザ設定で設定してください。

1 ノーマルメニューで［ｉモード／web］▶［ｉモード／web設定］▶［ｉモードブラウザ設定］／［フルブラウザ設定］

2 項目を選ぶ

◆ **［画像表示設定］▶設定を選ぶ**
- サイト表示中の画像表示について設定できます。
- ［表示しない］に設定すると、Flash画像も表示されません。

◆ **［サウンド設定］▶ ⓪**
- サイトやFlash画像、画面メモの効果音の音量を調節できます。

◆ **［動画自動再生設定］▶設定を選ぶ**
- ｉモードでｉモーション・ムービーを自動再生するかどうかを設定できます。

◆ **［ページ内データ取得設定］▶設定を選ぶ**
- ｉモーション・ムービーなどのデータを自動取得するかどうかを設定できます。
- ［毎回確認］に設定すると、通信要求があるたびに確認画面が表示されます。

◆ **［Script動作設定］▶設定を選ぶ**

- サイトにJavaScriptが記載されているときに、プログラムを実行させるかどうかを設定できます。

◆ **［端末情報利用設定］▶設定を選ぶ**
- Flash再生時の端末情報利用について設定できます。

◆ **［文字サイズ設定］▶文字サイズを選ぶ**

◆ **［ズーム］▶設定を選ぶ**

◆ **［Cookie／Referer］▶項目を選ぶ**
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ Cookie設定：Cookieの有効、無効を設定できます。
  - ■ Cookie削除：Cookieを削除します。
  - ■ Referer設定：リンクをたどりながらサイトを表示するときに、Referer（リンク元のURL情報）をリンク先のサーバに送信するかどうかを設定できます。

◆ **［タブ自動起動設定］▶設定を選ぶ**
- 新しいタブウィンドウの自動起動について設定できます。

◆ **［ポインタ表示設定］▶設定を選ぶ**
- サイトを表示中に、ポインタを表示するかどうかを設定できます。

◆ **［フルブラウザホーム設定］▶URLを入力**
- 半角2033文字まで入力できます（「http://」などを含む）。

◆ **［表示モード設定］▶表示モードを選ぶ**
- フルブラウザの表示モードを設定します。
- 設定できる表示モードは次のとおりです。
  - ■ ケータイモード：ディスプレイの横幅に合わせて表示します。
  - ■ PCレイアウトモード：パソコン用の画面サイズで表示します。

◆ **［フルブラウザ確認表示］▶設定を選ぶ**
- Bookmark一覧やURL入力履歴一覧などからフルブラウザに接続するときに、確認画面を表示するかどうかを設定できます。

◆ **［フルブラウザ利用設定］▶設定を選ぶ**

◆ **［ショートカット］▶登録する番号を選ぶ▶設定する機能を選ぶ▶📷**
- フルブラウザのサイト表示画面で1～9、0、*、#に割り当てられた機能を変更できます。
- 設定された機能のリセット：ショートカット一覧画面でi▶［はい］

◆ **［自動通信サイズ設定］▶設定を選ぶ**
- フルブラウザでサイトから自動通信要求があった場合、サイトを表示できるサイズの上限を超えるときに確認画面を表示できます。

◆ **［接続切替画面設定］▶設定を選ぶ**
- フルブラウザ利用中、Wi-FiからFOMAネットワークに切替を行うときに、確認画面を表示するかどうかを設定できます。

［Script動作設定］について
- ● JavaScriptとは、ブラウザ上で動作する簡易なプログラミング言語です。お客様の操作に合わせて、サイトの表示を動的に変更するなどダイナミックな表現を行うことができます。例えば、サイト全体を再読み込みすることなく、お客様の操作に応じて地図部分のみをスクロールさせて表示するようなことができるのはJavaScriptによるものです。
- ● JavaScriptを有効にすることで第三者にお客様がサイトに入力した情報やサイトの訪問履歴などが知られる可能性もありますので、十分ご注意ください。

［動画自動再生設定］について
- ● ストリーミングタイプのｉモーション、ムービーは自動再生の設定にかかわらず、常に自動再生されます。
- ● 動画自動再生設定を［自動再生する］に設定しても、ｉモーション、ムービーによっては自動再生されないことがあります。

［Cookie／Referer］について
- ● Cookieとは、サイトに接続したときに、FOMA端末にユーザ名やアクセス日時、アクセス回数などのデータを一時的に記憶するしくみです。次回、同じサイトに接続したときにその情報が参照されます。
- ● Cookieを有効にすることで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ● Cookie設定を［有効］／［毎回確認］に設定しているときに挿入していたドコモUIMカードを別のドコモUIMカードに差し替えると、Cookie設定が［無効］になります。
- ● Refererを使用することで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ● サイトによっては、Refererを送信しないと正しく表示されないことがあります。

ブラウザ共通の設定を行う＜共通設定＞

1 ノーマルメニューで［ｉモード／web］▶［ｉモード／web設定］▶［共通設定］

次ページへ続く

2 項目を選ぶ

◆ **[証明書設定]▶P.202**

◆ **[各社発行証明書設定]▶P.202**

◆ **[セキュア通信サービス設定]▶項目を選ぶ**

・設定できる項目は次のとおりです。

■ ユーザ証明書操作:ユーザ証明書操作については☞P.203

■ センター接続先設定:センター接続先設定については☞P.204

■ 暗証番号入力省略設定:暗証番号入力省略設定については☞P.204

◆ **[接続先設定]▶P.200**

◆ **[ｉモードボタン設定]▶設定を選ぶ**

・待受画面でⓘを押したときにｉMenuを表示するか、ｉモードメニューを表示するかを設定できます。

◆ **[ログイン情報登録]▶P.187**

◆ **[自動レイアウト表示設定]▶設定を選ぶ**

・ポインタ移動によるページスクロール中に自動的にレイアウト(ページ全体)を表示するかどうかを設定できます。

◆ **[ポインタ移動距離設定]▶設定を選ぶ**

・サイト表示中のポインタが移動する距離を設定できます。

◆ **[ポインタ加速度設定]▶設定を選ぶ**

・サイト表示中のポインタ移動に加速度を設定できます。

◆ **[Bookmark表示設定]▶設定を選ぶ**

・Bookmarkの表示方法を設定できます。

◆ **[スクロール設定]▶設定を選ぶ**

・サイト表示中に◎でスクロールするときの幅を設定できます。

・ポインタ表示設定が[表示しない]のときのみ有効です。

◆ **[新規タブ開き方設定]▶設定を選ぶ**

・新しいタブを開いたときの動作を設定できます。

[証明書設定]について

● CA証明書を無効にすると、そのCA証明書を使用するSSL/TLSページは表示できません。

[ｉモードボタン設定]について

● 国際ローミング中は設定にかかわらずｉモードメニューが表示されます。

[自動レイアウト表示設定]について

● ポインタ表示設定を[表示しない]に設定すると、自動レイアウト表示されません。

ｉモードから接続先を変更する(ISP接続通信)

<接続先設定>

※通常は、設定を変更する必要はありません。

■ ISP接続通信とは

ドコモのFOMA端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ(ISP)への接続が可能になります。ISP接続通信のご利用に際しては、パケット通信サービスのお申し込みが必要です。なお、ISP接続通信にはパケット通信料がかかります。

● ｉモードをご契約しているお客様はお申し込み不要です。

■ プロバイダ契約について

● ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容(サイト接続、インターネット接続、メール機能など)、お申し込み方法については、各プロバイダにお問い合わせください。

● プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかるときがあります。

● お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダにお客様の電話番号や位置情報が通知されるときがあります。

● 登録できる接続先は10件までです([ｉモード]を含まず)。

● [ｉモード]以外の接続先にすると、ｉモードをご利用できなくなります。

■ 接続先を登録する

1 ノーマルメニューで[ｉモード/web]▶[ｉモード/web設定]▶[共通設定]▶[接続先設定]

・設定されている接続先には☑、登録されている接続先には□が表示されます。

2 登録する番号にカーソルを合わせる▶MENU

3 **端末暗証番号を入力**

4 **各項目を設定**

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 接続先名称入力:接続先名称を入力します。
    - ・全角８文字(半角16文字)まで入力できます。
  - ■ 接続先番号入力:接続先番号を入力します。
    - ・半角99文字(半角英数字と記号)まで入力できます。
  - ■ 接続先アドレス入力:接続先のアドレスを入力します。
    - ・半角30文字(半角英数字と記号)まで入力できます。
  - ■ 接続先アドレス２入力:ｉチャネルの接続先のアドレスを入力します。
    - ・半角30文字(半角英数字と記号)まで入力できます。

5 **[カメラ]▶[カメラ]**

- 入力した内容をすべて削除:[MENU]

■ 接続先を変更する

1 **ノーマルメニューで[ｉモード/web]▶[ｉモード/web設定]▶[共通設定]▶[接続先設定]**

2 **接続先を選ぶ▶[カメラ]**

ｉモード設定確認

ｉモード/フルブラウザ機能の設定状況を確認する

1 **ノーマルメニューで[ｉモード/web]▶[ｉモード/web設定]▶[ｉモード設定確認]**

ｉモード設定リセット

ｉモード/フルブラウザ機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

- 次の項目がリセットされます。
  - ■ 画像表示設定
  - ■ サウンド設定
  - ■ 動画自動再生設定
  - ■ ページ内データ取得設定
  - ■ Script動作設定
  - ■ 端末情報利用設定
  - ■ 文字サイズ設定
  - ■ ズーム
  - ■ Cookie/Referer(Cookie設定、Referer設定)
  - ■ タブ自動起動設定
  - ■ ポインタ表示設定
  - ■ フルブラウザホーム設定
  - ■ 表示モード設定
  - ■ フルブラウザ確認表示
  - ■ フルブラウザ利用設定
  - ■ ショートカット
  - ■ 自動通信サイズ設定
  - ■ 接続切替画面設定
  - ■ 証明書設定
  - ■ 各社発行証明書設定
  - ■ セキュア通信サービス設定(センター接続先設定、暗証番号入力省略設定)
  - ■ 接続先設定
  - ■ ｉモードボタン設定
  - ■ ログイン情報登録
  - ■ 自動レイアウト表示設定
  - ■ ポインタ移動距離設定
  - ■ ポインタ加速度設定
  - ■ Bookmark表示設定
  - ■ スクロール設定
  - ■ 新規タブ開き方設定

1 **ノーマルメニューで[ｉモード/web]▶[ｉモード/web設定]▶[ｉモード設定リセット]**

2 **端末暗証番号を入力▶[はい]**

SSL/TLS証明書を操作する

SSL/TLSページを表示する際は次の証明書が必要です。

- CA証明書…認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時にFOMA端末内に保存されています。
- ドコモ証明書…FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、ドコモUIMカード内に保存されています。
- ユーザ証明書…FOMA端末内のFirstPassセンターのメニューを選択してFirstPassセンターからダウンロードした証明書です。ドコモUIMカード内に保存されます。
- オリジナル証明書(各社発行証明書)…各企業や自治体などが発行した証明書で、ダウンロードするとFOMA端末内に保存されます。ダウンロードした証明書に対応しているサイトで利用できます。

証明書の有効／無効を設定する

<証明書設定／各社発行証明書設定>

1 **ノーマルメニューで[ｉモード／web]▶[ｉモード／web設定]▶[共通設定]▶[証明書設定]／[各社発行証明書設定]**

2 **証明書にカーソルを合わせる▶[カメラ]**

- ☑は有効、□は無効の状態です。
- ドコモ証明書２の有効／無効を設定することはできません。
- 証明書の内容の表示：証明書を選ぶ
  - オリジナル証明書の場合は内包されている証明書の一覧が表示されます。それぞれの証明書の内容を表示するときは、証明書を選んでください。
- オリジナル証明書の削除：オリジナル証明書にカーソルを合わせる▶[i]▶[はい]
- チェーン切れのオリジナル証明書には[✕]が表示されます。

- CA証明書を無効にすると、そのCA証明書を使用するSSL／TLSページは表示できません。

FirstPassの設定を行う

FirstPass対応のサイトなどに接続する際は、ユーザ証明書が必要です。ユーザ証明書は、お客様がFOMAと契約されていることを証明するもので、FirstPassセンターからユーザ証明書の発行を申請したり、ダウンロードしたりできます。ダウンロードしたユーザ証明書はドコモUIMカードに保存され、クライアント認証に対応しているサイトなどで利用できます。

- FOMAデータプランではｉモードブラウザからのSSL／TLSクライアント認証の機能はご利用になれません(ISP接続通信でご利用のときは、料金プランにかかわらずご利用いただけます)。
- FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻を正しく設定してください。
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassは、海外ではご利用できません。

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、ドコモUIMカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分にご注意ください。
- ドコモUIMカードの紛失、盗難にあったときなどは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。
- ｉモード通信によるFirstPass対応サイトへのアクセスに発生するパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスに含まれます。

クライアント認証について

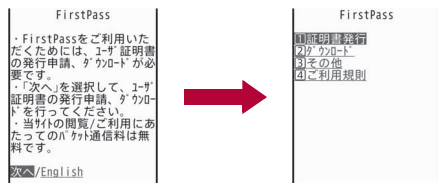
- FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバ認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証を受けることで、より安全に通信サービスを受けられます。

■ FirstPassセンターに接続する<ユーザ証明書操作>

ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターから行います。

1 ノーマルメニューで［ｉモード／web］▶［ｉモード／web設定］▶［共通設定］▶［セキュア通信サービス設定］▶［ユーザ証明書操作］▶［次へ］

FirstPass
・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを行ってください。
・当サイトの閲覧/ご利用にあたってのﾊﾟｹｯﾄ通信料は無料です。
次へ/English

FirstPass
1証明書発行
2ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ
3その他
4ご利用規則

- FirstPassを利用する前には、［ご利用規則］を選択し、記載内容をよくお読みください。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- FirstPassセンターへ接続中は、次の機能を利用できません。
  - ■ ｉモードメールの送受信（SMSの受信／返信は利用可）
  - ■ メール／メッセージ問合せ（SMS問合せ）
  - ■ メッセージR／Fの受信
  - ■ ｉモーションの取得
  - ■ Web To機能

■ FirstPassセンター表示画面のサブメニュー操作

［文字コード変換］
- サイトの文字が正しく表示されないときは、正しい文字に変換して再表示します。
- ［文字コード変換］について☞P.181

［証明書参照］▶証明書を選ぶ
- サイトのサーバ証明書を表示します。
- ［証明書参照］について☞P.181

■ ユーザ証明書の発行を申請して、ダウンロードする

1 FirstPassセンターに接続▶［証明書発行］

がお客様に損害賠償義務を負う場合といえども、当社が負担すべき損害賠償額は、当社の責に帰すべき事由に基づきお客様に発生した現在かつ通常の損害に限り、かつ一つのﾕｰｻﾞ証明書に起因する損害賠償額の総額は、FOMAｻｰﾋﾞｽ基本使用料の1か月分を上限とします。
「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。
実行/ﾒﾆｭｰ

2 ［実行］▶PIN2コードを入力

FirstPass
証明書の発行申請が完了しました。ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ操作を行ってください。
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ/ﾒﾆｭｰ

3 ［ダウンロード］▶［実行］

FirstPass
証明書のﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが完了しました。
ﾒﾆｭｰ

- ユーザ証明書を新規および更新でダウンロードするときは、どちらも必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。

■ ユーザ証明書の失効を申請する

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

1 FirstPassセンターに接続▶［その他］▶［証明書失効］▶送信するユーザ証明書を選ぶ▶［はい］

2 PIN2コードを入力▶［実行］▶［次へ］▶［実行］

- 失効申請が完了すると、FirstPass対応サイトは表示できなくなります。
- 失効が完了したユーザ証明書を有効にするときは、再びユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。

ユーザ証明書を使ってサイトに接続する

1 **FirstPass対応のサイトを表示▶[はい]**

2 **PIN2コードを入力**

- ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応のサイトなどに接続したときは、接続するかどうかの確認画面が表示されます。[いいえ]を選択するとSSL／TLS通信が切断されます。FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードしてから再び接続してください。
- ユーザ証明書の有効期限が切れているときは、継続するかどうかの確認画面が表示されます。[いいえ]を選択すると元のページに戻ります。FirstPassセンターでユーザ証明書を更新してから再び接続してください。

証明書発行接続先を変更する<センター接続先設定>

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

※通常は、設定を変更する必要はありません。

1 **ノーマルメニューで[ｉモード／web]▶[ｉモード／web設定]▶[共通設定]▶[セキュア通信サービス設定]▶[センター接続先設定]**

2 **項目を選ぶ**

◆ **[ドコモ]**

◆ **[接続先]▶各項目を設定▶MENU**

・設定できる項目は次のとおりです。

■ 認証局URL：認証局のURLを入力します。

・半角99文字（半角英数字と記号）まで入力できます。

■ ユーザ設定初期画面URL：ユーザ設定初期画面のURLを入力します。

・半角100文字（半角英数字と記号）まで入力できます。

オリジナル証明書の設定を行う

■ オリジナル証明書をダウンロードする

- 5件、合計500Kバイトまでのオリジナル証明書をダウンロードできます。

1 **サイト表示中に証明書を選ぶ▶[はい]**

- パスワードの入力画面が表示されたとき：パスワードを入力▶[OK]
- パスワードの入力を3回連続して間違えるとオリジナル証明書を保存できません。

■ 暗証番号を省略して接続する<暗証番号入力省略設定>

オリジナル証明書を利用するときは、端末暗証番号を入力することで認証を行います。認証が完了したオリジナル証明書を再び利用するときに、端末暗証番号の入力を省略するかどうかを設定します。

1 **ノーマルメニューで[ｉモード／web]▶[ｉモード／web設定]▶[共通設定]▶[セキュア通信サービス設定]▶[暗証番号入力省略設定]**

2 **設定を選ぶ**

ｉモーション･ムービー／ｉチャネル／ｉコンシェル

ｉモーション･ムービー

ｉチャネル

ｉコンシェル

i モーション･ムービー

FOMA端末のｉモーションプレーヤー、インターネットムービープレーヤーを利用して、サイトなどから取得したｉモーション、ムービーを再生できます。

ｉモーション

ｉモーションとは、映像や音声、音楽のデータです。ｉモーション対応サイトなどから、FOMA端末に取得し、再生することができます。ｉモーション対応サイトは、ｉMenuの[メニューリスト]から探すこともできます。

- 再生できるｉモーションは次のとおりです。

タイプ	説　明
標準タイプ（保存可※1）※2	データを取得してから再生します。
	データを取得しながら再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）	データを取得しながら同時に再生します（最大10Mバイト）。再生し終わったデータは破棄され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※1　ｉモーションによっては、標準タイプでも保存できないもの（再生できないデータなど）があります。

※2　標準タイプには、1回の操作で取得する500Kバイト以下のものと、何らかの原因で取得が中断されても分割して取得可能な10Mバイト以下のものがあります。

■ ｉモーションを着信音や着信画像に設定したとき

- 音声のみのｉモーション（映像なし）は、着信画像に設定できません。
- 映像のみのｉモーション（音声なし）は、着信音に設定できません。
- 映像と音声を含むｉモーションを着信音に設定すると、着信画像は[着モーション]になります。
- 着信画像に映像のみのｉモーション、効果音のあるFlash画像を設定している場合、着信音に音声のみのｉモーション、着うたフル®を設定すると着信画像には[標準画像]が設定されます。
- 着信音に映像と音声を含むｉモーションを設定している場合、着信音をメロディ、ミュージック、または音声のみのｉモーションに変更したとき、着信画像には[標準画像]が設定されます。
- 着信音に音声のみのｉモーション、着うたフル®を設定している場合、着信画像に映像のみのｉモーション、効果音のあるFlash画像を設定すると着信音には[着信音1]が設定されます。
- 着信画像に[着モーション]を設定している場合、着信画像を[着モーション]以外に変更したとき、着信音には[着信音1]が設定されます。
- ｉモーションによっては設定できないものがあります。設定の可否はデータの[情報表示]から確認できます（☞P.380）。

ムービー

インターネット上のポータル系サイトや動画専門サイトなどで提供されている動画（ムービー）は、FOMA端末のインターネットムービープレーヤーで再生できます。

- インターネットムービープレーヤーはWindows Media Video、Windows Media Audioの再生に対応しています。
- フルブラウザでの容量制限のないストリーミングタイプのムービーなど、送受信データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
- 再生できるムービーの配信方式やファイル形式は次のとおりです。

タイプ	配信方式	説　明
ストリーミングタイプ	ライブ配信	ムービーがリアルタイムで配信されます。一時停止、早送り、早戻し、再生開始位置のジャンプはできません。
	オンデマンド配信	あらかじめサーバ上に用意されたムービーが配信されます。

項目		内容
ファイル形式		Windows Mediaファイル メタファイル：WVX、WAX、ASX メディアデータ：WMV、WMA、ASF
ビデオコーデック		WMV9　MP@LL
	最大ビットレート	14Mbps
	最大フレームレート	30fps
	映像サイズ	80×80～1280×720
オーディオコーデック		WMA Standard L3 Profile（ver.2～9）
	ビットレート	5～384kbps

● ムービーは保存できません。
● サイトによっては動作環境(ブラウザ種別、OS種別など)を確認する場合があり、FOMA端末で再生できないことがあります。
● メタファイル内に複数のムービーが含まれる場合、i モードでは最初のムービーのみ再生されます。
● パソコンなどを利用してmicroSDカードのインポートフォルダに保存したムービーも再生できます。

iモーション・ムービー取得

サイトからｉモーション・ムービーを取得する

サイトからｉモーション、ムービーを取得できます。

サイトからｉモーションを取得して再生する

● HDMI接続したテレビにｉモーションを表示することができます(☞P.398)。
● 市販のBluetooth機器を接続すると、ｉモーションの音声をBluetooth機器から再生できます(☞P.437)。

1 サイト表示中にｉモーションを選ぶ

標準タイプのとき
- 動画自動再生設定[自動再生する]:取得中または取得後に再生
- 動画自動再生設定[自動再生しない]:取得後に、[再生]/[保存]などを選択

ストリーミングタイプのとき
- [はい]▶ｉモーション再生

● サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているｉモーションを、microSDカードに移動できます。ただし、取得元のサイトによっては移動できないこともあります。
● データを取得しながら再生できるｉモーションの場合、電波状況などにより再生できなくなったときでも、ｉモーションの取得完了後に再生できます。
● ｉモーションのデータ取得中に、電波状況により再生が停止したり、画像が乱れたりすることもあります。
● FOMA端末の日付・時刻情報がリセットされた場合(☞P.61)、再生期限/再生期間が決められているｉモーションは、再生できません。
● 再生期間、再生期限、再生回数が設定されたｉモーションには、再生可能な条件が表示されます。それらの期限を過ぎたり、回数を超えると再生できません。
● ｉモーションによっては、データを取得しても正しく再生できないことがあります。

■ ｉモーション取得再生画面のサブメニュー操作

[保存] ☞P.208

[Dolby Mobile 設定]▶設定を選ぶ
● [オリジナル]を選択したときは、項目を選択して📷

[Bluetooth出力] ☞P.437

[チャプター一覧]▶チャプターを選ぶ
● チャプターを選択して再生します。

[情報表示]

[ｉモーション・ムービー設定]
▶[表示サイズ切替]▶設定を選ぶ
▶[ライトアップ]
▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
● 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。
▶[送り速度指定]▶設定を選ぶ
● 早送り/早戻しの速度を設定します。
▶[コマ送り幅指定]▶送り幅を選ぶ

[Dolby Mobile 設定]について
● Dolby Mobile 設定は、ステレオイヤホン(別売)使用時に有効です。

[情報表示]について
● ｉモーションによって、表示される項目は異なります。

[表示サイズ切替]について
● 表示されるサイズが「480未満×392未満」のときに、表示サイズを[拡大]に切り替えることができます。

[コマ送り幅指定]について
● 音声のみのｉモーションなど、[細かい]に設定しても無効となり、[大まか(高速)]でコマ送りされるｉモーションがあります。

■ iモーションを保存する<保存>

- FOMA端末には200件まで保存できます。iモーションのサイズによっては、保存できる件数が変わります。
- iモーションはデータBOXのiモーション･ムービーの[iモード]フォルダに保存されます。microSDカードに保存できるiモーションは、[iモーション･ムービー]フォルダ内の[移行可能コンテンツ]フォルダに保存できます(コンテンツ移行対応)。
- 保存したiモーションは、iモーションプレーヤーで再生できます。

1 取得したiモーションの再生／一時停止中にMENU▶[保存]

- iモーションの再生が終了したとき:[保存]

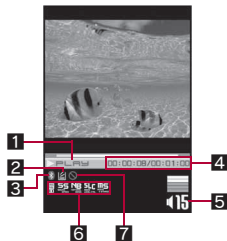
2 フォルダにカーソルを合わせる▶📷

サイトからムービーを取得して再生する <インターネットムービープレーヤー>

- HDMI接続したテレビにムービーを表示することができます(☞P.398)。
- 市販のBluetooth機器を接続すると、ムービーの音声をBluetooth機器から再生できます(☞P.437)。

1 サイト表示中にムービーを選ぶ▶[はい]

- ムービーによっては、操作が異なる場合があります。
- microSDカードのインポートフォルダのムービーを再生:ノーマルメニューで[便利ツール]▶[microSD]▶[インポート]▶[iモーション･ムービー]▶ムービーを選ぶ
- ホームネットワークからのストリーミング再生については☞P.489
- ムービー再生画面が表示されます。再生が終了すると、元の画面に戻ります。

1 2 3 4 5 6 7

ムービー再生画面

1 再生状態

▶PLAY:再生中
IIPAUSE:一時停止中
■STOP:停止中
▶▶FF:早送り中
◀◀FR:早戻し中

2 バッファリング中

:バッファリング中

3 Bluetooth出力

:Bluetooth出力中

4 再生時間／総再生時間

- ライブ配信の場合、総再生時間は表示されません。

5 音量

15:0(音量0)～25(音量25)

- ミュート中は、数字の上に[⊘]が重なって表示されます。

6 Dolby Mobile 設定

:Virtual5.1ch(イヤホン)
:ノーマル
:ニュース
:スポーツ
:ドラマ
:バラエティ
:ミュージック
:映画
:オリジナル

オリジナルの設定項目を選んだ場合

:サウンドスペース
:ナチュラルベース
:サウンドレベルコントローラ
:モノラル→ステレオ

7 再生位置指定操作不可

⊘:早送り、早戻し、再生開始位置にジャンプの操作は不可

■ ムービー再生画面のボタン操作

一時停止／再生	●
音量調節(音量0～25)※1	◎
ミュート／解除	✓
早戻し	◎(1秒以上)

早送り	(1秒以上)
前コンテンツへ戻る※2	
次コンテンツへ進む※2	
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ	1:先頭 2～9:総再生時間の約1/9ずつ先の位置
表示切替(全画面モード⇔通常モード)	
終了※3	▶[はい]

※1　ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。
※2　ホームネットワークからのストリーミング再生中のみ操作できます。
※3　microSDカードのインポートフォルダのムービーのときは、を押すと停止します。

- 通常ポジションで全画面モード中はとの操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持って操作してください。

- ライブ配信のムービーやホームネットワークからの再生など、ムービーによっては操作が制限されたり、操作後の再生開始位置がずれるものがあります。
- 回線速度・回線状況・電波環境により、再生が途中で止まったり、画像が乱れたりするときがあります。
- 電池残量が少ない場合は、再生開始時や再生中に、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、ご使用状態によっては充電中に確認画面が表示されることがあります。
- 電波状況によって接続が中断されたときは、再生確認画面が表示され、再生方法を選ぶことができます。
- 再生中に着信やアラームが動作したり、他の機能の操作を行ったりすると、再生が停止することがあります。通話や操作を終了すると、サイト接続中は、再生確認画面が表示され、再生方法を選ぶことができます。microSDカードのインポートフォルダのムービーを再生中は、停止中画面に戻ります。

ライセンス「WMDRM(Windows Media digital rights management)」について

- ライセンスにより保護されたムービーを再生できます。ただし、ライセンス設定によっては、FOMA端末で再生できないときがあります。

■ ムービー再生画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

長押 Hold	早送り※1※2		一時停止/再生※1
長押 Hold	早戻し※1※2		前のコンテンツへ戻る※3
	次のコンテンツへ進む※3	停止 Stop	終了※4
画面サイズ切替 Change Screen	表示切替(全画面モード⇔通常モード)		

※1　ライブ配信などの操作が制限されたムービーでは表示されない場合があります。
※2　ロングタッチします。
※3　ホームネットワークからのストリーミング再生中のみ操作できます。
※4　microSDカードのインポートフォルダのムービーのときは停止します。

- 次のタッチ操作ができます。

音量調節	上下にすばやくスライド
前のコンテンツへ戻る※	右にすばやくスライド
次のコンテンツへ進む※	左にすばやくスライド
ミュート/解除	音量アイコンをタッチ

※ ホームネットワークからのストリーミング再生中のみ操作できます。

■ ムービー再生画面のサブメニュー操作

[Dolby Mobile 設定]▶設定を選ぶ
- [オリジナル]を選択したときは、項目を選択して

[Bluetooth出力]　☞P.437

[情報表示]

[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
- 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

[全画面モード切替]

[Dolby Mobile 設定]について
- Dolby Mobile 設定は、ステレオイヤホン使用時に有効です。

[情報表示]について
- ムービーによって、表示される項目は異なります。

iチャネル

ニュースや天気などの情報がiチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。また、iチャネル対応ボタンを押すことで最新情報がチャネル一覧に表示されます(チャネル一覧の表示方法は☞P.210)。
iチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです(お申し込みにはiモード契約が必要です)。
また、iチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP(情報サービス提供者)が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」、「おこのみチャネル」共に、詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。
iチャネルの詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

iチャネルを表示する

iチャネルを契約し、iチャネル情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。詳しい情報を見たいときは、チャネル一覧からサイトに接続して詳細情報を入手できます。
- iチャネル表示中の操作は、iモードのサイト表示中の操作と基本的な部分は同様です。

1 待受画面でCLR(ch)
- ノーマルメニューでは:[iモード/web]▶[iチャネル]▶[iチャネル一覧]
- iチャネルテロップをタッチしても表示できます。

2 チャネルを選ぶ

最新情報の受信について
- 電源が入っていない場合や圏外のときは、情報を受信できません。チャネル一覧を表示したときに情報を受信すると、待受画面でテロップが流れます。
- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したときに情報を受信することがあります。

iチャネルの接続先変更について
- iモード/web設定の共通設定の接続先設定で、iチャネルの接続先を設定できます。通常は、設定を変更する必要はありません。
- iチャネルの接続先を変更すると、iチャネルテロップは表示されなくなります。ただし、チャネル一覧を表示すると最新の情報を受信し、iチャネルテロップが表示されます。
- iチャネルの接続先変更後、情報が自動更新されないときがあります。最新の情報を受信したいときは、チャネル一覧を表示してください。

■ iチャネル一覧画面のサブメニュー操作

[リトライ]
- Flash画像やGIFアニメーションの再生をやり直します。

[サウンド設定] ☞P.198

[タブ操作]
- ▶[新しいタブで開く] ☞P.186
- ▶[タブを閉じる]▶閉じるタブウィンドウを選ぶ▶[はい]
- ▶[タブ切替]▶表示するタブウィンドウを選ぶ

[ポインタ表示設定] ☞P.198

[サウンド設定]について
- iチャネルの音量は、iモード/web設定のiモードブラウザ設定のサウンド設定と連動しています。

テロップ表示設定

ｉチャネルの表示について設定する

待受画面やサブディスプレイにｉチャネルテロップを表示するかどうかを設定します。

1 ノーマルメニューで[ｉモード／web]▶[ｉチャネル]▶[テロップ表示設定]

2 テロップの表示先を選ぶ▶各項目を設定▶📷

- [メイン画面]を選択した場合は、画面下部にテロップの見本が表示されます。

- テロップ表示設定と、カレンダー／待受カスタマイズや待受メモ表示設定を同時に設定しても、ｉチャネルテロップは表示されます。
- 2in1利用時は、2in1のモードごとにｉチャネルテロップを表示するかどうかを設定できます。
- 次の場合は、待受画面にｉチャネルテロップが表示されません。
  - ■ 待受画面に設定しているｉモーションの再生中
  - ■ ｉアプリ待受画面起動中
  - ■ オールロック中
  - ■ パーソナルデータロック中
  - ■ 公共モード(ドライブモード)中
- テロップ色を[きせかえに従う]に設定すると、きせかえツールで設定した色に変更されます。きせかえツールで色を設定していない場合、[パターン1]に設定されます。

ｉチャネル初期化

ｉチャネルの設定をお買い上げ時の状態に戻す

受信したｉチャネル情報を初期化し、テロップ表示設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 ノーマルメニューで[ｉモード／web]▶[ｉチャネル]▶[ｉチャネル初期化]

2 端末暗証番号を入力▶[はい]

- ｉチャネルテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、待受画面でCLR(ch)を押して最新の情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。

ｉコンシェル

「ｉコンシェル」とは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ(お住まいのエリア情報、メモ、スケジュール、トルカ、電話帳など)をお預かりし、メモやスケジュールの内容、生活エリアやお客様の居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末に保存されたメモやスケジュール、ToDoに対して、関連する情報をお伝えしたり、スケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。また、お預かりしているスケジュールや画像を友達や家族などのグループと共有することができます。お預かりしている画像は簡単にプリントすることもできます。ｉコンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ(待受画面上のキャラクタ)がお知らせします。

■ ｉコンシェルのご利用にあたって

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです(お申し込みにはｉモードの契約が必要です)。
- ケータイデータお預かりサービス(☞P.132)のご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- コンテンツ(インフォメーション、ｉスケジュールなど)によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。

- ｉコンシェルを海外でご利用になる場合は海外利用設定が必要となります。
  ノーマルメニューで[ｉコンシェル] ▶ [設定] ▶ [基本設定] ▶ [プロフィール設定／海外利用設定] ▶ [海外利用設定]
- ｉスケジュール・メモ・トルカ・電話帳の自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ ポップアップメッセージが表示されたときは

インフォメーションを受信したり、今日の予定通知設定時刻、スケジュールアラーム設定時刻になると、待受画面にポップアップメッセージを表示してお知らせします。

- FOMA端末が圏内にあるときには、自動的にインフォメーションが送られてきます。
- インフォメーションは、50件まで保存できます。50件を超えたときは、古いインフォメーションから順に上書きされます。
- 一度に複数のインフォメーションを受信しても、ポップアップメッセージには最新の１件のみが表示されます。

1 待受画面にポップアップメッセージ表示 ▶ ◉

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

2 ポップアップメッセージを選ぶ

- インフォメーション一覧画面／今日の予定一覧画面を表示するとポップアップメッセージは消えます。

インフォメーションの場合

- 受信したインフォメーションがインフォメーション一覧画面に表示されます。
- 未読インフォメーションには、[◐]が表示されます。
- ドコモ提供サービス設定が[利用しない]に設定されている場合、エリア連携サービスを利用するかどうかを確認する画面が表示されます。[利用する]を選択すると、設定確認画面が表示されます。

インフォメーション一覧画面

- 詳細な情報を入手するときは◉を押してください。
  - トルカの場合：添付されたトルカやトルカ（詳細）を表示できます。トルカをまだダウンロードしていない場合は、すぐにダウンロードできます。トルカ情報が更新されたときは、全トルカ一覧画面が表示されます。
  - スケジュールの場合：添付されたスケジュールを表示できます。スケジュールをまだダウンロードしていない場合は、すぐにダウンロードできます。
  - 電話帳の場合：電話帳が更新されたときは、電話帳が表示されます。
  - その他：リンクがあるときは、サイトに接続して詳細情報を表示することができます。

今日の予定通知メッセージの場合

- 今日の予定一覧画面が表示され、天気情報や今日の予定などを確認できます。
- 詳細な情報を入手するときは項目を選択してください。

今日の予定一覧画面

スケジュールアラームの場合

- メモ詳細画面が表示されます。

- 待受画面に設定しているｉモーションの再生中や、ｉアプリ待受画面実行中は、ポップアップメッセージが表示されません。

- オールロック中やパーソナルデータロック中、おまかせロック中は、ポップアップメッセージが表示されません。ロックを解除すると表示されます。
- ポップアップメッセージを選択したとき、サイトに接続する場合があります。
- 次の場合は、スケジュールアラーム設定時刻になってもポップアップメッセージが表示されません。
  - ■ 待受画面以外を表示しているとき
  - ■ アラーム音にｉモーションを設定しているとき
  - ■ マチキャラ設定の表示設定が[OFF]に設定されているとき
- 他の機能を起動中にインフォメーションを受信したときの動作は次のとおりです。
  - ■ インフォメーション受信中画面が表示され、受信終了後にインフォメーション受信完了画面が表示されます（[Ⓒ]表示）。
  - ■ インフォメーション受信完了画面で[確認]を選択すると、ｉコンシェル画面が表示されます。
  - ■ ｉコンシェル画面でインフォメーションを受信した場合、インフォメーション受信完了画面で[確認]を選択すると、ｉコンシェル画面が最新の状態に更新されます。
  - ■ インフォメーション受信完了画面で⌐または CLR を押すと、受信前の画面に戻ります。待受画面に戻ったときにポップアップメッセージが表示されます。
  - ■ メール設定の受信・自動送信表示に従い動作します。ただし次の場合は、[通知優先]に設定してもインフォメーション受信中画面とインフォメーション受信完了画面は表示されません。
    - ・通話中　・ｉアプリ起動中
    - ・カメラ起動中（バーコードリーダーを除く）
    - ・GPS測位中　・パターンデータ更新中
    - ・ムービー再生中　・エリアメール自動表示中
    - ・microSDカード参照中　・HDMI出力中　・音声入力中
    - ・ｉモーション取得中（ストリーミングタイプ）
    - ・ｉウィジェット起動中

■ インフォメーションを削除する

1 インフォメーション一覧画面でインフォメーションにカーソルを合わせる ▶ 📷 ▶ [はい]

- インフォメーションによっては削除できないものがあります。

■ 予定について設定する

1 今日の予定一覧画面で予定にカーソルを合わせる ▶ 📷

2 各項目を設定 ▶ 📷

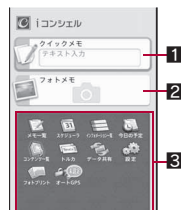
- 項目の切替：✥

ｉコンシェル

ｉコンシェル画面を表示する

ｉコンシェル画面では、クイックメモやフォトメモを作成できます。また、メモやトルカを確認したり、リンクを選択してサイトへ接続したりすることもできます。

ｉコンシェル
クイックメモ
テキスト入力
フォトメモ
メモ一覧　スケジュール　インフォメーション一覧　今日の予定
コンテンツ一覧　トルカ　データ共有　設定
フォトプリント　オートGPS

1 クイックメモ
2 フォトメモ
3 機能アイコン

ｉコンシェル画面

1 ノーマルメニューで[ｉコンシェル]

2 機能アイコンを選ぶ

- インフォメーションを確認するには☞P.212
- スケジュールの確認については☞P.417
- メモの確認については☞P.428
- トルカの表示については☞P.317
- ドコモ提供サービスの設定については☞P.333

■ クイックメモを作成する

1 ｉコンシェル画面で[クイックメモ]▶文字を入力
- 入力した内容が件名に登録されます。

■ フォトメモを作成する

1 ｉコンシェル画面で[フォトメモ]▶◉▶◉
- 撮影した静止画が添付するフォトに登録され、撮影日をもとにした件名が登録されます。

ｉコンシェルの設定を行う

インフォメーションを設定します。
- ｉコンシェル着信音の設定については☞P.103

待受画面へのインフォメーション表示設定を行う <インフォメーション表示設定>

インフォメーションを受信したときに、待受画面にポップアップメッセージを表示してお知らせします。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[待受画面設定]▶[インフォメーション表示設定]

2 設定を選ぶ

お預かりセンター

トルカ・スケジュールなどをお預かりセンターにバックアップ（更新）する

FOMA端末に保存されている電話帳・トルカ・メモ・スケジュール・Bookmarkをお預かりセンターにバックアップします。バックアップした電話帳・トルカ・メモ・スケジュール・Bookmarkはお預かりセンターに接続することによって、FOMA端末に復元できます。また、画像や設定情報の更新もできます。
- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- ｉコンシェルの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスについては☞P.132

カメラ

著作権・肖像権について

お客様がFOMA端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

お客様が本FOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に指紋や油脂などが付くとピントが合わなくなります。また、画像がぼやけたり、強い光源からすじを引くことなどがあります。撮影前に、柔らかい布で拭いてください。
- 電池残量が少ないときは撮影できません。充電中でも、電池残量が少ないと画像が暗くなったり、画像が乱れることがあります。充電中は撮影しないでください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラのレンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CCDの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 静止画を連続撮影したり、動画を長時間撮影したり、長時間カメラを起動するとFOMA端末が温かくなり、カメラを終了することがありますが、異常ではありません。しばらくたってからカメラをご利用ください。
- フォーカス設定を切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- カメラのレンズ前面にメカシャッター／NDフィルタを搭載しています。
  - ■ カメラ使用時に動作音が聞こえる場合がありますが異常ではありません。
  - ■ カメラを使用していない状態でレンズ前面が閉じている場合がありますが、異常ではありません。
- 撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく動かないようにしっかりと固定して撮影してください。静止画撮影時はISO感度（高感度撮影）機能／手ぶれ補正撮影機能、動画撮影時は手ぶれ補正撮影機能を使ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なるときがあります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、FOMA端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生するときがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整することにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるときがあります。
- 電池残量が少ないときは、撮影時にピクチャーライトが発光しません。
- 撮影した静止画は、DCF 1.0準拠（ExifVer.2.2、JPEG準拠）の形式で保存されます。
  - ・「DCF」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラなどの画像ファイルなどを、関連機器間で便宜に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
  - ・「Exif」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画用のファイルフォーマットです。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。

カメラを使用中の動作について

- 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに、動画はデータBOXのｉモーション・ムービーの[カメラ]フォルダに保存されます。また、microSDカード（☞P.365）に保存することもできます。
- カメラ機能（バーコードリーダーを除く）を起動すると、撮影ランプが点灯します。
- 終了するときは各撮影モードの撮影前のファインダーが表示されている状態でFOMA端末を閉じるか、[終話]または[CLR]を押します。

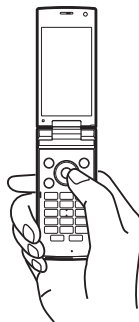
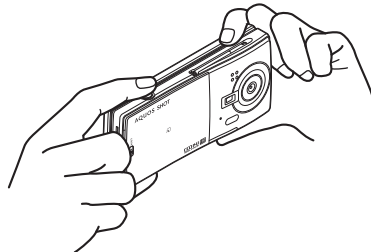
- 各撮影モードで、撮影前のファインダーが表示されている状態で約２分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し元の画面に戻ります。未保存のデータがあるとき、サブメニューや読み取り結果画面を表示しているとき、カメラモードは終了しません。
- 静止画撮影画面で、ディスプレイに触れている間はカメラ操作ができませんのでご注意ください。

シャッター音、撮影開始音／停止音、完了音、フォーカスロック音、セルフタイマー音について

- FOMA端末の設定にかかわらず、それぞれの機能に応じて音が鳴ります（ラクラク瞬漢／瞬英ルーペを除く）。ただし、バーコードリーダーのときに鳴る音の音量は、電話着信音量の設定に従います。また、次の場合は音は鳴りません。
  - ■ マナーモード設定中
  - ■ 公共モード（ドライブモード）設定中
  - ■ 電話着信音量を［Silent］に設定中
- シャッター音は変更できます（☞P.236）。シャッター音の音量は変更できません。

撮影中の着信やアラームの動作について

- 静止画撮影のプレビュー画面や動画の撮影中画面でアラームが動作すると、撮影は中止されます。アラームを終了するとカメラの画面に戻り、撮影したデータを保存できます。
- 静止画撮影のプレビュー画面表示中や静止画保存中に着信があると、着信画面が表示され電話に出ることができます。通話を終了するとカメラの画面に戻り、撮影した静止画を保存できます。
- 動画撮影中や動画撮影確認メニュー画面表示中に着信があると、着信画面が表示され電話に出ることができます。通話を終了すると動画撮影確認メニュー画面が表示されます。表示に従って操作してください。

撮影ポジションについて

通常ポジション　　ビューアポジション

タイトルについて

- 撮影（保存）した静止画、動画、名刺画像、情報リーダーの画像、モーションデコ、ショットデコのデコメ®ピクチャには、自動的に撮影日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
  例：2011年１月11日午後１時５分７秒に撮影→［110111_130507］
- 連続撮影を行ったとき、末尾に連番（［_01］、［_02］…）が付きます。
- 名刺画像には、末尾に［_meishi］が付きます。
- 情報リーダーの画像には、末尾に［_info］が付きます。
- タイトルの編集については☞P.378

撮影画面のボタン操作

■ 静止画撮影画面／エフェクトカメラ画面／プリティアレンジカメラ画面／連写カメラ画面／ハンドミラー画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
ベストレンジズーム※1※2		カメラギャラリー	
動画撮影切替※3		明るさ調整※4	
ズーム調整※2※4※5		フォーカスロック※2	
撮影モード切替	1	マイピクチャのフォルダ一覧画面表示	2
デフォルト設定に戻す※6	3	手ぶれ補正※2※3	4
ISO感度※2※3	5	画質選択	6
ホワイトバランス※2※3	7	セルフタイマー	8
その他設定	9	保存先選択	＊
操作ガイド起動	0	マイカメラ※6	＃

※1 エフェクトカメラではエフェクト設定になります。
※2 ハンドミラーでは操作できません。
※3 プリティアレンジカメラでは操作できません。
※4 ボタンを押し続けると、連続して調整できます。
※5 エフェクトカメラでは操作できません。
※6 静止画撮影でのみ操作できます。

■ 動画撮影画面／ゴルフスイングビデオカメラ画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
シーン・モード設定		カメラギャラリー	
静止画撮影切替		明るさ調整※1	
ズーム調整※1		フォーカスロック	
撮影モード切替	1	ｉモーション・ムービーのフォルダ一覧画面表示	2
デフォルト設定に戻す※2	3	手ぶれ補正	4
映像・音声切替※2	5	画質選択	6
ホワイトバランス※2	7	セルフタイマー	8
その他設定	9	保存先選択	＊
操作ガイド起動	0	マイカメラ※2	＃

※1 ボタンを押し続けると、連続して調整できます。
※2 ゴルフスイングビデオカメラ画面では操作できません。

■ ショットメモ画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
カメラギャラリー		明るさ調整※	
ズーム調整※		フォーカスロック	
撮影モード切替	1	マイピクチャのフォルダ一覧画面表示	2
サイズ選択	8	操作ガイド起動	0

※ ボタンを押し続けると、連続して調整できます。

■ ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
明るさ調整※		ズーム調整※	
フォーカスロック		撮影モード切替	1
AFモード	3		

※ ボタンを押し続けると、連続して調整できます。

■ バーコードリーダー画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
ピクチャーライトON／OFF切替		静止画撮影切替	
明るさ調整※		フォーカスロック	
撮影モード切替	1	保存データ	2
AFモード	3		

※ ボタンを押し続けると、連続して調整できます。

■ 名刺リーダー画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
静止画撮影切替		明るさ調整※	
フォーカスロック		撮影モード切替	1
AFモード	3		

※ ボタンを押し続けると、連続して調整できます。

■ 情報リーダー画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
明るさ調整※		ズーム調整※	

フォーカスロック	[icon]	撮影モード切替	1
AFモード	3		

※ ボタンを押し続けると、連続して調整できます。

■ コラムリーダー画面のボタン操作

領域選択	[icon]	明るさ調整※	[icon]
ズーム調整※	[icon]	フォーカスロック	[icon]
撮影モード切替	1	AFモード	3

※ ボタンを押し続けると、連続して調整できます。

■ ショットデコ画面／モーションデコ画面のボタン操作

静止画・アニメモード切替※1	[icon]	明るさ調整※2	[icon]
ズーム調整※2	[icon]	フォーカスロック	[icon]
撮影モード切替	1	サイズ変更	2

※1　ショットデコでのみ操作できます。
※2　ボタンを押し続けると、連続して調整できます。

撮影画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46

静止画／エフェクトカメラ

- コントロールボタンで次の操作ができます。

Camera Gallery	カメラギャラリー	Best Range Zoom	ベストレンジズーム※1
SW View Mode	ボタンの表示／非表示	Size	サイズ選択
AF	フォーカス設定	Mode	撮影モード切替
Light	ピクチャーライト	Settings	詳細設定
[icon]	撮影	Effect	エフェクト設定変更※2

※1　静止画撮影画面で表示されます。
※2　エフェクトカメラで表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

明るさ調整	上下にすばやくスライド
ズーム調整	左右にすばやくスライド※

※ 左右にスライドする長さに応じてズーム幅が変わります。

- フォーカス設定を[マニュアルフォーカス]に設定した場合は、左右にすばやくスライドしてピントを合わせ、[OK]をタッチしてください。
- 撮影後のプレビュー画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

アレンジ Arrange	アレンジ	保存 Save	保存
IrSS	高速赤外線通信（IrSS™機能）で送信	[icon]	メール／ブログ機能

連写カメラ

- 連写カメラ画面に表示されるコントロールボタンは静止画撮影画面と同様です。
- 連続撮影中画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

[icon]	撮影※	停止 Stop	停止

※ [マニュアル]のときに表示されます。

- 連続撮影プレビュー画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

[icon]	メール／ブログ機能	オススメ Recommended	オススメフォト 1枚プレビュー画面を表示※
全件保存 Save All	全件保存		

※ オススメフォトの連続撮影プレビュー画面で表示されます。

- 連続撮影 1枚プレビュー画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

[icon]	メール／ブログ機能	削除 Delete	削除
保存 Save	保存		

● オススメフォト1枚プレビュー画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
(メール)	メール／ブログ機能	フルスクリーン Full Screen	全画面表示
一覧 List	一覧画面表示	保存 Save	保存
選定モード Selection mode	選定モード変更画面表示		

動画／ゴルフスイングビデオカメラ

● コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
Camera Gallery	カメラギャラリー	Scene/Mode	シーン･モード設定変更
SW View Mode	ボタンの表示／非表示	Size	サイズ選択※1
AF	フォーカス設定※1	Mode	撮影モード切替
Light	ピクチャーライト	Settings	詳細設定
Rec	撮影開始※2	一時停止 Pause	撮影一時停止※2
録画 Rec	撮影開始／再開※3	停止 Stop	撮影停止※4

※1　ゴルフスイングビデオカメラでは表示されません。
※2　動画撮影画面で表示されます。
※3　動画撮影画面／撮影一時停止中に表示されます。
※4　動画撮影中に表示されます。

● 静止画と同様に明るさ調整／ズーム調整のタッチ操作ができます。

プリティアレンジカメラ

● プリティアレンジカメラ画面に表示されるコントロールボタンは静止画撮影画面と同様です。
● 静止画と同様に明るさ調整／ズーム調整のタッチ操作ができます。
● 撮影後のプレビュー画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
プリティ Pretty	顔画像のアレンジ	アレンジ Arrange	手書き入力
保存 Save	保存	(メール)	メール作成
IrSS	高速赤外線通信（IrSS™機能）で送信		

● 顔アレンジ画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
小顔美人 Small Face	顔の大きさの変更	瞳美人 Cute Eyes	目の大きさの変更
OK	決定	色白美人 Fair Skin	肌の色の変更
(戻る)	1つ前の状態に戻す		

ショットメモ

● コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
Camera Gallery	カメラギャラリー	SW View Mode	ボタンの表示／非表示
Size	サイズ選択	Mode	撮影モード切替
Settings	詳細設定	(カメラ)	撮影

● 静止画と同様に明るさ調整／ズーム調整のタッチ操作ができます。
● 撮影後のプレビュー画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
前候補 Next	前候補	次候補 Next	次候補
OK	決定		

● アレンジ画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
アレンジ Arrange	アレンジ	保存 Save	保存

IrSS	高速赤外線通信(IrSS™機能)で送信		メール／ブログ機能

ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ

- コントロールボタンで次の操作ができます。

辞書検索 Search Dictionary	辞書

- 静止画と同様に明るさ調整／ズーム調整のタッチ操作ができます。

バーコードリーダー

- コントロールボタンで次の操作ができます。

ピクチャーライト Light ON/OFF	ピクチャーライトON／OFF切替	読取 Scan	読み取り
	静止画撮影切替		

- 静止画と同様に明るさ調整のタッチ操作ができます。
- 読み取り結果画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

全コピー Copy All	読み取り結果をコピー	OK	読み取り結果を利用

名刺リーダー／情報リーダー

- コントロールボタンで次の操作ができます。

読取 Scan	読み取り		静止画撮影切替※1
保存 Save	保存／登録※2		

※1　名刺リーダーで表示されます。
※2　読み取り後に表示されます。

- 静止画と同様に明るさ調整／ズーム調整(情報リーダーのみ)のタッチ操作ができます。

コラムリーダー

- コントロールボタンで次の操作ができます。

領域選択 Select Area	領域選択	読取 Scan	読み取り

- 静止画と同様に明るさ調整／ズーム調整のタッチ操作ができます。
- 読み取り画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

選択 Select	選択	OK	決定
解除 Clear	解除		

- 読み取り結果画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

辞書検索 Search Dictionary	辞書検索	メモ Memo	メモ作成
メール編集 Edit Mail	メール作成		

ショットデコ／モーションデコ

- コントロールボタンで次の操作ができます。

	アニメモード切替※1		静止画モード切替※1※2
	撮影※1	録画 Rec	撮影開始※3
停止 Stop	撮影停止※2※4		

※1　ショットデコで表示されます。
※2　ショットデコのアニメモード撮影中に表示されます。
※3　モーションデコで表示されます。
※4　モーションデコの撮影中に表示されます。

- 静止画と同様に明るさ調整／ズーム調整のタッチ操作ができます。
- 撮影後のプレビュー画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

保存 Save	保存		メール作成
プレビュー Preview	プレビュー※		

※ ショットデコのアニメモード撮影後に表示されます。

ハンドミラー

- コントロールボタンで次の操作ができます。

Camera Gallery	カメラギャラリー	SW View Mode	ボタンの表示／非表示
Size	サイズ選択	Mode	撮影モード切替

	詳細設定		撮影

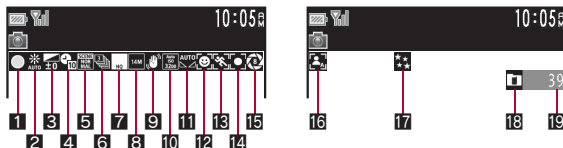
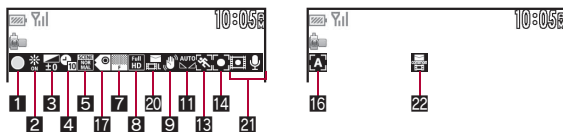
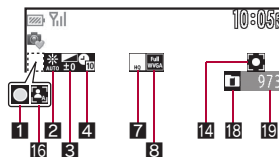
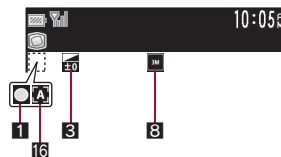
- 静止画と同様に明るさ調整のタッチ操作ができます。
- 撮影後のプレビュー画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

	アレンジ		保存
	高速赤外線通信（IrSS™機能）で送信		メール／ブログ機能

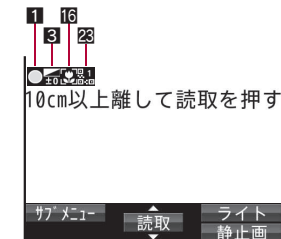
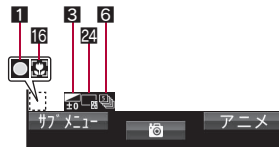
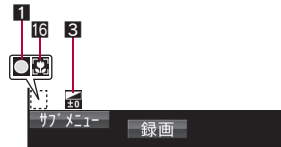
撮影画面の見かた

カメラモードでは、ディスプレイに次のマークが表示されます。

- 全画面表示（☞P.234）にするとマークは表示されません。

静止画撮影画面／エフェクトカメラ画面／連写カメラ画面

動画撮影画面／ゴルフスイングビデオカメラ画面

プリティアレンジカメラ画面

ショットメモ画面

ラクラク瞬漢/瞬英ルーペ画面／名刺リーダー画面／情報リーダー画面／コラムリーダー画面

- 画面はコラムリーダーの画面です。

バーコードリーダー画面

ショットデコ画面

モーションデコ画面

1 フォーカスロック表示
(緑色)：フォーカスロックされたとき
(赤色)：フォーカスを合わせているとき

2 ピクチャーライト表示
- ：オート
- ：ON

3 画像の明るさ表示
- ：画像の明るさを表示
- ● →→→→の順に画像は明るくなります。

4 セルフタイマー表示
- ：2秒
- ：5秒
- ：10秒

5 シーン別撮影表示
- ：標準
- ：人物
- ：夜景
- ：夜景＋人物
- ：風景
- ：スポーツ
- ：料理
- ：文字
- ：逆光

6 連続撮影表示
- ：ON、マニュアル（40枚用）
- ：ON、オススメフォト、マニュアル（10枚用）
- ：ON、オススメフォト、マニュアル（8枚用）
- ：ON、オススメフォト、マニュアル（6枚用）
- ：ON、オススメフォト（3枚用）
- ：ショットデコ（5枚用）
- ～：連続撮影枚数共通（2～40枚）
- ：ストロボフォト
- ：ブラケット
- ：ベストセレクトフォト

7 画質表示
- ：ハイクオリティ
- ：ファイン
- ：ノーマル
- ：エコノミー（動画撮影のみ）

8 撮影サイズ表示

静止画撮影
- ：「14M：3240×4320」
- ：「10M：2736×3648」
- ：「5M：1944×2592」
- ：「3M：1536×2048」
- ：「フルHD：1080×1920」
- ：「待受：480×854」
- ：「VGA：480×640」
- ：「QVGA：240×320」
- ：「QCIF：176×144」

動画撮影
- ：「フルHD：1920×1080」
- ：「HD：1280×720」
- ：「FWVGA：864×480」
- ：「VGA：640×480」
- ：「QVGA：320×240」
- ：「QCIF：176×144」

9 手ぶれ補正撮影表示
- ：オート（静止画撮影）／ON（動画撮影）
- ：オート（強）（静止画撮影のみ）

10 ISO感度表示
- ：オート（～3200）
- ：高感度オート（～12800）
- ～：マニュアル（100～12800）

11 ホワイトバランス表示
- ：オート
- ：電球
- ：蛍光灯
- ：太陽光
- ：曇り／日陰

12 撮影モード表示
- ：笑顔フォーカスシャッター
- ：振り向きシャッター

13 チェイスフォーカス表示
- ：ON

14 コンティニュアスフォーカス表示
- ：ON

15 長時間露光表示
- ：ON（1秒）
- ：ON（2秒）
- ：ON（4秒）
- ：ON（8秒）

次ページへ続く

16 オートフォーカス／AFモード表示
- ：オートフォーカス／標準（ショットデコ・モーションデコ以外）
- ：顔認識フォーカス（静止画撮影・動画撮影・プリティアレンジカメラのみ）
- ：接写（ショットメモ以外）
- ：マニュアルフォーカス（静止画撮影・動画撮影・プリティアレンジカメラのみ）

17 エフェクト撮影表示
- ：ミニチュア（静止画撮影のみ）
- ：魚眼
- （黒）：モノクロ
- （茶）：セピア
- ：きらきら
- ：色えんぴつ
- ：円ソフトフレーム（静止画撮影のみ）
- ：残像（動画撮影のみ）
- ：波紋
- ：万華鏡（静止画撮影）／万華鏡（大）（動画撮影）
- ：万華鏡（小）（動画撮影のみ）

18 保存先表示
- ：microSDカード
- ：FOMA端末

19 残り撮影可能枚数

20 ファイルサイズ制限表示
- ：メール用（短）（500Kバイト）
- ：メール用（長）（2Mバイト）

21 映像・音声切替表示
- ：映像＋音声
- ：映像のみ
- ：音声のみ

22 共通再生モード表示
- ：ON

23 QRコード連結番号表示
- ～：分割されたデータを読み取るときに、何枚目を読み取っているかを表示

24 静止画・アニメモード切替表示
- ：静止画モード
- ：アニメモード

静止画撮影

静止画を撮影する

- 撮影をするときは、シャッター音が鳴り、静止画を確認するためのプレビュー画面が表示されます。
- ピントが合わない場合は、フォーカスロックをご使用ください（☞P.231）。

1 待受画面で
- ノーマルメニューでは：［カメラ／TV／MUSIC］▶［カメラ］▶［静止画撮影］
- 待受画面表示中にビューアポジションにするだけでカメラを起動できます（☞P.110）。
- バーコード／名刺を検出すると、自動でバーコードリーダー／名刺リーダーが起動します（☞P.235）。
- ズーム（☞P.226）を利用したり、カメラギャラリー（☞P.380）を表示できます。
- 自分を撮影：サブカメラに切り替える（☞P.228）

フォーカス枠

2 ／
- 静止画を撮影します。

3 ／
- 静止画を保存します。
- 静止画を削除して撮影し直す：CLR
- 手書き入力：
  - 撮影した画像が自動的に保存され、手書き入力画面が表示されます。以降の操作については☞P.405「手書きメモを作成する」の操作2へ
- メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿（☞P.236）：▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信
- 高速赤外線通信で送信（IrSS™機能）（☞P.348）：▶送信方法を選ぶ

サブカメラで撮影したとき
- ディスプレイには鏡像（左右逆向き）で表示されますが、正像（見たとおりの向き）で保存されます。

● 残り撮影可能枚数の表示は目安であり、撮影時の設定により、残り撮影可能枚数が減少しないことや撮影した枚数よりも多く減少する場合があります。

■ 静止画プレビュー画面のサブメニュー操作

[保存先選択]	☞P.234
[手書きアレンジ]	☞P.405
[画像編集]	☞P.348
[画面設定]	
▶[待受画面]▶設定先を選ぶ▶[はい]	
▶[電話帳]▶電話帳に登録	
▶[スケジュール]▶スケジュールを登録	
[位置情報貼付]	☞P.335
[正像で確認]	
[鏡像で保存]	
[全画面表示切替]	

[画面設定]について

● 保存先をmicroSDカードに設定して撮影しているときは利用できません。

[待受画面]について

● 撮影サイズによっては、表示サイズ選択画面が表示されます。表示サイズを選んでください。

[電話帳]について

● 撮影サイズが「14M:3240×4320」、「14M:スマートリサイズズーム」、「10M:2736×3648」、「5M:1944×2592」のときは利用できません。

[スケジュール]について

● 表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されます。
■ 日時:静止画の撮影日時　■ 画像:静止画

[鏡像で保存]について

● フレームを設定して撮影(☞P.229)したときは、鏡像で保存することはできません。

動画を撮影する

● 撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。ただし、撮影されるまでに時間がかかることがあります。撮影中は撮影ランプが点滅します。
● ピクチャーライトを[ON]に設定するとピクチャーライトが点灯し、約10分経過すると自動的に消灯します(映像・音声切替が[音声のみ]のときは点灯しません)。
● ピクチャーライトを[ON]に設定すると、動画撮影画面にピクチャーライトの残点灯時間を示すバーとアイコンが表示されます。
● 撮影中に撮影残時間表示が00:00:00になったとき(撮影中にファイルサイズが制限に達したときや、microSDカードの空き容量がなくなったとき)は、自動的に撮影が停止します。撮影した動画は保存/メール作成/再生/投稿/取消ができます。
● ピントが合わない場合は、フォーカスロックをご使用ください(☞P.231)。

1 ノーマルメニューで[カメラ/TV/MUSIC]▶[カメラ]▶[動画撮影]

- ズーム(☞P.226)を利用したり、シーン・モード設定変更画面(☞P.231)やカメラギャラリー(☞P.380)を表示できます。
- 自分を撮影:サブカメラに切り替える(☞P.228)

2 ◉/D

- 中央の被写体に自動的にピントを合わせて撮影します。
- 撮影一時停止/再開:MENU
- 撮影残時間表示は目安であり、撮影対象により、撮影開始前の残時間表示よりも長く撮影できるときや、00:00:00より前に撮影が自動的に停止するときがあります。
- 撮影中にFOMA端末を閉じたり、ポジションや向きを変えた場合は、次のようになります。
  ■ 撮影開始から約1秒以上のとき:撮影停止し、動画撮影確認メニュー画面が表示される

次ページへ続く▶▶

■ 撮影開始から約1秒未満でFOMA端末を閉じたとき：撮影停止し、カメラモードを終了する
■ 撮影開始から約1秒未満でポジションや向きを変えたとき：撮影停止し、動画撮影画面に戻る

ただし、映像・音声切替が［音声のみ］のときは、録音を継続します。FOMA端末を閉じたときは、サブディスプレイに［ボイス録音中］と表示されます。

- 動画撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音されるときがありますので、ご注意ください。

3 撮影を止めるときは◉／Ⓓ
- 撮影停止音が鳴り、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。

4 ［保存］
- 動画を保存します。
- メールで送信（☞P.236）：［メール作成］▶メールを作成・送信
- 動画の再生：［再生］
- ブログ／SNSに投稿（☞P.236）：［投稿］▶投稿先にカーソルを合わせる▶MENU▶メールを作成・送信
  - ・ブログ／SNS投稿先の登録については☞P.170
- 動画を取り消す：［取消］▶［はい］

● 使用するmicroSDカードとFOMA端末の設定によっては、録画が途中で終了したり画質が悪くなることがあります。データの保存や削除を繰り返しているmicroSDカードでは、microSDカードをSH-01Cで初期化（☞P.375）することをおすすめします。なお、初期化を行うとmicroSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

撮影時の設定を変える

明るさの調整や撮影サイズの変更などができます。

● 撮影モードによっては設定できない機能があります。
● 撮影サイズによっては設定できないものや、サブカメラでは設定できないものもあります。
● 設定の組み合わせによっては、自動的に設定が解除されたり変更される場合があります。

撮影モードを切り替える<撮影モード切替>

1 撮影画面でMENU▶［📷］

2 撮影モードを選ぶ

撮影時の明るさを調整する<明るさ調整>

明るさを5段階で調整できます。

1 撮影画面で◎
- MENU▶📷▶［撮影メニュー］▶［明るさ調整］▶設定を選ぶでも操作できます。

デジタルズームを利用する<ズーム調整>

1 撮影画面で◎
- バーコードリーダー、名刺リーダーでは利用できません。

静止画モード

現在のズーム位置　最大倍率
X1　MAX
最大倍率の1段階前

動画モード

現在のズーム位置　最大倍率
X1　MAX
STOP　REMAIN　00:00:13
状態表示　残り時間

- ズームできる範囲（倍率）は撮影サイズによって異なります。

カメラ

	撮影サイズ	最大倍率(ズームの段階)			
		縦表示		横表示	
		メイン カメラ	サブ カメラ	メイン カメラ	サブ カメラ
静止画撮影	14M:3240×4320	約5.0倍(11段階)	―	約5.0倍(11段階)	―
	14M:スマートリサイズズーム	約6.7倍(13段階)	―	約6.7倍(13段階)	―
	10M:2736×3648	約1.1倍(2段階)	―	約1.1倍(2段階)	―
	5M:1944×2592	約1.6倍(4段階)	―	約1.6倍(4段階)	―
	3M:1536×2048	約1.8倍(5段階)	―	約1.8倍(5段階)	―
	フルHD:1080×1920	約2.1倍(6段階)	―	約2.1倍(6段階)	―
	待受:480×854	約10.0倍(12段階)	等倍(―)	約10.0倍(12段階)	等倍(―)
	VGA:480×640	約13.5倍(14段階)	等倍(―)	約13.5倍(14段階)	等倍(―)
	QVGA:240×320	約27.0倍(18段階)	約4.0倍(9段階)	約27.0倍(18段階)	約4.0倍(9段階)
	QCIF:176×144	約27.0倍(18段階)	約5.4倍(12段階)	約27.0倍(18段階)	約5.4倍(12段階)
動画撮影	フルHD:1920×1080	約2.1倍(6段階)	―	約2.1倍(6段階)	―
	HD:1280×720	約3.0倍(8段階)	―	約3.0倍(8段階)	―
	FWVGA:864×480	約3.5倍(9段階)	―	約5.0倍(11段階)	―
	VGA:640×480	約5.0倍(11段階)	―	約6.7倍(13段階)	―
	QVGA:320×240	約9.6倍(15段階)	約1.5倍(5段階)	約13.5倍(17段階)	約2.0倍(8段階)
	QCIF:176×144	約13.5倍(17段階)	約2.7倍(11段階)	約13.5倍(17段階)	約3.3倍(13段階)

上半身をアップして撮影する<ベストレンジズーム>

被写体に自動的にズームし、上半身の撮影に適した倍率で撮影できます。

- 次の場合はベストレンジズームを利用できません。
  - ■ サブカメラを利用している場合
  - ■ エフェクト撮影を設定している場合
  - ■ 撮影サイズを「14M:スマートリサイズズーム」に設定している場合
  - ■ マニュアルフォーカスを設定している場合

1 静止画撮影画面で[カメラ]

- ズームの調整:[方向キー]

ピクチャーライトを利用する<ピクチャーライト>

- 次の場合はピクチャーライトを利用できません。
  - ■ サブカメラを利用している場合
  - ■ 静止画撮影で長時間露光を設定している場合
  - ■ 動画撮影で映像・音声切替を[音声のみ]に設定している場合

1 撮影画面で[MENU]▶[☀]

2 設定を選ぶ

- 静止画撮影、プリティアレンジカメラの場合、ピクチャーライトを[オート]に設定すると、周囲の明るさによって自動的に点灯/消灯します。
- 静止画撮影、プリティアレンジカメラの場合、シャッター操作時のみピクチャーライトが点灯します。

カメラ

次ページへ続く▶▶

- ピクチャーライトは、暗い場所での撮影を補助するものであり、通常のカメラのストロボのような光量はありませんので、ご注意ください。
- 蛍光灯の下などで白い部分が多い印刷物などを接写する場合、撮影角度とピクチャーライトの点灯／消灯により、FOMA端末の色や影が映りこむ場合がありますが異常ではありません。
- 動画撮影の場合、約10分経過するとピクチャーライトが自動的に消灯します。再度ピクチャーライトを設定したいときやマイカメラを設定したい場合は、カメラモードを一度終了してください。

メインカメラとサブカメラを切り替える<イン／アウトカメラ切替>

1 撮影画面でMENU▶[イン／アウトカメラ切替アイコン]

- MENU▶カメラアイコン▶[その他設定]▶[イン／アウトカメラ切替]でも操作できます。

- サブカメラに切り替えた直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。

撮影サイズを設定する<サイズ選択>

- 撮影サイズが大きいほど、解像度が高いきれいな画像が撮影できますが、データ量が多くなり撮影できる枚数／撮影できる時間は少なくなります（☞P.552）。
- 静止画の各撮影サイズは主に次の用途でご利用いただけます。

サイズ	用途
14M：3240×4320	パソコンでの表示や出力するのに適したサイズです。 ● L判サイズのプリントには「3M：1536×2048」以上のサイズが適しています。
14M：スマートリサイズズーム※	
10M：2736×3648	
5M：1944×2592	
3M：1536×2048	
フルHD：1080×1920	
待受：480×854	FOMA端末のディスプレイと同じサイズです。待受画面に設定する静止画などを撮影するときに便利です。
VGA：480×640	iモードメールに添付してiモード端末やパソコンなどに送信するのに適したサイズです。
QVGA：240×320	
QCIF：176×144	

※ズームの倍率に合わせて、最適な撮影サイズ（「14M：3240×4320」／「10M：2736×3648」／「5M：1944×2592」／「3M：1536×2048」／「VGA：480×640」）に自動で変更します。

- 撮影モードやメインカメラ／サブカメラによって設定できるサイズは異なります。
- 静止画撮影、プリティアレンジカメラの場合、メインカメラとサブカメラについてそれぞれ設定できます。
- 動画撮影の場合、メインカメラとサブカメラは同じサイズになります。ただし、メインカメラを「フルHD：1920×1080」、「HD：1280×720」、「FWVGA：864×480」または「VGA：640×480」に設定してサブカメラに切り替えたときは、「QCIF：176×144」になります。

1 撮影画面でMENU▶[サイズアイコン]

2 サイズを選ぶ

撮影時の画質を設定する<画質選択>

- 画質が高いほど、きれいな画像が撮影できますが、データ量が多くなり撮影できる枚数／撮影できる時間は少なくなります（☞P.552）。
- 静止画撮影、プリティアレンジカメラの場合、メインカメラとサブカメラについてそれぞれ設定できます。

1 撮影画面でMENU▶カメラアイコン▶[撮影メニュー]▶[画質選択]

2 画質を選ぶ

- エコノミー→ノーマル→ファイン→ハイクオリティの順に、画質が高くなります。

セルフタイマーを使って撮影する<セルフタイマー>

1 撮影画面でMENU▶カメラアイコン▶[撮影メニュー]▶[セルフタイマー]

カメラ

2 セルフタイマー時間を選ぶ

3 ◉／D

- セルフタイマー音が鳴り、セルフタイマーが動作します。設定した時間が経過すると、シャッター音／撮影開始音が鳴り、自動的に撮影されます。

- セルフタイマー動作中に着信やアラームが動作すると、セルフタイマーは中止され、撮影画面に戻ります。

長時間露光を利用する<長時間露光>

シャッターを長時間開いたままにして撮影します。花火など動きのある被写体や、夜景など光の少ない場所で撮影するときに使用します。

1 静止画撮影画面でMENU▶📷▶[撮影メニュー]▶[長時間露光]

2 時間を選ぶ

- 長時間露光を設定中は、手ぶれに注意して撮影をしてください。

ISO感度を設定する<ISO感度>

光量の足りない場所でも、明るく、ぶれの少ない写真が撮影できます。

- ISO感度を小さい数値に設定するほど明るい場所での撮影に適しており、大きい数値にするほど暗い場所での撮影に適しています(ノイズは大きくなります)。

	撮影環境の目安		
ISO感度	100 ←	3200	→ 12800
	晴天時の屋外など	曇り・雨天時／室内など	暗い場所など

1 静止画撮影画面でMENU▶📷▶[撮影メニュー]▶[ISO感度]

2 設定を選ぶ

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ オート(～800):被写体の条件に合わせて、100～800の範囲で自動的にISO感度を高くします。
  - ■ オート(～3200):被写体の条件に合わせて、100～3200の範囲で自動的にISO感度を高くします。
  - ■ 高感度オート(～12800):被写体の条件に合わせて、100～12800の範囲で自動的にISO感度を高くします。
  - ■ マニュアル:お好みのISO感度を設定できます。

色合いを調節する<ホワイトバランス>

撮影時の光の状況に応じて、色合いを調節して撮影できます。

- 動画撮影でホワイトバランスを設定する場合は、あらかじめシーン別撮影を[標準]に設定してください。

1 撮影画面でMENU▶📷▶[撮影メニュー]▶[ホワイトバランス]

2 ホワイトバランスの種類を選ぶ

- 設定できるホワイトバランスの種類は次のとおりです。
  - ■ オート:自動的に色合いを調節します。
  - ■ 電球:白熱灯の下での撮影に適しています。
  - ■ 蛍光灯:蛍光灯の下での撮影に適しています。
  - ■ 太陽光:晴れた日の屋外での撮影に適しています。
  - ■ 曇り／日陰:曇りの日の屋外や、日陰での撮影に適しています。

フレームを重ねて撮影する<フレーム撮影>

撮影する静止画にフレームを設定し、フレーム付きで撮影できます。

- 撮影サイズが「待受:480×854」、「VGA:480×640」、「QVGA:240×320」、「QCIF:176×144」のときにフレーム撮影できます。
- 撮影サイズとフレームの縦横が異なるときは、フレームが90度回転します。
- サイトなどからダウンロードしたフレームを利用してフレーム撮影できます。

1 静止画撮影画面でMENU▶📷▶[撮影メニュー]▶[フレーム撮影]▶[ON]

次ページへ続く▶▶

2 **フレームにカーソルを合わせる ▶ [📷]**

3 ◉／Ⓓ

撮影環境や被写体に応じた設定を行う <シーン別撮影>

自然な色合いやピントで撮影できるよう、撮影環境や被写体に応じた撮影モードを設定できます。

1 **撮影画面で[MENU] ▶ [📷] ▶ [撮影メニュー] ▶ [シーン別撮影]**

2 **モードを選ぶ**

- 設定できるモードは次のとおりです。
  - ■ 自動認識:被写体に合わせて自動的に[標準]／[人物]／[夜景]／[夜景＋人物]／[風景]／[料理]／[文字]のいずれかのモードに切り替えます。撮影環境や被写体によっては正しいモードにならない場合があります。
  - ■ 標準:標準的な設定で撮影します。
  - ■ 人物:人物の撮影に適しています。
  - ■ 夜景:夜景の撮影に適しています。
  - ■ 夜景＋人物:夜景を背景にした人物の撮影に適しています。
  - ■ 風景:風景の撮影に適しています。
  - ■ スポーツ:動く被写体の撮影に適しています。
  - ■ 料理:料理の撮影に適しています。
  - ■ 文字:白い背景の文字の撮影に適しています。
  - ■ 逆光:逆光での撮影に適しています。

AFモードを設定する<フォーカス設定>

被写体に合わせて、AF(オートフォーカス)モードの切り替えができます。

- 静止画撮影、プリティアレンジカメラのときは、撮影サイズを変更すると顔認識フォーカスが[ON]になります。

1 **撮影画面で[MENU] ▶ [AF]**

2 **項目を選ぶ**

◆ **[オートフォーカス]**
- フォーカスが動作し、中央の被写体にピントを合わせます。

◆ **[マニュアルフォーカス] ▶ ⊕**
- フォーカス調整バーの中央のラインが最も青色になるように調整してください。

現在のフォーカス位置

FOCUS

フォーカス調整バー

- 動画撮影ではチェイスフォーカスを[OFF]に設定すると設定できます。

◆ **[接写]**
- 近距離(約10cm)の撮影に適したモードです。
- 動画撮影ではチェイスフォーカスを[OFF]に設定すると設定できます。

◆ **[コンティニュアスフォーカス] ▶ 設定を選ぶ**
- フォーカス枠内に常にピントを合わせることができます。
- 撮影ボタンを押すとフォーカス動作せず、動きのある被写体にピントを合わせます。

◆ **[顔認識フォーカス] ▶ 設定を選ぶ**
- 人物や犬、猫の顔を検出して、顔にピントを合わせることができます。
- 人物や犬、猫の顔を検出すると、被写体が動いても顔検出枠が顔を追跡してピントを合わせます。人物の場合は最大5つ、犬や猫の場合は最大3つまでの顔を検出し、どの顔にピントを合わせるかを指定することもできます。
- 複数の顔検出枠が表示されているときは、赤色の顔検出枠にピントが合います。ピントを合わせる顔を指定するには、ピントを合わせたい顔検出枠をタッチします。
- 顔検出枠表示中に登録した顔情報を表示することができます(☞P.234)。

◆ **[チェイスフォーカス] ▶ 設定を選ぶ**
- 一度被写体を選択すると、被写体が動いても追跡することができます。
- 撮影画面で追いかける被写体を画面上でタッチしてください。選択した被写体に青い枠が表示されます。また、チェイスフォーカスを解除するときは再度撮影画面をタッチしてください。
- 静止画撮影、動画撮影のみ設定できます。

- 笑顔フォーカスシャッター／振り向きシャッター中にフォーカス設定を変更すると、通常撮影になります。
- 動画撮影サイズが「QCIF：176×144」のときは、顔認識フォーカスを設定できません。
- コンティニュアスフォーカスを［OFF］に設定しているときは、フォーカス動作終了後に撮影します。
- 顔認識フォーカスを［ON］に設定しているとき、顔の向きや被写体との距離、撮影環境によっては、正しく顔を検出できないことがあります。また、顔以外の被写体や背景を、顔として誤検出することがあります。
- 顔認識フォーカスとチェイスフォーカスを［ON］に設定しているときは、顔認識フォーカスが動作し、顔検出枠外の画面をタッチしたときに、チェイスフォーカスが動作します。

手ぶれを補正する<手ぶれ補正>

動きの速い被写体や暗い場所などの手ぶれが発生しやすい場合でも、安定した撮影ができます。

- 静止画撮影サイズが「QVGA：240×320」、「QCIF：176×144」のときは、手ぶれ補正撮影できません。
- 静止画撮影では［オート（強）］を設定できます。［オート］よりも動きを優先した撮影を行うことができます。

1 撮影画面でMENU▶カメラ▶［手ぶれ補正］

2 設定を選ぶ

- 手ぶれを補正して撮影すると、被写体や周囲の明るさによっては撮影画像にノイズがのったり、暗くなったりすることがありますが故障ではありません。そのときは、手ぶれ補正を［OFF］にして撮影してください。

フォーカスロックで撮影する<フォーカスロック>

ピントを合わせた状態でフォーカスをロックして、構図を変えて撮影できます。

- ピントが合わない場合は、フォーカスロックをご使用ください。
- フォーカスがロックされると音が鳴ります（動画撮影、ラクラク瞬漢／瞬英ルーペを除く）。
- 笑顔フォーカスシャッター／振り向きシャッター中は利用できません。

1 撮影画面で被写体にピントを合わせて✓

- D（半押し）でもフォーカスロックできます。
- 状態に応じてフォーカスロック表示マークの色が変わります（☞P.222）。

フォーカスロックを解除するとき

- ✓でフォーカスロックしたとき：✓
- Dでフォーカスロックしたとき：Dから指を離す
  - ・バーコードリーダーのとき：D（半押し）

2 構図を変えて撮影する

- ✓でフォーカスロックしたとき：◉
- Dでフォーカスロックしたとき：D（深く押す）
- 被写体との距離は変えないでください。

- 動画撮影時は、撮影中もフォーカスロックをかけることができます。撮影中に被写体との距離が変化してピントが合わなくなったときにご使用ください。ただし、フォーカスロックするときに雑音が入ることがありますのでご注意ください。

撮影シーンや撮影モードを変更する<シーン･モード設定変更>

シーン別撮影や撮影モードなどの設定を変更できます。

1 動画撮影画面でカメラ

- 設定の変更：項目を選ぶ
- ページを切り替える：カメラ
- 撮影画面に戻る：MENU

カメラ

1ページ目　2ページ目

1 マイカメラ
2 (シーン)自動認識
3 (シーン)標準
4 (シーン)人物
5 (シーン)夜景
6 (シーン)夜景＋人物
7 (シーン)風景
8 (シーン)スポーツ
9 (シーン)料理
10 (シーン)文字
11 (シーン)逆光
12 マクロ撮影
13 プリティアレンジ
14 バーコードを認識
15 名刺を読み取る
16 雑誌情報を認識
17 文字を読み取る
18 白板・メモを取る
19 GIFアニメを作る
20 GIF画像を作る

笑顔フォーカスシャッター／振り向きシャッターで撮影する<笑顔／振り向きシャッター>

顔認識フォーカスを[ON]に設定している場合、笑顔フォーカスシャッター／振り向きシャッターで撮影できます。

1 静止画撮影画面でMENU ▶ 📷 ▶ [笑顔／振り向きシャッター]

2 設定を選ぶ

◆ **[OFF]**
・自動的には撮影しません。◉／Ⓓを押して撮影します。

◆ **[振り向きシャッター]**
・新たに人物や犬、猫の顔を検出する(顔がカメラを向く)と自動的に撮影します。

◆ **[笑顔フォーカスシャッター]**
・人物の笑顔を検出すると自動的に撮影します。

◆ **[笑顔レベル] ▶ 設定を選ぶ**
・検出する笑顔のレベルを設定できます。
・次のような笑顔を検出できます。
■ レベル１(微笑)：微笑
■ レベル２：笑って歯が見える
■ レベル３：口を開けて大きく笑う

3 笑顔／新たな顔を検出すると自動的に撮影する

- 笑顔フォーカスシャッター／振り向きシャッター中でも、◉／Ⓓを押すと静止画撮影できます。
- 一度撮影すると通常撮影に戻ります。

映像と音声の組み合わせを設定する<映像・音声切替>

1 動画撮影画面でMENU ▶ 📷 ▶ [映像・音声切替]

2 設定を選ぶ

ファイルサイズ制限を設定する<ファイルサイズ制限>

1 動画撮影画面でMENU ▶ 📷 ▶ [ファイルサイズ制限]

2 ファイルサイズを選ぶ

- 設定できるファイルサイズは次のとおりです。
■ メール用(短)：ファイルサイズを約500Kバイトに制限します。
■ メール用(長)：ファイルサイズを約２Mバイトに制限します。
■ 制限なし：保存先がFOMA端末のときは約10Mバイトまで、保存先がmicroSDカードのときは約２Gバイトまで撮影します。撮影時間は最長約１時間になります(映像・音声切替が[音声のみ]のときを除く)。
- ｉモーションメールで送信するときは、[メール用(短)]、[メール用(長)]に設定してください。

● 撮影サイズによって、設定できるファイルサイズは変わります。
● 共通再生モードを設定しているときは、[メール用(短)]に設定され、変更できません。

音声のノイズを少なくする<ノイズキャンセラ>

1 動画撮影画面でMENU▶📷▶[その他設定]▶[ノイズキャンセラ]

2 設定を選ぶ

● ノイズキャンセラでは、音声を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や話し方により、音声の聞こえ方が変わることがあります。

他のFOMA端末でも再生できるように設定する<共通再生モード>

● 撮影サイズは「QCIF:176×144」、画質は[ファイン]、ファイルサイズ制限は[メール用(短)](500Kバイト)、手ぶれ補正は[OFF]、映像・音声切替は[映像+音声]、エフェクト撮影は[OFF]になり、変更できません。

1 動画撮影画面でMENU▶📷▶[その他設定]▶[共通再生モード]

2 設定を選ぶ

使用するマイクを切り替える<イン/アウトマイク切替>

マイクと撮影用アウトマイクを切り替えます。

1 動画撮影画面でMENU▶📷▶[その他設定]▶[イン/アウトマイク切替]

2 設定を選ぶ

減光(ND)フィルタの枚数を設定する<減光(ND)フィルタ設定>

1 動画撮影画面でMENU▶📷▶[その他設定]▶[減光(ND)フィルタ設定]

2 設定を選ぶ

顔情報を登録する<顔登録>

顔の画像を撮影して顔情報として登録したり、登録した顔情報名とフォーカスマークを静止画撮影画面で表示し撮影できます(撮影した静止画には、表示された顔情報名が付加されます)。

● 顔情報は10件まで登録できます。
● データBOXに保存されている静止画からも、顔情報を登録できます(☞P.348)。

1 静止画撮影画面でMENU▶📷▶[顔登録]

2 [新規登録]

- 登録済みの顔情報を編集:[編集]▶編集する顔情報を選ぶ▶操作4へ
  - ・個人検出一覧画面が表示されます。

3 顔を検出する▶◉/D

- ディスプレイのガイド枠内に顔の位置を合わせてください。顔が検出されるとガイド枠が赤色になります。
- 眉毛、目、口、鼻、耳を隠さず、目を開いた状態で正面を向いて撮影してください。次の画像は、検出性能が低下します。
  - ■ ぼやけている画像
  - ■ 強い光が当たっている画像
  - ■ 周囲が暗い画像
  - ■ 集合写真などのように顔が小さい画像

4 各項目を設定

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 名前:顔情報名を入力します。
    - ・全角6文字(半角12文字)まで入力できます。
  - ■ フォーカスマーク:表示するフォーカスマークを設定できます。

5 MENU▶[はい]

次ページへ続く▶▶

- 登録した顔情報名は分類登録[アルバム]内で表示される項目になり、データ検索から画像を検索することができます。
- 顔検出中のカメラ設定は、通常撮影時の設定とは異なります。

■ 撮影回数の多い顔に対して顔情報の登録確認画面を表示する<自動顔登録>

撮影時に同じ顔を3回検出すると、静止画撮影後に顔情報を登録するかどうかを確認する画面を表示します。

1 **静止画撮影画面でMENU▶📷▶[顔登録]▶[自動顔登録]**
2 **設定を選ぶ**

■ 顔情報を削除する

1 **個人検出一覧画面で削除する顔情報にカーソルを合わせる▶📷**
2 **削除方法を選ぶ**
   - ◆ [1件削除]▶[はい]
   - ◆ [選択削除]▶顔情報を選ぶ▶📷▶[はい]
     - ・すべてを選択/解除:MENU
   - ◆ [全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

■ 登録した顔情報を表示する<顔登録情報表示>

フォーカス設定の顔認識フォーカスを[ON]に設定しているときに、登録した顔情報名とフォーカスマークを表示します。

1 **静止画撮影画面でMENU▶📷▶[顔登録]**
2 **[顔登録情報表示]**
3 **設定を選ぶ**

データBOXを表示する<データBOX表示>

1 **撮影画面でMENU▶📷▶[データBOX表示]**

カメラの設定を変える

カメラボタンの設定や撮影した画像の保存先の選択などができます。

- シャッター音の変更については☞P.236
- 撮影モードによっては設定できない場合があります。

画像をディスプレイいっぱいに表示する<全画面表示切替>

1 **静止画撮影画面でMENU▶📷▶[全画面表示切替]**

カメラボタンの設定を行う<カメラボタン設定>

待受画面で📷を押したときに起動する撮影モードを設定できます。

1 **撮影画面でMENU▶📷▶[カメラボタン設定]**
2 **設定を選ぶ**

microSDカード/自動お預かりフォルダに保存する<保存先選択>

撮影した画像をmicroSDカードやデータBOXのマイピクチャの[自動お預かり]フォルダに保存できます。

1 **撮影画面でMENU▶📷▶[その他設定]▶[保存先選択]**
2 **保存先を選ぶ**

- microSDカードに保存できる動画の撮影時間はmicroSDカードのメモリにより異なります。映像が含まれる動画のとき、最長約1時間です。
- microSDカードに保存した静止画/動画の確認については☞P.374

- 保存先がmicroSDカードに設定されているとき、静止画は[カメラフォルダxxx](フォルダが複数あるときは「xxx」の数字が最も大きなフォルダ)に、動画は[動画(QVGA以下)]または[動画(その他)]に保存されます。ただし、microSDカード内にカメラフォルダ用ユーザフォルダまたは動画(QVGA以下)用ユーザフォルダを作成したときは、それぞれ一番新しく作成されたユーザフォルダへ保存されます。
- フォルダ内の保存件数が1000件を超えると、新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに静止画/動画が保存されます。パソコンなどで利用したmicroSDカードは、管理情報の更新を行わないと保存できません(☞P.376)。

よく使う設定をすぐに呼び出す<マイカメラ>

撮影モードを保存しておいて、呼び出すことができます。

1 静止画撮影画面でMENU ▶ 📷 ▶ [マイカメラ]

- 動画撮影のとき:動画撮影画面で📷 ▶ [マイカメラ]

2 [設定1を呼出し]/[設定2を呼出し]

■ 現在の設定を保存する<設定1へ保存/設定2へ保存>

- 撮影モードは2件まで保存できます。

1 静止画撮影画面でMENU ▶ 📷 ▶ [マイカメラ]

- 動画撮影のとき:動画撮影画面で📷 ▶ [マイカメラ]

2 [設定1に保存]/[設定2に保存]

自動切替モードを設定する<自動切替モード>

バーコード/名刺を検出したときに、自動でバーコードリーダー/名刺リーダーを起動するかどうかを設定します。

1 静止画撮影画面でMENU ▶ 📷 ▶ [その他設定] ▶ [自動切替モード]

2 設定を選ぶ

- 撮影サイズが「QCIF:176×144」のときは利用できません。
- 撮影モードは約10cmの距離で自動切り替えを行います。ただし、バーコードや名刺が小さく表示されている場合やディスプレイの中央に表示されていない場合は、撮影モードが自動で切り替わらないときがあります。

自動保存モードを設定する<自動保存モード>

撮影した静止画を自動的に保存するかどうかを設定します。

1 静止画撮影画面でMENU ▶ 📷 ▶ [その他設定] ▶ [自動保存モード]

2 設定を選ぶ

- 自動保存モードを[ON]に設定すると、撮影直後の画像編集や画面設定などの操作はできなくなります。
- 撮影した静止画は、保存先選択で設定した保存先に自動的に保存されます。
- 連写カメラで[オススメフォト]の場合は、自動保存モードを設定できません。

撮影中のバックライトの点灯時間を設定する<バックライト点灯時間>

1 撮影画面でMENU ▶ 📷 ▶ [その他設定] ▶ [バックライト点灯時間]

2 設定を選ぶ

- [常時点灯](静止画)/[常にON](動画)に設定しても、ファインダー画面以外ではディスプレイの照明の点灯時間は照明点灯時間設定に従います。

カメラ終了時の設定保持について<カメラ設定保持>

カメラモード終了時に次の設定を記憶し、次回静止画モードや動画モード、プリティアレンジカメラを同じ状態にして起動できます。カメラモード終了時にお買い上げ時の状態に戻すには、設定を記憶させないようにします。

次ページへ続く▶▶

静止画撮影	サイズ選択、画質選択、保存先選択、手ぶれ補正、シーン別撮影、自動保存モード、ISO感度、笑顔レベル、顔登録情報表示、自動切替モード、ピクチャーライト、チェイスフォーカス、コンティニュアスフォーカス ● サイズ選択、画質選択はメインカメラとサブカメラについてそれぞれの設定を保持します。
動画撮影	サイズ選択、画質選択、ファイルサイズ制限、保存先選択、手ぶれ補正、ノイズキャンセラ、チェイスフォーカス、コンティニュアスフォーカス
プリティアレンジカメラ	サイズ選択、画質選択、保存先選択、ピクチャーライト、コンティニュアスフォーカス ● サイズ選択、画質選択はメインカメラとサブカメラについてそれぞれの設定を保持します。

1 撮影画面でMENU▶📷▶[その他設定]▶[カメラ設定保持]

2 設定を選ぶ

● バックライト点灯時間、シャッター音、カメラボタン設定はカメラ設定保持の設定にかかわらず設定を保持します。

シャッター音を変える<シャッター音>

1 静止画撮影画面でMENU▶📷▶[その他設定]▶[シャッター音]

2 シャッター音を選ぶ

カメラの設定を初期状態に戻す <デフォルト設定に戻す>

● サイズ選択、イン／アウトカメラ切替、保存先選択は初期状態に戻りません。

1 撮影画面でMENU▶📷▶[その他設定]▶[デフォルト設定に戻す]

メール／ブログ機能

撮影後すぐに静止画または動画を送る

静止画／動画撮影後、保存前の画面から、撮影した静止画や動画をメールに添付して送信したり、ブログ／SNSに投稿することもできます。また、静止画の場合はデコメール®として送信できます。

● 撮影した動画はｉモーションメールとして送信します。

1 静止画プレビュー画面／連続撮影プレビュー画面で✉

- 動画撮影確認メニュー画面でメールを作成するとき：[メール作成]▶操作３へ
- 動画撮影確認メニュー画面でブログ／SNSに投稿するとき：[投稿]▶投稿先にカーソルを合わせる▶MENU▶操作３へ
  - ・ブログ／SNS投稿先の登録については☞P.170

2 送信方法を選ぶ

◆ **[メール添付]**
- ・撮影した静止画が添付されます。
- ・添付する静止画によっては、画像サイズやファイルサイズを変更する画面が表示されます。表示される画面については、P.149「ファイルを添付する」を参照してください。

◆ **[メール挿入]**
- ・撮影した静止画が本文に挿入され、デコメール®になります。
- ・挿入する静止画によっては、画像サイズやファイルサイズを変更する画面が表示されます。表示される画面については、P.143「デコメール®を作成する」を参照してください。

◆ **[投稿]▶投稿先にカーソルを合わせる▶MENU**
- ・撮影した静止画が添付されます。
- ・ブログ／SNS投稿先の登録については☞P.170

● 撮影した静止画は自動的に保存されます。

3 メール／デコメール®を作成・送信

エフェクトカメラ

いろいろな効果を付けて撮影する

撮影する静止画や動画にエフェクトを設定し、色合いやタッチを変えて撮影できます。

- 静止画撮影の場合、撮影サイズが「3M：1536×2048」、「フルHD：1080×1920」、「待受：480×854」、「VGA：480×640」、「QVGA：240×320」、「QCIF：176×144」のときにエフェクト撮影できます。
- 動画撮影の場合、次の設定のときにエフェクト撮影できます。
  - 撮影サイズ：「QVGA：320×240」、「QCIF：176×144」
  - 映像・音声切替：[映像＋音声]、[映像のみ]
  - 共通再生モード：[OFF]
  - シーン別撮影：[標準]
  - 顔認識フォーカス：[OFF]
  - チェイスフォーカス：[OFF]

1 ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[カメラ]▶[アレンジカメラ]▶[エフェクトカメラ]▶[カメラ]

- 撮影画面で[MENU]▶[カメラ]▶[撮影メニュー]▶[エフェクト撮影]でも操作できます。

2 エフェクトの種類を選ぶ

- 設定できるエフェクトの種類は次のとおりです。
  - OFF：エフェクトを解除します。
  - ミニチュア※1：実際の風景をミニチュア模型で再現したかのように表現できます。
  - 魚眼：魚眼レンズでの効果を表現できます。
  - モノクロ：モノトーンで濃淡を表現できます。
  - セピア：セピア色で濃淡を表現できます。
  - きらきら：光輝部をさらに輝かせる効果を表現できます。
  - 色えんぴつ：色つきの線画で表現できます。
  - 円ソフトフレーム※1：画面の周りにぼかしの効果を付けることができます。
  - 残像※2：動きの残像を表現できます。
  - 波紋：波紋効果を付けることができます。
  - 万華鏡、万華鏡（大）※2、万華鏡（小）※2：万華鏡の効果を表現できます。

※1　動画撮影では設定できません。
※2　動画撮影のみ設定できます。

3 ⊙／D

- 静止画を撮影します。

- 動画撮影時は、エフェクト撮影を設定すると、画質が次のように設定され、変更することはできません。
  - 「QVGA：320×240」、「QCIF：176×144」：[ハイクオリティ]
- 動画撮影時は、エフェクト撮影を設定すると、手ぶれ補正が自動的に[OFF]になります。このあと、エフェクト撮影を解除すると、エフェクト撮影設定前の手ぶれ補正の設定になります。
- 静止画撮影で撮影サイズが「待受：480×854」より大きいときに[波紋]、[万華鏡]に設定すると、撮影サイズは「待受：480×854」に変更されます。

プリティアレンジカメラ

人物の顔を撮影してアレンジする

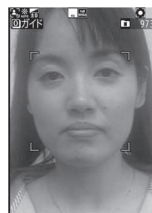
人物の顔を撮影したあとに、顔を小さくしたり、目を大きくしたりするなどのアレンジができます。また、タッチパネルを使って、撮影した画像に手書きで描画することができます。

- 画面上部に残り撮影可能枚数が表示されます。
- 撮影サイズは「待受：480×854」以下です。

1 ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[カメラ]▶[アレンジカメラ]▶[プリティアレンジカメラ]

2 ⊙／D

- 静止画を撮影します。

3 [MENU]

- 撮影した顔画像の顔と目の大きさや肌の色が自動的に1回アレンジされ、顔アレンジ画面が表示されます。
- 手書き入力：[カメラ]

次ページへ続く▶▶

・撮影した画像が自動的に保存され、手書き入力画面が表示されます。以降の操作については☞P.405「手書きメモを作成する」の操作2へ
・手書き入力を行うと、顔のアレンジ操作に戻れません。人物の顔をアレンジする場合は操作4のあとに手書き入力を行ってください。

4 人物の顔をさらにアレンジする

- 顔の大きさを変更する:MENU
- 肌の色を変更する:✉
- 目の大きさを変更する:📷
- 1つ前の状態に戻す:i
- アレンジはそれぞれ3回まで操作でき、4回目の操作でアレンジされていない画像になります。4回以上アレンジする場合は、操作5の前にMENUを押してください。

5 ◉

- 画像を保存します。
- メールで送信:✉▶メールを作成・送信
- 高速赤外線通信で送信(IrSS™機能)(☞P.348):i▶送信方法を選ぶ

● 残り撮影可能枚数の表示は目安であり、撮影時の設定により、残り撮影可能枚数が減少しないことや撮影した枚数よりも多く減少する場合があります。
● 撮影時に顔が検出されていないと、顔をアレンジできないことがあります。
● 複数の顔が検出された場合、すべての顔がアレンジされます。
● 作成した画像はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに保存されます。

連写カメラ

いろいろな連続撮影をする

● 連続撮影をしたり、連続撮影した静止画からお好みの写真を選んで保存できます。
● 設定を[通常(ON)]、[ON]、[マニュアル]に設定したときの最大撮影枚数は次のとおりです。

14M:3240×4320	3枚	14M:スマートリサイズズーム	3枚
10M:2736×3648	3枚	5M:1944×2592	3枚
3M:1536×2048	3枚	フルHD:1080×1920	6枚
待受:480×854	8枚	VGA:480×640	10枚
QVGA:240×320	40枚	QCIF:176×144	40枚

● 設定できる撮影サイズは次のとおりです。

撮影サイズ	通常(ON)/ON/オススメフォト	ブラケット	ベストセレクトフォト/ストロボフォト	マニュアル
14M:3240×4320	○	○	×	×
14M:スマートリサイズズーム	○	○	×	×
10M:2736×3648	○	○	×	×
5M:1944×2592	○	○	×	×
3M:1536×2048	○	○	×	×
フルHD:1080×1920	○	○	×	○
待受:480×854	○※	○	○※	○
VGA:480×640	○※	○	○※	○
QVGA:240×320	○※	×	○※	○
QCIF:176×144	○※	×	○※	○

○:設定できます。
×:設定できません。
※ フレーム撮影を組み合わせて撮影できます。

1 ノーマルメニューで[カメラ/TV/MUSIC]▶[カメラ]▶[連写カメラ]

- 静止画撮影画面ではMENU▶📷▶[撮影メニュー]▶[連続撮影]でも操作できます。

2 設定を選ぶ

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ OFF※:連続撮影を利用しません。
  - ■ 通常(ON)/ON※:自動的に静止画を連続して撮影できます。

■ オススメフォト:連続撮影した写真から選定モードで設定したモードをもとに自動で1枚選択して表示します。
・撮影サイズに応じて3～10枚撮影します。

■ ブラケット:明るさの異なる3枚の静止画を連続して撮影できます。

■ ベストセレクトフォト:シャッター操作をする直前から連続して撮影できます。

■ ストロボフォト:約0.13秒間隔で連続して撮影し、それらを合成した1枚の画像を作成できます。
・撮影サイズに応じて7～20枚撮影しますが、撮影したすべての画像が合成に使われるとは限りません。

■ マニュアル:自分のシャッター操作で静止画を連続して撮影できます。

※ サブメニューから操作したときのみ設定できます。

- [ベストセレクトフォト]を選択すると撮影開始音が鳴ります。

3 ◉／◎

- 1枚目が撮影され、以降自動的に撮影されます。
- マニュアル撮影のときは、連続撮影最大枚数まで◉／◎を押します。
- 連続撮影中に[終話]を押したり、FOMA端末を閉じると、撮影を中止してカメラモードを終了します。また、ポジションを変えると撮影を停止し、連続撮影開始前の状態に戻ります。
- 全枚数を撮影すると、連続撮影プレビュー画面が表示されます。
- ストロボフォトのときは合成した画像が表示されます。
- オススメフォトのときは1枚プレビュー画面が表示されます。

4 画像を保存する

- 自動保存モード(☞P.235)が[ON]のときは、自動的に全件保存されます。

通常(ON)／ON／ブラケット／ベストセレクトフォト／マニュアルの場合

- 画像を保存:画像を選ぶ▶◉／◎
- すべての画像を保存:[カメラ]
- メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿(☞P.236):[メール]▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信

オススメフォトの場合

- 表示された画像のみ保存:◉／◎
- 全画面表示:[MENU]
- 連続撮影プレビュー画面を表示:[カメラ]
  - 画像を保存:画像を選ぶ▶◉／◎
  - すべての画像を保存:[カメラ]
  - メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿(☞P.236):[メール]▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信
  - 1枚プレビュー画面を表示:[i]
- メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿(☞P.236):[メール]▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信
- 選定モードを変更:[i]▶モードを選ぶ

ストロボフォトの場合

- 表示された画像のみ保存:◉／◎
- 表示された画像を削除:[カメラ]
- メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿(☞P.236):[メール]▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信
- 連続撮影プレビュー画面を表示:[CLR]
  - 画像を保存:画像を選ぶ▶◉／◎
  - すべての画像を保存:[カメラ]
  - メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿(☞P.236):[メール]▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信

- 連続撮影中に着信やアラームが動作すると、撮影中の静止画は保持され、連続撮影は中止されます。ただし、着信やアラーム動作のタイミングによっては、撮影中の静止画が破棄され、静止画撮影画面に戻ることもあります。
- ストロボフォト撮影時にFOMA端末を動かすと、[撮影に失敗しました]と表示され、撮影ができない場合がありますのでご注意ください。

■ 連続撮影プレビュー画面のサブメニュー操作

[全件保存]

[全件削除]

[1件保存]

[1件削除]

[位置情報貼付] ☞P.335

ショットメモ

ショットメモを利用する

斜めに撮影された画像の傾きを補正したり、白い背景の文字を読みやすくなるように補正することで撮影した画像をメモとして利用することができます。

1 ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[カメラ]▶[読取りカメラ]▶[ショットメモ]

2 ⦿／D

- 静止画を撮影します。

3 画像を選ぶ

- 前の補正候補／次の補正候補に変更：MENU／📷
  - ✥でも操作できます。

4 ⦿

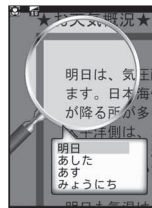
- 画像を保存します。
- 手書き入力：📷
  - 撮影した画像が自動的に保存され、手書き入力画面が表示されます。以降の操作については☞P.405「手書きメモを作成する」の操作2へ
- メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿（☞P.236）：✉▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信
- 高速赤外線通信で送信（IrSS™機能）（☞P.348）：i▶送信方法を選ぶ

ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ

ラクラク瞬漢／瞬英ルーペを利用する

カメラを使って漢字や英単語を読み取り、読みかたや意味をディスプレイに表示します。読み取った文字を辞書で検索することもできます。

- ラクラク瞬漢／瞬英ルーペで表示される読みかたや意味は「明鏡モバイル国語辞典」「ジーニアスモバイル英和辞典」 ©2009 Taishukanをもとに表示しています。

1 ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[カメラ]▶[読取りカメラ]▶[ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ]

2 ディスプレイのルーペ枠内に読み取る文字を表示

- 読み取り結果と読みかたや意味が吹き出しで表示されます。
  - 読みかたや意味は3個まで表示されます。4個以上ある場合は[etc]が表示されます。
  - 漢字を読み取った場合は、読みかたを表示します。
  - 英単語を読み取った場合は、意味を表示します。
- ディスプレイのルーペ枠内に表示する文字を変更するだけで、読み取り結果も変更されます。
- 読み取った文字を辞書で検索：読み取り結果表示中に⦿▶辞書で検索する

- 読み取り結果は保存されません。
- 読みかたや意味は先頭から全角6文字まで表示されます。全角6文字を超えると、全角5文字まで表示され、以降は「…」の表示となります。
- 傷、汚れ、光の反射、文字サイズなどによっては読み取れないときがあります。

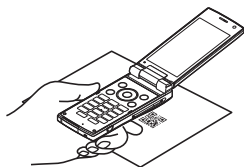
■ ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ画面のサブメニュー操作

[撮影モード切替]▶撮影モードを選ぶ

[AFモード]▶設定を選ぶ

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってバーコード(JANコード、QRコード)を読み取ると、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To、Bookmark登録、電話帳登録、文字表示、iアプリToを利用できます。読み取った文字のコピーや貼り付け、メロディの再生や保存、画像またはトルカの表示や保存を行うこともできます。

● 読み取り結果をmicroSDカードに保存することはできません。

JANコードとは

● 幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。
● 右のJANコードを読み取ると[4942857119022]と表示されます。
● JAN8、JAN13を読み取ることができます。

4 942857 119022

QRコードとは

● 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。
● 右のQRコードを読み取ると[株式会社NTTドコモ]と表示されます。

CODE128とは

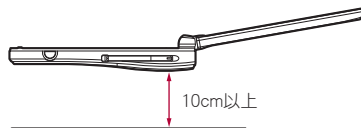
● 幅の異なる縦の線(バー)で数字やアルファベットなどを表現しているバーコードです。
● CODE128を読み取るには、対応しているiアプリのソフトをダウンロードする必要があります(☞P.307)。

バーコード(JANコード、QRコード)から文字を読み取って利用する<バーコードリーダー>

● バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
● 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないときがあります。

1 ノーマルメニューで[カメラ/TV/MUSIC]▶[カメラ]▶[読取りカメラ]▶[バーコードリーダー]

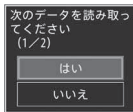
10cm以上離して読取を押す

2 ディスプレイの中央に読み取るバーコード(JANコード、QRコード)を表示▶◉

10cm以上

• ディスプレイに表示されているバーコードを撮影せず、直接読み取ります。
• バーコード(JANコード、QRコード)の真正面からカメラまでを10cm以上離して、バーコードやFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。
• 読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。
• 読み取りの中断:MENU/CLR

分割されたデータについて

- QRコードには、分割されたデータ（最大16個）を読み取って１つのデータとなるものがあります。分割されたデータを読み取ったときはメッセージが表示されます。（　）には残り個数／全連結数が表示されています。
  ［はい］を選ぶと次のQRコードの読み取り画面に進みます。次のQRコードをディスプレイの中央に表示させると、自動的に次のQRコードを読み取ります。操作を繰り返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。

次のデータを読み取ってください（1／2）
はい
いいえ

3 読み取り結果を利用する

- 読み取った文字や数字に下線が付いているとき：読み取った文字を選ぶ
  - 読み取った文字の内容に応じた画面が表示されます。
- 読み取った文字をすべてコピー：[カメラ]

■ バーコードリーダー画面のサブメニュー操作

［撮影モード切替］▶撮影モードを選ぶ

［保存データ］▶保存データを選ぶ

［AFモード］▶設定を選ぶ

■ 読み取り結果画面のサブメニュー操作

［電話帳登録］▶電話帳に登録

［Bookmark登録］▶Bookmarkに登録

［コピー］▶始点を選ぶ▶終点を選ぶ

［保存］▶保存先を選ぶ

QRコードから画像、トルカやメロディを読み取って利用する

1 QRコードを読み取る

- 読み取り結果画面に、読み取ったデータの種類に合わせて［画像］／［メロディ］／［トルカ］と表示されます。

2 ◉▶利用方法を選ぶ

- 複数のトルカが含まれている場合に［表示］を選んだときは、先頭のトルカのみ取得します。
- ［保存］を選んだときは、画像はデータBOXのマイピクチャの［外部取得データ］フォルダ、メロディはデータBOXのメロディの［外部取得データ］フォルダ、トルカはおサイフケータイメニューのトルカの［トルカフォルダ］内に保存されます。

名刺リーダー

名刺リーダーを利用する

カメラを使って名刺（日本語、英語）を読み取り、FOMA端末電話帳に新規登録できます。

- 登録できる項目は次のとおりです。
  - ■ 名前　■ フリガナ（姓のみ）
  - ■ 電話番号／携帯電話番号／FAX番号（最大合計５件）※
  - ■ メールアドレス（最大３件）　■ 会社・学校名　■ 所属
  - ■ 役職名　■ 郵便番号／住所　■ メモ（登録日、その他の項目）
  - ■ URL

※ 各項目のみが複数件ある場合は最大３件まで登録できます。

1 ノーマルメニューで［カメラ／TV／MUSIC］▶［カメラ］▶［読取りカメラ］▶［名刺リーダー］

2 ディスプレイの中央に名刺を表示▶◉／D

- シャッター音が鳴ります。
- 名刺全体がディスプレイに表示されている枠に納まるようにFOMA端末を固定してください。名刺以外のもの、特に文字を含むものがディスプレイ内に入らないようにしてください。
- 名刺をディスプレイに表示する際、縦向き横向きどちらでも読み取ることができますが、斜めにはしないでください。

- できるだけ名刺を大きく表示すると読み取りやすくなりますが、カメラを名刺に近づけすぎるとピントが合いにくくなります。名刺からカメラまでの距離は約10cm離してください。

3 ◉ ▶ **電話帳に登録**

- 撮影した名刺画像が自動的に保存され、電話帳登録画面が表示されます。電話帳登録画面には、読み取った項目が入力されています。
- 電話番号／携帯電話番号／FAX番号が合計6件以上あるときは上から5件目まで、メールアドレスが4件以上あるときは上から3件目まで登録されます。電話種別アイコンは[☎]／[📱]／[FAX]が、メールアドレス種別アイコンは[📱]が登録されます。

- 名刺によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。
- 読み取り対象外の名刺は次のとおりです。
  - ■ 日本語および英語以外の名刺
  - ■ 背景が付いている名刺
  - ■ 手書きまたは手書き風のフォントを使用した名刺
  - ■ 縦書きと横書きが混在した名刺
  - ■ ディスプレイなどに表示された名刺
- 読み取り性能が低下する名刺は次のとおりです。
  - ■ 文字が薄くコントラストの低い名刺
  - ■ 極端に小さい文字を含む名刺
  - ■ 斜体フォントを含む名刺
  - ■ 光沢のある用紙に印刷された名刺
  - ■ ロゴまたはロゴ風書体の文字を含む名刺
  - ■ 文字どうしの間隔が狭く接触している文字を含む名刺
- フリガナは正しい読みかたにならない場合や、自動付与されないときがあります。
- 項目の分類は正しく認識されないことがあります。
- 撮影した名刺画像はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに保存されます。

■ 名刺リーダー画面のサブメニュー操作

[撮影モード切替] ▶ 撮影モードを選ぶ

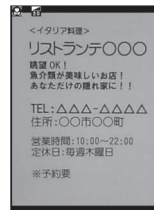
[AFモード] ▶ 設定を選ぶ

情報リーダー

情報リーダーを利用する

カメラを使って、雑誌などから店名や電話番号などの情報を読み取り、FOMA端末電話帳に新規登録できます。

- 登録できる項目は次のとおりです。
  - ■ 店名　■ 電話番号（最大3件）　■ メールアドレス（最大3件）
  - ■ 郵便番号／住所
  - ■ メモ（営業時間、定休日、アクセス、その他の項目）
  - ■ URL

1 **ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC] ▶ [カメラ] ▶ [読取りカメラ] ▶ [情報リーダー]**

2 **ディスプレイの中央に情報を表示 ▶ ◉／D**

- シャッター音が鳴ります。
- 読み取りたい情報がディスプレイに納まるようにFOMA端末を固定してください。ただし、ディスプレイに表示される文字が小さくなる場合は、電話番号や住所などを表示して読み取れる大きさにしてください。
- 読み取りたい情報をディスプレイの中央付近に表示してください。
- できるだけ読み取りたい情報を大きく表示すると読み取りやすくなりますが、カメラを読み取りたい情報に近づけすぎるとピントが合いにくくなります。読み取りたい情報からカメラまでの距離は約10cm離してください。

3 ◉ ▶ **電話帳に登録**

- 撮影した画像が自動的に保存され、電話帳登録画面が表示されます。電話帳登録画面には、読み取った項目が入力されています。

- 電話番号やメールアドレスが４件以上あるときは、それぞれ上から３件目まで登録されます。

- 雑誌などの記載内容によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。
- 読み取り対象外のものは次のとおりです。
  - ■ 漢数字で書かれた電話番号
- 読み取り性能が低下するものは次のとおりです。
  - ■ ざらついた紙面などに印刷されたもの
  - ■ 店名などにふりがながあるもの
  - ■ 部分的に文字が反転しているもの
- その他の読み取り対象外のものや、読み取り性能が低下するものなどの注意事項については、名刺リーダーを参照してください。
- 撮影した画像はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに保存されます。

■ 情報リーダー画面のサブメニュー操作

- 情報リーダー画面のサブメニュー操作は、名刺リーダー画面のサブメニュー操作（☞P.243）を参照してください。

コラムリーダー

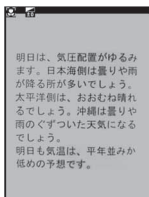
コラムリーダーを利用する

カメラを使って、新聞や雑誌などの記事を読み取り、メールやメモを作成できます。

- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、文字サイズによっては、正しく読み取れないときがあります。

1 ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[カメラ]▶[読取りカメラ]▶[コラムリーダー]

- 読み取る領域を選ぶ：📷▶領域を選ぶ

明日は、気圧配置がゆるみます。日本海側は曇りや雨が降る所が多いでしょう。太平洋側は、おおむね晴れるでしょう。沖縄は曇りや雨のぐずついた天気になるでしょう。
明日も気温は、平年並みか低めの予想です。

2 ディスプレイに読み取る文字を表示▶◉／Ⓓ

- 領域を[オート]以外に設定した場合は、操作４へ
- 読み取りたい情報からカメラまでの距離は約10cm離してください。

3 読み取るコラムを選ぶ▶📷

- カーソルを合わせているコラムは青色で表示されます。
- 選択したコラムは緑色で表示されます。
- 複数のコラムを選択できます。

4 読み取り結果を利用する

- 読み取った文字を辞書で検索：📷▶辞書を選ぶ▶辞書で検索する
- メモを作成：◉▶メモを作成
- メールを作成：✉▶メールを作成・送信

■ コラムリーダー画面のサブメニュー操作

[撮影モード切替]▶撮影モードを選ぶ

[AFモード]▶設定を選ぶ

ショットデコ

静止画撮影してデコメ®ピクチャを作成する

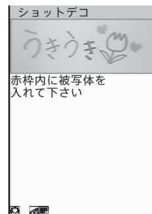
静止画撮影した手書きの絵や文字をGIF画像として読み取り、オリジナルのデコメ®ピクチャやデコメ絵文字®を作成できます。また、読み取った画像を合成して、GIFアニメーションを作成することもできます。

1 ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[カメラ]▶[メイクデコカメラ]▶[ショットデコ]

ショットデコ
赤枠内に被写体を
入れて下さい

2 ディスプレイの赤枠内に読み取る絵や文字を表示 ▶ ◉／Ⓓ

- シャッター音が鳴ります。

3 ◉／Ⓓ

- アニメーションの種類を変更：1～4
- 画像の色をレインボーに変更：5
- 画像の色を変更：6
- 画像の反転状態を変更：7
- 画像を元に戻す：8
- デコメール®を送信（☞P.143）：✉ ▶ デコメール®を作成・送信

■ ショットデコ撮影画面のサブメニュー操作

［撮影モード切替］▶ 撮影モードを選ぶ
［サイズ変更］▶ サイズを選ぶ
［静止画・アニメモード切替］▶ モードを選ぶ

アニメモードを利用する<アニメ>

最大５枚の画像を合成して、GIFアニメーションを作成できます。

1 ショットデコ撮影画面でMENU ▶［静止画・アニメモード切替］▶［アニメ］

- 📷を押しても操作できます。
  - 📷を押すたびに、静止画モードとアニメモードが切り替わります。

2 ディスプレイの赤枠内に読み取る絵や文字を表示 ▶ ◉／Ⓓ

- シャッター音が鳴ります。
- 最大５枚まで撮影します。
- 全枚数を撮影するか、📷を押して撮影を中止すると、プレビュー画面が表示されます。

3 ◉

- 合成後の画像を確認：MENU
  - 画像の保存：◉／Ⓓ
- デコメール®を送信（☞P.143）：✉ ▶ デコメール®を作成・送信

- 罫線付きのノートなどに書いても、罫線を除いて絵や文字を読み取ります（罫線を読み取る場合もあります）。また、白色の背景も除いて絵や文字のみ読み取ります。
- 読み取った画像はデータBOXのマイピクチャの［デコメピクチャ］フォルダに保存されます（撮影サイズが「絵文字：20×20」のときは［デコメ絵文字］フォルダに保存されます）。
- 被写体や撮影場所によってノイズが目立つ場合、明るさを調整するときれいに撮影できることがあります。

モーションデコ

動画撮影してデコメ®ピクチャを作成する

動画撮影したデータをGIFアニメーションとして読み取り、オリジナルのデコメ®ピクチャやデコメ絵文字®を作成できます。

- 撮影中に撮影残時間表示が00:00:00になると、自動的に撮影が停止します。
- データBOXに保存されている動画／iモーションからも、デコメ®ピクチャやデコメ絵文字®を作成できます（☞P.356）。

1 ノーマルメニューで［カメラ／TV／MUSIC］▶［カメラ］▶［メイクデコカメラ］▶［モーションデコ］

2 ディスプレイの赤枠内に読み取りたいものを表示 ▶ ◉／Ⓓ

- 撮影開始音が鳴ります。
- 撮影を止めるとき：◉
  - 撮影停止音が鳴ります。

次ページへ続く ▶▶

3 ◉／Ⓓ

- デコメール®を送信（☞P.143）：✉ ▶ デコメール®を作成・送信

- 撮影サイズが小さいほど、きれいな画像でデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®を作成できます。
- 撮影中にFOMA端末を閉じた場合は、撮影停止し、保存前のプレビュー画面が表示されます。
- 読み取った映像はデータBOXのマイピクチャの［デコメピクチャ］フォルダに保存されます（撮影サイズが「絵文字：20×20」のときは［デコメ絵文字］フォルダに保存されます）。

■ モーションデコ撮影画面のサブメニュー操作

［撮影モード切替］▶ 撮影モードを選ぶ

［サイズ変更］▶ サイズを選ぶ

ゴルフスイングビデオカメラ

ゴルフスイングを撮影する

撮影した映像を2画面で同時再生して、ゴルフスイングのチェックができます。

- 2画面での再生方法については☞P.357

1 **ノーマルメニューで［カメラ／TV／MUSIC］▶［カメラ］▶［ゴルフスイングビデオカメラ］**

- ズーム（☞P.226）を利用したり、シーン・モード設定変更画面（☞P.231）やカメラギャラリー（☞P.380）を表示できます。

2 ◉／Ⓓ

- ディスプレイの緑色の枠内に被写体の頭の位置を合わせて撮影します。
- 撮影一時停止／再開：MENU

3 **撮影を止めるときは◉／Ⓓ**

- 撮影停止音が鳴り、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。

4 **［保存］**

- 動画を保存します。
- メールで送信（☞P.236）：［メール作成］▶ メールを作成・送信
- 動画の再生：［再生］
- ブログ／SNSに投稿（☞P.236）：［投稿］▶ 投稿先にカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ メールを作成・送信
  - ・ブログ／SNS投稿先の登録については☞P.170
- 動画を取り消す：［取消］▶［はい］

- ゴルフスイングを撮影する場合は、静止状態からスイング開始までの時間を十分に取ってください。静止状態からスイング開始までの時間が短い場合、スイング開始位置を合わせて同時再生できないことがあります。

ハンドミラー

ハンドミラーとして使う

サブカメラを使って手鏡のように利用することができます。そのまま静止画撮影することもできます。

1 **ノーマルメニューで［カメラ／TV／MUSIC］▶［カメラ］▶［ハンドミラー］**

- 通常ポジションで待受画面表示中にⒹを1秒以上押しても起動できます。
- 静止画撮影する：P.224「静止画を撮影する」の操作2へ
- 静止画撮影と同様に設定を変更できます（☞P.226、P.234）。

ワンセグ

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、ｉモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記のホームページなどでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
パソコンから　http://www.dpa.or.jp/
ｉモードから　http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者(放送局)などが用意したサイトに接続し表示します。また、「ｉモードサイト」などへ接続する場合もあります。なお、サイトへ接続する場合は、別途ｉモードのご契約が必要です。
「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの(ｉモード有料サイト)があります。
ワンセグの視聴中に自動的にトルカを保存する場合があります。保存したトルカから詳細情報を取得する場合は、パケット通信料がかかります。

放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波(放送波)を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

■ 放送波が送信される電波塔から離れている場所
■ 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
■ トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

電池残量について

電池残量が少ないときに録画を開始した場合、または録画中に電池残量が少なくなった場合は、録画ができない旨のメッセージが表示され、録画が終了します。

- しばらくの間何も操作しないと、自動的にワンセグが終了します。

はじめてワンセグを利用する場合の画面表示

お買い上げ後、はじめてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
表示される内容を確認して⦿を押してください。以後、同様の確認画面は表示されません。

- 次の操作をすると、ご利用確認画面が再度表示されるようになります。
  ■ 各種設定リセット　■ 別のドコモUIMカードに差し替える
  ■ データ一括削除

放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者（放送局）の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。

保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。

放送用保存領域を消去するには☞P.263

別のドコモUIMカードに差し替えた場合やドコモUIMカード未挿入の場合は、放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。[いいえ]を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■ 放送用保存領域の読み出し時の画面表示

番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、[放送用保存領域内の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります]と表示されます。[はい]を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また、[はい（以後非表示）]を選択すると、以降、番組が変わっても確認は行われません。

ワンセグをご利用になる前に

- 充電しながらワンセグの視聴を長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって、保存内容が消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、端末内に保存した情報（ワンセグから録画したビデオや静止画、テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報など）は移し替えできません。
- 電池残量が不足すると、確認画面が表示されます。しばらくの間何も操作しないと、自動的にワンセグが終了します。

ワンセグの視聴手順

例：はじめてワンセグを視聴するとき

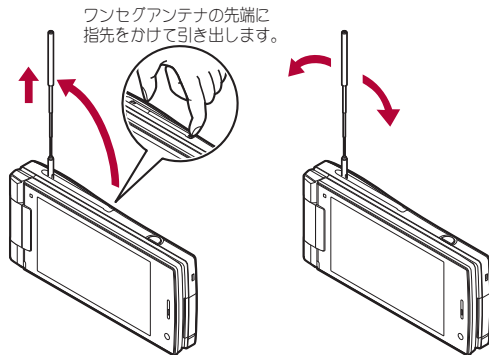
STEP 1　チャンネルを設定する☞P.250
ご利用になる地域に対応したチャンネルリストを登録し、利用するチャンネルリストを選択します。

↓

STEP 2　ワンセグを見る☞P.252
ワンセグアンテナを伸ばし、ワンセグを起動します。

ワンセグアンテナについて

- ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。
- ワンセグアンテナを収納するときは、先端を持って無理に収納しようとしないでください。破損の原因となります。止まるところまでまっすぐ押し込み、ワンセグアンテナを倒して収納してください。

ワンセグアンテナの先端に指先をかけて引き出します。

- ワンセグアンテナをご使用の際は、ワンセグアンテナを最後まで引き出してください。ワンセグアンテナを最後まで引き出していない状態で無理な力を加えると、破損の原因となります。

チャンネル設定

チャンネルを設定する

ワンセグを利用するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネルリストを１つ選択しておく必要があります。

- チャンネルリストの登録方法は、自動チャンネル設定とプリセットから設定の２種類があります。
- チャンネルリストは10件まで登録できます。また、１つのチャンネルリストには放送局を62件まで登録できます。

チャンネルリストに自動で登録する
＜自動チャンネル設定＞

あらかじめ用意されている各地域の放送局の情報から、ご利用になる都道府県／地区を選び、自動的に放送局を検索してチャンネルリストに登録します。

- 自動チャンネル設定は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内でワンセグアンテナを十分伸ばしてから行ってください。

1 ノーマルメニューで［カメラ／TV／MUSIC］▶［ワンセグ］▶［チャンネルリスト］
- 確認画面が表示されたとき：［はい］▶［自動チャンネル設定］▶［はい］▶操作３へ

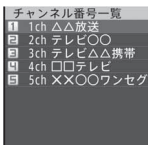
2 MENU▶［新規作成］▶［自動チャンネル設定］▶［はい］
- 📷▶［自動チャンネル設定］でも、自動チャンネル設定ができます。

3 都道府県／地区を選ぶ
- 放送局の検索が開始されます。検索終了まで、約40秒かかります。

チャンネルリスト
自動チャンネル設定中…
しばらくお待ちください

ワンセグ

4 **[はい]**

チャンネル番号一覧
1 1ch △△放送
2 2ch テレビ○○
3 3ch テレビ△△携帯
4 4ch □□テレビ
5 5ch ××○○ワンセグ

用意されているチャンネルリストを登録する
<プリセットから設定>

あらかじめ用意されている各地域の放送局の情報から、ご利用になる都道府県／地区を選んでチャンネルリストに登録します。

1 **ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[ワンセグ]▶[チャンネルリスト]**

- 確認画面が表示されたとき：[はい]▶[プリセットから設定]▶操作3へ

2 **MENU▶[新規作成]▶[プリセットから設定]**

- 📷▶[プリセットから設定]でも、プリセットから設定ができます。

3 **地域を選ぶ**

- チャンネルマップ画面から地域／都道府県／地区を選ぶとき：MENU▶地域を選ぶ▶都道府県を選ぶ▶地区を選ぶ▶操作5へ
- チャンネルマップ画面では、地図上から地区を選択します。MENUを押すとリスト画面に戻ります。

4 **都道府県／地区を選ぶ**

5 **[はい]**

- プリセットから設定で正しく設定できないときは、自動チャンネル設定を行ってください。

利用するチャンネルリストを選択する
<チャンネルリスト>

1 **ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[ワンセグ]▶[チャンネルリスト]**

2 **チャンネルリストにカーソルを合わせる▶[i]**

- 設定したチャンネルリストには☑、登録されているチャンネルリストには□が表示されます。
- チャンネル番号一覧画面の表示：◉

■ チャンネルリスト一覧画面のサブメニュー操作

[チャンネル番号一覧]
- 番組を見る：チャンネルを選ぶ
- チャンネルの詳細を表示：チャンネルにカーソルを合わせる▶📷

[チャンネルリスト名変更]▶チャンネルリスト名を入力▶📷

[新規作成] ☞P.250

[更新]▶設定方法を選ぶ▶チャンネルを設定
- チャンネル設定の詳細については☞P.250

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[チャンネルリスト名変更]について
- 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

■ チャンネル番号一覧画面のサブメニュー操作

[番号入替え]▶変更先を選ぶ

[削除]▶[はい]

[番号入替え]について
- リモコン番号1～12に割り当てたチャンネルは、ワンタッチで選局できます（☞P.253）。

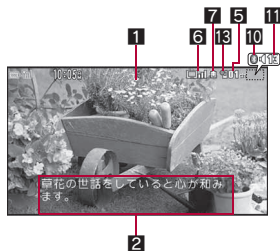
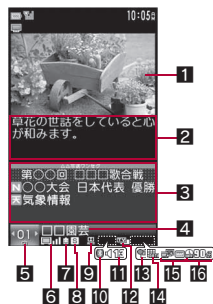
ワンセグを見る

- 市販のBluetooth機器を接続すると、ワンセグの音声をBluetooth機器から再生できます(☞P.437)。

1 ノーマルメニューで[カメラ/TV/MUSIC]▶[ワンセグ]▶[ワンセグ視聴]

- 待受画面で📷(1秒以上)でもワンセグを起動できます。
- 待受画面表示中にビューアポジションにするだけでワンセグを起動できます(☞P.110)。
- 放送用保存領域の初期化を確認するメッセージが表示されたときは、内容を確認して[はい]を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。

- サイトやメールなどに表示されている番組情報からワンセグを起動することもできます(☞P.194)。
- マナーモード設定中にワンセグを起動すると、音声の有無を確認するメッセージが表示されます。設定を選んでください。
- ワンセグ視聴時には、カラーテーマなどの色が変わることがあります。

■ ワンセグ視聴画面の見かた

1 映像
2 字幕
- 映像を全画面表示しているときの字幕の位置は変更できます。

3 データ放送
4 放送局・番組名
5 チャンネル番号
- [ ]が表示されているときは、1つのチャンネルで複数の番組を放送中です。

6 放送電波受信状態
:放送電波の受信状態を表示
- → → の順に電波は弱くなります。
- [ ]が表示されているときは、放送電波の届かない場所にいます。

7 ワンセグecoモード設定中
:ワンセグecoモード設定中

8 音声設定
S :ステレオ
M :モノラル
主 :主音声
副 :副音声
主・副:主音声+副音声

9 Dolby Mobile 設定
:Virtual5.1ch(イヤホン)
AUTO :ジャンル連動
NORMAL:ノーマル
:ニュース
:スポーツ
:ドラマ
:バラエティ
:ミュージック
:映画
ORIGINAL:オリジナル

10 Bluetooth出力
:Bluetooth出力中

11 音量
13:0(音量0)~25(音量25)、(ミュート)

12 操作モード
TV:映像モード
DATA:データ放送モード

⑬ 録画中
　　：FOMA端末に録画中（録画準備中は点滅）
　　：microSDカードに録画中（録画準備中は点滅）
- 録画予約の終了時刻まで残り99分以下になると、残り時間が横に表示されます。

⑭ CSS状態マーク
　　：データ放送の項目をダイヤルボタンで選択可能

⑮ 画面切替可能マーク
　　：MAPを押して画面切替が可能なときに表示

⑯ オフタイマー設定中
　　：オフタイマー設定中
- 残り時間が横に表示されます。[番組終了まで]のときは[ ]が表示されます。

- 縦表示中に放送局・番組名、チャンネル番号などをタッチすると、番組の開始時刻や終了時刻、番組説明が表示されます。ただし、番組によっては表示されない場合もあります。

- ビューアポジションでデータ放送を表示していない場合、番組と連動したデータ放送があるとき、ワンセグ視聴画面に[ ]が表示されることがあります。

■ ワンセグ視聴画面のボタン操作

映像モード

UP／DOWN選局※1	
ワンタッチ選局※2	1～9、＊、0、#
サーチ選局※3	（1秒以上）／（1秒以上） ● サーチ選局の中止：／CLR
音量調節（音量0～25）※4	
ミュート／解除	
字幕設定ON／OFF※5	（1秒以上）
番組表ｉアプリ起動	
ビデオ録画	（1秒以上） ● 録画停止：
静止画録画	
操作切替	
画面表示の切替	MAP
縦横切替	
ワンセグ終了	▶[はい]

※1 リモコン番号1～62を順送り／逆送りで選局します。マルチウインドウ中はMAPで、順送りに選局できます。
※2 1～9、＊、0、#はそれぞれ、リモコン番号1～9、10、11、12に対応しています。
※3 受信可能な放送局を周波数順に検索して切り替えます。
※4 （1秒以上）で連続して音量を上げることができます。（1秒以上）で音量が0になります。
※5 字幕のある番組を視聴中に操作できます。
- 通常ポジションで横表示中はとの操作が入れ替わります。

データ放送モード

選択したサイトに接続	
データ放送項目選択	
前ページに戻る／次ページに進む※1	
ミュート／解除	
番組表ｉアプリ起動	
ビデオ録画※2	（1秒以上） ● 録画停止：
静止画録画※2	
操作切替	
データ放送の操作※3	CLR、1～9、＊、0、#

※1 データ放送サイト表示中に操作できます。
※2 データ放送全画面表示中は操作できません。
※3 操作内容はデータ放送によって異なります。

■ ワンセグ視聴画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

長押 Hold	静止画録画※1	停止 Stop	録画停止※2
ON/OFF 字幕 Subtitle	字幕設定ON／OFF※3	画面切替 ViewSW	画面表示の切替

ワンセグ

データ操作/TV操作	操作切替※4	CH 長押 Hold	ワンタッチ選局※5

※1　ロングタッチすると、ビデオ録画を開始します。
※2　録画中に表示されます。
※3　字幕のある番組を視聴中のみ表示されます。
※4　データ放送表示中に表示されます。
※5　タッチ操作で番組を選ぶことができます。ロングタッチすると、チャンネルビューを表示します。

- 映像領域で次のタッチ操作ができます。

音量バーを表示※1	タッチ※2／上下にすばやくスライド
UP／DOWN選局	左右にすばやくスライド

※1　音量バーを上下にスライドして音量を調節します。Bluetooth出力中は表示されません。
※2　コントロールボタンも同時に表示されます。

- データ放送領域で次のタッチ操作ができます。

画面を上下にスクロール	上下にスライド
前ページに戻る／次ページに進む※1	左右にスライド※2
画面の一部を拡大／縮小	2本の指の間隔を広げる／狭める

※1　データ放送サイト表示中に操作できます。
※2　画面の一部を拡大しているときは画面を左右にスクロールします。

■ ワンセグ視聴画面のサブメニュー操作

[チャンネルビュー]　☞P.255

[番組詳細情報]

[チャンネル設定]

▶[チャンネルリスト切替]
- チャンネルリストの詳細については☞P.250

▶[チャンネル番号一覧]
- 番組を見る：チャンネルを選ぶ
- チャンネルの詳細を表示：チャンネルにカーソルを合わせる▶[📷]

▶[チャンネル追加登録]▶登録先を選ぶ
- 視聴中の放送局をチャンネルリストに登録します。

▶[チャンネルサーチ(UP)]
- サーチ選局(UP)を行います。

▶[チャンネルサーチ(DOWN)]
- サーチ選局(DOWN)を行います。

▶[サービス切替]▶サービスを選ぶ
- 同じチャンネル内に別のサービス(番組)が放送されている場合に視聴するサービスを選択できます。

▶[オートエリア切替]▶設定を選ぶ
- 放送エリアが変わったときにチャンネルリストを自動的に変更します。

[録画の開始と設定]

▶[録画開始]　☞P.257

▶[録画・視聴予約]
- 視聴予約、録画予約の詳細については☞P.258

▶[録画可能時間表示]

▶[録画設定]　☞P.263

▶[静止画録画]

[番組表／紹介メール]

▶[番組表]　☞P.257

▶[紹介メール作成]▶メールを作成・送信
- 番組情報を記載したｉモードメールを作成します。

[データ放送]

▶[前ページへ戻る]

▶[次ページへ進む]

▶[再読み込み]
- データ放送サイトを再読み込みします。

▶[証明書詳細表示]

▶[表示・効果設定]　☞P.263

▶［テレビリンク］ ☞P.262

▶［データ放送に戻る］
- データ放送サイトからデータ放送に戻ります。

［動作設定］

▶［オフタイマー］▶設定を選ぶ
- 設定した時間が経過するとワンセグを自動的に終了します。

▶［画質設定］ ☞P.263

▶［画面設定］ ☞P.263

▶［音声設定］ ☞P.263

▶［クローズ動作設定］ ☞P.263

▶［Dolby Mobile 設定］▶設定を選ぶ
- ［オリジナル］を選択したときは、項目を選択して📷

▶［ワンセグecoモード］▶設定を選ぶ
- 照明設定を無効にして電池の消耗を抑えます。

▶［表示音声OFF設定］

▶［ミュート］

▶［画面OFF（音声のみ）］

［操作切替］ ☞P.261

［Bluetooth出力］ ☞P.437

［キー操作一覧］

［チャンネル追加登録］について
- 利用中のチャンネルリストと異なる地域の番組を視聴しているときは、チャンネル追加登録できないことがあります。

［オートエリア切替］について
- オートエリア切替を［ON］に設定している場合、ワンセグ視聴中に移動して放送エリアが変わったときに、視聴可能なチャンネルリストに変更するかどうかの確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、自動的にチャンネルリストを探して設定することができます。

［紹介メール作成］について
- Media To機能に対応したFOMA端末に送信すると、受信側で情報を選択してワンセグを起動できます。

［再読み込み］について
- データ放送モードの場合に再読み込みできます。

［証明書詳細表示］について
- データ放送モードの場合に証明書を表示できます。

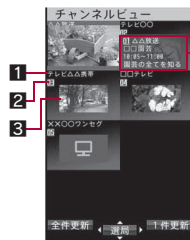
［データ放送に戻る］について
- データ放送モードでデータ放送サイト表示中に操作できます。

［Dolby Mobile 設定］について
- Dolby Mobile 設定は、ステレオイヤホン（別売）使用時に有効です。

チャンネルビューを表示する<チャンネルビュー>

放送中の番組画像（静止画）の一覧から番組を選ぶことができます。

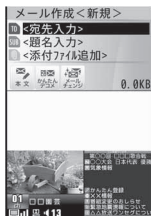
1 ワンセグ視聴画面でMENU▶［チャンネルビュー］
- 番組を見る：番組を選ぶ
- 番組画像を1件更新：番組にカーソルを合わせる▶📷
- 番組画像を全件更新：MENU

チャンネルビュー
テレビ〇〇
01 △△放送
□□園芸
10:05～11:00
園芸の全てを知る
テレビ△△携帯
□□テレビ
××〇〇ワンセグ
全件更新 選局 1件更新

1 放送局
2 チャンネル番号
3 番組画像（静止画）

静止画が表示されないとき
- 🖵 ：未取得
- ◯ ：取得中
- ⊘ ：放送圏外、放送休止中
- 🖵 ：コピー禁止番組
- 放送電波の受信状態などにより番組画像が取得不可能な場合は、何も表示されません。
- 番組画像（静止画）の取得には、受信状態により1放送局あたり約5～15秒かかります。取得中は画面上部に［◯］が点滅します。

4 番組情報（チャンネル番号、放送局、番組名、開始時刻、終了時刻、番組説明）

ワンセグを見ながら他の機能を利用する

マルチウインドウでワンセグを見ながら他の機能を利用できます。

- マルチアシスタントで呼び出し可能な項目のうち、マルチウインドウになる項目は次のとおりです。
  - ■ ダイヤル発信　■ メール　■ ｉモード／ｉコンシェル※1
  - ■ ｉアプリ／おサイフケータイ※2
  - ■ カメラ／TV／MUSIC（ワンセグの予約／予約リスト）
  - ■ データBOXのメロディ、きせかえツール、ワンセグのフォルダ一覧画面とファイル一覧画面
  - ■ 便利ツール（電卓、アラーム、Bluetooth、お知らせタイマー）
  - ■ 電話帳・履歴　■ 本体設定※3
  - ■ 地図／海外（位置履歴、オートGPS履歴）

  ※1　ｉコンシェルを除く
  ※2　トルカを除く
  ※3　マナーモード設定／解除とecoモードを除く
- 次の操作以外にも、ワンセグ視聴と他の機能を同時に利用するような状況になると、マルチウインドウになります。

1 ワンセグ視聴中に[マルチキー]

2 機能を選ぶ

- ワンセグ視聴中に次の機能を起動した場合、マルチウインドウにはなりませんが、ワンセグの音声は聞こえます。
  - ■ ｉモード／ｉコンシェル（ｉコンシェル）
  - ■ ｉアプリ／おサイフケータイ（トルカ）
  - ■ 便利ツール（スケジュール、メモ、使いかたガイド、ウェルネス、マンガ・ブックリーダー、クイック検索、Wi-Fi）
  - ■ 地図／海外（現在地確認、現在地通知）

視聴中に着信などがあったときは

ワンセグ視聴中に次の動作があるとマルチウインドウになり、各機能が動作します。ワンセグの音声は中断されます。

- 録画中も同様の動作となります。

音声電話着信	応答できます。 ● 終了すると、着信する前の状態に戻ります。
テレビ電話着信	応答できます。 ● 着信中、通話中は、ワンセグ画面が中断されます。 ● 通話を終了するか、[MENU]▶［着信拒否］で着信拒否すると、着信する前の状態に戻ります。
アラーム／スケジュールアラーム	アラームを止めると、アラーム／スケジュールの内容を確認できます。 ● 終了すると、アラーム動作前の状態に戻ります。
視聴予約／録画予約の通知	視聴予約／録画予約の通知後の動作については☞P.258

- ビューアポジションで通話するときは、必ずイヤホンマイク（別売）を利用してください。
- 通話を終了すると、自動的にワンセグの視聴を開始することがあります。その際、ワンセグ用の音量で音声が鳴りますので、耳元でご使用の際はご注意ください。

番組表

番組表ｉアプリを利用する

番組表ｉアプリを利用して、テレビ番組表から番組を選択してワンセグを起動したり、視聴予約や録画予約をすることができます。

● 番組表ｉアプリの変更については☞P.289

1 ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[ワンセグ]▶[番組表]

- 番組表ｉアプリ画面で[i]を押すと、選択している番組を視聴できます。

録画

ワンセグを録画する

放送中の番組をビデオ録画したり、番組の一場面を静止画として録画することができます。

● 録画したビデオ／静止画には、自動的に次のようなファイル名が付けられます。
■ FOMA端末に録画したビデオ、録画した静止画：録画日時をもとにしたファイル名
例：2011年１月11日午後１時５分に録画終了→
[201101111305xxx]（「xxx」は半角英数字）
■ microSDカードに録画したビデオ：[PRGxxx]（「xxx」は半角英数字）
● 番組によっては、録画が禁止されていることがあります。
● マルチウインドウのときは録画を開始できません。
● 録画したビデオ／静止画で、次の操作は実行できません。
■ 待受画面選択や各種画面設定などの画面設定
■ メール添付や赤外線通信、ｉＣ通信による送信
■ 映像編集や画像編集
■ microSDカードからFOMA端末へのコピー／移動（ビデオ）
■ FOMA端末からmicroSDカードへのコピー／移動（静止画）

ビデオの保存件数と録画時間の目安

● ビデオ録画先の設定については☞P.263
● ビデオの保存件数と録画時間の目安は次のとおりです。

	保存件数	録画時間
FOMA端末	最大99件	最長約45分
microSDカード（16Gバイト）※	最大99件	最長約5120分

※ １回あたりの録画サイズは２Gバイト（約640分）までです。２Gバイトを超えるmicroSDカードを使用し、空き容量があっても録画を終了します。

● 保存先メモリの空き容量がなくなったときは、自動的に録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

視聴中にビデオ録画する<録画開始>

● 録画したビデオの再生については☞P.359

1 ワンセグ視聴画面で[MENU]▶[録画の開始と設定]▶[録画開始]

- [✉]（１秒以上）でも操作できます。
- 録画が開始されるまでに時間がかかることがあります。

2 録画を止めるときは[✉]

- 録画を終了し、自動的に保存されます。

● 録画中は、次の操作は実行できません。
■ チャンネル変更　■ チャンネル設定　■ 静止画録画
■ サービス選局　■ チャンネルビュー　■ オフタイマー
■ テレビリンクの利用
● 録画中にFOMA端末を閉じても録画は継続されます。
● ビデオ録画中に録画予約を設定した時刻になると、録画予約が優先されます。それまでのビデオ録画は終了し、映像が保存されます。

視聴中に静止画を録画する

- 録画した静止画は、FOMA端末のデータBOXのワンセグの[イメージ]フォルダに保存されます。
- 画像は、データBOXのマイピクチャの画像と合わせて3000件まで保存できます。
- 保存した画像の表示については☞P.359
- メモリの空き容量がない、または最大件数まで保存されているときは☞P.382

1 ワンセグ視聴画面で✉

- 静止画が録画され、自動的に保存されます。保存するまでに時間がかかることがあります。

- 静止画録画では、ワンセグの映像部分のみが録画され、データ放送部分は録画されません。
- データ放送のみを表示しているときは、静止画録画できません。

予約／予約リスト

ワンセグの視聴や録画を予約する

ワンセグの視聴や録画を予約できます。

- あらかじめ、次の操作を行ってください。
  - ■ 日付時刻設定（☞P.61）
  - ■ チャンネル設定（☞P.250）
  - ■ はじめてワンセグを利用するときに表示される免責事項の確認（☞P.248）
- 視聴予約・録画予約合わせて100件まで登録できます。
- ビデオ録画の注意事項については☞P.257

番組表ｉアプリを利用して予約する<番組表>

1 ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[ワンセグ]▶[予約／予約リスト]

2 MENU▶[新規予約]▶[番組表]▶予約する

日時やチャンネルを指定して予約する<視聴予約／録画予約>

- 複数の番組を同時に視聴・録画することはできないため、予約の日時が重複すると、登録確認画面が表示されます。内容を確認し、登録を行ってください。
- 視聴予約のときは、アラーム終了後の動作（☞P.258）を設定できます。

1 ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[ワンセグ]▶[予約／予約リスト]

2 MENU▶[新規予約]▶[視聴予約]／[録画予約]

3 各項目を設定▶📷▶📷

- 番組名は全角100文字（半角200文字）まで入力できます。番組名を入力しなくても視聴予約／録画予約を行うことができます。
- [録画予約]の場合、電波状況などによっては録画が正常に行われない可能性がある旨の確認画面が表示されます。

予約開始時刻になると

視聴予約の場合は設定したアラーム時刻に、お知らせアラームで設定したアラームが約１分間動作します。録画予約の場合、開始時刻の１分前に待受画面を表示しているときは、[REC]が点滅します。

- 視聴予約の場合、FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに予約通知時刻、リモコン番号、チャンネル名、番組名が表示されます。
- アラーム機能の優先順位については☞P.412
- アラームの止めかたについては☞P.413

視聴予約のとき

端末状態	ワンセグの起動の設定	動　作
通常時	[確認して起動]	確認画面表示▶[はい]▶ワンセグ起動
	[自動起動]	ワンセグ起動
	[起動しない]	ワンセグは起動しない
ワンセグ視聴中	[確認して起動]	確認画面表示▶[はい]▶ワンセグ視聴を継続※1
	[自動起動]	ワンセグ視聴を継続※1
	[起動しない]	ワンセグ視聴を継続※2

※1　予約と異なるチャンネルを視聴している場合、チャンネルを切り替えて視聴を継続します。

※2　予約と異なるチャンネルを視聴している場合、チャンネルを切り替えずに視聴を継続します。

- ワンセグを終了するとき：[終話]▶[はい]

録画予約のとき

端末状態	録画動作設定	動　作
通常時	―	ワンセグ起動※▶録画開始
ワンセグ視聴中	―	確認画面を表示▶録画開始
ワンセグ視聴中（予約と異なるチャンネル）	録画優先	確認画面を表示▶チャンネル切替▶録画開始
	操作優先	確認画面を表示▶[はい]▶チャンネル切替▶録画開始

※ 映像は表示されず、音声もミュート状態になります。待受画面で[カメラ]（1秒以上）▶[はい]で録画中のチャンネルが起動します。

- 録画を停止するとき：ワンセグ画面で[メール]▶[はい]

- 次の場合などは、視聴予約アラームは動作しますが、視聴・録画は開始されません。
  - ■ ワンセグと同時に起動できない機能を利用中
  - ■ 電池残量が不足しているとき
  - ■ 録画先が[microSD]で、microSDカードが挿入されていないとき
  - ■ おまかせロック中
- 次の場合などは、視聴予約アラームは動作しません。また、視聴・録画も開始されません。
  - ■ 音声電話、テレビ電話の発着信中および通話中※
  - ■ 赤外線通信中、赤外線リモコン送信中
  - ■ オールロック中
  - ■ 電源ON／OFF時のウェイクアップ画面または終了画面表示中
  - ■ 自動電源OFF時の確認画面表示中
  - ■ 電池切れの警告画面表示中
  - ■ ソフトウェア更新中
  - ■ データ一括削除中
  - ■ USB通信中
  - ■ パケット通信中
  - ■ プレゼンアシスト中

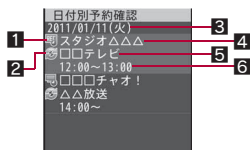
  ※ 録画のみ開始されます。
- 予約したあとにドコモUIMカードを取り外したり、別のドコモUIMカードに差し替えたりした場合は、次のようになります。
  - ■ 録画予約のとき：録画は開始されません。
  - ■ 視聴予約のとき：ワンセグ起動時に、はじめてワンセグを利用するときに表示される免責事項の確認画面が表示されます。

視聴予約・録画予約を確認する<予約／予約リスト>

1 ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[ワンセグ]▶[予約／予約リスト]

2 日付を選ぶ

- リストを表示：[カメラ]

日付別予約確認画面

1 予約種別
　視聴予約アイコン ：視聴予約
　録画予約アイコン ：録画予約
2 繰り返し設定
　繰り返しアイコン ：繰り返し設定中
3 日付
4 番組名
5 チャンネル名
6 開始時間～終了時間

3 予約を選ぶ

■ 予約／予約リスト画面のサブメニュー操作

[新規予約]	☞P.258
[編集]	☞P.260
[削除]	
▶[1日削除]（カレンダー表示のみ）▶[はい]	
▶[1件削除]（リスト表示のみ）▶[はい]	
▶[過去データ一括削除]▶[はい]	
▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]	
[ソート]▶ソート方法を選ぶ	
[録画予約履歴]	☞P.261
[設定]	
▶[表示・動作設定]▶各項目を設定▶[カメラ] ● 予約リストの表示形式と、過去のデータを自動的に削除するかどうかを設定します。	
▶[カレンダーモード設定]▶各項目を設定▶[カメラ] ● カレンダー表示の週の先頭の曜日とスクロール動作を設定します。	

[編集]、[ソート]について
- リスト表示中のみ操作できます。

■ 日付別予約確認画面のサブメニュー操作

[新規予約]	☞P.258
[編集]	☞P.260
[削除]	
▶[1件削除]▶[はい]	
▶[1日削除]▶[はい]	

■ 予約詳細画面のサブメニュー操作

[編集]	☞P.260
[削除]▶[はい]	

視聴予約・録画予約を修正する<編集>

1 ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[ワンセグ]▶[予約／予約リスト]

2 日付を選ぶ▶予約にカーソルを合わせる▶[MENU]▶[編集]

3 予約を修正▶[カメラ]

- 修正方法は、登録時の操作と同様です（☞P.258）。

4 [カメラ]

ワンセグ

録画予約履歴を表示する<録画予約履歴>

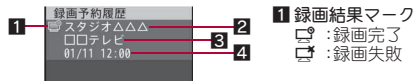
録画予約が終了すると履歴が記憶され、録画結果を確認できます。

- 録画予約履歴は50件まで記憶されます。

1 ノーマルメニューで[カメラ／TV／MUSIC]▶[ワンセグ]▶[録画予約履歴]

- 待受画面では：[NEW]または[NG]が表示されているときに◉▶[NEW]／[NG]を選ぶ

録画予約履歴一覧画面

1 録画結果マーク
：録画完了
：録画失敗

2 番組名
3 チャンネル名
4 録画開始日時

2 録画予約履歴にカーソルを合わせる▶📷

- 録画したビデオを再生：◉

- 録画予約履歴詳細画面に表示される情報は次のとおりです。
  - ■ 録画結果
  - ■ 失敗理由（録画失敗の場合）
  - ■ チャンネル
  - ■ 番組名
  - ■ 録画日時
  - ■ 録画先

■ 録画予約履歴一覧画面のサブメニュー操作

[1件削除]▶[はい]

[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

操作切替

データ放送を利用する

ワンセグでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。データ放送では、番組に関連したサイトに接続したり、投票などで番組に参加するなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。

1 ワンセグ視聴画面でMENU▶[操作切替]

- iを押しても操作できます。
- データ放送モードになります（操作するたびに映像モードとデータ放送モードが切り替わります）。
- データ放送モード中の操作については☞P.253

2 項目を選ぶ

- サイト表示中の操作については☞P.185

- データ放送／データ放送サイトによっては表示中に音声が流れることがあります。
- マルチウインドウのときはデータ放送モードに切り替えることができません（データ放送を操作できません）。
- データ放送の確認画面で[はい（以後非表示）]を選択すると、次回から確認画面は表示されず、データ放送／データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。
- データ放送の確認画面を再度表示するには、確認表示設定リセット（☞P.263）を行います。
- 次の場合は、確認画面が表示されます。[はい]／[はい（以後非表示）]を選択すると操作を実行します。[はい（以後非表示）]を選択すると、次回から確認画面は表示されません。
  - ■ 放送用保存領域を削除するとき
  - ■ 放送用保存領域内の情報を利用するとき
  - ■ データ放送サイトに情報を送信するとき
  - ■ iモードサイトに接続するとき
  - ■ 取得した情報を登録するとき
  - ■ フルブラウザサイトに接続するとき※

※ [はい（以後非表示）]は表示されません。

テレビリンク

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、メモ情報や関連するサイトのURLをテレビリンクとして登録できます。テレビリンクに登録すると、テレビリンク一覧画面からメモ情報やサイトを表示できます。

- テレビリンクは50件まで登録できます。

テレビリンクに登録する

1 テレビリンク登録可能な項目を選ぶ▶[はい]▶フォルダを選ぶ

- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

登録したテレビリンクを表示する<テレビリンク>

- 有効期限が切れているテレビリンクは使用できません。

1 ノーマルメニューで[カメラ/TV/MUSIC]▶[ワンセグ]▶[テレビリンク]

マークの意味

:メモ情報
:データ放送サイト
:iモードサイト
:フルブラウザサイト

テレビリンク一覧画面

2 テレビリンクを選ぶ

- ワンセグ視聴画面からテレビリンクを用いてデータ放送サイトへ接続したときは、ワンセグが終了します。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ追加]▶フォルダ名を入力▶📷

[フォルダ削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[フォルダ名変更]▶フォルダ名を変更▶📷

[テレビリンク全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[1つ上へ移動]
- フォルダの表示順を上に移動します。

[1つ下へ移動]
- フォルダの表示順を下に移動します。

[フォルダ追加]について

- 最大20個のユーザフォルダを作成できます。
- 全角8文字(半角16文字)まで入力できます。

■ テレビリンク一覧画面のサブメニュー操作

[詳細情報]

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶テレビリンクを選ぶ▶📷▶[はい]
- ▶[フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[移動]
- ▶[1件移動]▶フォルダを選ぶ
- ▶[選択移動]▶テレビリンクにカーソルを合わせる▶📷▶フォルダを選ぶ

■ テレビリンク表示画面のサブメニュー操作

[番組表]
- 番組表の詳細については☞P.257

[テレビリンク] ☞P.262

[画質設定] ☞P.263

[画面設定] ☞P.263

[データ放送]
- ▶[前ページへ戻る]
- ▶[次ページへ進む]
- ▶[再読み込み]
  - データ放送サイトを再読み込みします。

▶［証明書詳細表示］

▶［表示・効果設定］ ☞P.263

ユーザ設定

ワンセグの設定を行う

ビデオ録画先の設定やデータ放送についての設定などができます。

1 ノーマルメニューで［カメラ／TV／MUSIC］▶［ワンセグ］▶［ユーザ設定］

2 項目を選ぶ

◆ **［画質設定］▶各項目を設定▶📷**
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 鮮やか画質モード設定：鮮やか画質モード設定については☞P.118
  - ■ なめらか表示（横）：映像のコマ数を増やして、なめらかな映像を表示できます。
    - 横画面で視聴時に有効になります。
  - ■ 明るさセンサー：明るさセンサーを利用するかどうか設定できます。
  - ■ 明るさ：明るさを調整できます。

◆ **［画面設定］▶各項目を設定▶📷**
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 字幕表示：字幕を表示するかどうかを設定できます。
  - ■ 字幕位置（横全画面）：横表示で映像を全画面表示中の字幕の位置を設定できます。
  - ■ 字幕言語切替：ワンセグ視聴時に表示する字幕言語を設定できます。
  - ■ アイコン常時表示：縦表示時の放送局・番組名の表示や横表示時のディスプレイ上部に表示されるアイコン（時計表示や電波状態表示など）について設定できます。
  - ■ テロップ表示（メール受信時）：ワンセグ視聴中にメールを受信したときに、テロップを表示するかどうかを設定できます。
  - ■ テロップ表示（インフォメーション受信時）：ワンセグ視聴中にインフォメーションを受信したときに、テロップを表示するかどうかを設定します。
  - ■ エフェクト設定：UP／DOWN選局するときのエフェクト（効果）を設定できます。

◆ **［音声設定］▶各項目を設定▶📷**

◆ **［データ放送設定］▶項目を選ぶ**
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 表示・効果設定：データ放送サイトの画像や効果音を設定できます。
  - ■ ワンセグからトルカ取得：データ放送からのトルカ自動取得について設定します。
    - トルカについては☞P.316
  - ■ 放送用保存領域削除：放送用保存領域内のデータを削除できます。
  - ■ 確認表示設定リセット：データ放送の確認画面で［はい（以後非表示）］を選択して非表示にしたものを、再度表示させることができます。

◆ **［クローズ動作設定］▶設定を選ぶ**
- 視聴中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定します。

◆ **［再生設定］▶各項目を設定▶📷**

◆ **［録画設定］▶各項目を設定▶📷**

［画質設定］について
- ● なめらか表示（横）を［ON］に設定しても、ワンセグecoモード設定中はなめらか表示になりません
- ● 明るさセンサーが［ON］の場合、明るさで設定した値を最大として、周囲の明るさによって自動的にディスプレイの明るさを調整します。明るさセンサーが［OFF］の場合、明るさで設定した値で固定されます。
- ● マルチウインドウで他の機能と同時に視聴中は、ワンセグの明るさ設定が優先されます。

［画面設定］について
- ● 番組によって字幕の有無は異なります。
- ● 字幕表示が［通話中・マナー時表示］のときは、マナーモード設定中にワンセグを起動すると字幕が表示されます。
- ● アイコン常時表示を［OFF］に設定している場合、チャンネルや音量などを操作するたびに一時的にアイコンが表示されます。

次ページへ続く▶▶

- テロップ表示（メール受信時）を[受信動作設定に従う]に設定している場合、電話／メール着信時設定（☞P.110）と受信・自動送信表示（☞P.166）に従います。電話／メール着信時設定のメール着信時テロップ表示が[なし]の場合はテロップを表示しません。

[クローズ動作設定]について

- [継続]または[ミュート]に設定してワンセグを起動しているときは、FOMA端末を閉じていてもワンセグ起動状態となるため、データ放送／データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。

[再生設定]について

- オートスキップを[ON]に設定すると、録画時に放送電波圏外だった箇所をスキップして再生します。

[録画設定]について

- 録画先を[自動（本体優先）]または[自動（microSD優先）]に設定すると、次の場合は自動的に録画先を変更して録画が開始されます。
  - ■ 優先メモリの空き容量がないとき
  - ■ 最大保存件数を超えているとき
  - ■ microSDカードが挿入されていないとき
  - ■ microSDカードが認識できないとき
- 録画終了時間を[指定なし]に設定すると、保存先メモリの空き容量がなくなるまで録画します。録画終了後は、ワンセグの視聴を継続します。

Music

Music&Videoチャネル

ミュージックプレーヤー

音楽データの取り扱いについて

- 本書ではミュージックプレーヤーで再生する着うたフル®とWMA（Windows Media Audio）ファイルを合わせて「音楽データ」と記載しています。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認の上、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、機種変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合、変更前に保存したWMAファイルは再生できなくなることがあります。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルとして保存できない場合については、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末やmicroSDカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDカード内に保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体に複製または移動しないでください。

Music&Videoチャネル

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大１時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■ Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービスのご契約が必要です）。
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいたあと、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にドコモUIMカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。
  ※ 国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- 音楽番組は、Music&Videoチャネルで番組を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などをすることができます（バックグラウンド再生）。動画番組や時刻連動が設定されている音楽番組は、バックグラウンド再生できません。
- Music&Videoチャネルの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

番組設定

番組を設定する

利用したい番組を設定しておくと、夜間に番組データを自動的に取得します。２番組まで設定できます。

番組を設定／解除する<番組設定>

1 ノーマルメニューで［カメラ／TV／MUSIC］▶［Music&Videoチャネル］▶［番組設定］

2 画面の指示に従って番組を設定／解除

- 番組を設定するには、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要なものもあります。
- 番組の設定を解除してもマイメニュー登録は削除されません。

■ Music&Videoチャネルメニュー画面の見かた

Music&Videoチャネル
メニュー

1 番組画像

2 番組タイトル
番組タイトル表示：番組取得済み
番組なし：予約なし、予約ありで番組取得前
ダウンロード中：番組取得中

3 次回更新予定日

4 番組種別マーク
(黄色):取得に成功した番組
:取得に失敗した番組
(青色):未再生の番組
:時刻連動が設定されている番組
:再生制限のある番組

5 サービスメニュー
番組設定:番組の設定・解除ができます。
番組リスト:番組の一覧サイトに接続します。
サービスのご案内:Music&Videoチャネルの説明サイトに接続します。

■ Music&Videoチャネルメニューのサブメニュー操作

[番組情報]

[番組削除]▶[はい]

[チャプター一覧] ☞P.270

[番組移動] ☞P.271

[サイト接続]▶[はい]
- 番組にURL情報がある場合、サイトに接続します。

[番組削除]について
- 番組を削除しても、番組設定は解除されません。

番組を設定すると

番組配信の12時間前になると、待受画面に[ ]が表示されます。
番組の取得は夜間に自動的に行われます。取得に成功すると、[ ]が表示されます。取得に失敗した場合は、[ ]が表示されます。この場合は、手動で取得してください。
- 番組取得中に通信が途切れたときは、3分間隔で5回まで、自動的に再取得を行います。
- 番組取得開始時に、圏外、セルフモード中、電源が入っていない、電池残量が少ないなどの理由により番組の取得ができなかったときは、翌日の夜間に再取得を行います。
- 番組取得には時間がかかるときがあります。また、電池残量が[ ]以下のときは取得できません。十分に充電して、電波状態の良い環境でご使用ください。
- 番組設定したときと異なるドコモUIMカードに差し替えたり、データ一括削除を行ったときは、番組を自動で取得できません。番組設定から設定内容を更新してください。
- 取得された番組は、データBOXのMusic&Videoチャネルの[配信番組]フォルダに保存されます。番組が更新されると、保存されている番組は上書きされ、再生できなくなります。
- iモードまたはMusic&Videoチャネルの解約やマイメニュー登録の削除を行うと、配信番組フォルダ内の番組データが削除されることがあります。

番組を手動で取得する

1 Music&Videoチャネルメニューで番組を選ぶ▶[はい]

- ご利用になる時間帯によっては、[ダウンロードできない時間帯です]と表示され、手動で取得できない場合があります。配信時間を確認するときは、[配信時間について]を選択してください。
- 再生制限が切れた番組は再取得できません。また、次回配信日まで更新できません。
- メモリの空き容量がないときは不要なデータを削除して保存できません。

番組の再生／操作

配信されたMusic&Videoチャネルの番組を再生／操作します。

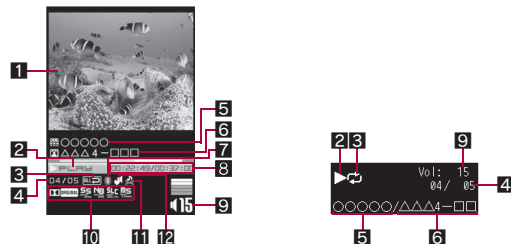
番組を再生する

- 市販のBluetooth機器を接続すると、番組の音声をBluetooth機器から再生できます（☞P.437）。
- HDMI接続したテレビに映像、画像、音声を出力できます（☞P.398）。

1 Music&Videoチャネルメニューで番組を選ぶ

- 待受画面に[▦]が表示されているときは、◉を押し、[▦]を選択しても、Music&Videoチャネルメニューが表示されます。
- 前回再生していたチャプターがある場合、停止したチャプターから再生されます。
- 取得に失敗した番組を選んだ場合、再度ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択するとダウンロードできます。更新に失敗しても、元の番組が再生可能な場合は、[そのまま再生]を選択すると再生されます。
- 途中まで取得した番組を選んだ場合、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択するとダウンロードできます。[途中まで再生]を選択すると、取得している部分が再生されます。ただし、時刻連動が設定されている番組の場合、[途中まで再生]は選択できません。
- 番組によっては、再生回数／再生期限／再生期間の再生制限が設定されている場合があります。制限を超えると番組は再生できなくなります。

- 日本以外の国で使用したとき、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。

■ Music&Videoチャネルプレーヤー画面の見かた

1 番組画像／チャプター画像（音声番組）／映像（動画番組）

2 再生状態
- ▶PLAY：再生中
- ⏸PAUSE：一時停止中
- ■STOP：停止中
- ⏩FF：早送り中
- ⏪FR：早戻し中

3 リピート
- ALL⟲：リピートON
- ⟶：リピートOFF

4 再生中チャプター番号／総チャプター数

5 番組タイトル名

6 チャプタータイトル名／アーティスト名

7 Bluetooth出力
- Bluetoothアイコン：Bluetooth出力中

8 再生時間／総再生時間

9 音量
- 15：0（音量０）～25（音量25）
- ミュート中は、数字の上に[⦸]が重なって表示されます。
- Bluetooth出力中やHDMI出力中は表示されません。

10 Dolby Mobile 設定
- V5.1：Virtual5.1ch（イヤホン）
- NORMAL：ノーマル
- ROCK：ロック
- POPS：ポップス

CLASSIC：クラシック
JAZZ：ジャズ
ORIGINAL：オリジナル

オリジナルの設定項目を選んだ場合

SS　：サウンドスペース
NB　：ナチュラルベース
SLC　：サウンドレベルコントローラ
MS　：モノラル→ステレオ

11 映像／音声再生可否

　：映像再生不可
　：音声再生不可

12 マナー再生設定

　：ON

- マナー再生設定を［ON］に設定すると、音量16以上に調節していた場合は、音量15に変更されます（音量は、音量０～15で変更できます）。

■ Music&Videoチャネルプレーヤーのボタン操作

操作	ボタン
一時停止／再生	●
停止	✉
音量調節（音量０～25）※1※2	◎
ミュート／解除	✓
前のチャプターに戻す／頭出し※3	◎
早戻し	◎（１秒以上）
次のチャプターを再生	◎
早送り	◎（１秒以上）
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ	1：先頭 2～9：チャプターの再生時間の約1/9ずつ先の位置
表示切替（全画面モード⇔通常モード）（動画番組のみ）	📷
サイト接続※4	i
Music&Videoチャネルプレーヤー終了※5	CLR／☎▶［はい］

※１　ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。
※２　Bluetooth出力中やHDMI出力中は操作できません。
※３　再生経過時間が約２秒未満：前のチャプターに戻る
　　　再生経過時間が約２秒以上：頭出し
※４　番組やチャプターにURL情報がある場合、サイトに接続できます。
※５　停止中は確認画面が表示されません。

- 動画番組を再生する場合、通常ポジションで全画面モード中は◎と◎の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持って操作してください。
- イヤホンマイク（別売）を接続すると、スイッチを押すたびに、再生／一時停止を切り替えることができます。
- リピート中にサイト接続をした場合、先頭のチャプターURLに接続されます。

- 番組によっては操作が制限されているものがあります。

■ Music&Videoチャネルプレーヤーのタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
⏮ 長押Hold ◁◁	前のチャプターに戻す（頭出し）※1※2	▶II	一時停止／再生※2
▶/■	停止／再生※3	⏭ 長押Hold ▷▷	次のチャプターを再生※1※2
■ 停止 Stop	停止※2	画面サイズ切替 Change Screen	表示切替※4
Web To	サイト接続		

※１　ロングタッチすると、早戻し／早送りになります。
※２　時刻連動が設定されている番組の場合は表示されません。
※３　時刻連動が設定されている番組の場合に表示されます。
※４　動画番組の場合に表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

操作	タッチ操作
音量調節	上下にすばやくスライド
ミュート／解除	音量アイコンをタッチ
次のチャプターを再生／前のチャプターに戻す（頭出し）	左右にすばやくスライド

次ページへ続く▶▶

- 前のチャプターに戻す(頭出し)の操作を行った場合、再生経過時間が約2秒未満のときは前のチャプターに戻り、約2秒以上のときは頭出しになります。

■ Music&Videoチャネルプレーヤーのサブメニュー操作

[チャプター一覧]	☞P.270
[Dolby Mobile 設定] ▶ 設定を選ぶ ● [オリジナル]を選択したときは、項目を選択して[カメラ]	
[Bluetooth出力]	☞P.437
[再生設定]	
▶ [リピート] ▶ 設定を選ぶ	
▶ [マナー再生設定] ▶ 設定を選ぶ	
[チャプター情報]	
[番組情報]	

[Dolby Mobile 設定]について
- Dolby Mobile 設定は、ステレオイヤホン(別売)使用時に有効です。
- HDMI出力中は、Dolby Mobile 設定を設定できません。

[再生設定]について
- バックライト点灯時間、全画面モード切替は、動画番組のみ設定できます。
- Bluetooth出力中やHDMI出力中は、マナー再生設定を設定できません。

[チャプター情報]について
- 番組によっては、チャプター情報を表示できないことがあります。
- チャプター情報にURLがあるときは、Web To機能でチャプターサイト情報に接続できます。

■ 時刻連動が設定されている番組の場合

時刻連動が設定されている番組は再生できる時間が決まっています。時間帯によっては再生できません。自動時刻・時差補正による時刻に従い動作します(自動時刻・時差補正を[OFF]に設定して手動で時刻を変更しても、再生されません)。

- 再生中に、一時停止やチャプターの移動、早送り、早戻し、再生開始位置のジャンプはできません。
- チャプター一覧からチャプターを選択できません。
- 再生設定のリピートは設定できません。

番組のチャプター一覧を確認する<チャプター一覧>

番組のチャプター一覧を表示し、各チャプターのタイトルやアーティスト名、再生時間を確認できます。

1 Music&Videoチャネルメニュー/番組一覧画面で番組にカーソルを合わせる ▶ [MENU] ▶ [チャプター一覧]

マークの意味

- :動画番組のチャプター
- :音声番組のチャプター
- :取得に失敗したチャプター
- ▷ :再生中のチャプター

- チャプターを選択すると、選んだチャプターから再生されます。
- 番組によっては、チャプター一覧の表示やチャプターの選択ができないことがあります。

チャプター一覧画面

■ チャプター一覧画面のサブメニュー操作

[チャプター情報]

- 番組によっては、チャプター情報を表示できないことがあります。
- Music&Videoチャネルプレーヤーのサブメニュー操作でチャプター一覧画面を表示した場合は、チャプター一覧画面のサブメニュー操作はできません。
- チャプター情報にURLがあるときは、Web To機能でチャプターサイト情報に接続できます。

番組を移動する<番組移動>

番組が更新されると、データBOXのMusic&Videoチャネルの[配信番組]フォルダに保存されている番組は上書きされます。上書きされたくない番組は、あらかじめ[保存番組]フォルダまたはmicroSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダに移動しておいてください。

- 番組は、[配信番組]フォルダには２件、[保存番組]フォルダには20件、microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダには999件まで保存できます。

1 Music&Videoチャネルメニューで番組にカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [番組移動]

2 移動先を選ぶ

◆ [本体]
◆ [microSD] ▶ [１件移動]
◆ [microSD] ▶ [移動先選択] ▶ 移動先フォルダを選ぶ ▶ 📷

- 取得した番組はコピーできません。
- 次の場合は移動できません。
  - ■ 取得に失敗した番組
  - ■ 時刻連動が設定されている番組
  - ■ 番組移動制限が設定されている番組
  - ■ 再生制限を超えた番組
  - ■ ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定された番組
  - ■ 番組設定中
- 番組によっては、移動できないことがあります。

Music&Videoチャネル

データBOXからMusic&Videoチャネルを操作する

データBOXのMusic&Videoチャネルの[配信番組]フォルダに現在配信されている番組や、[保存番組]フォルダまたはmicroSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダに移動して保存した番組を再生できます。

1 ノーマルメニューで[データBOX] ▶ [Music&Videoチャネル]

- Music&Videoチャネルメニューで📷を押しても操作できます。

2 番組を選ぶ

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[全フォルダ内全件削除] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ [はい]

[フォルダセキュリティ] ☞P.378

[メモリ確認] ☞P.382

[全フォルダ内全件削除]について

- 番組を削除しても、番組設定は解除されません。

■ 番組一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]

▶ [フォルダ新規作成] ☞P.377

▶ [フォルダ名編集] ☞P.378

[削除] ☞P.380

[番組情報]

[チャプター一覧] ☞P.270

[タイトル編集] ☞P.378

[番組移動] ☞P.271

[表示切替] ☞P.343

[ソート] ☞P.379

ミュージックプレーヤーについて

サイトからダウンロードした着うたフル®やmicroSDカードに保存したWMA(Windows Media Audio)ファイルを再生できます。

- 音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます(バックグラウンド再生)。
- 再生できる音楽データと最大再生時間は次のとおりです。

音楽データの種別	ファイル形式	Audioコーデック	最大再生時間
着うたフル®	MP4	MPEG4-AAC、MPEG4-HEAAC(aacPlus)、Enhanced aacPlus	約3300分
WMAファイル	WMA	WMA9	約2510分

- 保存できる音楽データの容量、件数は次のとおりです。

音楽データの種別	FOMA端末	microSDカード
着うたフル®	約152Mバイト※1	最大1000件※2
WMAファイル	－	最大1000件※2
うた文字	最大100件	－

※1 静止画、動画、ミュージック、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、ｉアプリ、電子書籍／電子辞書／電子コミック、Music&Videoチャネル、ビデオ、トルカを保存している場合には、着うたフル®の保存容量は少なくなります。

※2 音楽データのサイズやmicroSDカードの容量によって保存できる件数が変わります。

- ミュージックプレーヤーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- 音楽再生中に着信やアラームが動作したり、他の機能の操作を行ったりすると、再生が停止することがあります。
- 音楽再生中に他の機能の操作を行ったりすると、音楽が途切れることがあります。
- microSDカードの[動画(その他)]フォルダに保存したｉモーション(AAC形式の音楽データ含む)は、ｉモーションプレーヤー(☞P.351)で再生できます。

音楽データやうた文字を保存する

FOMA端末に音楽データを保存します。

着うたフル®をダウンロードする

サイトから着うたフル®をダウンロードして保存できます。

- 5Mバイトまでの着うたフル®をダウンロードできます。
- 著作権のある音楽データをダウンロードしたとき、違うドコモUIMカードを使用しての再生はできません。

1 サイト表示中に着うたフル®を選ぶ

2 項目を選ぶ

- ◆ **[再生]**
- ◆ **[保存]▶保存先を選ぶ**
- ◆ **[情報表示]**
- ◆ **[戻る]▶[いいえ]**
  - ダウンロードを中断したとき：[部分保存]▶[本体]

- うた・ホーダイをダウンロードするとき、再生期限を有効にするために「携帯電話／ドコモUIMカードの製造番号」の送信が必要な場合があります。

うた文字をダウンロードする

サイトからうた文字をダウンロードして保存できます。

● 50Kバイトまでのうた文字をダウンロードできます。

1 サイト表示中にうた文字を選ぶ

2 項目を選ぶ

◆ [保存]
◆ [情報表示]
◆ [戻る]▶[いいえ]

WMAファイルを保存する

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)でFOMA端末とパソコンを接続し、Windows Media Player 11/12を利用して音楽データをmicroSDカードに保存します。

● パソコンからプレイリストを転送することもできます。
● 著作権のある音楽データでは、パソコンからの転送時に使用したFOMA端末以外では再生できません。
● 音楽データによっては著作権により再生できないものがあります。
● 著作権のない音楽データでも、SH-01C以外で保存したWMAファイルは再生できません。
● SH-01C以外でWMAファイルを保存したmicroSDカードを使用すると、MTPモードに設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、次のいずれかを行うことをおすすめします。なお、microSDカードを初期化すると、音楽データを含むすべてのデータが消去されますのでご注意ください。
  ■ WMAファイルの全削除(☞P.282)
  ■ microSDカードをSH-01Cで初期化(☞P.375)
  ■ microSDカード内の¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILE¥WMと¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILE¥WM_SYSTEMのフォルダの削除

Windows Media Playerについて

Windows Media Playerは、次の組み合わせで利用することをおすすめします。

● Windows XP、Windows Vistaの場合
  ■ Windows Media Player 11
● Windows 7の場合
  ■ Windows Media Player 12

1 FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02でパソコンに接続し、USBモードを[MTPモード]にする(☞P.375)

2 Windows Media Player 11/12を起動し、保存する音楽データを選ぶ▶microSDカードに転送する

3 待受画面に[USB]表示▶◉▶[USB]を選ぶ▶[通信モード]▶[はい]

• 通信モードに切り替わります。

4 FOMA端末からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外す

WMAファイルの転送プレイリストについて

● プレイリスト名は、FOMA端末では全角・半角247文字まで表示されます。
● 247文字目まで同じ名前のプレイリストを転送したときは、プレイリストが上書きされます。

iモーション(AAC形式の音楽データ含む)を保存する

お客様が購入したCDの音楽などを、パソコンなどを利用してmicroSDカードに保存すると、FOMA端末で再生できます。
ここでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02でFOMA端末とパソコンを接続してデータBOXのiモーション・ムービーの[動画(その他)]フォルダに保存し、再生する方法を説明します。

● iモーションプレーヤーでの再生方法については☞P.351
● microSDカードの[動画(その他)]フォルダ内のデータの管理については☞P.378

1 お客様が購入したCDの音楽などを、MP4形式に変換できる市販のソフトを利用して変換し、パソコンに保存する

2 FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02でパソコンに接続し、USBモードを[microSDモード]に設定する（☞P.375）

3 音楽データをコピーする

- コピー方法は次のとおりです。
  1. 操作1で作成したファイルの名前を「MMFxxxx.3gp」／「MMFxxxx.mp4」に変更する。
     - ファイル名を変更する際は、パソコン上の設定で拡張子を表示してから行ってください。
     - 変更後のファイル名は、拡張子を除いて半角で「MMF0001」～「MMF9999」の範囲で変更してください。
  2. microSDカード内の¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILEフォルダにコピーする。
     - microSDカードのフォルダ構成については☞P.367

4 待受画面に[USB]表示▶◉▶[USB]を選ぶ▶[通信モード]▶[はい]

- 通信モードに切り替わります。

5 FOMA端末からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外す

6 microSDカードの管理情報の更新を行う（☞P.376）

ミュージックプレーヤーのフォルダと画面の見かた

ミュージックプレーヤーのフォルダ構成

データBOX内の[ミュージック]フォルダの構成は次のとおりです。

- 全曲
- プレイリスト
  - ユーザプレイリスト
  - 転送プレイリスト
- アーティスト
  - アーティスト名
    - 全曲
    - アルバム名
- アルバム
  - アルバム名
- ジャンル
  - ジャンル名
- ファイル種別
  - ｉモード（本体）（着うたフル®などの音楽データと関連付けされていないうた文字データ）
  - ｉモード（microSD）（着うたフル®などの音楽データ）
  - WMA（WMAファイル）
- うた文字

- このフォルダ構成はミュージックプレーヤーのみで使用されます。microSDカード内の実際のフォルダ構成とは一致しません。
- 音楽データの詳細情報に応じて、同じファイルが複数のフォルダに表示されます。

■ 音楽データの種類とマークについて

音楽データの種類

ユーザプレイリスト	転送プレイリスト	着うたフル®

再生制限のある着うたフル®		
再生期間	再生期限	再生回数

うた・ホーダイ	WMAファイル

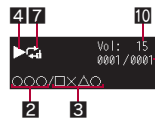
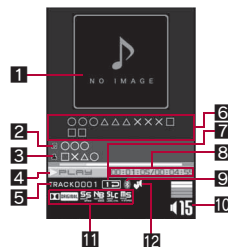
ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定された音楽データ	存在しない音楽データ	ダウンロードの途中で保存した音楽データ

うた文字	ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されたうた文字

マークの種類

- ：FOMA端末に保存されているデータ
- ：microSDカードに保存されているデータ
- ：iモードなどからダウンロードしたデータ
- ：microSDカードやFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を利用して取得したデータ
- ：メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているデータ
- ：再生制限が設定されていて、再生可能なデータ
- ：再生制限が設定されていて、再生不可能なデータ
- ：関連付けされているデータ
- ：うた文字が含まれているデータ

ミュージックプレーヤー画面の見かた

NO IMAGE
○○○△△△×××□□□
○○○
□×△○
PLAY 00:01:05/00:04:55
TRACK0001
Vol: 15
0001/0001
○○○/□×△○

1 ジャケット画像
2 タイトル名※
3 アーティスト名※
4 再生状態
- ▶PLAY：再生中
- ⏸PAUSE：一時停止中
- ■STOP：停止中
- ⏩FF：早送り中
- ⏪FR：早戻し中

5 トラック番号
6 うた文字エリア

次ページへ続く▶▶

7 再生モード設定
:通常再生
: 1曲リピート
:全曲リピート
:シャッフル
:シャッフルリピート

8 再生時間/総再生時間

9 Bluetooth出力
:Bluetooth出力中

10 音量
:(音量0)~(音量25)
- ミュート中は、数字の上に[]が重なって表示されます。
- Bluetooth出力中やHDMI出力中は表示されません。

11 Dolby Mobile 設定
:Virtual5.1ch(イヤホン)
:ノーマル
:ロック
:ポップス
:クラシック
:ジャズ
:オリジナル

オリジナルの設定項目を選んだ場合
:サウンドスペース
:ナチュラルベース
:サウンドレベルコントローラ
:モノラル→ステレオ

12 マナー再生設定
:ON
- マナー再生設定を[ON]に設定すると、音量16以上に調節していた場合は、音量15に変更されます(音量は、音量0~15で変更できます)。

※ FOMA端末内の着うたフル®のタイトル名とアーティスト名は最大全角126文字(半角253文字)まで、microSDカード内の着うたフル®のタイトル名は最大全角31文字(半角63文字)、アーティスト名は最大全角126文字(半角253文字)まで表示されます。WMAファイルのタイトル名とアーティスト名は最大全角・半角251文字まで表示されます。

ミュージックプレーヤーで音楽データを再生する

音楽データやプレイリストを再生します。
- 市販のBluetooth機器を接続すると、音楽をBluetooth機器から再生できます(☞P.437)。
- HDMI接続したテレビに音楽・画像を出力できます(☞P.398)。

フォルダ内の音楽データを再生する<ミュージック>

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[ミュージック]

2 音楽データを選ぶ
- 前回再生していた音楽データがあるときは、[続きから再生]を選ぶと、停止した位置から再生されます。
- プレイリストに登録するとき:
- データの先頭/最後のフォーカス位置にジャンプ:1/0
  - 全データの約1/9ずつ先のフォーカス位置にジャンプするときは2~9を押します。

- 再生中に電話がかかってくると、再生が中止し着信画面が表示され、電話に出ることができます。通話終了後にミュージックプレーヤー画面が表示されると、着信前に停止した位置から再生が再開されます。
- ダウンロードの途中で保存した着うたフル®を選ぶと、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選ぶとダウンロードできます。
- 次の操作を行った場合は、ミュージック起動時にデータ更新を行ってからフォルダ一覧画面が表示されます。
  - ■ 電源を入れ直したとき
  - ■ microSDカードを挿入したとき
  - ■ microSDカードを初期化したとき
  - ■ microSDモード/MTPモードで利用したとき
  - ■ メモリ不足による上書き確認画面(☞P.382)でデータを選択削除したとき
  - ■ microSDカードのインポートフォルダの音楽データ一覧画面から音楽データを削除/移動したとき

■ ミュージックプレーヤーのボタン操作

操作	ボタン
一時停止／再生※1	◉
停止	✉
音量調節（音量0～25）※2※3	⊕
ミュート／解除	✓
前の曲に戻す／頭出し※4	◐
早戻し	◐（1秒以上）
次の曲を再生	◑
早送り	◑（1秒以上）
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ	1:先頭 2～9:総再生時間の約1/9ずつ先の位置
クイックプレイリストに登録	#
歌詞表示※5	📷
歌詞検索※6	📷▶［はい］
再生対象の音楽データ一覧画面を表示※7	i
ミュージックプレーヤー終了※8	☎▶［はい］

※1　FOMA端末を閉じているときは、Dを押すと一時停止／再生を切り替えることができます。
※2　ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。
※3　Bluetooth出力中やHDMI出力中は操作できません。
※4　再生経過時間が約2秒未満：前の曲に戻る
　　再生経過時間が約2秒以上：頭出し
※5　歌詞が含まれている音楽データやうた文字が設定された音楽データの再生中に操作できます。
※6　サイトに接続して歌詞を検索します。歌詞を含まない音楽データでうた文字が設定されていない音楽データの場合に操作できます。
※7　フォルダ一覧画面または音楽データ一覧画面表示中にiを押すと、ミュージックプレーヤー画面に戻ります。
※8　停止中は確認画面が表示されません。

- イヤホンマイク（別売）を接続すると、スイッチを押すたびに、再生／一時停止を切り替えることができます。

- 音楽データによっては操作が制限されているものがあります。

■ ミュージックプレーヤーのタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作について☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
⏮ 長押 Hold ◁◁	前の曲に戻す（頭出し）※1	▶II 長押 Hold	一時停止／再生※2
⏭ 長押 Hold ▷▷	次の曲を再生※1	■ 停止 Stop	停止
Top	フォルダ一覧画面を表示※3	List	再生対象の音楽データ一覧画面を表示※3
保存 Save	画像／歌詞の保存※4	次の画像 Next Picture	次の画像／歌詞を表示※4※5

※1　ロングタッチすると、早戻し／早送りになります。
※2　ロングタッチすると、クイックプレイリストに登録できます。
※3　フォルダ一覧画面または音楽データ一覧画面表示中に［PLAYER］をタッチすると、ミュージックプレーヤー画面に戻ります。
※4　画像／歌詞を表示中に表示されます。
※5　画像／歌詞が複数ある場合に表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

操作	タッチ操作
音量調節	上下にすばやくスライド
ミュート／解除	音量アイコンをタッチ
次の曲を再生／前の曲に戻す（頭出し）	左右にすばやくスライド
次／前の画像／歌詞を表示	左右にすばやくスライド

- 前の曲に戻す（頭出し）の操作を行った場合、再生経過時間が約2秒未満のときは前の曲に戻り、約2秒以上のときは頭出しになります。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

［フォルダ削除］

▶［フォルダ1件削除］▶端末暗証番号を入力▶［はい］

▶［フォルダ選択削除］▶フォルダを選ぶ▶📷▶端末暗証番号を入力▶［はい］

次ページへ続く▶▶

▶[フォルダ全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]
- アルバムごとに削除します。

- 各アーティスト名のフォルダ内にある[全曲]フォルダは削除できません。

■ 音楽データ一覧画面のサブメニュー操作

[プレイリストに登録]	☞P.281
[うた文字] ▶[ｉモードで探す]▶[はい] ● サイトに接続してうた文字を検索します。 ▶[歌詞設定]▶うた文字を選ぶ▶[はい] ● うた文字にカーソルを合わせているとき：[歌詞設定]▶音楽データにカーソルを合わせる▶[📷]▶[はい] ▶[歌詞設定解除]▶[はい]	
[削除] ▶[1件削除]▶[はい] ▶[選択削除]▶データを選ぶ▶[📷]▶[はい] ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]	
[着信音設定]	☞P.281
[情報表示]	☞P.380
[情報編集]	☞P.282
[microSDへ移動]	☞P.372
[メモリ確認]	☞P.382

[削除]について
- プレイリストに登録している音楽データを削除すると、プレイリストからも再生できなくなります。

■ ミュージックプレーヤーのサブメニュー操作

[再生設定] ▶[再生モード設定]▶設定を選ぶ ▶[マナー再生設定]▶設定を選ぶ	
[プレイリストに登録]▶登録する ● プレイリストに登録の詳細については☞P.281	
[うた文字] ▶[歌詞表示] ▶[ｉモードで探す]▶[はい] ● サイトに接続してうた文字を検索します。 ▶[歌詞設定解除]▶[はい] ▶[チューニング]▶設定を選ぶ ● 歌詞を表示するタイミングを設定します。	
[Dolby Mobile 設定]▶設定を選ぶ ●[オリジナル]を選択したときは、項目を選択して[📷]	
[Bluetooth出力]	☞P.437
[情報表示]	☞P.380
[画像表示]	☞P.282
[歌詞表示]	☞P.282

[再生設定]について
- Bluetooth出力中やHDMI出力中は、マナー再生設定を設定できません。

[Dolby Mobile 設定]について
- Dolby Mobile 設定は、ステレオイヤホン(別売)使用時に有効です。
- HDMI出力中は、Dolby Mobile 設定を設定できません。

プレイリストを再生する<プレイリスト>

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[ミュージック]▶[プレイリスト]
- 転送プレイリストを表示するとき：[→転送プレイリスト]

2 プレイリストにカーソルを合わせる▶[✉]

■ ユーザプレイリスト一覧画面のサブメニュー操作

[プレイリスト管理]
- ▶[プレイリスト新規作成] ☞P.281
- ▶[プレイリスト名編集]▶プレイリスト名を編集▶📷

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶プレイリストを選ぶ▶📷▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[プレイリスト移動(↑)]
- プレイリストの表示順を上に移動します。

[複製]▶プレイリスト名を入力▶📷

[メモリ確認] ☞P.382

[プレイリスト名編集]について
- クイックプレイリストは、編集できません。

[削除]について
- クイックプレイリストは、削除できません。

[複製]について
- クイックプレイリストを複製した場合、ユーザプレイリストとして複製されます。

■ プレイリスト音楽データ一覧画面のサブメニュー操作

[曲追加] ☞P.281

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶音楽データを選ぶ▶📷▶[はい]
- ▶[全件削除]▶[はい]

[並べ替え]▶移動する音楽データを選ぶ▶移動先を選ぶ▶📷

[着信音設定] ☞P.281

[情報表示] ☞P.380

[情報編集] ☞P.282

[プレイリスト更新]▶[はい]

[メモリ確認] ☞P.382

[削除]について
- プレイリスト内から削除しても、元の音楽データは削除されません。

[プレイリスト更新]について
- 次の場合は、プレイリスト更新を行うとプレイリストから削除されます。
  - ■ 元の音楽データを削除したとき
  - ■ 元の音楽データを、FOMA端末とmicroSDカードの間で移動したとき
  - ■ microSDカード内の音楽データで、プレイリストに登録したときのmicroSDカードが挿入されていないとき
- 再生回数/再生期限/再生期間が終了した音楽データは、プレイリスト更新を行ってもプレイリストから削除されません。

再生制限が設定されている音楽データについて

音楽データには、再生回数/再生期限/再生期間の再生制限が設定されているものがあります。再生制限を超えたときの動作は、次のように音楽データの種類により異なります。

■ 着うたフル®のとき

再生回数		再生しようとすると、[再生可能回数が終了しました。削除しますか?]と表示されます。[はい]を選ぶと削除されます。
再生期限		再生しようとすると、[再生可能期限が切れました。削除しますか?]と表示されます。[はい]を選ぶと削除されます。
再生期間	再生期間前	再生しようとすると、[再生可能日前です。再生できません]と表示されます。
	再生期間後	再生しようとすると、[再生可能期限が切れました。削除しますか?]と表示されます。[はい]を選ぶと削除されます。

■ うた・ホーダイのとき

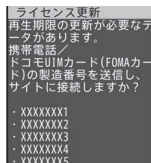
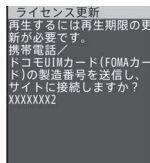
うた・ホーダイは、お客様がコンテンツプロバイダと契約を結んでいる期間のみ再生が可能な音楽データです。再生制限は音楽データとともにダウンロードされるライセンス情報により指定されます。再生期限満了で再生できなくなった場合でも、ライセンス更新を行うことにより再生が可能になります。

- 再生期限が切れたうた・ホーダイがあるときに、データBOXの[ミュージック]またはカメラ／TV／MUSICメニューの[ミュージックプレーヤー]を選択したり、再生期限が切れたうた・ホーダイを再生しようとすると、再生期限更新確認画面が表示されます。MENUを押すと再生期限を更新することができます。
- 再生期限の更新には、別途パケット通信料がかかります。
- うた・ホーダイが１件も保存されていない場合でも、再生期限更新確認画面が表示されるときがあり、再生期限の更新は行えますが、新たにうた・ホーダイを保存するまでは、再生することはできません。
- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎたあとでも数日間の再生猶予期間が設定されているときがあります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても再生ができます。再生猶予期間を過ぎると、うた・ホーダイの再生ができません。
- うた・ホーダイをダウンロードした際に使用していたドコモUIMカードと異なる電話番号のドコモUIMカードを挿入したとき、再生期限の更新をしても、うた・ホーダイは再生できません。また、FOMA端末に保存しているうた・ホーダイの再生期限情報は、完全には削除されません。そのため、再生期限更新確認画面が表示されるときがあります。うた・ホーダイの再生期限情報をすべて削除するには、データ一括削除(☞P.136)を行ってください。
- 日本以外の国で使用したとき、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料はｉモードパケット定額サービスの適用対象外です。
- データBOXの[ミュージック]またはカメラ／TV／MUSICメニューの[ミュージックプレーヤー]を選択して再生期限の更新をしたときに、再生期限が切れたうた・ホーダイが複数あると、再生期限が切れたデータすべての更新が実行されます。更新が完了すると、フォルダ一覧画面が表示されます。
- 着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイが再生不可能になった場合は、着信時／アラーム鳴動時には、お買い上げ時に設定されている音が鳴ります。

再生期限更新確認画面

ライセンス更新
再生期限の更新が必要なデータがあります。
携帯電話／
ドコモUIMカード(FOMAカード)の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？
・XXXXXXX1
・XXXXXXX2
・XXXXXXX3
・XXXXXXX4
・XXXXXXX5

データBOXの[ミュージック]またはカメラ／TV／MUSICメニューの[ミュージックプレーヤー]選択時

ライセンス更新
再生するには再生期限の更新が必要です。
携帯電話／
ドコモUIMカード(FOMAカード)の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？
XXXXXXX2

再生期限が切れたうた・ホーダイ選択時

■ WMAファイルのとき

再生制限を超えたときは、[再生できません。更新が可能なデータは本体をPCに接続し、転送元ソフトを起動して更新してください]と表示されます。更新可能なWMAファイルがあるときは、FOMA端末をパソコンに接続して更新してください(☞P.273)。

音楽データ・プレイリストを管理する

プレイリストや着うたフル®について設定できます。

プレイリストを作成する<プレイリストに登録>

FOMA端末で再生できるプレイリストには、FOMA端末で作成したユーザプレイリストとクイックプレイリスト、パソコンなどで作成した転送プレイリストがあります。

- ユーザプレイリストは10件まで作成できます。1件につき99曲の音楽データを登録できます。
- クイックプレイリストには99曲の音楽データを登録できます。
- 転送プレイリストは100件まで表示できます。1件につき1000曲の音楽データを表示できます。FOMA端末では作成／移動／編集することはできません。
  プレイリストの転送方法については☞P.273

1 音楽データにカーソルを合わせる▶MENU▶[プレイリストに登録]

- 音楽データにカーソルを合わせて📷を押しても操作できます。操作3に進みます。

2 登録方法を選ぶ

◆ **[1件登録]**
◆ **[選択登録]▶音楽データを選ぶ▶📷**
◆ **[全件登録]▶[はい]**

3 登録する

- 新規作成して登録:📷▶プレイリスト名を入力▶📷
  - プレイリスト名は全角・半角80文字まで入力できます。
- 音楽データの追加:プレイリストを選ぶ
- 音楽データの上書き:プレイリストにカーソルを合わせる▶✉▶[はい]

プレイリストを管理する

■ プレイリストを新規作成する<プレイリスト新規作成>

1 ユーザプレイリスト一覧画面でMENU▶[プレイリスト管理]▶[プレイリスト新規作成]

- 📷を押しても操作できます。

2 プレイリスト名を入力▶📷

■ プレイリストに音楽データを追加する<曲追加>

1 ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選ぶ

2 MENU▶[曲追加]

- 📷を押しても操作できます。

3 音楽データにカーソルを合わせる▶📷

着うたフル®を着信音に設定する<着信音設定>

1 着うたフル®にカーソルを合わせる▶MENU▶[着信音設定]

2 着信音の項目を選ぶ

3 設定範囲を選ぶ

◆ **[まるごと設定]**
- 1曲全部を設定します。

◆ **[オススメ設定]▶範囲にカーソルを合わせる▶📷**

- microSDカードに保存されている着うたフル®を選んだときは、FOMA端末への移動確認画面が表示されます。

- 着うたフル®によっては、[まるごと設定]のみ設定できるもの、[オススメ設定]のみ設定できるものがあります。
- 着うたフル®によっては着信音に設定できないものがあります(☞P.102)。

着うたフル®の情報を編集する<情報編集>

着うたフル®のタイトルやアーティスト名、アルバム名、ジャンル、年、コメント、トラック番号、総トラック数の情報を編集することができます。

1 着うたフル®にカーソルを合わせる▶MENU▶[情報編集]

2 編集する項目を選ぶ▶編集する▶📷

- 元に戻すとき：[オリジナルに戻す]▶[はい]
- タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、コメントは全角126文字（半角253文字）まで、年は4桁まで、トラック番号、総トラック数は3桁まで入力できます。

音楽データに含まれた画像や歌詞を表示する<画像表示／歌詞表示>

- 着うたフル®は画像は3枚、歌詞は7枚まで、WMAファイルは画像を1枚表示できます。

1 ミュージックプレーヤー画面でMENU▶[画像表示]／[歌詞表示]

画像や歌詞を表示中のボタン操作

- 次の画像／歌詞の表示：◎
- 前の画像／歌詞の表示：◎
- 画像／歌詞の非表示：CLR
- 画像／歌詞の保存：📷

- 保存した画像／歌詞はデータBOXのマイピクチャの[ｉモード]フォルダに保存されます。
- 画像や歌詞によっては、保存できないことがあります。
- WMAファイルの画像は保存できません。

音楽データに歌詞を関連付ける<うた文字>

歌詞が含まれていない音楽データに歌詞を追加することができます。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[ミュージック]▶[うた文字]

2 うた文字を選ぶ▶[はい]

3 音楽データにカーソルを合わせる▶📷▶[はい]

- 歌詞があらかじめ含まれている音楽データの歌詞は変更できません。
- WMAファイルは、歌詞が含まれている場合でも、歌詞なしのデータとして扱われます。

WMAファイルを一括して削除する<全削除>

WMAファイルおよび転送プレイリストを一括して削除できます。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[ミュージック]▶[ファイル種別]

2 [WMA]にカーソルを合わせる▶✉

3 端末暗証番号を入力▶[はい]

- WMAファイルの全削除を中断すると、WMAファイルの音楽データ一覧画面が表示できなくなります。もう一度、全削除を行ってください。

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリ

ｉウィジェット

ｉアプリ

「ｉアプリ」とは、ｉモード対応携帯電話用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。さらに、リアルタイム通信やｉアプリコール（☞P.303）を用いた、多人数でのオンライン通信が可能なｉアプリオンラインにも対応しており、対戦ゲームやチャットアプリなども楽しむことができます。また、ｉアプリにはｉウィジェット（☞P.308）対応のものがあります。

- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります（☞P.468）。
- ｉアプリの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ダウンロード

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからｉアプリのソフトをダウンロードすると、FOMA端末のディスプレイ上で起動できます。

- ２Mバイトまでのｉアプリをダウンロードできます。
- ソフトは100件（メール連動型ｉアプリは５件）まで保存できます。ソフトのサイズによっては、保存できる件数が変わります。

1 サイト表示中にソフトを選ぶ

- ｉアプリダウンロード画面が表示され、ダウンロードが開始されます。
- ダウンロードの中止：◉▶［はい］
- SSL／TLS対応のページからｉアプリの情報やｉアプリをダウンロード中は、[SSL]が表示されます。

- 電波状況などによりダウンロードが失敗したとき、途中までダウンロードしたデータを保存しておき、ソフト一覧から残りのデータをダウンロードできます。
- ダウンロード時にメモリの空き容量が不足したため古いソフトを削除したあとで、電波状況などによりダウンロードが失敗しても、古いソフトは復元できません。

選択したソフトがすでにFOMA端末に保存されているとき

- ソフトのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、ダウンロード（バージョンアップ）が開始されます。

おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードができないとき

- ＩＣカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできないときがあります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください（ダウンロードするソフトによって一部のソフトが削除対象とならないときがあります）。またＩＣカード内の状態によっては、表示されるソフトをすべて削除する必要があります。そのときは、表示される画面に従って全削除を行うことで、表示されたソフトを一括削除できます。なおソフトによっては一括削除できないものがあるため、お客様がソフトを起動して、ＩＣカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行う必要があります。
- ＩＣカードロック中は、おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードやバージョンアップができないときがあります。

メモリエリアについて

- データBOXとｉアプリのエリアを共有しています。データBOXに保存されているデータのデータ量によっては、ｉアプリが保存できないことがあります。

■ メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードするときは、次の点にご注意ください。

- メール連動型ｉアプリをダウンロードしたとき、受信BOX、送信BOX、未送信BOXにメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名となり、変更できません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダは、5件まで保存可能です。
- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、すでにソフト一覧にあるとき、そのメール連動型ｉアプリはダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダのみが残っており、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとしたとき、フォルダを利用できます。フォルダを利用しないときは、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。新規フォルダを作成しないときは、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリを残したままで、対応するメール連動型ｉアプリ用フォルダは削除できません。メール連動型ｉアプリがないときはフォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOXに作成されたフォルダがまとめて削除されます。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る
<ソフト情報表示設定>

1 **ノーマルメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[ソフト情報表示設定]**

2 **設定を選ぶ**

- [表示する]に設定した場合、ダウンロードを開始すると、ソフト情報とダウンロードの確認画面が表示されます。確認画面で[カメラ]を押すと、ダウンロードするｉアプリの詳細情報を表示できます。

ｉアプリ起動

ｉアプリを起動する

FOMA端末に保存されているｉアプリを起動します。

- ソフトによっては、起動したときに自動的に通信するものがあります。あらかじめ通信設定(☞P.289)で設定できます。
- よく使うｉアプリのソフトを、あらかじめ待受タッチランチャやツータッチｉアプリに登録しておいて起動することもできます(☞P.301、P.421)。

1 **ノーマルメニューで[ｉアプリ]▶[ソフト一覧]**

- 待受画面で[i](1秒以上)でも表示できます。
- GPS対応ｉアプリのみを表示:ノーマルメニューで[地図／海外]▶[GPSアプリ一覧]
- DCMXクレジットアプリの起動:ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[DCMX]
- ｉアプリのフォルダ一覧画面では、フォルダの状態によって、次のマークが表示されます。
  - [マーク]:ソフトが保存されているマイフォルダ
  - [マーク]:ソフトが保存されていないマイフォルダ
  - [マーク]:ソフトが保存されているユーザフォルダ
  - [マーク]:ソフトが保存されていないユーザフォルダ
- フォルダ内のソフト件数表示:[カメラ]
- 全フォルダ内のソフト情報表示:[i]

2 **起動するソフトを選ぶ**

- ソフト詳細情報の表示:[カメラ]
- ソフト一覧画面の表示変更:ソフト一覧画面で[メール]
  - 押すたびに、リスト表示→サムネイル表示→グラフィカル表示の順に切り替わります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリのみを表示:[ＩＣカード一覧へ]
  - ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[ＩＣカード一覧]でも表示できます。

- ご利用には別途パケット通信料がかかるものがあります。

- [DL]が表示されている場合は、初回利用時のみｉアプリをダウンロードする必要があります。ダウンロードには、別途パケット通信料がかかるものもあります。ダウンロードする前に、表示される説明内容をよくお読みください。
- ｉアプリのダウンロード時に使用したドコモUIMカードと同じドコモUIMカードを挿入していないと実行（起動）できないｉアプリがあります。
- ソフト起動中にアラーム（アラーム／スケジュール／視聴予約）で設定した時刻になると、ソフトは中断され、アラーム画面が表示されます。アラーム画面を終了すると再開されます。ｉアプリによっては、アラームが動作したときにソフトを終了するものもあります。
- メール連動型ｉアプリは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXからも起動できます。各BOX一覧からメール連動型ｉアプリフォルダを選択してください。
- ｉアプリによっては、起動時にソフトのバージョンが更新されていたときに確認画面が表示され、バージョンアップできるものがあります。
- ｉアプリによっては、ｉアプリ使用データをmicroSDカードに保存できるものがあります。保存したｉアプリ使用データは、microSDデータ参照（☞P.374）の［ｉアプリ使用データ］で確認できます。また、ｉアプリ使用データを利用するソフトは、ｉアプリ使用データ一覧でデータを選ぶと確認できます（☞P.306）。
- ｉアプリ使用データをmicroSDカードに保存するときやmicroSDカードから削除するときに、microSDカードや電池パックを抜くと、microSDカード内のｉアプリ使用データを参照できなくなることがあります。その場合は、microSDカードをSH-01Cで初期化（☞P.375）することをおすすめします。なお、microSDカードを初期化すると、ｉアプリ使用データを含むすべてのデータが消去されますのでご注意ください。
- microSDカードに保存したデータは、他の機種で利用できないときがあります。
- 同時に起動している他の機能がmicroSDカードを使用している場合は、ｉアプリからmicroSDカードの読み書きをできないときがあります。
- 2in1のモードを［デュアルモード］または［Bモード］に設定している場合、ｉアプリによっては起動や操作、設定などができないことがあります。

ｉアプリDXを起動するとき

- ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するために通信設定にかかわらず通信するものがあります。通信する回数やタイミングは、ソフトにより異なります。
- 日付・時刻を正しく設定していないときは、有効性の確認は実行されずソフトは起動できません。
- ソフトが無効になったとき、有効性を確認できるまではソフトを起動できません。

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

- ＩＣカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ ソフト一覧画面の見かた

マークの意味

- ：ｉアプリ
- ：ｉアプリDX
- ：ｉアプリ待受画面に設定可能なｉアプリ
- ：ｉアプリ待受画面に設定中のｉアプリ
- ：自動起動設定中のｉアプリ
- ：SSL／TLS通信でダウンロードしたｉアプリ
- ：メール連動型ｉアプリ
- ：ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されていて使用できないｉアプリ
- ：おサイフケータイ対応ｉアプリ
- ：ｉＣお引っこしサービスにより移し替えたＩＣカードデータ
- ：GPS対応ｉアプリ

AUTO GPS ：オートGPS対応ｉアプリ
：途中までダウンロードしたｉアプリ
DL ：ダウンロードが必要なｉアプリ
CHECK! ：カード情報設定が完了していないおサイフケータイ対応ｉアプリ※
STOP ：リモート制御による停止状態のｉアプリ
：2in1モードのため使用できないメール連動型ｉアプリ
：ワンタッチｉアプリ登録されているｉアプリ
：番組表ボタン設定されているｉアプリ
：番組表ボタン設定可能なｉアプリ
※ リスト表示のときのみ表示されます。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[ソフト件数確認]
- フォルダ内にあるソフトの種類と件数を表示します。
- 📷を押しても操作できます。

[フォルダ作成]▶フォルダ名を入力▶📷
- ユーザフォルダを作成します。

[フォルダ名変更]▶フォルダ名を変更▶📷
- ユーザフォルダのフォルダ名を変更します。

[1つ上へ移動]
- フォルダの表示順を上に移動します。

[1つ下へ移動]
- フォルダの表示順を下に移動します。

[削除]

▶[フォルダ削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]
- ユーザフォルダを削除します。

▶[ソフト削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[メモリ確認] ☞P.382

[フォルダ作成]について
- 最大19個のユーザフォルダを作成できます。
- 全角8文字(半角16文字)まで入力できます。

[削除]について
- 削除するソフトのｉアプリ使用データがmicroSDカードに保存されているとき、ｉアプリ使用データを同時に削除するかどうかを選択できます。
- 「iD 設定アプリ」は削除できません。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、お客様がソフトを起動してＩＣカード内のデータを削除しないと、ソフトを削除できないものがあります。
- ＩＣカードロック中、おサイフケータイ対応ｉアプリは削除できないときがあります。
- メール連動型ｉアプリを含むソフトを全件削除する場合、メールフォルダ内に保護されているメールがあるときはソフトの削除はできません。
- メール連動型ｉアプリを削除するとき、自動的に作成されたメールフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。なお、メールフォルダ内に保護されているメールがあるときはフォルダの削除はできません。
- フォルダを残してメール連動型ｉアプリを削除した場合、フォルダ内のｉモードメールを確認するときは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXでフォルダにカーソルを合わせてMENUを押し、[ｉモードメール閲覧]を選択します。
メール連動型ｉアプリを起動せずにフォルダ内のｉモードメールを表示できます。
- フォルダ削除を行う場合、フォルダ内にｉアプリがないときは端末暗証番号入力画面が表示されません。

■ ソフト一覧画面のサブメニュー操作

[詳細情報]

[削除]
- [削除]について☞P.287

▶[1件削除]▶[はい]

▶[選択削除]▶ソフトを選ぶ▶📷▶[はい]

▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[フォルダ移動]

▶[1件移動]▶移動先を選ぶ▶[はい]	
▶[選択移動]▶ソフトを選ぶ▶📷▶移動先を選ぶ▶[はい]	
▶[全件移動]▶移動先を選ぶ▶[はい]	
[バージョンアップ]	☞P.306
[動作設定]	☞P.289
[自動起動]	☞P.303
[ｉアプリ待受画面]	
▶[終了する] ● 設定中のｉアプリ待受画面を終了します。	
▶[解除する] ● 設定中のｉアプリ待受画面を解除します。	
[ツータッチｉアプリ登録]／[ツータッチｉアプリ解除]	☞P.301
[ソート]▶ソート方法を選ぶ	
[メモリ確認]	☞P.382

[詳細情報]について

- 表示される情報は名前、バージョン、ソフト取得先URL、データ記録領域、プロファイルバージョン、対応機種、SSL通信などです。
- 表示されるｉアプリのソフト名は変更できません。

ｉアプリの設定を行う<ｉアプリ設定>

■ 音量を調節する<ｉアプリ音量>

1 ノーマルメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[ｉアプリ音量]▶◎

- ｉアプリによっては音の鳴らないものもあります。

■ オートGPS機能の優先表示について設定する<オートGPS優先設定>

1 ノーマルメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[オートGPS優先設定]

2 設定を選ぶ▶[OK]

■ ソフトを並べ替える<ソフトの並べ替え>

1 ノーマルメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[ソフトの並べ替え]

2 並べ替え方法を選ぶ

■ ｉアプリ起動中の照明の点灯時間を設定する<照明点灯時間設定>

1 ノーマルメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[照明点灯時間設定]

2 設定を選ぶ

■ ｉアプリ起動中のバイブレータを使用するか設定する<バイブレータ設定>

1 ノーマルメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[バイブレータ設定]

2 設定を選ぶ

■ ｉアプリの省電力を設定する<ｉアプリ省電力設定>

1 ノーマルメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[ｉアプリ省電力設定]

2 設定を選ぶ

3 省電力モードになるまでの時間を選ぶ

- ｉアプリ起動中にecoモード(☞P.113)に従ってディスプレイの表示がOFFになってから、設定した時間を過ぎるとｉアプリを一時中断して電池の消費を抑えることができます。
- 次の動作中は、ｉアプリの省電力モードになりません。動作終了後、設定時間が経過するとｉアプリの省電力モードになります。
  - ■ ｉアプリからのパケット通信
  - ■ ｉアプリからmicroSDカードへのアクセス

- ｉアプリの省電力モード中にソフトを再開するときは、いずれかのボタンを押し、再開確認画面で[OK]を選択します。
- ｉアプリ待受画面からｉアプリを起動したときもｉアプリの省電力モードの対象になります。

■ ｉアプリに関する登録商標を表示する<ｉアプリについて>

1 ノーマルメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[ｉアプリについて]

ｉアプリの動作条件を設定する<動作設定>

1 ソフト一覧画面でソフトにカーソルを合わせる▶MENU▶[動作設定]

2 各項目を設定▶📷

- ソフトごとに次の動作条件を設定できます。
  - ■ ｉアプリ待受画面：待受画面にｉアプリを設定します。
    - ・設定できるｉアプリは１件のみです。
  - ■ ｉアプリ待受画面通信設定：ｉアプリ待受画面動作中に通信を許可するかどうかを設定します。
  - ■ 通信設定：ｉアプリ起動中に通信を行ってもよいかどうかを設定します。
    - ・[通信しない]に設定すると、動作しないときやタイムリーな情報提供ができないときがあります。また、起動しないソフトもありますので、ご注意ください。
    - ・ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由して送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります(「ｉアプリで利用する画像」とは、起動中のソフトからカメラ機能を起動して撮影した画像、起動中のｉアプリから赤外線通信機能を利用して取得した画像、起動中のソフトからデータBOXを参照して取得した画像です)。
  - ■ アイコン情報：ｉアプリへメール、メッセージR／F、電池残量、マナーモード設定、圏外情報などの各種アイコンの有無を通知するかどうかを設定します。
    - ・アイコン情報が必要なソフトのとき、[利用しない]に設定すると動作しないことがあります。
    - ・アイコン情報設定を[利用する]に設定すると、未読のメール・メッセージR／F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の「携帯電話／ドコモUIMカードの製造番号」と同様にインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるときがあるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。
  - ■ ブラウザからの起動：サイトからｉアプリToで起動させるかどうかを設定します。
  - ■ トルカからの起動：トルカからｉアプリToで起動させるかどうかを設定します。
  - ■ メールからの起動：メールからｉアプリToで起動させるかどうかを設定します。
  - ■ 住所リンク機能での起動：サイトやメッセージR／F、トルカの位置情報からｉアプリToで起動させるかどうかを設定します。
  - ■ 外部機器からの起動：外部機器からｉアプリToで起動させるかどうかを設定します。
  - ■ データ放送サイトからの起動：ワンセグのデータ放送サイトからｉアプリToで起動させるかどうかを設定します。
  - ■ スケジューラからの連携起動：スケジュールからｉアプリToで起動させるかどうかを設定します。
  - ■ ソフトからの着信音／画像変更を：ｉアプリから着信音や画面を変更するのを許可するかどうかを設定します。
  - ■ 変更ごとに確認画面を：[ソフトからの着信音／画像変更を]を[許可する]に設定した場合に、変更時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
  - ■ ソフトからの電話帳／履歴参照を：ｉアプリから電話帳やリダイヤル／着信履歴を参照するのを許可するかどうかを設定します。
    - ・[許可しない]に設定すると、ソフトによっては利用できないものもありますので、ご注意ください。
  - ■ 位置情報利用設定：GPS対応ｉアプリで位置情報を利用するかどうかを設定します。
  - ■ ソフトからのオートGPS設定：ｉアプリからオートGPS設定を行ってもよいかどうかを設定します。
  - ■ 番組表ボタン設定：ワンセグから起動する番組表ｉアプリを設定します。
    - ・設定できるｉアプリは１件のみです。

次ページへ続く▶▶

■ 地図設定：地図／海外メニューの［地図］や各機能の位置情報から［地図を見る］を選択したときに起動するGPS対応ｉアプリを設定します。
・ 設定できるｉアプリは１件のみです。

■ クイック検索用地図設定：クイック検索の［地図検索（文字入力）］で起動するｉアプリを設定します。

■ ｉアプリ辞書設定：クイック検索の［ｉアプリ辞書］で起動するｉアプリを設定します。

■ ｉアプリコール設定：ｉアプリコールを受信したときにｉアプリの起動を許可するかどうかを設定します。
・ ソフトによっては、ｉアプリコールの設定が有効にならないことがあります。

● ソフトによっては設定できない項目があります。

ｉアプリToについて

● 起動するソフトは、サイト、ｉモードメール、メッセージR／F、画面メモ、トルカやスケジュールによって決まっています。指定のソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

モーショントラッキング対応のアプリについて

FOMA端末は、サブカメラの認識技術を使用してｉアプリを操作（FOMA端末を傾けたり振ったり）する「モーショントラッキング」に対応しています。

● 次のような場合はご利用になれないことがあります。
■ サブカメラのレンズが汚れているとき
■ 着用している服が背景と似通っているとき
■ 移動中など、背景が一定していないとき
■ 暗い場所や背景が明るすぎる場所にいるとき

ｉアプリタッチ対応のアプリについて

ｉアプリの対戦ゲームなどをする際に、ｉアプリからの操作を行ったあと、ｉアプリタッチ対応の他のFOMA端末とマークを重ね合わせることで、簡単にBluetooth登録を行い対戦することなどができます。

● ＩＣカードロック中は、ｉアプリタッチを利用できません。

● 充電中、イヤホン接続中、USB接続中、HDMI出力中はデータの送信ができません。

● 市販のBluetooth対応ヘッドセットなどのBluetooth機器を接続しているときは、ｉアプリタッチを利用できない場合があります。接続中のBluetooth機器との接続を解除してからご利用ください。

バーチャルキーについて

バーチャルキー対応のｉアプリを起動中は、バーチャルキー（カーソルキー、決定キー、数字キー、CLRキー）を表示できます。バーチャルキーをタッチして、ｉアプリ内のメニューや項目を選択してください。

1 ｉアプリ起動中に画面をタッチ

● バーチャルキーが表示されます。

● タッチ操作に対応したｉアプリなどバーチャルキー非対応のｉアプリでは、バーチャルキーが表示されません。

● 表示されるキーは、ソフトにより異なります。

● ｉアプリによっては、バーチャルキー表示中、通常のタッチ操作ができないことがあります。

■ バーチャルキーの操作

［Select］	◉の操作と同様の操作ができます。※1
［↖］、［↑］、［↗］、［←］、［→］、［↙］、［↓］、［↘］※2	✪の操作と同様の操作ができます。
［CLR］※3	CLRの操作と同様の操作ができます。
［Num］※3	数字パネル［１］～［９］、［０］、［＊］、［＃］を表示します。非表示にしてカーソルキーを表示するときは［◈］をタッチします。
［Key Off］※3	バーチャルキーを非表示にします。※4 画面をタッチするとバーチャルキーが表示されます。

※1　ｉウィジェットでは、画面下部右の決定キーで決定します。
※2　ｉウィジェットでは、［↖］、［↗］、［↙］、［↘］は表示されません。
※3　ｉウィジェットでは表示されません。
※4　ｉウィジェットではいずれかのボタンを押すとバーチャルキーを非表示にします。

ｉウィジェット利用中のバーチャルキーについて

ｉウィジェット利用中は、画面下部にも次のようなバーチャルキーが表示されます。選択／実行するメニューをタッチして操作できます。

- バーチャルキーの表記はソフトや状況によって異なります。

例：iWウォッチ

上キー
左キー　右キー　決定キー
下キー

ソフトを起動中に他のソフトを起動する

ソフトによっては、他のソフトを起動できるものがあり、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。

- 起動するソフトが指定されていないときは、画面の指示に従ってソフトを選択します。
- 起動するソフトがFOMA端末に保存されていないときは、ダウンロードする必要があります。

お買い上げ時に登録されているソフト

- お買い上げ時に登録されているソフトを削除後にもう一度ご利用になるときは、ｉMenu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードできます（☞P.137）。

■ 塊魂モバイル体験版

塊（カタマリ）を転がし大きくしていく、ロマンチックアクションゲームです。

モーションセンサーを使った直感操作に対応しております。FOMA端末を傾けることにより、傾けた方向に塊を転がせるので、より感覚的なゲームが楽しめます。

プリインストール版では、ステージ１「タケダ家」の庭に出るところまでお楽しみいただくことができます。他のステージをお楽しみいただくには、画面の案内に従ってマイメニュー登録し、有料版のダウンロードを行ってください。

- 有料版のご利用には、株式会社バンダイナムコゲームスの「ナムコ・ゲームス」サイトへのマイメニュー登録が必要です。
- ご利用および有料版のダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。

■ リッジレーサーズモバイル体験版

レースゲーム「リッジレーサーズモバイル」がモーションセンサーに対応し、パワーアップしました。FOMA端末を車のハンドルのように右や左に傾けることで、車を運転するような感覚で操作でき、直感的なゲームが楽しめます。

プリインストール版では、CPUのマシンと１対１で対戦する「DUEL」モードでのプレイをお楽しみいただくことができます。すべてのコースやマシンをお楽しみいただくには、画面の案内に従ってマイメニュー登録し、有料版のダウンロードを行ってください。

- 有料版のご利用には、株式会社バンダイナムコゲームスの「ナムコ・ゲームス」サイトへのマイメニュー登録が必要です。
- ご利用および有料版のダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。

■ ニノ国ホットロイトストーリーズ　第１章「オリバーとマーク」

スタジオジブリがアニメーションを制作するファンタジーRPG「ニノ国」本編へとつながるプロローグストーリーです。

プリインストール版では、第１章のゲーム序盤までのプレイをお楽しみいただくことができます。続きをお楽しみいただくには、画面の案内に従ってマイメニュー登録し、有料版のダウンロードを行ってください。

プリインストール版のクリアデータは、そのまま有料版に引き継げます。

- 有料版のご利用には、株式会社レベルファイブの「ROID」サイトへのマイメニュー登録が必要です。
- microSDカードの利用をおすすめいたします。利用される場合は、５Mバイト以上の空き容量があるmicroSDカードを取り付けておく必要があります。
- ご利用および有料版のダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 追加データをダウンロードする場合は、ｉモードパケット定額サービスのご加入が必要です。

■ Shot Navi Advance Lite for SH

国内のゴルフ場2300以上に対応するGPSゴルフナビゲーターです。
コースレイアウトに、グリーンやハザードまでの距離が同時に表示されます。その他、以下の機能などが搭載されています。

- ■ オートズームナビ
- ■ レイアウト拡大縮小
- ■ 飛距離計測
- ■ グリーンターゲット切替
- ■ 地点登録
- ■ 自動ホール切替
- ■ ARナビ（ARビュー）機能

- 有料版のご利用には、株式会社パーセ十二プラザの「ゴルフPAR72」サイト内「GOLFナビショットナビ」へのマイメニュー登録が必要です。
- ご利用には、別途パケット通信料がかかります。
- ご利用には、iモードパケット定額サービスのご加入が必要です。

■ Myきせかえクリエイター for SH

撮影した画像とテンプレートから選んだフレームを合成して、簡単にきせかえツール（待受画面とノーマルメニュー）を作成することができます。

- ご利用には、別途パケット通信料がかかります。

■ ファミスタワイヤレス FM版

シンプルな操作で誰でも簡単に楽しめる野球ゲームです。CPUのチームと対戦したりBluetooth機能を利用して対戦することができます。イニング数や難易度などを選択してお楽しみいただくには、画面の案内に従って会員登録を行ってください。

- 有料版のご利用には、株式会社バンダイナムコゲームスの「ファミスタモバイル」サイトへのマイメニュー登録が必要です。
- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

■ 対戦パックマン体験版

パックマンを操作し、ゴーストの追跡をかわしながら迷路内に置かれたクッキーを食べます。迷路内のすべてのクッキーとパワークッキーを食べたらラウンドクリアーとなります。iアプリタッチの機能を使用し、より簡単にBluetooth対戦を行うことができます。
プリインストール版では、ゲームオーバーになるかパワークッキーを3つ食べるまでお楽しみいただくことができます。
最後までお楽しみいただくには、画面の案内に従ってマイメニュー登録し、有料版のダウンロードを行ってください。

- 有料版のご利用には、株式会社バンダイナムコゲームスの「ナムコ・ゲームス」サイトへのマイメニュー登録が必要です。
- 有料版のダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。
- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

■ モバイルGoogleマップ

地図を表示して、地域情報やお店情報、ユーザ作成コンテンツを簡単に探し出すことができます。また、航空写真モードに切り替えることや、ストリートビューを見ることができます。また、路線検索で目的地までの移動方法を調べ、目的地までのナビゲーションをすることもできます。

地図画面のボタン操作

操作	ボタン
メニューの表示	MENU
検索（地域のお店やサービスの情報、場所を検索して地図上に表示）	カメラ
カーソルの移動	方向キー
コンテキストメニュー（現在地の住所、ここまでの経路、ここからの経路、ストリートビュー、お気に入りに保存、付近を検索）	●
ズームアウト	1
地図／航空写真の切り替え	2
ズームイン	3
現在地の表示	0
お気に入りに保存／表示	✱

- はじめて利用するときは、利用規約に同意する必要があります。
- 詳細はメニューの[ヘルプ]をご覧ください。

■ ネット辞典

国語辞典や英和辞典などサイト上の辞典を使うことができます。

- クイック検索から起動することもできます（☞P.422）。
- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

1 ソフト一覧画面で[ネット辞典]

- はじめて起動したときは、注意事項が表示されます。注意事項を確認してください。次回起動時からは注意事項が表示されません。

2 キーワードを入力する

3 利用する辞典を選ぶ

4 [検索]

5 [はい]

- ネットワークに接続され、検索結果が表示されます。

6 検索結果にカーソルを合わせる

- 検索結果を選ぶと、画面下部に詳細の一部が表示されます。

7 ◉

- 詳細画面が表示されます。詳細画面に[さらに詳しく]と表示されているときは、[さらに詳しく]を選択するとサイトに接続して詳細を確認できます。

利用する辞典一覧を更新する

1 ネット辞典画面で📷▶[辞典更新]▶[はい]

- 操作ガイダンスに[メニュー]が表示されているときに📷▶[ヘルプ]を選択すると操作方法を確認できます。

■ DCMXクレジットアプリ

「DCMX」とは、「iD」に対応した、NTTドコモが提供するクレジットサービスです。

DCMXには、月々1万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMX／DCMX GOLDの各サービスがございます。

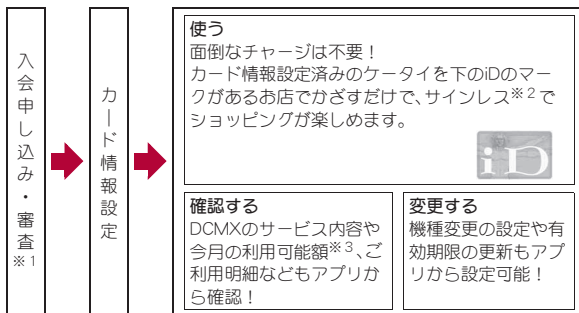
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

アプリの機能

入会申し込み・審査※1 ➡ カード情報設定 ➡

使う
面倒なチャージは不要！
カード情報設定済みのケータイを下のiDのマークがあるお店でかざすだけで、サインレス※2でショッピングが楽しめます。

確認する
DCMXのサービス内容や今月の利用可能額※3、ご利用明細などもアプリから確認！

変更する
機種変更の設定や有効期限の更新もアプリから設定可能！

※1 DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。
また、DCMX mini以外のお申し込みについては、i モードのお申し込みページに接続します。

※2 一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。

※3 DCMX miniのみ可能です。

- DCMXの詳細については、i モードサイトをご覧ください。
  i モードサイト：[i Menu]▶[メニューリスト]▶[DCMX]

サイト接続用QRコード

- カード情報設定が完了するまでは、ソフト一覧画面に[未設定 DCMX iD]もしくは、[▦]が表示されます。ただし、ICカードロックを設定しているときは、カード情報設定が完了していなくても表示されません。
- 本アプリをはじめて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 各種設定にはパケット通信料がかかります。

■ iD設定アプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じてお店によって使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iD設定アプリまたはカード発行会社が提供するカードアプリで設定を行う必要があります。なお、ご利用のカードによってはiD設定アプリで設定の上、カードアプリの設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- iD設定アプリは削除できません。ICオーナーを初期化する場合は、事前にiD設定アプリの［設定メニュー］から［iDアプリ初期化］を行ってください。
- iDに関する情報については、iDのｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：［ｉMenu］▶［メニューリスト］▶［「iD」］

サイト接続用QRコード

- 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

■ ドコモwebメール

「ドコモwebメール」は、パソコンからもFOMA端末からも便利にご利用いただけるメールサービスです。新しいメールアドレス（○○@dwmail.jp）をご利用いただけるほか、現在パソコンなどでご利用中のメールアドレスをそのままご利用いただくこともできます。ｉモードメールの設定により、FOMA端末で送受信したｉモードメールを自動でドコモwebメールへ保存（最大2Gバイト）することもできます。また、蓄積されたメールを簡単に整理できるので、過去にやりとりしたメールが一覧で見やすく表示されます。

- お申し込みにはｉモードのご契約が必要です。ｉモードを解約した場合も引き続きご利用になれますが、パスワードの再発行などの一部機能はご利用になれません。
- ｉモードメールを「ドコモwebメール」へ保存するには、ｉモードメール自動保存設定を行ってください。ケータイデータお預かりサービスのワンタイムパスワード通知メールなど一部自動保存対象外のメールがあります。
- 「ドコモwebメール」に6ヶ月ログインしない状態が続くと、サービスが停止され、メールボックスの保存データ・設定情報がすべて削除されます。
- 現在パソコンなどでご利用中のメールアドレスをそのままお使いいただくには、パソコンサイトで設定する必要があります。設定できるメールサービスや設定方法などの詳細についてはパソコンサイトをご確認ください。
  パソコンサイト：http://dwmail.jp
- 「ドコモwebメール」を利用して、ｉモードメールアドレスを送信元とするメールを送信できません。
- 起動時にアプリのバージョンアップを必要とする場合があります。
- 「ドコモwebメール」に関する情報や本アプリを再度ダウンロードする場合は、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：［ｉMenu］▶［webメール］

サイト接続用QRコード

- メールアドレスの取得を含むFOMA端末からのご利用やアプリのダウンロード、バージョンアップなどには、別途パケット通信料がかかります。ご利用にはｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめいたします。

■ E★エブリスタアプリ

「E★エブリスタアプリ」は、ケータイ総合雑誌「E★エブリスタプレミアム」掲載作品の更新情報をリアルタイムにチェックできるｉアプリです。
「E★エブリスタプレミアム」では、有名作家や有名人が書き下ろしたコミックや小説、エッセイの新作を、有料にて読み放題でお楽しみいただけます。

- 本アプリは会員登録不要で無料にてお楽しみいただけますが、プレミアム作品本文を閲覧するには、iモードサイトの「E★エブリスタ」で有料会員登録を行ってください。
- はじめてご利用される際には、「利用規約」を必ずご確認の上、ご利用ください。
- 本アプリは最新情報を取得するため、ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 「E★エブリスタアプリ」に関する情報は、iモードサイトをご覧ください。

■ iCタグリーダー

iCタグリーダーは、本アプリに対応したポスター・カード・シールなどにおサイフケータイをかざして、情報を読み取るためのiアプリです。
読み取った情報から、URLを入力せずにサイトへアクセスしたり、電話帳にデータを保存したりできます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- 本アプリを起動して、対応サービスにFOMA端末のマークをかざすと情報の読み取りができます。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- iCタグリーダーの詳細については、メニューの「ヘルプ」をご覧ください。

iCタグリーダーで読み取った情報から、以下の機能を使用することができます。

- ■ iモードサイトへ接続
- ■ iモードメール作成
- ■ 電話発信
- ■ 電話帳登録
- ■ トルカ保存
- ■ 画像保存
- ■ メロディ保存
- ■ テキスト表示

■ Gガイド番組表リモコン

テレビ番組表とテレビのリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利なiアプリです。
知りたい時間の地上デジタル、BSデジタルのテレビ番組情報を簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグを起動することができます。ワンセグから番組表を起動することもできます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をBDレコーダー、DVDレコーダーなどに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているBDレコーダー、DVDレコーダーなどが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。
さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組の検索が可能です。
横画面でも番組表の閲覧および操作が可能です（一部機能は横画面に対応しておりません）。

- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。
- Gガイド番組表リモコンの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

視聴予約機能について

本アプリの番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約をすることができます。

- 視聴予約の方法

本アプリを立ち上げ番組表を表示して、視聴予約したい番組を選び、◉を押して[ワンセグ視聴予約]から[予約実行]を選択すると視聴予約画面が表示されますので、画面に従って視聴予約を行ってください。

録画予約機能について

本アプリの番組表で録画したい番組を選択し、ワンセグの録画予約をすることができます。

- 録画予約の方法

本アプリを立ち上げ番組表を表示して、録画予約したい番組を選び、◉を押して[ワンセグ録画予約]から[予約実行]を選択すると録画予約画面が表示されますので、画面に従って録画予約を行ってください。

リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているBDレコーダー、DVDレコーダーなどをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

- リモート録画予約をミニアプリから削除している場合、再度ダウンロードする必要があります。

初期設定の方法

1 BDレコーダー、DVDレコーダーなどにインターネット接続の設定をする。
- ご利用のBDレコーダー、DVDレコーダーなどの取扱説明書をご確認ください。

2 トップ画面で[リモート録画予約]
- ガイダンスに従って初期設定を進めてください。

番組予約の方法

初期設定が完了したあと、番組表を表示して、録画予約したい番組を選び、◉を押して[リモート録画予約]を選択すると、本アプリで設定したBDレコーダー、DVDレコーダーなどへ録画予約をすることができます。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

■ ブックビューア コミック体験！

「ブックビューア コミック体験！」はセルシス、ボイジャーが提供するケータイコミックを体験できるiアプリです。本アプリを起動後、メニュー画面からコンテンツ提供先、タイトル、話数を選択してください。さまざまなジャンルの人気コミックを簡単な操作でお楽しみいただけます。

- 体験できるコミックのタイトルについては変更される場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ご利用には、iモードパケット定額サービスへのご加入が必要です。

■ コミック／小説ビューア

話題のコミックや小説を立ち読みできるiアプリです。本アプリを起動後、「オススメ無料ブックコーナー」に接続すると、さまざまなジャンルの中から、お好みの作品をお楽しみいただくことができます。
小説は、映画化やアニメ化をされた角川グループの話題作、コミックでは「ONE PIECE」や「君に届け」などの人気作品をお楽しみいただけます。

- コミックや小説のタイトルについては変更される場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ご利用には、iモードパケット定額サービスへのご加入が必要です。

■ モバイルSuica登録用iアプリ

「モバイルSuica登録用iアプリ」は、JR東日本が提供するおサイフケータイ対応サービス「モバイルSuica」をご利用いただく前に必要な初期設定を行うiアプリです。本アプリにて初期設定を行ったあと、画面に従ってJR東日本サイトからモバイルSuicaアプリをダウンロードし、会員登録を行ってください。

- はじめてご利用される際には、「ご注意事項（必読）」に承諾いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 本アプリは、初期設定が完了したあとに削除できますが、モバイルSuicaサービスで利用していたエリアを他のサービスでご利用いただくためには、ドコモショップへご来店いただきICカード内のデータをすべて初期化（以下、フルフォーマット）していただく必要があります。
- フルフォーマットを実施すると、ICカード内のすべてのデータが削除されます。
- フルフォーマットを行ったあとにモバイルSuicaサービスを再度ご利用になる場合は、本アプリにて再度初期設定をしていただく必要があります。
- モバイルSuicaに関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：[iMenu]▶[メニューリスト]▶[【生活情報】おサイフケータイ]▶[モバイルSuica]

■ iアバターメーカー

iアバターメーカーでできること

アバターをつくる

iアバターメーカーに用意されたさまざまなパーツを利用して、アバターを作成することができます。
カメラで撮影した写真やデータBOXに保存してある画像を見ながら作成することや、あらかじめ用意されたアバターの見本をもとに作成できます。

アバターをつかう

作成したアバターは、デコメール®、デコメ絵文字®、デコメアニメ®の素材や、iコンシェルに対応したマチキャラに変換して利用できます。

また、作成したアバターをｉアバターサイトに登録することで、いろいろな洋服アイテムに着せ替えたり、コンテストや対応サイトで公開することができます。

- アバターをデコメ®素材（アニメ）やマチキャラに変換する際、またｉアバターサイトにアバターを登録する際には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアバターサイトで着せ替えを行うには、アイテム購入が必要な場合があります。

■ おサイフケータイ Webプラグイン

「おサイフケータイ Webプラグイン」はおサイフケータイを便利にするｉアプリです。例えば、本アプリに対応したサイトから会員証やクーポン券を直接おサイフケータイに取り込んで、お店の読み取り機にかざして利用することができるようになります。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- おサイフケータイ Webプラグインを利用したサービスは、おサイフケータイ対応サービス提供者により提供されます。

■ 地図アプリ

SH-01Cに搭載されている地図・GPS機能を利用して、目的地を検索したり、交通手段によるルートを表示したりすることができる便利アプリです。

- クイック検索から起動することもできます（☞P.422）。
- 「地図アプリ」の操作方法については☞P.327

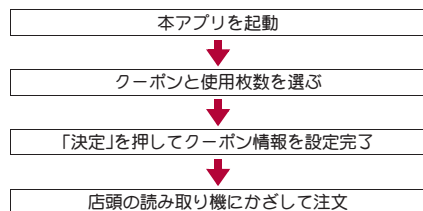
■ マクドナルド トクするアプリ

マクドナルドの新商品など、おすすめ情報をいち早くチェックできるほか、マクドナルドで使える割引クーポン「かざすクーポン」や対象商品の購入などでスタンプがたまる「かざす会員証」としても利用できます。

「かざすクーポン」のご利用は「トクするケータイサイト」への会員登録後、アプリからお好みのクーポンを選択・設定し、マクドナルドの店頭に設置されている読み取り機にかざしてご利用ください。

- 「マクドナルド トクするアプリ」に関する情報はマクドナルド公式サイト「トクするケータイサイト」をご覧ください。
  ｉモードサイト：[ｉMenu]▶[メニューリスト]▶[【生活情報】グルメ／レシピ]▶[マクドナルド〓トクする]
- 「かざすクーポン」はご利用いただけない店舗があります。
  「かざすクーポン」が使えない地域では、「見せるクーポン」をご利用いただけます。
- 「おすすめ情報」は「トクするケータイサイト」の非会員でもご覧いただけます。
- 「マクドナルド トクするアプリ」の機能やサービス内容は、変更になる場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

「かざすクーポン」の利用方法

本アプリを起動
↓
クーポンと使用枚数を選ぶ
↓
「決定」を押してクーポン情報を設定完了
↓
店頭の読み取り機にかざして注文

ウィジェットアプリ対応☞P.308

マクドナルドの「おすすめ情報」が更新されると、ウィジェットアプリのマクドナルドの看板が回転してお知らせします。

看板を選択するとおすすめ情報が表示されます。

おすすめ情報の「もっと詳しくボタン」を押すとより詳しい情報を見ることができます。

■ 楽オク☆アプリ

「楽オク☆アプリ」は、楽天オークションに簡単に出品できる便利なアプリです。写真撮影から説明文入力、出品設定まで、ステップを進めていくだけで簡単に出品ができ、オークションがはじめてという方でも安心して使えます。

説明文が簡単に作れる「かんたん入力」機能や、写真編集、履歴の保存など便利な機能もたくさんあるので、サイトからの出品よりも時間がかからずに出品することができます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 楽オク☆アプリの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録が必要になります。
- 楽オクに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：[ｉMenu] ▶ [オークション]

サイト接続用QRコード

ウィジェットアプリ対応☞P.308
楽オクのおすすめ商品や自分で出品・入札した商品の情報が表示されるので、気になるオークションの状況が簡単に確認できます。

■ ｉアプリバンキング

ｉアプリバンキングとは、FOMA端末からモバイルバンキング（ご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込・振替など）を、便利にご利用いただくためのｉアプリです。ｉアプリを起動する際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大２つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。ペイジーによる請求書・納付書のお支払いも可能です。

- ｉアプリバンキングでモバイルバンキングを利用するには、ｉアプリバンキングに対応した金融機関の口座およびインターネットバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリバンキングの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- ｉアプリバンキングに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：[ｉMenu] ▶ [メニューリスト] ▶ [【金融】モバイルバンキング] ▶ [㊎ ｉアプリバンキング]

サイト接続用QRコード

ウィジェットアプリ対応☞P.308
ｉアプリバンキングウィジェットでは、ウィジェット上でパスワードを入力するだけで簡単にｉアプリバンキングを起動することができ、ご自身の登録している金融機関やオプション機能の利用がより便利に行えます。

■ Start! ｉウィジェット

「Start! ｉウィジェット」は、ｉウィジェットの使い方をムービーで見ることのできるアプリです。
また、ｉモードに接続して、FOMA端末に保存されているもの以外のアプリをダウンロードできるサイトを表示することもできます。

- 「ダウンロード」を選択し、ｉモードに接続する際は、別途パケット通信料がかかります。

■ iタウンページウィジェット

「iタウンページウィジェット」は、ｉウィジェットにて日替わりのコンテンツや周辺店舗の情報を確認したり、都道府県や業種、名前などから店舗を検索することのできるアプリです。

- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

■ SH-MODE INFO

「SH-MODE INFO」は、ｉウィジェットにてｉMenu内のサイト［SH-MODE］の更新情報を確認したり、サイト内の各コンテンツへ直接接続することができるアプリです。

- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

■ お天気予報SH

「お天気予報SH」は、ｉウィジェットにて今日・明日の天気や雨レーダーなどを見ることのできるアプリです。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

■ ROID ウィジェット２

「ROID ウィジェット２」はモバイルゲームサイト「ROID」の更新情報（ゲームアプリの配信情報など）を自動で取得し、カレンダーウィジェットに表示することができる便利なウィジェットアプリです。

ウィジェットの画面デザインは３種類から選ぶことができ、さらに「ROID」で配信されているゲームの画像などからお好みに応じて変更することもできます。また、専用ゲームアプリをダウンロードするページへジャンプすることもできます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

■ 株価アプリ

「株価アプリ」は、ｉウィジェットにて株価情報を簡単に見ることのできるアプリです。
表示できる株価情報は、「日経平均株価／TOPIX／日経JQ平均」の３指数になります。
それぞれの指数の現在値および前日比を表示することが可能です。
また、チャート情報についても、「日中足／日足／週足／月足」と切り替えることができます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 指数の現在値については、約20分遅れの情報となります。
- 本アプリの情報は株式など売買および売買の支援をするものではありません。
- 本アプリの情報の内容につきましては万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。
  万一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社および情報提供者は一切責任を負いかねます。

■ iWウォッチ

「iWウォッチ」は、ｉウィジェットにてグラフィカルに時計や電池残量を確認することができるアプリです。
デザインや色は、お好みに応じて変更することが可能です。

■ i Bodymo

i Bodymoは、「歩く」や「食べる」など、普段やっていることを気軽に楽しみながら続けることを応援するドコモの健康サービスです。

- お申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
- はじめてご利用される際には、ｉアプリのダウンロードと初期設定を行う必要があります。
- 初期設定を行う際は、ｉモードパスワードが必要となります。
- i Bodymoを利用して歩数のカウントおよび歩数データの記録を行うには、歩数計設定を［ON］にする必要があります（☞P.402）。
- i Bodymoを利用して記録した歩数データを自動でサーバに送信するためには、ｉアプリ設定の自動起動設定を［自動起動する］にする必要があります（☞P.302）。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。本アプリは、ｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめします。
- i Bodymoでゲームを行う際は、専用ｉアプリのダウンロードが必要です。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- i Bodymoを海外でご利用になるには、海外利用設定が必要です。海外でご利用の際は、パケット通信料がかかります（国内での通信料とは異なります）。
- i Bodymoを海外でご利用の際は、i Bodymoの一部またはすべての機能がご利用になれない場合があります。
- i Bodymoを海外でご利用の際は、パケット通信料の発生を避けるため、FOMA端末でｉアプリ設定の自動起動設定を［自動起動しない］にすることをおすすめします。
- 2in1をご契約の場合、2in1のモードを［Bモード］に設定しているときは本アプリをご利用いただくことができません。
- i Bodymoの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ 花粉アプリ

花粉アプリは、目で見ることのできない、スギ・ヒノキ花粉の分布や量が一目で確認できるアプリです。また、センサーが計測している実況値を確認でき、花粉症のセルフケアに役立つカルテ機能も搭載しているので、花粉の飛散する季節に役立ちます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、ｉアプリをダウンロードする必要があります。
- ご利用には、別途パケット通信料がかかります。

次ページへ続く

- ご利用には、iモードパケット定額サービスへのご加入が必要です。

■ お天気アプリ

お天気アプリは、気象レーダーをはじめとした詳細な気象情報を十字キーやボタンの簡単な操作で確認できるアプリです。積算雨量やカミナリ危険度、風向風速などの情報を簡単に見比べることができますので、ちょっと天気が気になったときから、防災目的まで、幅広くご利用いただけます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、iアプリをダウンロードする必要があります。
- ご利用には、別途パケット通信料がかかります。
- ご利用には、iモードパケット定額サービスへのご加入が必要です。

■ かざす請求書

かざす請求書とは、毎月のご利用料金の情報をおサイフケータイに取得し、コンビニエンスストアでお支払いいただくためのiアプリです。請求書が手元になくても、おサイフケータイがあればお支払いが可能です。また、支払料金の情報をiアプリで確認ができます。

- はじめてご利用される際には、iアプリをダウンロードし、初期設定を行う必要があります。
- iアプリのダウンロードが完了するまでは、ソフト一覧画面で[]と表示されます。
- 初期設定および支払料金の取得には別途パケット通信料がかかります。
- かざす請求書に関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：[iMenu]▶[メニューリスト]▶[おサイフケータイ]▶[クーポン＆会員証]▶[かざす請求書]

サイト接続用QRコード

■ ドコモ料金案内

ドコモ料金案内とは、通話料・パケット通信料など、簡易なご利用履歴が一覧やグラフで確認できるiアプリです。

- はじめてご利用される際には、「ご利用にあたっての注意事項」を確認の上、iアプリをダウンロードする必要があります。
- 海外でのご利用は有料となります。
- 案内内容は概算であり、実際の請求金額とは異なる場合があります。
- ドコモ料金案内に関する情報は、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：[iMenu]▶[お客様サポート]▶[料金確認・診断]▶[料金の確認・お支払い]▶[請求内容のご確認]
- ウィジェット対応アプリでは、通話料・パケット通信料などの利用履歴をグラフで簡単に確認できます。

■ 電子マネー「nanaco」

電子マネー「nanaco」はポイントが貯まるプリペイド型の電子マネーです。iアプリをダウンロードして入会すれば、FOMA端末でお支払いや残高・履歴確認が可能です。

- はじめてご利用される際には、iアプリをダウンロードし、会員登録を行う必要があります。
- iアプリのダウンロード、会員登録、およびご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 電子マネー「nanaco」に関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：[iMenu]▶[メニューリスト]▶[【生活情報】おサイフケータイ]▶[電子マネー「nanaco」]

■ ヨドバシゴールドポイントカード

「ヨドバシゴールドポイントカード」は、おサイフケータイでゴールドポイントを貯めたり、お買い物に利用したりすることができるアプリです。また、ポイント残高やゴールドポイントカード会員番号を確認することもできます。

- 本アプリをご利用する前に、iモードサイトの「モバイルヨドバシ」で会員登録を行ってください。
- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、iアプリをダウンロードする必要があります。
- iアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 「ヨドバシゴールドポイントカード」に関する情報は、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：[iMenu]▶[メニューリスト]▶[【生活情報】おサイフケータイ]▶[ヨドバシカメラ]

■ ビックポイント機能付きケータイ

「ビックポイント機能付きケータイ」は、おサイフケータイをビックポイントカードとしてご利用いただけ、ビックカメラの店頭に設置されている読み取り機にかざすだけで、ポイントを貯めたり使ったりすることができるｉアプリです。また、現在のポイント残高をすぐに確認することもできます。

- 本アプリをご利用する前に、ｉモードサイトの「ビックカメラ.com」で会員登録を行ってください。
- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、ｉアプリをダウンロードする必要があります。
- ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 「ビックポイント機能付きケータイ」に関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：[ｉMenu]▶[メニューリスト]▶[【生活情報】おサイフケータイ]▶[ビックカメラ]

■ モバイルAMCアプリ

「モバイルAMCアプリ」は、おサイフケータイを使ってANAの便利なサービスをご利用いただくためのアプリです。
搭乗口でおサイフケータイをタッチするだけでご搭乗いただける国内線「SKiPサービス」や、電子マネー「Edy」でのお支払いでマイルが貯まる「ケータイ de Edyマイル」サービスがご利用いただけます。

- 「ケータイ de Edyマイル」の登録には、あらかじめ「Edy」アプリの登録が必要です。
- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、ｉアプリをダウンロードする必要があります。
- ｉアプリのダウンロードが完了するまでは、ソフト一覧画面で[ANA未設定]と表示されます。
- ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 「モバイルAMCアプリ」の機能やサービス内容は、変更になる場合があります。
- 「モバイルAMCアプリ」に関する情報や「SKiPサービス」・「ケータイ de Edyマイル」の詳細については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：[ｉMenu]▶[メニューリスト]▶[【生活情報】乗換／地図／交通]▶[飛行機／空港]▶[ANA全日空]

■ FOMA通信環境確認アプリ

FOMA通信環境確認アプリは、測定した場所がFOMAハイスピードエリアであるかどうか、またフェムトセルを利用できるかどうか確認することのできるアプリです。

- フェムトセルの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。
- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用上の注意」に同意した上でご利用ください。
- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できない場合があります。
- 初回利用時のみｉアプリをダウンロードする必要があります。

■ いっしょにデコ

お互いのFOMA端末のマークをかざすだけで、一緒に撮影した静止画に２人でスタンプを貼ったり、線や文字を描いたりしてデコレーションできるｉアプリタッチ（☞P.290）対応アプリです。

- デコレーションした画像はデータBOXのマイピクチャのフォルダに保存することができます。
- 詳細は、メニューの[ヘルプ]をご覧ください。
- はじめてご利用される際には、ｉアプリのダウンロードと「利用許諾」への同意が必要になります。

ツータッチｉアプリ

少ないボタン操作でｉアプリを起動する

ｉアプリをツータッチｉアプリに登録すると、待受画面からすばやく起動できます。

ツータッチｉアプリを登録する
<ツータッチｉアプリ登録>

- ツータッチｉアプリは10件まで登録できます。

1 ソフト一覧画面でソフトにカーソルを合わせる▶MENU▶[ツータッチｉアプリ登録]

- ツータッチｉアプリの解除：[ツータッチｉアプリ解除]

2 登録先を選ぶ

- アイコンの番号が、ツータッチｉアプリを起動するときに使用するダイヤルボタンに対応します。

ツータッチｉアプリを起動する

1 待受画面でツータッチｉアプリに登録した番号を入力▶i（1秒以上）

ツータッチｉアプリを確認する <ツータッチｉアプリ表示>

1 ノーマルメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[ツータッチｉアプリ表示]

- ソフト詳細情報の表示：ソフトにカーソルを合わせる▶📷

■ ツータッチｉアプリ一覧画面のサブメニュー操作

[詳細情報]

[ツータッチｉアプリ解除]▶[はい]

ｉアプリを自動起動する

指定した日時にｉアプリを自動的に起動できます。
ｉアプリを自動起動する方法は３通りあります。

FOMA端末の設定による自動起動	FOMA端末に保存されているｉアプリに対して、時刻・日付・曜日を指定して自動起動を設定します。有効にするには、自動起動設定を[自動起動する]に設定して、スケジュールを設定します。
ソフト自体の機能による自動起動	あらかじめソフトに組み込まれている自動起動の動作です。有効にするには、自動起動設定を[自動起動する]に設定します。
ｉアプリDXからの設定による自動起動	有効にするには、自動起動設定を[自動起動する]に設定します。

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください（☞P.61）。

ｉアプリの自動起動を設定する<自動起動設定>

ｉアプリの[自動起動]に登録した設定を有効にするか設定します。

1 ノーマルメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[自動起動設定]

2 設定を選ぶ

- 自動起動できなかったときは、待受画面に[ ]が表示され、自動起動失敗履歴に記憶されます（電源が入っているときのみ）。
- 次の場合は自動起動できません。
  - ■ 電源が入っていないとき
  - ■ ｉアプリが起動中のとき
  - ■ 他の機能が起動しているとき
  - ■ 通話中
  - ■ 自動起動とアラーム（アラーム／スケジュール／視聴予約）を同じ時刻に設定しているとき
  - ■ パーソナルデータロック中
  - ■ オールロック中
  - ■ 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときに、メール連動型ｉアプリを自動起動設定しているとき
  - ■ ドコモUIMカードが挿入されていないとき
  - ■ 自動起動を設定しているアプリをダウンロードしたときと異なるドコモUIMカードを挿入しているとき
- 自動履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると待受画面の[ ]は表示されなくなります。
- ウィジェットアプリは自動起動設定できません。
- ダウンロードが必要なソフトはダウンロードするまで自動起動設定できません。

● 同じ時刻に設定した以下の機能は次の優先順位で動作します。

	優先順位(高→低)
機能	アラーム→ｉアプリ自動起動

● 同一ソフトの自動起動が前回の自動起動から10分未満のとき、起動できません。自動起動する間隔を10分以上に設定してください。自動起動失敗履歴には[起動間隔が近過ぎたため]と表示されます。

■ FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する<自動起動>

1 ソフト一覧画面でソフトにカーソルを合わせる▶MENU▶[自動起動]

2 各項目を設定▶📷

- すでに自動起動を設定しているソフトと同じ時刻に設定することはできません。

ｉアプリコールを利用する

電話帳と連携するなど、利用中のｉアプリから相手を呼び出すことができます。

ｉアプリコールを送信して招集する<招集>

ｉアプリからの操作で相手を招集します。

● 操作方法はｉアプリのソフトによって異なります。

ｉアプリコールを受信したときは

ｉアプリの招集が行われると、ｉアプリコールを受信します。応答すると該当のｉアプリが自動起動します。

● IP(情報サービス提供者)から招集が行われる場合もあります。

1 受信終了後、ｉアプリコール応答確認画面が表示され、着信音が鳴る([📶]表示)

- ｉアプリコール応答確認画面で約15秒間何も操作しなかったり、他の機能を起動中にｉアプリコールを受信した場合、待受画面に[📶]とストックアイコン[📶](ｉアプリコールあり)が表示されます。ｉアプリコール履歴には[保留中]として記憶されます。

2 [応答する]

- 拒否する:[拒否する]
- 保留する:[保留する]
- ｉアプリコールによっては、応答確認画面を表示せず、ｉアプリを自動起動することがあります。

3 ｉアプリ自動起動

● [保留する]を選んだときは、有効期限内にｉアプリコール履歴から確認することができます。

● ｉアプリコール受信時の着信動作(着信音、バイブレータ、ランプ)は、メールの設定に従います。ただし、メール着信音にｉモーションが設定されている場合は、お買い上げ時のメール着信音で動作します。

● ｉアプリコールに応答した場合、パケット通信料がかかることがあります。

ｉアプリコールの履歴を確認する <ｉアプリコール履歴>

● 最新の履歴から30件まで記憶されます。

1 ノーマルメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリコール履歴]

- ストックアイコン[📶](ｉアプリコールあり)が表示されているとき:待受画面で◉▶ストックアイコン[📶](ｉアプリコールあり)を選ぶ
- ｉアプリコールを確認する:保留中の履歴を選ぶ▶[確認する]

● 次の場合はｉアプリコール履歴に記憶されません。
- ■ 該当するｉアプリのソフト動作設定で、ｉアプリコール設定を[設定しない]に設定しているとき
- ■ 該当するｉアプリがなく、ｉアプリコールダウンロード設定を[拒否する]に設定しているとき

■ ｉアプリコール履歴のサブメニュー操作

［削除］
- ▶［1件削除］▶［はい］
- ▶［全件削除］▶端末暗証番号を入力▶［はい］

ｉアプリコールの設定を行う

- ｉアプリコール一括拒否設定の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

ｉアプリコールからのダウンロードについて設定する＜ｉアプリコールダウンロード設定＞

1 ノーマルメニューで［ｉアプリ］▶［ｉアプリ設定］▶［ｉアプリコールダウンロード設定］

2 設定を選ぶ

ｉアプリTo機能

サイトやｉモードメールからｉアプリを起動する

ｉアプリTo（ｉアプリ起動設定）が設定されているとき、サイト、ｉモードメール、メッセージR／F、画面メモやトルカからｉアプリを起動できます。

- 次の方法でｉアプリ起動の信号を受信したときや読み取ったときでもｉアプリを起動できます。
  - ■ 赤外線通信
  - ■ マークを読み取り機にかざしたとき
  - ■ バーコードリーダー
- ｉアプリToを許可するかどうかは、動作設定で設定します（☞P.289）。
- ｉアプリ待受画面として起動することはできません。
- フルブラウザでは起動できません。

1 サイトやメール、メッセージR／F、画面メモ、トルカを表示中にｉアプリを選ぶ▶［はい］

- 起動の中止：［ｉアプリ起動中］と表示中に⌒▶［はい］

- ｉアプリを終了すると、元のサイトや受信メール詳細画面、画面メモやトルカ表示画面に戻ります。
- ｉアプリの起動指定に該当するソフトがないときは、［指定されたソフトがありません］と表示されます。
- サイトによっては、指定のソフトがFOMA端末に保存されていない場合や、FOMA端末に保存されているソフトのバージョンが古い場合に、ソフトをダウンロードまたはバージョンアップできるときがあります。
- 起動中に通信設定（☞P.289）が必要なときもあります。
- ｉモードメールからのｉアプリToは、IP（情報サービス提供者）からのｉモードメール配信で利用する機能です。FOMA端末どうしではご利用になれません。

ｉアプリ待受設定

ｉアプリ待受画面を設定する

- 待受画面に設定したｉアプリは、CLRを押すと操作できるようになります。ｉアプリ待受画面設定は解除されず、待受画面に戻ったときにｉアプリ待受画面が再起動します。
- 動作設定でもｉアプリ待受画面を設定できます（☞P.289）。
- ｉアプリ待受設定されたソフトから通信するかどうかは、動作設定のｉアプリ待受画面通信設定（☞P.289）で設定できます。

1 ノーマルメニューで［本体設定］▶［画面・ディスプレイ］▶［待受画面設定］▶［待受画面選択］▶［縦画面設定］▶［ｉアプリ設定］

2 ソフトを選ぶ▶［はい］

- ｉアプリ待受画面に設定できるソフトは1つのみです。
- ｉアプリ待受画面に設定できないソフトもあります。
- ｉアプリ待受画面表示中は、ディスプレイ上部に［図（グレー）］または［図（グレー）］が表示されます。

● ｉアプリ待受画面からのｉアプリ起動中は、ディスプレイ上部の[(オレンジ)]または[(オレンジ)]が点滅します。
● ｉアプリ待受画面を設定しているとき、待受画面にはｉアプリが表示されます。待受画面設定の待受画面選択で設定した画像は表示されません。ｉアプリ待受画面設定を解除すると、待受画面設定の待受画面選択で設定した画像が表示されます。
● ｉアプリ待受画面からのWeb To機能はご利用になれません。
● 通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定したときは、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
● ｉアプリ待受画面表示中にオールロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は終了し、[待受画面１]が表示されます。
● ｉアプリ待受画面表示中にパーソナルデータロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は終了し、待受画面選択で設定した画像が表示されます。
● ｉアプリDXをｉアプリ待受画面に設定したとき、ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するため、通信設定にかかわらず通信するものがあります。
● ｉアプリ待受画面を設定しているときは、電源を入れるとｉアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。[はい]を選択するか、約５秒そのままにしておくと、ｉアプリ待受画面が起動します。[いいえ]を選択すると、通常の待受画面になり、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。ただし、自動電源ONで電源を入れたときは確認画面が表示されず、待受画面に戻ると起動します。
● 2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定しているとき、ｉアプリ待受画面は利用できません。
● 次の操作を行うと待受画面のｉアプリはいったん終了します。
■ カメラ機能　■ データBOX機能
■ ｉモード機能　■ メール機能
■ ケータイデータお預かりサービス　■ ｉアプリの設定の変更
■ ｉモーションの再生　■ ワンセグ
■ ｉＣ送信　■ 赤外線通信
■ Bluetooth通信　■ ｉアプリのダウンロード
■ ｉアプリの起動　■ マンガ･ブックリーダー
■ ドキュメントビューア　■ PDF対応ビューア
■ ソフトウェアの更新　■ パターンデータの更新
■ 2in1の設定の変更(2in1モード切替、2in1機能のON／OFF切替)
■ ｉウィジェット画面の表示

セキュリティエラーについて

● ｉアプリ待受画面を設定している場合、ｉアプリが不正な動作をしようとしたときやｉアプリが許可されている機能以外の動作をしようとしたときは、解除の確認画面が表示され、[はい]を選択するとｉアプリ待受画面は解除されます。
● ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生したとき、エラー発生時刻などがエラー履歴に記憶、表示されます。通常終了時には記憶されません。

ｉアプリを管理する

FOMA端末に保存したｉアプリのバージョンアップを行ったり、起動時のエラー情報やトレース情報の表示などを行うことができます。

● ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。そのときは、そのソフトの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細表示のみが可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP(情報サービス提供者)にお問い合わせください。
● ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信するときがあります。

次ページへ続く

● このようにIP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信したとき、携帯電話は通信を行い、ｉモードアイコンが点滅します。

ｉアプリをバージョンアップする＜バージョンアップ＞

FOMA端末に保存済みのソフトがサイト側で新しいバージョンに更新されているときに、バージョンアップできます。

1 ソフト一覧画面でソフトにカーソルを合わせる▶MENU▶［バージョンアップ］▶［はい］

- ソフトの情報が表示されたとき：◉

● FOMA端末のメモリの空き容量がないときは、バージョンアップできません。他のソフトまたはｉアプリとメモリエリアを共有しているデータBOXのデータを削除してください。
● おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ＩＣカードロック中、ダウンロードやバージョンアップができないときがあります。
● パーソナルデータロック中、メールフォルダ名を変更するメール連動型ソフトはバージョンアップできません。

エラー情報やトレース情報を表示する＜ｉアプリ実行情報＞

ソフト起動時のエラー情報（［自動起動失敗履歴］、［異常終了履歴］、［セキュリティエラー履歴］）やトレース情報を確認できます。

● エラー履歴情報やトレース情報がないときは、［表示する履歴がありません］と表示されます。

■ 自動起動失敗履歴を確認する＜自動起動失敗履歴＞

1 ノーマルメニューで［ｉアプリ］▶［ｉアプリ実行情報］▶［自動起動失敗履歴］

- 履歴情報の削除：📷▶［はい］

■ 異常終了履歴を確認する＜異常終了履歴＞

1 ノーマルメニューで［ｉアプリ］▶［ｉアプリ実行情報］▶［異常終了履歴］

- 履歴情報の削除：📷▶［はい］

■ セキュリティエラー履歴を確認する＜セキュリティエラー履歴＞

1 ノーマルメニューで［ｉアプリ］▶［ｉアプリ実行情報］▶［セキュリティエラー履歴］

- 履歴情報の削除：📷▶［はい］

■ トレース情報を確認する＜トレース情報＞

1 ノーマルメニューで［ｉアプリ］▶［ｉアプリ実行情報］▶［トレース情報］

- 履歴情報の削除：📷▶［はい］

ｉアプリ作成者の方へ

● 作成したｉアプリが正常な動作をしないときは、トレース情報の内容が参考になることがあります。
● トレースを採取するように設定されているソフトがないときは、トレース情報が表示されません。

ｉアプリ使用データ（コンテンツ移行対応）

microSDカード内のｉアプリ使用データを表示する

● ｉアプリ使用データフォルダを削除したり、選択したフォルダの詳細情報を表示することができます。
● 詳細情報には、フォルダ名、ソフト名、CP名、フォルダ利用可／不可、利用不可原因が表示されます。
● フォルダの利用不可原因は次のとおりです。
  ■ ソフト動作制限［あり］：保存されたデータを使用するソフトがないため利用できません。

■ ドコモUIMカード(FOMAカード)動作制限[あり]:保存したときと異なるドコモUIMカードが挿入されているため利用できません。
■ 機種制限[あり]:保存したときと異なる機種のため利用できません。
■ シリーズ制限[あり]:FOMA端末のシリーズが、保存したときのシリーズと異なるため利用できません。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[microSD]▶[iアプリ使用データ]

2 データを選ぶ

● 同時に起動している他の機能がmicroSDカードを使用しているときは、iアプリ使用データのフォルダを表示できません。他の機能を終了してから操作してください。

■ iアプリ使用データ一覧画面のサブメニュー操作

[1件削除]▶[はい]
[選択削除]▶フォルダを選ぶ▶[📷]▶[はい]
[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

iアプリのさまざまな機能を利用する

起動中のソフトから、さまざまな機能を利用することができます。
● 利用するソフトによって、操作方法が異なったり、操作できないときがあります。

ソフト起動中にサイトを表示する

● サイト表示に対応したソフトをダウンロードする必要があります。
● URLが半角の英数字や記号で255文字を超えるサイトは表示できません。

1 ソフト起動中に、URLの項目を選ぶ▶[はい]

ソフト起動中に電話をかける

起動中のソフトから、音声電話、テレビ電話を利用することができます。
● 音声電話、テレビ電話を利用することに対応したソフトをダウンロードする必要があります。
● ダイヤル発信制限中、セルフモード中は、電話をかけることができません。

1 ソフト起動中に、電話番号の項目を選ぶ

2 電話をかける

- 音声電話:[発信]／[📷]
- テレビ電話:[i]

ソフト起動中にカメラ機能を利用する

● iアプリからカメラを起動したとき、撮影した画像はiアプリの一部として保存、利用されます。

1 ソフト起動中に、カメラの起動項目を選ぶ

- カメラモードになります。明るさを調整したり、セルフタイマー、ズームを利用できます。
- ソフトから[画像サイズ]や[連続撮影]、[画質]、[フレーム]などの設定ができるものもあります。

2 ⦿／D

- 保存:⦿／D

● ソフトによってはiアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどを、自動的にインターネットを経由して送信することがあります。iアプリで利用する画像とは、起動中のiアプリが、カメラ機能を起動して撮影した画像、データBOXのマイピクチャから選択した画像および赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。

■ バーコードリーダーを利用する

1 ソフト起動中に、バーコードリーダーの起動項目を選ぶ

- カメラモード(バーコードリーダー)になります。

次ページへ続く▶▶

2 バーコード(JANコード、QRコード、CODE128)が表示されるようにカメラを合わせる▶◉

- バーコード(JANコード、QRコード、CODE128)を読み取ります。
- CODE128を読み取るときは、✉を押してスルーモードとシャッターモードを切り替えることができます。
  - スルーモードのときは、ディスプレイに表示されているバーコードを直接読み取ります。シャッターモードのときは、バーコードをいったん撮影してから読み取ります。

- CODE128を読み取るには、対応しているｉアプリのソフトをダウンロードする必要があります。
- 読み取ったデータは、ｉアプリで利用・保存されます。

ソフト起動中にトルカを保存する

1 ソフト起動中に、トルカの保存項目を選ぶ

2 保存／プレビュー表示する

◆ [はい(新規)]▶フォルダを選ぶ
◆ [はい(上書き)]▶データを選ぶ▶MENU
◆ [プレビュー]

ソフト起動中にアラームを登録する

1 ソフト起動中に、アラーム登録項目を選ぶ▶[OK]

2 登録する番号を選ぶ

3 アラームを登録する

- [時刻]と[繰り返し]は、ｉアプリにより入力されています。
- アラームの登録については☞P.412

ソフト起動中に位置情報を利用する

1 ソフト起動中に、位置情報の項目を選ぶ▶[はい]

2 [位置履歴]／[オートGPS履歴]▶履歴一覧から位置情報を選ぶ

- 電話帳を参照できるｉアプリの場合、登録されている位置情報を利用できます。

ソフト起動中にオートGPSサービスを利用する

■ オートGPSサービス情報を登録する

1 ソフト起動中に、オートGPSサービス登録操作を行う▶◉

■ オートGPSサービス情報を解除する

1 ソフト起動中に、オートGPSサービス解除操作を行う▶[はい]

ソフト起動中に赤外線通信機能／ｉＣ通信機能を利用する

- セルフモード中は、利用することはできません。

1 ソフト起動中に、赤外線通信／ｉＣ通信を起動する▶[はい]

- 赤外線通信／ｉＣ通信の中止：◉

ｉウィジェット

ｉウィジェットとは電卓・時計や、メモ帳、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール(ウィジェットアプリ)を簡単にアクセスすることができる便利な機能です。
ｉウィジェット画面には複数のウィジェットアプリ(最大８個)を貼り付けることができ、ｉウィジェット画面を表示するだけで、複数のアプリを一度に楽しむことができます。
さらに使いたいウィジェットアプリを選択すれば、より詳細な情報を取得することもできます。
ウィジェットアプリはサイトからダウンロードすることにより、追加することが可能です。

- ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。
- 詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかります。
- ｉウィジェットの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

地図アプリ	☞P.297
マクドナルド トクするアプリ	☞P.297
楽オク☆アプリ	☞P.297
ｉアプリバンキング	☞P.298
Start! ｉウィジェット	☞P.298
iタウンページウィジェット	☞P.298
SH-MODE INFO	☞P.298
お天気予報SH	☞P.298
ROID ウィジェット 2	☞P.298
株価アプリ	☞P.299
iWウォッチ	☞P.299

ｉウィジェットを利用する

ｉウィジェット画面を表示して、ｉウィジェットを利用します。
- 最大８個のウィジェットアプリを貼り付けることができます。
- ｉウィジェット画面にウィジェットアプリが１つも貼り付けられていない状態で、ｉウィジェットを起動すると、ウィジェットアプリ一覧画面が表示されます。ウィジェットアプリの貼り付けについては☞P.310

ｉウィジェットを起動する<起動>

1 待受画面で◎
- ｉウィジェットは横画面でも操作可能です。

縦表示　横表示

- ｉウィジェット画面で、約３分間何も操作しないと、自動的に待受画面に戻ります。なお、特定のウィジェットアプリを起動して利用しているときには、自動的に待受画面に戻りません。
- 挿入していたドコモUIMカードを別のドコモUIMカードに差し替えると、貼り付けたウィジェットアプリのうち、起動可能なウィジェットアプリのみ貼り付けられた状態となります。

ｉウィジェットをシャッフルする<シャッフル>

ウィジェットアプリの貼り付け位置をランダムに変更します。

1 ｉウィジェット画面で📷

ｉウィジェットの設定を行う

ｉウィジェットの効果音や、国際ローミング中のｉウィジェットの通信について設定します。

1 ノーマルメニューで［ｉアプリ］▶［ｉアプリ設定］▶［ｉウィジェット設定］

2 項目を選ぶ▶設定を選ぶ
- 設定できる項目は次のとおりです。

■ ｉウィジェット効果音設定：ｉウィジェットの効果音について設定できます。
■ ｉウィジェット海外利用設定：国際ローミング中のｉウィジェットの通信について設定できます。

ウィジェットアプリ起動

ウィジェットアプリを起動する

ウィジェットアプリを起動します。ｉウィジェット画面に貼り付けると、次回すぐに利用できます。

1 待受画面で◎

- ｉウィジェット画面が表示されます。他のウィジェットアプリを起動するときは、MENUを押してウィジェットアプリ一覧画面を表示します。
- ダウンロード後48時間以内のウィジェットアプリには［NEW］が表示されます。
- ｉアプリのソフト一覧画面で、ｉウィジェット対応ソフトを選んでもウィジェットアプリを起動できます。

ウィジェットアプリ一覧画面

2 ウィジェットアプリを選ぶ

- ウィジェットアプリが起動します。

3 ✉／CLR

- ｉウィジェット画面にウィジェットアプリが貼り付けられます。
- ウィジェットアプリを終了：ｉ▶［YES］

■ 貼り付けたウィジェットアプリを起動／終了する

1 待受画面で◎

2 ウィジェットアプリを選ぶ

- 以降の操作方法はウィジェットアプリのソフトによって異なります。
- ｉウィジェット画面に戻る：✉
- ウィジェットアプリを終了：ｉ▶［YES］
  - ・ウィジェットアプリを終了すると、貼り付けが解除されます。
- ｉウィジェットを終了：⏎▶［YES］

- ８個のウィジェットアプリが貼り付けられた状態で、ウィジェットアプリを変更する場合は、一度不要なウィジェットアプリを終了させてから、ウィジェットアプリ一覧画面より選択してください。
- ソフトによっては、ウィジェットアプリからｉアプリに切り替えたり、ｉアプリからウィジェットアプリに切り替えることができます。
- ウィジェットアプリはバーチャルキーを利用できます（☞P.290）。

ウィジェットアプリをダウンロードする

サイトからウィジェットアプリのソフトをダウンロードできます。

1 サイト表示中にソフトを選ぶ

- ｉアプリダウンロード画面が表示され、ダウンロードが開始されます。
- ダウンロードの中止：◉▶［はい］
- ダウンロード方法の詳細については☞P.284

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイ

トルカ

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ＩＣカードが搭載されておりお店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。
さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティ※1も充実しています。
おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト※2よりおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードが不要なものもあります。

※1 おまかせロック（☞P.126）、ＩＣカードロック（☞P.315）をご利用いただけます。

※2 ｉモードサイト：[ｉMenu] ▶ [メニューリスト] ▶ [【生活情報】おサイフケータイ]

- FOMA端末の故障により、ＩＣカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、ｉＣお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ＩＣカード内のデータの消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービスの提供者に対応方法をお問い合わせください。

ｉＣお引っこしサービス

ｉＣお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取替えになる際、おサイフケータイのＩＣカード内データを一括※2でお取替え先のおサイフケータイに移し替える※3ことができるサービスです。
ＩＣカード内データを移し替えたあとは、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード※4するだけで、引き続きおサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。ｉＣお引っこしサービスはお近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
ｉＣお引っこしサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※1 お取替え元、お取替え先ともに、ｉＣお引っこしサービス対応のFOMA端末である必要があります。ご利用にあたってはお近くのドコモショップなど窓口にご来店ください。

※2 おサイフケータイ対応サービスによっては、一部ｉＣお引っこしサービス対象外のサービスがあり、移行できるのはｉＣお引っこしサービス対象のおサイフケータイ対応サービスのＩＣカード内データのみになります。

※3 このサービスは、「コピー」ではなく「移行」されるため、ＩＣカード内データは、お取替え元のFOMA端末に残りません。ｉＣお引っこしサービスをご利用いただけない場合もございますので、各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスなどをご利用ください。

※4 ｉアプリのダウンロード、各種設定にはパケット通信料がかかります。

おサイフケータイを利用する

おサイフケータイ対応ｉアプリやｉモードサイトを利用して、電子マネーや乗車券にチャージ（入金）したり、残高や利用履歴を参照するなど、便利な機能をご利用いただくことができます。

おサイフケータイの利用方法

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動しておサイフケータイを利用する場合のご利用手順は次のようになります。

● おサイフケータイ対応ｉアプリをはじめて起動する際やダウンロードする際、挿入しているドコモUIMカードがＩＣオーナーとして登録されます。それ以降はＩＣオーナーとして登録されたドコモUIMカードを挿入していないとＩＣカード機能を利用することはできません。
なお、別のドコモUIMカードに差し替えてご利用になる場合は、ＩＣオーナー変更を行わないとＩＣカード機能を利用することはできません。
ＩＣオーナー変更時には、ＩＣオーナーとして登録されたドコモUIMカードが必要になる場合があります。

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする ☞P.284

↓

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してサービスの初期設定を行う ☞P.313

↓

マークを読み取り機にかざす ☞P.314

● 「おサイフケータイ Webプラグイン」に対応したおサイフケータイ対応サービスは、ｉモードサイトからチャージや利用履歴の確認などのサービスを利用することができます。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する ＜ＩＣカード一覧＞

おサイフケータイ対応ｉアプリやｉモードサイトからＩＣカード内のデータの読み書きを行うことができます。ここではおサイフケータイ対応ｉアプリを起動する方法を説明しています。

1 ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[ＩＣカード一覧]

- ＩＣカード一覧画面の表示変更：ＩＣカード一覧画面で[✉]
  - ・押すたびに、リスト表示→サムネイル表示→グラフィカル表示の順に切り替わります。
  - ・リスト表示のときは、カード情報設定が完了していないおサイフケータイ対応ｉアプリには、[未]が表示されます。

2 おサイフケータイ対応ｉアプリを選ぶ

- データの読み書きを行う方法は、おサイフケータイ対応ｉアプリによって異なります。

● 「おサイフケータイ Webプラグイン」に対応したｉモードサイトのチャージやクーポン書き込みページをBookmarkに登録した場合、Bookmarkから接続するとご利用いただけないことがあります。

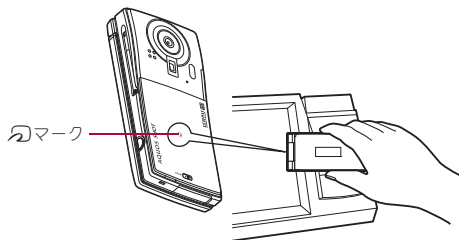
■ ＩＣカード一覧画面のサブメニュー操作

● ＩＣカード一覧画面のサブメニュー操作は、ソフト一覧画面のサブメニュー操作（☞P.287）を参照してください。

読み取り機にかざす

FOMA端末のマークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとしてご利用することなどができます。

- 読み取り機にかざすときは、次のことに注意してください。
  - ■ FOMA端末を読み取り機にぶつけない
  - ■ マークと読み取り機を平行にかざす
  - ■ マークはできるだけ読み取り機の中心位置にかざす
  - ■ 読み取り機に認識されないときは、マークを前後左右にずらしてかざす
  - ■ マーク面に金属物などを付けない

1 読み取り機にFOMA端末のマークをかざす

2 読み取ったことを確認する

- ソフトを起動せずご利用いただくことができますが、サービスによってはソフトの起動が必要なときがあります。
- 読み取り機がFOMA端末を認識すると、FOMA端末の着信ランプが点滅するように設定できます（☞P.118）。

おサイフケータイをお使いになるときのご注意

おサイフケータイは、電源OFFでも利用することができます。

- 次の場合は、おサイフケータイを利用することができません。
  - ■ 電池パックを装着していないとき
  - ■ 電池が切れているとき
  - ■ ＩＣカードロック中
  - ■ おまかせロック中
- 次の場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリは起動できません。
  - ■ 電源OFF時
  - ■ ｉモード中
  - ■ 通話中
  - ■ パーソナルデータロック中
  - ■ 他の機能が起動しているとき

- 充電中、イヤホン接続中、USB接続中、HDMI出力中はデータの送信ができません。

ＩＣオーナー確認

ＩＣオーナーを確認する

現在挿入されているドコモUIMカードがFOMA端末のＩＣオーナーとして登録されているかどうかを確認できます。

1 ノーマルメニューで［おサイフケータイ］▶［ＩＣオーナー確認］

ＩＣオーナーを変更する<ＩＣオーナー変更>

FOMA端末のＩＣオーナーとして登録されているドコモUIMカード情報、ＩＣカード内のデータと、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除します。

1 ノーマルメニューで［おサイフケータイ］▶［ＩＣオーナー変更］

2 ［ＩＣオーナー初期化］▶［はい］

3 端末暗証番号を入力▶［はい］

ＩＣカードロック

ＩＣカード機能をロックする

ＩＣカード機能を利用できないように、ＩＣカードロックを設定できます。

1 ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[ＩＣカードロック設定]▶[ＩＣカードロック]

2 端末暗証番号を入力

3 設定を選ぶ

- ＩＣカードロックを設定すると、[ ]が表示されます。

- おまかせロックを設定すると、ＩＣカードロックが自動的に設定されます。
- ＩＣカードロック中は、読み取り機を利用したトルカの取得や、自動読取機能は利用できません。
- 電池パックを取り外すとＩＣカードロックが自動的に設定されます。再度、電池パックを取り付け、電源を入れるとＩＣカードロックは解除されます。
- ＩＣカードロックまたはおまかせロックでＩＣカードロックを設定しているときに電池残量がなくなり、電源が切れてもＩＣカードロックは保持されます。

■ ワンタッチでＩＣカード機能をロック／解除する

1 待受画面で◎(１秒以上)▶[はい]

ＩＣカードロックを解除する

- 待受画面で◎(１秒以上)▶端末暗証番号を入力

指定した時間が経過すると、自動的にＩＣカード機能をロックする＜ＩＣカードオートロック設定＞

1 ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[ＩＣカードロック設定]▶[ＩＣカードオートロック設定]

2 各項目を設定▶[📷]

- おサイフケータイ対応ｉアプリなどが起動中にＩＣカード機能をロックする時刻になった場合、ｉアプリを終了後にＩＣカード機能をロックします。

指定した時間帯のみＩＣカード機能を使えるようにする＜ＩＣカードロック解除予約＞

ＩＣカードロック中に指定した時間帯のみＩＣカード機能が使えるようにします。

- 最大７件まで設定できます。
- 電源が入っている場合のみ動作します。

1 ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[ＩＣカードロック設定]▶[ＩＣカードロック解除予約]

2 端末暗証番号を入力

3 登録する番号を選ぶ

4 各項目を設定▶[📷]

- タイトルは、全角９文字(半角18文字)まで入力できます。

- おサイフケータイ対応ｉアプリなどが起動中にＩＣカード機能をロックする時刻になった場合、アプリ終了後にＩＣカード機能をロックします。

■ ＩＣカードロック解除予約を解除／再設定する

1 ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[ＩＣカードロック設定]▶[ＩＣカードロック解除予約]

2 端末暗証番号を入力

3 登録番号にカーソルを合わせる▶[MENU]

電源を切ったときにＩＣカード機能をロックする ＜電源OFF時ＩＣロック設定＞

電源を切ったときに、電源を切る前のＩＣカードロックの状態を継続するか、すべてのＩＣカード機能をロックするか設定します。

- 電源を入れると、電源を切る前の設定に戻ります。

1 **ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[ＩＣカードロック設定]▶[電源OFF時ＩＣロック設定]**

2 **端末暗証番号を入力**

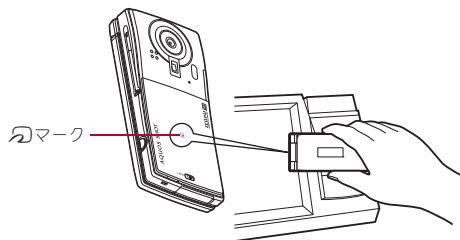
3 **設定を選ぶ**

トルカ

トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは、読み取り機やサイト、データ放送などから取得が可能で、メールや赤外線通信、ｉＣ通信、Bluetooth通信、microSDカードを使って簡単に交換できます。
取得したトルカはおサイフケータイメニューの[トルカ]内に保存されます。

- トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得。

取得したトルカを表示。
[詳細]ボタンでより詳しい
情報を見ることができます。

- ｉモード通信でのトルカのやりとりは、通常のパケット通信料がかかります。

トルカ取得

トルカを取得する

● トルカは200件まで保存できます。メモリの使用状況によっては、保存できる件数が少なくなる場合があります(☞P.382)。
● 取得/保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1Kバイト、トルカ(詳細)は1件あたり最大100Kバイトです。
● IP(情報サービス提供者)の設定によっては更新できなかったり、メールや赤外線通信などを利用して再配布できないトルカがあります。
● 読み取り機にかざすと、自動読取機能によりトルカを利用することができます。利用されたトルカは[利用済みトルカ]フォルダに20件まで保存されます。保存件数を超えると、取得日時の古いトルカから順に削除されます。

読み取り機から取得する

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカ/トルカ(詳細)を取得します。
● ICカード機能を利用して新しいトルカを取得すると、ストックアイコン[ ](新着トルカあり)が表示されます。
● FOMA端末を閉じているときは、新着トルカの件数がサブディスプレイに表示されます。

touch to activate
新着トルカあり 01件
MENU
01/11 TUE 10:05 AM

01/11(火) 10:05
新着トルカ 1件

1 トルカ/トルカ(詳細)を取得すると、取得完了音が鳴り、着信ランプが点滅し、トルカ/トルカ(詳細)が表示される
- 何も操作しないでそのままにしておくと、約15秒後、自動的に元の画面に戻ります。
- 詳細情報があるトルカの場合は、取得完了時に、サイトに接続してトルカ(詳細)を取得するかどうかの確認画面が表示されます。

● ICカードロック中やICカードからトルカ取得を[OFF]に設定しているときは、読み取り機を利用してトルカを取得できません。

● 待受画面以外を表示しているときに読み取り機からトルカを取得したときは、取得が完了してもトルカ/トルカ(詳細)やサイト接続確認画面は表示されません。

iモードメールやメッセージR/Fの添付ファイルから取得する

● メッセージR/Fの添付ファイルからトルカを取得する方法については☞P.173

1 メールから保存するファイルを選ぶ

2 MENU ▶ [はい]

3 保存先を選ぶ

トルカビューア

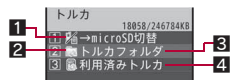
トルカを表示する

1 ノーマルメニューで[おサイフケータイ] ▶ [トルカ]
- フォルダ一覧画面と全トルカ一覧画面の切替:📷
  - microSDカード内のデータを表示中は操作できません。
- iコンシェル画面では:[トルカ]

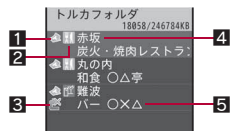
2 データを選ぶ

● お預かりセンターで自動更新されたトルカを選択すると、保存して今後も自動更新するか、削除するかの確認画面が表示されます。[保存する]を選択したトルカは、次回から自動更新されても確認画面が表示されません。お預かりセンターについては☞P.132

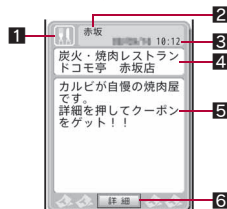
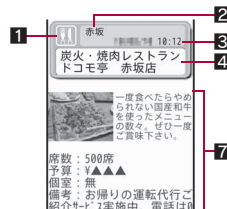
■ フォルダ一覧画面の見かた

トルカ
18058/246784KB
1 →microSD切替
2 トルカフォルダ
3 利用済みトルカ

1 →microSD切替／→本体切替
2 フォルダマーク
　：未読トルカあり
　：未読トルカなし
3 フォルダ名
4 利用済みトルカ

■ トルカ一覧画面の見かた

トルカフォルダ
18058/246784KB
赤坂
炭火・焼肉レストラ
丸の内
和食 ○△亭
難波
バー ○×△

1 トルカの種類
　（オレンジ）：未読トルカ※
　（グレー）：未読トルカ（有効期限切れ）
　（オレンジ）：既読トルカ
　（グレー）：既読トルカ（有効期限切れ）
　※ サイトやｉモードメールから取得したトルカは未読になりません。
2 カテゴリ
3 再配布不可トルカ
4 インデックス
5 タイトル

■ トルカ表示画面／トルカ（詳細）表示画面の見かた

トルカ表示画面

赤坂
10:12
炭火・焼肉レストラン
ドコモ亭　赤坂店
カルビが自慢の焼肉屋です。
詳細を押してクーポンをゲット！！
詳細

トルカ（詳細）表示画面

赤坂
10:12
炭火・焼肉レストラン
ドコモ亭　赤坂店
一度食べたらやめられない国産和牛を使ったメニューの数々。ぜひ一度ご賞味下さい。
席数：500席
予算：¥▲▲▲
個室：無
備考：お帰りの運転代行ご紹介ｻｰﾋﾞｽ実施中。電話は0

1 カテゴリ
2 インデックス
3 取得日時
4 タイトル
5 説明文
6 ［詳細］ボタン
7 トルカ（詳細）情報

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

［フォルダ管理］

▶［フォルダ新規作成］▶フォルダ名を入力
● ユーザフォルダを作成します。

▶［フォルダ名編集］▶フォルダ名を編集
● ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。

▶［フォルダ移動（↑）］
● ユーザフォルダの表示順を上に移動します。

▶［フォルダ移動（↓）］
● ユーザフォルダの表示順を下に移動します。

［削除］
● ユーザフォルダを削除します。

▶［フォルダ1件削除］▶端末暗証番号を入力▶［はい］

▶［フォルダ選択削除］▶フォルダを選ぶ▶ 📷 ▶端末暗証番号を入力▶［はい］

▶［全フォルダ内全件削除］▶端末暗証番号を入力▶［はい］

▶[全フォルダ削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]	
[検索]	☞P.321
[振分け条件設定]	☞P.320
[microSDへ全件コピー]	☞P.371
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.385
▶[ｉＣ送信]	☞P.387
▶[Bluetooth送信]	☞P.439
[本体⇔microSD切替]	
[お預かりセンターに接続]	☞P.134

[フォルダ新規作成]について
- 最大20個のユーザフォルダを作成できます。
- 全角９文字(半角18文字)まで入力できます。

[フォルダ移動(↑)]、[フォルダ移動(↓)]について
- [トルカフォルダ]、[利用済みトルカ]フォルダ、microSDカード内のフォルダは移動できません。

■ トルカ一覧画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作(☞P.318)を参照してください。
  - ■ 検索　■ データ送信　■ 本体⇔microSD切替
  - ■ お預かりセンターに接続

[削除]	
▶[１件削除]▶[はい]	
▶[選択削除]▶トルカを選ぶ▶📷▶[はい]	
▶[フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]	
[ソート]▶ソート方法を選ぶ	
[移動／コピー]	
▶[移動]	☞P.321
▶[コピー]	☞P.321
▶[microSDへコピー]	☞P.371

[ソート]について
- ソート対象はFOMA端末内のトルカのみです。

■ トルカ表示画面のサブメニュー操作

[更新]▶[はい]	
[１件削除]▶[はい]	
[移動／コピー]	
▶[１件移動]	☞P.321
▶[１件コピー]	☞P.321
▶[microSDへ１件コピー]	☞P.371
[メール添付]▶メールを作成・送信 ● メール添付の詳細については☞P.320	
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.385
▶[ｉＣ送信]	☞P.387
▶[Bluetooth送信]	☞P.439
[画像保存]▶画像を選ぶ▶[はい]	
[電話帳登録]▶電話帳に登録	
[表示／設定]	
▶[リトライ] ● Flash画像やGIFアニメーションの再生をやり直します。	
▶[サウンド設定]▶◎ ● Flash画像の効果音の音量を調節します。	

[更新]について
- トルカ(詳細)を更新するときは、ｉモード通信を行います。

[画像保存]について
- 利用済みトルカおよびmicroSDカード内のトルカは、本文中画像を保存することができません。

次ページへ続く

[電話帳登録]について

- 利用済みトルカおよびmicroSDカード内のトルカは、電話帳登録できません。

トルカからトルカ(詳細)を取得する

サイトに接続して、トルカ(詳細)を取得できます。

1 トルカ表示画面で[詳細]▶[はい]

- トルカ(詳細)を取得するときは、iモード通信を行います。

- microSDカード内のトルカからは、トルカ(詳細)を取得できません。
- トルカ(詳細)から、FOMA端末またはmicroSDカードに保存されている静止画(JPEG画像、GIF画像)や動画/iモーションを、2Mバイトまでアップロードすることができます。アップロードの方法はトルカによって異なります。画面表示に従って操作してください。

■ トルカ(詳細)表示画面のサブメニュー操作

- トルカ(詳細)表示画面のサブメニュー操作は、トルカ表示画面のサブメニュー操作(☞P.319)を参照してください。

トルカを添付してiモードメールを送信する

- ファイルの添付については☞P.149

1 ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[トルカ]

2 データにカーソルを合わせる▶✉

3 メールを作成・送信

- 1Kバイトを超えるトルカ、100Kバイトを超えるトルカ(詳細)、再配布不可および利用済みトルカはメールに添付できません。
- トルカ(詳細)にファイル制限されている画像が含まれているときは、トルカ(詳細)取得前の状態で送信されます。送信先で再度詳細を取得することが可能です。

トルカを管理する

トルカを管理するために、振分け条件の設定やトルカの移動/コピーなどができます。

トルカを自動的にフォルダに振り分ける条件を設定する<振分け条件設定>

- 1つのフォルダに10件まで振分け条件を設定できます。
- 自動的に振り分けられるのは、読み取り機から取得したトルカと、データ放送/データ放送サイトから自動取得したトルカです。

1 ユーザフォルダにカーソルを合わせる▶MENU▶[振分け条件設定]

2 登録する番号を選ぶ

3 振分け条件を設定

- 設定できる振分け条件は次のとおりです。
  - ■ カテゴリ:カテゴリアイコンのジャンル別に振り分けます。
  - ■ インデックス:インデックス別に振り分けます。
    - ・全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
  - ■ タイトル:タイトル別に振り分けます。
    - ・全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
  - ■ 全てのトルカ:すべてのトルカを振り分けます。
    - ・振分け条件の先頭に設定されます。

4 複数の振分け条件を設定するときは、操作2～3を繰り返す

5 📷

■ 振分け条件設定画面のサブメニュー操作

[1件削除]▶[はい]▶📷

[全件削除]▶[はい]▶📷

おサイフケータイ/トルカ

トルカを移動またはコピーする<移動／コピー>

- ユーザフォルダがないときは移動できません。
- FOMA端末とmicroSDカード間の移動は行えません。

1 **トルカにカーソルを合わせる▶MENU▶[移動／コピー]**

2 **[移動]／[コピー]**

3 **移動／コピー方法を選ぶ**

◆ **[1件移動]／[1件コピー]**

◆ **[選択移動]／[選択コピー]▶トルカを選ぶ▶📷**

◆ **[フォルダ内全件移動]／[フォルダ内全件コピー]▶端末暗証番号を入力**

・検索結果画面のとき：[検索トルカ全件移動]／[検索トルカ全件コピー]▶端末暗証番号を入力

4 **フォルダを選ぶ**

トルカを検索する<検索>

FOMA端末内のトルカをカテゴリアイコンのジャンル、インデックス、タイトルで検索することができます。

1 **フォルダにカーソルを合わせる▶MENU▶[検索]**

2 **検索範囲を選ぶ**

3 **検索方法とキーワードを指定**

◆ **[カテゴリ]▶カテゴリを選ぶ**

・カテゴリアイコンの詳細を表示：カテゴリにカーソルを合わせる▶MENU

◆ **[インデックス]▶インデックスの一部を入力**

・全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

◆ **[タイトル]▶タイトルの一部を入力**

・全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

- [利用済みトルカ]フォルダ内は検索できません。

■ 検索結果画面のサブメニュー操作

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶トルカを選ぶ▶📷▶[はい]
- ▶[検索トルカ全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[絞り込み検索]▶トルカを検索

[移動／コピー]
- ▶[移動] ☞P.321
- ▶[コピー] ☞P.321
- ▶[microSDへコピー] ☞P.371

[データ送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.385
- ▶[iC送信] ☞P.387
- ▶[Bluetooth送信] ☞P.439

トルカ設定

トルカについて設定する

トルカを利用するときの設定を行います。

ICカードからトルカを取得する <ICカードからトルカ取得>

読み取り機やiC通信を利用してトルカを取得するかどうかを設定できます。

1 **ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[設定]▶[ICカードからトルカ取得]**

2 **設定を選ぶ**

ワンセグからトルカを取得する <ワンセグからトルカ取得>

データ放送／データ放送サイトからトルカを自動取得するかどうかを設定できます。

- トルカを自動取得すると、ストックアイコン[ ](新着トルカあり)が表示されます。

1 **ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[設定]▶[ワンセグからトルカ取得]**

2 **設定を選ぶ**

トルカを重複して取得しないよう設定する <トルカ重複チェック>

トルカ取得時に、同じトルカが保存されていないかチェックし、重複して取得しないように設定できます。

1 **ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[設定]▶[トルカ重複チェック]**

2 **設定を選ぶ**

- 有効期限切れのトルカ、利用済みトルカ、microSDカード内のトルカは、トルカ重複チェックの対象になりません。

トルカを自動読取する<トルカ自動読取チェック>

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際、利用可能なトルカを自動読取させるかどうかを設定できます。

1 **ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[設定]▶[トルカ自動読取チェック]**

2 **設定を選ぶ**

- 有効期限切れのトルカ、利用済みトルカ、microSDカード内のトルカは、トルカ自動読取チェックの対象になりません。
- [ON]に設定すると、利用可能なトルカが自動的に認識され、[利用済みトルカ]フォルダに移動されます。
- [OFF]に設定しているときは、トルカの一部機能を利用できないことがあります。
- [OFF]に設定している状態で読み取り機にかざすと、自動読取機能を利用するかどうかの確認画面が表示されるときがあります。トルカを利用するには[はい]を選びます。

トルカの自動表示について設定する<トルカ自動表示>

トルカ取得完了時に自動的に表示するかどうかを設定できます。

1 **ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[設定]▶[トルカ自動表示]**

2 **設定を選ぶ**

トルカ内の画像の音量を調節する <トルカサウンド設定>

トルカ内のFlash画像の効果音の音量を調節できます。

1 **ノーマルメニューで[おサイフケータイ]▶[設定]▶[トルカサウンド設定]▶ ◎**

地図・GPS機能

地図・GPS機能のご利用について

- FOMA端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、情報提供者やドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- パーソナルデータロック中は現在地確認、現在地通知を利用できません。
- 次の場合は位置提供、現在地確認、現在地通知を利用できません。
  - ■ ドコモUIMカード未挿入時 ■ セルフモード中
  - ■ ソフトウェア更新中
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  - ■ 建物の中や直下 ■ 地下やトンネル、地中、水中
  - ■ かばんや箱の中 ■ ビル街や住宅密集地
  - ■ 密集した樹木の中や下 ■ 高圧線の近く
  - ■ 自動車、電車などの室内 ■ 大雨、雪などの悪天候
  - ■ 携帯電話の周囲に障害物（人や物）がある場合
  - ■ 携帯電話の画面・操作ボタン・マイクやスピーカ周辺を手で覆い隠すように持っている場合

  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。
- FOMA端末が圏外のときは現在地確認を除き、GPS機能をご利用いただけません。

海外で地図やGPS機能を利用する

- 海外での地図やGPS機能の利用では、次の内容にご注意ください。
  - ・ｉモードの海外利用設定が必要となります（☞P.474）。
  - ・現在地通知、位置提供機能、オートGPSは利用できません。
  - ・地図／海外メニューで［地図・GPS設定／履歴］の［サービス利用設定］からGPSサービス利用設定サイトに接続した場合、エラーメッセージが表示され利用できませんが、その場合もパケット通信料がかかります。
  - ・各国・地域の法制度等により、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- 各機能をご利用の場合は、次の内容にもご注意ください。

■ 地図を見る

- 地図／海外メニューの［地図］を選択、もしくは現在地確認後などで［地図を見る］を選択した場合、ｉモードサイトまたはｉアプリのどちらで地図を見るかという選択画面が表示されますので、表示方法を選択してください。
- ｉモードサイトまたはｉアプリで地図を表示しても、地図が提供されていなかったり、現在地が正しく表示されない場合がありますが、その場合もパケット通信料がかかります。

■ 現在地確認

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください。
- 3GネットワークおよびGPRSネットワークのサービスエリアで、GPS測位が可能です。
- 電波状況などによりGPS測位に失敗した場合、都市名を選択するかどうか表示されることがあります。［都市名を選択］を選択すると世界の都市リストが表示されます。現在地の近隣都市を選択することで、GPS測位が成功する可能性があります。
- 現在地確認した際の通信料は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

■ GPS対応iアプリを利用する

- 地図選択でGPS対応iアプリを設定しても、設定したGPS対応iアプリの提供外の位置情報が渡されたときは地図が正しく表示されない場合がありますが、その場合もパケット通信料がかかります。

■ 位置履歴

- 測位した位置履歴には、位置履歴一覧画面／位置履歴詳細画面に、海外で測位したことを示すアイコン[ ]が表示されます。
- 海外で測位した位置履歴から[地図を見る]を選択すると、iモードサイトまたはiアプリのどちらで地図を見るかという選択画面が表示されますので、表示方法を選択してください。

地図

地図を利用する

GPS対応iアプリを起動して、現在地や指定した場所の地図を見ることができます。

- あらかじめ地図設定(☞P.325)を行い、起動するGPS対応iアプリを設定してください。起動するGPS対応iアプリが設定されていない場合は、地図設定画面が表示されます。
- お買い上げ時は、「地図アプリ」が起動するように設定されています。「地図アプリ」の操作方法については☞P.327

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[地図]

- 現在地の測位終了後、GPS対応iアプリが起動します。

地図の設定を行う<地図設定>

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[地図・GPS設定／履歴]▶[地図設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[地図選択]▶GPS対応iアプリを選ぶ▶[OK]**

- 地図／海外メニューの[地図]や各機能の位置情報から[地図を見る]を選択したときに起動するGPS対応iアプリを設定します。
- 地図選択一覧画面の表示変更：[ ]
  - 押すたびに、リスト表示→サムネイル表示→グラフィカル表示の順に切り替わります。
- GPS対応iアプリの設定状態によって次のマークが表示されます。
  - [ ]：地図設定に設定中のソフト
  - [ ]：地図設定が可能なソフト

◆ **[地図起動時動作設定]▶設定を選ぶ**

- 地図／海外メニューの[地図]を選択してGPS対応iアプリを起動するときに、現在地の測位を行うかどうかを設定します。

ナビ

ナビを利用する

GPS対応iアプリを起動して、ナビゲーションの機能を利用することができます。

- あらかじめ地図設定(☞P.325)を行い、起動するGPS対応iアプリを設定してください。起動するGPS対応iアプリが設定されていない場合は、地図設定画面が表示されます。
- 起動するGPS対応iアプリは、地図／海外メニューの[地図]や各機能の位置情報から[地図を見る]を選択したときに起動するGPS対応iアプリと同じアプリとなります。
- お買い上げ時は、「地図アプリ」が起動するように設定されています。「地図アプリ」の操作方法については☞P.327
- 地図設定に設定中のGPS対応iアプリによっては、ナビゲーションの機能を利用できない場合があります。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[ナビ]

現在地確認

自分のいる場所を確認する

現在地を測位して、自分がいる場所を確認します。測位した位置情報を利用して地図を表示したり、位置情報をURL化しメールに貼り付けて送信するなどの操作を行うことができます。

- 現在地確認した際の通信料は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。
- 現在地確認時の音／音量／イルミネーションの色／バイブレータ／鳴動時間の設定を変更することができます（☞P.103、P.335）。
- 圏外では、測位に時間がかかる場合があります。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[現在地確認／通知]▶[現在地確認]

- 待受画面では：MAP（1秒以上）
  - ・測位終了後、GPSボタン設定に従い動作します。
- GPS測位中は[🛰]が点滅します。

現在地確認中
今いる場所を調べています。
クリアキーで中断します
「利用」で現在の測位結果を使用します
測位レベル：★☆☆

現在地確認
今いる場所の確認が終了しました。
測位レベル：★☆☆
1 地図を見る
2 GPSアプリ一覧
3 メール貼り付け
4 電話帳新規登録
5 電話帳更新登録
6 画像に付加
7 位置情報表示

測位レベル★★★	：	ほぼ正確な位置情報です。 誤差がおおむね50m未満
測位レベル★★☆	：	比較的正確な位置情報です。 誤差がおおむね300m未満
測位レベル★☆☆	：	おおよその位置情報です。 誤差がおおむね300m以上

- 測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
- 現在地確認中に表示されている測位レベルの位置情報を現在地確認結果として利用するとき：📷
- 現在地確認の中止：CLR

2 利用方法を選ぶ

- 利用方法は次のとおりです。
  - ■ 地図を見る：地図設定で設定したGPS対応ｉアプリを起動できます。
  - ■ GPSアプリ一覧：GPS対応ｉアプリを利用できます。
  - ■ メール貼り付け：位置情報URLを貼り付けたメールを作成・送信できます。
    - ・送付する位置情報URLは、ｉモード対応端末でのみ表示されます。
  - ■ 電話帳新規登録：位置情報を登録した電話帳を新規登録できます。
  - ■ 電話帳更新登録：登録済みの電話帳に位置情報を登録できます。
  - ■ 画像に付加：画像に位置情報を付加できます。
  - ■ 位置情報表示：位置情報を確認できます。
- 現在地確認をやり直す：📷

GPSボタン設定

GPSボタンの設定を行う

MAPを１秒以上押して現在地確認したあと、自動的に連携される動作を設定できます。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[地図･GPS設定／履歴]▶[GPSボタン設定]

2 動作を選ぶ

ｉエリア-周辺情報-

周辺エリアの情報を検索する

今いる場所の天気予報や交通情報、店舗情報など周辺エリアに特化した情報を検索できます。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[ｉエリア-周辺情報-]

2 [はい]

GPSアプリ一覧

GPS対応ｉアプリを利用する

地図・GPS機能に対応したｉアプリを起動します。

- GPS対応ｉアプリを利用する場合、利用するソフトの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、利用するソフトのソフト動作設定の位置情報利用設定を[利用する]に設定してください。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[GPSアプリ一覧]

2 ソフトを選ぶ

ワンタッチでGPS対応ｉアプリを起動する

1 待受画面でMAP

- 地図選択に従ってGPS対応ｉアプリが起動します。お買い上げ時は「地図アプリ」が起動するように設定されています。

「地図アプリ」を利用する

「地図アプリ」は、位置情報を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地までのナビゲーションなどができるドコモ地図ナビサービスのｉアプリです。ドライブのときに便利な情報や、災害時に役立つ施設情報なども検索できます。また、オートGPS機能を利用すれば、自分の居場所に応じた便利な情報を受信することができます。

■ サービス利用料金について

本アプリの提供サービスは、以下に分類されます。

無料機能

- 地図表示、周辺情報の検索ができます。グルメクーポンの検索もできます。
- 自動的にGPSで測位した現在地情報に応じて、観光情報やグルメ情報など便利な情報をメッセージRで受信することができます。

有料機能

ドコモ地図ナビの有料機能をお使いの場合は、お申し込みとドコモ地図ナビ月額使用料が必要です。本サービスをはじめてお申し込みいただいた方は初月無料でご利用いただけます。

- 車・電車・徒歩を含めた総合的なナビゲーションができます。渋滞情報を考慮したルート検索も可能です。
- 電車の乗換案内や、時刻表の表示が可能です。
- お気に入りの場所を登録することができます（5件までは無料）。また登録した地点は、ｉMenu地図サイト、契約者向けサイト、PCサイトなどで共有することができます。
- 過去にGPS測位した場所を、市区町村や都道府県単位で地図上に色を塗って表示する訪れた街機能が利用できます。
- 災害時に役立つ施設の検索が可能です。また、災害用地図アプリという、通信不要のｉアプリを利用できます。自宅周辺などのエリアの災害用地図をあらかじめダウンロードしておけば、いざという場合に役立ちます。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。本アプリをご利用の場合はｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめいたします。
- 本アプリを削除した場合は、[ｉMenu]▶[ｉエリア]からダウンロードしてください。
- 海外では本アプリはご利用になれません。
- 地図、周辺情報、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 自動車、バイク、自転車などの運転中は、大変危険が伴いますので、携帯電話の操作をしないでください。
- 走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。
- オートGPSを利用する場合は、アプリを起動していない場合でもパケット通信料がかかります。

位置提供可否設定

要求に応えて現在の位置情報を提供する

相手から現在の位置情報を提供するよう要求があったときに、位置提供するかどうかを設定します。

- 位置提供機能をご利用になるには、位置提供機能に対応した情報提供者へのお申し込みやサービス利用料が必要となる場合があります。
- 位置提供機能に対応したサービスをご利用になるには、位置提供可否設定を[位置提供ON]または[電話帳登録外拒否]に設定する必要があります。また、サービスごとの利用設定(GPSサービス利用設定)が必要な場合があります。「イマドコサーチ」を利用する場合は、[ｉMenu]▶[お客様サポート]▶[各種設定(確認・変更・利用)]▶[その他サービス設定・確認]▶[位置情報利用設定]▶[イマドコサーチ設定]の設定が必要です。
- 位置情報を送信しても、電波の状況により情報提供者に届いていない場合があります。
- 位置提供可否設定を[位置提供ON]または[電話帳登録外拒否]に設定すると、操作しなくても位置情報が送信され、情報提供者に通知されることがあります。[位置提供OFF]に設定すると、相手から位置情報の提供の要求を受けても自動的に拒否し、位置提供の履歴は残りません。
- 位置提供可否設定を[位置提供ON]または[電話帳登録外拒否]に設定すると[GPS(青色)]または[GPS(青色)]が表示されます。位置提供許可期間を設定しているときは許可期間が終了するまで、許可中は[GPS(青色)]または[GPS(青色)]が、拒否中は[GPS(グレー)]または[GPS(グレー)]が表示されます。
- 位置提供可否設定を[電話帳登録外拒否]に設定すると、電話帳未登録の相手から位置情報の提供の要求を受けたときに、自動で拒否することができます。ただし、他の機能の動作状況によっては、位置情報の提供の要求を受信する場合があります。
- 位置提供時の音/音量/イルミネーションの色/バイブレータ/鳴動時間の設定を変更することができます(☞P.103、P.335)。
- 位置情報の提供は無料です。
- 位置提供のご利用にあたっては、情報提供者やドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。

1 ノーマルメニューで[地図/海外]▶[地図・GPS設定/履歴]▶[位置提供可否設定]

2 端末暗証番号を入力

3 項目を選ぶ

- ◆ **[位置提供ON]▶[はい]▶各項目を設定▶[📷]**
- ◆ **[位置提供OFF]**
- ◆ **[電話帳登録外拒否]▶[はい]▶各項目を設定▶[📷]**
- 設定を行った時間より前の時間を終了時刻に設定すると、当日は位置情報が提供されません。

- 初期設定からも設定できます(☞P.60)。

位置情報の提供を許可する期間を設定したときの動作

例:現在の日時が「2011/01/11 14:00」のとき

開始時刻:15:00　終了時刻:22:00

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	－	2011/01/11 15:00～2011/01/11 22:00まで
毎日	開始日2011/01/16 終了日2011/02/16	2011/01/16 15:00～2011/02/16 22:00まで毎日(15:00～22:00の間)
	開始日2011/01/06 終了日2011/02/16	2011/01/11 15:00～2011/02/16 22:00まで毎日(15:00～22:00の間)
	設定なし	2011/01/11 15:00 以降毎日(15:00～22:00の間)
曜日指定	開始日2011/01/16 終了日2011/02/16	2011/01/16 15:00～2011/02/16 22:00までの指定した曜日(15:00～22:00の間)
	開始日2011/01/06 終了日2011/02/16	2011/01/11 15:00～2011/02/16 22:00までの指定した曜日(15:00～22:00の間)
	設定なし	2011/01/11 15:00 以降の指定した曜日(15:00～22:00の間)

開始時刻:09:00　終了時刻:22:00

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	–	2011/01/11 14:00～2011/01/11 22:00まで
毎日	開始日2011/01/16 終了日2011/02/16	2011/01/16 09:00～2011/02/16 22:00まで毎日(09:00～22:00の間)
	開始日2011/01/06 終了日2011/02/16	2011/01/11 14:00～2011/02/16 22:00まで毎日(09:00～22:00の間)
	設定なし	2011/01/11 14:00 以降毎日(09:00～22:00の間)
曜日指定	開始日2011/01/16 終了日2011/02/16	2011/01/16 09:00～2011/02/16 22:00までの指定した曜日(09:00～22:00の間)
	開始日2011/01/06 終了日2011/02/16	2011/01/11 14:00～2011/02/16 22:00までの指定した曜日(09:00～22:00の間)
	設定なし	2011/01/11 14:00 以降の指定した曜日(09:00～22:00の間)

開始時刻:15:00　終了時刻:10:00

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	–	2011/01/11 15:00～2011/01/12 10:00まで
毎日	開始日2011/01/16 終了日2011/02/16	2011/01/16 15:00～2011/02/17 10:00まで毎日(15:00～翌日10:00の間)
	開始日2011/01/06 終了日2011/02/16	2011/01/11 15:00～2011/02/17 10:00まで毎日(15:00～翌日10:00の間)
	設定なし	2011/01/11 15:00 以降毎日(15:00～翌日10:00の間)
曜日指定	開始日2011/01/16 終了日2011/02/16	2011/01/16 15:00～2011/02/17 10:00までの指定した曜日(15:00～翌日10:00の間)
	開始日2011/01/06 終了日2011/02/16	2011/01/11 15:00～2011/02/17 10:00までの指定した曜日(15:00～翌日10:00の間)
	設定なし	2011/01/11 15:00 以降の指定した曜日(15:00～翌日10:00の間)

開始時刻:09:00　終了時刻:09:00

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	–	2011/01/11 14:00～2011/01/12 09:00まで
毎日	開始日2011/01/16 終了日2011/02/16	2011/01/16 09:00～2011/02/17 09:00まで毎日(09:00～翌日09:00の間)
	開始日2011/01/06 終了日2011/02/16	2011/01/11 14:00～2011/02/17 09:00まで毎日(09:00～翌日09:00の間)
	設定なし	2011/01/11 14:00 以降毎日(09:00～翌日09:00の間)
曜日指定	開始日2011/01/16 終了日2011/02/16	2011/01/16 09:00～2011/02/17 09:00までの指定した曜日(09:00～翌日09:00の間)
	開始日2011/01/06 終了日2011/02/16	2011/01/11 14:00～2011/02/17 09:00までの指定した曜日(09:00～翌日09:00の間)
	設定なし	2011/01/11 14:00 以降の指定した曜日(09:00～翌日09:00の間)

GPSサービス利用設定サイトの接続先を設定する <サービス利用／接続先設定>

※通常は、設定を変更する必要はありません。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[地図･GPS設定／履歴]▶[サービス利用／接続先設定]

2 各項目を設定▶📷

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 接続先：接続先を設定できます。
    - ・お買い上げ時の設定に戻すときは[ドコモ]を選択します。
  - ■ ユーザ設定接続先：ユーザ設定接続先の名称を入力します。
    - ・半角英数字と半角記号を、99文字まで入力できます。
  - ■ ユーザ設定初期画面URL：ユーザ設定初期画面のURLを入力します。
    - ・半角英数字と半角記号を、100文字まで入力できます。

GPSサービス利用設定を行う<サービス利用設定>

位置提供に必要な設定を行います。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[地図･GPS設定／履歴]▶[サービス利用設定]

- GPSサービス利用設定サイトに接続されます。

2 設定する

- 設定方法については、GPSサービス提供者にお問い合わせください。

位置情報の提供を要求されると

位置情報提供の要求を受信すると、位置提供を開始します。

- サービスごとの利用設定が[許可]の場合は、要求があると自動的に位置情報を提供します。
- サービスごとの利用設定が[毎回確認]の場合は、要求があるたびに提供するかどうかを確認する画面が表示されます。[はい]を選択すると位置情報の提供を開始します。
- 位置情報の提供を要求されたときに何も操作しなかった場合、次のアイコンが表示されます。
  - ：GPS位置提供成功
  - ：GPS位置提供失敗
  - ：GPS位置提供を未確認で終了
  - ・アイコンを選択すると位置履歴が表示されます。
- 位置提供を中止するときは、CLRまたは⏎を押します。ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。
- 電波状況によっては、位置情報が送信されても、位置情報の要求者に届いていないことがあります。
- 位置提供の送信先IDは、画面に表示されない場合があります。

- 2in1利用時は、モードにかかわらずAナンバーでのみ利用できます。Bナンバーで位置情報の提供を要求された場合は、位置提供は行われず、相手には検索失敗が通知されます。

イマドコかんたんサーチを利用した相手から位置情報の提供を要求されたとき

- 要求されるたびに位置提供の確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、すぐに大まかな測位結果が相手に通知されます。
  [はい]を選択したあと、GPS測位画面が表示されGPS測位後に精度の高い測位結果が通知されます。
- 位置提供の確認画面で[はい]を選択したあとに位置提供を中止する場合、位置提供を中止しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記憶されますが、位置情報は表示されません。

公共モード（ドライブモード）設定中に位置情報の提供を要求されたとき

- サービスごとの利用設定で、位置提供を[許可]に設定している場合、位置提供の確認画面のあと、GPS測位画面が表示されてGPS測位後位置提供されますが、位置提供／許可音、位置提供／毎回確認音、バイブレータ、着信ランプは動作しません。
- サービスごとの利用設定で、位置提供を[毎回確認]に設定している場合、位置情報は提供されません。

探したい相手の居場所を確認する <イマドコかんたんサーチ／イマドコサーチ>

イマドコかんたんサーチ／イマドコサーチのｉモードサイトに接続します。

- イマドコかんたんサーチの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- イマドコサーチはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ご利用には別途検索料（検索成功時のみ）とパケット通信料がかかります。

1 **ノーマルメニューで[地図／海外]▶[イマドコサーチ]▶[イマドコかんたんサーチ]／[イマドコサーチ]**

2 **[はい]**

現在地通知

現在の位置情報を通知する

現在の位置情報を特定の相手（現在地通知機能に対応した情報提供者）に通知できます。

- 現在地通知機能をご利用になるには、現在地通知機能に対応した情報提供者へのお申し込みやサービス利用料が必要となる場合があります。
- 位置情報を送信しても、電波の状況により情報提供者に届いていない場合があります。
- 現在地通知機能の利用は有料です。

1 **ノーマルメニューで[地図／海外]▶[現在地確認／通知]▶[現在地通知]**

2 **通知先を選ぶ**

◆ **[通知先一覧]▶通知先を選ぶ▶[OK]▶[OK]**
◆ **[直接入力]▶通知先IDを入力▶[OK]▶[OK]**

- 測位の中止：CLR
  - タイミングによっては、測位を中止できない場合や位置情報が送信される場合があります。

- 現在地通知時の音／音量／イルミネーションの色／バイブレータ／鳴動時間の設定を変更することができます（☞P.103、P.335）。
- 2in1利用時は、モードにかかわらずAナンバーで位置情報を通知します。

通知する相手を登録する<現在地通知先一覧>

- 現在地の通知先は５件まで登録できます。

1 **ノーマルメニューで[地図／海外]▶[地図･GPS設定／履歴]▶[現在地通知先一覧]**

2 **[<新しい通知先>]**

3 **各項目を設定▶📷**

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 通知先名：GPSサービス提供者の名称を入力します。
    - 全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
  - ■ 通知先ID：GPSサービス提供者から指定された通知先IDを入力します。
    - 数字、「¥」、「#」を半角12文字まで入力できます。
  - ■ 電話番号：GPSサービス提供者の電話番号を入力します。
    - すでに登録されている電話番号は登録できません。
  - ■ 発信時通知設定：登録した電話番号に音声電話／テレビ電話をかけたときに自動で現在地を通知するかどうかを設定できます。
    - [ON]に設定すると、登録した電話番号に音声電話／テレビ電話をかけたときに自動で現在地が通知されます。

■ 現在地通知先一覧画面のサブメニュー操作

操作	
[新規登録]	☞P.331
[編集]	☞P.331
[削除]	
▶[１件削除]▶[はい]	
▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]	
[電話帳新規登録]▶電話帳に登録	
[電話帳更新登録]▶電話帳に登録	

次ページへ続く

[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.385
▶[ｉＣ送信]	☞P.387
▶[Bluetooth送信]	☞P.439
[microSDへコピー]	☞P.371

[お預かりセンターに保存]▶通知先を選ぶ▶📷▶[はい]▶端末暗証番号を入力
- お預かりセンターに保存の詳細については☞P.134

■ 現在地通知先詳細画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、現在地通知先一覧画面のサブメニュー操作（☞P.331）を参照してください。
  ■ 新規登録　■ 編集　■ 電話帳新規登録　■ 電話帳更新登録
  ■ データ送信

[削除]▶[はい]

[microSDへコピー]▶[はい]

位置履歴

確認した位置情報の履歴を表示する

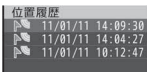
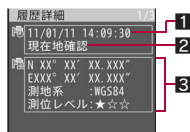
GPS機能で測位した位置情報の履歴は50件まで記憶されます。位置履歴を利用して地図を表示するなどの操作を行うことができます。
- 位置履歴が50件を超えたときは、古い履歴から順に上書きされます。
- 位置履歴に緯度・経度が記載されていても、通知先や提供先に位置情報が届いていない場合があります。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[地図・GPS設定／履歴]▶[位置履歴]

- 位置履歴の種類と日時が、新しい順に一覧表示されます。

位置履歴一覧画面

位置履歴の種類

：位置情報確認（国内位置情報あり）
：位置情報確認（海外位置情報あり）
：位置提供
：現在地通知
- 位置履歴に位置情報がない場合は、アイコンがグレーになります。

2 位置履歴を選ぶ

位置履歴詳細画面

1 測位日時

2 履歴の種類

[現在地確認]／[現在地通知]／[位置提供]が表示されます。[現在地通知]／[位置提供]の場合は、マークと通知先または提供先情報も表示されます。

現在地通知の場合

：通知先名
：通知先ID

位置提供の場合

：位置提供送信先名
：位置提供送信先ID
：位置提供要求者名
：位置提供要求者ID
- 位置提供要求者IDが電話番号またはメールアドレスの場合、Phone To（AV Phone To）機能（☞P.193）、Mail To機能（☞P.193）を利用できます。

3 位置情報

緯度：度、分、秒
経度：度、分、秒
測地系※：wgs84（世界測地系）
測位レベル：測位の誤差範囲（☞P.326）
※ 測地系とは、地球上の位置を緯度・経度で表すための基準のことです。

- 測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。

- 現在地確認の測位に失敗または中断したときは、位置履歴に記憶されません。
- 2in1利用時に位置提供を行った場合、位置提供要求者名は電話帳2in1設定に従って2in1のモードごとに表示されます。
- 位置履歴に記憶されている位置情報・測位レベルは、電波状態などにより位置提供先・現在地通知先に送信された位置情報・測位レベルとは異なる場合があります。

■ 位置履歴一覧画面のサブメニュー操作

[位置情報利用] ☞P.336

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶位置履歴を選ぶ▶📷▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

■ 位置履歴詳細画面のサブメニュー操作

[位置情報利用] ☞P.336

[削除]▶[はい]

[電話帳新規登録]▶電話帳に登録

[電話帳更新登録]▶電話帳に登録

オートGPS

オートGPS機能を利用する

お客様の居場所に合わせて、天気情報や店舗情報などの周辺情報や観光情報をお知らせするサービスなど、さまざまなサービスをご利用いただけます。

- オートGPS機能を利用すると、お客様の移動状況に基づき自動的に現在地を測位して、サービス提供者に位置情報や歩数計情報を送信します(お客様の移動状況に応じて、おおむね5分に1回測位します)。
- オートGPS機能に対応しているサービスを利用するには、各サービスのオートGPS機能対応iアプリからオートGPSサービス情報を設定してください。ドコモが提供するサービスでオートGPS機能を利用するには、ドコモ提供サービス設定を[利用する]に設定してください。
- オートGPSサービスは、ドコモが提供するサービスのほかに5件まで登録できます。
- オートGPS機能のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらのサービスの利用は有料となる場合があります。
- 位置情報の送信にはパケット通信料がかかる場合があります。
- お客様のご利用状況によっては定期的に通信を行い、FOMA端末の消費電力が増加しますので、あらかじめご了承ください。
- 次の場合はオートGPSを利用できません。
  - ■ パーソナルデータロック中
  - ■ ドコモUIMカード未挿入時
  - ■ セルフモード中
  - ■ ソフトウェア更新中
  - ■ オールロック中
  - ■ おまかせロック中
  - ■ iモード未契約時
  - ■ 国際ローミング中
  - ■ iモード／web設定の共通設定の接続先設定を変更しているとき
  - ■ 日付・時刻を正しく設定していないとき

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[地図・GPS設定／履歴]▶[オートGPS]

2 項目を選ぶ

- ◆ **[ドコモ提供サービス設定]▶P.334**
- ◆ **[オートGPS動作設定]▶設定を選ぶ**
- ◆ **[設定サービス一覧]▶P.334**
- ◆ **[オートGPS履歴]▶P.334**
- ◆ **[低電力時動作設定]▶設定を選ぶ▶[OK]**
  - ・電池残量が低下したときに、オートGPS動作を停止するかどうかを設定できます。

[オートGPS動作設定]について
- [ON]に設定しても、オートGPSサービス情報を登録していない場合は、オートGPSは動作せず、位置情報も送信されません。

ドコモが提供するサービスを利用する ＜ドコモ提供サービス設定＞

ドコモのオートGPSサービスを利用すると、FOMA端末の位置情報をドコモに定期的に自動送信し、iコンシェルやドコモが提供する各種サービスと連動したサービスを受けることができます。

- 各種サービスは別途お申し込みや利用設定が必要となります。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[地図･GPS設定／履歴]▶[オートGPS]▶[ドコモ提供サービス設定]

2 [利用する]▶[OK]

- 設定サービスとして登録されます。
- 利用しないとき：[利用しない]▶[はい]

登録しているオートGPSサービス情報を確認する ＜設定サービス一覧＞

登録しているサービスの一覧を表示します。サービスの解除を行うこともできます。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[地図･GPS設定／履歴]▶[オートGPS]

2 [設定サービス一覧]

設定サービス一覧画面

1 オートGPSサービス名
- ドコモ提供サービス設定を[利用する]に設定すると、[ドコモオートGPSサービス]が表示されます。その他のサービスの場合は、iアプリ名が表示されます。

2 利用状況

- 別のドコモUIMカードに差し替えた場合、登録されているオートGPSサービス情報はリセットされます。
- オートGPSサービス情報が登録されているiアプリを削除した場合、登録されているオートGPSサービス情報も解除されます。

登録しているオートGPSサービスを解除する

1 設定サービス一覧画面でサービスにカーソルを合わせる▶MENU▶[解除]

2 解除方法を選ぶ

- ◆ [1件解除]
- ◆ [選択解除]▶サービスを選ぶ▶📷
- ◆ [全件解除]▶端末暗証番号を入力

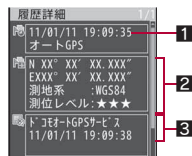
3 [はい]

オートGPS機能を利用した履歴を表示する ＜オートGPS履歴＞

- オートGPS履歴は100件まで記憶されます。それを超えると、古い履歴から順に上書きされます。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[地図･GPS設定／履歴]▶[オートGPS]

2 [オートGPS履歴]▶オートGPS履歴を選ぶ

- オートGPS履歴には[AUTO GPS]が表示され、新しい順に一覧表示されます。

オートGPS履歴詳細画面

1 測位日時

❷ 位置情報
- 表示内容については☞P.332

❸ 利用したオートGPSサービス名
- 自動送信した日時も表示されます。

- 測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
- オートGPSが中断されたときは、オートGPS履歴に記憶されません。
- オートGPS履歴に記憶されている位置情報・測位レベルは、電波状態などにより自動送信された位置情報・測位レベルとは異なる場合があります。

■ オートGPS履歴一覧画面のサブメニュー操作

- オートGPS履歴一覧画面のサブメニュー操作は、位置履歴一覧画面のサブメニュー操作(☞P.333)を参照してください。

■ オートGPS履歴詳細画面のサブメニュー操作

- オートGPS履歴詳細画面のサブメニュー操作は、位置履歴詳細画面のサブメニュー操作(☞P.333)を参照してください。

測位モード設定

測位モードを設定する

- 本設定は日本国内での測位時のみ有効です。

1 ノーマルメニューで[地図/海外]▶[地図・GPS設定/履歴]▶[測位モード設定]

2 項目を選ぶ

3 測位モードを選ぶ
- [品質重視モード]を選ぶと、時間をかけて測位を行います。その結果、標準モードより精度が上がる場合があります。

点灯色/鳴動音設定

GPS測位時の動作を設定する

1 ノーマルメニューで[地図/海外]▶[地図・GPS設定/履歴]▶[点灯色/鳴動音設定]

2 項目を選ぶ▶各項目を設定▶[📷]

各機能から位置情報を利用する

電話帳や静止画などのデータに位置情報を付加したり、付加されている位置情報から地図を表示するなど、各機能で位置情報を利用できます。

- データによっては位置情報を利用できない場合があります。

位置情報を付加する

例:電話帳のとき

1 電話帳登録画面で位置情報欄を選ぶ

2 付加する位置情報を選ぶ
- ◆ [現在地確認から]▶[はい]
  - GPS機能で現在地を測位します。
- ◆ [位置履歴から]▶履歴を選ぶ▶[はい]
- ◆ [オートGPS履歴から]▶履歴を選ぶ▶[はい]
- ◆ [プロフィールから]▶端末暗証番号を入力▶[はい]
- ◆ [画像から]▶画像にカーソルを合わせる▶[📷]▶[はい]

付加された位置情報を利用する

■ FOMA端末電話帳やデータBOXのマイピクチャの画像の位置情報を利用する

例：電話帳のとき

1 電話帳内容表示画面で[▶]

2 利用方法を選ぶ

◆［地図を見る］
◆［GPSアプリ一覧］▶ｉアプリを選ぶ
◆［メール貼り付け］▶［はい］▶メールを作成・送信
◆［画像に付加］▶画像を選ぶ▶［📷］▶保存方法を選ぶ
◆［地点情報送信］▶送信方法を選ぶ
◆［位置情報表示］

■ サイト、データ放送、トルカやメッセージR／Fの位置情報を利用する

例：サイトのとき

1 サイト表示中に位置情報を選ぶ

2 利用方法を選ぶ

◆［地図を見る］
◆［対応ｉアプリ］▶ｉアプリを選ぶ
◆［メール貼り付け］▶［はい］▶メールを作成・送信
◆［戻る］

データ管理

データBOX・便利ツールの各種ビューアについて

データの種類によって、それぞれのフォルダに保存されます。

- データの種類を選ぶと、前回データ参照を終了したときの参照先(FOMA端末またはmicroSDカード)が表示されます。

データBOXについて

■ マイピクチャ(☞P.343)

- FOMA端末で撮影した静止画やダウンロードした画像が保存されます。

マイピクチャ(本体)	
→microSD	マイピクチャ(microSD)に切り替え
→ホームネットワーク※1	DLNA対応機器内に保存されているファイルを表示
カメラ	FOMA端末で撮影した静止画用フォルダ
iモード	サイトやiモードメール、メッセージR/Fなどで入手した画像用フォルダ
デコメピクチャ	デコメール®作成時に利用できる画像用フォルダ
デコメ絵文字※2	デコメール®作成時に利用できる絵文字用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されている画像用フォルダ
外部取得データ	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、iC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)、IrSS™通信、Bluetooth通信を利用して入手した画像用フォルダ
アイテム	フレームやスタンプ用フォルダ
自動お預かり※3	お預かりセンターにバックアップする画像用フォルダ
手書きメモ	手書きメモ用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ

マイピクチャ(microSD)	
→本体	マイピクチャ(本体)に切り替え
カメラフォルダxxx※4	FOMA端末で撮影した静止画やDCF準拠のJPEG画像、GIF画像(GIFアニメーションを除く)用のフォルダ
(カメラフォルダ用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
その他静止画	FOMA端末からコピーしたGIFアニメーションやDCF準拠していないJPEG画像、Flash画像用フォルダ
(その他静止画用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
デコメ絵文字	デコメール®作成時に利用できる絵文字用フォルダ
(デコメ絵文字®用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できない画像用フォルダ

※1 DLNA対応機器内のファイルの再生方法については☞P.489
※2 デコメ絵文字®は[デコメ絵文字]フォルダへ直接保存されます。また、デコメ絵文字®以外のデータは保存できません。
※3 お預かりセンターへの保存については☞P.133
※4 撮影した静止画を保存したり、FOMA端末から静止画をコピーすると[カメラフォルダ100]が自動的に作成され、ファイル数が1000件になると、[カメラフォルダxxx](「xxx」は100～999の3桁の半角数字)という名前のフォルダが自動的に作成されます。

■ ミュージック(☞P.274)

- 着うたフル®やWMAファイルが保存されます。

■ Music&Videoチャネル(☞P.271)

- 取得したMusic&Videoチャネルの番組が保存されます(☞P.271)。

■ ｉモーション・ムービー(☞P.351)

● FOMA端末で撮影した動画や録音した音声、取得したｉモーションが保存されます。

ｉモーション・ムービー(本体)	
→microSD	ｉモーション・ムービー(microSD)に切り替え
→ホームネットワーク※1	DLNA対応機器内に保存されているファイルを表示
カメラ	FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
ｉモード	サイトやｉモードメール、メッセージR/Fなどで入手したｉモーション用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているｉモーション用フォルダ
外部取得データ	microSDカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 02を利用して入手したｉモーション用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
ｉモーション・ムービー(microSD)	
→本体	ｉモーション・ムービー(本体)に切り替え
動画(QVGA以下)	FOMA端末で撮影した「QVGA:320×240」以下の動画用フォルダ
(動画(QVGA以下)用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
レコーダー連携	ブルーレイディスクレコーダーから転送した動画用フォルダ
動画(その他)※2	「QVGA:320×240」を超える動画や、音声のみのｉモーションやボイスレコーダーで記録したデータ、およびパソコンから転送したデータ用フォルダ
(動画(その他)用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないｉモーション用フォルダ

※1 DLNA対応機器内のファイルの再生方法については☞P.489

※2 [動画(その他)]フォルダにはデータを1000件まで保存できます。ファイル形式はMP4です。また、パソコンからは、MP4、ASF、3GPP形式のファイルが転送できます。ファイル名は、MMF0001～MMF9999です。FOMA端末では、1000件まで参照することができますが、次の場合には、データが表示されないことがあります。
- ■ 再生できないデータがあるとき
- ■ 1001件以上データが存在するとき
- ■ ファイル名が「MMFxxxx」(「xxxx」は数字)でないとき

■ メロディ(☞P.364)

● 着信音に設定できるメロディが保存されます。

メロディ(本体)	
→microSD	メロディ(microSD)に切り替え
ｉモード	サイトやｉモードメール、メッセージR/Fなどで入手したメロディ用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているメロディ用フォルダ
外部取得データ	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用して入手したメロディ用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
メロディ(microSD)	
→本体	メロディ(本体)に切り替え
メロディ	あらかじめ用意されているメロディ用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないメロディ用フォルダ

■ マイドキュメント(☞P.389)

● PDFデータが保存されます。

マイドキュメント(本体)	
→microSD	マイドキュメント(microSD)に切り替え
ｉモード	サイトやｉモードメール、メッセージR/Fなどで入手したPDF用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているPDF用フォルダ
外部取得データ	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用して入手したPDF用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
マイドキュメント(microSD)	
→本体	マイドキュメント(本体)に切り替え
PDF	FOMA端末からコピーしたり、サイトやｉモードメール、メッセージR/Fなどで入手したPDF用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ

■ きせかえツール(☞P.114)

● きせかえツールが保存されます。

きせかえツール(本体)	
→microSD	きせかえツール(microSD)に切り替え
ｉモード	サイトなどで入手したきせかえツール用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているきせかえツール用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
きせかえツール(microSD)	
→本体	きせかえツール(本体)に切り替え
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないきせかえツール用フォルダ

■ マチキャラ(☞P.363)

● マチキャラが保存されます。

マチキャラ(本体)	
→microSD	マチキャラ(microSD)に切り替え
ｉモード	サイトなどで入手したマチキャラ用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているマチキャラ用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
マチキャラ(microSD)	
→本体	マチキャラ(本体)に切り替え
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないマチキャラ用フォルダ

■ キャラ電(☞P.361)

● キャラ電が保存されます。

キャラ電	
ｉモード	サイトなどで入手したキャラ電用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているキャラ電用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ

■ ワンセグ(☞P.359)

● FOMA端末で録画したビデオや静止画が保存されます。

ワンセグ(本体)	
→microSD	ワンセグ(microSD)に切り替え
イメージ	ワンセグで録画した静止画用フォルダ
ビデオ	ワンセグで録画したビデオ用フォルダ
ワンセグ(microSD)	
→本体	ワンセグ(本体)に切り替え
ビデオ	ワンセグで録画したビデオ用フォルダ

■ その他(☞P.392)

● Microsoft Wordファイル、Microsoft Excelファイル、Microsoft PowerPointファイルや画像ファイルなどが保存されます。

その他(本体)	
→microSD	その他(microSD)に切り替え
iモード	サイトなどで入手したドキュメント用フォルダ
外部取得データ	microSDカードを利用して入手したドキュメント用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
その他(microSD)	
→本体	その他(本体)に切り替え
その他	FOMA端末からコピーしたり、サイトやiモードメール、メッセージR/Fなどで入手したドキュメント用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ

■ ホームネットワーク(☞P.489)

● DLNA対応機器内に保存されているファイルが表示されます。

便利ツールの各種ビューアについて

■ マンガ・ブックリーダー(☞P.394)

● 電子書籍など(電子書籍/電子辞書/電子コミック)を表示できます。

マンガ・ブック(本体)	
→microSD	マンガ・ブック(microSD)に切り替え
マンガ・ブックリーダー	サイトなどで入手した電子書籍などのフォルダ
iモード	サイトなどで入手した閲覧制限が設定されている電子書籍などのフォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されている電子書籍などのフォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
マンガ・ブック(microSD)	
→本体	マンガ・ブック(本体)に切り替え
マンガ・ブックリーダー	サイトなどで入手したり、パソコンなどから保存した電子書籍などのフォルダ
マンガ	サイトなどで入手した、閲覧制限が設定されている電子書籍などのフォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ

■ ドキュメントビューア(☞P.392)

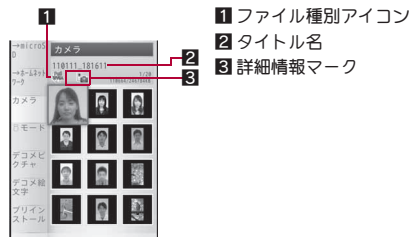
● [ドキュメントビューア]内のフォルダ一覧はデータBOXの[その他]内と同じ内容を表示します。

データ一覧画面の見かた

フォルダを選ぶとデータ一覧画面が表示されます。

● 表示方法の変更については☞P.343

例:[カメラ]フォルダのデータ一覧画面(表示切替:[ビジュアルメニュー])

1 ファイル種別アイコン
2 タイトル名
3 詳細情報マーク

● タイトル表示は、全角8文字(半角16文字)までです(文字サイズの設定や一覧画面の表示方法により、表示される文字数は異なる場合があります)。

- ｉモーションの場合、画像の代わりに次のように表示されるときがあります。
  - ■ [ ]が表示
    - ・音声のみのデータ
    - ・画像サイズが非対応のデータ
    - ・画像ファイル形式が非対応のデータ
  - ■ [ ]が表示
    - ・テキストのみのデータ
    - ・画像が壊れていたり表示できないデータ
  - ■ [ ]が表示
    - ・ダウンロードの途中で保存したデータ
- PDFデータの場合、画像の代わりに[ ]や[ ]、[ ]と表示される場合があります。PDF対応ビューアを起動すると画像が表示されるようになります。
- Microsoft Wordファイル、Microsoft Excelファイル、Microsoft PowerPointの場合、画像の代わりに[ ]や[ ]、[ ]と表示される場合があります。ドキュメントビューアを起動すると画像が表示されるようになります。

アイコンの種類とマークの説明

■ ファイル種別アイコン

静止画の種類

JPEG				
14M：3240×4320	10M：2736×3648	5M：1944×2592	3M：1536×2048	フルHD：1080×1920

JPEG				
待受：480×854	VGA：480×640	ワンセグ：320×180	QVGA：240×320	QCIF：176×144

JPEG その他	GIF画像 GIFアニメーション	Flash画像

ｉモーションの種類

MP4／Mobile MP4				ブルーレイディスクレコーダーから転送	ASF
再生制限なし	再生制限あり				
	再生期間	再生期限	再生回数		

メロディの種類

SMF	MFi	
	3D情報なし	3D情報あり

PDFの種類

すべてのページをダウンロード	ページ単位で部分的にダウンロード	ダウンロード失敗

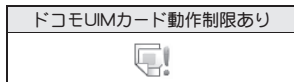
その他のファイルの種類

Microsoft Word	Microsoft Excel	Microsoft PowerPoint	PNG	BMP	その他※

※ FOMA端末では表示できません。

データ管理

ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定されたファイル

ドコモUIMカード動作制限あり

メロディの種類について

- MFi(3D情報あり)を[移行可能コンテンツ]フォルダに保存したときは、MFi(3D情報なし)が表示されますが、3D情報は保持しています。

■ 詳細情報マーク

:メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているファイル
:フレーム画像、またはスタンプ画像
:iモードなどで取得したファイル※
:バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、iC通信、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 02、IrSS™通信を利用して取得したファイル※
:カメラ撮影したファイル
:テレビ電話中に撮影したファイル
:電子書籍などで保存した静止画
:PDF対応ビューアの表示画面を切り出して保存した静止画
:位置情報が付加されている静止画
:手書きした静止画
:ワンセグで録画した静止画
※ フレーム画像、スタンプ画像は除く

データの表示方法を変更する

■ データ／フォルダ一覧画面の表示方法を変更する <表示切替>

例:マイピクチャのとき

1 データ一覧画面でMENU ▶ [静止画設定] ▶ [表示切替]

2 表示方法を選ぶ

- 設定できる項目は画面によって異なります。

■ 全画面モードで表示する

1 画像／iモーションのデータ一覧画面で画像にカーソルを合わせる ▶ 📷

イメージビューア

保存した画像を表示する

データBOXのマイピクチャに保存された画像を表示します。

- HDMI接続したテレビに画像を表示することができます(☞P.398)。

1 ノーマルメニューで[データBOX] ▶ [マイピクチャ]

- カメラギャラリー:✉
- スライドショーを表示:i

2 画像を選ぶ

画像表示画面

- 画像の保存件数が多くなると画像表示が遅くなるときがあります。
- サイトなどからダウンロードしたGIFアニメーションやFlash画像は、見えかたが異なるときがあります。

■ 画像表示画面のボタン操作

左90度回転(JPEG画像)	📷	全画面モード切替(JPEG画像以外)	📷
メール／ブログ機能	✉	高速赤外線通信(IrSS™機能)で送信(JPEG画像)	i
全画面モード切替(JPEG画像)	●	縮小／等倍／拡大(GIF画像)	●
再生／一時停止(Flash画像)	●	スクロール※1	✣

次ページへ続く

前の画像を表示※2	◎	次の画像を表示※2	◎
顔検出ズーム（JPEG画像）	✓／8	縮小（JPEG画像）※3	1
ピクチャテーブル表示（JPEG画像以外）	1	拡大（JPEG画像）	3
前の画像を表示	4	エフェクト切替	5
次の画像を表示	6	ピクチャテーブル表示	✕

※1 画像が画面より大きい場合にスクロールします。
※2 画像が画面より小さい場合、または画像が画面より大きく画像の右端／左端が表示されている場合に次／前の画像を表示します。
※3 縮小し続けると、ピクチャテーブル表示になります。

- GIFアニメーションやFlash画像は、縮小／等倍／拡大の切り替えができません。
- 次／前の画像を表示するときに画像が乱れたり、表示されないことがあります。
- Flash画像再生中は、全画面モードへの切り替えはできません。停止してから操作してください。

■ 画像表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

回転 Rotate	左90度回転※1	等倍↔FIT 1/1↔FIT	等倍⇔フィット※2
►II	再生／一時停止※3	IrSS	高速赤外線通信（IrSS™機能）で送信※4
✉	メール添付／メール挿入／ブログ投稿※4		

※1 JPEG画像の場合に表示されます。
※2 GIF画像の場合に表示されます。
※3 Flash画像の場合に表示されます。
※4 操作可能な場合に表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

次へ／前へ	左右にスライド
ズームバー表示※1	ロングタッチ
拡大／縮小※2	2本の指の間隔を広げる／狭める
ピクチャテーブル表示※3	2本の指の間隔を広げる／狭める
全画面モード切替	画面をタッチ

※1 ズーム可能なJPEG画像のみ表示されます。ズームバーのスライダを左右にスライドするか、ズームバーをタッチして画像を拡大／縮小します。
※2 JPEG画像のみ操作できます。縮小し続けると、ピクチャテーブル表示になります。
※3 JPEG画像以外で操作できます。

- 画像を拡大して表示している場合は、上下左右にスライドして表示位置を変更します。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
- ▶[フォルダ新規作成] ☞P.377
- ▶[フォルダ名編集] ☞P.378
- ▶[フォルダセキュリティ] ☞P.378

[削除] ☞P.378

[microSDへ移動] ☞P.372

[microSDへ全件コピー] ☞P.371

[データ送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.385
- ▶[ｉＣ送信] ☞P.387

[静止画設定]
- ▶[表示切替] ☞P.343
- ▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
  - 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。
- ▶[音量設定]▶◎
  - Flash画像再生時の音量を調節します。

▶[スライドショー開始] ☞P.347
▶[スライドショー設定] ☞P.347
▶[ピクチャテーブル] ☞P.347

[メモリ確認] ☞P.382

[参照先切替]
▶[本体]
▶[microSD]
▶[ホームネットワーク]

■ 画像一覧画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作（☞P.344）を参照してください。
- ■ データ送信（赤外線送信、ｉＣ送信）
- ■ 静止画設定（表示切替、バックライト点灯時間、音量設定、スライドショー開始、スライドショー設定）
- ■ 参照先切替

[編集・情報表示]
▶[手書き編集] ☞P.405
▶[画像編集] ☞P.348
▶[プチエステ] ☞P.351
▶[タイトル編集] ☞P.378
▶[ファイル名編集] ☞P.378
▶[ファイル制限]▶設定を選ぶ
● 静止画のFOMA端末外への出力を制限します。
▶[サイト接続]▶[はい]
▶[情報表示] ☞P.380

[削除] ☞P.380

[分類登録] ☞P.379

[画面設定] ☞P.347

[移動／コピー]
▶[フォルダ間移動] ☞P.379
▶[microSDへ移動] ☞P.372
▶[microSDへコピー] ☞P.371
▶[自動お預かりへ移動] ☞P.133
▶[お預かりセンターに保存] ☞P.134
▶[お預かり済アイコンクリア] ☞P.134

[データ送信]
▶[プリンタ送信] ☞P.488
▶[Bluetooth送信] ☞P.439
▶[地点情報送信] ☞P.438
▶[ホームネットワーク送信] ☞P.489

[静止画設定]
▶[ソート] ☞P.379
▶[メモ作成] ☞P.427

[位置情報]
▶[位置情報利用] ☞P.336
▶[位置情報付加] ☞P.335
▶[位置情報削除]▶[はい]

[ファイル制限]について

● FOMA端末で撮影、または編集して作成したデータに設定できます。ただし、編集するデータによっては設定できないものもあります。

■ 画像表示画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、画像一覧画面のサブメニュー操作（☞P.345）を参照してください。
  - ■ 編集・情報表示（タイトル編集、サイト接続、情報表示）
  - ■ 分類登録　■ 画面設定
  - ■ データ送信（プリンタ送信、Bluetooth送信、地点情報送信）
  - ■ 静止画設定（メモ作成）

[リトライ]（Flash画像のみ）	
[メール／ブログ機能]	
▶[メール添付]	☞P.236
▶[メール挿入]	☞P.236
▶[投稿]	☞P.236
[編集・情報表示]	
▶[手書き編集]（Flash画像以外）	☞P.405
▶[画像編集]（Flash画像以外）	☞P.348
▶[プチエステ]（Flash画像以外）	☞P.351
▶[ファイル名編集]（Flash画像以外）	☞P.378
▶[ファイル制限]（Flash画像以外）▶設定を選ぶ ● 静止画のFOMA端末外への出力を制限します。	
[1件削除]	☞P.380
[顔登録]（Flash画像以外）	☞P.348
[移動／コピー]	
▶[1件移動]	☞P.379
▶[microSDへ1件移動]	☞P.373
▶[microSDへ1件コピー]	☞P.371
▶[お預かりセンターに保存]	☞P.134
▶[自動お預かりへ移動] ● 自動お預かりへ移動の詳細については☞P.133	
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.385
▶[iC送信]	☞P.387
[静止画設定]	
▶[ピクチャテーブル]	☞P.347
▶[ズーム]（Flash画像以外）▶ズームの種類を選ぶ	
▶[エフェクト設定]▶設定を選ぶ ● 次／前の画像に切り替えるときのエフェクト（効果）を設定します。	
▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ ● 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。	
▶[音量設定]（Flash画像以外）▶ⓒ ● Flash画像再生時の音量を調節します。	
▶[自動回転設定]（Flash画像以外）▶設定を選ぶ ● JPEG画像の場合、ディスプレイ内で最大に見えるように、自動的に回転して表示できます。	
▶[表示モード]（Flash画像以外）▶設定を選ぶ	
▶[ライトアップ]（Flash画像以外）	
▶[操作ガイド]	
[位置情報]（Flash画像以外）	
▶[位置情報利用]	☞P.336
▶[位置情報付加]	☞P.335
▶[位置情報削除]▶[はい]	

- Flash画像再生中は操作できません。停止してから操作してください。

[ズーム]について

- GIFアニメーション、BMP画像、PNG画像、Flash画像はズームできません。
- GIF画像、フレームやスタンプは[等倍⇔フィット]のみ選択できます。
- 次のような画像は、顔検出ズームができない場合があります。
  - ■ 顔が小さい　■ 顔が正面を向いていない
  - ■ 複数の顔がある　■ 顔の前に物などがある

[顔登録]について

● JPEG画像以外の画像は操作できません。

[自動回転設定]について

● JPEG画像以外の画像は操作できません。

● HDMI出力中は操作できません。

[表示モード]について

● 全画面モードはディスプレイ内に納まるサイズ、ワイドモードは余白が付かないサイズです。

ピクチャテーブル表示にする<ピクチャテーブル>

ピクチャテーブル表示にすると、指定したフォルダ内の画像を縮小して一覧で表示します。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 フォルダにカーソルを合わせる▶MENU▶[静止画設定]▶[ピクチャテーブル]

- 全画面表示：📷
- フォルダ切替：MENU▶フォルダを選ぶ
- 操作ガイドの表示：✉
- 画像を選択すると、画像表示画面が表示されます。

■ ピクチャテーブル表示画面のタッチパネル操作

● タッチパネルの主な操作については☞P.46

● コントロールボタンで次の操作ができます。

[フォルダ切替アイコン]	フォルダ切替	[操作ガイド Op Guide]	操作ガイド起動

● 次のタッチ操作ができます。

カーソルの移動	カーソルをタッチしたまま上下左右にスライド
画面を上下にスクロール※	上下にスライド
画像表示画面の表示	画像をタッチ

※ スクロールバーのスライダを上下にスライドするか、スクロールバーをタッチしてもスクロールできます。

スライドショーの設定をする<スライドショー設定>

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 フォルダにカーソルを合わせる▶MENU▶[静止画設定]▶[スライドショー設定]

3 各項目を設定▶📷

- 再生：✉
- 前／次のテンプレートを編集：◎／◎

■ スライドショーを再生する

設定したフォルダ内の画像を連続して表示します。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 フォルダにカーソルを合わせる▶MENU▶[静止画設定]▶[スライドショー開始]

- 音量調節：◎
- スライドショーの再生／一時停止：◉
- スライドショーを最初から再生：📷
- 設定の変更：MENU▶各項目を設定▶📷
  - 再生：✉

画像を待受画面などに設定する<画面設定>

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 画像にカーソルを合わせる▶MENU▶[画面設定]

3 項目を選ぶ

- 待受画面に設定するとき：[待受画面設定]▶設定先を選ぶ▶[はい]
  - 画像のサイズによっては、表示サイズ選択画面が表示されます。表示サイズを選んでください。
- 電話帳に登録するとき：[電話帳画像設定]▶電話帳に登録
- スケジュールを作成するとき：[スケジュール画像設定]▶スケジュールを登録

● フレームやスタンプ、ワンセグで録画した静止画は画面設定できません。

次ページへ続く▶▶

● microSDカード内の静止画は、直接設定できません。FOMA端末にコピー／移動してから登録してください。
● Flash画像は、待受画面、発着信画面、メール送受信画面、電話帳に設定できます。
● スケジュールを作成する場合、表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されます。
■ 日時：静止画の保存日時　■ 画像：静止画

静止画を添付してｉモードメールを送信する

静止画をメールに添付して送信できます。また、デコメール®として送信したり、ブログ／SNSに投稿することもできます。
● ファイルの添付については☞P.149

1 ノーマルメニューで［データBOX］▶［マイピクチャ］

2 静止画にカーソルを合わせる▶✉

3 送信方法を選ぶ

• 送信方法については☞P.236「撮影後すぐに静止画または動画を送る」の操作２へ

4 メール／デコメール®を作成・送信

静止画を高速赤外線通信で送信する（IrSS™機能）

マイピクチャから静止画（JPEG画像）をIrSS™機能対応機種に送信できます。
● 赤外線通信利用時の注意事項については☞P.385

1 ノーマルメニューで［データBOX］▶［マイピクチャ］

2 静止画にカーソルを合わせる▶ⓘ

• 受信側のFOMA端末を受信待ち状態にします。

3 ［画像を縮小］▶［OK］

• そのまま送信するとき：［そのまま送信］
• 通信の中止：◉

● IrSS™機能とは、IrSimple™ 1.0規格準拠の片方向通信機能（Home Appliance Profile）です。
● IrSS™通信は、片方向通信のため受信側からの応答を確認せずに送信します。受信側が受け取れないときでも送信側は正常に終了します。

静止画から顔情報を登録する<顔登録>

静止画から顔の画像を検出して登録したり、登録した顔情報名を顔検出ズーム時に表示したりできます。また、登録した顔情報を利用してデータ検索やアルバム表示をすることもできます。
● 顔情報は10件まで登録できます。
● 静止画撮影から顔情報を登録することもできます（☞P.233）。

1 ノーマルメニューで［データBOX］▶［マイピクチャ］

2 静止画を選ぶ

3 MENU▶［顔登録］▶［顔検出ズーム］

• ✓でも操作できます。
• 登録する顔が拡大表示されます。
・ 複数の顔が検出されている場合は、✓を押すたびに拡大表示される顔が切り替わりますので、登録する顔を拡大表示させてください。

4 MENU▶［顔登録］▶［新規登録］

• ✓（１秒以上）でも操作できます。
• 登録済みの顔情報を編集：［編集］▶編集する顔情報を選ぶ
・ 個人検出一覧画面が表示されます。
• 以降の操作については☞P.233「顔情報を登録する」の操作４へ
• 登録済の顔情報の削除については☞P.234

画像編集

静止画を編集する

画像編集では、編集前と編集後の静止画を見比べながら、連続して編集できます。
● 編集前の静止画のサイズによっては、利用できない編集メニューがあります。
● 画像エフェクトや画像補正、プチエステなどは、静止画によって効果に差があります。
● FOMA端末外から取得した静止画は編集できないときがあります。

- 画像編集を行うと画質が劣化したり、データの容量が増減するときがあります。
- Flash画像やGIFアニメーションは編集できません。
- 人物の顔などを編集した静止画は、人格権および肖像権を尊重し、中傷にならないようにご配慮ください。
- 編集した静止画は圧縮して保存し直されるため、編集中の静止画とは異なって見えることがあります。

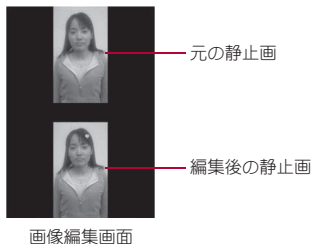
1 **ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]**

2 **静止画にカーソルを合わせる▶MENU▶[編集・情報表示]▶[画像編集]**

- ✉を押すと画像編集メニューの非表示／表示を切り替えることができます。画像編集メニューを選択して編集することができます。

3 **静止画を編集**

元の静止画

編集後の静止画

画像編集画面

4 **📷▶[はい]**

- 保存後に続けて編集するとき：i

5 **[OK]**

- タイトルの編集：[タイトル編集]▶タイトルを編集▶📷▶[OK]
  - 全角25文字（半角50文字）まで入力できます。
- 保存先の変更：[フォルダ変更]▶フォルダにカーソルを合わせる▶📷▶[OK]
- 保存してメールに添付：[メール作成]▶メールを作成・送信

■ 画像編集画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

完了 Complete	編集を完了	保存 Save	保存
編集メニュー Edit ON/OFF	画像編集メニューの非表示／表示	確認 Check	画像編集画面に戻る※

※ 画像表示画面でのみ操作できます。

- 次のタッチ操作ができます。

画像表示画面の表示	画像をタッチ

■ 画像編集画面のサブメニュー操作

[画像確認]
- ▶[編集前画像確認]
- ▶[編集後画像確認]

[画像切り出し] ☞P.350

[サイズ変更]▶サイズを選ぶ

[画像回転]▶種類を選ぶ

[エフェクト]
- ▶[画像エフェクト]▶種類を選ぶ
  - 静止画の色合いやタッチを変更します。
- ▶[フェイスエフェクト]▶種類を選ぶ
  - 人物の顔に喜怒哀楽などの表情効果を付けます。
- ▶[フェイスエフェクト（鏡面）]▶項目を選ぶ
  - 人物の顔を左右対称にします。

[画像補正]▶種類を選ぶ
- 静止画にシャープネスやソフトなどの補正をかけることができます。

[スタンプ]
- ▶[画像スタンプ]▶スタンプにカーソルを合わせる▶📷▶貼り付け位置を調整▶◉▶MENU
- ▶[フェイススタンプ]▶種類を選ぶ
- ▶[文字スタンプ] ☞P.350

データ管理

次ページへ続く▶▶

[フレーム] ▶ 種類にカーソルを合わせる ▶ [カメラ]

[顔検出位置修正] ☞P.350

[元に戻す] ▶ [はい]

[サイズ変更]について
- サイズ変更しても縦横比は変更されません。縦横比が異なる画像をアイコンやテレビ電話代替画像に使用する場合は画像切り出しを利用してください。
- 現在の横(縦)サイズを変換後の横(縦)サイズに拡大または縮小します。「アイコン:152×152」にサイズ変更する場合、上下(左右)が足りないときは、静止画を中央に配置して上下(左右)に余白が付きます。

[画像回転]について
- 縦と横のサイズが異なる静止画を90度回転させると、縦横比が変わります。
- 静止画によっては、保存先フォルダを指定できないときがあります。

[フェイスエフェクト]、[フェイスエフェクト(鏡面)]、[フェイススタンプ]について
- 静止画内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないことがあります。正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- 顔の輪郭情報が正しく抽出できないときは☞P.350

[フレーム]について
- FOMA端末にはあらかじめ「待受:480×854」、「VGA:480×640」用のフレームが登録されています。

[元に戻す]について
- 取り消しは1回のみ可能です。続けて取り消し操作を行うと、未編集状態に戻ります。

静止画のサイズを修正する<画像切り出し>

1 画像編集画面で[MENU] ▶ [画像切り出し]

2 サイズを選ぶ

3 切り出し部分を選ぶ ▶ ●
- 画面の拡大/縮小:[カメラ]/[MENU]

- 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りないときは、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。

文字スタンプを貼り付ける<文字スタンプ>

1 画像編集画面で[MENU] ▶ [スタンプ] ▶ [文字スタンプ]

2 種類を選ぶ
- [フリーワード]のとき:文字を入力 ▶ [カメラ]
  - 全角11文字(半角22文字)まで入力できます。文字が画面の幅を超えるときは、はみ出した部分が削除されます。

3 貼り付け位置を調整 ▶ ●
- 文字サイズの変更:[メール]/[i]
- 文字色の変更:[MENU] ▶ 文字色を選ぶ

各部の輪郭情報を手動で設定する<顔検出位置修正>

フェイスエフェクトやフェイススタンプ、プチエステで利用する顔の各部の輪郭情報を、手動で設定できます。

1 画像編集画面で[MENU] ▶ [顔検出位置修正]

2 指定する部位を選ぶ
- 顔の輪郭を指定(赤枠):[MENU]
- 口の輪郭を指定(黄枠):[カメラ]
- 左目の輪郭(緑枠)と右目の輪郭(青枠)を指定:[メール]
- それぞれのボタンを押すたびに、[+]の位置が切り替わります。

3 輪郭を指定する

例：顔の輪郭のとき

輪郭の左上に[+]カーソルを合わせる。

輪郭の右下に[+]カーソルを合わせる。

- 操作2～3を繰り返し、すべての輪郭を指定します。

4 ◉

人物の顔をメークアップする<プチエステ>

人物の顔の静止画に、美白やナチュラルのメークアップ効果をかけることができます。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画にカーソルを合わせる▶MENU▶[編集・情報表示]▶[プチエステ]

3 効果を選ぶ

- 静止画の保存については☞P.349「静止画を編集する」の操作4へ

- 顔の輪郭情報が正しく抽出できないときは☞P.350

iモーションプレーヤー

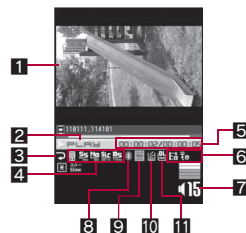
動画／iモーションを再生する

データBOXのiモーション・ムービーに保存されたiモーションを再生します。

- HDMI接続したテレビに動画／iモーションを表示することができます（☞P.398）。
- 市販のBluetooth機器を接続すると、iモーションの音声をBluetooth機器から再生できます（☞P.437）。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[iモーション・ムービー]

- カメラギャラリー：✉

2 iモーションを選ぶ

iモーション再生画面

1 再生画像

2 再生状態

▶PLAY：再生中※

⏸PAUSE：一時停止中※

■STOP：停止中

⏩FF：早送り中

⏪FR：早戻し中

※ スロー再生中は、再生速度が表示されます。

3 リピート再生

↻：リピート再生中

4 Dolby Mobile 設定

：Virtual5.1ch（イヤホン）

：ノーマル

：ニュース

：スポーツ

：ドラマ

：バラエティ

：ミュージック

データ管理

：映画
：オリジナル

オリジナルの設定項目を選んだ場合

：サウンドスペース
：ナチュラルベース
：サウンドレベルコントローラ
：モノラル→ステレオ

5 再生時間／総再生時間

6 再生種別

：音声あり
：映像あり
：テロップあり
：音声再生不可
：映像再生不可

7 音量

15：0（音量0）～25（音量25）

- ミュート中は、数字の上に［ ］が重なって表示されます。

8 Bluetooth出力

：Bluetooth出力中

9 画像サイズ

：「sQCIF：128×96」
：「QCIF：176×144」
：「CIF：352×288」
：「QQVGA：160×120」
：「hQVGA：240×176」
：「QVGA：320×240」
：「WQVGA：400×240」
：「VGA：640×480」
：「FWVGA：864×480」
：「ワイド：720×400」
：「HD：1280×720」
：「フルHD：1920×1080」

10 バッファリング中

：バッファリング中表示（標準タイプ・ストリーミングタイプ）

11 ダウンロード未完了

：ダウンロード未完了

- 再生可能なｉモーションの種類は次のとおりです。

ファイル形式		符号化方式
MP4 （拡張子：「.mp4」「.3gp」「.m4a」）	映像	MPEG-4、H.263、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
ASF （拡張子：「.asf」）	映像	MPEG-4
	音声	AMR、G.726

- 符号化方式がH.263のｉモーションは、「CIF：352×288」、「QCIF：176×144」、「sQCIF：128×96」が再生可能です。
- 符号化方式がMPEG-4、H.264の場合、「1920×1080」より大きいサイズのｉモーションは再生できません。ただし、ファイル形式がASFの場合、「QVGA：320×240」より大きいサイズのｉモーションは再生できません。
- ｉモーションにテロップが付いていても、テロップは表示されません。
- スロー再生中は、音声が出力されません。
- ダウンロードの途中で保存したｉモーションを選ぶと、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。［はい］を選ぶとダウンロードできます。
- 音声のみのｉモーションを再生すると、画面には固定のアニメーションが表示されます。
- 再生中に着信やアラーム動作があると、再生は中止され、ｉモーションの停止画面に戻ります。
- 再生中にFOMA端末を閉じても、再生は継続されます。

■ ｉモーション再生画面のボタン操作

一時停止／再生	●
停止	
音量調節（音量0～25）※1※2	
ミュート／解除	
前のｉモーションを再生※3	
コマ戻し（一時停止中）	
早戻し※4	（1秒以上）

スロー再生の速度を１段階遅くする（スロー再生中）	◎
次のｉモーションを再生※3	◎
コマ送り（一時停止中）	◎
早送り※4	◎（１秒以上）
スロー再生の速度を１段階速くする（スロー再生中）	◎
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ※5	1：先頭 2～9：総再生時間の約1/9ずつ先の位置
再生時間の表示※6	0
操作ガイドの表示※6	MENU
表示切替（通常モード／全画面モード／フルワイドモード※7）※8	📷
メール／ブログ機能※9	✉
スロー再生／通常再生	✱
ライトアップ※2	#（１秒以上）

※１　ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。
※２　HDMI出力中は操作できません。
※３　ｉモーション停止中も操作できます。
※４　［レコーダー連携］フォルダ内の動画のときは、早送り／早戻し中に通常再生になることがあります。
※５　総再生時間が短いときは、ジャンプしないことがあります。
※６　HDMI出力中のみ操作できます。
※７　ｉモーションのサイズによって、フルワイドモードでは再生できないことがあります。
※８　HDMI出力中、サイトからｉモーションを取得再生中はｉモーションを保存できます。保存先にカーソルを合わせ、📷を押してください。
※９　HDMI出力中はチャプター一覧を表示します。

● 通常ポジションで全画面モード、フルワイドモード中は◎と◎の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持って操作してください。

● データに制限があるときなど、操作ができなかったり、再生画面の総再生時間が正しく表示されないことがあります。

■ ｉモーション再生画面のタッチパネル操作

● タッチパネルの主な操作については☞P.46
● コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
⏮	前のｉモーションを再生※1	⏯	一時停止／再生
⏭	次のｉモーションを再生※1	■	停止
画面サイズ切替	表示切替	✉	添付メール作成※2
通常／スロー	スロー再生／通常再生		

※１　ロングタッチすると、早戻し／早送りになります。
※２　添付可能な場合に表示されます。

● 次のタッチ操作ができます。

音量調節	上下にすばやくスライド
ミュート／解除	音量アイコンをタッチ
次／前のｉモーションを再生	左右にすばやくスライド
スロー再生の速度を１段階速くする／遅くする（スロー再生中）	左右にすばやくスライド

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

［フォルダ管理］
- ▶［フォルダ新規作成］ ☞P.377
- ▶［フォルダ名編集］ ☞P.378
- ▶［フォルダセキュリティ］ ☞P.378

［削除］ ☞P.378

［連続再生］
- ▶［連続再生開始］
  - ● 指定したフォルダ内のｉモーションを連続して再生します。
- ▶［リピート再生設定］▶設定を選ぶ

▶［ダイジェスト再生設定］▶再生時間を選ぶ
● 各ｉモーションの最長再生時間を設定します。

［microSDへ移動］ ☞P.372

［microSDへ全件コピー］ ☞P.371

［データ送信］
▶［赤外線送信］ ☞P.385
▶［ｉC送信］ ☞P.387

［ｉモーション・ムービー設定］
▶［表示切替］ ☞P.343
▶［バックライト点灯時間］▶設定を選ぶ
● 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

［メモリ確認］ ☞P.382

［参照先切替］
▶［本体］
▶［microSD］
▶［ホームネットワーク］

［連続再生開始］について
● 連続再生を[i]で停止した場合、◉を押すと、停止したｉモーションの先頭から連続再生が再開されます。
● 再生回数に制限のあるｉモーションや、再生期間の制限を超えたｉモーションは再生されません。確認メッセージが表示され、次のｉモーションが再生されます。
● ダウンロードの途中で保存したｉモーションは再生されません。次のｉモーションが再生されます。

■ 映像一覧画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作（☞P.353）を参照してください。
■ 連続再生　■ データ送信（赤外線送信、ｉC送信）
■ ｉモーション・ムービー設定（表示切替、バックライト点灯時間）
■ 参照先切替

［編集・情報表示］
▶［映像編集］ ☞P.358
▶［モーションデコ］ ☞P.356
▶［タイトル編集］ ☞P.378
▶［ファイル名編集］ ☞P.378
▶［作成者名編集］▶作成者名を編集▶[📷]
▶［コピーライト編集］▶コピーライトを編集▶[📷]
▶［説明編集］▶説明を編集▶[📷]
▶［ファイル制限］▶設定を選ぶ
● 動画のFOMA端末外への出力を制限します。
▶［情報表示］ ☞P.380

［削除］ ☞P.380

［分類登録］ ☞P.379

［音・映像設定］ ☞P.356

［移動／コピー］
▶［フォルダ間移動］ ☞P.379
▶［microSDへ移動］ ☞P.372
▶［microSDへコピー］ ☞P.371
▶［お預かりセンターに保存］ ☞P.134

［データ送信］
▶［ホームネットワーク送信］ ☞P.489

［ｉモーション・ムービー設定］
▶［ソート］ ☞P.379
▶［レジューム再生設定］▶設定を選ぶ

［作成者名編集］、［コピーライト編集］、［説明編集］について
● 全角・半角問わず128文字まで入力できます。

[ファイル制限]について
- FOMA端末で撮影、または編集して作成したデータに設定できます。ただし、編集するデータによっては設定できないものもあります。

[レジューム再生設定]について
- FOMA端末に保存されたｉモーションには設定できません。
- [移行可能コンテンツ]フォルダのｉモーションには設定できません。
- レジューム再生を[ON]に設定すると、microSDカードに保存されたｉモーションの再生が着信などで中断されても、中断されたところから再生を再開することができます。

■ ｉモーション再生画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、映像一覧画面のサブメニュー操作(☞P.354)を参照してください。
  - ■ 編集・情報表示　■ 音・映像設定
  - ■ ｉモーション・ムービー設定(レジューム再生設定)

[メール／ブログ機能] ☞P.236

[1件削除] ☞P.380

[Dolby Mobile 設定] ▶ 設定を選ぶ
- [オリジナル]を選択したときは、項目を選択して📷

[Bluetooth出力] ☞P.437

[移動／コピー]
- ▶ [1件移動] ☞P.379
- ▶ [microSDへ1件移動] ☞P.373
- ▶ [microSDへ1件コピー] ☞P.371
- ▶ [お預かりセンターに保存] ☞P.134

[チャプター一覧] ▶ チャプターを選ぶ
- チャプターを選択して再生します。

[ｉモーション・ムービー設定]
- ▶ [リピート再生]
  - 通常再生に戻す：同じ操作
- ▶ [エフェクト設定] ▶ 設定を選ぶ
- ▶ [表示サイズ切替] ▶ 設定を選ぶ
- ▶ [ライトアップ]
- ▶ [バックライト点灯時間] ▶ 設定を選ぶ
  - 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。
- ▶ [送り速度指定] ▶ 設定を選ぶ
  - 早送り／早戻しの速度を設定します。
- ▶ [コマ送り幅指定] ▶ 送り幅を選ぶ
- ▶ [起動時画面モード設定] ▶ 設定を選ぶ
- ▶ [音声切替] ▶ 設定を選ぶ
  - ブルーレイディスクレコーダーから転送した動画の音声を切り替えます。

[Dolby Mobile 設定]について
- Dolby Mobile 設定は、ステレオイヤホン(別売)使用時に有効です。

[リピート再生]について
- 再生回数に制限のあるデータは、リピート再生できません。

[表示サイズ切替]について
- 表示されるサイズが「480未満×392未満」のときに、表示サイズを[拡大]に切り替えることができます。

[コマ送り幅指定]について
- 音声のみのｉモーションなど、[細かい]に設定しても無効となり、[大まか(高速)]でコマ送りされるｉモーションがあります。

[起動時画面モード設定]について
- 通常ポジション／ビューアポジションで縦表示のときに設定が有効です。

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを送信する<ｉモーションメール>

動画をメールに添付して送信できます。また、ブログ／SNSに投稿することもできます。

● ファイルの添付については☞P.149

1 **ノーマルメニューで[データBOX]▶[ｉモーション･ムービー]**

2 **ｉモーションにカーソルを合わせる▶✉**

3 **送信方法を選ぶ**

- 送信方法については☞P.236「撮影後すぐに静止画または動画を送る」の操作2へ

4 **メールを作成･送信**

動画／ｉモーションからデコメ®ピクチャを作成する<モーションデコ>

● 画像サイズが「QVGA：320×240」、「QCIF：176×144」、「sQCIF：128×96」のとき、モーションデコを使用できます。

● 動画を撮影して、デコメ®ピクチャやデコメ絵文字®を作成することもできます（☞P.245）。

1 **ノーマルメニューで[データBOX]▶[ｉモーション･ムービー]**

2 **ｉモーションにカーソルを合わせる▶MENU▶[編集･情報表示]▶[モーションデコ]**

3 **種類を選ぶ**

- デコメ®ピクチャを作成する場合、画像サイズが「QVGA：320×240」のときは、240×180ドットに縮小します。
- デコメ絵文字®を作成する場合、映像の中心から正方形になるように切り出し、20×20ドットに縮小します。

4 **[OK]**

- タイトルの編集：[タイトル編集]▶タイトルを編集▶📷▶[OK]
  - 全角25文字（半角50文字）まで入力できます。
- 保存先の変更：[フォルダ変更]▶フォルダにカーソルを合わせる▶📷▶[OK]

● デコメ®ピクチャの場合、画像サイズが小さいほど、きれいな画像を作成できます。

● 長時間の動画の場合、変換後のファイルサイズの制限により、最後まで変換されないことがあります。

● SH-01C以外で撮影した動画は、編集できないことがあります。

● 作成したデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®はFOMA端末に保存されます。

動画／ｉモーションを待受画面などに設定する<音･映像設定>

1 **ノーマルメニューで[データBOX]▶[ｉモーション･ムービー]**

2 **ｉモーションにカーソルを合わせる▶MENU▶[音･映像設定]**

3 **項目を選ぶ**

- 待受画面に設定するとき：[待受画面]▶[はい（等倍表示）]／[はい（拡大表示）]

● microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のｉモーションは待受画面や着信音などに直接設定できますが、設定されたｉモーションは、FOMA端末のデータBOXのｉモーション･ムービーの[ｉモード]フォルダに移動されます。

● microSDカードからFOMA端末にコピーしたり、赤外線通信やｉC通信、ドコモケータイdatalinkなどを使用してパソコンや他のFOMA端末から転送した動画／ｉモーションは、電話帳の画像に設定できません。

● 音声のみのｉモーションやASF形式のｉモーションなど、待受画面に設定できないｉモーションがあります。

同時再生

ゴルフスイングビデオカメラで撮影した動画を２画面で同時に再生する

ゴルフスイングビデオカメラで撮影した動画を２画面で同時に再生することができます。また、撮影した動画に再生情報として頭の位置やスイングの方向、体の向きを指定することでスイング開始位置を検出し、２つの動画のスイング開始位置を合わせて再生することができます。

- 動画サイズが「FWVGA：864×480」で再生時間が10秒以内のMP4のデータで利用できます。ただし、再生制限のあるｉモーションは再生できません。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[ｉモーション・ムービー]

2 ｉモーションにカーソルを合わせる▶[i]

3 [カメラ]▶ｉモーションにカーソルを合わせる▶[カメラ]

4 [i]▶[確認]

- 前回再生したデータを選択した場合は、再生を開始するか再生情報を設定するかを選択する画面が表示されます。[再生開始]を選ぶと前回設定した再生情報で再生が開始されます。

5 ｉモーションにカーソルを合わせる▶[カメラ]

6 再生情報を設定する▶[i]

- 頭の位置を指定（緑枠）：[十字キー]
- 次／前のスイングの方向、体の向きを指定：[カメラ]／[MENU]
  - 再生する動画のスイング方向と体の向きを指定してください。スイング開始位置を正確に検出するために、再生する動画に合わせて指定してください。

7 操作５～６を繰り返す

8 [i]

- ２件のｉモーションを同時再生します。
  - スイング開始位置を検出できなかった場合は、２つの動画を最初から再生します。
- 同時再生の頭出し：[メール]
- 一時停止／再生：[i]
  - コマ送り（一時停止中）：[右]
  - ボタンを押し続けると、連続してコマを移動します。
- スロー再生と通常再生の切替：[クリア]
  - 再生速度を１段階遅くする（スロー再生中）：[左]
  - 再生速度を１段階速くする（スロー再生中）：[右]
  - スロー再生は３段階の調整ができます。
- ヘルプ画面の表示：[MENU]

- 同時再生中に着信やアラーム動作があると、再生が中止され、着信前に停止した位置から再生が再開できます。
- ゴルフスイング以外を撮影している場合や撮影対象の背景またはスイング速度に差異がある場合、静止状態からスイング開始までの時間が短い場合など、撮影時の条件によってはスイング開始位置を合わせて同時再生できないことがあります。

■ 同時再生画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

[通常Normal/スローSlow]	スロー再生／通常再生	[▮▶]	コマ送り※

※ ロングタッチすると、連続してコマを移動します。

- 次のタッチ操作ができます。

スロー再生の速度を１段階速くする／遅くする（スロー再生中）	左右にすばやくスライド

ブルーレイディスクレコーダーと連携する

ブルーレイディスクレコーダーに録画した動画をmicroSDカードに転送して、ｉモーションプレーヤーで再生できます。

- ブルーレイディスクレコーダーとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続し、動画を転送します。USBモードを[microSDモード]に設定して接続してください。接続方法は、FOMA端末とパソコンなどを接続する方法と同様です(☞P.375)。動画を転送する操作方法はブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 対応機種については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 転送した動画は、microSDカードのデータBOXのｉモーション・ムービーの[レコーダー連携]フォルダに保存され、最大99件表示できます。
- 動画を転送すると、microSDカードに保存できるビデオの件数は少なくなります。
- ブルーレイディスクレコーダーから新たに転送した動画がある場合は、ストックアイコン[ ](新着レコーダー動画あり)が表示されます。
- 転送した動画の再生方法はｉモーションの再生方法と同様です(☞P.351)。ただし、一部操作できないものがあります。
  - 画像サイズのマークの代わりに[ ]が表示されます。
- 市販のBluetooth機器を利用して、転送した動画の音声をBluetooth機器から再生できます。ただし、機種によっては再生できないことがあります(☞P.437)。

- ブルーレイディスクレコーダーとFOMA端末を、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を使って接続するときは、待受画面を表示させておいてください。

映像編集

動画を編集する

撮影した動画を編集できます。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[ｉモーション・ムービー]

2 動画にカーソルを合わせる▶MENU▶[編集・情報表示]▶[映像編集]

- 映像編集画面下部にコマ割りのサムネイル画像が表示されます。
- 早送り／早戻し：◎(１秒以上)／◎(１秒以上)
- コマ送り／コマ戻し：◎
- ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ：1～9
- 編集した動画を再生：📷

映像編集画面

3 動画を編集

4 MENU▶[保存]

5 [OK]

- タイトルの編集：[タイトル編集]▶タイトルを編集▶📷▶[OK]
  - 全角25文字(半角50文字)まで入力できます。
- 保存先の変更：[フォルダ変更]▶フォルダにカーソルを合わせる▶📷▶[OK]
- 保存してメールに添付／ブログに投稿(☞P.236)：[✉／投稿]▶添付先を選ぶ▶メールを作成・送信

- SH-01C以外で撮影した動画は、編集できないことがあります。

■ 映像編集画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
プレビュー Preview	編集した動画を再生	始点 Start	始点※1
終了 End	終点※1	長押 Hold	コマ戻し(細かい)※2
長押 Hold	コマ送り(細かい)※2	前ページ Back	コマ戻し(大まか)※3
次ページ Next	コマ送り(大まか)※3		

※1　動画を切り取るときに表示されます。

データ管理

※2　コマ送り幅指定が[細かい]のときに表示されます。ロングタッチすると、早戻し／早送りになります。
※3　コマ送り幅指定が[大まか(高速)]のときに表示されます。

■ 映像編集画面のサブメニュー操作

[静止画キャプチャ] ● 動画の一場面を、静止画として保存します。 ● 保存については☞P.358「動画を編集する」の操作5へ	
[リサイズ] ▶ サイズを選ぶ	
[映像カッター]	☞P.359
[情報表示]	☞P.380
[保存]	☞P.358
[終了] ▶ [はい]	
[コマ送り幅指定] ▶ 送り幅を選ぶ	

[静止画キャプチャ]について
● 保存した静止画はFOMA端末で撮影した静止画と同様に扱うことができます。

[コマ送り幅指定]について
● 音声のみのｉモーションなど、[細かい]に設定しても無効となり、[大まか(高速)]でコマ送りされるｉモーションがあります。
● 次の場合は、コマ送り幅が[大まか(高速)]になります。
  ■ 映像編集画面で、画像サイズが「QVGA：320×240」、「QCIF：176×144」、「SQCIF：128×96」以外のとき
  ■ 編集中のデータサイズが2Mバイトを超えるとき
● [細かい]に設定中は、コマ割りのサムネイル画像は表示されません。

動画を切り取る<映像カッター>

動画の一部を切り取り、新しい動画として保存します。

1 映像編集画面で MENU ▶ [映像カッター]

2 切り取り方法を選ぶ

◆ **[メール用(短)] ▶ 始点にカーソルを合わせる ▶ MENU**
・指定した位置から約500Kバイトまでを自動的に切り取ります。

◆ **[メール用(長)] ▶ 始点にカーソルを合わせる ▶ MENU**
・指定した位置から約2Mバイトまでを自動的に切り取ります。

◆ **[部分切り出し] ▶ 始点にカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ 終点にカーソルを合わせる ▶ MENU**
・始点と終点を指定して切り取ります。

◆ **[前部分消去] ▶ 始点にカーソルを合わせる ▶ MENU**
・指定した始点からファイルの最後までを切り取ります。

◆ **[後部分消去] ▶ 終点にカーソルを合わせる ▶ MENU**
・ファイルの最初から指定した終点までを切り取ります。

3 [はい] ▶ [確認]

● 約3秒未満の動画は切り取りできません。
● FOMA端末に保存されている約2Mバイトを超える動画は、部分切り出し、前部分消去、後部分消去できません。
● 約500Kバイト以下の動画はメール用(短)、メール用(長)に切り出しできません。
● 動画を保存するまでは連続して切り取りはできません。
● コマ送り幅指定を[細かい]に設定している場合、[大まか(高速)]に設定している場合よりも切り取りに時間がかかることがあります。

ワンセグ

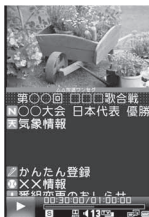
ワンセグを録画したビデオ･静止画を再生する

データBOXのワンセグに保存されたビデオや静止画を再生できます。ここでは、ビデオプレーヤーでのビデオの再生について説明します。
● 静止画表示中の操作については☞P.343
● 市販のBluetooth機器を接続すると、ビデオの音声をBluetooth機器から再生できます(☞P.437)。

1 ノーマルメニューで[データBOX] ▶ [ワンセグ]

データ管理

2 [ビデオ]フォルダ▶ビデオを選ぶ

- 静止画を表示するとき：[イメージ]フォルダ▶静止画を選ぶ

ビデオ再生画面

- 他の機器などで編集（分割）されたビデオを再生すると、映像や音声が途切れることがあります。

ビデオ再生中のデータ放送表示について

- ビデオ再生時は、再生中のビデオを録画した放送局のデータ放送が表示されます。再生を終了すると一時停止になり、データ放送の閲覧を継続できます。
- ビデオ一時停止中やビデオ再生の速度が通常もしくは[▶x1.3]のとき以外は、データ放送が表示されません。

■ ビデオ再生画面のボタン操作

操作	ボタン
一時停止／再生	
音量調節（音量0～25）※1	
ミュート／解除	
早戻し（◀◀REW、◀◀◀REW、◀◀◀◀REW）※2	● [◀◀◀◀REW]で早戻し：（1秒以上）
早送り（▶x1.3、▶▶FF、▶▶▶FF、▶▶▶▶FF）※2	● ▶x1.3：通常の約1.3倍で再生 ● [▶▶▶▶FF]で早送り：（1秒以上）
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ※3	1：先頭 2～9：総再生時間の約1/9ずつ先の位置
約10秒前の位置にバック	＊
約30秒先の位置にスキップ	＃
操作切替	
画面表示の切替	MAP
縦横切替	
字幕設定ON／OFF	（1秒以上）
ビデオプレーヤー終了	／CLR▶[はい]

※1 （1秒以上）で連続して音量を上げることができます。（1秒以上）で音量が0になります。

※2 ボタンを押すたびに、早送り／早戻しの速度が上がります。また、ボタンを押し続けると、押している間だけ早送り／早戻しをします。

※3 録画時間が短いときは、ジャンプしないことがあります。

- 通常ポジションで横表示中はとの操作が入れ替わります。

■ ビデオ再生画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
◀◀ 長押 Hold x2	早戻し※1	II	一時停止
▶	再生※2	▶▶ 長押 Hold x2	早送り※1
10秒バック 10Sec Back	約10秒前の位置にバック	30秒スキップ 30Sec Skip	約30秒先の位置にスキップ
ON/OFF 字幕 Subtitle	字幕設定ON／OFF	画面切替 ViewSW	画面表示の切替
データ操作/TV操作 Operation Data/TV	操作切替		

※1 ロングタッチすると[◀◀◀REW]／[▶▶▶FF]に速度が上がり、早戻し／早送り中にタッチすると段階的に速度が上がります。

※2 一時停止中に表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

操作	方法
音量バーを表示※1	タッチ※2／上下にすばやくスライド

※1 音量バーを上下にスライドして音量を調節します。Bluetooth出力中は表示されません。

※2 コントロールボタンも同時に表示されます。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダセキュリティ]	☞P.378
[表示切替]	☞P.343
[メモリ確認]	☞P.382
[参照先切替]	
▶[本体]	
▶[microSD]	

■ 画像一覧画面のサブメニュー操作

● 画像一覧画面のサブメニュー操作は、マイピクチャの画像一覧画面のサブメニュー操作（☞P.345）を参照してください。

■ ビデオ一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]	
▶[タイトル編集]	☞P.378
▶[情報表示]	☞P.380
[削除]	☞P.380
[分類登録]	☞P.379
[microSDへ移動]	☞P.372
[microSDへコピー]	☞P.371
[ワンセグデータ設定]	
▶[表示切替]	☞P.343
▶[ソート]	☞P.379
[参照先切替]	
▶[本体]	
▶[microSD]	

■ 画像表示画面のサブメニュー操作

● 画像表示画面のサブメニュー操作は、マイピクチャの画像表示画面のサブメニュー操作（☞P.346）を参照してください。

■ ビデオ再生画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、ワンセグ視聴画面のサブメニュー操作（☞P.254）を参照してください。
■ 番組詳細情報　■ データ放送
■ 動作設定（画質設定、画面設定、音声設定、クローズ動作設定、Dolby Mobile設定、表示音声OFF設定）
■ 操作切替　■ Bluetooth出力　■ キー操作一覧

[再生終了]	
[スキップ]	
▶[スキップ送り（30秒）]	
▶[スキップ戻し（10秒）]	
▶[始めから再生]	
▶[再生開始位置指定]▶再生開始位置（時間：分：秒）を入力▶[📷] ● ◎で時間を指定することもできます。	
▶[中速早送り／早戻し]	
[前のコンテンツ]	
[次のコンテンツ]	
[動作設定]	
▶[再生設定]	☞P.263

キャラ電プレーヤー

キャラ電を再生する

キャラ電は、テレビ電話利用時にカメラ映像の代わりに送信できるキャラクタです。キャラクタには、さまざまなアクションをさせることができます。

● キャラ電のダウンロードについては☞P.196

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[キャラ電]

• テレビ電話代替画像に設定：キャラ電にカーソルを合わせる▶[📷]▶[テレビ電話代替画像]

2 キャラ電を選ぶ

次ページへ続く▶▶

キャラ（男性）

キャラ電再生画面

マークの意味
：全体アクションモード
：パーツアクションモード

- キャラ電操作中は、ボタンを押しても音は鳴りません。
- キャラ電によっては、自動でアクションするものや、アクションをしないものがあります。

■ キャラ電再生画面のボタン操作

アクションモードの切替	[カメラ]
アクションリストの表示	[メール] ● 実行：アクションを選ぶ ● 詳細の表示：アクションにカーソルを合わせる ▶ [MENU]
等倍／拡大の切替	[i]
テレビ電話代替画像に設定	[●]
アクション操作※	[1]～[9]、[#]
アクション中止	[0]

※ アクションリストの番号に対応したアクションを実行します。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
▶ [フォルダ新規作成] ☞P.377
▶ [フォルダ名編集] ☞P.378
▶ [フォルダセキュリティ] ☞P.378

[削除] ☞P.378

[キャラ電表示設定]
▶ [表示切替] ☞P.343
▶ [バックライト点灯時間] ▶ 設定を選ぶ
- 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

[メモリ確認] ☞P.382

■ キャラ電一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]
▶ [タイトル編集] ☞P.378
▶ [情報表示] ☞P.380

[削除] ☞P.380

[分類登録] ☞P.379

[テレビ電話代替画像]
- テレビ電話代替画像に設定します。

[フォルダ間移動] ☞P.379

[テレビ電話番号入力] ▶ 電話番号を入力 ▶ [i]
- 電話帳の表示：電話番号入力画面で[カメラ]

[キャラ電表示設定]
▶ [表示切替] ☞P.343
▶ [ソート] ☞P.379
▶ [バックライト点灯時間] ▶ 設定を選ぶ
- 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

■ キャラ電再生画面のサブメニュー操作

[アクション一覧] ☞P.86

[アクション切替] ☞P.85

[タイトル編集] ☞P.378

[１件削除] ☞P.380

[情報表示] ☞P.380

[テレビ電話番号入力] ▶ 電話番号を入力 ▶ [i]
- 電話帳の表示：電話番号入力画面で[カメラ]

[キャラ電切替] ☞P.85

[テレビ電話代替画像]
● テレビ電話代替画像に設定します。

[バックライト点灯時間] ▶ 設定を選ぶ
● 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

マチキャラ

マチキャラを表示する

● マチキャラの設定については☞P.116

1 ノーマルメニューで[データBOX] ▶ [マチキャラ]

2 マチキャラを選ぶ

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
▶ [フォルダ新規作成] ☞P.377
▶ [フォルダ名編集] ☞P.378
▶ [フォルダセキュリティ] ☞P.378
[削除] ☞P.378
[表示切替] ☞P.343
[microSDへ移動] ☞P.372
[メモリ確認] ☞P.382
[参照先切替]
▶ [本体]
▶ [microSD]

■ マチキャラ一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]
▶ [タイトル編集] ☞P.378
▶ [情報表示] ☞P.380
[削除] ☞P.380
[分類登録] ☞P.379
[マチキャラ設定] ☞P.363
[移動]
▶ [フォルダ間移動] ☞P.379
▶ [microSDへ移動] ☞P.372
[マチキャラ表示設定]
▶ [表示切替] ☞P.343
▶ [ソート] ☞P.379
[手動アップデート] ▶ [はい]
[一括情報リセット] ▶ [はい]
● マチキャラの設定経過時間や積算通話時間、受信／送信メール数などの情報をリセットします。
[参照先切替]
▶ [本体]
▶ [microSD]

[手動アップデート]について
● ご利用には別途パケット通信料がかかります。
● マチキャラの手動アップデートをご利用になるには、i コンシェルのご契約が必要です。
ただし、マチキャラによっては契約しなくても利用できるものがあります。

データBOXからマチキャラを設定する <マチキャラ設定>

1 ノーマルメニューで[データBOX] ▶ [マチキャラ]

2 マチキャラにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [マチキャラ設定]
• マチキャラにカーソルを合わせて📷を押しても操作できます。

3 設定を選ぶ

● microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のマチキャラは、直接設定することはできません。FOMA端末に移動してから設定してください。

メロディプレーヤー

メロディを再生する

データBOXのメロディに保存されたメロディを再生できます。

1 **ノーマルメニューで[データBOX]▶[メロディ]**

2 **メロディを選ぶ**

- 停止：◉

メロディ再生画面

● メロディによっては、再生できないものがあります。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]	
▶[フォルダ新規作成]	☞P.377
▶[フォルダ名編集]	☞P.378
▶[フォルダセキュリティ]	☞P.378
[削除]	☞P.378
[microSDへ移動]	☞P.372
[microSDへ全件コピー]	☞P.371
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.385
▶[ｉＣ送信]	☞P.387
[メロディ設定]	
▶[表示切替]	☞P.343
▶[音量設定]▶◎	
▶[連続再生]	☞P.365
[メモリ確認]	☞P.382
[参照先切替]	
▶[本体]	
▶[microSD]	

■ メロディ一覧画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作（☞P.364）を参照してください。

■ データ送信　■ メロディ設定（表示切替、音量設定）

■ 参照先切替

[編集・情報表示]	
▶[タイトル編集]	☞P.378
▶[ファイル名編集]	☞P.378
▶[情報表示]	☞P.380
[削除]	☞P.380
[分類登録]	☞P.379
[音設定]	☞P.365
[移動／コピー]	
▶[フォルダ間移動]	☞P.379
▶[microSDへ移動]	☞P.372
▶[microSDへコピー]	☞P.371
▶[お預かりセンターに保存]	☞P.134
[メロディ設定]	
▶[開始位置選択]▶再生部分を選ぶ	
▶[ソート]	☞P.379

[開始位置選択]について

● ポイント再生で再生される部分はあらじめ指定されています。また[ポイント再生]に設定しても、開始位置が指定されていないメロディのときはフルコーラス再生されます。

■ メロディ再生画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、メロディ一覧画面のサブメニュー操作（☞P.364）を参照してください。

■ 編集・情報表示　■ 音設定　■ データ送信

データ管理

[1件削除]	☞P.380
[移動／コピー]	
▶[1件移動]	☞P.379
▶[microSDへ1件移動]	☞P.373
▶[microSDへ1件コピー]	☞P.371
▶[お預かりセンターに保存]	☞P.134
[メロディ設定]	
▶[イコライザ設定]▶種類を選ぶ	
▶[ステレオ効果設定(イヤホン)]	☞P.365

3Dサウンド／サラウンドを設定する <ステレオ効果設定(イヤホン)>

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[メロディ]

2 メロディを選ぶ

3 MENU▶[メロディ設定]▶[ステレオ効果設定(イヤホン)]

- 📷を押しても操作できます。

4 効果を選ぶ

メロディを連続して再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のメロディを連続して再生できます。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[メロディ]

2 フォルダにカーソルを合わせる▶MENU▶[メロディ設定]▶[連続再生]

- 次のメロディを再生：◎
- メロディの先頭に戻る：◎
- 前のメロディを再生：メロディの先頭で◎

メロディを添付してｉモードメールを送信する

- ファイルの添付については☞P.149

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[メロディ]

2 メロディにカーソルを合わせる▶✉

3 メールを作成・送信

- 相手の機種がFOMA SH900iより前に発売された機種のときは、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- 次のメロディには、一部ｉモードメールに添付できないものがあります。
  - ■ ファイル形式がMFiのメロディ
  - ■ メールに添付されたメロディ
  - ■ ｉモードからダウンロードしたメロディ
  - ■ ｉアプリから取得したファイル形式がSMFのメロディで、ファイル制限ありのもの

メロディを着信音などに設定する<音設定>

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[メロディ]

2 メロディにカーソルを合わせる▶MENU▶[音設定]

- メロディにカーソルを合わせてⓘを押しても操作できます。

3 項目を選ぶ

microSDカードを利用する

FOMA端末内の電話帳やメール、BookmarkなどのデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータをFOMA端末に取り込むことができます。
microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。
microSDカードおよびmicroSDカードアダプタをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

次ページへ続く▶▶

- SH-01Cでは市販の2Gバイトまでのmicro SDカード、16GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています(2010年10月現在)。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については次のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ■ iモードから[SH-MODE](2010年10月現在)
    [iMenu]▶[メニューリスト]▶[ケータイ電話メーカー]▶[SH-MODE]
  - ■ パソコンから
    http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-01c/

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の電源を入れたままの状態でmicroSDカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- 利用できるファイルのサイズは、1ファイル2Gバイトまでです。
- ワンセグの録画サイズは、1ファイル2Gバイトまでです。
- サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、iモーション、メロディ、着うたフル®、きせかえツール、電子書籍/電子辞書/電子コミック、マチキャラ、画面メモ、ビデオ、Music&Videoチャネルで配信された番組をmicroSDカードに移動できます。ただし、IP(情報サービス提供者)が許可していないときは保存できません。
- FOMA端末にmicroSDカードを挿入した直後(FOMA端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集中に、microSDカードを取り外したり、電源を切らないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、FOMA端末で初期化する必要があります(☞P.375)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、FOMA端末では正常に使用できないことがあります。
- 他のFOMA端末やパソコンなどで初期化したmicroSDカードを使うときは、表示されるフォルダ名が異なることがあります。
- 初期化を行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できないことがあります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- 他のFOMA端末やパソコンなどで使用していたmicroSDカードを挿入したときは、使用できないことがあります。不要なデータを削除してから、再度挿入してください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの取り付けかた/取り外しかた

microSDカードの取り付け/取り外しは、電源を切ってから背面を上向きにし、電池パックを取り外してから行ってください。FOMA端末は、閉じた状態で両手でしっかり持ってください。

- 電池パックの取り付け/取り外し方法については☞P.54

■ microSDカードを挿入する

- microSDカードを挿入すると次のマークが表示されます。

  マークの意味

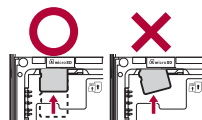
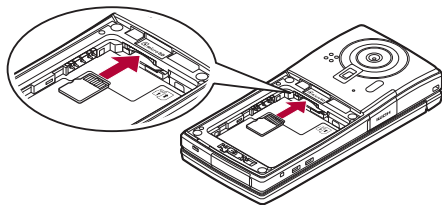
  SD :microSDカードを挿入中かつ使用可で、USBモードを通信モードに設定中

  SD(斜線) :microSDカードを挿入中かつ使用不可で、USBモードを通信モードに設定中

  ・[SD(斜線)]が表示された場合は、microSDカードを再度挿入してください。それでも[SD(斜線)]が表示されるときは、FOMA端末でmicroSDカードを初期化してください。

1 microSDカードの金属端子面を上に向けてゆっくりと挿入する

- microSDカードの挿入口は、ドコモUIMカードの挿入口の上にあります。ドコモUIMカードを取り付ける前にmicroSDカードを挿入する場合、誤ってドコモUIMカードの挿入口に挿入しないようにご注意ください。

データ管理

- microSDカードが傾いた状態や、裏表が逆の状態で無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。
- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。

■ microSDカードを取り外す

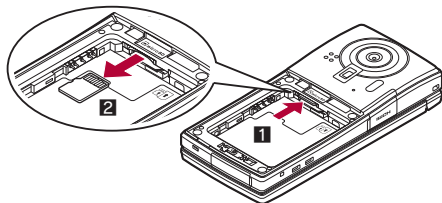
1 microSDカードを軽く押し込む(1)

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、FOMA端末やmicroSDカードを破損させるおそれがあります。

2 microSDカードを取り外す(2)

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。

2

1

- microSDカードスロットを顔の方に向けて、挿入したり、取り外したりしないでください。急に指を離すとmicroSDカードが飛び出し危険です。

microSDカードのフォルダ構成

microSDカード内のフォルダ構成と、各フォルダに格納されるデータのファイル名などは次のとおりです。

- パソコンなどからmicroSDカードにデータを書き込むときも、次のフォルダ構成、ファイル名にする必要があります。
- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。
  - ■ aaa:100～999の3桁の半角数字(000～099に変更しても認識されません)
  - ■ bbbb:0001～9999の4桁の半角数字
  - ■ ccccc:00001～65535の5桁の半角数字
  - ■ ddd:001～FFFの3文字の半角英数字(16進数)
  - ■ eee:001～999の3桁の半角数字
  - ■ ffffff:2バイト文字を含め60バイト以下(拡張子を除く)
  - ■ gggg:0001～9999の4桁の半角数字
  - ■ hhh:3文字以内の半角英数字
  - ■ jjjjjjj:半角英数字、_(アンダーバー)で8バイト以下(拡張子を除く)
  - ■ kkkkkk:2バイト文字を含め64文字以下
    - ・¥(円記号)、/(スラッシュ)、:(コロン)、*(アスタリスク)、?(クエスチョンマーク)、"(ツーダッシュ)、<(中括弧)、>(中括弧)、|(垂直バー)を除く
  - ■ mmmmmm:2バイト文字を含め227文字以下(拡張子を除く)
  - ■ xxyyzznn:半角数字で、xxは年、yyは月、zzは日、nnは00～99

DCIM………………………静止画フォルダ
└ aaaSHARP………………撮影静止画用フォルダ
DVC0bbbb.JPG/GIF
SD_PIM……………………PIMデータ用フォルダ(電話帳、メール、メモ、Bookmark)
PIMccccc.VCF/VCS/VMG/VBM

次ページへ続く

```
SD_VIDEO......................動画フォルダ
├PRLddd.....................撮影動画用フォルダ
│                            MOLddd.MP4／ASF／3GP／SDV
├MGR_INFO...................ビデオ管理情報用フォルダ
└PRGddd.....................ビデオ、ブルーレイディスクレコーダー
                             から転送した動画用フォルダ
                             PRGddd.PGI
                             MOVddd.TOD／SB1／S41／MAI／MOI
PRIVATE
├DOCOMO
│├DOCUMENT
││└PUDeee...................PDF対応ビューアフォルダ
││                           ffffff.PDF／$DF／DDF
││                           PDFDCeee.PDF／$DF／DDF
│├MMFILE....................ボイスメモ、i モーション（AAC形式の
││└MUDeee                   音楽データを含む※1）、WMAファイル
││                           用フォルダ
││                           MMFgggg.MP4／ASF／3GP／SDV／
││                           M4A
│├RINGER....................メロディファイル用フォルダ
││└RUDeee                   RINGgggg.MLD／SMF／MID
│├STILL.....................その他画像ファイル用フォルダ
││└SUDeee                   STILgggg.JPG／GIF／SWF
│├TORUCA....................トルカフォルダ
││└TRCeee                   TORUCeee.TRC
│├LCSCLIENT.................現在地通知先ファイル用フォルダ
││└LSCeee                   LSCDCeee.LSC
│├DECOIMG...................デコメ絵文字®用フォルダ
││└DUDeee                   DIMGgggg.JPG／GIF
│├OTHER.....................その他ファイル用フォルダ
││└OUDeee                   OTHEReee.hhh
││                           jjjjjjjj.hhh
││                           jjjjjjjj.doc／docx／xls／xlsx／ppt／
││                           pptx／png／bmp
│├DECO_A_T..................デコメアニメ®テンプレート用フォルダ
││                           DEATgggg.VGT
│├BACKUP....................バックアップ用フォルダ
││├SD_PIM
│││├ADDRESS.................ADDRESS.VCF
│││├SCHEDULE................SCHEDULE.VCS
│││├MAIL
││││├INBOX..................INBOX.VMG
││││├OUTBOX.................OUTBOX.VMG
││││└SENTBOX................SENTBOX.VMG
│││└BOOKMARK................BOOKMARK.VBM
││└SETTING...................SETTING.VNT
│├BOOK......................マンガ・ブックリーダーフォルダ
││                           kkkkkk.ZBF／ZBK／TXT／TEXT
││└kkkkkk...................ユーザフォルダ
││                           kkkkkk.ZBF／ZBK／TXT／TEXT※2
│└TABLE.....................管理情報フォルダ※3
└SHARP
 ├IMPORT....................インポートフォルダ
 │                           mmmmmm.VCF／VCS／VNT／VMG／
 │                           VBM／MLD／SMF／MID／JPG／GIF／
 │                           SWF／MP4／ASF※4／3GP／M4A／
 │                           WMV／WMA／MP3／ZBF／ZBK／
 │                           TXT／TEXT／DOC／XLS／PPT／
 │                           DOCX／XLSX／PPTX／PNG／BMP
 │                           ffffff.PDF／$DF
 ├MOBILE
 │└USERDIC..................ユーザ辞書データ、メール文章履歴用
 │                           フォルダ
 │                           xxyyzznn.SUJ／SBR／SBG
 └FOMADATA
  ├ImgCache
  └Thumbs
   └OTHER...................その他ファイルのサムネイル画像用フォ
    │                        ルダ
    │                        jjjjjjjj.jpg
    └OUDeee
SD_BIND
└SVC00001～SVC00004※5※6
```

データ管理

📁DEVPROF .... ブルーレイディスクレコーダーから転送される動画の再生能力通知用フォルダ PF0804.PRF

※1 格納できるデータの種類については☞P.351
※2 ユーザフォルダ名とファイル名(拡張子を除く)合わせて全角・半角問わず227文字以内
※3 [TABLE]フォルダの下には[DCIM]、[MMFILE]、[RINGER]、[LCSCLIENT]、[STILL]、[SD_VIDEO]、[DOCUMENT]、[TORUCA]、[DECOIMG]、[OTHER]、[DECO_A_T]それぞれについて、付加情報を格納するフォルダがあります。
※4 ASFのファイル形式については、iモーションとムービーの2種類があります。
■ iモーションのファイル形式については☞P.351
■ ムービーのファイル形式については☞P.206
※5 移行可能コンテンツ、iアプリデータ、着うたフル®、電子コミック、Music&Videoチャネル、画面メモから取得した番組をmicroSDカードに保存した際、[SVC00001]から順にフォルダが作成されます。
※6 次の場合は、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを参照できなくなることがあります。そのときは、microSDカードをSH-01Cで初期化(☞P.375)することをおすすめします。なお、microSDカードを初期化すると、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを含むすべてのデータが消去されますのでご注意ください。
■ [移行可能コンテンツ]フォルダ内([SD_BIND]フォルダ内)のデータをパソコンで削除・移動・編集したとき
■ データを移動・削除・保存中にmicroSDカードや電池パックを抜いたりしたとき

- パソコンでmicroSDカードにデータを保存しようとしたときに該当するフォルダがないときは、フォルダ構成に従ってフォルダを作成してからデータを保存してください。
- GIFアニメーションファイルは[STILL]フォルダに入り、それ以外のGIFファイル(デコメ絵文字®を除く)は[DCIM]フォルダに入ります。
- Flash画像は[STILL]フォルダに入ります。
- パソコンでフォルダ名の変更や削除をすると、FOMA端末でmicroSDカードのデータを正しく表示できなくなります。
- FOMA SH901iSより前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥DOCUMENTフォルダにPDFデータを保存しているときは、¥PRIVATE¥DOCOMO¥DOCUMENT¥PUDxxxフォルダに移動する必要があります。移動してからmicroSDカードの管理情報を更新してください。
- FOMA SH902i以前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥VOICEフォルダに音のみのiモーション(AAC形式の音楽データを含む)を保存しているときは、¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILE¥MUDxxxフォルダに移動する必要があります。移動してからmicroSDカードの管理情報を更新してください。
- SH-01Aより前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥BOOKフォルダに電子書籍などを保存しているときは、マンガ・ブックリーダーの表示フォルダ切替で[マンガ・ブックリーダー2]を選択すると表示できます。

■ microSDカードの保存件数

- 保存するデータの大きさや、microSDカードの容量によっては、件数が少なくなることがあります。

機　能	件　数
電話帳、メモ※1、Bookmark、iモードメール/SMS/エリアメール	合わせて最大9999件
静止画	999フォルダ※2/1フォルダ最大1000件
iモーション	999フォルダ/1フォルダ最大1000件
画面メモ	最大1000件
Music&Videoチャネル	最大999件※3
メロディ	999フォルダ/1フォルダ最大1000件
PDF	999フォルダ/1フォルダ最大999件
きせかえツール	999フォルダ/1フォルダ最大1000件
マチキャラ	999フォルダ/1フォルダ最大1000件
トルカ	999フォルダ/1フォルダ最大999件
現在地通知先	999フォルダ/1フォルダ最大999件
デコメアニメ®テンプレート	最大400件

※1 スケジュールも含みます。
※2 カメラフォルダ(静止画)の最大作成可能件数は900件です。
※3 フォルダを合わせた件数です。

- ワンセグの保存件数については☞P.257
- ミュージックプレーヤーの保存件数については☞P.272

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータをコピーする

FOMA端末からmicroSDカード、microSDカードからFOMA端末にデータをコピーします。

● コピーできるのは次のデータです。

■ 電話帳 ■ メモ ■ Bookmark
■ iモードメール／SMS／エリアメール ■ 画像
■ iモーション ■ メロディ ■ PDF
■ トルカ ■ 電子書籍／電子辞書／電子コミック
■ 現在地通知先 ■ デコメアニメ®テンプレート
■ ビデオ（FOMA端末→microSDカードのみ）

● microSDカードにデータをコピーすると、管理情報もmicroSDカードに書き込まれます。
● ファイル制限のあるデータはmicroSDカードにコピーできません。
● データのサイズやmicroSDカードのメモリ使用状況によっては、microSDカードにコピーできないことがあります。
● メロディは100Kバイト、Flash画像は500Kバイト、JPEG画像は10Mバイト、GIF画像は2Mバイト、PDFデータは2Mバイト、iモーションは10MバイトまでFOMA端末にコピーできます。

電話帳について

● microSDカードにコピーすると、名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの登録場所が変わることがあります。
● 次の情報はmicroSDカードにコピーされません。

■ メモリ番号 ■ グループ設定 ■ シークレット属性設定
■ シークレットコード ■ 着信音 ■ 着信バイブレータ
■ 着信イルミネーションパターン
■ 着信イルミネーションカラー
■ テレビ電話代替画像 ■ 電話帳2in1設定
■ <画像選択･撮影>欄に設定したiモーション

● 名前が未登録のデータがFOMA端末にコピーされたときは[No Name]と表示されます。

メモについて

● 次の情報はmicroSDカードにコピーされません。

■ アラーム設定（日時、アラーム音）以外のアラーム･リマインド設定
■ 添付（関連するメール） ■ 共有設定
■ シークレット属性設定 ■ 視聴予約、録画予約
■ 休日設定、祝日設定 ■ 誕生日データ

● 終了日時が入力されていないデータをmicroSDカードにコピーすると、終了日時に開始日時が設定されます。

Bookmarkについて

● フォルダ情報はmicroSDカードにコピーされません。

メールについて

● 1件あたり最大100Kバイトを超えるメールは、添付ファイルが削除されてmicroSDカードにコピーされます。
● フォルダ情報はmicroSDカードにコピーされません。
● microSDカードにコピーしたメールは保護設定できません。

画像について

● Flash画像は500Kバイト、JPEG画像は10Mバイト、GIF画像は2MバイトまでmicroSDカードにコピーできます。
● JPEG画像をmicroSDカードにコピーすると、画像のファイルサイズが変わることがあります。このとき、microSDカード側で表示されるサイズが実際のファイルサイズになります。
● フレーム画像はmicroSDカードにコピーされません。

PDFについて

● PDFデータは2MバイトまでmicroSDカードにコピーできます。
● ダウンロードに失敗したPDFデータはmicroSDカードにコピーできないことがあります。

電子書籍／電子辞書／電子コミックについて

● ビューアポジションで横表示のときはコピーできません。縦表示に切り替えてからコピーしてください。

現在地通知先について

● FOMA端末に同じ電話番号の現在地通知先が存在する場合、microSDカードからFOMA端末へ追加コピーできません。

- SH-01CでmicroSDカードに全件コピーした現在地通知先は、SH-01Bより前に発売された機種では表示することができません。SH-01CでmicroSDカードにコピーした現在地通知先をSH-01Bより前に発売された機種で表示するには、1件コピーしてください。

ビデオについて

- ダビング10に対応している番組のビデオは9回目までmicroSDカードにコピーできます。

フォルダ一覧画面でデータをコピーする
<microSDへ全件コピー／本体へ全件コピー>

例：iモーションのとき

1 **ノーマルメニューで[データBOX]▶[iモーション・ムービー]（▶[→microSD]）※1**

※1　保存場所がmicroSDカードのとき

2 **MENU▶[microSDへ全件コピー]／[本体へ全件コピー]▶端末暗証番号を入力**

3 **（コピー先フォルダにカーソルを合わせる▶📷▶）※2[はい]**

※2　[本体へ全件コピー]のとき

データ一覧画面でデータをコピーする
<microSDへコピー／本体へコピー>

例：iモーションのとき

1 **ノーマルメニューで[データBOX]▶[iモーション・ムービー]（▶[→microSD]）※1**

※1　保存場所がmicroSDカードのとき

2 **iモーションにカーソルを合わせる▶MENU▶[移動／コピー]▶[microSDへコピー]／[本体へコピー]**

3 **コピー方法を選ぶ**

- **[1件コピー]▶コピー先フォルダにカーソルを合わせる▶📷**
- **[選択コピー]▶iモーションを選ぶ▶📷▶（コピー先フォルダにカーソルを合わせる▶📷▶）※2[はい]**
- **[フォルダ内全件コピー]▶端末暗証番号を入力▶（コピー先フォルダにカーソルを合わせる▶📷▶）※2[はい]**

※2　[本体へコピー]のとき

内容表示画面でデータをコピーする
<microSDへ1件コピー／本体へ1件コピー>

例：iモーションのとき

1 **ノーマルメニューで[データBOX]▶[iモーション・ムービー]（▶[→microSD]）※**

※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 **iモーションを選ぶ▶MENU▶[移動／コピー]▶[microSDへ1件コピー]／[本体へ1件コピー]**

3 **コピー先フォルダにカーソルを合わせる▶📷**

コンテンツ移行対応

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータを移動する

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータを移動することができます。サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているデータも移動できます。また、録画したビデオをmicroSDカードに移動することができます。

- 移動できるのは次のデータです。
  - 画像
  - iモーション
  - メロディ
  - 着うたフル®
  - きせかえツール
  - マチキャラ
  - 電子書籍／電子辞書／電子コミック
  - Music&Videoチャネル
  - 画面メモ
  - ビデオ（FOMA端末→microSDカードのみ）
  - PDF

データ管理

次ページへ続く▶▶

- 移動の可否やビデオの残りのコピー回数についてはデータの[情報表示]から確認できます(☞P.380)。

- microSDカードに移動したデータをFOMA端末へ移動できるのは、次の場合です。
  - ■ データの詳細情報でFOMA端末への移動が[可]の場合に、データ取得時と同じドコモUIMカードを挿入しているとき
  - ■ データの詳細情報でFOMA端末への移動が[可(同一機種間)]の場合に、データ取得時と同じ機種に同じドコモUIMカードを挿入しているとき
- FOMA端末またはmicroSDカードに移動できる画像やｉモーションなどのサイズは、コピーする場合と同様です(☞370)。

ｉモーションについて

- 着信音設定、着信画像設定が[可]のｉモーションをmicroSDカードへ移動したあと、再びデータBOXのｉモーション・ムービーの[外部取得データ]フォルダへ移動した場合、着信音設定、着信画像設定は[不可]に変更されます。待受画面設定は[可]のままです。

着うたフル®について

- ファイル種別から[ｉモード(本体)]または[ｉモード(microSD)]を選択しているときのみ、選択移動と全件移動できます。
- プレイリストに登録している着うたフル®を移動すると、プレイリストから再生できなくなります。

電子書籍／電子辞書／電子コミックについて

- ビューアポジションで横表示のときは移動できません。縦表示に切り替えてから移動してください。

フォルダ一覧画面でデータを移動する

<microSDへ移動／本体へ移動>

例：ｉモーションのとき

1 ノーマルメニューで[データBOX] ▶ [ｉモーション・ムービー](▶ [→microSD])※1

※1　保存場所がmicroSDカードのとき

2 MENU ▶ [microSDへ移動]／[本体へ移動]

3 [全件移動] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ [はい]

- コンテンツ移行対応データの移動先フォルダを指定するとき：[移動先選択] ▶ 移動先フォルダにカーソルを合わせる ▶ 📷

4 (移動先フォルダにカーソルを合わせる ▶ 📷 ▶)※2 [はい]

※2　[本体へ移動]のとき

例：PDFのとき

1 ノーマルメニューで[データBOX] ▶ [マイドキュメント](▶ [→microSD])※

※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 MENU ▶ [microSDへ全件移動]／[本体へ全件移動] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ [はい]

3 移動先フォルダにカーソルを合わせる ▶ 📷

データ一覧画面でデータを移動する

<microSDへ移動／本体へ移動>

例：ｉモーションのとき

1 ノーマルメニューで[データBOX] ▶ [ｉモーション・ムービー](▶ [→microSD])※1

※1　保存場所がmicroSDカードのとき

2 ｉモーションにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [移動／コピー] ▶ [microSDへ移動]／[本体へ移動]

3 移動方法を選ぶ

- ◆ **[1件移動] ▶ 移動先フォルダにカーソルを合わせる ▶ 📷**
- ◆ **[選択移動] ▶ ｉモーションを選ぶ ▶ 📷 ▶ [はい](▶ 移動先フォルダにカーソルを合わせる ▶ 📷)※2**
- ◆ **[フォルダ内全件移動] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ [はい](▶ 移動先フォルダにカーソルを合わせる ▶ 📷)※2**
- コンテンツ移行対応データの移動先フォルダを指定するとき：[移動先選択] ▶ 移動先フォルダにカーソルを合わせる ▶ 📷

データ管理

- コンテンツ移行対応データを選択した場合は、フォルダを選ぶ必要はありません。
- データによっては、操作が異なる場合があります。

※2 ［本体へ移動］のとき

内容表示画面でデータを移動する

<microSDへ1件移動／本体へ1件移動>

例：iモーションのとき

1 ノーマルメニューで［データBOX］▶［iモーション・ムービー］（▶［→microSD］）※

※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 iモーションを選ぶ▶MENU▶［移動／コピー］▶［microSDへ1件移動］／［本体へ1件移動］

- コンテンツ移行対応データのときは、操作完了となります。

3 移動先フォルダにカーソルを合わせる▶📷

バックアップ／復元

FOMA端末のデータを一括してバックアップ／復元する

電話帳、メールなどのデータと各種設定情報が、一括してバックアップ／復元されます。

- 次のデータがバックアップ／復元されます。
  - ■ 電話帳　■ メール　■ Bookmark
  - ■ メモ
- 次の設定がバックアップ／復元されます。
  - ■ メールの振分け条件設定※
  - ■ 署名編集設定
  - ■ 受信・自動送信表示
  - ■ メール受信添付ファイル設定
  - ■ 緊急速報「エリアメール」設定
  - ■ メール送受信履歴
  - ■ メモリ別着信許可
  - ■ 着信拒否設定
  - ■ メール表示画面の文字サイズ設定
  - ■ メール選択受信設定
  - ■ メッセージ自動表示設定
  - ■ 添付ファイル自動再生設定
  - ■ メール／メッセージ問合せ設定
  - ■ メモリ登録外着信拒否
  - ■ メモリ別着信拒否
  - ■ 伝言メモ設定
  - ■ 伝言メモの応答時間
  - ■ ユーザ辞書
  - ■ アラーム
  - ■ リダイヤル／着信履歴
  - ■ 学習された文字変換候補

※ バックアップされる振分け条件は、アドレス（差出人）、グループ、題名です。

1 ノーマルメニューで［便利ツール］▶［microSD］▶［バックアップ／復元］

2 項目を選ぶ

◆ **［microSDへバックアップ］▶端末暗証番号を入力▶［はい］**

◆ **［本体へ復元］▶端末暗証番号を入力▶［はい］**

- 復元すると、電話帳、メール、Bookmark、メモのすべてのデータと設定情報が、バックアップデータにより上書きされます。
- 復元を実行すると、セルフモード（☞P.127）になります。セルフモード中は電話着信やメール受信などが利用できません。

◆ **［バックアップデータ参照］▶データ種別を選ぶ▶バックアップデータを選ぶ**

◆ **［バックアップデータ削除］▶端末暗証番号を入力▶［はい］**

［microSDへバックアップ］について

- バックアップデータは前回のデータに上書き保存されます。
- バックアップの対象となるデータがFOMA端末に保存されていない場合は、バックアップを実行できません。
- バックアップを中止した場合は復元できません。再度バックアップをやり直してください。
- microSDカードの空き容量が不足している場合は、一部のデータがバックアップされません。不要なデータを削除して空き容量を増やすか、空き容量が十分あるmicroSDカードを挿入してからバックアップをやり直してください。
- バックアップ中は他の機能を起動できません。
- バックアップには時間がかかることがあります。
- メールやBookmarkは、フォルダ情報もバックアップされます。
- 電話帳をバックアップするときは、プロフィールの保存確認画面が表示されます。

- 電話帳に登録した名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの登録場所が変わることがあります。
- 電話帳2in1設定もバックアップされます。
- 電話帳の次の情報はバックアップされません。
  - ■ シークレットコード ■ 着信音 ■ 着信バイブレータ
  - ■ 着信イルミネーションパターン
  - ■ 着信イルミネーションカラー
  - ■ テレビ電話代替画像 ■ ドコモUIMカード内の電話帳
  - ■ グループ名以外のグループ設定
  - ■ 再配布不可の画像ファイル
- メモの次の情報はバックアップされません。
  - ■ アラーム設定（日時、アラーム音）以外のアラーム・リマインド設定
  - ■ 添付（関連するメール） ■ 共有設定
  - ■ 視聴予約、録画予約 ■ 休日設定、祝日設定
- 終了日時が入力されていないデータをバックアップすると、終了日時に開始日時が設定されます。
- メールの次の情報はバックアップされません。
  - ■ ｉアプリTo ■ 再配布不可の添付ファイル
  - ■ ドコモUIMカード内のSMS ■ Bアドレスの署名
  - ■ フォルダシークレット

［本体へ復元］について

- データが存在しない状態でバックアップされた機能は、復元するとバックアップ後に保存したデータがすべて削除されます。
- バックアップデータがmicroSDカードに保存されていない場合は、復元を実行できません。
- 本FOMA端末以外で復元すると、バックアップされたデータや設定情報が復元されない場合があります。
- 復元を中止した場合は、一部のデータが復元されません。再度復元をやり直してください。
- FOMA端末のメモリの空き容量が不足している場合は、一部のデータが復元されません。
- 復元中は他の機能を起動できません。
- 電話帳の＜画像選択・撮影＞欄に設定した画像も復元されます。ただし、ｉモーションは、復元されません。
- メールは、転送に時間がかかることがあります。
- 設定情報を復元した場合は設定情報の結果が表示されます。

［バックアップデータ参照］について

- バックアップされた設定情報の確認や、FOMA端末へのコピーはできません。
- ｉモードのBookmarkには［］、フルブラウザのBookmarkには［］が表示されます。

個別バックアップ／復元

FOMA端末のデータをデータ種別ごとにバックアップ／復元する

ユーザ辞書、メール文章履歴を個別にバックアップ／復元できます。

1 ノーマルメニューで［便利ツール］▶［microSD］▶［個別バックアップ／復元］

2 項目を選ぶ▶［バックアップ］／［復元］

- 電池残量が少ないときはバックアップできません。
- バックアップされたデータは、他のFOMA端末で読み込んでも利用できないことがあります。

microSD

microSDカードのデータをプレビューする

1 ノーマルメニューで［便利ツール］▶［microSD］

2 データを選ぶ

- microSDデータ詳細画面やmicroSDデータ一覧画面のサブメニューから、FOMA端末へコピーなどの操作ができます。

microSDカードを管理する

microSDカードに保存されているデータを管理するために、初期化や管理情報の更新などができます。

microSDカードの使用状況を確認する

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[microSD]▶MENU
- 表示される単位の切替：✉

microSDカードを初期化する

● 初期化を行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[microSD]▶📷

2 端末暗証番号を入力▶[はい]

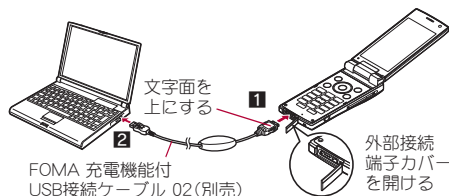
● 電池残量が少ないときは初期化できません。
● 実行中はmicroSDカードを抜かないでください。
● 初期化を中止すると、microSDカードがFOMA端末やパソコンなどで認識されなくなります。認識されなくなったときは、初期化をやり直してください。
● microSDカードの種類によっては、著作権保護機能に対応していないため、初期化できないことがあります。microSDカードを挿入し直すとご使用いただけることもありますが、そのmicroSDカードはFOMAサポート対象となっていないため、データの保存やコピーなどの保証はいたしかねます。
● microSDカードの製造メーカや容量などについては☞P.365

microSDリーダーライターとして使う

FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）でパソコンに接続して利用するときのモードには、複数のモードがあります。microSDリーダーライターとして使う場合は、[microSDモード]で接続してください。

● 通信モード動作中は、USBモードの変更はできません。

1 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のFOMA端末側コネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む（1）

2 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のパソコン側コネクタをパソコンのUSBコネクタに差し込む（2）

3 待受画面に[USB]表示▶◉▶[USB]を選ぶ

4 [microSDモード]▶[はい]

■ USBモードを設定する<USBモード>

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を接続して利用するモードを、あらかじめ設定しておくことができます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[外部接続]▶[USBモード]

2 モードを選ぶ
- 設定できるモードは次のとおりです。
  - ■ 通信モード：パケット通信、64Kデータ通信、データの送受信（OBEX™通信）をするときのモードです（☞P.478）。

データ管理

次ページへ続く▶▶

■ microSDモード：microSDカードのデータを読み込み／書き込みするときのモードです。
■ MTPモード：Windows Media Player 11／12を利用してmicroSDカードに音楽データを転送するときのモードです。登録方法については☞P.273

3 **[はい]**

- FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして利用するには、次の機器が必要です。

項　目	説　明
接続ケーブル	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02
パソコン	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1／2.0準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	Windows XP、Windows Vista、Windows 7（いずれも日本語版）

- パソコンに、新しいハードウェアを検索する旨の画面が表示された場合は[キャンセル]をクリックしてください。
- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていないときは、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。パソコンの電源についても確認してください。
- microSDモードへの切り替え中やmicroSDモード中はmicroSDカードを抜かないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- データの読み込み／書き込み中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

microSDカードの管理情報を更新する

microSDカードを他の機器で利用したときは、microSDカードの管理情報を更新する必要があります。

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[microSD]▶[✉]**

2 **項目を選ぶ▶[📷]▶[はい]**

- 電池残量が少ないときは管理情報を更新できません。
- microSDカードの空き容量がないときは、管理情報を更新できないことがあります。
- FOMA端末で管理情報を更新しないと、microSDカードが正しく動作しないことがあります。
- microSDカード内のファイル数やデータ量によっては、管理情報の更新が完了するまで時間がかかることがあります。
- 更新中はmicroSDカードを抜かないでください。
- 更新中に次の機能はご利用になれません。
  ■ iアプリ　■ 静止画・動画撮影　■ バーコードリーダー
  ■ ドキュメントビューア　■ 赤外線受信
  ■ microSDカードのメモリ確認
  ■ 各機能からのmicroSDデータ参照

パソコンなどで作成したデータをFOMA端末で確認する<インポート>

パソコンで作成したデータなどをmicroSDカードのインポートフォルダに置くと、FOMA端末で確認できます。

- [ミュージック]を選択した場合は、microSDカードの[SD_BIND]フォルダ内の着うたフル®が表示されます。

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[microSD]▶[インポート]**

2 **データを選ぶ**

- 通常のデータ操作と同様に、サブメニューからデータの削除、コピーまたは移動、情報表示などが利用できます。

データ管理

- 4800×3600ドットを超えるJPEG画像、2048×2048ドットを超えるGIF画像は表示できないことがあります。その場合は、サムネイル画像を表示することもあります。
- PDFデータはインポートフォルダにある状態では表示できません。FOMA端末にコピーしてから表示してください。
- ムービーはFOMA端末にコピーできません。
- 次のようなメールは、添付ファイルの一部または全部が削除されます。
  - ■ 添付ファイルの合計が100Kバイトを超えるメール
  - ■ 添付ファイルが合計11件以上添付されているメール
- インポートフォルダのPIMデータ、静止画、ｉモーション、メロディ、PDFデータのファイル名は、全角・半角を問わず227文字以内(拡張子を除く)です。制限を超えているデータは表示されず、インポートできません。
- ファイル名が英小文字で８文字以下のときは、インポートフォルダでは英大文字で表示・インポートされます。
- インポートフォルダからFOMA端末にデータをコピーする場合、ファイル名に特殊な記号やカタカナが含まれているときは、コピーできないことがあります。

インポートフォルダ内のデータを一括で振り分ける<microSD一括振分け>

microSDカードのインポートフォルダに保存したデータを、一括でそれぞれのフォルダに振分けできます。

- 振分けできるのは、次の機能のデータです。
  - ■ メロディ ■ マイピクチャ ■ ｉモーション
  - ■ マイドキュメント ■ 電子書籍／電子辞書／電子コミック
  - ■ Microsoft Wordファイル、Microsoft Excelファイル、Microsoft PowerPointファイル
  - ■ 電話帳 ■ メール ■ Bookmark
  - ■ メモ ■ BMP画像 ■ PNG画像

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[microSD]▶[インポート]▶MENU▶[はい]

- 一括振分け中に振分け先フォルダ内の件数がいっぱいになった場合、新しいフォルダを自動で作成して振り分けます。ただし、電子書籍／電子辞書／電子コミック、Microsoft Wordファイル、Microsoft Excelファイル、Microsoft PowerPointファイル、BMP画像、PNG画像の場合、新しいフォルダは作成されません。

ｉモーションについて

- インターネットでダウンロードした動画は振り分けされません。
- 拡張子が「.m4a」のデータは拡張子を「.3gp」に変換して、microSDカードの¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILE¥MUDxxxフォルダへ振り分けされます。

電子書籍／電子辞書／電子コミックについて

- テキスト形式のファイルは、XMDF形式のファイルと同じようにmicroSDカードの¥PRIVATE¥DOCOMO¥BOOKフォルダへ振り分けされます。

各種フォルダを管理する

■ ユーザフォルダを作成する<フォルダ新規作成>

- データBOXでは、各データ種別ごとに最大20個のユーザフォルダを新規作成できます。
- マンガ・ブックリーダーでは、最大397個のユーザフォルダを作成できます。[マンガ]フォルダについては、フォルダ内にさらに最大999個のフォルダを作成することができます。

1 フォルダ一覧画面でMENU▶[フォルダ管理]▶[フォルダ新規作成]

2 フォルダ名を入力▶📷

- microSDカード内にユーザフォルダを作成するとき、作成するフォルダの種類を選択できる場合があります。
- データBOX内のときは、全角９文字(半角18文字)まで入力できます。
- [移行可能コンテンツ]フォルダ内のときは、全角10文字(半角20文字)まで入力できます。

次ページへ続く▶▶

- マンガ・ブックリーダー内のときは、全角・半角問わず64文字まで入力できます。ただし、[マンガ]フォルダ内のときは、全角10文字(半角20文字)までです。

■ フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

ユーザフォルダおよび[移行可能コンテンツ]フォルダ内のフォルダ名を変更することができます。

1 フォルダにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [フォルダ管理] ▶ [フォルダ名編集]

2 フォルダ名を編集 ▶ 📷

■ ユーザフォルダにセキュリティを設定する<フォルダセキュリティ>

FOMA端末内のユーザフォルダにセキュリティを設定できます。

- ワンセグとMusic&Videoチャネル、マンガ・ブックリーダーでは、ユーザフォルダ以外でもフォルダセキュリティを設定できます。
- フォルダ内を表示するときは、端末暗証番号を入力します。
- マイピクチャ、ｉモーション・ムービーの場合、フォルダセキュリティを[ON(シークレット)]に設定すると、フォルダは表示されなくなります。シークレットモードを[ON]に設定すると表示されます(☞P.131)。
- クイック検索で内蔵辞書を利用する場合、内蔵辞書登録(☞P.423)された電子辞書はフォルダセキュリティの対象外となります。
- フォルダセキュリティを[ON(シークレット)]に設定すると、待受画面などに設定されている画像は表示されません。[ON(シークレット)]に設定している場合、シークレットモードを[ON]に設定すると表示されます。

フォルダセキュリティ設定中のフォルダマーク

🔒:ON
🔑:ON(シークレット)

- フォルダマークのデザインは、機能や表示切替の設定によって異なる場合があります。

1 ユーザフォルダにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [フォルダ管理] ▶ [フォルダセキュリティ]

2 端末暗証番号を入力

3 設定を選ぶ

■ ユーザフォルダを削除する<削除>

1 ユーザフォルダにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [削除]

2 削除方法を選ぶ

- ◆ **[フォルダ1件削除]**
- ◆ **[フォルダ選択削除] ▶ フォルダを選ぶ ▶ 📷**
  - マンガ・ブックリーダーのとき:[フォルダ選択削除] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ フォルダを選ぶ ▶ 📷 ▶ [はい]
- ◆ **[全フォルダ内全件削除]**
- ◆ **[全フォルダ削除]**

3 端末暗証番号を入力 ▶ [はい]

- マンガ・ブックリーダーの場合、ビューアポジションで横表示のときはフォルダ選択削除できません。縦表示に切り替えてから削除してください。

各種データを管理する

■ タイトルを編集する<タイトル編集>

- タイトル名はデータ一覧などで表示される名前です。

1 データにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [編集・情報表示] ▶ [タイトル編集]

- データによっては[タイトル編集]を選択したあと、[直接入力](または[タイトル編集])/[オリジナルタイトルに戻す]を選択します。

2 タイトルを編集 ▶ 📷

- 全角25文字(半角50文字)まで入力できます。電子書籍/電子辞書/電子コミックは全角・半角問わず64文字まで、Music&Videoチャネルは全角126文字(半角253文字)まで入力できます。

■ ファイル名を編集する<ファイル名編集>

- ファイル名はデータをｉモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。

1 データにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [編集･情報表示] ▶ [ファイル名編集]

2 ファイル名を編集 ▶ 📷

- 半角36文字まで入力できます。電子書籍／電子辞書／電子コミックは、全角･半角問わず64文字まで入力できます。

- 半角8文字以内のファイル名および拡張子の英字は、半角小文字が半角大文字に変わることがあります。
- [プリインストール]フォルダ内のデータなど、データによってはファイル名を編集できないものもあります。

■ データの分類情報を登録する<分類登録>

登録した分類情報でデータ検索ができます。また、分類が[アルバム]のものは選択した項目で表示することができます。

- ミュージック内とMusic&Videoチャネル内のデータには分類情報を登録できません。

1 データにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [分類登録] ▶ 分類を選ぶ

2 登録方法を選ぶ

◆ **[1件登録]**
◆ **[選択登録] ▶ データを選ぶ ▶ 📷**

3 分類を設定する

- 分類が[アルバム]／[シーン]のとき：項目を選ぶ ▶ 📷
  - ☑は設定、□は解除の状態です。
- 分類が[お気に入り]のとき：お気に入り度を選ぶ
- 分類が[コメント]のとき：コメントを入力
  - 全角14文字(半角29文字)まで入力できます。

4 [はい]

- [アルバム]と[シーン]はマイピクチャ内とｉモーション･ムービー内のデータのみ設定できます。

■ データの閲覧回数をクリアする<閲覧回数のクリア>

1 データにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [分類登録] ▶ [閲覧回数のクリア]

2 クリア方法を選ぶ

◆ **[1件クリア]**
◆ **[選択クリア] ▶ データを選ぶ ▶ 📷**

3 [はい]

■ データを並べ替える<ソート>

例：マイピクチャのとき

1 データ一覧画面で MENU ▶ [静止画設定] ▶ [ソート]

2 ソート方法を選ぶ

- microSDカード内データのファイル制限を変更すると日時情報が更新されるため、情報表示の保存日時で表示される日時と日付順でソートした結果が一致しないことがあります。

■ データを別のフォルダに移動する<フォルダ間移動>

1 データにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [移動／コピー] ▶ [フォルダ間移動]

2 移動方法を選ぶ

◆ **[1件移動]**
◆ **[選択移動] ▶ データを選ぶ ▶ 📷**
◆ **[フォルダ内全件移動] ▶ 端末暗証番号を入力**

3 移動先フォルダにカーソルを合わせる ▶ 📷

- マンガ･ブックリーダーのとき：移動先フォルダを選ぶ
- データの移動中に CLR や ⌒ を押すと、中止を示すメッセージが表示されますが、移動処理は中止されません。

- マイピクチャ、メロディ、マンガ･ブックリーダーの[プリインストール]フォルダ内のデータは移動できません。
- ユーザフォルダがないときは移動できません。ただし、静止画はマイピクチャの[自動お預かり]フォルダへ移動できる場合があります。

次ページへ続く ▶▶

- 移動先フォルダの最大保存件数を超えるデータは移動できません。microSDカードの保存件数については☞P.369
- microSDカードの[動画(その他)]フォルダ内のデータは[動画(QVGA以下)]には移動できません。
- マンガ・ブックリーダーの場合、ビューアポジションで横表示のときは移動できません。縦表示に切り替えてから移動してください。
- 再配布不可のデータは[自動お預かり]フォルダへ移動できません。

■ 詳細情報を表示する<情報表示>

1 データにカーソルを合わせる▶MENU▶[編集・情報表示]▶[情報表示]

- 表示される情報は、データによって異なります。

■ データを削除する<削除>

1 データにカーソルを合わせる▶MENU▶[削除]

2 削除方法を選ぶ

◆ **[1件削除]**
◆ **[選択削除]▶データを選ぶ▶📷**
◆ **[フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号を入力**

3 [はい]

- マイピクチャ、メロディの[プリインストール]フォルダ内のデータや、マンガ・ブックリーダーの明鏡モバイル国語辞典、ジーニアスモバイル和英辞典、ジーニアスモバイル英和辞典は削除できません。
- マンガ・ブックリーダーの場合、ビューアポジションで横表示のときは選択削除できません。縦表示に切り替えてから削除してください。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除後にもう一度ご利用になるときは、i Menu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます(☞P.137)。

カメラギャラリーを使う<カメラギャラリー>

データBOXのマイピクチャ、i モーション・ムービーのデータを年月別に本体、microSDカード内のデータから検索し表示することができます。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]/[i モーション・ムービー]▶✉

2 検索する年月を選ぶ

- 全表示:📷

3 データを選ぶ

■ カメラギャラリー画面のサブメニュー操作

- カメラギャラリー画面のサブメニュー操作は、検索設定画面のサブメニュー操作(☞P.381)を参照してください。

■ 検索結果画面のサブメニュー操作

- 検索結果画面のサブメニュー操作は、データ検索の検索結果画面のサブメニュー操作(☞P.381)を参照してください。

データを検索する<データ検索>

タイトル名や保存日付、分類情報などの条件を設定して、条件に合ったデータを検索できます。

- マイピクチャ、i モーション・ムービー、ワンセグ、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、受信/送信メール、Bookmark、その他のデータを検索できます。ただし、受信/送信メール、Bookmarkの場合は、本体に保存されているデータのみ検索できます。
- 複数の条件を設定し、絞り込み検索を行うことができます。
- 検索結果は最大10000件まで表示されます。
- microSDカード内のデータを検索するときは、microSDカードの管理情報を更新してください(☞P.376)。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[データ検索]

2 検索条件を設定

- 設定できる検索方法は次のとおりです。
  - ■ タイトル・メール本文で検索:タイトル名を指定して検索できます。
    - ・全角25文字(半角50文字)まで入力できます。
    - ・検索履歴が最新のものから5件まで記憶されます。履歴を利用するときは履歴の番号を選択します。
  - ■ 保存日付で検索:保存した日付を指定して検索できます。

・[保存日付範囲指定]を選んだときは、日付範囲を入力して📷を押します。

■ ファイルタイプで検索:ファイルのタイプを指定して検索できます。

・フレーム画像、スタンプ画像、Flash画像を検索するときは、[マイピクチャ(その他)]を選択します。

■ 取得元で検索:取得元を指定して検索できます。

■ アルバムで検索:アルバムを指定して検索できます。

■ シーンで検索:シーンを指定して検索できます。

■ お気に入りで検索:お気に入り度を指定して検索できます。

■ コメントで検索:コメントを指定して検索できます。

・全角14文字(半角29文字)まで入力できます。

■ 閲覧回数で検索:閲覧回数を指定して検索できます。

・[回数範囲指定]を選んだときは、開始/終了回数(0～999)を入力して📷を押します。

● 検索条件を設定した項目には[●]が表示されます。

・解除するとき:MENU ▶ [解除]

3 検索を開始するときは📷

● 検索の中断/再開:📷

● フォルダセキュリティ表示が[ON]のときは、端末暗証番号の入力が必要です。

4 検索結果を選ぶ

● 検索結果の並べ替え:i

・並べ替えは、検索結果画面のサブメニュー操作のソートの設定に従います。

● microSDカードの空き容量がなく管理情報が正しく更新されなかった場合、検索結果に表示されないファイルがあります。

■ 検索設定画面のサブメニュー操作

[フォルダセキュリティ表示] ▶ 設定を選ぶ	
[設定確認]	
[表示切替]	☞P.343
[検索先設定] ▶ 検索先を選ぶ	
[検索開始]	
[解除] ● 検索条件を解除します。	

■ 検索結果画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]	
▶ [タイトル編集]	☞P.378
▶ [情報表示]	☞P.380
[1件削除]	☞P.380
[分類登録]	☞P.379
[移動/コピー]	
▶ [microSDへ1件移動]	☞P.373
▶ [microSDへ1件コピー]	☞P.371
▶ [本体へ1件移動]	☞P.373
▶ [本体へ1件コピー]	☞P.371
[検索表示設定]	
▶ [表示切替]	☞P.343
▶ [ソート]	☞P.379
[マイピクチャスライドショー]	
▶ [スライドショー開始]	☞P.347
▶ [スライドショー設定]	☞P.347
▶ [音量設定] ▶ ◎	

アルバムを表示する<アルバム>

分類登録の[アルバム]の項目で検索し、データを表示することができます。

1 ノーマルメニューで[データBOX] ▶ [アルバム]

2 項目を選ぶ ▶ 📷

● ☑は設定、☐は解除の状態です。

メモリの使用状況を確認する

■ FOMA端末のメモリ使用状況を確認する

データBOXのデータ一覧画面でFOMA端末のメモリ使用状況を示す数値が表示されます。

- 表示切替が[ビジュアルメニュー]以外のときは、フォルダ一覧画面（ミュージックを除く）でも表示されます。

メモリ使用量／メモリ全体

マイピクチャの
データ一覧画面の場合

■ 各項目ごとのメモリ使用状況を確認する<メモリ確認>

FOMA端末に保存されているデータの容量や空き容量などを表示します。

- 電話帳、スケジュールの登録件数の確認については☞P.94、P.414

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[その他設定]▶[メモリ確認]

- 表示される単位の切替：📷

- ｉアプリには削除できないものがあるため、ｉアプリの使用量が０%になることはありません。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

データを保存するときにメモリが足りなくなると、上書き確認画面が表示され不要なデータやファイルを削除して保存できます。

1 上書き確認画面で[はい]

2 端末暗証番号を入力

3 データを選ぶ▶MENU▶[はい]

- メモリの確保状態が100%になるまでデータを選択します。
- ミュージックのときは、データにカーソルを合わせて📷を押すと音楽データが再生されます。

赤外線通信

赤外線通信を利用する

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、データを送受信することができます。また、ｉアプリと連携して、赤外線通信機能を搭載した機器と連動させたりできます。

- FOMA端末の赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- FOMA端末の赤外線送受信機能はIrSimple™ 1.0規格に対応しています。
- 赤外線通信中は圏外と同じ状態になり、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
- 通話中やオールロック中、セルフモード中は赤外線通信できません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳やプロフィールの送受信ができません。

赤外線通信で送受信できるデータ

- microSDカード内のデータは送受信できません。ただし、microSDカード内のJPEG画像は送信できます。
- ｉアプリToが貼り付けられたｉモードメールの貼り付け情報は、削除され、送受信されません。

■ FOMA端末から送信できるデータ

機　能	１　件	全　件
電話帳	○	○
スケジュール	○	○
メモ	○	○
ｉモードメール、SMS、エリアメール	○	○
Bookmark	○	○
データBOXの画像、ｉモーション、メロディ、PDF	○	○

機　能	1　件	全　件
プロフィール	○	－
現在地通知先	○	○
トルカ	○	○
デコメアニメ®テンプレート	○	○

- 絵文字をｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信したときは、正しく表示されないことがあります。ｉモード端末でも相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。

電話帳について

- 次の情報は送信されません。
  - シークレットコード
  - 着信音
  - 着信バイブレータ
  - 着信イルミネーションパターン
  - 着信イルミネーションカラー
  - テレビ電話代替画像
- 1件送信では、グループ設定は送信されません。
- シークレット属性設定した電話帳はシークレットモードを［ON］に設定しないと1件送信できません。1件送信した場合、シークレット属性設定は解除されて送信されます。
- 全件送信すると、プロフィールやシークレット属性設定した電話帳も送信されます。

スケジュールについて

- 次の情報は送信されません。
  - アラーム時刻以外のアラーム情報
  - 画像設定
  - 連絡先
  - 視聴予約、録画予約
  - 休日設定、祝日設定
  - 添付（関連するメール）
  - 誕生日データ
- シークレット属性設定したスケジュールはシークレットモードを［ON］に設定しないと1件送信できません。1件送信した場合、シークレット属性設定は解除されて送信されます。
- 全件送信すると、シークレット属性設定したスケジュールも送信されます。
- 全件送信時、ｉスケジュール内予定は送信されません。

メールについて

- 貼り付けられたデータ、添付ファイル、保護メールも送信されます。添付不可のデータは送信できません。
- 100Kバイトを超えるメールは、正しく送信できないことがあります。

画像、ｉモーション、メロディ、PDFについて

- 送信できるデータはJPEG画像10Mバイト、GIF画像2Mバイト、Flash画像500Kバイト、ｉモーション10Mバイト、メロディ100Kバイト、PDF 2Mバイトまでです。
- 赤外線通信で画像を送信すると、画質が劣化したりファイルサイズが変わることがあります。
- 次のようなデータは送信できません。
  - FOMA端末外から取得した、ファイル制限ありのデータ
  - FOMA端末にあらかじめ登録されているデータ
- データBOX内のデータは赤外線通信で送信できないことがあります。
- JPEG画像は高速赤外線通信で送信することができます（☞P.348）。

プロフィールについて

- 受信側では電話帳として保存されます。
- 2in1利用時は、2in1のモードによって表示されるプロフィールが送信されます。

トルカについて

- 次のようなデータは送信できません。
  - 1Kバイトを超えるトルカ
  - 再配布不可のトルカ
  - 100Kバイトを超えるトルカ（詳細）
  - 利用済みトルカ

デコメアニメ®テンプレートについて

- 次のようなデータは送信できません。
  - FOMA端末外から取得した、ファイル制限ありのデコメアニメ®テンプレート
  - FOMA端末にあらかじめ登録されているデコメアニメ®テンプレート

■ FOMA端末で受信できるデータ

機　能	1件	全件	格納場所	格納順
電話帳	○	○	電話帳	1件受信時：メモリ番号、0010～1999→0000～0009の順で未登録番号に登録 全件受信時：メモリ番号の情報に従って登録
スケジュール	○	○	スケジュール	開始日時順
メモ	○	○	メモ	1件受信時：一番上 全件受信時：最終修正日時順
iモードメール、SMS、エリアメール	○	○	iモードメール、SMS	受信／送信／保存日時順
Bookmark	○	○	Bookmark	1件受信時：一番上 全件受信時：利用された順
データBOXの画像、iモーション、メロディ、PDF	○	○	データBOXのマイピクチャ、iモーション・ムービー、メロディ、マイドキュメント	–
プロフィール	○	–	電話帳	メモリ番号、0010～1999→0000～0009の順で未登録番号に登録
現在地通知先	○	○	現在地通知先一覧	–
トルカ	○	○	トルカ	–
デコメアニメ®テンプレート	○	○	デコメアニメ®テンプレート一覧	–

- 全件受信時に上書きを選択すると、該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。

- 全件受信の場合、相手の機種や状態によっては、相手の機種で設定していたフォルダの振分け条件設定が反映されない場合があります。

電話帳について

- 1件受信したデータのグループ設定は、すべて[グループなし]になります。
- 全件受信すると、ご契約の電話番号以外のプロフィールは上書きされます。
- 名前が未登録のデータを受信したときは[No Name]と表示されます。
- 2in1のモードが[デュアルモード]の場合、1件受信したときは、電話帳2in1設定を[A]／[B]／[共通]から選択することができます。全件受信したときは、転送元の2in1属性のまま保存されます。
- ドコモUIMカード電話帳を受信した場合は、FOMA端末に登録されます。

スケジュールについて

- 終了日時が入力されていないデータを受信すると、終了日時に開始日時が設定されます。

メールについて

- 題名が途中までしか受信できないことがあります。

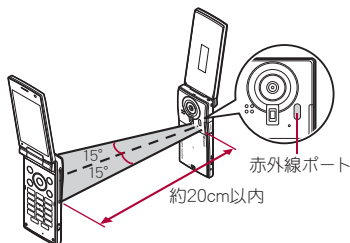
Bookmarkについて

- 相手の機種によってはBookmarkのフォルダ情報が反映されないことがあります。

現在地通知先について

- すでに同じ電話番号の現在地通知先が登録されているときは、重複して登録されません。

赤外線通信機能をお使いになるときのご注意

赤外線ポート
15°
15°
約20cm以内

- 図のように受信側と送信側のFOMA端末の赤外線ポートが約20cm以内に向き合うようにしてください。
- データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。
- IrSS™通信は、片方向通信のため、受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、受信側が受け取れないときでも送信側は正常に終了します。

赤外線通信でデータを送受信する

- 全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

■ データを送信する<赤外線送信>

例：電話帳のとき

1 待受画面で◎

2 名前にカーソルを合わせる▶MENU▶［データ送信］▶［赤外線送信］

3 送信方法を選ぶ

◆ **［送信］**

◆ **［全件送信］▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力**

- 受信者のFOMA端末を受信待ち状態にします。

4 ［はい］

- 全件送信の場合、受信側で入力した認証パスワードと一致すると、送信が開始されます。

- データBOXのデータを全件送信するときは、フォルダ一覧画面から操作してください。

■ データを受信する<赤外線受信>

1 ノーマルメニューで［便利ツール］▶［赤外線／ｉＣ通信］▶［赤外線受信］

- 待受画面で◎（1秒以上）でも操作できます。

2 受信方法を選ぶ

◆ **［受信］▶［はい］**

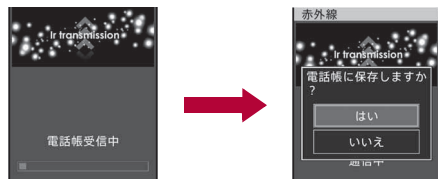
・メモ、スケジュールを1件受信した場合、同じ内容のデータが存在するときは、上書き確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと現在のデータに上書きされます。

◆ **［全件受信］▶端末暗証番号を入力▶送信側と同じ認証パスワードを入力▶［はい］**

・全件受信すると、受信したデータにより上書きされ、保護されているメールやシークレット属性設定した電話帳、スケジュールなども含め、登録していたデータはすべて削除されますので、ご注意ください。ただし、データBOXの画像やｉモーション、メロディ、PDF、またはデコメアニメ®テンプレートの場合、元のデータは削除されずに追加保存されます。

- 送信側のFOMA端末を送信状態にします。
- 受信待ち状態になります。30秒以内に送信側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

次ページへ続く▶▶

例:電話帳を１件受信したとき

3 [はい]

- 受信の中止:受信中に◉

ｉアプリと連携して赤外線通信を行う

起動中のｉアプリから赤外線通信を利用したり、赤外線通信からｉアプリを起動したりできます。

- ｉアプリから赤外線通信を起動する方法については☞P.308

■ 赤外線通信からｉアプリを起動する<赤外線受信>

ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からの赤外線通信中に、ｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトを起動できます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[赤外線／ｉＣ通信]▶[赤外線受信]

2 [受信]▶[はい]

- 受信待ち状態になります。送信側からｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトが起動します。

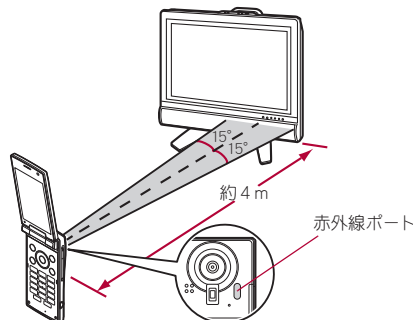
- ｉアプリ待受画面として起動することはできません。

赤外線リモコン機能を利用する<赤外線リモコン>

ｉアプリのソフトからFOMA端末の赤外線ポートを利用して、テレビやビデオなど赤外線リモコンに対応した機器を操作できます。

- 赤外線リモコン機能を利用するときは、赤外線リモコン機能に対応したｉアプリのソフトをダウンロードする必要があります。

■ リモコン操作を行う

赤外線リモコン機能に対応したｉアプリを起動し、FOMA端末の赤外線ポートをテレビやビデオなどのリモコン受光部の正面に向けて、リモコン操作を行います。

- 実際の操作方法はｉアプリのソフトによって異なります。
- 操作できる距離は、約４mです(相手側の機器や周囲の明るさなどによって変わります)。

- セルフモード中は、赤外線リモコン機能を使用できません。
- 相手側の機器によっては、正常に操作できないことがあります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くなどでは、正常に操作できないことがあります。

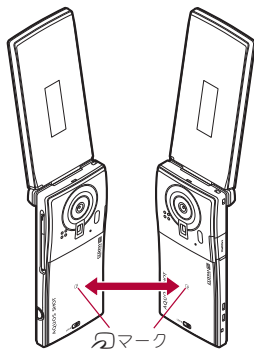
ｉＣ通信を利用する

ｉＣ通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、データを送受信することができます。

- ｉＣ通信中は圏外と同じ状態になり、通話、ｉモード、データ通信などはできません。

- 次の場合はｉＣ通信ができません。
  - ■ 通話中　■ ｉＣカードロック中
- 次の場合はｉＣ通信によるデータの送信ができません。
  - ■ 充電中　■ イヤホン接続中　■ USB接続中
  - ■ HDMI出力中
- データBOXの画像・ｉモーション・メロディ・PDFや、デコメアニメ®テンプレートは全件送受信できません。これ以外の送受信できるデータや各種ロック中の動作については赤外線通信（☞P.382）と同様です。
- ｉアプリからｉＣ通信を起動する方法については☞P.308

ｉＣ通信機能をお使いになるときのご注意

マーク

- 図のように受信側と送信側のFOMA端末のマークを重ね合わせてご利用ください。
- データの送受信が終わるまでは、FOMA端末を動かさないでください。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくいことやFOMA端末を近づけた際にディスプレイの表示が消えてしまうことがあります。そのときは、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- ｉＣ通信中はFOMA端末の着信ランプが点滅します（☞P.118）。

ｉＣ通信でデータを送受信する

- 全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、ｉＣ通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな４桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

■ データを送信する<ｉＣ送信>

例：電話帳のとき

1 待受画面で◎

2 名前にカーソルを合わせる▶MENU▶［データ送信］▶［ｉＣ送信］

3 送信方法を選ぶ

- ◆ ［送信］
- ◆ ［全件送信］▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

4 ［はい］

5 相手のFOMA端末とマークを重ね合わせる

■ データを受信する<ｉＣ受信>

1 待受画面で相手のFOMA端末とマークを重ね合わせる

2 ［はい］

- 全件受信のとき：端末暗証番号を入力▶送信側と同じ認証パスワードを入力▶［はい］
- メモ、スケジュールを１件受信した場合、同じ内容のデータが存在するときは、上書き確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと現在のデータに上書きされます。
- 全件受信すると、受信したデータにより上書きされ、保護されているメールやシークレット属性設定した電話帳、スケジュールなども含め、登録していたデータはすべて削除されますので、ご注意ください。
- 受信の中止：受信中に◉

データ送受信設定
データの送受信機能を設定する

赤外線通信やｉＣ通信、Bluetooth通信、パソコンと接続したデータ転送によるデータ送受信時の動作を設定することができます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[赤外線／ｉＣ通信]▶[データ送受信設定]

2 各項目を設定▶[カメラ]

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 通信終了音：データの送受信完了時に音を鳴らすかどうかを設定できます。
  - ■ 自動認証：パソコンと接続したデータ転送時に認証コードを自動でやりとりするかどうかを設定できます。
    - ・[あり]に設定したときは、認証コードを設定できます。認証コードはそれぞれ４～８桁の半角英数字で入力できます。
  - ■ 電話帳の画像送信：電話帳の全件送信時に電話帳に登録した画像を送信するかどうかを設定できます。

ボイスレコーダー
ボイスレコーダーを利用する

FOMA端末をボイスレコーダーとして利用できます（microSDカードが必要です）。

- 録音距離は、約1.5m以内をおすすめします。
- 録音した音声は、ｉモーションプレーヤー（☞P.351）で再生できます。

ボイスレコーダーで音声を録音する
<ボイスレコーダー>

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[ボイスレコーダー]

STOP
STOP REMAIN 06:00:00

ボイスレコーダー画面

2 ◉

- 録音開始音が鳴り、録音が開始されます。
- 録音一時停止／再開：MENU

3 録音を止めるときは◉

- 次の場合は、自動的に録音が停止します。
  - ■ 残時間表示が00:00:00になったとき
  - ■ 録音時間が約６時間に達したとき
  - ■ microSDカードの空き容量がなくなったとき

4 [保存]

- 録音した音声を保存します。
- 録音した音声の再生：[再生]
- 録音した音声を取り消す：[取消]▶[はい]

- 録音したデータは、ファイル制限なしのファイルとして保存されます。
- 録音中にFOMA端末を閉じても録音は継続されます。
- 録音中に電話がかかってくると、録音が自動的に停止し、電話に出ることができます。通話終了後、保存確認画面が表示されます。

■ ボイスレコーダー画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46

● コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
● 録音 Rec	録音開始／再開※1	II 一時停止 Pause	録音一時停止※2
■ 停止 Stop	録音停止※1※2		

※1　録音一時停止中に表示されます。
※2　録音中に表示されます。

■ ボイスレコーダー画面のサブメニュー操作

[データBOX表示]

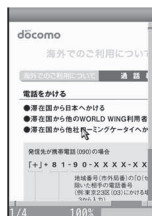
[セルフタイマー] ▶ セルフタイマー時間を選ぶ

PDF対応ビューア

PDFデータを表示する

● 表示するファイルはあらかじめデータBOXの[マイドキュメント]、またはmicroSDカードの¥PRIVATE¥DOCOMO¥DOCUMENT¥PUDxxxフォルダに置いてください。microSDカードに保存したときは、保存してからmicroSDカードの管理情報を更新してください(☞P.376)。

1 ノーマルメニューで[データBOX] ▶ [マイドキュメント]

2 ファイルを選ぶ

内容表示画面

● FOMA端末に対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントは、正しく表示されないことがあります。

● ファイルによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できないこともあります。

● ファイル名に、～、‖、－、¢、£、¬が含まれるPDFデータは非対応です。

■ 内容表示画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
全画面表示	📷	前ページの表示	✉
次ページの表示	i	ページ全体表示（フィット）／等倍表示切替	◉
画面を上下左右にスクロール	✣	画面の縮小	1
表示を90度左回転	2	画面の拡大	3
リンク表示モードに切替	✱	ライトアップ	#（1秒以上）

■ 内容表示画面のタッチパネル操作

● タッチパネルの主な操作については☞P.46

● コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
← 前ページ Back	前ページの表示	→ 次ページ Next	次ページの表示
＋ 拡大 Zoom＋	画面の拡大	－ 縮小 Zoom－	画面の縮小

・データによって表示されるボタンが異なります。ボタンが表示されていない場合は、画面をロングタッチするとコントロールボタンが表示されます。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]

▶ [フォルダ新規作成]　☞P.377

▶ [フォルダ名編集]　☞P.378

▶ [フォルダセキュリティ]　☞P.378

[削除]　☞P.378

[microSDへ全件移動]　☞P.372

[microSDへ全件コピー]　☞P.371

次ページへ続く ▶▶

[データ送信]

▶[赤外線送信] ☞P.385

▶[ｉＣ送信] ☞P.387

[表示切替] ☞P.343

[メモリ確認] ☞P.382

[参照先切替]

▶[本体]

▶[microSD]

■ データ一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]

▶[タイトル編集] ☞P.378

▶[情報表示] ☞P.380

[削除] ☞P.380

[分類登録] ☞P.379

[移動／コピー]

▶[フォルダ間移動] ☞P.379

▶[microSDへ移動] ☞P.372

▶[microSDへコピー] ☞P.371

[データ送信]

▶[赤外線送信] ☞P.385

▶[ｉＣ送信] ☞P.387

[マイドキュメント設定]

▶[表示切替] ☞P.343

▶[ソート] ☞P.379

[参照先切替]

▶[本体]

▶[microSD]

■ 内容表示画面のサブメニュー操作

[表示]

▶[ズーム]▶[カメラ](拡大)／[MENU](縮小)

▶[表示を回転]▶回転方向を選ぶ

▶[リンク表示]

● リンク表示モードに切り替えます。

▶[ページ移動]

▶[最初のページ]

▶[最後のページ]

▶[指定のページ]▶ページ番号を入力

▶[ページレイアウト]▶ページレイアウトの種類を選ぶ

▶[表示モード]▶画面表示方法を選ぶ

▶[文書のプロパティ]

▶[ライトアップ]

[画面設定]

▶[スクロールバー]▶設定を選ぶ

▶[倍率・ページ番号]▶設定を選ぶ

▶[ガイド表示]▶設定を選ぶ

[画面切り出し]▶[はい]

● 表示しているイメージを静止画として保存します。

[しおり・マーク]

▶[しおり表示] ☞P.391

▶[ｉモードしおりの追加] ☞P.391

▶[マーク表示] ☞P.391

▶[マークの追加] ☞P.391

[検索] ☞P.392

[保存]▶[はい]▶フォルダにカーソルを合わせる▶[カメラ]

[残り全てを取得]▶[はい]

● 未取得のPDFデータをすべて取得します。

データ管理

[操作ガイド]

[タブ]

▶[新しいタブで開く]

▶[タブを閉じる]▶閉じるタブウィンドウを選ぶ▶[はい]

▶[タブ切替]▶表示するタブウィンドウを選ぶ

[FOMA／Wi-Fi接続切替]

[ズーム]について
- 拡大は1000%、縮小は8%まで表示できます。

[リンク表示]について
- リンク表示モードにしたときは、画面をスクロールできません。

[画面切り出し]について
- 「480×854」のサイズで、JPEG画像として保存されます。制限があるPDFは切り出しできなかったり、FOMA端末外への出力ができないことがあります。

[タブ]について
- ｉモード中／フルブラウザ中にPDFデータをダウンロードしようとしたとき、PDF対応ビューアが起動した場合に操作できます。

PDFデータのしおりを利用する<しおり表示>

1 内容表示画面でMENU▶[しおり・マーク]▶[しおり表示]

2 しおりの種類を選ぶ

- [しおり]を選択すると、あらかじめPDFデータに登録されているしおりを50件まで表示できます。[ｉモードしおり]を選択すると、追加したｉモードしおりを表示できます。

3 しおりを選ぶ

- PDFデータをFOMA端末から移動すると、追加したしおりが削除されることがあります。

■ ｉモードしおり一覧画面のサブメニュー操作

[削除]

▶[一件削除]▶[はい]

▶[選択削除]▶しおりを選ぶ▶📷▶[はい]

▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[タイトル編集]▶タイトルを編集

[タイトル編集]について
- 全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

■ ｉモードしおりを追加する<ｉモードしおりの追加>

- ｉモードしおりは10件まで登録できます。

1 内容表示画面でMENU▶[しおり・マーク]▶[ｉモードしおりの追加]▶タイトルを編集

PDFデータのマークを利用する<マーク表示>

- PDFデータをFOMA端末から移動すると、追加したマークが削除されることがあります。

1 内容表示画面でMENU▶[しおり・マーク]▶[マーク表示]

2 マークを選ぶ

■ マーク一覧画面のサブメニュー操作

[削除]

▶[一件削除]▶[はい]

▶[選択削除]▶マークを選ぶ▶📷▶[はい]

▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

■ マークを追加する<マークの追加>

- マークは10件まで登録できます。

1 内容表示画面でMENU▶[しおり・マーク]▶[マークの追加]

2 [はい]

PDFファイル内の文字を検索する<検索>

1 内容表示画面で[MENU] ▶ [検索] ▶ 文字列を入力

- 全角8文字(半角16文字)まで入力できます。

2 [カメラ]

- 次を検索:[i]
- 前を検索:[メール]

■ 検索画面のサブメニュー操作

[大文字小文字を区別] ▶ 設定を選ぶ

[単語に完全一致] ▶ 設定を選ぶ

ドキュメントビューア

Word、Excelファイルなどを表示する

Microsoft Wordファイル、Microsoft ExcelファイルやMicrosoft PowerPointファイルなどを、FOMA端末のディスプレイに表示することができます。

- 表示できるファイルの種類(拡張子):Microsoft Word(.doc、.docx)、Microsoft Excel(.xls、.xlsx)、Microsoft PowerPoint(.ppt、.pptx)、Plain Text(.txt)
- 閲覧するファイルはあらかじめmicroSDカードの¥PRIVATE¥DOCOMO¥OTHERフォルダに置いてください(☞P.367)。

1 ノーマルメニューで[便利ツール] ▶ [ドキュメントビューア]

2 ファイルを選ぶ

- メールの作成:[メール] ▶ メールを作成・送信

内容表示画面

- ファイル内容によっては、パソコンなどの機器で表示した内容と一部異なるときがあります。
- ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できないこともあります。
- フォントの種類によっては、正しく表示されないことがあります。
- ドキュメントビューアで表示されるファイルの詳細については、http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-01c/をご覧ください。

■ 内容表示画面のボタン操作

操作	キー	操作	キー
全画面表示	[カメラ]	前ページの表示	[メール]/[4]
次ページの表示	[i]/[6]	ページ全体表示(フィット)	[●]/[2]
画面を上下左右にスクロール	[マルチカーソル]	画面の縮小	[1]
画面の拡大	[3]	表示を90度右回転	[5]
ページの横幅に合わせる	[8]	操作ガイドの表示	[0]
スクロール設定切替	[#]		

■ 内容表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
[前ページ Back]	前ページの表示	[次ページ Next]	次ページの表示

・ビューアポジションで全画面表示中に画面をロングタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

操作	タッチ操作
画面を上下左右にスクロール	上下左右にスライド
次/前のページを表示※	上下にスライド
画面の拡大/縮小	2本の指の間隔を広げる/狭める

※ スライドショー表示中に操作できます。先頭または最後のページの場合はスライドショーを終了します。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
- ▶[フォルダ新規作成] ☞P.377
- ▶[フォルダ名編集] ☞P.378
- ▶[フォルダセキュリティ] ☞P.378

[削除] ☞P.378

[microSDへ全件移動] ☞P.372

[microSDへ全件コピー] ☞P.371

[表示切替] ☞P.343

[メモリ確認] ☞P.382

[参照先切替]
- ▶[本体]
- ▶[microSD]

■ データ一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]
- ▶[タイトル編集] ☞P.378
- ▶[情報表示] ☞P.380

[削除] ☞P.380

[分類登録] ☞P.379

[移動／コピー]
- ▶[フォルダ間移動] ☞P.379
- ▶[microSDへ移動] ☞P.372
- ▶[microSDへコピー] ☞P.371

[その他表示設定]
- ▶[表示切替] ☞P.343
- ▶[ソート] ☞P.379

[参照先切替]
- ▶[本体]
- ▶[microSD]

■ 内容表示画面のサブメニュー操作

[表示]
- ▶[ズームイン]
- ▶[ズームアウト]
- ▶[画面倍率指定]▶倍率（8～1000%）を入力
- ▶[全体表示]
- ▶[実際の大きさ]
- ▶[幅にあわせる]
- ▶[表示を回転]▶回転方向を選ぶ
- ▶[全画面表示]

[ページ移動]
- ▶[前のページ]
- ▶[次のページ]
- ▶[指定のページ]▶移動するページを入力
- ▶[最初のページ]
- ▶[最後のページ]

[検索] ☞P.394

[画面切り出し]
- ▶[画像保存]▶[はい]
  - ● 表示しているイメージを静止画として保存します。
- ▶[メール作成]▶[はい]▶メールを作成・送信
  - ● 表示しているイメージをメールに添付して送信します。

[スライドショー]
- ● PowerPointファイルのスライドショーを表示します。
- ● 全画面で表示：スライドショー表示中に[カメラ]

[表示設定]
- ▶[ステータスバー設定]▶設定を選ぶ
- ▶[スクロールバー設定]▶設定を選ぶ

次ページへ続く▶▶

▶［マップ設定］▶設定を選ぶ
● 画面左下に現在表示している位置を示すマップを表示するかどうかを設定します。

▶［スクロール設定］▶設定を選ぶ

▶［ライトアップ］

▶［バックライト点灯時間］▶設定を選ぶ
● 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

［操作ガイド］

［スライドショー］について
● 5秒経過する前に次のイメージを表示させるときは◉を押してください。最後のイメージを表示しているときは◉を押すと、スライドショー前の画面に戻ります。

［スクロール設定］について
● ［2方向］に設定すると、ファイルの横幅を画面の横幅に合わせ、倍率を自動的に変更して表示します。

ファイル内の文字を検索する<検索>

1 内容表示画面でMENU▶［検索］

2 各項目を設定▶MENU

- 検索文字列は全角8文字（半角16文字）まで入力できます。
- 検索する文字や条件を変更：◉
- 次を検索：📷
- 前を検索：MENU

マンガ・ブックリーダー

電子書籍／電子辞書／電子コミックを表示する

電子書籍／電子辞書／電子コミックを、FOMA端末で表示できます。

● お買い上げ時は、FOMA端末に次の電子辞書が登録されています（電子化の都合上、書籍とは一部異なる場合があります）。

■ 明鏡モバイル国語辞典（電子辞書）
使用頻度の高い現代語を中心に約4万7100語句収録。ことわざ成句も解説。

■ ジーニアスモバイル和英辞典（電子辞書）
現代語を中心に約5万5800語句を収録した、本格語数のモバイル和英。

■ ジーニアスモバイル英和辞典（電子辞書）
英会話や新聞・小説を読むときに便利なモバイル英和。約4万5700語句収録。

（「明鏡モバイル国語辞典」「ジーニアスモバイル和英辞典」「ジーニアスモバイル英和辞典」 ©2009 Taishukan）

● 電子書籍、電子コミックなどは、サイトなどからダウンロードできます（☞P.196）。

1 ノーマルメニューで［便利ツール］▶［マンガ・ブックリーダー］

2 データを選ぶ

- パスワードが必要なとき：パスワードを入力

○○出版社
○□物語
△△次郎

内容表示画面

データ管理

- 表示できる電子書籍などの種類（拡張子）は次のとおりです。

	形　式	拡張子
電子書籍	XMDF	「.zbf」
	テキスト	「.zbk」「.txt」「.text」
電子辞書、電子コミック	XMDF	「.zbf」

- 前回の閲覧時にCLRを押して終了したデータを選んだときは、終了時に表示されていたページが表示されます。
- 前回の閲覧時に終話キーを押して終了したときは、マンガ・ブックリーダーを起動すると自動的に終了時のページが表示されます。ただし、コラムリーダーから起動したときは表示されません。
- データに埋め込まれている音声や画像によっては、ご利用になれないことがあります。
- 電子書籍などには、閲覧回数／閲覧期限／閲覧期間の閲覧制限が設定されているものがあります。これらのデータを表示しようとすると、確認メッセージが表示されます。内容を確認してください。
- microSDカードにも保存できます。microSDカードに保存した電子書籍などは、一覧画面に最大400件表示できます。[マンガ]フォルダ内のデータは最大999件表示できます。

■ 内容表示画面のボタン操作

ページを戻る※1	カメラキー	前ページの表示	メールキー
次ページの表示	iキー	画面を上下左右にスクロール※2	マルチカーソルキー
行を戻す	上／右	行を進める	下／左
コマを戻す※3	上／右	コマを進める※3	下／左
縮小※2	1	コマ／ページ切替※4	2
拡大※2	3		

※1　履歴がないときは先頭のページが表示されます。
※2　電子コミックのページ表示中に操作できます。
※3　電子コミックのコマ表示中に操作できます。
※4　電子コミック表示中に操作できます。

■ 内容表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

Jump	ページを戻す（履歴があるとき）※1	→ Hold ▷▷	行／コマを進める※2
← Hold ◁◁	行／コマを戻す※2		

※1　履歴がないときは先頭のページが表示されます。
※2　ロングタッチすると、連続して行／コマを移動します。

- 次のタッチ操作ができます。

行を移動	進める	右／上にスライド
	戻す	左／下にスライド
コマ移動（電子コミックのコマ表示中）	進める	右／上にすばやくスライド
	戻す	左／下にすばやくスライド
前ページの表示		下／左にすばやくスライド
次ページの表示		上／右にすばやくスライド
リンク先の表示		リンクをタッチ
文字サイズを大きくする／小さくする		2本の指の間隔を広げる／狭める

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
▶[フォルダ新規作成] ☞P.377
▶[フォルダ名編集] ☞P.378
▶[フォルダセキュリティ] ☞P.378
[削除] ☞P.378
[表示フォルダ切替]▶フォルダを選ぶ
[本体⇔microSD切替]
[ファイルリストへ切替]（[マンガ]フォルダ内のみ）
- フォルダ一覧画面からデータ一覧画面に切り替えます。

[表示フォルダ切替]について

- 携帯情報端末など、FOMA端末以外でXMDF形式の電子書籍を利用していたときに、その電子書籍の入ったフォルダを表示できます。
- 利用されていた携帯情報端末によっては、フォルダを表示できないことがあります。
- SH-01Aより前に発売された機種でmicroSDカードに保存した電子書籍などは、[マンガ・ブックリーダー2]を選択すると表示できます。

[ファイルリストへ切替]について

- [マンガ]フォルダ内でフォルダとデータが混在する場合は、フォルダ一覧画面が表示されます。ファイルリストへ切替を行わないとデータ一覧画面は表示されません。

■ データ一覧画面のサブメニュー操作

[タイトル編集](FOMA端末保存データ、[iモード]/[マンガ]フォルダ内のデータのみ) ☞P.378

[ファイル名編集](microSDカード保存データのみ) ☞P.378

[削除] ☞P.380

[情報表示] ☞P.380

[移動/コピー]

- ▶[フォルダ間移動] ☞P.379
- ▶[microSDへ移動] ☞P.372
- ▶[microSDへコピー] ☞P.371

[表示フォルダ切替]▶フォルダを選ぶ
- [表示フォルダ切替]について☞P.396

[ソート]([iモード]/[マンガ]フォルダ内のデータのみ) ☞P.379

[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
- 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

[本体⇔microSD切替]

[フォルダリストへ切替]([マンガ]フォルダ内のデータのみ)
- データ一覧画面からフォルダ一覧画面に切り替えます。

■ 内容表示画面のサブメニュー操作

[文字列コピー]▶始点を選ぶ▶終点を選ぶ

[しおり設定]

- ▶[しおりをはさむ]▶しおりを選ぶ
- ▶[しおりへ移動]▶しおりを選ぶ

[情報表示] ☞P.380

[現在位置確認]

[移動]

- ▶[目次]▶項目を選ぶ
  - 目次からページを表示します。
- ▶[先頭へ]
- ▶[最後へ]
- ▶[リストへ]
  - データ一覧画面に戻ります。
- ▶[%指定移動]▶%を入力
  - 全体に対する位置を%で指定してページを移動します。

[表示設定]

- ▶[文字サイズ設定]▶文字サイズを選ぶ
- ▶[縦横設定]▶設定を選ぶ
  - 縦書き、横書きを切り替えます。
- ▶[ルビ表示]▶設定を選ぶ
  - ふりがなを表示するかどうか設定します。
- ▶[画像サイズ]▶設定を選ぶ
  - 画像を表示するサイズを切り替えます。
- ▶[行間設定]▶設定を選ぶ
  - 行間を広げるかどうか設定します。

[マンガ表示設定]▶設定を選ぶ

[音量設定]▶音量を選ぶ

[バイブレータ設定]▶設定を選ぶ

[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
- 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

[文字列コピー]について
- 一度にコピーできる文字数は、最大全角128文字(半角128文字)です。ただし、一度にコピーできる文字数はコンテンツにより異なります。
- コピーできない文字もあります。
- 電子コミックによっては、文字列コピーができないものがあります。

[しおりをはさむ]について
- 1冊につき最大2個(最大10冊)のしおりを設定できます。
- 11冊目のしおりを設定すると、一番古いしおりが削除されます。

[しおりへ移動]について
- 電子コミックのページ表示画面では、[しおりへ移動]は選択できません。

自動しおりについて
- マンガ・ブックリーダーを終了すると、最後に表示していたページに[自動しおり1]が設定されます。
次に同じ電子書籍などを表示し、終了した場合は、最後に表示していたページが[自動しおり1]に設定され、前回の[自動しおり1]は[自動しおり2]に設定されます。
- 1冊につき最大2個(最大10冊)の自動しおりを設定できます。
- 11冊目の自動しおりを設定すると、一番古い自動しおりが削除されます。
- パスワードが設定されているデータは、自動しおりが表示できません。

[移動]について
- 電子コミックのページ表示画面では、[移動]は選択できません。

[文字サイズ設定]、[縦横設定]、[ルビ表示]について
- データによっては、表示を切り替えることができないものや、表示の設定が指定されているものがあります。
- 電子コミックの吹き出しの中の文字は画像です。文字サイズ設定や縦横設定、ルビ表示は反映されません。
- データによってルビの有無は異なります。

[マンガ表示設定]について
- 電子コミックのコマ表示画面では、縮小、拡大はできません。
- 電子コミックによっては、コマ表示/ページ表示を切り替えることができないものがあります。

電子辞書で調べる

電子辞書で、用語を入力して調べることができます。
- 電子辞書の購入は、パソコンから操作してください。
- 電子辞書は次のシャープオリジナルサイト「Sharp Space Town」でご購入いただけます。
http://www.spacetown.ne.jp/
・パソコンからサイトに接続してご購入した電子辞書は、microSDカードに格納してFOMA端末で使用できます(☞P.367)。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[マンガ・ブックリーダー]

2 電子辞書を選ぶ

3 検索語欄を選ぶ▶用語を入力▶[カメラ]
- 255文字まで入力できます。

4 用語を選ぶ

Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用する

電子書籍などで反転表示された文字情報(電話番号、メールアドレス、URLなど)やPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能が埋め込まれた画像を利用して、電話発信やメール送信、サイト接続ができます。

1 内容表示画面で電話番号やメールアドレス、URLなどを選ぶ
- 画像のとき:画像を選ぶ▶[リンクへ移動]

2 操作を選ぶ
- URLの場合、接続方法を選択するとサイト接続します。
- 電話発信やメール送信、サイト接続の操作については☞P.193

リンク先のページを表示する

文字列や画像に別のページのリンク情報が設定されているときは、そのページを表示できます。

1 内容表示画面で文字列や画像を選ぶ

動画／音声を再生する<動画／音声の再生>

画像に動画／音声の情報が設定されているときは、動画／音声を再生できます。

1 内容表示画面で画像を選ぶ▶[動画／音声の再生]

マスク(目隠し)された情報を表示する

1 内容表示画面で文字列や画像を選ぶ

- ◆ 文字列を選ぶ
- ◆ 画像を選ぶ▶[マスクの切替]

電子書籍／電子辞書／電子コミック内の画像を保存する<マイピクチャ登録>

電子書籍などに表示された静止画を、マイピクチャ内の[カメラ]フォルダに保存できます。

- 画像保存件数は、最大3000件です。メモリの使用状況によっては、少なくなります。

1 内容表示画面で静止画を選ぶ▶[マイピクチャ登録]

- PNG形式など、保存できない画像もあります。
- すべて著作権のある画像として保存されます。microSDカードへの保存や、メールへの添付はできません。

HDMI接続

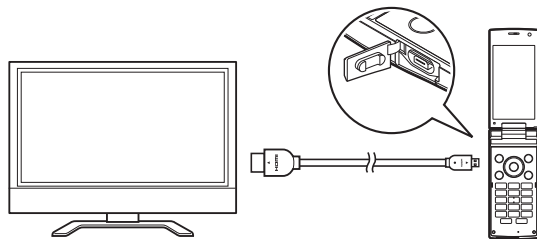
テレビに静止画や動画／iモーション、ムービーを表示する

FOMA端末とHDMI端子付きテレビを接続すると、撮影した静止画や動画などをテレビに表示することができます。

- テレビとFOMA端末を市販のHDMIケーブルで接続して利用します。詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をお読みください。
- シャープ製のファミリンク対応テレビ「AQUOS」と接続した場合、ファミリンクならではの便利な連動機能で操作を楽しめます。
  対応機器などの詳細については「ケータイdaSH」をご覧ください。
  http://www.sharp.co.jp/k-tai/

テレビに接続する<HDMI接続開始>

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[HDMI接続]▶[HDMI接続開始]

2 HDMIケーブルで接続する

- FOMA端末のディスプレイには、ビューアポジションの場合は、テレビと同じ映像が表示されます。通常ポジションの場合は、何も表示されません。
- テレビにはHDMIメニューが表示されます。
- FOMA端末での表示に戻す：HDMIメニューで[接続解除]

データ管理

- HDMIケーブルを接続していない状態で出力を開始した場合、または映像出力中にケーブルが抜けてしまった場合は一定時間接続待機状態となります。

HDMIケーブルについて

- HDMIマイクロプラグ（Dタイプ）に対応したHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMIケーブルは、必ず市販のHDMI規格認証品（カテゴリー２推奨）をご使用ください。規格外のケーブルを使用したときは、正常に動作しないことがあります。
- HDMIケーブルを接続するときは、確実に差し込んでください。無理に差し込んだり抜いたりすると、HDMI端子やコネクタが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。
- プラグを抜くときは、プラグを持ってゆっくり抜いてください。
- HDMIケーブルは、テレビのHDMI入力端子に接続してください。

HDMI接続時の出力解像度を設定する
<出力解像度設定>

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[HDMI接続]▶[出力解像度設定]

2 サイズを選ぶ

- 出力解像度設定を[720p]以外に設定しても、出力解像度は[720p]でテレビと接続します。[1080p]に設定している場合、データを表示／再生したときに出力解像度が[1080p]になります（接続先のテレビにより1080pで表示／再生できない場合があります）。また、[自動]に設定している場合、データの表示サイズ、接続先のテレビに応じて、適切なサイズで出力します（マイピクチャとｉモーション・ムービーのみ）。

データをテレビに表示する

■ 画像を表示する

1 HDMIメニューで[マイピクチャ]▶画像を選ぶ

- リスト表示中：画像を選ぶ▶[はい]
- 表示中のボタン操作については☞P.343

■ ｉモーション・ムービー・音楽を再生する

1 HDMIメニューで[ｉモーション・ムービー]／[ミュージックプレーヤー]▶データを選ぶ

- リスト表示中：データを選ぶ▶[はい]
- 横画面で表示されます。
- 再生中のボタン操作については
  - ｉモーション☞P.352
  - ムービー☞P.208
  - ミュージックプレーヤー☞P.277

■ その他の画面を表示する

メニュー、ｉモード、フルブラウザ、ミュージック、PDF ビューア、ドキュメントビューア、メール、電話帳は、FOMA端末のディスプレイと同様の内容が横画面で表示されます。ｉアプリは横／縦画面で表示されます。

- ｉアプリは正しい向きで表示されない場合があります。その場合は、Ⓓを押して画面を回転させ、正しい向きに調整してください。ただし、モーショントラッキングやバーチャルキーは正しく動作しないことがあります。

- HDMI出力中、着信やアラーム、ワンセグの録画予約などが動作した場合は、HDMI出力を停止します。
- HDMI出力中は、FOMA端末と接続したテレビなどの機器で音量を調節してください。また、FOMA端末を取り外す前に、テレビの音量が大きくなりすぎていないことを確認してください。
- HDMI出力中、イヤホンマイク（別売）やBluetooth機器から音声は出力されません。
- HDCP非対応のテレビと接続した場合、映像・音声は出力されません。

次ページへ続く▶▶

- HDMI出力開始時、接続するテレビによっては入力が切り替わらず映像が表示されない場合があります。その場合、テレビのリモコンなどで入力を切り替えてください。
- 接続するテレビによってはFOMA端末から出力する映像が画面に収まらない場合があります。その場合、テレビ側の表示設定を変更してください。
- 接続するテレビによってはテレビの電源をOFFにすると、HDMI出力を停止する場合があります。
- HDMI出力中に着信があった場合、着信音、着信画面にｉモーションやFlash画像を設定していても、設定は解除されます。

映像をくっきり表示する<映像鮮鋭化設定>

HDMI出力時に映像の輪郭や細部を強調して、くっきりと鮮やかに表示できます。

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[HDMI接続]▶[映像鮮鋭化設定]**

2 **設定を選ぶ**

操作ガイドの自動表示について設定する <ガイド自動表示設定>

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[HDMI接続]▶[ガイド自動表示設定]**

2 **設定を選ぶ**

AQUOSファミリンクについて設定する <AQUOSファミリンク設定>

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[HDMI接続]▶[AQUOSファミリンク設定]**

2 **項目を選ぶ**

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ シーン別制御:映像や周囲の明るさに応じて、画質や照明の明るさを自動制御します。
  - ■ ノイズリダクション:映像のノイズを低減します。
  - ■ リモコン文字入力:HDMI出力中にリモコンで操作するかどうかを設定できます。
  - ■ 充電中常時待受:充電中にテレビからの操作でHDMI出力を開始するかどうかを設定できます。
  - ■ 着信お知らせ:HDMI出力中に着信した場合、テレビにお知らせを表示するかどうかを設定します。

3 **設定を選ぶ**

便利な機能

ウェルネス

歩数計を使って毎日のウォーキングやジョギングをサポートします。歩数や消費カロリーなどは履歴として保存され、グラフで確認することができます。

- FOMA端末の開閉操作や方位計補正などによって、FOMA端末に振動や揺れが加えられた場合、歩数が正確に測定されないことがあります。
- 測定した歩数は、装着や測定のしかた、歩きかたによって正確に表示されない場合があります。

ウェルネスの利用手順

例：はじめて歩数計を使うとき

STEP 1　プロフィール登録をする　☞P.402

↓

STEP 2　歩数計設定を[ON]に設定する　☞P.402

↓

STEP 3　歩数を測定する　☞P.403

↓

STEP 4　歩数を確認する　☞P.404

- 待受画面やサブディスプレイに歩数などを表示することもできます（☞P.112、P.404）。

ウェルネスのプロフィールについて

身長、体重などを入力します。入力した数値は、歩行距離や消費カロリー、脂肪燃焼量、活動量、運動強度の算出に利用されます。

- 各数値を正確に算出するために、実際の身長と体重に合わせてプロフィールを更新してください。

■ プロフィールを登録する<プロフィール登録>

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[ウェルネス]▶[プロフィール登録]▶端末暗証番号を入力**

2 **各項目を設定▶[📷]**

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 身長(cm)：身長を入力します。
  - ■ 歩幅(cm)：歩幅を入力します。
    - ・身長を入力すると、歩幅が自動的に入力されます。手動で入力することもできます。
  - ■ 体重(kg)：体重を入力します。

歩数計の設定をする<設定>

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[ウェルネス]▶[設定]**

2 **項目を選ぶ**

◆ **[目標設定]▶項目を選ぶ▶数値を入力▶[📷]**

・1日に歩く歩数、歩行距離、消費カロリーや活動量の目標を設定できます。

◆ **[履歴リセット]▶端末暗証番号を入力▶[はい]**

◆ **[歩数計設定]▶設定を選ぶ**

・歩数計を設定すると、毎日の歩数を測定し、歩数や歩行距離、消費カロリーなどを確認することができます。

・ウェルネス表示設定が[ON]のときに歩数計設定を[OFF]に設定すると、ウェルネス表示設定も[OFF]に設定されます。

■ 歩数を測定する

- 次の項目を測定できます。
  - ■ 歩数　■ 歩行距離　■ 消費カロリー
  - ■ 脂肪燃焼量　■ しっかり歩数　■ しっかり歩行時間
  - ■ 活動量　■ 運動強度（METs）※　■ エクササイズ歩数※
  - ■ エクササイズ歩行時間※

  ※ ワークアウト画面で表示されます。
- 測定した歩数は、あくまで目安としてご利用ください。
- キャリングケースL 01（別売）またはキャリングケース 02（別売）に入れるときは、キャリングケースL 01またはキャリングケース 02を腰のベルトなどに装着してください。
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中などFOMA端末を固定できる場所に入れてください。
- 歩き始めの約４秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。
- 活動量とは、身体活動の量を表す単位です。時間と運動強度から算出されます。
- 運動強度とは、身体活動の強さを表す単位です。座って安静にしている状態を１METsとし、67m/分での歩行を３METsとします。
- 電源が入ってないときやソフトウェア更新中は測定されません。

- しっかり歩行時間は約１分単位で測定されます。
- ［歩数・距離・身体活動量］、［消費カロリー・脂肪燃焼量］は歩き始めて約４秒後から表示に反映され、約１秒ごとに更新されます。
- ［しっかり歩数・時間］は毎分60歩以上で歩き始めて約10分後から表示に反映され、約１分ごとに更新されます。
- エクササイズ歩数は健康づくりに適している運動強度（３METs以上）の歩数を測定します。
- エクササイズ歩行時間は３METs以上で歩行を続けた時間を測定します。

歩数測定時のご注意

次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。
- FOMA端末が不規則に動く場合
  - ■ FOMA端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
  - ■ FOMA端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
- 不規則な歩行をした場合
  - ■ すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
  - ■ 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
- 上下運動や振動の多いところで使用した場合
  - ■ 立ったり座ったりしたとき
  - ■ 歩行以外のスポーツを行ったとき
  - ■ 階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
  - ■ 乗り物（自転車、自動車、電車、バスなど）に乗って、上下振動や横揺れしているとき
- 極端にゆっくり歩いた場合

トレーニングを行う<ワークアウト>

歩数、歩行距離、消費カロリー、活動量や時間を設定してウォーキングやジョギングを行います。
- 本書では、１回分のトレーニングのことを「ワークアウト」と記載しています。

■ 目標を設定する

1 ノーマルメニューで［便利ツール］▶［ウェルネス］▶［ワークアウト］

2 [✉]▶項目を選ぶ▶数値を入力▶[📷]

■ ワークアウト用の歩幅を設定する

1 ワークアウト画面で[i]▶歩幅を入力▶[📷]

■ トレーニングを開始する

1 ワークアウト画面で[MENU]

- ワークアウトの終了:[CLR]/[終話]/[カメラ]▶[はい]

■ トレーニングの履歴を確認する

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[ウェルネス]▶[ワークアウト]▶[カメラ]

- 履歴を1件削除:[MENU]▶[1件削除]▶[はい]
- 履歴を全件削除:[MENU]▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

歩数を確認する<歩数確認>

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[ウェルネス]▶[歩数確認]

- 待受画面でウェルネス表示をタッチしても表示できます。
- 履歴を表示する:歩数確認画面で[カメラ]
- 履歴詳細画面を表示:歩数確認画面で[i]

歩数確認画面/履歴画面/履歴詳細画面について

- 表示データの切替:[MENU]
- 週間表示、累積表示、1日表示の切替:歩数確認画面で[メール]
  - ・前/次の日を表示:1日表示で[左]/[右]
  - ・前/次の週を表示:週間表示で[左]/[右]
- グラフ表示、数値表示の切替:履歴画面/履歴詳細画面で[カメラ]

- 各データの最大値は次のとおりです。最大値を超えた場合はカウントが停止します。歩数確認画面で確認できます。
  - ■ 歩数:9999999歩
  - ■ 距離:9999999m(9999.999km)
  - ■ 時間:9999時間59分
  - ■ 消費カロリー:9999999kcal
  - ■ 脂肪燃焼量:9999999g
  - ■ 活動量:99999.9Ex
- 履歴は最大1098日分表示されます。1098日分を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- 履歴の詳細は最大30日分(720時間分)表示されます。30日分を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- 履歴画面のグラフの上限は、次のとおりです。
  - ■ 歩数表示:20000歩
  - ■ 消費カロリー表示:2000kcal
  - ■ しっかり歩数表示:20000歩
  - ■ 活動量表示:20Ex
- 履歴詳細画面のグラフの上限は、次のとおりです。
  - ■ 歩数表示:5000歩
  - ■ 消費カロリー表示:500kcal
  - ■ しっかり歩数表示:5000歩
  - ■ 活動量表示:10Ex
- 履歴画面、履歴詳細画面の各データの表示の上限は次のとおりです。
  - ■ 歩数:999999歩
  - ■ 距離:999999m(999.999km)
  - ■ 時間:999時間59分
  - ■ 消費カロリー:999999kcal
  - ■ 脂肪燃焼量:999999g
  - ■ 活動量:9999.9Ex

待受画面に歩数や消費カロリーを表示する<ウェルネス表示設定>

待受画面に歩数や消費カロリーなどを表示するかどうかを設定します。

- 設定した目標を達成すると、待受画面に[CLEAR!!]が表示されます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[待受画面設定]▶[ウェルネス表示設定]

2 設定を選ぶ

■ 待受画面での表示切替

- 待受画面の表示切替:[終話]
- 表示データの切替:ウェルネス表示中に[決定]▶[上下]
- 歩数確認画面の表示:ウェルネス表示中に[決定]▶ウェルネス表示を選ぶ

- 歩数や消費カロリーは、午前0時にリセットされます。

ヘルプを表示する<ヘルプ>

歩数計やワークアウトについての説明を表示します。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[ウェルネス]▶[ヘルプ]

便利な機能

手書きメモを作成する

タッチパネルで、手書きの絵や文字が入ったメモや、GIFアニメーションを作成できます。また、らくがきモードで道路や線路のペンを選ぶと、地図を作成することもできます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[手書き]

- らくがきモードになります。

2 メモを作成する

- 手書き文字モードに切替：らくがきモードで[カメラ]▶[手書き文字]
- 編集メニュー表示中の操作については☞P.407

3 [MENU]▶[保存]▶[OK]

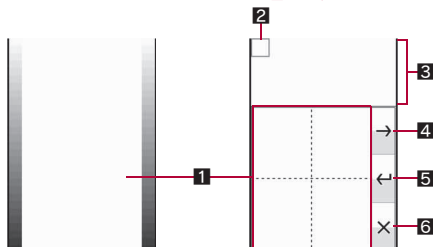
- タイトルの編集：[タイトル編集]▶タイトルを編集▶[カメラ]▶[OK]
  - 全角25文字（半角50文字）まで入力できます。
- 保存先の変更：[フォルダ変更]▶フォルダにカーソルを合わせる▶[カメラ]▶[OK]

4 [MENU]

- メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿（☞P.236）：[メール]▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信
- 高速赤外線通信で送信（IrSS™機能）（☞P.348）：[i]▶送信方法を選ぶ

- 作成した手書きメモはデータBOXのマイピクチャの[手書きメモ]フォルダに保存されます。

■ 手書き入力画面の見かた

らくがきモード　　手書き文字モード

1 入力エリア
画像や文字を手書き入力します。

2 カーソル
- 入力エリアに手書きした文字は、カーソルがある場所に入力されます。
- カーソルをタッチしたままスライドすると、カーソルが移動します。

3 プレビューエリア
入力した文字が反映されます。
- プレビューエリアをタッチしたままスライドすると、プレビューエリアがスクロールされます。
- [メール]を押すかプレビューエリアをタッチすると、プレビューエリアの全画面表示に切り替わります。全画面表示中は、同様の操作で元の画面に戻ります。

4 文字送りボタン
入力した文字がプレビューエリアに表示され、カーソルが右に移動します。

5 改行ボタン
入力した文字がプレビューエリアに表示され、カーソルが下の行に移動します。

6 手書き文字モード終了
らくがきモードに切り替えます。

■ 手書き入力画面のボタン操作

ボタン	らくがきモード	手書き文字モード
[カメラ]	編集メニュー表示	
[メール]	表示位置調整画面に切替	プレビューエリアの表示切替
[i]	詳細設定メニュー表示	
[方向キー]	画面を上下左右にスクロール	カーソルの移動※
[7]	手書き文字モードに切替	－

※ 文字の確定後に操作できます。

■ 手書き入力画面のタッチパネル操作

● タッチパネルの主な操作については☞P.46

らくがきモード

● コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
動かす Move	表示位置調整画面に切替	詳細設定 Details	詳細設定メニュー表示
編集メニュー Edit Menu	編集メニュー表示		

● らくがきモードでは次のタッチ操作ができます。

画像の拡大／縮小	2本の指でタッチパネルに触れ、指の間隔を広げる／狭める

● 保存後のプレビュー画面ではコントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
[メール]	メール／ブログ機能	IrSS	高速赤外線通信（IrSS™機能）で送信※
終了 End	終了		

※ 操作可能な場合に表示されます。

手書き文字モード

● コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
画面サイズ切替 Change Screen	プレビューエリア／入力エリア切替	詳細設定 Details	詳細設定メニュー表示
		編集メニュー Edit Menu	編集メニュー表示

● 保存後のプレビュー画面では、らくがきモードと同様のタッチパネル操作ができます。

■ 手書き入力画面のサブメニュー操作

[プレビュー]

[保存] ☞P.405

[切り出して保存] ☞P.408

[アニメーション作成] ☞P.408

[拡大／縮小]（手書き文字モード以外）▶表示方法を選ぶ

[最初に戻る]▶[はい]
● 編集内容を取り消して最初の画像に戻ります。

[文字入力設定]（手書き文字モードのみ）

▶[自動文字送り設定]▶設定を選ぶ
● 入力エリアに文字を手書きしたあとに、自動でカーソルが移動するまでの時間を設定します。

[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
● 操作中のバックライトの点灯時間を設定します。

[最初に戻る]について

● アニメーション作成モードでは、アニメーション作成開始時の画像に戻ります。

便利な機能

手書き入力時の設定や操作を変更する

手書き入力時に編集メニューを表示して、ペンとスタンプの切り替えや、入力した画像のコピーや移動、プレビュー画面の表示、入力モードを切り替えるなどの操作ができます。ペンやスタンプの種類などを変更するときは、詳細設定メニューを表示します。

1 手書き入力画面で[カメラ]

2 ツールを選ぶ

- ダイヤルボタンでツールを選ぶこともできます。
- 編集メニュー表示中の操作については☞P.407

3 [i]▶設定を選ぶ

- 線、スタンプ、消しゴムの設定を変更できます。

■ 編集メニュー

次の項目を変更できます。

ボタン	ツール	内　容
[1]	ペン	● ペンで線を入力できます。 ● 詳細設定メニューで種類、色、太さを変更できます。 ● 手書き文字モードのときは、文字サイズも変更できます。
[2]	スタンプ	スタンプ／文字スタンプを貼り付けます。 ● 詳細設定メニューでスタンプの種類や文字を指定したり、色やサイズを変更できます。
[3]	文字スタンプ	
[4]	消しゴム	● スライドしたとおりに画像を消します。 ● 詳細設定メニューでサイズを変更できます。
[5]	コピー	画像を移動／コピーして貼り付けます。 ● 移動／コピーしたい画像をロングタッチすると、[十字キー]で移動／貼り付け位置を調整できます。[決定]を押して移動／貼り付けます。
[6]	移動	
[7]	手書き文字	手書き文字モードに切り替えます。
[8]	プレビュー	プレビュー画面を表示します。 ● [メール]を押すと元の画面に戻ります。 ● [MENU]を押すと保存、[カメラ]を押すと切り出し保存ができます。
[9]	保存	編集内容を保存します。
[*]	取り消し	直前に行った操作を取り消します。
[0]	操作ガイド	操作ガイドを表示します。

■ プレビュー画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
[保存 Save]	保存	[切出保存 Cut and Save]	切り出し画面に切替
[戻る Back]	1つ前の画面に戻る		

手書き入力でスタンプを貼り付ける

- らくがきモード、アニメーション作成モードで操作できます。

1 手書き入力画面で[カメラ]

2 スタンプを選ぶ

◆ **[スタンプ]▶スタンプにカーソルを合わせる▶[カメラ]**

・履歴から選ぶとき：[スタンプ]▶[i]▶スタンプを選ぶ

◆ **[文字スタンプ]▶文字を入力▶[カメラ]**

・色を変更するとき：[i]▶[色]▶色を選ぶ▶[完了]

・サイズを変更するとき：[i]▶[サイズ]▶サイズを選ぶ▶[完了]

3 [決定]▶貼り付け位置を調整▶[決定]

- タッチ操作のとき：画面をタッチ

・タッチした位置にスタンプが貼り付けられます。

手書き入力時に画像の表示位置を調整する

画像を拡大して表示しているときに、画像を上下左右にスクロールできます。

- らくがきモード、アニメーション作成モードで操作できます。

1 手書き入力画面で[✉]

2 表示位置を調整

- タッチ操作のとき：画面をタッチしたままスライド

■ 表示位置調整画面のボタン操作

手書き入力画面に切替	[✉]	画面の縮小	[📷]
画面の拡大	[i]	画面を上下左右にスクロール	[✣]
等倍⇔フィット	[2]	拡大／縮小	[3]／[1]

■ 表示位置調整画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

[編集 Edit]	手書き入力画面に切替	[− 縮小 Zoom −]	画像の縮小
[＋ 拡大 Zoom ＋]	画像の拡大		

手書き入力で作成した画像を切り出して保存する <切り出して保存>

画像の一部を切り出したり、画像のサイズを変更して保存できます。

- らくがきモード、手書き文字モードで操作できます。

1 手書き入力画面で[MENU]▶[切り出して保存]

2 サイズを選ぶ

3 切り出す範囲を枠内に移動▶[MENU]／[●]

- タッチ操作のとき：画面にタッチしたままスライド▶画面にタッチ
- サイズを[待受]にしたときは、画面に表示された範囲を切り出します。
- 画像の拡大／縮小：[i]／[✉]
- 画像のサイズを枠のサイズに変更する：[2]

4 [OK]

- タイトルの編集：[タイトル編集]▶タイトルを編集▶[📷]▶[OK]
- 保存先の変更：[フォルダ変更]▶フォルダにカーソルを合わせる▶[📷]▶[OK]

5 [MENU]

- メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿（☞P.236）：[✉]▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信
- 高速赤外線通信で送信（IrSS™機能）（☞P.348）：[i]▶送信方法を選ぶ

■ 切り出し画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- コントロールボタンで次の操作ができます。

[切出保存 Cut and Save]	切り出して保存※	[戻る Back]	1つ前の画面に戻る
[− 縮小 Zoom −]	画面の縮小	[＋ 拡大 Zoom ＋]	画面の拡大

※ アニメーション作成のときは[OK]と表示され、アニメーション作成モードに切り替わります。

手書き入力でアニメーションを作成する <アニメーション作成>

手書き入力した内容を自動的に分割してGIFアニメーションを作成します。

1 手書き入力画面で[MENU]▶[アニメーション作成]▶サイズを選ぶ

2 切り出す範囲を枠内に移動

- タッチ操作のとき：画面にタッチしたままスライド▶画面にタッチ
- サイズを[待受]にしたときは、画面に表示された範囲を切り出します。
- 画像の拡大／縮小：[i]／[✉]
- 画像のサイズを枠のサイズに変更する：[2]

3 MENU

- 切り出し画面のタッチパネル操作については☞P.408

4 **手書き描画する**

- らくがきモードと同様に線を描画したり、スタンプを貼り付けたりできます（☞P.405、P.407）。
  - ・線は、38回まで描画できます。
  - ・描画した線は、最大5色に変化します。
  - ・スタンプやスタンプペンは、2回まで貼り付けられます。
  - ・JPEG画像／GIF画像のスタンプを貼り付けた場合は、スタンプが点滅します。また、ペンの種類の[スタンプペン]でJPEG画像／GIF画像を選択した場合は、スタンプを移動させた軌跡をたどりながら表示します。
  - ・GIFアニメーションのスタンプを貼り付けた場合は、GIFアニメーションを最大16分割して表示します。ただし、線で描画したり、複数のGIFアニメーションを貼り付けると、16分割より少なくなる場合があります。また、ペンの種類の[スタンプペン]でGIFアニメーションを選択した場合は、スタンプを移動させた軌跡をたどりながら1コマ目の画像を表示します。
- 作成したGIFアニメーションの保存については☞P.405「手書きメモを作成する」の操作3へ

プレゼンアシスト

パソコンでのプレゼンをアシストする

FOMA端末とBluetooth対応パソコンをワイヤレス接続して、FOMA端末からパソコンを遠隔操作したり、進行時間をチェックしながらプレゼンを行うことができます。

プレゼンデータを登録する

- プレゼンデータは5件まで登録できます。
- プレゼン件名と所要時間は必ず設定してください。

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[プレゼンアシスト]**

2 MENU

- プレゼンデータの編集：プレゼンデータにカーソルを合わせる▶i
- プレゼンデータの削除：プレゼンデータにカーソルを合わせる▶📷▶[はい]

3 **[プレゼン件名：]▶件名を入力**

- 全角16文字（半角32文字）まで入力できます。

4 **[所要時間：]▶時間（01分00秒〜99分59秒）を入力**

5 **[鳴動ポイント：]**

6 **登録する番号を選ぶ▶時間（00分01秒〜99分59秒）を入力**

- 鳴動ポイントは5個まで登録できます。
- 鳴動ポイントの削除：鳴動ポイントにカーソルを合わせる▶📷▶[はい]

7 CLR

- 鳴動ポイントの登録を完了します。

8 MENU

プレゼンアシストを開始する

- はじめて利用するときは、接続するBluetooth対応パソコンを機器登録してください。
- Bluetooth機能については☞P.431

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[プレゼンアシスト]▶プレゼンデータを選ぶ

2 接続するBluetooth対応パソコンを選ぶ

- Bluetooth対応パソコンとキーボードサービスで接続されます。
- Bluetooth対応パソコンを機器登録する：MENU▶Bluetooth対応パソコンから登録操作をする▶[はい]▶登録する
  - 登録方法については☞P.434「Bluetooth機器を登録する」の操作4へ

3 MENU

- タイマーが作動し、設定した鳴動ポイントに従ってバイブレータが動作します。また、設定していた所要時間が経過したときもバイブレータが動作します。バイブレータの種類は変更できません。

■ プレゼンアシスト中の操作

- FOMA端末の操作ボタンとBluetooth対応パソコンの操作は、次のように対応しています。

FOMA端末	Bluetooth対応パソコン
✣	マウスポインタの移動
●	マウスの左クリック
📷	マウスの右クリック

- タイマーの一時停止／再開：MENU
- タイマーのリセット：タイマーの一時停止中にi
- プレゼンアシストを終了：✉
- その他のボタンは利用できません。

- プレゼンアシスト中の着信動作は、公共モード設定時と同様です（☞P.81）。プレゼンアシストを終了すると、着信動作は元に戻ります。
- 電池残量が[▱]以下のときはプレゼンアシストを開始できません。
- プレゼンアシストを終了するとBluetooth接続は切断されます。

マルチアクセス

マルチアクセス

FOMA端末では音声電話やｉモード通信、データ通信など、複数の通信を同時に利用できます。

- マルチアクセス中表示については☞P.79
- 同時に使用可能な通信機能の組み合わせについては☞P.523

通話中に他の通信を利用する

1 音声電話の通話中に▱

2 機能を選ぶ

3 通信機能を利用する

- 通話中画面に戻る：▱▶[電話]

通信中に音声電話を発信する

例：ｉモード中のとき

1 サイトなどで表示されている電話番号を選ぶ

2 ✆／📷

- サイトなどに戻る：通話終了▶⌒

便利な機能

マルチアシスタント(マルチタスク)

マルチアシスタント(マルチタスク)

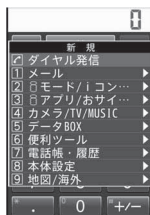
マルチアシスタント(マルチタスク)を使うと、複数の機能を同時に利用できます。

- 電話着信などにより、4つ以上の機能を同時に利用できる場合があります。

マルチアシスタントで新しい機能を呼び出す

1 機能の利用中に[マルチ]

- 複数の機能の動作中に[マルチ]を押したときは、画面切替メニューが表示されます。[MENU]を押すたびに、新規起動メニューと画面切替メニューが切り替わります。
- 音声電話の発信:新規起動メニューで[ダイヤル発信]▶電話番号を入力▶[発信]

新規
ダイヤル発信
1 メール
2 iモード/iコン…
3 iアプリ/おサイ…
4 カメラ/TV/MUSIC
5 データBOX
6 便利ツール
7 電話帳・履歴
8 本体設定
9 地図/海外

新規起動メニュー

2 機能を選ぶ

複数の機能の動作中に操作する機能を切り替える

1 複数の機能の動作中に[マルチ]

2 機能を選ぶ

複数の機能の動作中に機能を終了する

■ 操作中の機能を終了する

1 複数の機能の動作中に[終話]

- 操作中の機能が終了し、動作中の他の機能が表示されます。

■ 機能を選んで終了する

1 複数の機能の動作中に[マルチ]

2 終了する機能にカーソルを合わせる▶[i]

- すべての機能を終了するとき:[カメラ]▶[はい]

自動電源ON／OFF

自動的に電源をON／OFFにする

指定した時刻に自動的にFOMA端末の電源をON／OFFにします。

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください(☞P.61)。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くや、航空機内、病院など使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ自動電源ONを解除してから、FOMA端末の電源を切ってください。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[時計]▶[自動電源ON／OFF]

2 項目を選ぶ

- ◆ **[自動電源ON]▶各項目を設定▶[カメラ]**
- ◆ **[自動電源OFF]▶各項目を設定▶[カメラ]**
- ◆ **[アラーム自動電源ON]▶設定を選ぶ**
  - ・[ON]に設定するとアラーム設定時刻に自動で電源が入り、アラームが動作します。

- 電池パックを取り外して電源を切ったときには、自動電源ONが動作しないことがあります。
- 指定した時刻に何かの操作をしていると、操作を終了したあとに自動電源OFFが動作します。
- 自動電源ON／OFFの繰り返しを[ON]に設定すると、自動電源ON／OFFを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。

お知らせタイマー

一定の時間が経過するとアラームで知らせる

設定した時間が経過したときに、タイマー音やランプ、バイブレータでお知らせします。

- タイマー音は、いずれかのボタン(Dを除く)を押すと止まります。
  - ・ビューアポジションのときは、Dを押すとタイマー音が止まります。
  - ・モーションサイレントでタイマー音を止めることもできます(☞P.105)。
- 音量設定のアラーム音量(☞P.103)の設定に従います。
- イルミネーション設定の電話着信(☞P.118)の設定に従います。
- バイブレータ設定のアラーム鳴動時(☞P.104)の設定に従います。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[お知らせタイマー]

2 時間(1～60分)を入力

- お知らせタイマー解除:終話/CLR▶[はい]

- FOMA端末を閉じているときは、設定した時間までの残り時間がサブディスプレイに表示されます。
- 通話中は、ランプ、バイブレータ、メロディによる通知は行われず、トーンによる通知を行います。
- 次の場合は、お知らせタイマーが動作しません。通信・操作を終了したあとにお知らせタイマーが動作します。
  - ■ 電話の発着信中、呼出中、切断中
  - ■ 64Kデータ通信の発着信中
  - ■ データ転送モード中
  - ■ 赤外線リモコン使用中

■ 待受画面からお知らせタイマーを使う<お知らせタイマー>

1 待受画面で時間(1～60分)を入力▶◉▶[お知らせタイマー]

- 時間(1～60分)を入力▶◎でも操作できます。

アラーム

指定した時刻にアラームで知らせる

指定した時刻・曜日に、アラーム音やランプ、バイブレータでお知らせしたり、ワンセグを起動することができます。

- あらかじめ、次の操作を行ってください。
  - ■ 日付時刻設定(☞P.61)
  - ■ チャンネル設定(☞P.250)
  - ■ はじめてワンセグを利用するときに表示される免責事項の確認(☞P.248)
- アラームは9件まで登録できます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[アラーム]

- 待受画面の待受時計をタッチしても起動できます。

2 登録する番号を選ぶ

3 各項目を設定▶📷

- 項目の切替:◎
- ワンセグ設定でワンセグ利用欄を[する]に設定している場合、連絡先設定はできません。
- 連絡先設定で連絡先欄を[あり]に設定している場合、ワンセグ設定はできません。
- メッセージは全角30文字(半角60文字)まで入力できます。

- 複数のアラームを同じ時刻に設定したときは、次の優先順位で動作します。

	優先順位(高→低)
アラーム機能	アラーム→スケジュール→視聴予約

アラーム設定内容画面の見かた

アラーム
1 06:55
スヌーズ 5分
2 --:--

1 アラーム設定中　2 繰り返し
3 設定時刻　4 スヌーズ設定

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。ワンセグ利用を[する]に設定している場合は、ワンセグが起動します。

- FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに[アラーム鳴動中]と表示されます。
- 登録されている連絡先に電話をかける：[終話] ▶ [はい] ▶ 電話をかける
  - 連絡先には電話番号または名前（電話帳に登録されているとき）が表示されます。名前が表示されているときは、[はい]を選択すると電話帳内容表示画面（☞P.96）が表示されます。
- 1分が経過すると、アラームが止まります。スヌーズを設定しているとスヌーズが動作します。

アラーム鳴動中のボタン操作

アラーム停止（スヌーズは動作）	[MENU]、[カメラ]、[メール]、[i]、[決定]、[上下]、[左右]、[開始]、[CLR]、[1]～[9]、[*]、[0]、[#]、[メモ]、[MAP]
アラーム停止（スヌーズ解除）	[終話]

- FOMA端末を閉じているときまたはビューアポジションのときは、Dを押すとアラームが停止します（スヌーズは動作）。
- モーションサイレント（☞P.105）でアラームを止めることもできます（スヌーズは動作）。

- 次の場合は、設定時刻になってもアラームが動作しません。通信・操作を終了したあとにアラームが動作します。
  - ■ 電話の発着信中、呼出中、切断中
  - ■ 64Kデータ通信の発着信中
  - ■ データ転送モード中
  - ■ 赤外線リモコン使用中
- ソフトウエア更新中、オールロック中、パーソナルデータロック中はアラームが動作しません。
- アラーム鳴動中やスヌーズ中に別のアラーム設定時刻になった場合は、先に起動しているアラームは停止し、別のアラームが動作します。
- PIN1入力ON／OFF切替を[ON]に設定し、アラーム自動電源ONを[ON]に設定している場合、FOMA端末の電源が入っていない状態でアラーム設定時刻になったときは、アラーム音が[T1(標準音)]で鳴ることがあります。
- バイブレータが[ON]のマナーモードを設定中は、バイブレータ設定が[OFF]でも、[パターンA]で振動します。

ワンセグ視聴中にアラーム時刻になったとき

- 通常ポジションのときはマルチウインドウになり、ビューアポジションのときはワンセグを中断して、アラームが動作します。アラームを終了すると、アラーム動作前の状態に戻ります。

アラームを解除／再設定する

アラームは、1件ごとに解除／再設定できます。解除しても登録内容は消えません。再設定を行うことで、再び同じ内容でアラームを動作させることができます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール] ▶ [アラーム]

2 登録番号にカーソルを合わせる ▶ [MENU]

スケジュール

スケジュールを利用／管理する

お預かりセンターと連携してスケジュールを管理できます。予定の日時、件名などを新規作成して通常スケジュールとして登録するだけではなく、ｉスケジュール、週間天気予報などの配信されたデータや誕生日などを登録・表示できます。アラームの設定やメッセージ表示などもできます。

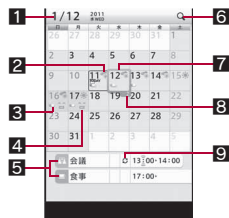
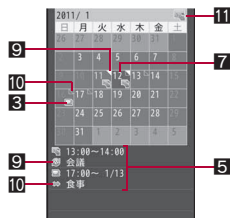
- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください（☞P.61）。
- スケジュールは、視聴予約、録画予約、メモと合わせて2600件まで登録できます。
- 2000年１月１日～2060年12月31日まで登録できます。
- ｉコンシェルをご契約されている場合、お預かりセンターからの更新や、サイトからのダウンロードによりスケジュールに表示されます。
- 配信されたスケジュールを編集して新規登録することもできます。

カレンダーを表示する<スケジュール>

スケジュール機能で登録した予定や、視聴予約・録画予約の内容を確認できます。

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[スケジュール]**

- 前月／次月を表示：[✉]／[i]

■ カレンダー画面の見かた

カレンダー画面（ノーマル）

カレンダー画面（クラシック）

1. 選択している日付、祝日名
2. 週間天気予報
3. 登録されている予定
4. シール
   シール表示設定が[ON]のときに表示されます。
5. 選択している日の予定※
6. 検索／フィルタリングアイコン
   表示条件設定を設定しているときに表示されます。
7. カーソル
8. 選択している日に登録されている件数（100件以上は「--」）
9. 繰り返し
10. 長期間のスケジュール
11. 用件アイコン
    用件別表示を設定しているときに表示されます。

※ スケジュール表示設定が[ノーマル]の場合、スケジュール起動時に最新の電話帳データから誕生日情報を取得し、表示します。

■ カレンダー画面のサブメニュー操作

[新規作成] ☞P.416

[貼り付け]

[削除]

- ▶[１日削除]▶[はい]
- ▶[選択日前日まで削除]▶[はい]
  - 長期間のスケジュールデータがあるとき：[選択日前日まで削除]▶[複数日も削除]／[複数日は残す]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[表示切替／日付移動]（ノーマルのみ）

- ▶[表示切替]▶表示を選ぶ
  - １月ごと、１日ごと、１週間ごとのタイムライン、１日ごとのタイムラインに表示を切り替えます。
- ▶[日付移動]
  - ▶[当日に戻る]
  - ▶[日付指定移動]▶日付を入力▶[📷]

[検索／フィルタリング]（ノーマルのみ）

- [表示条件設定] ▶ 表示条件を設定 ▶ 📷
- [表示条件解除]

[機能切替]（ノーマルのみ）

- [メール作成]
  - [1日送信] ▶ メールを作成・送信
  - [全件送信] ▶ メールを作成・送信
- [メール検索] ▶ メールの種類を選ぶ
- [メモ一覧表示]
- [iコンシェルメニュー表示]

[表示切替え]（クラシックのみ）

- [全用件表示]
- [用件別表示] ▶ アイコンを選ぶ

[日付移動]（クラシックのみ）

- [当日に戻る]
- [日付指定移動] ▶ 日付を入力 ▶ 📷

[メール]（クラシックのみ）

- [メール作成]
  - [1日送信] ▶ メールを作成・送信
  - [全件送信] ▶ メールを作成・送信
- [メール検索] ▶ メールの種類を選ぶ

[データ送信]

- [赤外線送信] ☞P.385
- [iC送信] ☞P.387
- [Bluetooth送信] ☞P.439

[データコピー／お預かり]

- [microSDへ全件コピー] ☞P.371
- [お預かりセンターに接続] ☞P.134

[設定／確認]

- [シール設定]（ノーマルのみ）
  - [シールを貼る]
  - [シールを選ぶ] ▶ シールを選ぶ
    - ● カレンダーに表示されるシールを選択できます。
  - [シール表示設定] ▶ 設定を選ぶ
- [休日／祝日設定]（ノーマルのみ）
  - [休日設定] ☞P.417
  - [曜日休日設定] ▶ 各項目を設定 ▶ 📷
    - ● 特定の曜日を休日に設定できます。
    - ● 曜日休日設定のリセット：MENU
  - [祝日設定] ☞P.417
- [スケジュール表示設定]（ノーマルのみ） ▶ 各項目を設定 ▶ 📷
  - ● スケジュールの表示方法を設定できます。
- [アラーム初期値設定]（ノーマルのみ） ▶ 各項目を設定 ▶ 📷
  - ● スケジュール登録時のアラーム設定の初期値を設定できます。
- [基本表示設定]（ノーマルのみ） ▶ 画面を選ぶ
  - ● スケジュール起動時に表示する画面を設定できます。
- [登録件数確認]（ノーマルのみ）
- [設定]（クラシックのみ）
  - [スケジュール表示設定] ▶ 各項目を設定 ▶ 📷
    - ● スケジュールの表示方法を設定できます。
  - [休日設定] ☞P.417
  - [曜日休日設定] ▶ 各項目を設定 ▶ 📷
    - ● 特定の曜日を休日に設定できます。
    - ● 曜日休日設定のリセット：MENU
  - [祝日設定] ☞P.417
  - [アラーム初期値設定] ▶ 各項目を設定 ▶ 📷
    - ● スケジュール登録時のアラーム設定の初期値を設定できます。

▶[登録件数確認](クラシックのみ)

[メール作成]について

- メール本文にDate To形式で入力されます。Date To形式は「aaaa/bb/cc dd:ee ～ aaaa/bb/cc dd:ee Schedule」の文字列で構成されます。
  - ■「aaaa」は年、「bb」は月、「cc」は日、「dd」は時間、「ee」は分を表示します。
  - ■「Schedule」はひらがな/漢字モードで入力しても有効です。
  - ■「aaaa/bb/cc dd:ee」は、前半に開始年月日と時刻、後半に終了年月日と時刻が表示されます。

  例:2011年1月11日午後1時から2011年1月11日午後2時10分までのスケジュール→[2011/01/11 13:00 ～ 2011/01/11 14:10 Schedule]

[登録件数確認]について

- シークレットモードが[ON]のときは、シークレット属性設定したデータを含む件数が表示されます。
- 電話帳データから取得した誕生日データは件数に含まれません。

■ 待受画面から日付を入力してカレンダーを表示する<スケジュール>

1 待受画面で日付を入力▶◉▶[スケジュール]

- 日付入力と表示されるカレンダーの対応は次のとおりです。
  - ■ 01～31:今月のカレンダー(1日～31日)
  - ■ 0101～1231:指定月日のカレンダー(1月1日～12月31日)
  - ■ 20000101～20601231:指定年月日のカレンダー(2000年1月1日～2060年12月31日)

スケジュールを登録する<新規作成>

- 日付と件名は必ず設定してください。

ノーマルの場合

1 カレンダー画面でMENU▶[新規作成]

2 各項目を設定▶[i]

- 登録の詳細については☞P.427

クラシックの場合

1 カレンダー画面でMENU▶[新規作成]

2 各項目を設定▶[📷]

- 項目の切替:◎
- 用件アイコンを選択するとアイコンに対応する予定が入力欄に表示されます。用件には全角300文字(半角600文字)まで入力できます。
- 場所は全角25文字(半角50文字)まで入力できます。
- 詳細は全角300文字(半角600文字)まで入力できます。
- スケジュール連絡先は5件まで登録できます。
- 連絡先の削除:電話帳にカーソルを合わせる▶MENU

- アラーム音、アラーム音量を[端末設定に従う]に設定した場合、スケジュール音(☞P.103)に従います。

■ 待受画面から時間を入力してスケジュールを登録する<クイックアラーム>

1 待受画面で時刻(4桁:24時間制)を入力▶◉▶[クイックアラーム]

2 各項目を設定▶[i]

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。同じ時刻に複数のスケジュールアラームが設定されているときは、最後に登録された予定のアラームが鳴ります。◎を押すと、他のスケジュールの内容を確認できます。

- アラームの止めかたについては☞P.413
- ｉコンシェルをご契約されている場合は、ポップアップメッセージを表示してお知らせします(☞P.212)。

- 次のようなときは、アラーム画面に画像や映像が表示されます。
  - ■ スケジュールに画像を設定しているとき
  - ■ アラーム音に映像を含んだｉモーションを設定しているとき

便利な機能

休日を登録／解除する<休日設定>

特定の日を休日に設定できます。また、設定した休日を解除することもできます。

- 休日は30件まで設定できます。

1 カレンダー画面で[MENU]▶［設定／確認］▶［休日／祝日設定］▶［休日設定］

2 日付を選ぶ

- 休日を解除する：休日設定した日付を選ぶ
- 設定した日を毎年休日にする：休日設定した日付にカーソルを合わせる▶[i]
  - 毎年設定を解除するときは、もう一度[i]を押します。画面には［固定設定］と表示されています。
- 休日をすべて解除する：[✉]▶［はい］

祝日を登録／変更する<祝日設定>

- あらかじめ登録されている国民の祝日のほかに、5件まで設定できます。
- お買い上げ時は、カレンダーには「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいた祝日が登録されています（2010年10月現在）。春分の日、秋分の日の日付は前年の２月１日の官報で発表されるため異なるときがあります。

■ 祝日を登録する

1 カレンダー画面で[MENU]▶［設定／確認］▶［休日／祝日設定］▶［祝日設定］▶[📷]

2 各項目を設定▶[📷]

- 祝日名は、全角11文字（半角22文字）まで入力できます。

■ 祝日を変更する

1 カレンダー画面で[MENU]▶［設定／確認］▶［休日／祝日設定］▶［祝日設定］

2 祝日を選ぶ

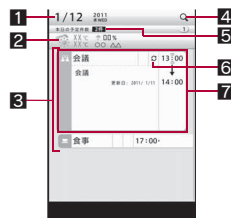
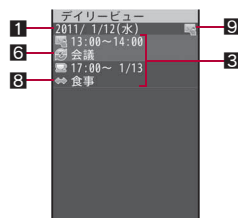
- 祝日を削除：祝日にカーソルを合わせる▶[MENU]▶［はい］
  - お買い上げ時に登録されている祝日は削除できません。

3 各項目を設定▶[📷]

- お買い上げ時に登録されている祝日の祝日名は変更できません。

スケジュールを確認する

1 カレンダー画面で日付を選ぶ

- 前日／翌日の予定リスト画面を表示：[◀]／[▶]

予定リスト画面（ノーマル）

予定リスト画面（クラシック）

1 日付、祝日名

2 週間天気予報（天気アイコン、最高気温、最低気温、降水確率、エリア名）
週間天気予報データがある場合にのみ表示されます。

3 選択している日の予定

4 検索／フィルタリングアイコン
表示条件設定を設定しているときに表示されます。

5 当日に登録されている件数（100件以上は「--」）

6 繰り返し

7 プレビュー
選択した予定のプレビューが表示されます。

8 長期間のスケジュール

9 用件アイコン
用件別表示を設定しているときに表示されます。

次ページへ続く▶▶

2 予定を選ぶ

スケジュール詳細画面（ノーマル）

スケジュール詳細画面（クラシック）

- スケジュール詳細画面にリンクボタン（電話番号、メールアドレス、URL）があるときは、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。
- スケジュールの編集（ノーマルのみ）：[i]
- スケジュールの編集（クラシックのみ）：[📷]
- スケジュールの削除（ノーマルのみ）：[📷]▶［はい］
- スケジュールをｉモードメールに添付する（クラシックのみ）：[✉]

- 電話帳データから取得した誕生日データは編集、削除したり、メールに添付できません。
- プロフィールの誕生日データは登録されません。
- 週間天気予報データは、メール添付やmicroSDカードへコピー、赤外線送信、ｉC送信、Bluetooth送信はできません。
- ｉスケジュール内の予定を編集する場合、コピー確認画面が表示され、通常スケジュールとして新規登録されます。編集前の予定はそのまま残ります。

■ 予定リスト画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、カレンダー画面のサブメニュー操作（☞P.414）を参照してください。
  - ■ 新規作成
  - ■ 削除（1日削除、選択日前日まで削除、全件削除）
  - ■ 表示切替／日付移動
  - ■ 検索／フィルタリング
  - ■ 表示切替え
  - ■ 日付移動
  - ■ 機能切替（1日送信、全件送信、メール検索、メモ一覧表示、ｉコンシェルメニュー表示）
  - ■ メール（1日送信、全件送信、メール検索）
  - ■ データ送信
  - ■ データコピー／お預かり（microSDへ全件コピー、お預かりセンターに接続）

［編集／設定］
- ▶［編集］ ☞P.419
- ▶［シール設定］（ノーマルのみ）
  - ▶［シールを貼る］
  - ▶［シールを選ぶ］▶シールを選ぶ
    - カレンダーに表示されるシールを選択できます。
  - ▶［シール表示設定］▶設定を選ぶ
- ▶［基本表示設定］（ノーマルのみ）▶画面を選ぶ
  - スケジュール起動時に表示する画面を設定できます。
- ▶［シークレット属性設定］／［シークレット属性解除］

［コピー／貼り付け］
- ▶［コピー］
- ▶［貼り付け］

［削除］
- ▶［1件削除］▶［はい］
- ▶［選択削除］▶予定を選ぶ▶[📷]▶［はい］

［機能切替］（ノーマルのみ）
- ▶［メール作成］
  - ▶［1件送信］▶メールを作成・送信

▶[メール添付]▶メールを作成・送信

[メール](クラシックのみ)

▶[メール作成]

▶[1件送信]▶メールを作成・送信

▶[メール添付]▶メールを作成・送信

[データコピー/お預かり]

▶[microSDへ1件コピー] ☞P.371

[コピー]について

- 予定をコピーし、貼り付けられます。コピーした予定は、スケジュールを終了するまで記憶されます。

[シークレット属性設定]について

- シークレット属性設定したスケジュールは、シークレットモードを[OFF]に設定すると表示されなくなります。シークレットモードを[ON]に設定すると表示されます。また、設定したアラームは動作しません。
- シークレットモードが[ON]のとき、シークレット属性設定されたスケジュールを選ぶと、[⚿]が点滅します。

■ スケジュール詳細画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、カレンダー画面のサブメニュー操作(☞P.414)を参照してください。
  - ■ 新規作成 ■ データ送信
  - ■ データコピー/お預かり(お預かりセンターに接続)

[編集](ノーマルのみ) ☞P.419

[編集/設定](クラシックのみ)

▶[編集] ☞P.419

▶[シークレット属性設定]/[シークレット属性解除]

- [シークレット属性設定]について☞P.419

[削除]▶[はい]

[メール]

▶[メール作成]▶メールの作成・送信

▶[メール添付]▶メールの作成・送信

[データコピー/お預かり]

▶[microSDへ1件コピー] ☞P.371

[画像保存](ノーマルのみ)

▶[添付画像保存]

▶[シール保存]

[設定](ノーマルのみ)

▶[優先表示設定]/[優先表示解除]

▶[シール表示設定]▶設定を選ぶ

▶[シークレット属性設定]/[シークレット属性解除]

- [シークレット属性設定]について☞P.419

[メモ共有履歴](ノーマルのみ)

スケジュールを修正する<編集>

1 カレンダー画面で日付を選ぶ

2 予定にカーソルを合わせる▶MENU▶[編集/設定]▶[編集]

3 各項目を設定▶[i]▶[はい]

- スケジュール表示設定が[クラシック]のとき:各項目を設定▶[📷]▶[はい]
- 修正方法は、登録時の操作と同様です(☞P.416)。

スケジュール連絡先を利用する

スケジュールに登録した連絡先を利用して、音声電話やテレビ電話の発信、メールの作成などができます。

1 カレンダー画面で日付を選ぶ▶予定を選ぶ

2 連絡先を選ぶ▶連絡先を利用する

- スケジュール表示設定が[クラシック]のとき：⊛で[スケジュール連絡先]に切り替える▶連絡先を選ぶ

■ スケジュール連絡先画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、カレンダー画面のサブメニュー操作（☞P.414）を参照してください。

■ 新規作成　■ データ送信
■ データコピー／お預かり（お預かりセンターに接続）

● 次の機能については、スケジュール詳細画面のサブメニュー操作（☞P.419）を参照してください。

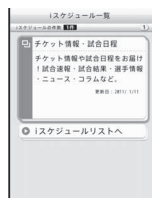
■ 編集／設定　■ 削除　■ メール
■ データコピー／お預かり（microSDへ1件コピー）

[発信オプション]	☞P.67
[連絡先に通知]▶通知方法を選ぶ▶メールの作成・送信	
[URL起動]▶接続方法を選ぶ	

ｉスケジュールを確認する

スケジュール表示設定が[ノーマル]に設定されているとき、ｉスケジュールを表示できます。

1 カレンダー画面（ノーマル）または予定リスト画面（ノーマル）で[📷]

- ｉスケジュール一覧が表示されます。

ｉスケジュール一覧画面

2 ｉスケジュールにカーソルを合わせる▶[📷]

- ｉスケジュール内の予定一覧が表示されます。
- ｉスケジュールの概要表示：ｉスケジュールを選ぶ

3 スケジュール内の予定を選ぶ

- ｉスケジュール内の予定の詳細画面が表示されます。
- 編集：[📷]▶[OK]▶スケジュールを編集▶[i]
  - 編集方法は、登録時の操作と同様です（☞P.416）。
  - 通常のスケジュールとして登録されます。
- メール添付：[i]▶メールを作成・送信
  - 通常のスケジュールとして添付されます。

■ ｉスケジュール一覧画面のサブメニュー操作

[1件削除]▶[はい]
[選択削除]▶予定を選ぶ▶[📷]▶[はい]
[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

■ ｉスケジュール予定一覧画面のサブメニュー操作

[編集]	☞P.419
[メール]	
▶[1件送信]▶メールの作成・送信	
▶[メール添付]▶メールの作成・送信	
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.385
▶[ｉＣ送信]	☞P.387
▶[Bluetooth送信]	☞P.439
[データコピー／お預かり]	
▶[microSDへ1件コピー]	☞P.371
▶[お預かりセンターに接続]	☞P.134
[シール表示設定]▶設定を選ぶ	

■ ｉスケジュール詳細画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、ｉスケジュール予定一覧画面のサブメニュー操作（☞P.420）を参照してください。

■ 編集　■ メール（メール添付）　■ データ送信
■ データコピー／お預かり　■ シール表示設定

[メール]

▶[メール作成]▶メールの作成・送信

[画像保存]

▶[添付画像保存]

▶[シール保存]

アイコン登録

待受タッチランチャに機能を登録する

- 待受タッチランチャには12件まで登録できます。

この位置に登録されている機能は、待受画面で1～3(1秒以上)で実行することができます。

- お買い上げ時の登録

1:iコンシェル
2:使いかたガイド
3:新規メール作成

1 待受タッチランチャ表示中に◉▶アイコンにカーソルを合わせる▶MENU▶[アイコン登録]

- アイコンをロングタッチ▶[アイコン登録]でも操作できます。

2 登録する機能を選ぶ

- フォーカスモードで待受タッチランチャにカーソルを合わせ、ダイヤルボタンを押すと、アイコンの項目番号に対応する機能を起動することができます。
- 待受タッチランチャに登録した電話帳やiアプリのソフトを削除すると、待受タッチランチャからも削除されます。
- シークレットモードが[OFF]のとき、シークレット属性設定されたデータをアイコン登録した場合、待受タッチランチャにアイコンは表示されません。

セレクトメニュー登録

セレクトメニューを登録する

よく使う機能や電話帳の名前を登録してオリジナルのメニューを作成できます。メニューグループを使って、メニューに階層を作ることもできます。

- セレクトメニューについては☞P.42
- セレクトメニューには9件まで登録できます。
- メニューグループは2階層まで登録できます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[メニュー設定]▶[セレクトメニュー登録]

2 MENU▶[追加登録]

- メニューグループ内に登録するとき:メニューグループを選ぶ▶MENU▶[追加登録]
- 上書き登録するとき:メニュー項目にカーソルを合わせる▶MENU▶[上書き登録]
  - ・メニューグループに上書き登録すると、メニューグループ内の項目も削除されます。

3 項目の種類を選ぶ

◆ **[機能]▶機能を選ぶ▶📷**

◆ **[人物]▶名前を選ぶ**

◆ **[メニューグループ]▶メニューグループ名を編集▶📷**

- ・メニューグループ名は全角9文字(半角18文字)まで入力できます。
- ・作成したメニューグループを選択すると、メニューグループの中に機能や人物、メニューグループを登録することができます。

- セレクトメニューに9件登録されている場合、追加登録はできません。上書き登録を行うか、メニューを削除してから追加登録を行ってください。

クイック機能検索

機能を簡単に入力して呼び出す

待受画面で機能名を入力して該当する機能を呼び出すことができます。押したボタンに割り当てられているすべての文字の組み合わせから、機能名の候補を表示します。

例:「セキュリティ」を含む機能を呼び出すとき

1 待受画面で3▶◉▶[機能検索]

- 3に割り当てられた「さ」「し」「す」「せ」「そ」「D」「E」「F」「3」を含むメニューが一覧表示されます。
- 待受画面で328▶◉▶[機能検索]で機能を呼び出すこともできます。
  - 検索文字列は10文字まで入力できます。

2 2

- 32に対応した「さた」「すけ」「せき」などを含むメニューが表示されます。

3 8

- 328に対応した「すきゃ」「せきゅ」などを含むメニューが表示されます。

4 機能を選ぶ

- 操作ガイドの表示:MENU

● 濁点、半濁点、記号の入力は不要です。

クイック検索

いろいろな方法で検索する

電子辞書やｉアプリ「ネット辞典」、GPS対応ｉアプリ、使いかたガイド、検索サイトなどを利用することができます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[クイック検索]

- 待受画面で4（1秒以上）でも操作できます。

2 検索方法を選ぶ

- 利用できる検索方法は次のとおりです。

■ 内蔵辞書:あらかじめ登録、設定した電子辞書を利用して検索します。電子辞書は5つまで登録でき、検索時に電子辞書を変更して検索することもできます。
- 文字を入力するたびに、文字入力欄の下に検索結果が表示されます。
- 検索文字列をすべて入力してから検索する場合は📷を押してください。

■ ｉアプリ辞書:ｉアプリ「ネット辞典」を起動して検索します。
- ｉアプリ辞書の登録については☞P.289

■ ｉモードで探す（文字入力）:キーワードを文字入力し、ｉモードに接続してサイトを検索します。

■ ｉモードで探す（音声入力）:キーワードを音声入力し、ｉモードに接続してサイトを検索します。
- 音声入力については☞P.450

■ ｉMenuから探す:ｉモードに接続して、ｉMenuから検索します。

■ フルブラウザで探す:キーワードを文字入力し、フルブラウザに接続してサイトを検索します。検索サイトは変更できます。
- 検索サイトの登録については☞P.422

■ 地図検索（文字入力）:GPS対応ｉアプリを起動して、文字入力で地図検索します。
- GPS対応ｉアプリの登録については☞P.289

■ クイックランチャ:クイックランチャを利用して検索します。
- 機能検索については☞P.422
- 電話帳検索については☞P.100

■ 使いかたガイド:使いかたガイドを利用して検索します。
- 使いかたガイドについては☞P.51

■ データ検索:条件を設定してデータを検索します。
- データ検索については☞P.380

■ クイック検索画面のサブメニュー操作

[内蔵辞書登録] ☞P.423

[フルブラウザ検索先変更]▶検索サイトを選ぶ▶[はい]
● 利用する検索サイトを設定します。

■ 内蔵辞書検索結果表示画面のサブメニュー操作

[辞書設定]▶電子辞書を選ぶ
● 検索する電子辞書を変更します。

[キーワード検索]▶検索文字列を入力▶[カメラ]

[縦横切替HOLD]▶設定を選ぶ
- FOMA端末を傾けると縦／横表示が切り替わるとき、一時的に縦／横表示を切り替えないよう設定できます。

[辞書設定]について
- 設定した電子辞書には[■]が表示されます。

[縦横切替HOLD]について
- 縦横画面自動切替の設定によって操作できるメニューが切り替わります。

利用する電子辞書を設定する<内蔵辞書登録>

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[クイック検索]

2 [MENU]▶[内蔵辞書登録]

3 電子辞書を選ぶ
- 設定した電子辞書には[■]が表示されます。
- 辞書登録されている電子辞書には[辞]が表示されます。

■ 内蔵辞書一覧画面のサブメニュー操作

[辞書登録]▶電子辞書を選ぶ▶[はい]
- 利用する電子辞書を登録します。

[登録解除]▶[はい]
- 登録している電子辞書を解除します。

受信メール詳細画面でクイック検索を利用する<クイック検索>

- デコメアニメ®表示中はクイック検索できません。
- [内蔵辞書]、[ｉアプリ辞書]、[ｉモードで探す(文字入力)]のみ選択できます。

1 受信メール詳細画面で[MENU]▶[クイック検索]

2 検索する文字列の始点を選ぶ▶終点を選ぶ

3 辞書で調べる

プロフィール登録

自分の名前や画像を登録する

- お買い上げ時は、取り付けたドコモUIMカードの電話番号のみが登録されています。

1 ノーマルメニューで[プロフィール]
- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定しているときは、Aナンバーのプロフィールが表示されます。Bナンバーのメールアドレスを自動取得することもできます(☞P.423)。
- Aナンバー／Bナンバーの切替(2in1[デュアルモード]時)：[i]

2 [カメラ]▶端末暗証番号を入力

3 各項目を設定▶[カメラ]
- 登録方法は、電話帳と同様です(☞P.90)。
- 1件目のメールアドレスを登録するときは、登録方法選択画面が表示されます。[直接入力]を選択すると、電話帳と同じ操作で登録できます。

■ 登録時にメールアドレスを自動で入力する<メールアドレス自動取得>

1 プロフィール登録画面でメールアドレス欄を選ぶ

2 [メールアドレス自動取得]
- FOMA端末のメールアドレスが自動で入力されます。
- 自分で入力するとき：[直接入力]▶メールアドレスを入力▶メールアドレス種別アイコンを選ぶ

- ｉモードのメールアドレスを変更しても、プロフィール詳細画面に表示されるメールアドレスは、自動的には更新されません。メールアドレスは登録し直してください。
- 2in1契約時に自動取得を行った場合、登録されているすべてのメールアドレスが入力されます。ただし、確認できるメールアドレスは2in1のモードによって異なります。

プロフィールの詳細を表示する<プロフィール>

1 ノーマルメニューで[プロフィール]▶◉

2 端末暗証番号を入力

- 表示項目の切替:Ⓒ
- プロフィールに登録した項目がアイコンで表示されます。アイコンを選ぶと操作ガイダンスに利用可能な機能が表示されます。割り当てられたボタンを押して、操作することができます。

■ プロフィール詳細画面のサブメニュー操作

[メール/URL起動]
- ▶[メール作成]▶メールを作成・送信
- ▶[SMS作成]▶SMSを作成・送信
- ▶[URL起動]▶接続方法を選ぶ
- ▶[地図を見る]

[発信オプション] ☞P.67

[プロフィール送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.385
- ▶[ｉＣ送信] ☞P.387
- ▶[Bluetooth送信] ☞P.439

[編集/設定] ☞P.423
- ▶[編集]▶各項目を設定▶📷
  - 編集の詳細については☞P.423
- ▶[設定]
  - ▶[発番号設定]▶設定を選ぶ
  - ▶[メールアドレス入替え] ☞P.99

[位置情報] ☞P.336

[Bナンバー取得]▶[はい]▶[OK]

[リセット]▶[はい]

[確認/表示切替]
- ▶[基本情報]
- ▶[画像確認]
- ▶[画像/名前表示切替]▶表示方法を選ぶ

[項目コピー]▶項目を選ぶ

[Bナンバー取得]について
- 2in1のモードが[デュアルモード]でBナンバー表示の場合、または[Bモード]のときに取得できます。

通話中の相手の声や映像、待受中の自分の声を録音/録画する

通話中に相手の声(通話中音声メモ)や映像(テレビ電話中動画メモ)を録音/録画したり、待受中に自分の声(待受中音声メモ)を録音できます。

- 録音時間は１件につき約30秒で、通話中音声メモ、待受中音声メモを合わせて４件まで録音できます。
- 音声メモが約３秒以下のときは、録音されないことがあります。
- 通話中音声メモ、待受中音声メモの再生/削除については☞P.84

通話中に相手の声を録音する

1 音声電話の通話中に⑦(１秒以上)/Ⓓ(１秒以上)

- 録音停止:Ⓓ(１秒以上)
- 録音は約30秒で自動的に終わります。

- 通話中音声メモでは、自分の声は録音されません。ただし、回線の状態などによっては、自分の声が録音されることがあります。
- 圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。
- オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中は録音できません。

テレビ電話中に相手の声や画像を録画する

1 テレビ電話の通話中にⒹ（1秒以上）

- 録画停止：Ⓓ（1秒以上）
- 録画経過時間表示と通話時間表示の切替：◉
- 録画は約30秒で自動的に終わります。
- 録画中、相手にはテレビ電話画像選択の動画メモ画像（☞P.87）で設定した画像が表示されます。

- 録画した動画はデータBOXのｉモーション・ムービーの[カメラ]フォルダに保存されます。保存先の空き容量が不足している場合は録画できません。
- オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中は録画できません。

待受中に自分の声を録音する<音声メモ録音>

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[伝言メモ／音声メモ]▶[音声メモ録音]

- 待受画面で⑦（1秒以上）▶[音声メモ録音]でも操作できます。
- 録音停止：◉
- 送話口から約10cm以内でお話しください。
- 録音は約30秒で自動的に終わります。
- 録音した音声メモの再生方法については☞P.84

- 録音中に電話がかかってきたり、アラームなどが動作すると、録音は中止されます（中止前までの内容は録音されています）。

通話時間・料金

通話時間／料金を表示する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間として音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、[0 YEN]もしくは[******YEN]が表示されます。
- テレビ電話と音声電話を切り替えて使用した場合の料金表示は、[直前通話料金（音声）○○YEN]、[直前通話料金（テレビ電話）○○YEN]と表示されます。複数回切り替えた場合は、音声電話、テレビ電話ごとに、それぞれが合算されて表示されます。
- 通話料金はドコモUIMカードに蓄積されるため、ドコモUIMカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

通話料金を表示する<通話料金表示>

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[通話時間・料金]▶[通話料金表示]

- 通話料金のリセット：📷▶PIN2コードを入力▶[はい]

- 着信があったり、電源を切ったりした場合、直前通話料金は[******YEN]になります。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 2in1をご契約いただいている場合、積算通話料金には、AナンバーとBナンバーの合計の金額が表示されます。
- 積算通話料金をリセットすると、リセットした年月日が記憶されます。

通話時間を表示する<通話時間表示>

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[通話時間・料金]▶[通話時間表示]

- 通話時間のリセット：[📷]▶端末暗証番号を入力▶項目を選ぶ▶[はい]

- 前回の通話時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 積算の通話時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 積算通話時間をリセットすると、リセットした年月日が記憶されます。

通話料金を自動的にリセットする <通話料金自動リセット設定>

毎月1日午前0時に通話料金リセットを自動的に行います。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[通話時間・料金]▶[通話料金自動リセット設定]

2 端末暗証番号を入力

3 設定を選ぶ

4 PIN2コードを入力

- 通話料金自動リセット設定を[ON]に設定すると、日付時刻設定(☞P.61)で翌月以降に日時を変更したときも通話料金がリセットされます。

通話料金の上限を設定して知らせる <通話料金上限通知>

設定した通話料金の上限を超えた通話が終了したあと、待受画面に戻ったときにアイコンを表示したり、アラームで知らせるように設定できます。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[通話時間・料金]▶[通話料金上限通知]

2 端末暗証番号を入力

3 各項目を設定▶[📷]

- 上限通知アイコンが表示されているときに、通話料金上限通知を再設定すると上限通知アイコンが削除されます。

■ 待受画面の上限通知アイコンを削除する <上限通知アイコン消去>

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[通話時間・料金]▶[上限通知アイコン消去]

2 端末暗証番号を入力▶[はい]

- 上限通知アイコンを削除すると、積算通話料金をリセットするか、通話料金上限通知を再設定するまで、上限通知アイコンは表示されなくなります。

電卓

電卓として使う

- 8桁まで計算できます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[電卓]

- 待受画面では：数字を入力▶◉▶[電卓]

2 計算する

電卓のボタン操作

数字入力	0～9	小数点	✱
＋／－の切替	♯	＋(加算)	◎(右)
－(減算)	◎(左)	×(乗算)	◎(上)
÷(除算)	◎(下)	＝(計算の実行)	◉
AC(演算クリア)	CLR	一桁削除	[i]

■ 電卓画面のサブメニュー操作

[コピー]
[貼り付け]

メモ

メモを入力する

スケジュールやｉコンシェルなどから共有できる便利なメモを作成できます。

- メモはスケジュールと合わせて2600件まで登録できます。メモリの使用状況によっては、保存できる件数が少なくなる場合があります（☞P.382）。

1 ノーマルメニューで[便利ツール] ▶ [メモ] ▶ MENU ▶ [新規作成]

- メモ一覧画面で📷を押しても操作できます。

2 各項目を設定 ▶ ◙

- ヒントを表示／非表示：📷
  - 入力欄の下にヒント（入力候補）を表示できます。表示されたヒントを選択して入力することができます。

1 カテゴリアイコン

2 シールボタン
メモを楽しくデコレートするようなシール（絵文字／デコメ絵文字®）を貼り付けたり、はがしたりできます。

3 ラベルカラーボタン
ラベルの色を変更できます。

4 件名
- 全角300文字（半角600文字）まで入力できます。

5 詳細
- 全角300文字（半角600文字）まで入力できます。

6 文字カラーボタン
件名の文字色を変更できます。

7 設定項目
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ ToDo：ToDoを設定できます。
  - ■ いつ？：日時を設定できます。
  - ■ どこで？：場所を設定できます。
    - 全角25文字（半角50文字）まで入力できます。
  - ■ だれと？：相手を設定できます。
    - 直接入力の場合は、全角25文字（半角50文字）まで入力できます。
  - ■ 共有設定：メモを共有する相手などを設定できます。
  - ■ 添付：静止画やメールを添付できます。
  - ■ アラーム・リマインド設定：指定した日時でお知らせするように設定したり、オートGPS機能を利用して指定した場所でお知らせするように設定できます。また、[だれと？]や[共有設定]で設定したアドレスからメールが届いたときに、入力したメモを検索対象とするかどうかを設定できます。

ToDoについて
- ToDoを設定したメモは、スケジュール（ノーマルのみ）にも登録されます。

いつ？について
- 日付を設定したメモは、スケジュールにも登録されます。

共有設定について
- ｉコンシェル未契約のときは利用できません。

アラーム・リマインド設定について
- アラーム音を[端末設定に従う]に設定した場合、スケジュール音（☞P.103）に従います。
- 場所でリマインド、メールでリマインドはｉコンシェル未契約のときは利用できません。
- 場所でリマインドを利用するときはオートGPS動作設定を[ON]に設定してください。

■ メモ一覧画面のサブメニュー操作

[新規作成] ☞P.427

[編集] ☞P.429

[削除]

▶[1件削除]▶[はい]

▶[選択削除]▶メモを選ぶ▶[📷]▶[はい]

▶[期限切れToDo削除]▶[はい]

▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[検索/フィルタリング]

▶[表示条件選択]▶表示条件を選ぶ

▶[検索]▶検索条件を設定▶[📷]

▶[表示条件解除]

[機能切替]

▶[メール添付]▶メールを作成・送信

▶[スケジューラ表示]

▶[iコンシェルメニュー表示]

[データ送信]

▶[赤外線送信] ☞P.385

▶[iC送信] ☞P.387

▶[Bluetooth送信] ☞P.439

[データコピー/お預かり]

▶[microSDへ1件コピー] ☞P.371

▶[microSDへ全件コピー] ☞P.371

▶[お預かりセンターに接続] ☞P.134

[設定]

▶[優先表示設定]/[優先表示解除]

- 優先的にメモ一覧画面の上部に表示させるかどうかを設定します。

▶[シール表示設定]▶設定を選ぶ

▶[シークレット属性設定]/[シークレット属性解除]

▶[アラーム初期値設定]▶各項目を設定▶[📷]

[メモ共有履歴]

[シークレット属性設定]について

- シークレット属性設定したメモは、シークレットモードを[OFF]に設定すると表示されなくなります。シークレットモードを[ON]に設定すると表示されます。また、設定したアラームは動作しません。
- シークレットモードが[ON]のとき、シークレット属性設定されたメモを選ぶと、[🔑]が点滅します。

メモを確認する

メモの情報を利用して、メールなどが作成できます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[メモ]

1 優先表示アイコン
2 カテゴリアイコン
3 シール
4 件名
5 ToDo期限カウントダウン表示
6 詳細プレビュー
- ⊙/⊙で前/次のページを表示します。

7 プレビューアイコン

2 メモを選ぶ

- メモを削除:[📷]▶[はい]

■ メモ詳細画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、メモ一覧画面のサブメニュー操作(☞P.428)を参照してください。
  - ■ 新規作成　■ 編集　■ データ送信
  - ■ データコピー／お預かり(microSDへ1件コピー、お預かりセンターに接続)
  - ■ 設定(優先表示設定、優先表示解除、シール表示設定、シークレット属性設定、シークレット属性解除)
  - ■ メモ共有履歴

[削除]▶[はい]

[メール]

▶[メール作成]▶メールを作成・送信

▶[メール添付]▶メールを作成・送信

[画像保存]

▶[添付画像保存]

▶[シール保存]

[メール作成]について

- スケジュールで作成したメモの場合のみ操作できます。
- メール本文にDate To形式で入力されます。Date To形式は「aaaa/bb/cc dd:ee ～ aaaa/bb/cc dd:ee Schedule」の文字列で構成されます。
  - ■「aaaa」は年、「bb」は月、「cc」は日、「dd」は時間、「ee」は分を表示します。
  - ■「Schedule」はひらがな／漢字モードで入力しても有効です。
  - ■「aaaa/bb/cc dd:ee」は、前半に開始年月日と時刻、後半に終了年月日と時刻が表示されます。

  例：2011年1月11日午後1時から2011年1月11日午後2時10分までのスケジュール→[2011/01/11 13:00 ～ 2011/01/11 14:10 Schedule]

メモを修正する

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[メモ]

2 メモにカーソルを合わせる▶MENU▶[編集]

- メモ一覧画面でメモにカーソルを合わせて[i]を押すか、メモ詳細画面で[i]を押しても操作できます。

3 各項目を設定▶[i]

- 修正方法は、登録時の操作と同様です(☞P.427)。

4 [はい]

- 修正したメモは上書き保存されます。

方位計

方位を確認する

電子コンパスを表示して、FOMA端末が向いている方位を確認できます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[方位計]

- 次の場合は方位を正しく表示できないことがあります。サブメニューから方位計補正を行ってください。
  - ■ 方位計を起動した直後
  - ■ ポジションを変えた直後
  - ■ FOMA端末のボタン面を地面に向けている場合
  - ■ 急激な温度変化を伴う場所に長時間置いた場合
  - ■ 金属(鉄製の机、ロッカーなど)、永久磁石(かばんの留め金など)、家庭電化製品(テレビ、パソコン、スピーカなど)の近くに置いた場合

■ 方位計画面のサブメニュー操作

[方位計補正]▶◉▶表示に従って操作
- 地磁気センサーの取得精度を補正します。
- 補正の中止：◉

[ガイド]
- 方位計についての注意事項を表示します。

[方位計補正]について

- 方位補正が完了すると音が鳴り、バイブレータが動作します。ただし、音やバイブレータが動作しない場合もあります。

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

ステレオイヤホンマイク 01(別売)などを接続すると、スイッチを押して電話などをかけたり受けたりできます。

- 外部接続端子カバーは無理に引っ張らないでください。破損することがあります。
- ステレオイヤホンマイク 01を接続すると、キー確認音、待受ｉモーション音は、ステレオイヤホンマイク 01から聞こえます。
- ステレオイヤホンマイク 01からの音量は、各機能の音量設定で設定された音量で聞こえます。
- スイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話をかけたり、受けたりすることがあります。
- ステレオイヤホンマイク 01のコードをFOMA端末に巻き付けないでください。内蔵アンテナが正しくはたらかないことがあります。
- ステレオイヤホンマイク 01のコードを内蔵アンテナに近づけると、ノイズが入ることがありますので、ご注意ください。
- プラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全で途中で止まっていると、音が切れたり、雑音や大きな音がすることがあります。
- 通話中にプラグの差し込みが不完全なときは「プー」という音がしますが故障ではありません。
- 電源を入れたときや操作したときに「パチッ」という音がすることがありますが故障ではありません。
- ステレオイヤホンマイク 01の代わりに、平型ステレオイヤホンセット P01(別売)と外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01(別売)でもご利用いただけます。

スイッチ付イヤホンマイクの動作を設定する <イヤホン機能設定>

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[発着信・通話設定]▶[イヤホン機能設定]

2 項目を選ぶ

◆ [イヤホン切替設定]▶設定を選ぶ
- ステレオイヤホンマイク 01を接続したとき、着信音やアラーム音などをステレオイヤホンマイク 01だけから聞こえるように設定できます。
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ イヤホン＋スピーカー：イヤホンとスピーカから着信音やアラーム音などが聞こえます。
  - ■ イヤホン(20秒後通知有)：20秒後にスピーカから着信音やアラーム音などが聞こえます。
  - ■ イヤホンのみ：イヤホンだけから着信音やアラーム音などが聞こえます。

◆ [イヤホンスイッチ発信設定]▶各項目を設定▶[カメラ]
- ステレオイヤホンマイク 01のスイッチのみで音声電話をかけるように設定できます。あらかじめ相手の電話番号をFOMA端末電話帳に登録し、そのメモリ番号を指定します。
- FOMA端末電話帳のメモリ番号0000～1999から１件のみ登録することができます。

- Bluetooth機器をヘッドセットサービスで接続しているときもイヤホン機能設定に従います。
- イヤホン切替設定を[イヤホンのみ]に設定しても、ステレオイヤホンマイク 01が接続されていないときは、スピーカから鳴ります。

スイッチを使って音声電話をかける

- あらかじめステレオイヤホンマイク 01を接続しておいてください。

■ イヤホンスイッチ発信設定で指定したメモリ番号に発信する

1 待受画面でスイッチを１秒以上押す
- ディスプレイの表示が消えているときは、いずれかのボタンを押すかスイッチを１回押し、ディスプレイを表示させてから操作してください。

2 通話が終わったら、スイッチを１秒以上押す

- イヤホンスイッチ発信設定で設定したメモリ番号に電話番号が複数登録されているときは、１件目に登録されている電話番号に発信します。

● イヤホンスイッチ発信設定に設定したメモリ番号がシークレット属性設定されているときは、シークレットモードを[ON]に設定してから、スイッチ操作で電話をかけてください。
● ステレオイヤホンマイク 01をFOMA端末に接続したまま、荷物の中などに入れると、スイッチが押されて電話がかかってしまうことがあります。使用しないときは、外してください。
● スイッチのないイヤホンマイク(別売)を接続してすぐに外すと、自動的に電話をかけてしまうおそれがありますので、ご注意ください。

スイッチを使って電話を受ける

音声電話やテレビ電話を受けることができます。

1 ステレオイヤホンマイク 01を接続する

2 電話がかかってきたら、スイッチを 1 秒以上押す

- 着信音の出力先は設定できます(☞P.430)。

3 通話が終わったら、スイッチを 1 秒以上押す

● 着信音が鳴ってから接続すると、スイッチを押していないのに、接続した瞬間に電話を受けてしまうことがありますので、ご注意ください。使用しないときは、外してください。

Bluetooth

Bluetooth機能を利用する

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

● すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

対応バージョンと対応プロファイル

■ 対応バージョン
Bluetooth標準規格 Ver.2.0+EDR※1

■ 対応プロファイル※2(対応サービス)
HSP
Headset Profile(ヘッドセットプロファイル)
HFP
Hands Free Profile(ハンズフリープロファイル)
A2DP
Advanced Audio Distribution Profile
(アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)
AVRCP
Audio/Video Remote Control Profile
(オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)
HID
Human Interface Device Profile
(ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル)
DUN
Dial-up Networking Profile
(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)
OPP
Object Push Profile(オブジェクトプッシュプロファイル)
BIP
Basic Imaging Profile(ベーシックイメージングプロファイル)
SPP
Serial Port Profile(シリアルポートプロファイル)

※1 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2 Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

● すでにBluetooth機器と接続している場合、FOMA端末の状態によってはBluetooth機器を検索できないことがあります。

Bluetooth機能でできること

■ ヘッドセット／ハンズフリーで通話する（HSP／HFP）
FOMA端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
FOMA端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。

■ オーディオ機器で再生する（A2DP／AVRCP）
FOMA端末にワイヤレスイヤホンセット 02（別売）や市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽やワンセグの音声などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、ワンセグやビデオ、動画（[レコーダー連携]フォルダ内）に関しては対応する機器が制限されます。

■ Bluetooth対応キーボードやパソコンを使う（HID）
FOMA端末に市販のBluetooth対応キーボードをBluetooth接続すると、キーボードから文字入力できます。また、カーソルキー／Enterキー／Escキー／ファンクションキー／数字キーを使って、通常の画面操作を行うこともできます。また、プレゼンアシストを利用して市販のBluetooth対応パソコンを操作することができます。

■ ワイヤレスでダイヤルアップ接続する（DUN）
FOMA端末にBluetooth対応パソコンなどをBluetooth接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信を行うことができます。
- 詳しくは付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

■ データを送受信する（ファイル転送）（OPP／BIP）
電話帳、スケジュール、メール、メモ、Bookmark、現在地通知先、トルカ、JPEG画像を、Bluetooth機器との間で送受信できます。

■ ｉアプリからBluetooth通信を利用する（SPP）
他の携帯電話やBluetooth機器と接続して、ｉアプリで対戦ゲームをしたり、データを管理したりできます。

■ Bluetooth対応カーナビと連携する（SPP）
フォトリモ@ナビ規格に対応したカーナビと接続して、位置情報をカーナビに送信したり、カーナビから転送したメールをFOMA端末で送信したりできます。

- 次の音が、Bluetooth機器から出力されるかFOMA端末から出力されるかは、接続しているサービスに従います。

		接続しているサービス		
		HSP	HFP	A2DP
音声電話発信音		○	○	×
音声電話・テレビ電話着信音		○※1※2※3	○※2	×
音声電話・テレビ電話時の呼び出し音		○	○	×
音声電話・テレビ電話時の相手の音声		○	○	×
音声電話時の相手の伝言メモの音声		○	○	×
ワンセグの音声		×	×	○※4
ｉモーション再生音		×	×	○※5※6
ビデオ再生音		×	×	○※4
ムービー再生音		×	×	○※7
ミュージックプレーヤー再生音		×	×	○※7
Music&Videoチャネル再生音		×	×	○
アラーム音		×	×	×
メール着信音	通知優先	×	×	×
	操作優先	×※8	×※8	×※8

○：Bluetooth機器から出力されます。
×：Bluetooth機器からは出力されずFOMA端末から鳴ります。

便利な機能

※1　イヤホン切替設定を[イヤホン+スピーカー]に設定しているときは、Bluetooth機器、FOMA端末の両方から着信音が鳴ります。
※2　着信音送出設定を[送らない]に設定している場合、FOMA端末から着信音が鳴ります。
※3　Bluetooth機器から着信音が鳴るまでの間、FOMA端末から着信音が鳴ることがあります。
※4　SCMS-T方式で著作権保護されているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
※5　データBOXのｉモーション・ムービーの[レコーダー連携]フォルダ内の動画は、SCMS-T方式で著作権保護されているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
※6　着信音設定からプレーヤーを起動した場合は鳴りません。
※7　サイトや着信音設定などからプレーヤーを起動した場合は鳴りません。
※8　待受画面以外を表示中はメール着信音は鳴りません。

- お使いのBluetooth機器によっては、前記の動作にならない場合があります。
- マナーモード設定中でも、Bluetooth機器から着信音が鳴ります。
- 市販のBluetooth対応イヤホンやヘッドホンには、Bluetooth標準規格に一部適合していないものがあります。この場合、イヤホンやヘッドホンに雑音が入ることがあります。
- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - ■ FOMA端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - ■ 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定チャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
  - ■ 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
  - ■ Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。Bluetooth機器と無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、FOMA端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  - ■ 電車内　■ 航空機内　■ 病院内
  - ■ 自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ■ ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

■ Bluetooth機器の同時利用について

Bluetooth機器で音楽を聴きながらBluetooth対応キーボードでメール作成を行うなど、同時にBluetooth接続することができます。同時に使用可能な機能の組み合わせについてはマルチアシスタント（マルチタスク）で同時に使用可能な機能と同様です。

- ハンズフリーサービスとヘッドセットサービスは先に接続したプロファイルを優先します。ただし、同時に接続待機にすることはできます。

Bluetooth機器を登録する<機器登録>

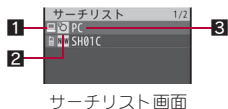
接続相手のBluetooth機器を検索(サーチ)し、FOMA端末に登録します。10件まで登録できます。

- Bluetooth機器の登録には、Bluetoothパスキーの入力が必要になります。登録を始める前にお好きな4～16桁の数字を決めておき、FOMA端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力します。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[Bluetooth]▶[機器リスト・接続・切断]

- 登録済みの機器があるときは、機器リスト画面が表示されます。[カメラ]を押して操作3に進みます。

2 [はい]

- FOMA端末周辺にあるBluetooth機器を検索します。検索した機器がリストで表示されます。

サーチリスト画面

1 機器種別アイコン
- :コンピュータ
- :電話
- :LAN
- :オーディオ機器
- :パソコン周辺機器
- :イメージング機器
- :ウェアラブル端末
- :その他

2 区分アイコン
- NEW :新しく見つかった未登録の機器
- :登録済みで見つかった機器
- :登録済みで見つかった機器(保護設定済)
- :登録済みで見つかった機器で通常接続機器に設定されている機器
- :登録済みで見つかった機器で通常接続機器に設定されている機器(保護設定済)
- :登録済みで見つかった機器で接続中の機器
- :登録済みで見つかった機器で接続中の機器(保護設定済)
- :登録済みで通常接続機器に設定されている接続中の機器
- :登録済みで通常接続機器に設定されている接続中の機器(保護設定済)

3 機器名称

3 登録するBluetooth機器にカーソルを合わせる▶[MENU]▶[機器登録]

- 再検索:[カメラ]
- 登録する機器を選択しても操作できます。

4 Bluetoothパスキーを入力

- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力が不要な場合もあります。
- すでにBluetooth機器が10件登録されている場合、通信日時の古いものから順に上書きされます。ただし、接続中または保護設定中の機器は上書きされません。
- すでに登録しているBluetooth機器を選択して再登録するとき、そのBluetooth機器と接続中の場合は再登録できません。
- 相手Bluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください(ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されています)。
- 次の場合は、検索できません。
  - ■ オーディオサービス接続中で、ワンセグやミュージックプレーヤーを起動しているとき
  - ■ ヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービス接続中で、着信中・音声電話中・テレビ電話中のとき

■ サーチリスト画面のサブメニュー操作

- サーチリスト画面のサブメニュー操作は、機器リスト画面のサブメニュー操作(☞P.435)を参照してください。

■ 未登録機器のみを検索して登録する<新規機器登録>

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[Bluetooth]▶[新規機器登録]**

2 **登録する**

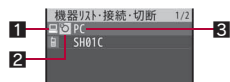
- 登録方法については☞P.434「Bluetooth機器を登録する」の操作3へ

Bluetooth機器と接続する<機器リスト・接続・切断>

登録済みのBluetooth機器に接続します。

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[Bluetooth]▶[機器リスト・接続・切断]**

- 情報更新：[i]

機器リスト・接続・切断 1/2
PC
SH01C

機器リスト画面

1 機器種別アイコン(☞P.434)

2 区分アイコン

- ：登録済みの機器(保護設定済)
- ：登録済みで通常接続機器に設定されている未接続の機器
- ：登録済みで通常接続機器に設定されている未接続の機器(保護設定済)
- ：登録済みで接続中の機器
- ：登録済みで接続中の機器(保護設定済)
- ：登録済みで通常接続機器に設定されている接続中の機器
- ：登録済みで通常接続機器に設定されている接続中の機器(保護設定済)

3 機器名称

2 **接続するBluetooth機器を選ぶ**

- サービスを選んで接続：接続するBluetooth機器にカーソルを合わせる▶[✉]▶サービスを選ぶ▶[📷]
- 接続すると[(青色)]が約0.5秒間隔で点滅し、着信ランプが[カラー6]で、ゆっくりと2回点滅します。
- Bluetooth機器と切断：切断するBluetooth機器を選ぶ▶[はい]
  - ・切断すると、着信ランプが[カラー6]で、4回点滅します。

- 接続処理中や切断処理中にBluetooth機器の電源が切れていたり、Bluetooth機器からの応答がない場合は、処理に最大約20秒かかります。
- 接続中にBluetooth機器から切断された場合、接続していたサービスは接続待機中になります。また、接続中または接続待機中にFOMA端末の電源をOFFにした場合も、次回電源を入れたときに接続または接続待機していたサービスが接続待機中になります。
- 登録済みのBluetooth機器に接続できないときは、登録を削除してから再度機器登録を行うと接続できるようになる場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、接続や情報更新、Bluetooth送信を行うときにBluetoothパスキーの入力を要求されることがあります。

■ 機器リスト画面のサブメニュー操作

[保護設定]▶設定を選ぶ

[機器登録] ☞P.434

[削除]▶[はい]

[通常接続機器(オーディオ)]▶設定を選ぶ
- Bluetooth対応機能の起動時に自動で接続する機器を設定します。

[機器情報]
- 機器名称を編集するとき：[📷]▶機器名称を編集▶[📷]

[保護設定]について
- 5件まで保護できます。

[機器情報]について
- 機器名称は全角16文字(半角32文字)まで入力できます。

便利な機能

登録待機／接続待機にする<接続待機>

待受画面で、他のBluetooth機器からの登録要求／接続要求を受けられる状態にします。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[Bluetooth]▶[接続待機]

- FOMA端末を接続待機にしてから約5分以内に機器登録してください。
- 接続待機にするサービスを選択：[接続待機]にカーソルを合わせる▶[✉]▶サービスを選ぶ▶[📷]
- 待機状態を解除する場合は、Bluetooth電源をOFFにしてください。

- 相手のBluetooth機器が接続動作を終えてすでに接続待機中の場合、接続が開始されません。このときは、FOMA端末から接続を行ってください。
- 複数のBluetooth機器が登録されている場合に接続待機にすると、接続したいBluetooth機器以外のBluetooth機器に接続することがありますのでご注意ください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 待受画面でBluetooth機器からの登録要求／接続要求▶[はい]▶登録する

- 登録方法については☞P.434「Bluetooth機器を登録する」の操作4へ

■ 登録済みのBluetooth機器から接続要求を受けた場合

- 自動的に接続し、[Ⓑ(青色)]が約0.5秒間隔の点滅に変わります。FOMA端末から一定時間データが送信されないときはアイコンが[Ⓑ(グレー)]に変わります。

- すでに接続しているサービスで接続要求を受けたときや、接続しているBluetooth機器が2つ(シリアルポートサービスのみの場合は3つ)あるときは接続できません。

FOMA端末のBluetooth電源をON／OFFにする <Bluetooth電源オン／Bluetooth電源オフ>

FOMA端末のBluetooth電源のON／OFFを切り替えます。

- Bluetooth電源をOFFにすると、接続中または接続待機中のすべてのサービスが停止します。Bluetooth電源をONにすると、前回接続または接続待機にしていたサービスや、登録機器のうち接続したことのあるサービスが接続待機になります。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[Bluetooth]▶[Bluetooth電源オン]／[Bluetooth電源オフ]▶[はい]

- 待受画面で[6](1秒以上)▶[はい]でも操作できます。
- Bluetooth電源をONにすると、[Ⓑ(青色)]が表示されます。

- 次の操作を行うと、Bluetooth電源が自動でONになります。
  - ■ 接続／接続待機　■ サーチ　■ Bluetooth受信／送信
  - ■ Bluetooth対応の機能(ワンセグ、iモーション、ビデオプレーヤー、Music&Videoチャネル、ミュージックプレーヤー、インターネットムービープレーヤー)からのBluetooth出力
  - ■ iアプリからのBluetooth機能起動
  - ■ プレゼンアシストからの機器登録／接続

  また、上記処理が完了したあともBluetooth電源はONのままです。
- FOMA端末の電源OFF、セルフモード中は、Bluetooth電源が強制的にOFFになりますが、FOMA端末の電源ONやセルフモード解除で、元の状態(接続待機)に戻ります。

Bluetooth機器を使って通話する

1 Bluetooth機器とヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する

2 Bluetooth機器で電話をかけるまたは受ける

- Bluetooth機器での通話とFOMA端末での通話を切替：通話中に⦿（1秒以上）
  - ・ヘッドセットサービスで接続してFOMA端末で通話している場合は、Bluetooth機器側からのみ切り替えることができます。
  - ・発信中、着信中、通話保留中、伝言メモ応答中／録音中、応答保留中に⦿を1秒以上押しても、切り替えることができます。

- Bluetooth機器で通話中は、Bluetooth機器で音量を調節してください。
- 着信音送出設定を［送る］に設定しているときは、FOMA端末でマナーモード設定中や電話着信音量を［Silent］に設定していても、電話の着信時にBluetooth機器から着信音が鳴ります。
- Bluetooth機器で通話中は、通話中クローズ設定にかかわらずFOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- 通話中にBluetooth機器から切断された場合、通話は終了します。

Bluetooth機器を使って音声･音楽を再生する

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

2 ワンセグやミュージックプレーヤーなどを起動して視聴／再生する

- Bluetooth出力中は、Bluetooth機器で音量を調節してください。
- ミュージックプレーヤーまたはMusic&Videoチャネルプレーヤー（音声番組）をバックグラウンド再生中でもリモコン操作できます。ただし、プレーヤー画面でサブメニューなどを表示させている場合はリモコン操作できません。
- サイトからｉモーションを取得して再生している場合は、リモコン操作できません。
- Bluetooth機器の状態やFOMA端末の操作によっては、再生中の音声や音楽が途切れることがあります。
- Bluetooth機器から再生中に音声や音楽などが停止した場合は、Bluetooth圏外やBluetooth機器の電源OFFなどが考えられますのでFOMA端末やBluetooth機器を確認してください。このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断されることがあります。再度Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直してください。
- ワイヤレスイヤホンセット 02を接続するときは、FOMA端末から接続してください。
- カーナビによっては、AMR形式の音楽データが再生できないものがあります。

各機能の起動後にBluetooth機器から音声出力する <Bluetooth出力>

- 通常接続機器に設定されているBluetooth機器に接続されます。

1 ワンセグやビデオプレーヤーなどを起動中にMENU▶［Bluetooth出力］▶［ON］

- HDMI出力中は、Bluetooth出力ができません。

各機能の起動時に自動的にBluetooth機器に接続する<起動時自動出力設定>

1 ワンセグやビデオプレーヤーなどを起動中にMENU▶［Bluetooth出力］▶［起動時自動出力設定］

2 設定を選ぶ

- 起動時自動出力設定が［ON］で、通常接続機器に設定されているBluetooth機器がある場合は、事前にオーディオサービスに接続しなくても、ワンセグやミュージックプレーヤーなどを起動するだけでBluetooth機器に自動的に接続されます。
- 視聴予約、録画予約によるワンセグ起動時は接続されません。
- 通常接続機器に設定されているBluetooth機器がないときは［ON］に設定できません。

次ページへ続く▶▶

● 設定は次回起動時から有効になります。

Bluetooth対応キーボードを使う

1 Bluetooth対応キーボードとキーボードサービスで接続する

2 文字入力画面でキーボードから入力する

- 入力方式は自動的に［ローマ字方式］になります。

■ Bluetooth対応キーボードについて

● 文字入力画面での便利な操作は次のとおりです。

文字の選択	Shift＋カーソルキー
選択範囲のコピー	Ctrl＋C
選択範囲の切り取り	Ctrl＋X
貼り付け	Ctrl＋V
操作を取り消す（UNDO機能）	Ctrl＋Z
変換範囲を変更	Shift＋←、Shift＋→

● Bluetooth対応キーボードのキーとFOMA端末の操作ボタンは、次のように対応しています。対応したキーで、FOMA端末と同様に操作できます。

FOMA端末	Bluetooth対応キーボード
MENU	F1
（カメラ）	F2※1
（メール）	F3
（i）	F4
●	Enter※2（文字入力画面：Ctrl＋Enter）
（上）、（下）、（左）、（右）	↑、↓、←、→
（開始）	Ctrl＋Esc
（終了）	Esc
CLR	BS／DEL
1～9、0	１～９、０
＊	＊「Shift＋：（コロン）」
＃	＃「Shift＋３」
（クリア）	Tab

※１　メール作成画面で押すと送信できます。
※２　文字入力画面で押すと［↲］（改行）の入力になります。

● 10キーなど、入力に対応していないキーがあります。
● Bluetooth対応キーボードで操作中は、FOMA端末での文字入力はできません。
● Bluetooth対応キーボードを利用して端末暗証番号を入力することはできません。
● ｉモード／フルブラウザ中にテキストボックスを選択すると、文字入力画面が表示され文字を入力できます。

Bluetooth対応カーナビとシリアルポートサービスで接続する

Bluetooth対応カーナビとFOMA端末はハンズフリーサービスなどでの接続に加え、シリアルポートサービスで接続することでいろいろな機能を利用できます。

● 対応機種については次のサイトをご覧ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/bluetooth/sh-01c.html

1 Bluetooth対応カーナビとシリアルポートサービスで接続する

2 カーナビとのデータの送受信を行う

■ 位置情報をBluetooth対応カーナビに送信する ＜地点情報送信＞

位置情報を付加した静止画や位置履歴から、連携したBluetooth対応カーナビに位置情報を送信します。

例：静止画のとき

1 ノーマルメニューで［データBOX］▶［マイピクチャ］

便利な機能

2 **画像にカーソルを合わせる▶MENU▶[位置情報]▶[位置情報利用]▶[地点情報送信]**

3 **送信方法を選ぶ**

- Bluetooth対応カーナビと連携していない場合は、送信予約データとしてFOMA端末に保存されます。すでに送信予約データが保存されているときは上書き確認画面が表示されます。保存された送信予約データは連携開始時に送信されます。

■ 送信予約データを削除する<送信予約データ削除>

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[Bluetooth]▶[送信予約データ削除]▶[はい]**

■ FOMA端末の不在着信やメール受信の有無をBluetooth対応カーナビで確認する

FOMA端末の不在着信やメール受信の有無をBluetooth対応カーナビで確認できます。

■ Bluetooth対応カーナビからのメールをFOMA端末から送信する

送信する相手のメールアドレスが登録されている電話帳をBluetooth対応カーナビへ転送しておけば、Bluetooth対応カーナビからのメールをFOMA端末から送信することができます。

Bluetooth通信でデータを送受信する

FOMA端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、データの送受信を行うことができます。

- Bluetooth通信によるデータの送受信中は圏外と同じ状態になり、通話、iモード、データ通信などはできません。
- 通話中は、Bluetooth通信によるデータの送受信はできません。
- データBOXのFlash画像・iモーション・メロディ・PDFや、デコメアニメ®テンプレートは送受信ができません。データBOXのGIF画像は送信できません。これ以外の送受信できるデータや各種ロック中の動作については赤外線通信(☞P.382)と同様です。
- 全件転送パスワード設定を[パスワード有り]に設定している場合、全件データを送信するときに端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、Bluetooth通信のための専用パスワードです。送信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

■ データを送信する<Bluetooth送信>

例:電話帳のとき

1 **待受画面で◎**

2 **名前にカーソルを合わせる▶MENU▶[データ送信]▶[Bluetooth送信]**

3 **送信方法を選ぶ**

◆ **[送信]**

◆ **[全件送信]▶端末暗証番号を入力**

・全件転送パスワード設定(☞P.440)が[パスワード有り]のとき:[全件送信]▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

4 **[はい]**

5 **接続するBluetooth機器を選ぶ**

■ データを受信する<Bluetooth受信>

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[Bluetooth]▶[Bluetooth受信]▶[はい]**

- 受信待ち状態になり、送信側のBluetooth機器からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。
- 送信側のBluetooth機器を登録していない場合は、Bluetoothパスキーを入力してください。

2 **[はい]**

- 全件受信のとき:端末暗証番号を入力▶[はい]

Bluetooth機能の設定を行う<Bluetooth設定>

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[Bluetooth]▶[Bluetooth設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[自局情報]**
- 機器名称を編集するとき：[カメラ]▶機器名称を編集▶[カメラ]
  - 機器名称は全角16文字(半角32文字)まで入力できます。
  - 機器名称に絵文字を使うと、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されないことがあります。

◆ **[サーチ時間]▶サーチ時間を入力▶[カメラ]**
- Bluetooth機器を検索する時間を設定できます。

◆ **[ミュージック自動起動設定]▶設定を選ぶ**
- 接続待機している状態でBluetooth機器からオーディオサービスの接続を行った場合、ミュージックプレーヤーが自動的に起動するかどうかを設定できます。

◆ **[セキュリティ設定]▶各項目を設定▶[カメラ]**
- Bluetooth機器との認証と通信時の暗号化を設定できます。
- Bluetooth電源がONのときは設定できません。

◆ **[着信音送出設定]▶設定を選ぶ**
- 着信音をBluetooth機器に送出するかどうかを設定します。
- ハンズフリーサービスまたはヘッドセットサービスに接続している場合は設定できません。

◆ **[全件転送パスワード設定]▶設定を選ぶ**
- Bluetooth通信で全件データを送信するときに認証パスワードの入力を行うかどうかを設定できます。

フェムトセル

フェムトセルを利用する

フェムトセルを設定することにより、ドコモが提供する「マイエリア」を利用できます。
「マイエリア」は、ご自宅にフェムトセル小型基地局を設置し、ご自宅専用FOMAエリアを作ることで、安定した通話と通信がご利用いただけるサービスです。

- 「マイエリア」はお申し込みが必要な有料サービスです。
- 「マイエリア」の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 国際ローミング中は、利用できません。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[外部接続]▶[フェムトセル]

2 項目を選ぶ

◆ **[フェムトセル利用設定]▶各項目を設定▶[カメラ]**

◆ **[フェムトセルサーチ]▶[はい]▶[OK]**
- 周囲の小型無線基地局装置を検索して、フェムトセルを利用します。
- 検索には時間がかかることがあります。
- フェムトセル利用中は検索できません。

- フェムトセル優先在圏設定を[ON]に設定すると、通常の通信よりフェムトセルが優先されます。

文字入力

「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内またはドコモのホームページ上のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

文字入力

FOMA端末には、電話帳やメールなど文字を入力して活用する機能があります。

- 市販のBluetooth対応キーボードを接続して、文字入力することができます（☞P.438）。

■ 文字入力のしくみ

入力方式	かな入力	１つのダイヤルボタンに複数の文字が割り当てられています。ボタンを押すたびに文字が切り替わります。
	２タッチ入力	２つの数字の組み合わせで文字を入力します。
	ローマ字方式	Bluetooth対応キーボードのアルファベットキーを使い、ローマ字で文字を入力します。Bluetooth対応キーボード接続中のみ利用できます。
	音声入力	音声で文字を入力します。
文字の種類	全角文字	漢字、ひらがな、カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号、絵文字
	半角文字	カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号
変換方式	日・英語入力予測	ひらがなを入力するたびに、入力した文字で始まる単語を変換候補として表示します。 半角英字を入力すると、入力した文字で始まる英単語を変換候補として表示します。

■ 文字入力画面について

文字入力画面には全画面入力とインライン入力の２種類があります。
全画面入力は入力欄にカーソルを合わせて⦿を押し、全画面表示される入力エリアに画面を切り替えて文字を入力します。
インライン入力は画面を切り替えずに入力欄にカーソルを合わせて、直接文字を入力します。定型文登録や単語登録時などに利用できます。

文字入力の設定をする<文字入力設定>

1 ノーマルメニューで［本体設定］▶［文字表示／入力］▶［文字入力設定］

2 項目を選ぶ

◆ **［文字入力］▶各項目を設定▶📷**

- 文字入力の入力方式や文字入力時の動作を設定できます。
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 入力方式：入力方式を設定できます。
  - ■ 日・英語入力予測：文字入力中に日・英語入力予測の変換候補を表示するかどうかを設定します。
  - ■ 自動カーソル：文字入力後にカーソルを自動的に右側に移動させる速度を設定します。
  - ■ ２タッチガイド：２タッチ入力中にダイヤルボタンの文字割り当て一覧を表示するかどうかを設定します。

◆ **［変換学習リセット］▶端末暗証番号を入力▶［はい］**

- 日・英語入力予測などで学習された変換候補やクイック定型文、メール文章履歴、顔文字の入力履歴、絵文字、記号一覧の１行目に表示される最近使用された絵文字や記号をリセットできます。

◆ **［学習辞書登録］▶［はい］**

- 送信メールから変換候補を学習します。

［文字入力］について

- 日・英語入力予測が［ON］でも文字入力画面がインライン入力のときは日・英語入力予測の変換候補を表示しません。
- 自動カーソルは入力モードが半角数字入力モード、全角数字入力モードのときは反映されません。
- ２タッチガイドが［ON］でも文字入力画面がインライン入力のときやワンセグ表示中は２タッチガイドを表示しません。

入力モードの種類と切り替え

ダイヤルボタンによる入力方式では、入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。

1 文字入力画面で[✉]

入力モード表示

切り替え項目

2 入力モードを選ぶ

- [✉]を押しても切り替えできます。

■ 入力モードの見かた

切り替え項目		入力モード表示	入力される文字
かな入力	2タッチ入力		
漢	2漢	漢	漢字・ひらがな
ア	2ア	全ア	全角カタカナ
ｱ	2ｱ	半ｱ	半角カタカナ
区	―	―	区点コード
a	―	全a	全角英字(小文字→大文字)
a	―	半a	半角英字(小文字→大文字)
1	―	全数	全角数字
_1	―	半数	半角数字
A	2A	全A	全角英字(大文字→小文字)
A	2A	半A	半角英字(大文字→小文字)

- 単語登録の読みを入力するときは[全あ]が表示されます。
- 入力方式が[ローマ字方式]の場合は、入力モード表示に[ローマ]が表示されます。

かな入力

かな入力で文字を入力する

1つのダイヤルボタンに複数の文字が割り当てられています。ボタンを押すたびに文字が切り替わります。

文字を入力する

- 各ボタンの文字の割り当てについては☞P.518

例:「電話」と入力するとき

1 文字入力画面で「でんわ」と入力

- でんわ:[4](4回)▶[*](1回)▶[0](3回)▶[◎]▶[0](1回)
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力:文字を入力▶[◎]▶文字を入力
  - 文字を入力して約1秒経過すると、カーソルが右に移動します。移動する速度は変更できます(☞P.442)。
- 辞書モード:[MENU]

2 [📷]

- 変換候補の先頭の文字に変換された状態で表示されます。
- 変換範囲を変更:[◎]
- 目的の文字が表示されないときは、もう一度[📷]を押すか、[◎]を押して変換候補を表示してください。
  - 変換候補を選ぶ:[📷]
  - 変換候補一覧の次のページを表示:[i]

文字入力

・ 変換候補一覧の前のページを表示：✉

3 ◉

● 全確定：MENU

■ 入力予測を利用する

● 日・英語入力予測が[ON]のときに利用できます（☞P.442）。

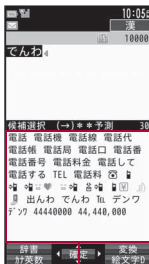
1 文字を入力

● 変換範囲を変更：◎

2 ◎で変換候補欄にカーソルを移動

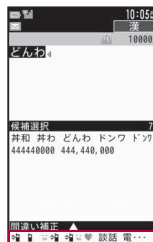
● 次のリストを表示：i
● 前のリストを表示：✉

3 変換候補を選ぶ

● 学習された変換候補のクリア：変換候補にカーソルを合わせる▶MENU（1秒以上）▶［はい］
・ 入力モードが半角英字モードのとき：変換候補にカーソルを合わせる▶MENU▶［はい］
● 変換候補欄を閉じる：［閉じる］／CLR
● 入力モードが半角英字モードのときは、変換候補に［␣］が表示される場合があります。［␣］を選ぶと半角スペースを入力できます。

変換候補欄

● 現在時刻に連動し、時間帯や月から予測された単語が変換候補として表示されます。
● メール文章履歴が「ON」のときは、メール本文内の文章を送信時に学習して変換候補にできます。入力した単語で始まる一文を学習している場合に、一文の続きが変換候補に３件まで表示されます。学習できる文章は全角25文字までです。
● 漢字・ひらがなモードで２文節以上入力すると、入力した文節から予測された文節が変換候補として表示されます。
● 文字を入力したあとに◎を押すと押した回数分［＊］が表示され、文字数に一致する単語が変換候補として表示されます。
● 文字入力画面が全画面入力で、入力モードが漢字・ひらがなモード、半角英字モード以外の場合、変換候補欄は表示されません。

■ 間違い補正変換を利用する

同じボタンに割り当てられた文字の入力を間違えたときは、変換候補欄の下に間違い補正変換候補欄が表示されることがあります。◎を押すと補正された変換候補が変換候補欄に表示されます。

間違い補正変換候補欄

■ 文字入力画面のサブメニュー操作

［コピー］	☞P.448
［切り取り］	☞P.448
［貼り付け］	☞P.448
［定型文・データ引用］	
▶［定型文］	☞P.446
▶［区点］	☞P.449
▶［電話帳］▶名前を選ぶ▶情報を選ぶ	
▶［プロフィール情報］▶端末暗証番号を入力▶情報を選ぶ	
▶［バーコードリーダー］（ｉモード中のみ）	☞P.241
▶［電卓］	
［音声で文字入力］	☞P.450
［絵文字・記号・顔文字］	
▶［絵文字］	☞P.446
▶［記号］	☞P.446
▶［顔文字］	☞P.446
［単語・定型文登録］	

▶ [単語登録] ☞P.449

▶ [定型文登録] ☞P.448

[入力設定]

▶ [2タッチ入力]／[かな入力]

▶ [日・英語入力予測OFF]／[日・英語入力予測ON]
- 日・英語入力予測の詳細については☞P.442

▶ [自動カーソル] ▶ 設定を選ぶ
- 自動カーソルの詳細については☞P.442

▶ [辞書連携優先辞書] ▶ 設定を選ぶ
- 辞書モードで優先して使用する辞書を設定します。

▶ [語調選択] ▶ 設定を選ぶ

▶ [2タッチガイドON]／[2タッチガイドOFF]

▶ [メール文章履歴ON(学習／表示設定)]／[メール文章履歴OFF(学習／表示設定)]

[元に戻す]

- 機能によって表示される項目は異なります。

■ スペースを入力する

1 文末で◎
- 文中に入力：# ▶ ✓
- 入力モードに関係なく半角スペースが入力されます。半角スペースは1文字として数えられます。

- 入力画面によっては利用できないときがあります。

■ 文字を切り替える

1 文字を入力 ▶ ⊠
- 大文字⇔小文字の切り替えや、濁点・半濁点の入力ができます。
- 英字の場合、大文字⇔小文字を切り替えた状態が、もう一度⊠を押すまで有効になります。

■ かなをカタカナや英数字に変換する<カナ英数変換>

1 ひらがなを入力 ▶ ✉

2 変換候補を選ぶ

- 変換候補には、入力したボタンに割り当てられているカタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が全角・半角それぞれ表示されます。

■ 同じボタンに割り当てられた文字を1つ前に戻す

1 文字を入力 ▶ ✓

■ 直前の操作を取り消す<元に戻す>

1 文字入力画面でMENU ▶ [元に戻す]
- ✓(1秒以上)でも操作できます。

- 入力画面によっては利用できないときがあります。

■ 入力したい言葉を辞書で検索する<辞書モード>

日・英語入力予測が[ON]のとき、入力したひらがなで辞書を検索し、意味を調べたり、検索した結果を入力することができます。

1 ひらがなを入力 ▶ MENU
- 変換候補にカーソルを合わせてMENUを押しても検索できます。
- 和英辞書と国語辞書の切替：📷

2 見出し語を選ぶ

3 入力する単語を選ぶ
- 詳細画面の一部を入力するとき：MENU(1秒以上) ▶ 始点を選ぶ ▶ 終点を選ぶ

文字を修正する

■ 文字を追加する

1 追加したい文字の位置にカーソルを合わせる

2 文字を入力

■ 文字を1文字削除する

1 文字入力画面でCLR
- カーソル右側の文字が消えます。カーソルが文末にあるときは、カーソル左側の文字が消えます。

- 文字にカーソルがあたっているときは、カーソル位置の文字が消えます。

■ 文字を一括で削除する

1 文字入力画面でCLR（1秒以上）

- カーソルの後ろに文字があるときは、カーソル位置の文字を含め、後ろの文字がすべて削除されます。
- カーソルが文末にあるときは、カーソル位置の前の文字がすべて削除されます。

定型文を利用する＜定型文＞

あらかじめ登録されている固定定型文や、自分で登録した定型文（☞P.448）、メールアドレスなどを簡単に入力できます。

1 文字入力画面でMENU▶［定型文・データ引用］▶［定型文］

2 定型文を選ぶ

絵文字／記号を入力する

- デコメ絵文字®はメール本文／署名作成のときのみ入力できます。
- 絵文字D（デコメ絵文字®）は、データBOXのマイピクチャの［デコメ絵文字］フォルダに保存したデコメ絵文字®のみ、一覧に表示されます。
- 特殊記号は、iモードメール対応端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。
- 2タッチ入力でも同様に操作できます。
- 絵文字一覧表については☞P.520

1 文字入力画面で📷

- 絵文字とデコメ絵文字®の切替：📷
- 全角記号と半角記号の切替：MENU
- デコメ絵文字®一覧表示中はMENUを押すと、デコメ絵文字®フォルダー覧に切り替えられます。

2 絵文字／記号を選ぶ

- デコメ絵文字®一覧の次のページを表示：i
- デコメ絵文字®一覧の前のページを表示：✉

- 一覧の1行目には、最近使用された絵文字または記号が表示されます。

■ 見出し（ヨミ）を入力して絵文字／デコメ絵文字®を変換する

絵文字／デコメ絵文字®にはそれぞれ見出し（ヨミ）があり、その見出し（ヨミ）を入力して絵文字／デコメ絵文字®に変換できます。

1 文字入力画面で見出し（ヨミ）を入力

2 ◎▶絵文字を選ぶ

- デコメ絵文字®のみ表示：i
  - ・見出し（ヨミ）が一致するデコメ絵文字®があるときのみ操作できます。

顔文字を入力する＜顔文字＞

1 文字入力画面でMENU▶［絵文字・記号・顔文字］▶［顔文字］

2 カテゴリを選ぶ▶顔文字を選ぶ

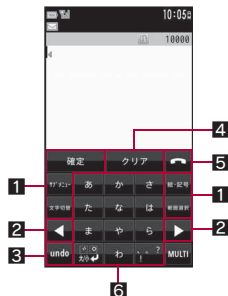
- 入力履歴には最近使用された18個の顔文字が表示されます。

- ひらがなでカテゴリを入力すると、漢字の変換候補と共に顔文字も表示されます。変換候補に表示される内容は、顔文字一覧の内容と異なります。

タッチパネルで文字を入力する

ビューアポジションでは、タッチパネルで文字を入力できます。

- かな入力でのみ入力できます。
- 文字の入力や修正、定型文や絵文字／記号の入力など、ボタン操作と同様の機能が利用できます。ここでは、文字の入力方法を例として説明します。
- タッチパネルの主な操作については☞P.46
- 入力画面では次のボタンを操作できます。

例：漢字・ひらがな

縦表示　横表示

1 操作ガイダンスボタン
操作ガイダンスメニューを選択／実行するときなどにタッチします。
- 通常ポジションのMENU、📷、✉、i、◉の操作と同様の操作ができます。

2 方向ボタン
カーソル移動や半角スペース入力のときなどにタッチします。
- 通常ポジションの◉の操作と同様の操作ができます。

3 UNDOボタン
直前の操作を取り消します。
- 文字入力後に表示されます。

4 クリアボタン
文字削除のときなどにタッチします。
- 通常ポジションのCLRの操作と同様の操作ができます。

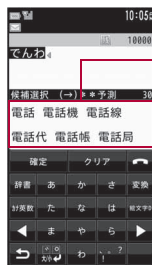
5 終了ボタン
待受画面に戻ります。
- 通常ポジションの⌒の操作と同様の操作ができます。

6 文字入力ボタン
文字入力のときなどにタッチします。
- 通常ポジションの1～9、0、*、#（ダイヤルボタン）の操作と同様の操作ができます。
- 各入力ボタンのダイヤルボタン／文字の割り当てについては☞P.518

文字を入力する

例：「電話」と入力するとき

1 文字入力画面で「でんわ」と入力

- でんわ：[た]（4回タッチ）▶[゛゜大/小↲]（1回タッチ）▶[わ]（3回タッチ）▶[▶]▶[わ]（1回タッチ）
- 濁点・半濁点の入力：[゛゜大/小↲]をタッチ
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力：文字を入力▶[▶]をタッチ▶文字を入力
  - 文字を入力して約1秒経過すると、カーソルが右に移動します。移動する速度は変更できます（☞P.442）。
- 変換範囲を変更：[◀]／[▶]をタッチ
- 表示された候補を入力：候補をタッチ
  - 表示されていない候補を表示：[候補選択　（→）＊＊予測]をタッチ▶[◀]／[▶]をタッチ
- ひらがなのまま確定：[確定]をタッチ

変換候補欄

2 [変換]をタッチ

- 変換候補の先頭の文字に変換された状態で表示されます。
- 変換範囲を変更：[◀]／[▶]をタッチ
- 目的の文字が表示されないときは、もう一度[変換]をタッチすると変換候補が表示され、候補をタッチすると入力できます。

3 [確定]をタッチ

- 全確定：[全確定]をタッチ

次ページへ続く▶▶

- 文字入力画面をタッチすると未確定の文字列が削除されます。

- 入力モードが漢字･ひらがなモードまたは半角英数字モード以外の場合、変換候補は表示されません。

絵文字／記号を入力する

1 文字入力画面で[絵･記号]をタッチ

- 絵文字へ切替：[絵文字]をタッチ
- デコメ絵文字®へ切替：[絵文字D]をタッチ
- 半角記号へ切替：[半角記号]をタッチ
- 全角記号へ切替：[全角記号]をタッチ

2 候補をタッチ

定型文登録

定型文を修正／登録する

よく使う言葉を定型文として登録したり、あらかじめ登録されている定型文を修正できます。

- 定型文は全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[定型文／単語登録]▶[定型文]

2 定型文を選ぶ

- 定型文の新規登録：[ユーザ作成]▶[<新しい定型文>]
- 定型文の削除（ユーザ作成定型文のみ）：定型文にカーソルを合わせる▶MENU▶[はい]

3 定型文を編集▶📷

- お買い上げ時に登録されている定型文を修正した場合、ユーザ作成定型文として新規登録されます。

■ 文字入力中に登録する定型文を選ぶ

1 文字入力画面でMENU▶[単語･定型文登録]▶[定型文登録]

2 始点を選ぶ

3 終点を選ぶ

- 文頭にカーソルを合わせる：MENU
- 文末にカーソルを合わせる：📷
- 反転表示されている文字列が対象になります。

4 📷

文字コピー

文字の切り取り･コピーと貼り付け

入力した文字を切り取り･コピーして、指定した位置へ貼り付けることができます。

- 任意の文字数を他の画面へ切り取り･コピーできます。

文字をコピーする／切り取る<コピー／切り取り>

1 文字入力画面でMENU▶[コピー]／[切り取り]

- #（1秒以上）でも切り取りできます。

2 始点を選ぶ

3 終点を選ぶ

- 文頭にカーソルを合わせる：MENU
- 文末にカーソルを合わせる：📷
- 反転表示されている文字列が対象になります。

文字を貼り付ける<貼り付け>

1 文字入力画面で貼り付ける位置にカーソルを合わせる▶MENU▶[貼り付け]

- ✱（1秒以上）でも操作できます。

- サブメニューが表示されていない画面へは貼り付けできません。
- 電源を切ると、コピー／切り取りした文字の記憶は削除されます。
- 電話帳のフリガナ欄など、半角文字のみ入力できる部分に貼り付ける場合、記憶されている文字列が半角文字のときのみ入力できます。

● 改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合、改行位置には空白が入力されます。

区点コード入力

区点コードで入力する

文字ひとつひとつに付与されている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。
● 区点コード一覧表は、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

1 文字入力画面でMENU▶[定型文･データ引用]▶[区点]

2 区点コードを入力

単語登録(ユーザ辞書)

よく使う単語を登録する

よく使う単語に見出し語を付けて、最大250語まで登録できます。見出し語を入力すると、登録した単語が変換候補に表示され、簡単に変換できるようになります。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[定型文／単語登録]▶[単語登録]

- 見出し語の確認:単語にカーソルを合わせる▶📷
  - 単語の削除:MENU▶[はい]
  - 単語の編集:◉▶操作3へ
- 単語の削除:単語にカーソルを合わせる▶MENU▶削除方法を選ぶ

2 単語を選ぶ

- 単語の新規登録:[<新しい単語>]

3 各項目を設定▶📷

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 単語:単語を入力します。
    - ・全角25文字(半角50文字)まで入力できます。[↲](改行)は入力できません。
  - ■ 読み:読みを入力します。
    - ・ひらがなで入力します(最大全角8文字)。空白を入力すると、登録後に削除されます。
- 新規登録のときは、操作が終了します。

4 登録方法を選ぶ

■ 文字入力中に登録する単語を選ぶ

1 文字入力画面でMENU▶[単語･定型文登録]▶[単語登録]

2 始点を選ぶ

3 終点を選ぶ

- 文頭にカーソルを合わせる:MENU
- 文末にカーソルを合わせる:📷
- 反転表示されている文字列が対象になります。

4 各項目を設定▶📷

● 単語がすでに250語登録されているときは、一覧から単語を削除するか登録済みの単語を上書き保存してください。

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

サイトなどから辞書をダウンロードして使用できます。ダウンロードした辞書を設定すると、その辞書に登録されている用語が変換候補に表示され、簡単に変換できるようになります。
● 日本語変換用の辞書をダウンロードして、10件まで登録できます。
● 辞書のダウンロード方法については☞P.196

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[ダウンロード辞書]

2 設定／解除する辞書を選ぶ

- ☑は設定、☐は解除の状態です。
  - ・使用辞書は5件まで設定できます。
- 辞書の情報を表示:辞書にカーソルを合わせる▶i
- 辞書の内容を確認:辞書にカーソルを合わせる▶i▶MENU
  - ・単語の詳細情報を表示:◉

・ダウンロード辞書の横にドコモUIMカードセキュリティ機能のマークが表示されているときは、辞書の内容を確認することはできません。
● 辞書の削除：辞書にカーソルを合わせる▶[✉]▶[はい]

3 [📷]

2タッチ入力

2タッチ方式で文字を入力する

2つの数字の組み合わせで文字を入力します。
● ダイヤルボタンでのみ入力できます。
● 2タッチガイドが[ON]のときは画面下に2タッチガイドが表示されます（☞P.442）。

1 文字入力画面で2桁の数字を入力

例：[2][3]➡[く]
● 2タッチガイドの空欄はスペースを示します。
● [8]▶[0]を押すと、大文字モードと小文字モードが切り替わります。
● 文字入力後に[✕]を押すと、大文字⇔小文字の切り替えや、濁点・半濁点の入力ができます。

音声で文字を入力する

iモードでの検索やメール／デコメアニメ®の題名・本文入力では、音声で文字を入力することができます。
● メール／デコメアニメ®の題名入力画面と本文入力画面およびクイック検索の[iモードで探す（音声入力）]の入力画面のみ利用できます。
● ご利用にはiモード契約が必要です。
● 音声入力のご利用時にはパケット通信料がかかります。
● メール／デコメアニメ®の題名入力と本文入力では音声入力メールを利用します。音声入力メールはお申し込みが必要な有料サービスです。はじめて音声入力メールをご契約された日から30日間はサービスを無料でご利用いただけます。詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

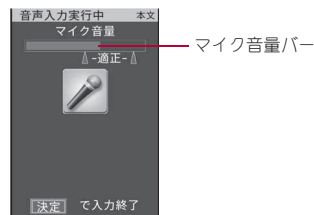
例：メールの本文に「おはよう」と入力するとき

1 メールの本文入力画面で[MENU]▶[音声で文字入力]▶[はい]

2 [決定]

● バイブレータが振動します。

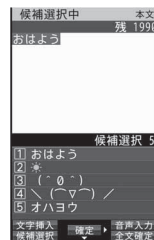
3 「おはよう」と送話口に向かって話す▶[●]

音声入力実行中　本文
マイク音量
-適正-
[決定] で入力終了

マイク音量バー

● マイク音量バーが適正範囲に入るように話してください。
・適正範囲についてはマイク音量バーの色でも判断できます。音量が適正範囲の場合は青色、小さい場合は黄色から水色、大きすぎる場合は赤色となります。
● 約30秒以内で話してください。話し終わるか約30秒経過すると自動で音声入力が終了します。
● 音声入力を終了するとバイブレータが振動して、音声入力メールサーバと通信します。音声が文字に変換されて表示されます。
● 音声入力の中止：[MENU]

4 変換した文字を確認する

● 文章の区切りを移動：[◐]
・文末以外では、[●]を押して次の区切りに移動できます。
● 文字の変換を修正：修正する文字にカーソルを合わせて[◎]／[✉]▶変換候補を選ぶ
・手入力で挿入した文字は修正できません。削除してから再度手入力してください。
・修正する文字を選び直すとき：変換候補欄で[✉]

候補選択中　本文
残 1990
おはよう
候補選択 5
1 おはよう
2 ☀
3 (^0^)
4 ＼(⌒▽⌒)／
5 オハヨウ
文字挿入 候補選択　確定　音声入力 全文確定

- 手入力で文字を挿入：挿入する位置にカーソルを合わせる▶MENU▶文字を入力
- 文字の削除：削除する文字にカーソルを合わせる▶CLR
  - 文字を一括で削除することはできません。
- 音声入力のやり直し：📷▶［はい］

5 ◉▶ⓘ

- 文末で◉を押しても操作できます。
- 文字変換を完了し、音声入力で文字入力した内容を決定します。

6 ［ボタンで編集］

- メールの本文入力画面に戻ります。
- 続けて音声入力で文字入力するとき：［音声で追加入力］
- 変換候補を選び直す：［キャンセル］

- 次の場合は正しく認識できないことがあります。
  - ■ 声が大きすぎる場合
  - ■ 周囲の雑音が大きい場合
  - ■ 発声が明瞭でない場合
  - ■ 発声が不自然だったり、速度が速すぎる場合
  - ■ ボタンを押したり、送話口を触った場合
- メール／デコメアニメ®の題名入力と本文入力では、電話帳やユーザ辞書に登録されている名前が変換候補に優先的に表示されます。
- SMSの本文は音声入力できません。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

- FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名称	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	要	有料
電源OFF・圏外時着信お知らせサービス	不要	無料
キャッチホン	要	有料
転送でんわサービス	要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料

サービス名称	お申し込み	月額使用料
発信者番号通知サービス	不要	無料
公共モード（ドライブモード）	不要	無料
公共モード（電源OFF）	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	要	有料

サービス名称	お申し込み	月額使用料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	要	有料
2in1	要	有料
OFFICEED	要	有料
メロディコール	要	有料

- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 「OFFICEED」は申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けサイト（http://www.docomo.biz/html/service/officeed/）をご確認ください。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録することができます（☞P.466）。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモ(☞P.82)を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかったときは、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、待受画面にストックアイコン[■](着信あり)が表示されます。

- 伝言メッセージの録音／録画時間は1件あたり最長約3分、音声電話とテレビ電話それぞれ20件まで、最長約72時間保存されます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音が設定された呼出秒数の間(呼出時間は変更できます:☞P.454)鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しないときは、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。この着信は、待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼出時間を「0秒」に設定したときは、着信履歴に記憶されません。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときにテレビ電話がかかってきた場合は、設定した呼出時間が経過すると、留守番電話サービスに接続し、メッセージ録画が開始されます。また、設定した呼出時間内に応答すると、留守番電話サービスに接続せずに、そのまま通話できます。
- キャラ電で留守番電話サービスに接続されたときは、DTMF操作が行えません。サブメニューより[DTMF送信]を選択してください(☞P.66)。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定すると、留守番電話サービスは、自動的に停止します。

留守番電話サービスの基本的な流れ

STEP 1　留守番電話サービスを開始する。

STEP 2　お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる。

STEP 3　音声電話／テレビ電話に出られないときは、留守番電話サービスセンターに接続される。

STEP 4　相手が用件を伝言メッセージに録音／録画する。

- 急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに[#]を押すと、すぐに伝言メッセージを録音することができます。

STEP 5　伝言メッセージを再生する。

留守番電話サービスを利用する

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[留守番電話サービス]

2 サービスを選ぶ

◆ **[開始]▶[はい]▶呼出秒数を入力▶[OK]**

・2in1のモードを[Bモード]に設定しているときは、呼出秒数を設定できません。呼出時間を設定するときは、[呼出時間]で設定してください

◆ **[呼出時間]▶[はい]▶呼出秒数を入力▶[OK]**

◆ **[停止]▶[はい]▶[OK]**

◆ **[設定確認]▶[はい]**

・2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定しているときは、[Aナンバー]または[Bナンバー]のどちらの設定を確認するかを選択します。

◆ **[メッセージ再生]▶項目を選ぶ▶[はい]▶音声ガイダンスに従って操作**

◆ **[設定]▶項目を選ぶ▶[はい]▶音声ガイダンスに従って操作**

◆ **[メッセージ問合せ]▶[はい]▶[OK]**

・伝言メッセージがあるときは、ストックアイコン[■](留守録音あり)と、音声電話とテレビ電話の合計の件数が表示されます。

◆ **[件数増加鳴動設定]▶設定を選ぶ**

・メッセージが増えたときに着信音、バイブレータで知らせるかどうかを設定できます。

◆ [表示消去]▶[はい]

・ 待受画面で◉▶ストックアイコンにカーソルを合わせてCLR(1秒以上)▶[はい]でも消去できます。

◆ [テレビ電話設定]▶設定を選ぶ▶[OK]

・ 留守番電話サービスを、テレビ電話に対応させるかどうかを設定できます。

● 2in1のモードを[デュアルモード]に設定している場合、留守番電話サービスの開始や停止、メッセージ再生、設定を行うときは、[Aナンバー]または[Bナンバー]を選択してから実行します。

[メッセージ再生]について

● ストックアイコン表示中は、ストックアイコンを選択してメッセージを再生することができます。

● ストックアイコンで表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。

[件数増加鳴動設定]について

● [ON]に設定すると、SMS着信音が鳴り、メール着信時のバイブレータ設定に従い動作します。ただし、バイブレータが動作しない場合もあります。

電源OFF･圏外時着信お知らせサービス

電源OFF･圏外時着信お知らせサービス

圏外、セルフモード中、電源が入っていない場合などに着信があったとき、再び電源を入れたときや圏内になったときにSMSでお知らせできます。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[発着信･通話設定]▶[着信通知]

2 サービスを選ぶ

◆ [開始]▶発番号非通知着信の設定を選ぶ▶[はい]▶[OK]

◆ [停止]▶[はい]▶[OK]

◆ [設定確認]▶[はい]

キャッチホン

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

● キャッチホンを利用するときは、あらかじめ「通話中の着信動作選択」(☞P.460)を[通常着信]に設定してください。他の設定になっていると、キャッチホンを開始しても音声電話通話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。

キャッチホンを利用する

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[その他ネットワークサービス]▶[キャッチホン]

2 サービスを選ぶ

◆ [開始]▶[はい]▶[OK]

◆ [停止]▶[はい]▶[OK]

◆ [設定確認]▶[はい]▶[OK]

● 通話保留中も発信者の方の料金は加算されます。

● キャッチホンを停止しても、通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかけることはできます。

通話中にかかってきた電話に出る

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出ます。

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[通話キー]

- 最初の方との通話は自動的に保留になり、新しくかかってきた音声電話を受けることができます。
- 通話相手の切替：[i]

通話を終了してかかってきた電話に出る

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出ます。

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[終話キー]

- 新しくかかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 [通話キー]

- 新しくかかってきた電話の方と通話できます。

通話中に別の相手に電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかけます。

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤルして[通話キー]

- 最初の方との通話は自動的に保留されます。
- 通話相手の切替：[i]

転送でんわ

転送でんわサービス

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

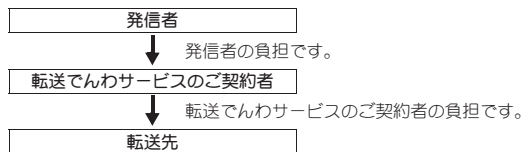
- 伝言メモ（☞P.82）を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかったときは、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、待受画面にストックアイコン［■］（着信あり）が表示されます。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

- テレビ電話をかけた側には、転送中のガイダンスは流れず、転送中のメッセージが画面に表示されます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音が設定された呼出秒数の間（呼出時間は変更できます：☞P.457）鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しないときは、あらかじめ登録されている転送先に転送します。この着信は、待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼出時間を「０秒」に設定したときは、着信履歴に記憶されません。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときは、コレクトコール（料金着信払通話）での着信はできません。
- 通話中に別の音声電話がかかってきたときは、自動的に転送させることもできます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定すると、転送でんわサービスは、自動的に停止します。
- 圏外のときは、FOMA端末から転送でんわサービスの設定はできません。このようなときは、プッシュ式の一般電話、公衆電話などからネットワーク暗証番号を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ、遠隔操作設定を「開始」に設定しておく必要があります。

転送でんわサービスの基本的な流れ

STEP 1　転送先の電話番号を登録する。
STEP 2　転送でんわサービスを開始する。
STEP 3　お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる。
STEP 4　音声電話／テレビ電話に出られないときは、あらかじめ登録した転送先に自動的に転送される。

転送でんわサービスの通話料

発信者
↓ 発信者の負担です。
転送でんわサービスのご契約者
↓ 転送でんわサービスのご契約者の負担です。
転送先

- 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止などの操作の通話料は無料です。

転送でんわサービスを利用する

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[その他ネットワークサービス]▶[転送でんわ]

2 サービスを選ぶ

◆ **[開始]▶[はい]▶[はい]▶電話番号を入力▶[📷]▶[はい]▶呼出秒数を入力▶[OK]**
- 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときは、転送先電話番号、呼出秒数を設定できません。

◆ **[停止]▶[はい]▶[OK]**

◆ **[転送先変更]▶電話番号を入力▶[📷]▶項目を選ぶ▶[はい]▶[OK]**
- 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときは、[転送先変更＋転送開始]を選択できません。

◆ **[転送先通話中時設定]▶設定を選ぶ▶[OK]**

◆ **[設定確認]▶[はい]**
- 2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定しているときは、[Aナンバー]または[Bナンバー]のどちらの設定を確認するかを選択します。

- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定している場合、転送サービスの開始や停止を行うときは、[Aナンバー]または[Bナンバー]を選択してから実行します。

[開始]について
- 圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。

転送ガイダンス有･無を設定する

1 待受画面で[1][4][2][9]▶[発信]
- 音声ガイダンスに従って設定してください。

迷惑電話ストップ

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記憶されません。
- 相手が発信者番号を通知してこない電話でも拒否登録できます。
- 国際電話は拒否登録できないことがあります。

■ 各サービス利用時の応答

各サービスの開始中に迷惑電話着信拒否登録した方から着信があったときは、次のようになります。

サービス名	迷惑電話着信拒否登録した方への応答
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。 メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。 転送先には転送されません。

次ページへ続く▶▶

サービス名	迷惑電話着信拒否登録した方への応答
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。

迷惑電話ストップサービスを利用する

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[発着信・通話設定]▶[迷惑電話ストップ]

2 サービスを選ぶ

◆ **[迷惑電話着信拒否登録]▶[はい]▶[OK]**
・最後に着信応答した相手を登録します。

◆ **[電話番号指定拒否登録]▶[はい]▶電話番号を入力▶[📷]▶[はい]▶[OK]**

◆ **[全登録削除]▶[はい]▶[OK]**

◆ **[1件登録削除]▶[はい]▶[OK]**
・最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

◆ **[拒否登録件数確認]▶[はい]▶[OK]**

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話/テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

● 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、ストックアイコン[▣](着信あり)も表示されません。

■ 各サービス利用時の応答

番号通知お願いサービスを「開始」に設定している場合、次の各サービスの開始中に、発信者番号を通知しない着信があったときは、次のようになります。

サービス名	発信者番号を通知しない方への応答
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。 メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。 転送先には転送されません。
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話着信拒否登録した電話番号から着信すると、着信拒否ガイダンスが流れます。

番号通知お願いサービスを利用する

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[発着信・通話設定]▶[番号通知お願いサービス]

2 サービスを選ぶ▶[はい]▶[OK]

デュアルネットワーク

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

● FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
● ネットワーク暗証番号は4桁の数字を入力してください(☞P.122)。
● デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

デュアルネットワークサービスを利用する

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[その他ネットワークサービス]▶[デュアルネットワーク]

2 サービスを選ぶ

◆ **[切替]▶[はい]▶ネットワーク暗証番号を入力▶[OK]**

◆ **[状態確認]▶[はい]▶[OK]**

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

● 発信者側・受信者側ともに本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[その他ネットワークサービス]▶[英語ガイダンス]

2 サービスを選ぶ

◆ **[設定]▶[はい]▶発信時のガイダンスの種類を選ぶ▶[はい]▶着信時のガイダンスの種類を選ぶ▶[OK]**

・発信時（ネットワークサービス設定時）と着信時（相手がかけてきたとき）に流れるガイダンスの言語を設定します。

・発信時に設定できる項目は次のとおりです。

■ 日本語：すべて日本語ガイダンスで流れます。

■ 英語：すべて英語ガイダンスで流れます。

・着信時に設定できる項目は次のとおりです。

■ 日本語：すべて日本語ガイダンスで流れます。

■ 日本語＋英語：最初に日本語ガイダンスが流れ、そのあとに英語ガイダンスが流れます。

■ 英語＋日本語：最初に英語ガイダンスが流れ、そのあとに日本語ガイダンスが流れます。

・発信時／着信時の設定確認画面で[いいえ]を選択し、どちらか一方を設定することもできます。

◆ **[設定確認]▶[はい]▶[OK]**

ドコモへのお問合せ

ドコモへ問い合わせをする

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

● 2in1のモードを[デュアルモード]に設定しているときは、発信番号選択画面で[Aナンバー]または[Bナンバー]を選択してから発信します。

● お使いのドコモUIMカードによっては、表示される項目が異なったり、表示されないことがあります。

■ 総合案内・受付へ電話をかける＜ドコモ総合案内・受付＞

総合案内・受付へ電話をかけることができます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[ドコモへのお問合せ]▶[ドコモ総合案内・受付]▶[はい]

■ 故障問い合わせ先へ電話をかける＜ドコモ故障問合せ＞

故障問い合わせ先へ電話をかけることができます。

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[ドコモへのお問合せ]▶[ドコモ故障問合せ]▶[はい]

■ 海外から問い合わせをする＜お問合せ（海外）＞

● お使いのドコモUIMカードによっては、表示される項目が異なったり、表示されないことがあります。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[海外設定]▶[お問合せ（海外）]

2 項目を選ぶ▶[はい]

● 選択できる項目は次のとおりです。

■ 海外紛失・盗難等：海外から紛失、盗難などの問い合わせ先へ電話をかけることができます。

■ 海外故障：海外から故障問い合わせ先へ電話をかけることができます。

通話中の着信動作

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」、「キャッチホン」をご契約されているお客様の通話中や64Kデータ通信中にかかってきた電話にどのように対応するかを設定できます。

- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」、「キャッチホン」が未契約のときは、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中の着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。なお、キャッチホンを「開始」に設定している場合は、通話中着信設定を「開始」に設定する必要はありません。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[発着信・通話設定]▶[通話中の着信動作]

2 項目を選ぶ

◆ **[通話中の着信動作選択]▶着信動作を選ぶ**

・設定できる着信動作は次のとおりです。

■ 通常着信：音声電話通話中（キャッチホンが「開始」に設定されている場合）に音声電話がかかってきた場合は、キャッチホンの動作となります。音声電話通話中（キャッチホンが「停止」にされている場合）、テレビ電話通話中、64Kデータ通信中に、電話がかかってきた場合は次のいずれかの動作が可能です。

・通話中の電話や通信中の64Kデータ通信を終了し、かかってきた電話に出ることができます。

・通話中にかかってきた電話を手動で留守番電話サービスや転送でんわサービスへ接続、または着信拒否できます。

・留守番電話サービスや転送でんわサービスが「開始」に設定されているときは、その設定に従います。

■ 留守番電話：通話中にかかってきた電話を留守番電話サービスに自動で接続します。留守番電話サービスの「開始」／「停止」に関係なく、伝言メッセージをお預かりします。

■ 転送でんわ：通話中にかかってきた電話を転送でんわサービスに自動で接続します。転送でんわサービスの「開始」／「停止」に関係なく、登録してある電話番号に転送します。

■ 着信拒否：通話中にかかってきた電話の着信を自動で拒否します。

・キャッチホンを利用するときは、[通常着信]に設定してください。

◆ **[通話中着信設定]▶サービスを選ぶ▶[はい]▶[OK]**

・通話中着信設定を「開始」に設定すると、通話中や64Kデータ通信中に別の電話を受けたときに、通話中の着信動作選択に従い着信させることができます。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- FOMAのサービスエリア外でも操作できます。
- 遠隔操作を行う前に、遠隔操作設定を「開始」に設定してください。
- 海外でネットワークサービスを利用するときは、あらかじめ遠隔操作設定を「開始」に設定してください。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[その他ネットワークサービス]▶[遠隔操作設定]

2 サービスを選ぶ

◆ **[開始]▶[はい]▶[OK]**

◆ **[停止]▶[はい]▶[OK]**

◆ **[設定確認]▶[はい]▶[OK]**

■ 公衆電話などからネットワークサービスの操作をする

- 公衆電話などからネットワークサービスを操作する詳しい方法は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

マルチナンバー

マルチナンバーを利用する

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- ドコモUIMカードを抜いたり、差し替えたりした場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号1／付加番号2）に対応した名称が表示されます。
- リダイヤルや着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。
- 登録した名称は、発信時のマルチナンバー選択画面や着信画面で表示されます。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[その他ネットワークサービス]▶[マルチナンバー]

2 サービスを選ぶ

◆ **[通常発信番号設定]▶使用する電話番号を選ぶ▶[はい]▶[OK]**
・使用する発信番号を設定します。

◆ **[通常発信番号設定確認]▶[はい]▶[OK]**

◆ **[電話番号設定]▶各項目を設定▶[カメラ]**
・マルチナンバーを登録し、マルチナンバー発信の有効／無効を設定します。
・名称は全角10文字（半角20文字）まで、電話番号は26桁まで入力できます。

◆ **[着信音設定]▶付加番号を選ぶ▶各項目を設定▶[カメラ]**

電話をかけるときに発信番号を選ぶ<マルチナンバー>

1 待受画面で電話番号を入力▶[MENU]▶[マルチナンバー]

2 使用する電話番号を選ぶ▶[カメラ]（音声電話）／[i]（テレビ電話）

2in1

2in1を利用する

1つの携帯電話で、2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

Aモード	お客様電話番号（Aナンバー）での発信とｉモードメール（Aアドレス）での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。
Bモード	2in1電話番号（Bナンバー）での発信とｉモードメール（Bアドレス）での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。
デュアルモード	A・Bモードの両方の機能を備えたモードです。

- ｉモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。
- モードごとの機能利用については☞P.464
- 外部機器から64Kデータ通信で発信を行った場合、2in1のモードが[Aモード]／[デュアルモード]のときはAナンバーで発信します。[Bモード]のときはBナンバーで発信します。ただし、[デュアルモード]設定時のATコマンドによるリダイヤル発信を行った場合は、最後に発信したナンバーでリダイヤル発信します。
- 2in1の詳細については、『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[2in1]▶端末暗証番号を入力

- すでに2in1を利用している場合は、2in1メニュー画面が表示されます。

2 [はい]

- フォルダ内既読削除／フォルダ内未読削除／フォルダ内全件削除（☞P.165）を行った場合、2in1のモードにかかわらず、AアドレスとBアドレスのすべての該当メールが削除されます。

2in1のモードを切り替える<2in1モード切替>

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[2in1]▶端末暗証番号を入力▶[2in1モード切替]

2 モードを選ぶ

- モード切替連動設定が「開始」のとき:モードを選ぶ▶[OK]

■ デュアルモード設定時に発信番号を選んで発信する<自局番号>

1 待受画面で電話番号を入力▶MENU▶[自局番号]

2 発信番号を選ぶ▶📷(音声電話)/i(テレビ電話)

■ デュアルモード設定時に送信元アドレスを切り替えて送信する<送信者アドレス切替(A・B)>

1 メール作成画面でMENU▶[送信者アドレス切替(A・B)]

2 送信元アドレスを選ぶ▶📷

電話帳に登録するモードを設定する<電話帳2in1設定>

2in1のモードによって表示される電話帳も自動的に切り替わります。電話帳登録時の2in1のモードによって、電話帳2in1設定が登録されます。また、次の操作で変更できます。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[2in1]▶端末暗証番号を入力▶[電話帳2in1設定]

2 登録する設定を選ぶ

3 名前を選ぶ▶📷▶[はい]

- ドコモUIMカード電話帳の登録時は、どのモードで登録しても[共通]になり、変更できません。

モードごとの待受画面を設定する<モード別待受画面設定>

[デュアルモード]、[Aモード]、[Bモード]それぞれに待受画面を設定できます。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[2in1]▶端末暗証番号を入力▶[モード別待受画面設定]

- [本体設定]から設定するとき:待受画面を設定するモードを設定中にノーマルメニューで[本体設定]▶[画面・ディスプレイ]▶[待受画面設定]▶[待受画面選択]▶操作3へ

2 モードを選ぶ

3 設定する画面を選ぶ

◆ **[縦画面設定]▶項目を選ぶ**

・設定できる項目は次のとおりです。

■ イメージ設定:あらかじめ登録されている画像やFOMA端末で撮影した静止画、サイトから取得した画像などを待受画面に設定できます。

■ ランダムイメージ設定:指定したフォルダ内の画像を設定した時間ごとに切り替えて待受画面に表示します。

■ iモーション/ムービー設定:FOMA端末で撮影した動画、サイトから取得した動画などを待受画面に設定できます。

■ iアプリ設定:iアプリ設定については☞P.304

■ きせかえツールに従う:きせかえツールに従います。

◆ **[横画面設定]▶項目を選ぶ**

・設定できる項目は次のとおりです。

■ イメージ設定:あらかじめ登録されている画像やFOMA端末で撮影した静止画、サイトから取得した画像などを待受画面に設定できます。

■ きせかえツールに従う:きせかえツールに従います。

- デュアルモード、Bモードのとき:[縦画面設定]/[横画面設定]▶画像を選ぶ▶📷▶[はい]

- サイトからダウンロード直後の画面設定では、[Aモード]の待受画面が設定されます。

Aナンバー／Bナンバーの発着信について設定する <番号別発着信設定>

Aナンバー、Bナンバーそれぞれの発着信時の画面表示や着信音について設定します。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[2in1]▶端末暗証番号を入力▶[番号別発着信設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[発着信番号表示設定]▶各項目を設定▶📷**
- Aナンバー、Bナンバーそれぞれの発着信を識別するために、発着信画面および通話中画面のタイトルに識別記号を表示することができます。

◆ **[着信設定]▶ナンバーを選ぶ▶項目を選ぶ▶各項目を設定▶📷**
- Aナンバー、Bナンバーそれぞれに着信音を設定できます。
- 着信音の詳細については☞P.102

2in1の利用を停止する<2in1機能OFF>

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[2in1]▶端末暗証番号を入力▶[2in1機能OFF]▶[はい]

● 2in1のBナンバーの変更やドコモUIMカードの差し替え（2in1契約者→2in1契約者）を行ったときは、次のいずれかの方法で正しいBナンバーを取得してください。
- ■ 2in1機能をOFFにしてから、再度2in1機能をONにする
- ■ デュアルモードまたはBモードのとき、プロフィール情報表示画面で◉▶端末暗証番号を入力▶MENU▶[Bナンバー取得]▶[はい]▶[OK]
- ■ 2in1契約問い合わせを行う

● ドコモUIMカードの差し替え（2in1契約者→2in1未契約者）を行ったときは、2in1機能をOFFにしてください。

モードごとの着信を制限する<着信回避設定>

Aナンバー、Bナンバーの着信を制限できます。2in1のモードに連動して、AモードのときはAナンバー、BモードのときはBナンバーの着信のみを許可し、デュアルモードのときは両方の着信を許可するように設定することもできます。また、海外からも着信回避を設定できます。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[2in1]▶端末暗証番号を入力▶[着信回避設定]

2 着信回避を設定する

◆ **[着信回避設定変更]▶各項目を設定▶📷▶[OK]**

◆ **[着信回避設定確認]▶[はい]**

◆ **[モード切替連動設定]▶[はい]▶[OK]**
- モード切替連動を「開始」／「停止」します。
- モード切替連動設定が「開始」のときは、圏外ではモードの切り替えができません。

◆ **[着信回避設定（海外）]▶[はい]▶音声ガイダンスに従って操作**
- 海外で、着信回避を設定します。

モードごとの機能利用について

モードごとに動作が異なる項目のみ記載しています(Aモードと共通の動作をするものは除いています)。

<table>
<tr><th colspan="2">サービス</th><th>Aモード</th><th>Bモード</th><th>デュアルモード</th></tr>
<tr><td rowspan="2">音声/テレビ電話</td><td>発信</td><td>Aナンバー</td><td>Bナンバー</td><td>発信時に選択可※1</td></tr>
<tr><td>着信</td><td colspan="3">すべて(着信回避設定で制限可能)※2</td></tr>
<tr><td rowspan="10">電話帳※3</td><td>表示</td><td>[A]・[共通]</td><td>[B]・[共通]</td><td>すべて</td></tr>
<tr><td>名前変換※4</td><td>[A]・[共通]</td><td>[B]・[共通]</td><td>すべて</td></tr>
<tr><td>新規登録時の電話帳2in1設定</td><td>[A]</td><td>[B]</td><td>登録時に選択可※5</td></tr>
<tr><td>赤外線通信/iC通信/Bluetooth通信からの全件受信</td><td colspan="3">送信元の電話帳2in1設定をコピー※6</td></tr>
<tr><td>赤外線通信/iC通信/Bluetooth通信からの1件受信</td><td>[A]</td><td>[B]</td><td>保存時に選択可※5</td></tr>
<tr><td>microSDカードへコピー</td><td colspan="3">1件/全件コピー:電話帳2in1設定はすべて[共通]</td></tr>
<tr><td>microSDカードからコピー</td><td>[A]</td><td>[B]</td><td>コピー時に選択可※5</td></tr>
<tr><td>FOMA端末からドコモUIMカードへコピー</td><td colspan="3">電話帳2in1設定はすべて[共通]</td></tr>
<tr><td>ドコモUIMカードからFOMA端末へコピー</td><td>[A]</td><td>[B]</td><td>[A]</td></tr>
<tr><td>リダイヤル</td><td>表示</td><td>Aナンバー発信</td><td>Bナンバー発信</td><td>すべての発信</td></tr>
<tr><td>着信履歴</td><td>表示</td><td>Aナンバー着信</td><td>Bナンバー着信</td><td>すべての着信</td></tr>
<tr><td rowspan="4">メール/SMS</td><td>表示</td><td>●Aアドレスで送受信したメール
●Aナンバーで送受信したSMS</td><td>●Bアドレスで送受信したメール
●Bナンバーで受信したSMS</td><td>●Aアドレスで送受信したメール
●Bアドレスで送受信したメール
●Aナンバーで送受信したSMS
●Bナンバーで受信したSMS</td></tr>
<tr><td>送信</td><td>●Aアドレスからのメール
●AナンバーからのSMS</td><td>●Bアドレスからのメール
●SMS送信不可</td><td>●Aアドレス/Bアドレスからのメール※7※8
●AナンバーからのSMS</td></tr>
<tr><td>受信</td><td>●Aアドレス宛のメール/Aナンバー宛のSMS(鳴動あり)
●Bアドレス宛のメール/Bナンバー宛のSMS(鳴動なし)</td><td>●Aアドレス宛のメール/Aナンバー宛のSMS(鳴動なし)
●Bアドレス宛のメール/Bナンバー宛のSMS(鳴動あり)</td><td>●Aアドレス宛のメール/Aナンバー宛のSMS(鳴動あり)
●Bアドレス宛のメール/Bナンバー宛のSMS(鳴動あり)</td></tr>
<tr><td>赤外線通信/iC通信/Bluetooth通信からの全件受信</td><td colspan="3">送信元の状態をコピー※9</td></tr>
</table>

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
メール/SMS	赤外線通信/iC通信/Bluetooth通信からの1件受信	A		
	microSDカードへコピー	全件/1件/選択/フォルダ内全件コピー:すべてA		
	FOMA端末からドコモUIMカードへコピー(SMSのみ)	A		
	ドコモUIMカードからFOMA端末へコピー(SMSのみ)	A	表示不可	A
iアプリ		すべて利用可能	利用可能※10	利用可能※11
プロフィール		Aナンバー・Aアドレス	Bナンバー・Bアドレス	Aナンバー・Aアドレス/Bナンバー・Bアドレス

※1 電話帳2in1設定が[A]・[共通]の電話帳はAナンバー発信、[B]の電話帳はBナンバー発信が初期状態になります。
※2 メモリ別着信許可、メモリ別着信拒否、メモリ登録外着信拒否を設定しているときは、利用しているモードと電話帳2in1設定にかかわらず、着信を許可/拒否します。
※3 電話帳2in1設定にかかわらず、シークレット属性設定することができます。
※4 発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳データとの照合により、各番号・各アドレスが登録されている電話帳データの名称に変換して表示する機能になります。
※5 電話帳2in1設定変更確認画面で[いいえ]を選択した場合やモード選択画面でCLRを押した場合は、電話帳2in1設定は[A]になります。
※6 送信元が2in1非対応機種の場合、電話帳2in1設定はすべて[A]になります。
※7 受信したメールを返信/転送する場合や、保存したメールを編集・送信する場合、リダイヤル/着信履歴、送受信履歴からメールを作成する場合は、元のメールや履歴のアドレス/ナンバーに従って送信者アドレスが設定されます。
※8 発信元のアドレスは変更できます。変更方法については☞P.462
※9 送信元が2in1非対応機種の場合、すべてAになります。
※10 メール連動型iアプリ、待受画面に設定したアプリは除きます。
※11 待受画面に設定したアプリは除きます。

OFFICEED

OFFICEEDを利用する

「OFFICEED」は指定されたIMCS(屋内基地局設備)で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には、別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けサイト(http://www.docomo.biz/html/service/officeed/)をご確認ください。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[その他ネットワークサービス]▶[OFFICEED]

2 サービスを選ぶ

- **[エリア表示設定]▶設定を選ぶ**
- **[圏外転送開始]▶[はい]▶[OK]**
- **[圏外転送停止]▶[はい]▶[OK]**
- **[圏外転送設定確認]▶[はい]▶[OK]**

追加サービス

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

- FOMA端末には、新しく追加提供されたサービスの特番またはサービスコードを登録できます。
- サービスコードが提供されるときは、FOMA端末には「USSD」として登録されます。

1 ノーマルメニューで[電話機能]▶[その他ネットワークサービス]▶[追加サービス]

2 項目を選ぶ

- **[USSD登録]▶サービスを選ぶ**
  - 特番/サービスコード、サービス名の編集:サービスにカーソルを合わせる▶[📷]▶各項目を設定▶[📷]
    - 新しいネットワークサービスは10件まで登録できます。
    - 特番/サービスコードは40桁まで、サービス名は全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
- **[USSD応答ワーディング登録]▶受信表示を選ぶ▶各項目を設定▶[📷]**
  - USSDコードは40桁まで入力できます。
  - 応答メッセージは全角10文字(半角20文字)まで入力できます。

■ USSDサービス一覧画面のサブメニュー操作

[1件削除]▶[はい]
[全件削除]▶[はい]

■ 応答メッセージ一覧画面のサブメニュー操作

- 応答メッセージ一覧画面のサブメニュー操作は、USSDサービス一覧画面のサブメニュー操作(☞P.466)を参照してください。

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。音声電話、SMS、ｉモードメールは設定の変更なくご利用になれます。

対応エリアについて

本FOMA端末は3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- ■ データBOXの[マイドキュメント]にプリインストールされている「海外ご利用ガイド」
- ■ 『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』
- ■ ドコモの「国際サービスホームページ」

● 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号は、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話※1	○	○	○
テレビ電話※1	○	×	×
SMS※2	○	○	○
ｉモード※3	○	×	○
ｉモードメール	○	×	○
ｉチャネル※3※4	○	×	○
ｉコンシェル※5	○	×	○
ｉウィジェット※6	○	×	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○	×	○
GPSの現在地確認※7	○	×	○

※1 2in1利用時はBナンバーでの発信はできません。マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。

※2 宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。

※3 ｉモード海外利用設定が必要となります(☞P.474)。

※4 ｉチャネル海外利用設定が必要となります(☞P.474)。ベーシックチャネルの情報の自動更新もパケット通信料がかかります(日本国内ではｉチャネル利用料に含まれます)。

※5 ｉコンシェルの海外利用設定が必要となります(☞P.474)。インフォメーションの受信ごとにパケット通信料がかかります。

※6 ｉウィジェット海外利用設定が必要となります(☞P.474)。ｉウィジェット画面を表示すると複数のウィジェットアプリが通信する場合があり、この場合１通信ごとにパケット通信料がかかります。

※7 GPS測位は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などはパケット通信料がかかります。

● 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。
接続可能な国・地域および海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

ご利用時の準備

■ ご出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

● WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

充電について

● 海外でのご利用は日本よりも電池を多く消耗する場合があります。
● ACアダプタ（別売）の取り扱い上のご注意については☞P.14
● ACアダプタでの充電方法については☞P.55

料金について

● 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。

■ 事前設定

ｉモードについて

ｉモード海外利用設定のｉモードを［利用する］に設定する必要があります（☞P.474）。

ｉモードメールについて

ｉモードメールについては受信方法が選べます（☞P.474）。

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

● 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を「開始」にする必要があります（☞P.460）。
● 渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます（☞P.475）。
● 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

■ 滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

ネットワークサーチ設定を［オート］に設定している場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して接続し直されます。

ディスプレイの表示について

● 画面の上部には利用中のネットワークの種類が表示されます。
3G（黄色）：3Gネットワーク（パケット通信可）
3G（青色）：3Gネットワーク（パケット通信可／通話可）
3G（赤色）：3Gネットワーク（パケット通信不可）
GPRS（黄色）：GSM／GPRSネットワーク（パケット通信可）
GPRS（青色）：GSM／GPRSネットワーク（パケット通信可／通話可）
GSM　：GSM／GPRSネットワーク（パケット通信不可）
● オペレータ名表示設定を［表示あり］に設定しているときは、接続している通信事業者名が待受画面に表示されます（☞P.473）。

日付時刻設定について

自動時刻・時差補正を［ON］に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。
● 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
● 日付時刻設定については☞P.61

お問い合わせについて

- FOMA端末やドコモUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

■ 帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 3G／GSM切替を［自動］に設定してください（☞P.472）。
- ネットワークサーチ設定を［オート］に設定してください（☞P.472）。

ご利用ガイドを表示する<海外ご利用ガイド>

1 ノーマルメニューで［地図／海外］▶［海外ご利用ガイド］

滞在国で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけることができます。

- 国際テレビ電話の相手先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。
- ネットワークサービスの発信者番号通知（☞P.62）を［通知する］に設定していても、通信事業者によっては［通知不可能］や［非通知設定］など正しく番号表示されないことがあります。

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

滞在国から日本または他の国へ電話をかけます。

1 待受画面で「＋」（0を1秒以上）、国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります）。

2 (音声電話)／(テレビ電話)

■ 国番号変換を利用して滞在国外に電話をかける

自動変換機能（☞P.74）を［ON］に設定し、よくかける国の国番号を設定しておくと、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- 電話番号の先頭の「0」が国番号変換で設定している国番号に自動的に変換されます。

例：電話帳から発信するとき

1 待受画面で ▶ 相手を選ぶ

2 (音声電話)／(テレビ電話)

3 ［はい］

- 電話帳に登録されている電話番号のまま発信：［元の番号で発信］

■ 国番号を登録している国にかける<国際電話発信>

国番号(☞P.74)を登録しておくと、発信時に国名を選択して国際電話をかけることができます。

- 次の操作は、海外でのみ有効です。

1 待受画面で電話番号を入力▶MENU▶[発信オプション]

2 国際電話発信欄を選ぶ▶[ON]

3 国番号欄を選ぶ▶国名を選ぶ

4 📷(音声電話)/i(テレビ電話)▶[はい]

- 発信方法で[テレビ電話]を選択した場合は、iを押すと通話中に表示するキャラ電を選択できます。

滞在国内に電話をかける

滞在国で国内電話をかけるときは、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。

1 待受画面で電話番号を入力

2 ✆(音声電話)/📷(テレビ電話)

- 同一市内でも、必ず地域番号(市外局番)から入力してください。
- 電話帳を利用して滞在国内に電話をかけるときは、P.470「国番号変換を利用して滞在国外に電話をかける」の操作3で、[元の番号で発信]を選択します。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

海外でWORLD WING利用中の相手に電話をかけるときは、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として電話をかけます。

1 待受画面で「+」(0を1秒以上)、日本の国番号「81」、先頭の「0」を除いた相手先携帯電話番号を入力

2 ✆(音声電話)/📷(テレビ電話)

電話を受ける

海外でも、日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

1 電話がかかってきたら✆

- 相手と通話できます。

- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用している通信事業者によっては発信者番号が通知されないときがあります。
- 国際ローミング中に電話がかかってきたときは、日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本から滞在国に電話をかけてもらう

海外で日本からの電話を受けるときは、日本国内にいるときと同様にお客様の電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

090(または080)-XXXX-XXXX

- 着信履歴からの発信では、電話番号が正しく表示されていないことがありますので、そのままではかからないことがあります。

■ 日本以外の国から滞在国に電話をかけてもらう

滞在国にかかわらず日本への国際電話として、国際電話アクセス番号と日本の国番号「81」を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90(または80)-XXXX-XXXX

3G／GSM切替

ネットワーク通信方式を設定する

ご利用になる地域や通信事業者に対応した通信方式を設定します。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[海外ネットワークサーチ]▶[3G／GSM切替]

2 通信方式を選ぶ

ネットワークサーチ設定

通信事業者の検索方法を設定する

- 手動で通信事業者を選択するように設定できます。
- ネットワークを再検索して、他の通信事業者に切り替えることができます。
- 帰国後、[圏外]が表示されているときはネットワークサーチ設定が[オート]になっていることをご確認ください。
- 海外で[マニュアル]に設定し、通信事業者を選んだ場合、帰国後、手動でFOMAネットワーク(DOCOMO)に設定し直すか、[オート]に変更してください。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[海外ネットワークサーチ]▶[ネットワークサーチ設定]

2 設定を選ぶ

◆ **[オート]▶[はい]▶[OK]**
- [オート]に設定しているとき：[オート]▶[OK]

◆ **[マニュアル]▶通信事業者を選ぶ▶[OK]**
- 利用できない通信事業者には[✕]が表示されます。
- 接続する通信事業者が切り替わります。

◆ **[ネットワーク再検索]▶[はい]▶[OK]**
- 待受画面に[ ]が表示されているときは、◉を押し、[ ]を選択しても操作できます。
- ネットワークサーチ設定を[オート]に設定しているときは、自動的に接続先が切り替わります。
- [マニュアル]に設定しているとき：[ネットワーク再検索]▶[はい]▶通信事業者を選ぶ▶[OK]

利用できる通信サービスを確認する<在圏状態表示>

通話、データ通信、パケット通信が利用できる状態にあるかどうかを確認します。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[海外ネットワークサーチ]▶[在圏状態表示]

優先ネットワーク設定

優先的に接続する通信事業者を設定する

ネットワークサーチ設定を[オート]に設定しているとき、接続する通信事業者の優先順位を設定できます。20件まで登録できます。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[海外ネットワークサーチ]▶[優先ネットワーク設定]
- 登録した通信事業者の詳細情報を確認：通信事業者を選ぶ

2 優先順位の番号にカーソルを合わせる▶MENU

3 登録方法を選ぶ

◆ **[追加]▶登録方法を選ぶ**
- 登録方法は次のとおりです。
  - ■ マニュアル登録：オペレータコードを入力して登録します。
  - ■ リストから登録：国名と通信事業者を選んで登録します。
  - ■ 在圏ネットワーク登録：現在接続中の通信事業者を登録します。
- 通信事業者の詳細情報確認：ネットワーク選択画面で◉

◆ **[優先順位変更]▶移動先を選ぶ**

◆ **[削除]▶削除方法を選ぶ**

4 📷▶[はい]▶[OK]

- 設定はドコモUIMカードに保存されます。

海外利用

オペレータ名表示設定

ローミング中の通信事業者名を表示する

国際ローミング中に、接続中の通信事業者名を待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[海外ネットワークサーチ]▶[オペレータ名表示設定]

2 設定を選ぶ▶[はい]

■ 通信事業者名を表示したとき

通信事業者名

再検索アイコン表示設定

再検索アイコンを表示する

ネットワークサーチ設定を[マニュアル]に設定しているとき、圏外になった場合に再検索アイコンを待受画面に表示するかどうか設定します。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[海外ネットワークサーチ]▶[再検索アイコン表示設定]

2 設定を選ぶ

ローミングガイダンス

ローミングガイダンスを開始する

国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すかどうかを設定します。

- 日本国内で設定してください。
- 滞在国での設定方法については☞P.475
- ローミングガイダンスを設定した場合でも、海外通信事業者により、外国語のガイダンスが流れることがあります。
- [停止]に設定したときは、海外通信事業者で設定している呼び出し音が流れます。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[海外設定]▶[ローミングガイダンス]

2 項目を選ぶ▶[はい]▶[OK]

ローミング時着信規制

ローミング中は着信を受け付けないようにする

国際ローミング中は着信を受けないように設定できます。すべての着信を規制するか、テレビ電話の着信のみ規制するかを選択できます。

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。
- 海外では64Kデータ通信を利用できません。
- [全着信規制]に設定しても、発信やｉモード接続、iチャネルの自動更新、留守番電話、転送でんわなどは規制されません。また、パケット通信を行うと、メールなどが受信される場合があります。

1 ノーマルメニューで[地図／海外]▶[海外設定]▶[ローミング時着信規制]

2 項目を選ぶ

◆ **[規制開始]▶規制方法を選ぶ▶[はい]▶ネットワーク暗証番号を入力▶[OK]**

・設定できる規制方法は次のとおりです。

次ページへ続く

■ 全着信規制：音声着信、ｉモードメール受信、SMS受信を含むすべての着信を規制します。
■ テレビ電話／64Kデータ規制：テレビ電話の着信のみ規制します。

◆［規制停止］▶［はい］▶ネットワーク暗証番号を入力▶［OK］
◆［規制確認］▶［はい］▶［OK］

ローミング着信通知

ローミング中に着信通知機能を利用する

国際ローミング中に、電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、かかってきた電話に応答できなかったときに、その着信の情報（着信日時や発信者番号）をSMSにてお知らせします。

- 滞在国での設定方法については☞P.475
- SMSの受信料は無料です。

1 ノーマルメニューで［地図／海外］▶［海外設定］▶［ローミング着信通知］

2 項目を選ぶ▶［はい］▶［OK］

ｉモードサービス利用設定

ローミング中にｉモードサービスを利用する

国際ローミング中に、各種ｉモードサービスを利用するかどうかを設定できます。

ローミング中にｉモードを利用する＜ｉモード＞

1 ノーマルメニューで［地図／海外］▶［海外設定］▶［ｉモードサービス利用設定］▶［ｉモード］▶［はい］

ローミング中にメール選択受信を利用する＜メール選択受信＞

1 ノーマルメニューで［地図／海外］▶［海外設定］▶［メール／メッセージ利用設定］▶［メール選択受信］▶［ON］▶［はい］

ローミング中にメッセージRを利用する＜メッセージR＞

1 ノーマルメニューで［地図／海外］▶［海外設定］▶［メール／メッセージ利用設定］▶［メッセージR］▶［はい］

ローミング中にｉチャネルを利用する＜ｉチャネル＞

1 ノーマルメニューで［地図／海外］▶［海外設定］▶［ｉモードサービス利用設定］▶［ｉチャネル］▶［はい］

ローミング中にｉコンシェルを利用する＜お預かりサービス／ｉコンシェル＞

1 ノーマルメニューで［地図／海外］▶［海外設定］▶［ｉモードサービス利用設定］▶［お預かりサービス／ｉコンシェル］▶［はい］

ローミング中にｉウィジェットを利用する＜ｉウィジェット＞

1 ノーマルメニューで［地図／海外］▶［海外設定］▶［ｉモードサービス利用設定］▶［ｉウィジェット］▶［はい］

ネットワークサービス

ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスを利用できます。

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。
- 留守番電話や転送でんわをご利用になるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのご契約が必要です。
- 海外でネットワークサービスを利用するときは、あらかじめ遠隔操作設定(☞P.460、P.475)を「開始」に設定してください。
- 海外から操作したときは、ご利用いただいた国の日本向け通話料がかかります。

滞在国で留守番電話サービスの操作をする

<留守番電話(有料)>

1 ノーマルメニューで[地図/海外]▶[海外設定]▶[ネットワークサービス]

2 [留守番電話(有料)]▶留守番電話サービスの項目を選ぶ

3 [はい]▶音声ガイダンスに従って操作

滞在国で転送でんわサービスの操作をする

<転送でんわ(有料)>

1 ノーマルメニューで[地図/海外]▶[海外設定]▶[ネットワークサービス]

2 [転送でんわ(有料)]▶転送でんわサービスの項目を選ぶ

3 [はい]▶音声ガイダンスに従って操作

滞在国でローミングガイダンスの操作をする

<ローミングガイダンス(有料)>

1 ノーマルメニューで[地図/海外]▶[海外設定]▶[ネットワークサービス]

2 [ローミングガイダンス(有料)]

3 [はい]▶音声ガイダンスに従って操作

滞在国で遠隔操作を設定する<遠隔操作(有料)>

1 ノーマルメニューで[地図/海外]▶[海外設定]▶[ネットワークサービス]

2 [遠隔操作(有料)]

3 [はい]▶音声ガイダンスに従って操作

滞在国で番号通知お願いサービスの操作をする

<番号通知お願い(有料)>

1 ノーマルメニューで[地図/海外]▶[海外設定]▶[ネットワークサービス]

2 [番号通知お願い(有料)]

3 [はい]▶音声ガイダンスに従って操作

滞在国で着信通知設定を設定する

<ローミング着信通知(有料)>

1 ノーマルメニューで[地図/海外]▶[海外設定]▶[ネットワークサービス]

2 [ローミング着信通知(有料)]

3 [はい]▶音声ガイダンスに従って操作

パソコン接続

データ通信の詳細については、付属のCD-ROM※内またはドコモのホームページ上のPDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

※ 付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、TOP画面が表示されます。[取扱説明書]▶[パソコン接続マニュアル(PDFファイル)]をクリックします。
何らかの理由によりTOP画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]▶[SH-01C]を選んで右クリックし、[エクスプローラ]をクリックし、[manual]をダブルクリックし、[SH-01C_J_Manual.pdf]をダブルクリックします。

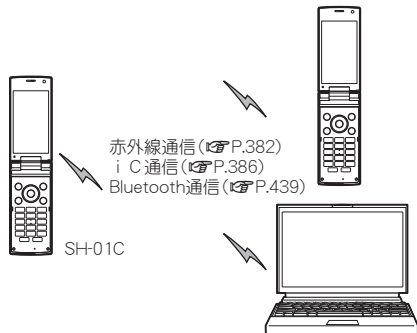
データ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信

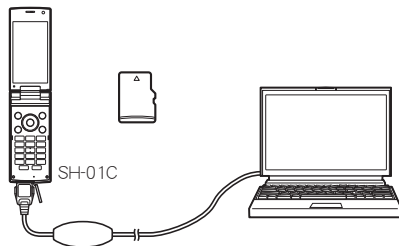
FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の３つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をsigmarionⅢと接続してデータ通信を行うことができます。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- 海外では、パソコンなどと接続しての64Kデータ通信は利用できません。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。

■ データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、FOMA端末と他のFOMA端末やパソコンなどの間で送受信します。

赤外線通信（☞P.382）
ｉＣ通信（☞P.386）
Bluetooth通信（☞P.439）

SH-01C

SH-01C

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）
microSDカード（☞P.365）
ドコモケータイdatalink（☞P.482）

■ パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたができます。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbpsの高速通信を行うことができます（通信環境や、電波などが混み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です）。

- 最大7.2Mbps、最大5.7Mbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。
- FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA「sigmarionⅢ」などHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合は、通信速度が遅くなる場合があります。

パケット通信はFOMA端末とパソコンなどをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）やBluetooth機能、Wi-Fi接続で接続して、各種設定を行うと利用できます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。
データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。
FOMA端末では、パソコンなどによるパケット通信と音声電話を同時に利用できます（☞P.410）。

■ 64Kデータ通信

接続している時間に応じて課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。
64Kデータ通信はFOMA端末とパソコンなどをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02やBluetooth機能で接続して、各種設定を行うと利用できます。データBOXコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
長時間通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

ご利用にあたっての留意点

■ インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

■ 接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは、FOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

■ パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でデータ通信（パケット通信／64Kデータ通信）を行うには、次の条件が必要になります。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用できるパソコンであること
- Bluetooth機能を利用する場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）に対応していること
- Wi-Fi接続を利用する場合は、パソコンが無線LAN標準規格IEEE 802.11b、IEEE 802.11gまたはIEEE 802.11nに対応していること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、前述の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況などにより通信ができないことがあります。

- パケット接続を行う場合は、FOMA端末と接続する機器がJATE（財団法人電気通信端末機器審査協会）の認定品である必要があります。

■ ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証ではFirstPass（ユーザ証明書）が必要です。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

ご使用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)を使用する場合:USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠) Bluetooth機能を利用する場合:Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR準拠(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル) Wi-Fiを利用する場合:無線LAN標準規格IEEE 802.11b、IEEE 802.11gまたはIEEE 802.11n準拠 ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨 ● ドコモ コネクションマネージャは1024×768ドット以上を推奨
OS	Windows XP、Windows Vista、Windows 7(各日本語版)
必要メモリ	Windows XP:128MB以上 Windows Vista:512MB以上 Windows 7(32ビット版):1GB以上 Windows 7(64ビット版):2GB以上
ハードディスク容量	5MB以上の空き容量 ● ドコモ コネクションマネージャは10MB以上の空き容量
Webブラウザ※	Internet Explorer 6.0以上
メールソフト※	WindowsメールおよびOutlook Express 6.0

※ ドコモ コネクションマネージャを利用するための動作環境です。

- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページをご確認ください。
- 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。
- OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に次のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)※、またはFOMA USB接続ケーブル(別売)※
- CD-ROM「SH-01C用CD-ROM」(付属)

※ USB接続の場合

- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02」、または「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ転送(OBEX™通信)の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)をご利用になる場合は、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
- 付属のCD-ROMからインストール
- ドコモのホームページからダウンロードして、インストール

↓

データ転送

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。次のような流れになります。

USB接続の場合

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
- 付属のCD-ROMからインストール
- ドコモのホームページからダウンロードして、インストール

↓

パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）で接続する（☞P.375）

↓

インストール後の確認をする

↓

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

↓

ドコモ コネクションマネージャでデータ通信の設定をする※

↓

接続する

Bluetooth接続の場合

パソコンとFOMA端末をBluetooth機能を利用してワイヤレス接続する

↓

モデムの確認をする

↓

ドコモ コネクションマネージャを使わずに通信の設定をする
- パケット通信
- 64Kデータ通信

↓

接続する

（USB接続・Bluetooth接続のいずれの場合も、「インストール後の確認をする」「モデムの確認をする」の後は「ドコモ コネクションマネージャをインストールする」または「ドコモ コネクションマネージャを使わずに通信の設定をする」に進みます）

※ ドコモ コネクションマネージャの設定については、「ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル.pdf」をご覧ください。

- FOMA端末でインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。

Wi-Fi接続の場合

FOMA端末をアクセスポイントモードにする

↓

パソコンとFOMA端末をWi-Fi接続を利用してワイヤレス接続する

↓

接続する

FOMA通信設定ファイルについて

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続してデータ通信を行うには、付属のCD-ROMからFOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

Bluetooth接続を準備する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続してデータ通信を行います。

- Bluetooth接続の詳細については☞P.431

Wi-Fi対応パソコンを接続する

FOMA端末にWi-Fi対応パソコンをワイヤレス接続してデータ通信を行います。

- Wi-Fi対応パソコンの接続については☞P.485

ドコモ コネクションマネージャについて

付属のCD-ROMからドコモ コネクションマネージャをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信や、64Kデータ通信に必要なさまざまな設定を、簡単に行うことができます。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド(命令)です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。
ATコマンドの詳細は付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

CD-ROMを利用する

取扱説明書付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書(PDF)が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

- CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
  [はい]をクリックしてください。

ドコモケータイdatalinkの紹介

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属されているCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

- ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、あらかじめFOMA通信設定ファイルをインストールしておく必要があります。

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。
また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル(別売)が必要になります。

Wi-Fi

Wi-Fiを利用する

本FOMA端末はWi-Fiに対応しており、Wi-Fiのさまざまな機能を利用できます。ご家庭のアクセスポイントや公衆無線LANサービスなどに接続したり、FOMA端末をアクセスポイント(親機)にしてWi-Fi対応機器を接続したりできます。

クライアントモード(子機)の場合

インターネット

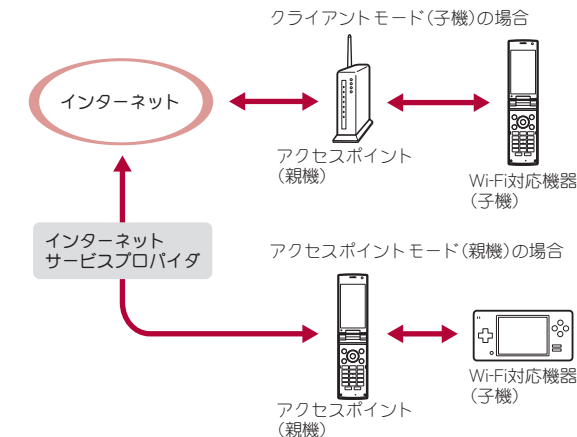
アクセスポイント(親機)

Wi-Fi対応機器(子機)

インターネットサービスプロバイダ

アクセスポイントモード(親機)の場合

アクセスポイント(親機)

Wi-Fi対応機器(子機)

- クライアントモードとアクセスポイントモードを同時に利用することはできません。

Bluetooth機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN(IEEE 802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などに通信が途切れたり音声が乱れたりすることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、FOMA端末や無線LANからBluetooth機器を10m以上離してください。

Bluetooth機器と無線LANの同時使用について

Bluetooth機器で音声通話中または音楽再生中に無線LANを使用した場合、通話音声または音楽再生の品質を確保するために無線LANを使用したデータ通信速度が低下したり、無線LANの接続が切れてしまうことがあります。

関連用語集

- アクセスポイント:Wi-Fiを利用する際の接続先です。
- AOSS:AirStation One-Touch Secure Systemの略です。Wi-Fi接続時の暗号化の設定が簡単に行える機能です。
- ESSID:Extended Service Set Identifierの略です。Wi-Fiにおけるネットワーク識別子の1つです。ESSIDが一致するアクセスポイントと通信が可能です。
- MACアドレス:Media Access Controlアドレスの略です。ネットワーク上で機器を識別するための固有のハードウェアアドレスです。
- WEP:Wired Equivalent Privacyの略です。最も一般的な暗号化方式です。アクセスポイント(親機)とクライアント(子機)に共通の暗号キー(WEPキー)を設定します。設定できるWEPキーの長さは、64bitと128bitの2種類です。
- WPA:Wi-Fi Protected Accessの略です。TKIP(Temporal Key Integrity Protocol)という暗号化プロトコルを使用した、より安全な暗号化方式です。
- WPS:Wi-Fi Protected Setup™の略です。無線LANの業界団体Wi-Fi Alliance®が策定した無線LAN設定に関する標準規格で、対応機器どうしであれば簡単な操作のみで安全なWi-Fiネットワーク環境の構築が可能です。

アクセスポイントモードを利用する

FOMA端末をアクセスポイント(親機)にしてWi-Fi対応機器(子機)を接続し、ゲーム対戦などのサービスを利用できます。

- FOMAサービスの圏内で利用できます。ただし、通信環境やネットワークの混雑状況によっては利用できない場合があります。
- ドコモUIMカードを挿入していない場合や、FOMAサービスの解約や利用を休止している場合は利用できません。
- 海外ではアクセスポイントモードを利用できません。
- アクセスポイントモードは、mopera UなどWi-Fi接続に対応したインターネットサービスプロバイダを利用します。
- mopera Uのサービス内容については、mopera Uのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/
- アクセスポイントモード利用時のパケット通信料は、パソコン・PDAなどを接続したパケット通信料となります。データ量の多い通信を行うと通信料が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- FOMA端末はIEEE 802.11b、IEEE 802.11gまたはIEEE 802.11nの無線LAN規格に準拠しています。使用するWi-Fi対応機器の規格をあらかじめご確認ください。同じ規格に対応している場合のみ接続できます。
- フルブラウザ中はWi-Fi対応機器をFOMA端末に接続することができません。
- 接続中の状態でも、一定時間データ送受信が行われない場合や、テレビ電話や64Kデータ通信が行われた場合は接続が切断される場合があります。

IEEE 802.11nについて

- 5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz(W52/W53/W56)には対応していません。
- MIMO(Multiple Input Multiple Output、多入力多出力)には対応していません。
- 40MHz帯域幅システム(HT40)には対応していません。

アクセスポイントモードの利用手順

- お買い上げ時は認証方式が設定されていません。無線設定で認証方式やWEPキーなどを設定してから接続することをおすすめします。

例:はじめてアクセスポイントモードを利用するとき

STEP 1 接続先(APN)を設定する ☞P.486

↓

STEP 2 アクセスポイントモードを開始する ☞P.486

↓

STEP 3 Wi-Fi対応機器からFOMA端末に接続する

- Wi-Fi対応機器の操作については、Wi-Fi対応機器の取扱説明書をご確認ください。
- 同時に接続できるWi-Fi対応機器は4台までです。

アクセスポイントモードの利用について設定する <アクセスポイントモード(親機)>

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[Wi-Fi]▶[アクセスポイントモード(親機)]

- アクセスポイントモード画面が表示されます。

2 項目を選ぶ

◆ **[APモード開始]▶[はい]**
- ・アクセスポイントモードを開始します。

◆ **[接続中子機一覧]▶Wi-Fi対応機器を選ぶ▶各項目を設定▶[カメラ]**
- ・設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 機器名称:機器名称を入力します。
    - ・全角16文字(半角32文字)まで入力できます。
  - ■ MACアドレス:接続するWi-Fi対応機器のMACアドレスを入力します。
  - ■ MACアドレス制限時の接続:無線設定でMACアドレス制限を[許可]に設定したときに接続できるかどうかを設定します。
- ・Wi-Fi対応機器の追加:[カメラ]▶各項目を設定▶[カメラ]
- ・Wi-Fi対応機器の削除:Wi-Fi対応機器にカーソルを合わせる▶[メール]▶[はい]

◆ **[APモード停止]▶[はい]**
- ・Wi-Fi対応機器との接続を切断し、Wi-Fiの電源を切ります。

- アクセスポイントモードの情報表示:[カメラ]
- Wi-Fi対応機器を登録:[MENU]▶[AOSS]▶[接続開始]
  - ・アクセスポイントモードを開始しているときに、AOSS方式でWi-Fi対応機器を登録できます。

アクセスポイントモードの設定をする

1 アクセスポイントモード画面で[i]

2 項目を選ぶ

◆ **[無線設定]▶端末暗証番号を入力▶各項目を設定▶[カメラ]**
- ・設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ ESSID:ESSIDを入力します。
    - ・半角英数字を32文字まで入力できます。
  - ■ ステルス機能:無線接続時の信号にESSIDを表示するかどうかを設定します。
  - ■ セキュリティ[接続台数制限]:認証方式を設定します。[ ]の中の数字は接続可能なWi-Fi対応機器の台数です。
  - ■ SharedKey:認証方式がWEPの場合にWEPキーを用いた認証をするかどうかを設定します。
  - ■ WEPキーID:認証方式がWEPの場合にWEPキーIDを選択します。
  - ■ WEPキー:認証方式がWEPの場合にWEPキーを入力します。
    - ・半角英数字を26文字まで入力できます。
  - ■ PSKキー:認証方式がWPAの場合にPSKキーを入力します。
    - ・半角英数字を64文字まで入力できます。
  - ■ 無線チャネル:使用する無線チャネルを設定します。
  - ■ 接続待ち時間:接続待ち時間を設定します。
  - ■ MACアドレス制限:MACアドレス制限時の接続を[許可]に設定しているWi-Fi対応機器のみ接続するかどうかを設定します。
  - ■ VPNパススルー:VPNパススルーについて設定します。

◆ **[接続先(APN)一覧]**
- ・接続先の登録:接続先を選ぶ▶[カメラ]
  - ・☑は選択、□は解除の状態です。
- ・接続先の編集:接続先にカーソルを合わせる▶[MENU]▶端末暗証番号を入力▶各項目を設定▶[カメラ]
- ・接続先の削除:接続先にカーソルを合わせる▶[メール]▶[はい]

◆ **[子機登録一覧]**
- ・Wi-Fi対応機器は10台まで登録できます。
- ・Wi-Fi対応機器の追加、編集、削除の操作については☞P.486

◆ **[設定リセット]▶端末暗証番号を入力▶[はい]**
- ・無線設定(ESSID、セキュリティ)、子機登録、接続先(APN)をお買い上げ時の状態に戻します。

クライアントモードを利用する

ご家庭のアクセスポイントや公衆無線LANサービスなどに接続して、Wi-Fi経由でインターネットを利用することができます。

- Wi-Fi経由でｉモードの利用はできません。
- Wi-FiからFOMAのネットワークに切り替えるとパケット通信料が発生し、通信料が高額になりますのでご注意ください。また、FOMAのネットワークに切り替えた場合、自動的にWi-Fiには戻りませんのでご注意ください。

クライアントモードの利用について設定する

<クライアントモード(子機)>

1 ノーマルメニューで[便利ツール]▶[Wi-Fi]▶[クライアントモード(子機)]

- クライアントモード画面が表示されます。

2 項目を選ぶ

◆ **[接続(自動選択)]**
- 登録している優先度の高いアクセスポイントに自動的に接続します。

◆ **[新規接続先登録]▶P.487**

◆ **[接続先一覧]▶P.487**

◆ **[切断／停止]**
- アクセスポイントとの接続を切断し、Wi-Fiの電源を切ります。

- クライアントモードの情報表示：📷
  - 情報の更新：📷
- 設定リセット：ｉ▶端末暗証番号を入力▶[はい]
  - 登録したアクセスポイントをすべて削除します。

アクセスポイントを登録する

- アクセスポイントは20件まで登録できます。
- 登録方法や設定内容については、登録するアクセスポイントの取扱説明書などをあらかじめご確認ください。
- AOSS／WPS プッシュボタン方式で登録する場合は、アクセスポイントのAOSS専用ボタン／プッシュボタンを押してください。
- 一部のアクセスポイントによっては、アクセスポイントと接続したあとに通信ができない場合があります。その場合は、次の操作を行うと改善されることがあります。
  - ■ アクセスポイントのファームウェアやソフトウェアを最新にする
  - ■ アクセスポイントの詳細設定（☞P.487）でPowerSave設定を［OFF］に設定したあと再接続する

1 クライアントモード画面で[新規接続先登録]

2 登録方法を選ぶ

◆ **[AOSS]▶[OK]▶接続先名を入力▶📷▶[はい]**
- AOSS対応のアクセスポイントを登録できます。

◆ **[WPS PINコード入力方式]▶アクセスポイントを選ぶ▶表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力▶[はい]**
- WPS対応のアクセスポイントをPINコード入力方式で登録できます。
- 再検索：MENU
- 詳細情報の表示：アクセスポイントにカーソルを合わせる▶📷
  - 一覧に戻る：📷
  - 前／次のアクセスポイントを表示：✉／ｉ

◆ **[WPS プッシュボタン方式]▶[OK]▶接続先名を入力▶📷▶[はい]**
- WPS対応のアクセスポイントをプッシュボタン方式で登録できます。

◆ **[検索登録]▶アクセスポイントを選ぶ▶各項目を設定▶📷**
- 利用可能なアクセスポイントを検索して登録できます。
- 詳細な設定をするときはMENUを押してください。
  - 簡易設定に戻る：✉▶［はい］
- 検索されたアクセスポイントがWPS対応のアクセスポイントの場合は、接続方式を選択してください。

◆ **[手動登録]▶各項目を設定▶📷**
- 詳細な設定をするときはMENUを押してください。
  - 簡易設定に戻る：✉▶［はい］

◆ **[Mzone登録]▶各項目を設定▶📷**
- 詳細な設定をするときはMENUを押してください。
  - 簡易設定に戻る：✉▶［はい］

アクセスポイントを編集する

1 クライアントモード画面で[接続先一覧]

2 アクセスポイントにカーソルを合わせる▶[カメラ]▶各項目を設定▶[カメラ]

- 詳細な設定をするときは[MENU]を押してください。
  - 簡易設定に戻る:[メール]▶[はい]
- アクセスポイントとの接続/切断:アクセスポイントを選ぶ

■ 接続先一覧画面のサブメニュー操作

[接続先新規作成]▶登録方法を選ぶ
- 登録方法の詳細については☞P.487

[設定情報表示]

[設定情報編集]▶各項目を設定▶[カメラ]

[削除]▶[はい]

[優先順位変更]▶移動先にカーソルを合わせる▶[カメラ]
- 1つ上/下へ移動:[メール]/[i]

プリンタ送信

プリンタに画像を送信する

Wi-Fiを利用してセイコーエプソン製無線LAN対応プリンターにJPEG画像/GIF画像をワイヤレスで送信し、印刷することができます。

- あらかじめ、FOMA端末とプリンタを同じアクセスポイントに接続してください。

1 ノーマルメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画にカーソルを合わせる▶[MENU]▶[データ送信]▶[プリンタ送信]

- プリンタを検索し、最大5件まで表示します。

3 プリンタを選ぶ▶[i]

- 選択したプリンタから印刷されます。
- 印刷設定:[MENU]▶各項目を設定▶[カメラ]
- プリンタを再検索:[カメラ]

DLNA対応機器を利用する

パソコンやテレビなどのDLNA対応機器とFOMA端末を家庭内でWi-Fi接続して、保存されている画像や動画、音楽データを共有できる機能です。

- 共有できるファイルの種類と保存先は次のとおりです。

ファイルの種類	形　式	保存先(本体)	保存先(microSD)
静止画	JPEG	マイピクチャのカメラ、iモード、外部取得データ、自動お預かり、ユーザフォルダ	インポートフォルダ、マイピクチャのカメラフォルダxxx、その他静止画、ユーザフォルダ
動画	WMV、MP4、3GP	iモーション・ムービーのカメラ、iモード、外部取得データ、ユーザフォルダ	インポートフォルダ、iモーション・ムービーの動画(QVGA以下)、動画(その他)
音楽データ	WMA、MP3、MP4、3GP	－	インポートフォルダ

- 最大1000件まで共有できます。
- あらかじめ、サーバ設定(☞P.490)の接続アクセスポイント設定と共有フォルダ設定を設定しておいてください。
- DLNA対応機器の操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご確認ください。
- シャープ製の液晶テレビ「AQUOS」と接続した場合、SH-01Cで撮影した動画を再生できます。画像サイズが「フルHD:1920×1080」(画質選択を[ファイン]に設定して撮影した場合)、「HD:1280×720」、「FWVGA:864×480」、「VGA:640×480」の動画を再生できます。
  対応機器などの詳細については「ケータイdaSH」をご覧ください。
  http://www.sharp.co.jp/k-tai/

- 正常に接続できない場合は、次のことを確認してください。
  - ■ アクセスポイントの設定
  - ■ Wi-Fi接続の状態
  - ■ 接続するDLNA対応機器のネットワークの設定
  - ■ DLNA対応機器のセキュリティソフト／ファイアウォールの設定
  - ■ FOMA端末のホームネットワーク設定
- アクセスポイントやご使用の環境により、正常に接続できなかったり、使用中に接続が切断される場合があります。その場合は、一度終了し、再度接続してください。

FOMA端末内のファイルをDLNA対応機器で再生する<ホームネットワーク送信>

例：ｉモーションを再生するとき

1 **ノーマルメニューで[データBOX]▶[ｉモーション・ムービー]**

2 **ｉモーションにカーソルを合わせる▶MENU▶[データ送信]▶[ホームネットワーク送信]**

3 **DLNA対応機器を選ぶ**

- 一時停止：◉
- 停止：[i]

- 再配布不可のデータ、およびWMDRMにより保護されたデータは共有できません。

FOMA端末からDLNA対応機器内のファイルを再生する<ホームネットワーク>

1 **ノーマルメニューで[データBOX]▶[ホームネットワーク]**

2 **DLNA対応機器を選ぶ**

3 **ファイルを選ぶ**

■ ファイル一覧画面のサブメニュー操作

[表示切替]	☞P.343
[情報表示]	
[ダウンロード]	
▶[1件ダウンロード]▶[はい]	
▶[選択ダウンロード]▶ファイルを選ぶ▶[📷]▶保存先を選ぶ▶[はい]	
[ストリーミング再生]	
[ソート]▶ソート方法を選ぶ	
[参照先切替]	
▶[本体]	
▶[microSD]	
▶[ホームネットワーク]	
[タイトル検索]▶[検索語：＜未設定＞]▶検索文字列を入力▶[📷] ● 履歴を利用するときは履歴の番号を選択します。	

[ダウンロード]について

- ダウンロードしたデータはmicroSDカードのインポートフォルダに保存されます。

[タイトル検索]について

- 全角25文字（半角50文字）まで入力できます。
- 検索履歴が最新のものから５件まで記憶されます。

DLNA対応機器の利用について設定する
<ホームネットワーク設定>

1 **ノーマルメニューで[便利ツール]▶[Wi-Fi]▶[ホームネットワーク設定]**

2 **項目を選ぶ**

◆ **[サーバ設定]▶項目を選ぶ**
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 共有開始:DLNA対応機器からFOMA端末にアクセスできる状態にします。
  - ■ 機器名称設定:機器名称を確認できます。
    - 編集する場合は全角20文字(半角40文字)まで入力できます。
  - ■ 接続アクセスポイント設定:接続するアクセスポイントの設定や変更ができます。
  - ■ 共有フォルダ設定:DLNA対応機器と共有するフォルダを設定できます。

◆ **[接続機器設定]▶項目を選ぶ**
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ サーバ機器設定:DLNA対応パソコンなどからファイルを受信する場合などに、DLNA対応パソコンをサーバ機器として設定します。
  - ■ レンダラー機器設定:DLNA対応テレビなどでファイルを再生する場合などに、DLNA対応テレビをレンダラー機器として設定します。

付録／困ったときには

困ったときには

メニュー一覧

- [☆]が付いているものは、各種設定リセット（☞P.135）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

ノーマルメニュー／ベーシックメニュー一覧

- メニューに項目番号が表示されている場合、同じ番号のダイヤルボタンを押すと、メニューを選択することができます。ノーマルメニューによっては、項目番号が表示されていてもダイヤルボタンに対応していない場合があります。
- ノーマルメニューに設定されているきせかえツールによっては、機能名の表記が異なる場合があります。
- FOMA端末の本体色によって、お買い上げ時に設定されているきせかえツールが異なります。

■ メールメニュー

<table>
<tr><th colspan="4">メール</th></tr>
<tr><th colspan="2">機能メニュー</th><th>お買い上げ時</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td colspan="2">受信BOX</td><td>「Welcome E★エブリスタ」、
「SH-01Cデビュー!!」
メール一覧画面
表示設定（プレビュー表示☆：ON、一覧表示：2行表示、ソート：日付順（新→旧））
メール詳細画面
表示設定☆（文字サイズ設定：中（標準））</td><td>P.156</td></tr>
<tr><td colspan="2">送信BOX</td><td>メール一覧画面
表示設定（プレビュー表示☆：ON、一覧表示：2行表示、ソート：日付順（新→旧））
メール詳細画面
表示設定☆（文字サイズ設定：中（標準））</td><td>P.156</td></tr>
<tr><td colspan="2">未送信BOX</td><td>メール一覧画面
表示設定（プレビュー表示☆：ON、一覧表示：2行表示、ソート：日付順（新→旧））</td><td>P.156</td></tr>
<tr><td colspan="2">新規メール作成</td><td>本文入力画面
入力設定（かな入力☆、日・英語入力予測ON☆、自動カーソル☆：普通、辞書連携優先辞書☆：和英辞書、語調選択☆：標準、2タッチガイドOFF☆、パレット設定ON、メール起動時表示☆：クイック定型文、メール文章履歴ON（学習／表示設定）☆）</td><td>P.140</td></tr>
<tr><td colspan="2">新規デコメアニメ作成</td><td>－</td><td>P.145</td></tr>
<tr><td rowspan="2">デコメテンプレート</td><td>デコメール</td><td>－</td><td>P.146</td></tr>
<tr><td>デコメアニメ</td><td>－</td><td>P.146</td></tr>
</table>

メール			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
新規SMS作成		−	P.174
メール／メッセージ問合せ		−	P.153
SMS問合せ		−	P.175
メール選択受信		−	P.153
デコメアイテム	変換パターン	−	P.148
	フォント	−	P.148
メール設定	受信設定☆	メール選択受信設定:OFF メール受信添付ファイル設定:すべて受信する 添付ファイル自動再生設定:自動再生する メール着信音 　メール着信音(メール:メロディ／着信音２※、鳴動時間(秒):３秒) 　メッセージR着信音(メッセージR:メロディ／着信音２、鳴動時間(秒):３秒) 　メッセージF着信音(メッセージF:メロディ／着信音２、鳴動時間(秒):３秒) 　SMS着信音(SMS:メロディ／着信音２※、鳴動時間(秒):３秒)	P.169
	表示設定☆	受信・自動送信表示:通知優先 送信中画面表示設定:表示する メッセージ自動表示設定:メッセージR優先 詳細直接表示設定:OFF プレビュー後既読設定:ON メモ検索リンク表示設定:ON	P.166

メール			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
メール設定	署名編集設定☆	ON	P.168
	定型文／単語登録	−	P.169
	メール／メッセージ問合せ設定☆	メール:ON メッセージR:ON メッセージF:ON	P.169
	返信設定☆	返信ガイド設定:参照返信 メール返信引用設定 　引用:OFF、引用文字:> クイック返信設定:OFF デコメ絵文字自動学習:OFF メール返信時自動学習:ON 返信時アドレス登録設定:ON	P.170
	ブログ／SNS投稿先設定	−	P.170
	メールグループ	グループ１～グループ10	P.169
	アドレス・迷惑メール設定	−	P.171
	編集時自動保存設定☆	ON	P.171
	SMS設定☆	送達通知設定:要求しない 有効期限設定:３日 本文入力設定:日本語(70文字) SMSセンター設定:ドコモ	P.176
	緊急速報「エリアメール」設定☆	受信設定:利用する ブザー鳴動時間:10秒 マナー／公共モード時設定:マナー／公共モード時も鳴動	P.174
メール送受信履歴	メール送信履歴	−	P.165
	メール受信履歴	−	P.165

※ 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときは、[メールが届きました]になります。

■ ｉモード／webメニュー

ｉモード／web			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
ｉMenu🔍検索		－	P.178
Bookmark		[Bookmark]フォルダ フォルダ一覧画面 フォルダ管理（フォルダセキュリティ：OFF）	P.189
画面メモ		－	P.191
サイト閲覧履歴		－	P.189
URL入力	URL入力	http://	P.188
	URL入力履歴	－	P.188
ｉチャネル	ｉチャネル一覧☆	サウンド設定：Level 5 ポインタ表示設定：表示しない	P.210
	テロップ表示設定☆	メイン画面 テロップ表示設定：表示する、テロップ速度：標準、テロップ文字サイズ：大（標準）、テロップ色：きせかえに従う サブ画面 テロップ表示設定：表示しない	P.211
	ｉチャネル初期化	－	P.211
RSSリーダー		－	P.194
ツータッチサイト		－	P.190
ｉモード／web設定	ｉモードブラウザ設定☆	画像表示設定：表示する サウンド設定：Level 5 動画自動再生設定：自動再生する ページ内データ取得設定：毎回確認 Script動作設定：有効 端末情報利用設定：利用する 文字サイズ設定：中（標準）	P.198

ｉモード／web			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
ｉモード／web設定	ｉモードブラウザ設定☆	Cookie／Referer Cookie設定：有効 Referer設定：有効 タブ自動起動設定：自動起動する ポインタ表示設定：表示しない	P.198
	フルブラウザ設定☆	画像表示設定：表示する サウンド設定：Level 5 ページ内データ取得設定：毎回確認 Script動作設定：有効 端末情報利用設定：利用する 文字サイズ設定：中（標準） ズーム：100% Cookie／Referer Cookie設定：有効 Referer設定：有効 タブ自動起動設定：自動起動する ポインタ表示設定：表示する フルブラウザホーム設定：http://www.google.co.jp 表示モード設定：PCレイアウトモード フルブラウザ確認表示：毎回表示 フルブラウザ利用設定：利用しない 自動通信サイズ設定：毎回確認 接続切替画面設定：表示する	P.198

ｉモード／web			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
ｉモード／web設定	共通設定☆	証明書設定：すべて有効※ セキュア通信サービス設定 センター接続先設定：ドコモ 暗証番号入力省略設定：ON 接続先設定：ｉモード ｉモードボタン設定：ｉMenu検索接続 自動レイアウト表示設定：ON ポインタ移動距離設定：普通 ポインタ加速度設定：普通 Bookmark表示設定：サムネイル表示 スクロール設定：１行 新規タブ開き方設定：表で開く	P.199
	ｉモード設定確認	－	P.201
	ｉモード設定リセット	－	P.201
フルブラウザホーム		－	P.182

■ ｉアプリメニュー

ｉアプリ			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
ソフト一覧		ソート☆：使用日時順	P.285
ｉアプリコール履歴		－	P.303
ｉアプリ実行情報	自動起動失敗履歴	－	P.306
	異常終了履歴	－	P.306
	セキュリティエラー履歴	－	P.306
	トレース情報	－	P.306

ｉアプリ			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
ｉアプリ設定	ｉアプリ音量☆	Level 5	P.288
	ソフト情報表示設定☆	表示しない	P.285
	自動起動設定☆	自動起動する	P.302
	ｉウィジェット設定☆	ｉウィジェット効果音設定：ON ｉウィジェット海外利用設定：いいえ	P.309
	オートGPS優先設定☆	OFF	P.288
	ソフトの並べ替え☆	使用日時順	P.288
	照明点灯時間設定☆	ソフトに従う	P.288
	バイブレータ設定☆	使用する	P.288
	ワンタッチｉアプリ表示	ネット辞典、塊魂モバイル体験版、リッジレーサーズモバイル体験版、二ノ国ホットロイトストーリーズ 第１章「オリバーとマーク」、Shot Navi Advance Lite for SH、Myきせかえクリエイター for SH、ファミスタワイヤレス FM版、対戦パックマン体験版、地図アプリ、モバイルGoogleマップ	P.302
	ｉアプリ省電力設定	OFF	P.288
	ｉアプリコールダウンロード設定☆	拒否しない	P.304
	ｉアプリについて	－	P.289

※ データ一括削除または各種設定リセットを行った場合は、ドコモUIMカードに保存されている証明書もすべて有効になります。

付録／困ったときには

■ カメラ／TV／MUSICメニュー

カメラ／TV／MUSIC			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
カメラ	静止画撮影	撮影メニュー 画質選択：ハイクオリティ、連続撮影：OFF、セルフタイマー：OFF、長時間露光：OFF、ISO感度：オート（～800）、ホワイトバランス：オート、明るさ調整：明るさ０、フレーム撮影：OFF、エフェクト撮影：OFF、シーン別撮影：自動認識 手ぶれ補正：OFF 笑顔／振り向きシャッター：OFF 顔登録 顔登録情報表示：ON その他設定 自動切替モード：ON、自動保存モード：OFF、バックライト点灯時間：端末設定に従う、カメラ設定保持：ON、保存先選択：本体、シャッター音：標準音 カメラボタン設定：静止画 全画面表示切替：OFF サイズ選択 メインカメラ：「14M：3240×4320」、サブカメラ：「待受：480×854」 フォーカス設定：オートフォーカス ピクチャーライト：オート	P.224
	動画撮影	撮影メニュー 画質選択：ファイン、セルフタイマー：OFF、ホワイトバランス：オート、明るさ調整：明るさ０、エフェクト撮影：OFF、シーン別撮影：自動認識	P.225

カメラ／TV／MUSIC			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
カメラ	動画撮影	手ぶれ補正：OFF 映像・音声切替：映像＋音声 ファイルサイズ制限：制限なし その他設定 ノイズキャンセラ：OFF、バックライト点灯時間：常にON、カメラ設定保持：ON、保存先選択：本体、共通再生モード：OFF、イン／アウトマイク切替：アウトマイク、減光（ND）フィルタ設定：オート カメラボタン設定：静止画 サイズ選択 メインカメラ：「フルHD：1920×1080」、サブカメラ：「QCIF：176×144」 フォーカス設定：オートフォーカス ピクチャーライト：OFF	P.225
	アレンジカメラ	エフェクトカメラ 静止画撮影参照（自動切替モード、サイズ選択を除く） その他設定（自動切替モード：OFF）、サイズ選択：「３M：1536×2048」 プリティアレンジカメラ 静止画撮影参照（サイズ選択を除く） サイズ選択：「待受：480×854」	P.236 P.237

カメラ／TV／MUSIC			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
カメラ	連写カメラ	通常（ON） 静止画撮影参照（連続撮影、シーン別撮影、自動切替モードを除く） 撮影メニュー（連続撮影：ON、シーン別撮影：標準）、その他設定（自動切替モード：OFF） オススメフォト 静止画撮影参照（連続撮影、シーン別撮影、自動切替モードを除く） 撮影メニュー（連続撮影：オススメフォト、シーン別撮影：標準）、その他設定（自動切替モード：OFF） ブラケット 静止画撮影参照（連続撮影、シーン別撮影、自動切替モードを除く） 撮影メニュー（連続撮影：ブラケット、シーン別撮影：標準）、その他設定（自動切替モード：OFF） ベストセレクトフォト 静止画撮影参照（連続撮影、シーン別撮影、自動切替モード、サイズ選択を除く） 撮影メニュー（連続撮影：ベストセレクトフォト、シーン別撮影：標準）、その他設定（自動切替モード：OFF）、サイズ選択：「待受：480×854」	P.238

カメラ／TV／MUSIC			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
カメラ	連写カメラ	ストロボフォト 静止画撮影参照（連続撮影、シーン別撮影、自動切替モード、サイズ選択を除く） 撮影メニュー（連続撮影：ストロボフォト、シーン別撮影：標準）、その他設定（自動切替モード：OFF）、サイズ選択：「待受：480×854」 マニュアル 静止画撮影参照（連続撮影、シーン別撮影、自動切替モード、サイズ選択を除く） 撮影メニュー（連続撮影：マニュアル、シーン別撮影：標準）、その他設定（自動切替モード：OFF）、サイズ選択：「フルHD：1080×1920」	P.238

次ページへ続く

カメラ/TV/MUSIC			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
カメラ	読取りカメラ	ショットメモ 撮影メニュー(明るさ調整:明るさ0)、その他設定(自動切替モード:OFF)、サイズ選択:「3M:1536×2048」 ラクラク瞬漢/瞬英ルーペ AFモード:接写、明るさ調整:明るさ0 バーコードリーダー AFモード:接写、明るさ調整:明るさ0 名刺リーダー AFモード:接写、明るさ調整:明るさ0 情報リーダー AFモード:接写、明るさ調整:明るさ0 コラムリーダー AFモード:接写、明るさ調整:明るさ0	P.240 P.241 P.242 P.243 P.244
	メイクデコカメラ	ショットデコ サイズ変更:ピクチャ大(240×92)、静止画・アニメモード切替:静止画 モーションデコ サイズ変更:ピクチャ大(240×180)	P.244 P.245

カメラ/TV/MUSIC			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
カメラ	ゴルフスイングビデオカメラ	動画撮影参照(サイズ選択、フォーカス設定を除く) サイズ選択:「FWVGA:864×480」 フォーカス設定:コンティニュアスフォーカス	P.246
	ハンドミラー	静止画撮影参照(全画面表示切替、サイズ選択を除く) 全画面表示切替:ON、サイズ選択:「待受:480×854」	P.246
	静止画アルバム	データBOXのマイピクチャ参照	P.343
	動画再生	データBOXのｉモーション・ムービー参照	P.351
ワンセグ	ワンセグ視聴	チャンネル設定☆ オートエリア切替:ON 録画の開始と設定☆ 録画設定:ワンセグのユーザ設定参照 データ放送☆ 表示・効果設定:ワンセグのユーザ設定参照 動作設定 画質設定・画面設定・音声設定・クローズ動作設定:ワンセグのユーザ設定参照、Dolby Mobile設定☆:ジャンル連動、ワンセグecoモード☆:OFF Bluetooth出力☆ 起動時自動出力設定:OFF	P.252
	番組表	Gガイド番組表リモコン	P.257
	録画した番組	–	P.359

カメラ／TV／MUSIC			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
ワンセグ	予約／予約リスト	予約／予約リスト画面 ソート：開始日時昇順、設定（表示・動作設定（表示形式：カレンダー、過去データ自動削除：削除しない）、カレンダーモード設定（週の先頭：日曜日、スクロール動作：1ヶ月毎））	P.258
	録画予約履歴	－	P.261
	テレビリンク	－	P.262
	チャンネルリスト	－	P.250
	ユーザ設定☆	画質設定 鮮やか画質モード設定：ジャンル連動、なめらか表示（横）：ON、明るさセンサー：ON、明るさ：明るさ3 画面設定 字幕表示：通話中・マナー時表示、字幕位置（横全画面）：下、字幕言語切替：第一言語、アイコン常時表示：ON、テロップ表示（メール受信時：表示しない、インフォメーション受信時：表示しない）、エフェクト設定：フリップオーバー 音声設定 音声切替：第一音声、主・副音声切替：主音声	P.263

カメラ／TV／MUSIC			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
ワンセグ	ユーザ設定☆	データ放送設定 表示・効果設定（画像表示設定：表示する、効果音設定：ON） ワンセグからトルカ取得：ON クローズ動作設定：継続 再生設定 オートスキップ：ON、スキップ通知：通知する 録画設定 録画先：自動（microSD優先）、録画終了時間：指定なし	P.263
ミュージックプレーヤー		データBOXのミュージック参照	P.276
Music&Videoチャネル		Music&VideoチャネルプレーヤーについてはデータBOXのMusic&Videoチャネル参照	P.266

■ データBOXメニュー

データBOX		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
マイピクチャ	フォルダ一覧画面 フォルダ管理（フォルダセキュリティ：OFF）、静止画設定☆（表示切替：ビジュアルメニュー、バックライト点灯時間：照明設定に従う、音量設定：Level 5、スライドショー設定：Setting 1）	P.343

データBOX		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
マイピクチャ	画像一覧画面 編集・情報表示(ファイル制限:なし)、静止画設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:日付順(新→旧)、バックライト点灯時間:照明設定に従う、音量設定:Level 5、スライドショー設定:Setting 1) ＜イメージビューア(Flash画像以外)＞ 編集・情報表示(ファイル制限:なし)、静止画設定(エフェクト設定☆:ページ、バックライト点灯時間☆:照明設定に従う、音量設定☆:Level 5、自動回転設定:ON) ＜イメージビューア(Flash画像のみ)＞ 静止画設定☆(エフェクト設定:ページ、バックライト点灯時間:照明設定に従う)	P.343
ミュージック	＜ミュージックプレーヤー＞ 再生設定☆(再生モード設定:通常再生、マナー再生設定:OFF)、Dolby Mobile 設定☆:OFF(長時間再生)、Bluetooth出力☆(起動時自動接続設定:OFF)	P.276
Music&Videoチャネル	フォルダ一覧画面 フォルダセキュリティ:OFF 番組一覧画面 表示切替:サムネイル(大)、ソート☆:日付順(新→旧)	P.271

データBOX		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
Music&Videoチャネル	＜Music&Videoチャネルプレーヤー(音声番組)＞ Dolby Mobile 設定☆:Virtual5.1ch(イヤホン)、Bluetooth出力☆(起動時自動接続設定:OFF)、再生設定☆(リピート:OFF、マナー再生設定:OFF) ＜Music&Videoチャネルプレーヤー(動画番組)＞ Dolby Mobile 設定☆:Virtual5.1ch(イヤホン)、Bluetooth出力☆(起動時自動接続設定:OFF)、再生設定☆(リピート:OFF、マナー再生設定:OFF、バックライト点灯時間:照明設定に従う)	P.271
i モーション・ムービー	フォルダ一覧画面 フォルダ管理(フォルダセキュリティ:OFF)、連続再生☆(リピート再生設定:しない、ダイジェスト再生設定:しない)、i モーション・ムービー設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、バックライト点灯時間:照明設定に従う) 映像一覧画面 編集・情報表示(ファイル制限:なし)、連続再生☆(リピート再生設定:しない、ダイジェスト再生設定:しない)、i モーション・ムービー設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:日付順(新→旧)、バックライト点灯時間:照明設定に従う、レジューム再生設定:ON)	P.351

データBOX		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
ｉモーション・ムービー	＜ｉモーションプレーヤー＞ Dolby Mobile設定☆：Virtual5.1ch（イヤホン）、Bluetooth出力☆（起動時自動接続設定：OFF）、ｉモーション・ムービー設定（エフェクト設定：ストーム、表示サイズ切替☆：拡大、バックライト点灯時間☆：照明設定に従う、レジューム再生設定☆：ON、送り速度指定☆：標準、コマ送り幅指定☆：大まか（高速）、起動時画面モード設定☆：通常再生）	P.351
メロディ	フォルダ一覧画面 フォルダ管理（フォルダセキュリティ：OFF）、メロディ設定☆（表示切替：ビジュアルメニュー、音量設定：Level 5） メロディ一覧画面 メロディ設定（表示切替☆：ビジュアルメニュー、開始位置選択：フルコーラス再生、ソート☆：日付順（新→旧）、音量設定☆：Level 5） ＜メロディプレーヤー＞ メロディ設定☆（イコライザ設定：ノーマル、ステレオ効果設定（イヤホン）：ステレオ／3DサウンドON）	P.364
マイドキュメント	フォルダ一覧画面 フォルダ管理（フォルダセキュリティ：OFF）、表示切替☆：ビジュアルメニュー	P.389

データBOX		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
マイドキュメント	マイドキュメント一覧画面 マイドキュメント設定☆（表示切替：ビジュアルメニュー、ソート：日付順（新→旧）） 内容表示画面 表示（ページレイアウト：単一ページ、表示モード：全体表示） 画面設定☆（スクロールバー：ON、倍率・ページ番号：ON、ガイド表示：ON）	P.389
きせかえツール	フォルダ一覧画面 フォルダ管理（フォルダセキュリティ：OFF）、表示切替☆：ビジュアルメニュー きせかえツール一覧画面 きせかえツール設定☆（表示切替：ビジュアルメニュー、ソート：日付順（新→旧）） きせかえツール内データ一覧画面 音量設定☆：Level 5、待受ｉモーション設定☆：拡大	P.114
マチキャラ	フォルダ一覧画面 フォルダ管理（フォルダセキュリティ：OFF）、表示切替☆：ビジュアルメニュー マチキャラ一覧画面 マチキャラ設定☆：ON（ひつじのしつじくん）※、マチキャラ表示設定☆（表示切替：ビジュアルメニュー、ソート：日付順（新→旧））	P.363

※ マチキャラの［ひつじのしつじくん］を削除したあとで、各種設定リセット（☞P.135）を行った場合は［OFF］に設定されます。

データBOX		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
キャラ電	フォルダ一覧画面 フォルダ管理(フォルダセキュリティ:OFF)、キャラ電表示設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、バックライト点灯時間:照明設定に従う) キャラ電一覧画面 キャラ電表示設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:日付順(新→旧)、バックライト点灯時間:照明設定に従う) <キャラ電プレーヤー> バックライト点灯時間☆:照明設定に従う	P.361
ワンセグ	フォルダ一覧画面 フォルダセキュリティ:OFF、表示切替☆:ビジュアルメニュー ビデオ一覧画面 ワンセグデータ設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:放送日時順(新→旧)) <ビデオプレーヤー> データ放送 表示・効果設定☆:ワンセグのユーザ設定参照 動作設定 画質設定・画面設定・音声設定・再生設定・クローズ動作設定:ワンセグのユーザ設定参照、Dolby Mobile設定☆:ジャンル連動 Bluetooth出力☆ 起動時自動出力設定:OFF	P.359
その他	フォルダ一覧画面 フォルダ管理(フォルダセキュリティ:OFF)、表示切替☆:ビジュアルメニュー ファイル一覧画面 その他表示設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:日付順(新→旧)) 内容表示画面 表示設定☆(ステータスバー設定:表示する、スクロールバー設定:表示する、マップ設定:表示する、スクロール設定:4方向、バックライト点灯時間:照明設定に従う)	P.392
データ検索	検索設定画面 フォルダセキュリティ表示:OFF、表示切替☆:ビジュアルメニュー 検索結果画面 検索表示設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:日付順(新→旧))	P.380
アルバム	−	P.381
ホームネットワーク	表示切替☆:ビジュアルメニュー、ソート☆:日付順(新→旧)	P.489

■ 便利ツールメニュー

便利ツール		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
バーコードリーダー	AFモード:接写	P.241
電卓	−	P.426
アラーム	−	P.412

便利ツール			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
赤外線／ｉＣ通信	赤外線受信	－	P.385
	赤外線全件送信	－	P.385
	ｉＣ全件送信	－	P.387
	データ送受信設定☆	通信終了音：OFF 自動認証：なし 電話帳の画像送信：あり	P.388
スケジュール		設定／確認 シール設定（シール表示設定：ON）、休日／祝日設定（曜日休日設定：土曜日と日曜日）、スケジュール表示設定（スケジュールタイプ：ノーマル、カレンダーモード（週の先頭：日曜日））、アラーム初期値設定（通常登録時：アラームなし、クイック登録時：アラームなし）、基本表示設定：月	P.414
メモ		－	P.427
お知らせタイマー☆		３分	P.412
ボイスレコーダー		セルフタイマー：OFF	P.388
HDMI接続	HDMI接続開始	－	P.398
	出力解像度設定☆	自動	P.399
	映像鮮鋭化設定☆	ON	P.400
	ガイド自動表示設定☆	OFF	P.400
	AQUOSファミリンク設定☆	シーン別制御：ON ノイズリダクション：弱 リモコン文字入力：ON 充電中常時待受：OFF 着信お知らせ：ON	P.400

便利ツール			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
Bluetooth	接続待機	－	P.436
	Bluetooth受信	－	P.439
	Bluetooth全件送信	－	P.439
	機器リスト・接続・切断	－	P.435
	新規機器登録	－	P.435
	Bluetooth電源オン／Bluetooth電源オフ	－	P.436
	送信予約データ削除	－	P.439
	Bluetooth設定☆	サーチ時間：５秒 ミュージック自動起動設定：ON セキュリティ設定 セキュリティ：無し 着信音送出設定：送る 全件転送パスワード設定：パスワード無し	P.440
クイックランチャ	機能検索	－	P.422
	電話帳検索	－	P.100
Wi-Fi	クライアントモード（子機）	－	P.487
	アクセスポイントモード（親機）	－	P.486
	ホームネットワーク設定	－	P.490
ウェルネス	歩数確認	－	P.404
	プロフィール登録☆	身長（cm）：160 歩幅（cm）：59 体重（kg）：50	P.402

便利ツール			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
ウェルネス	設定☆	歩数計設定:OFF	P.402
	ワークアウト	ー	P.403
	ヘルプ	ー	P.404
方位計		ー	P.429
手書き		ー	P.405
プレゼンアシスト		ー	P.409
マンガ･ブックリーダー		フォルダー覧画面 フォルダ管理(フォルダセキュリティ:OFF) ファイル一覧画面 表示フォルダ切替:マンガ･ブックリーダー、ソート☆(電子コミックのみ):日付順(新→旧)、バックライト点灯時間☆:照明設定に従う 内容表示画面 表示設定☆(文字サイズ設定:標準、縦横設定:縦書き、ルビ表示:OFF、画像サイズ:2倍表示、行間設定:OFF)、マンガ表示設定☆:コマ/ページ切替、音量設定☆:中、バイブレータ設定☆:ON、バックライト点灯時間☆:照明設定に従う	P.394
ドキュメントビューア		フォルダー覧画面 表示切替☆:ビジュアルメニュー ファイル一覧画面 その他表示設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:日付順(新→旧)) 内容表示画面 表示設定☆(ステータスバー設定:表示する、スクロールバー設定:表示する、マップ設定:表示する、スクロール設定:4方向、バックライト点灯時間:照明設定に従う)	P.392

便利ツール			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
ケータイデータお預かりサービス	データ確認/ダウンロード	ー	P.135
	電話帳等を更新	ー	P.132
	画像を更新	ー	P.134
	設定情報を更新	ー	P.134
	詳細設定/通信履歴☆	電話帳画像送信設定 電話帳内画像送信:なし メモ添付画像送信設定:あり	P.135
microSD	データBOX	ー	P.374
	PIM	ー	P.374
	トルカ	ー	P.374
	iアプリ使用データ	ー	P.306
	現在地通知先	ー	P.374
	デコメアニメテンプレート	ー	P.374
	マンガ･ブックリーダー	ー	P.374
	バックアップ/復元	ー	P.373
	その他	ー	P.374
	個別バックアップ/復元	ー	P.374
	インポート	ー	P.376
使いかたガイド		ー	P.51
クイック検索		内蔵辞書登録☆:明鏡モバイル国語辞典 フルブラウザ検索先変更☆:Google検索	P.422
ダウンロード辞書		ー	P.449
定型文/単語登録	定型文	ー	P.448
	単語登録	ー	P.449

便利ツール			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
ドコモへのお問合せ	ドコモ総合案内・受付	－	P.459
	ドコモ故障問合せ	－	P.459

■ 電話機能メニュー

電話機能			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
電話帳	電話帳検索☆	全件表示(50音)	P.93
	電話帳登録	－	P.90
	UIMカード(FOMAカード)操作	－	P.90
	グループ登録	－	P.92
伝言メモ/音声メモ	伝言メモ一覧	－	P.84
	音声メモ一覧	－	P.84
	音声メモ録音	－	P.425
	伝言メモ設定☆	OFF 応答時間の変更:13秒 伝言メモガイダンスの設定 　伝言メモ応答ガイダンス:内蔵音	P.83
発着信履歴	着信履歴	－	P.69
	リダイヤル	－	P.69
発着信・通話設定	迷惑電話ストップ	－	P.458
	番号通知お願いサービス	－	P.458
	発信者番号通知	－	P.62
	通話中の着信動作☆	通話中の着信動作選択:通常着信	P.460

電話機能			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
発着信・通話設定	発信詳細設定☆	サブアドレス設定:ON プレフィックス設定 　プレフィックス1:009130010	P.75
	着信詳細設定☆	エニーキーアンサー設定:ON オート着信設定 　自動着信機能:オート着信なし 呼出動作開始時間設定 　着信呼出動作:OFF マルチアクセス中表示:設定なし	P.79
	通話中詳細設定☆	通話品質アラーム音:アラームOFF 再接続アラーム音:アラームOFF ノイズキャンセラ設定:トリプルくっきりトーク 通話中クローズ設定:切断 保留音設定 　応答保留ガイダンス設定(保留音:内蔵音) 　通話保留音:保留音1 受話音量:Level 5	P.76
	イヤホン機能設定☆	イヤホン切替設定:イヤホン+スピーカー イヤホンスイッチ発信設定 　イヤホンスイッチ発信設定:OFF	P.430
	着信拒否設定☆	非通知設定:設定解除 公衆電話:設定解除 通知不可能:設定解除	P.132
	着信通知	－	P.455

次ページへ続く

電話機能			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
発着信・通話設定	電話発着信設定☆	電話発信設定 イメージ表示:きせかえツールに従う 電話着信設定 着信音:メロディ／着信音1※1、イメージ表示:きせかえツールに従う、バイブレータ:OFF 発着信番号表示設定 識別表示:OFF	P.80
	メモリ着信拒否／許可☆	メモリ別着信拒否／許可:拒否設定 メモリ登録外着信拒否:OFF	P.131
テレビ電話設定	テレビ電話発信設定☆	イメージ表示:きせかえツールに従う	P.80
	テレビ電話着信設定☆	着信音:メロディ／8 bit Heroes※2 イメージ表示:きせかえツールに従う バイブレータ:OFF	P.80
	パケット通信中着信設定☆	テレビ電話優先	P.88
	テレビ電話動作設定☆	音声自動再発信:OFF テレビ電話画面設定:両方 子画面設定:自画像 画面サイズ設定:大 受信画質設定:標準 明るさ調整:明るさ1 ハンズフリー設定:ON	P.87
	テレビ電話画像選択☆	代替画像 イメージ表示:標準キャラ電 伝言メモ画像 イメージ表示:標準画像	P.87

電話機能			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
テレビ電話設定	テレビ電話画像選択☆	応答保留画像 イメージ表示:標準画像 通話中保留画像 イメージ表示:標準画像 動画メモ画像 イメージ表示:標準画像	P.87
	テレビ電話切替機能通知	―	P.88
通話時間・料金	通話料金表示	―	P.425
	通話時間表示	―	P.426
	通話料金自動リセット設定	OFF	P.426
	通話料金上限通知☆	OFF	P.426
	上限通知アイコン消去	―	P.426
着もじ	メッセージ作成	―	P.71
	メッセージ表示設定☆	番号通知ありのみ	P.71
2in1	2in1モード切替☆	デュアルモード	P.462
	電話帳2in1設定	―	P.462
	モード別待受画面設定☆	デュアルモード 縦画面設定:待受画面2 横画面設定:横待受画面2 Aモード 縦画面設定・横画面設定:きせかえツールに従う	P.462

※1 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときは、[着信音4]になります。

※2 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときは、[High and Low]になります。

付録／困ったときには

電話機能			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
2in1	モード別待受画面設定☆	Bモード 縦画面設定:待受画面3 横画面設定:横待受画面3	P.462
	番号別発着信設定☆	発着信番号表示設定 Aナンバー(識別表示:OFF)、Bナンバー(識別表示:ON、識別記号:《》) 着信設定 Aナンバー(電話着信音(電話:メロディ/着信音1)、テレビ電話着信音(テレビ電話:メロディ/8 bit Heroes)、メール着信音(メール:メロディ/着信音2、鳴動時間(秒):3秒)、SMS着信音(SMS:メロディ/着信音2、鳴動時間(秒):3秒)) Bナンバー(電話着信音(電話:メロディ/着信音4)、テレビ電話着信音(テレビ電話:メロディ/High and Low)、メール着信音(メール:メロディ/メールが届きました、鳴動時間(秒):3秒)、SMS着信音(SMS:メロディ/メールが届きました、鳴動時間(秒):3秒))	P.463
	2in1機能OFF	−	P.463
	着信回避設定	着信回避設定変更 Aナンバー着信回避・Bナンバー着信回避:変更しない モード切替連動設定☆:停止	P.463
メロディコール		−	P.104

電話機能			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
留守番電話サービス	開始	−	P.454
	呼出時間	−	P.454
	停止	−	P.454
	設定確認	−	P.454
	メッセージ再生	−	P.454
	設定	−	P.454
	メッセージ問合せ	−	P.454
	件数増加鳴動設定☆	ON	P.454
	表示消去	−	P.454
	テレビ電話設定	−	P.454
その他ネットワークサービス	転送でんわ	−	P.457
	キャッチホン	−	P.455
	英語ガイダンス	−	P.459
	遠隔操作設定	−	P.460
	マルチナンバー☆	電話番号設定 付加番号1(名称:付加番号1)、付加番号2(名称:付加番号2)、マルチナンバー発信:無効 着信音設定 付加番号1(個別設定:OFF) 付加番号2(個別設定:OFF)	P.461
	デュアルネットワーク	−	P.458
	追加サービス	−	P.466
	OFFICEED☆	エリア表示設定:OFF	P.466

■ 本体設定メニュー

本体設定			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
画面・ディスプレイ	きせかえツール設定☆	Black（本体色Black）、White（本体色White）、Red（本体色Red）	P.114
	待受画面設定☆	待受画面選択 　縦画面設定：きせかえツールに従う 　横画面設定：きせかえツールに従う 時計表示設定（デザイン：ON／デジタル３（本体色Black）、デジタル１（本体色White）、デジタル４（本体色Red）、形式：12時間表示、曜日：英語） 待受アクセサリ設定：ON カレンダー／待受カスタマイズ：OFF 待受メモ表示設定：OFF 待受タッチランチャ設定：ON 卓上設定：卓上時計（イメージ一覧：Aqua） 待受時回転連動設定：カメラ ウエルネス表示設定：OFF 画面切替時エフェクト設定：スライド 電池アイコン設定：きせかえツールに従う アンテナアイコン設定：きせかえツールに従う インフォメーション表示設定：表示する	P.45 P.106 P.107 P.108 P.110 P.116 P.214 P.404
	カラーテーマ設定☆	Black（本体色Black）、White（本体色White）、Red（本体色Red）	P.116
	表示画質設定☆	鮮やか画質モード設定 　待受：ダイナミック 　カメラ：ノーマル 　ｉアプリ：ゲーム 　ワンセグ／データBOX（ワンセグ）：ジャンル連動 　データBOX（マイピクチャ）：シャープネス 　データBOX（Music&V ch）：ダイナミック 　データBOX（ｉモーション・ムービー）：ダイナミック 　データBOX（レコーダー連携）：ノーマル 　インターネットムービープレーヤー：ダイナミック シーン別制御：ON	P.118
	ベールビュー設定☆	マナーモード連動：OFF 表示パターン設定：きせかえに従う 濃度設定 　濃度設定：標準、正面からの見栄えを調整：0	P.120
	各種画面設定	背景設定☆ 　背景画像（縦）：きせかえツールに従う、背景画像（横）：きせかえツールに従う、表示設定：タイル表示、濃度設定：16	P.110

本体設定			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
画面・ディスプレイ	各種画面設定	電話発信画像☆ 電話発信設定(イメージ表示:きせかえツールに従う) 電話着信設定(イメージ表示:きせかえツールに従う) 人物画像表示設定:ON 着信拒否設定(非通知設定・公衆電話・通知不可能:設定解除) メール送受信画像☆ メール送信画像設定(イメージ表示:きせかえツールに従う) メール受信画像設定(イメージ表示:きせかえツールに従う) メール受信完了画像設定(イメージ表示:きせかえツールに従う) SMS受信完了画像設定(イメージ表示:きせかえツールに従う) メッセージR受信完了画像設定(イメージ表示:きせかえツールに従う) メッセージF受信完了画像設定(イメージ表示:きせかえツールに従う) 問合せ画像設定(イメージ表示:きせかえツールに従う) テレビ電話画像☆ テレビ電話発信設定(イメージ表示:きせかえツールに従う) テレビ電話着信設定(イメージ表示:きせかえツールに従う)	P.110

本体設定			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
画面・ディスプレイ	各種画面設定	着信表示設定 電話/メール着信時設定(メインディスプレイ着信表示(電話着信時表示:名前+電話番号、メール着信時テロップ表示:名前+題名)、サブディスプレイ着信表示(電話着信時表示:名前表示、メール着信時表示:名前表示、メール本文表示:ON)) 不在着信お知らせ☆:ON 発着信履歴表示設定☆:ON メール送受信履歴設定☆:ON	P.110
	サブディスプレイ設定☆	待受表示設定 時計表示:待受時計(横・大) アニメーション設定 音声電話着信画面:ON テレビ電話着信画面:ON メール受信完了画面:ON クローズ画面:ON 表示時間設定:10秒	P.112
	マチキャラ設定☆	表示設定 表示設定:ON/ひつじのしつじくん※ 自動アップデート設定:ON アップデート通知設定:OFF	P.116
	メニュー設定☆	表示メニュー設定:ノーマルメニュー	P.115
	縦横画面自動切替☆	ON	P.110

※ マチキャラの[ひつじのしつじくん]を削除したあとで、各種設定リセットを行った場合は[OFF]に設定されます。

本体設定			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
音／バイブ／マナー	着信音設定☆	音声電話 電話着信音（電話：メロディ／着信音 1※1） 着信拒否設定（非通知設定・公衆電話・通知不可能：設定解除） テレビ電話 テレビ電話：メロディ／8 bit Heroes※2 メール メール着信音（メール：メロディ／着信音 2※3、鳴動時間（秒）：3 秒） メッセージR着信音（メッセージR：メロディ／着信音 2、鳴動時間（秒）：3 秒） メッセージF着信音（メッセージF：メロディ／着信音 2、鳴動時間（秒）：3 秒） SMS着信音（SMS：メロディ／着信音 2※3、鳴動時間（秒）：3 秒）	P.102
	その他音設定☆	ｉコンシェル着信音 ｉコンシェル：メロディ／Beat On Motion、鳴動時間（秒）：3 秒 GPS測位鳴動音 現在地確認（鳴動音選択：OFF） 現在地通知（鳴動音選択：メロディ／着信音 4） 位置提供／許可（鳴動音選択：メロディ／着信音 5） 位置提供／毎回確認（鳴動音選択：メロディ／着信音 5）	P.103

本体設定			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
音／バイブ／マナー	その他音設定☆	アラーム音 アラーム音（アラーム音：メロディ／TI（標準音）） スケジュール音（アラーム：メロディ／TI（時間です）） 操作確認音 キー確認音：キー音 1 開閉操作音：開閉音 1 静止画撮影シャッター音：標準音 充電確認音：ON 電池アラーム音：ON	P.103
	音量設定☆	着信音量 電話着信音量：Level 5 受話音量：Level 5 メール・メッセージ着信音量：Level 5 GPS測位鳴動音量：Level 5 ｉコンシェル着信音量：Level 5 アラーム音量 アラーム音量：Level 5 ワンセグアラーム音量：Level 15 スケジュール音量：Level 5 ｉアプリ音量：Level 5 操作確認音量：Level 5 メロディ音量：Level 5 待受ｉモーション音量：Level 5	P.103

※1 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときは、[着信音 4]になります。
※2 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときは、[High and Low]になります。
※3 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときは、メール着信音、SMS着信音は[メールが届きました]になります。

本体設定			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
音／バイブ／マナー	スピーカーブースター設定☆	ON	P.104
	バイブレータ設定☆	電話着信時 電話着信時：OFF テレビ電話着信時：OFF メール・メッセージ着信時 メール着信時：OFF メッセージR着信時：OFF メッセージF着信時：OFF GPS測位時 現在地確認時：OFF 現在地通知時：パターンB 位置提供／許可時：パターンC 位置提供／毎回確認時：パターンC ｉコンシェル着信時：OFF アラーム鳴動時 アラーム鳴動時：OFF スケジュール鳴動時：OFF ｉアプリ利用時：ON タッチ操作時：ON	P.104
	マナーモード選択☆	通常マナーモード	P.105
	モーションサイレント☆	OFF	P.106
	音楽再生音優先設定☆	ON	P.104
	マチキャラおしゃべり設定☆	ON（スピーカー）	P.116

本体設定			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
照明・イルミネーション	照明設定☆	照明点灯時間設定 通常時：10秒 ACアダプタ接続時：端末設定に従う ｉモード中：端末設定に従う 静止画撮影中：端末設定に従う 動画撮影中：常時点灯 ｉアプリ：ソフトに従う 画面オフ時間設定：１分 明るさ調整 明るさ調整：明るさ３、明るさセンサー：ON キーバックライト設定 キーバックライト設定：ON、キーバックライト色：ランダム（３色）	P.112
	イルミネーション設定☆	電話着信イルミネーション 電話着信・テレビ電話着信（設定：きせかえに従う） メール着信イルミネーション メール着信（設定：きせかえに従う）、メッセージR着信・メッセージF着信（イルミネーションパターン：パターン４、イルミネーションカラー：カラー２） ｉコンシェル着信イルミネーション ｉコンシェル着信（イルミネーションパターン：パターン４、イルミネーションカラー：カラー10） 通話中イルミネーション 通話中イルミネーション：OFF	P.118

次ページへ続く

本体設定			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
照明・イルミネーション	イルミネーション設定☆	GPS測位イルミネーション 現在地確認(イルミネーションパターン:OFF)、現在地通知・位置提供/許可・位置提供/毎回確認(イルミネーションパターン:点滅、イルミネーションカラー:カラー4) ICカードアクセスイルミネーション ICカードイルミネーション:ON、イルミネーションカラー:カラー2 開閉イルミネーション 開閉イルミネーション:ON、設定:きせかえに従う	P.118
文字表示/入力	文字サイズ設定☆	全体:中(標準) iモード:中(標準) フルブラウザ:中(標準) メール閲覧:中(標準) メール編集/文字入力:中(標準)	P.119
	フォント選択☆	AXISフォント	P.119
	文字入力設定☆	文字入力 入力方式:かな入力、日・英語入力予測:ON、自動カーソル:普通	P.442
	Select language	日本語	P.120
時計	日付時刻設定☆	自動時刻・時差補正:ON、オフセット時間:+/00時間00分	P.61
	時計表示設定☆	デザイン:ON/デジタル3(本体色Black)、デジタル1(本体色White)、デジタル4(本体色Red)、形式:12時間表示、曜日:英語	P.108

本体設定			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
時計	自動電源ON/OFF☆	自動電源ON 自動電源ON:OFF 自動電源OFF 自動電源OFF:OFF アラーム自動電源ON:OFF	P.411
ロック・セキュリティ	ロック設定	オールロック:解除 パーソナルデータロック:OFF 自動キーロック☆ クローズロック設定:OFF 画面オフロック設定:OFF ICカードロック☆:OFF	P.126 P.128 P.129 P.315
	シークレットモード☆	シークレットモード:OFF	P.131
	プライバシー設定☆	電話帳 発着信履歴に表示:しない、着信音鳴動:通常 メール 未読マーク・受信件数表示:表示する、送受信履歴:保存しない、受信時表示・鳴動設定:通常	P.130
	電話/メール着信時設定	メインディスプレイ着信表示 電話着信時表示:名前+電話番号、メール着信時テロップ表示:名前+題名 サブディスプレイ着信表示 電話着信時表示:名前表示、メール着信時表示:名前表示、メール本文表示:ON	P.110
	ダイヤル発信制限☆	OFF	P.129
	着信拒否設定☆	非通知設定:設定解除 公衆電話:設定解除 通知不可能:設定解除	P.132

本体設定			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
ロック・セキュリティ	端末暗証番号設定	0000	P.123
	手書き認証設定☆	OFF	P.123
	UIMカード(FOMAカード)設定	−	P.124
	スキャン機能	自動更新設定:有効 スキャン機能設定☆ スキャン機能:有効、メッセージスキャン:有効	P.549 P.551
電池	ecoモード☆	OFF	P.113
	自動ecoモード設定☆	自動ecoモード設定:OFF	P.113
	電池残量	−	P.59
	電池アイコン設定☆	きせかえツールに従う	P.59
	電池マーク%一時表示☆	OFF	P.59
外部接続	USBモード☆	通信モード	P.375
	Bluetooth☆	Bluetooth設定 サーチ時間:5秒 ミュージック自動起動設定:ON セキュリティ設定(セキュリティ:無し、暗号化:無し) 着信音送出設定:送る 全件転送パスワード設定:パスワード無し	P.435 P.436 P.439 P.440

本体設定			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
外部接続	Wi-Fi	−	P.486 P.487 P.490
	フェムトセル☆	フェムトセル利用設定 フェムトセル利用設定:OFF	P.440
	データ送受信設定☆	データ送受信設定 通信終了音:OFF、自動認証:なし、電話帳の画像送信:あり	P.388
その他設定	セルフモード☆	OFF	P.127
	タッチパネルON/OFF☆	ON	P.46
	初期設定	−	P.60
	データ一括削除	−	P.136
	各種設定リセット	−	P.135
	ソフトウェア更新☆	自動更新設定 自動更新設定:自動で更新、曜日:指定なし、時刻:03時00分	P.545 P.546 P.548
	リモート機能設定確認	−	P.138
	メモリ確認	−	P.382
きせかえ/ライフスタイル	トータルカスタマイズ	−	P.117
	ライフスタイル設定	−	P.117

■ 地図／海外メニュー

地図／海外			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
地図		－	P.325
ナビ		－	P.325
イマドコサーチ	イマドコかんたんサーチ	－	P.331
	イマドコサーチ	－	P.331
ｉエリア-周辺情報-		－	P.326
GPSアプリ一覧		－	P.327
現在地確認／通知	現在地確認	－	P.326
	現在地通知	－	P.331
地図・GPS設定／履歴	位置履歴	－	P.332
	地図設定	地図選択：地図アプリ 地図起動時動作設定☆：測位する	P.325
	GPSボタン設定☆	地図を見る	P.326
	位置提供可否設定☆	位置提供OFF	P.328
	オートGPS	ドコモ提供サービス設定：利用しない オートGPS動作設定☆：ON 低電力時動作設定☆：停止する	P.333
	測位モード設定☆	現在地確認：標準モード 現在地通知：標準モード 位置提供：標準モード	P.335
	現在地通知先一覧	－	P.331
	サービス利用設定	－	P.330
	サービス利用／接続先設定☆	接続先：ドコモ	P.330

地図／海外			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
地図・GPS設定／履歴	点灯色／鳴動音設定☆	現在地確認 鳴動音選択・バイブレータ設定・イルミネーション設定：OFF、鳴動時間（秒）：10秒 現在地通知 鳴動音選択：メロディ／着信音４、バイブレータ設定：パターンB鳴動時間（秒）：10秒、イルミネーション設定：点滅／カラー４ 位置提供 位置提供／許可（鳴動音選択：メロディ／着信音５、バイブレータ設定：パターンC、鳴動時間（秒）：20秒、イルミネーション設定：点滅／カラー４） 位置提供／毎回確認（鳴動音選択：メロディ／着信音５、バイブレータ設定：パターンC、鳴動時間（秒）：20秒、イルミネーション設定：点滅／カラー４）	P.335
海外ネットワークサーチ	3G／GSM切替☆	自動	P.472
	ネットワークサーチ設定	オート	P.472
	優先ネットワーク設定	－	P.472
	オペレータ名表示設定☆	表示あり	P.473
	在圏状態表示	－	P.472
	再検索アイコン表示設定☆	表示する	P.473

地図／海外			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
海外設定	お問合せ（海外）	－	P.459
	ローミング時着信規制	－	P.473
	ローミング着信通知	－	P.474
	ローミングガイダンス	－	P.473
	国際ダイヤルアシスト☆	自動変換機能 国番号変換：ON／+81　日本、国際プレフィックス変換：ON／WORLD CALL　009130010 国番号 自動変換設定：81　日本 国際プレフィックス WORLD CALL　009130010	P.74
	ｉモードサービス利用設定☆	ｉウィジェット：いいえ	P.474
	メール／メッセージ利用設定☆	メール選択受信：OFF	P.474
	ネットワークサービス	－	P.475
海外ご利用ガイド		－	P.470

■ ｉコンシェルメニュー

ｉコンシェル		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
ｉコンシェル	－	P.213

■ プロフィールメニュー

プロフィール		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
プロフィール	－	P.62 P.423

■ おサイフケータイメニュー

おサイフケータイ			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
ＩＣカード一覧		－	P.313
DCMX		－	P.293
トルカ		トルカ一覧画面 ソート☆：日付順（新→旧） トルカ表示画面 表示／設定☆（サウンド設定：Level 5）	P.317
ＩＣカードロック設定	ＩＣカードロック☆	OFF	P.315
	ＩＣカードオートロック設定☆	オートロック：OFF	P.315
	ＩＣカードロック解除予約	－	P.315
	電源OFF時ＩＣロック設定☆	直前のロック状態を継続	P.316

次ページへ続く▶▶

おサイフケータイ			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
設定	ＩＣカードからトルカ取得☆	ON	P.321
	ワンセグからトルカ取得☆	ON	P.321
	トルカ重複チェック☆	ON	P.321
	トルカ自動読取チェック☆	ON	P.321
	トルカ自動表示☆	ON	P.321
	トルカサウンド設定☆	Level 5	P.321
ＩＣオーナー確認		−	P.314
ＩＣオーナー変更		−	P.314
ｉモードで探す		−	P.178

その他の機能

機能メニュー		お買い上げ時	ページ
待受タッチランチャ		ｉコンシェル、使いかたガイド、新規メール作成、HDMI接続、ショットメモ、2in1モード切替、フルブラウザホーム、Wi-Fi、フェムトセル、SH-MODE、赤外線受信、音声クイック起動	P.44
クイック設定		ベールビュー、現在地確認、受話音量選択、音声伝言メモ、アラーム、バイブレータ、Bluetooth、公共モード、マナーモード、セルフモード、ロックセレクション、ecoモード	P.49
セレクトメニュー		電卓、メモ、アラーム、ロック・セキュリティ、音量設定、フェムトセル、ecoモード、背景設定、メッセージ再生	P.42
受話音量調節☆		Level 5	P.79
テレビ電話		カメラ調整（明るさ（カメラ映像送信時）：明るさ０） テレビ電話動作設定☆（テレビ電話画面設定：両方、子画面表示：自画像、画面サイズ設定：大、明るさ調整：明るさ１） DTMF送信：OFF	P.66 P.87
マナーモード☆		OFF	P.105
おまかせロック		解除	P.126
サイドキーロック☆		解除	P.130
かんたんデコメ		変換パターン：男性向け 絵文字挿入☆：文中＋文末 文字色☆：ON 文字サイズ☆：ON 背景色☆：ON	P.147
文字入力	入力設定☆	かな入力 日・英語入力予測ON 自動カーソル：普通 辞書連携優先辞書：和英辞書 語調選択：標準 ２タッチガイドOFF	P.442

シンプルメニュー一覧

- きせかえツールを[シンプル]に設定した場合、ノーマルメニューがシンプルメニューに切り替わります。

機能メニュー		ページ
電話	電話帳の表示	P.94
	電話帳の登録	P.90
	リダイヤル	P.69
	着信履歴	P.69
	音声／伝言メモ	P.83 P.84 P.425
	自分の電話番号	P.423
	通話時間／料金	P.425
	留守番電話	P.454
メール	メールの作成	P.140
	受信メール	P.156
	送信メール	P.156
	未送信メール	P.156
	メール問合せ	P.153
ｉモード	ｉMenu検索	P.178
	Bookmark表示	P.189
	画面メモの表示	P.191
	サイト閲覧履歴	P.189
カメラ	写真を撮る	P.224
	写真を見る	P.343
	映像を撮る	P.225
	映像を見る	P.351
	バーコードリーダー	P.241

機能メニュー		ページ
便利ツール	電卓	P.426
	アラーム	P.412
	赤外線／ｉＣ通信	P.385 P.387 P.388
	スケジュール	P.414
	メモ	P.427
	使いかたガイド	P.51
設定	着信音量	P.103
	着信音	P.102
	メール着信音量	P.103
	メール着信音	P.102
	待受画面の設定	P.106

ダイヤルボタン／タッチボタンの文字割り当て一覧(かな入力)

文字入力は、通常ポジションのときはダイヤルボタン(ボタン)、ビューアポジションのときはタッチボタンで行います。1つのボタンには、次の表のように複数の文字が割り当てられています。

■ 全角文字の割り当て

漢字(ひらがな)入力モード			全角カタカナ入力モード			全角英字入力モード				全角数字モード		
ボタン	タッチボタン	入力文字	ボタン	タッチボタン	入力文字	ボタン	タッチボタン 大文字	タッチボタン 小文字	入力文字	ボタン	タッチボタン	入力文字
1	[あ]	あいうえお ぁぃぅぇぉ	1	[ア]	アイウエオ ァィゥェォ1	1	[./@1]	[./@1]	. ／@ - :～_ 1	1	[1]	1
2	[か]	かきくけこ	2	[カ]	カキクケコ2	2	[ABC2]	[abc2]	a b c A B C 2	2	[2]	2
3	[さ]	さしすせそ	3	[サ]	サシスセソ3	3	[DEF3]	[def3]	d e f D E F 3	3	[3]	3
4	[た]	たちつてとっ	4	[タ]	タチツテトッ4	4	[GHI4]	[ghi4]	g h i G H I 4	4	[4]	4
5	[な]	なにぬねの	5	[ナ]	ナニヌネノ5	5	[JKL5]	[jkl5]	j k l J K L 5	5	[5]	5
6	[は]	はひふへほ	6	[ハ]	ハヒフヘホ6	6	[MNO6]	[mno6]	m n o M N O 6	6	[6]	6
7	[ま]	まみむめも	7	[マ]	マミムメモ7	7	[PQRS7]	[pqrs7]	p q r s P Q R S 7	7	[7]	7
8	[や]	やゆよ ゃゅょ	8	[ヤ]	ヤユヨ ャュョ8	8	[TUV8]	[tuv8]	t u v T U V 8	8	[8]	8
9	[ら]	らりるれろ	9	[ラ]	ラリルレロ9	9	[WXYZ9]	[wxyz9]	w x y z W X Y Z 9	9	[9]	9
0	[わ]	わをんゎー	0	[ワ]	ワヲンヮー0	0	[0]	[0]	0	0 ※1	[0]	0
*	[゛゜大/小↲]	大小切替゛゜↲※2	*	[゛゜大/小↲]	大小切替゛゜↲※2	*	[A/a↲]	[a/A↲]	大小切替↲※2	*	[*]	*
#	[、。?!]	、。？！・□(スペース)	#	[、。?!]	、。？！・□(スペース)	#	[,.?!]	[,.?!]	, . ？ ！’ - & ( ) ￥ □(スペース)	#	[#]	#

※1 0を1秒以上押した場合は、「+」が入力されます。

※2 [↲](改行)されます。[↲]は半角で表示された場合でも、全角1文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や追加できます。

● 全角1文字は、半角2文字分として数えられます。

■ 半角文字の割り当て

半角カタカナ入力モード			半角英字入力モード				半角数字モード			区点コードモード		
ボタン	タッチボタン	入力文字	ボタン	タッチボタン		入力文字	ボタン	タッチボタン	入力文字	ボタン	タッチボタン	入力文字
				大文字	小文字							
1	[ア]	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ1	1	[./@1]	[./@1]	. / @ - : ~ _ 1	1	[1]	1	1	[1]	1
2	[カ]	ｶｷｸｹｺ2	2	[ABC2]	[abc2]	abcABC2	2	[2]	2	2	[2]	2
3	[サ]	ｻｼｽｾｿ3	3	[DEF3]	[def3]	defDEF3	3	[3]	3	3	[3]	3
4	[タ]	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ4	4	[GHI4]	[ghi4]	ghiGHI4	4	[4]	4	4	[4]	4
5	[ナ]	ﾅﾆﾇﾈﾉ5	5	[JKL5]	[jkl5]	jklJKL5	5	[5]	5	5	[5]	5
6	[ハ]	ﾊﾋﾌﾍﾎ6	6	[MNO6]	[mno6]	mnoMNO6	6	[6]	6	6	[6]	6
7	[マ]	ﾏﾐﾑﾒﾓ7	7	[PQRS7]	[pqrs7]	pqrsPQRS7	7	[7]	7	7	[7]	7
8	[ヤ]	ﾔﾕﾖｬｭｮ8	8	[TUV8]	[tuv8]	tuvTUV8	8	[8]	8	8	[8]	8
9	[ラ]	ﾗﾘﾙﾚﾛ9	9	[WXYZ9]	[wxyz9]	wxyzWXYZ9	9	[9]	9	9	[9]	9
0	[ワ]	ﾜｦﾝｰ0	0	[0]	[0]	0	0※1	[0]※2	0	0	[0]	0
*	[ﾞﾟ大/小↵]	大小切替ﾞﾟ↵※3	*	[A/a↵]	[a/A↵]	大小切替↵※3	*	[*]※2	*	*		
#	[､｡?!]	､｡?!･ (スペース)	#	[,.?!]	[,.?!]	,.?!'-&()¥ (スペース)	#	[#]※2	#	#		

※1 0を1秒以上押すと､｢+｣が入力されます。

※2 電話番号の入力欄などでは[0／+]、[*／P]、[#／T]と表示され、ロングタッチすると、「+」、「P」、「T」が入力されます。

※3 [↵](改行)されます。[↵]は半角で表示された場合でも、全角1文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や追加できます。

● 半角文字では、濁点・半濁点も1文字分として数えられます。

絵文字一覧

読みを入力して絵文字に変換できます。

絵文字	見出し（ヨミ）	絵文字	見出し（ヨミ）
	はーと、あい、こころ、すき、らぶ、はあと、はぁと		きす、きっす、くちびる、くち、ちゅ、ちゅう、ちゅー、きすまーく
	はーと、あい、こころ、どきどき、すき、らぶ、ゆれるはーと、はあと、はぁと		きらきら、ぴかぴか、きら、あたらしい
	はーと、しつれん、ふられた、わかれた、しょっく、はあと、はぁと		でんきゅう、ぴか、あいであ、あいでぃあ、ひらめき、きら
	はーと、あい、こころ、すき、らぶ、はーとたち、はあと、はぁと		いかり、おこる、おこり、きれる、むかつく、むか、むかっ
	かお、えがお、わらう、わらい、わーい、うれしい、にこにこ、にこ		がんばる、がんばれ、ぱんち、ぐー、ぐう、いかり、て
	かお、おこる、いかり、ぷん、ちっ、むか		ばくだん、ばくはつ、いかり
	かお、かなしい、こまった、こまる、ごめん、がく	ZZZ	おやすみ、すいみん、ねる、ねむい、ぐー、ずー、ぐう、ずう
	かお、かなしい、こまった、こまる、さいあく、もうやだ、やだ	!	びっくり、あっ、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん、おどろき
	かお、だめ、ふら、ふらふら、しょっく	!?	びっくり、ほんと、えっ、えー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん、おどろき
	どうぶつ、いぬ	!!	びっくり、ちょー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん、おどろき
	どうぶつ、ねこ		しょっく、ぐらぐら、どん、いらいら、しょうげき
	てんき、はれ、たいよう		あせ、あせる、ひやあせ、あせあせ
	てんき、くもり、くも		あせ、あせる、ひやあせ、なみだ、だらー、たらー、たらーっ
	てんき、あめ、かさ		いそぐ、いそげ、だっしゅ、ためいき、ふぅ、ふう、ふー、はしる、にげろ
	てんき、ゆき、ゆきだるま		のばす、ちょうおん、ちょーおん、ー
	てんき、かみなり、いかずち、いかづち、でんき、ぴか		のばす、くるり、ちょうおん、ちょーおん、ー
	てんき、うずまき、たいふう、あらし、ぐるぐる、くるくる、めまい、まる	OK	おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、けってい
	てんき、きり、あめ		やじるし、みぎうえ、あがる、あげる、あっぷ、みぎななめうえ、うえ、や
	てんき、こさめ、あめ、かさ		やじるし、みぎした、さがる、さげる、だうん、みぎななめした、した、や
	おんぷ、おんがく、うた、るん、るんるん		やじるし、ひだりうえ、あがる、あげる、あっぷ、ひだりななめうえ、うえ、や
	おんぷ、おんがく、うた、さんれんぷ、るん、むーど、わーい		やじるし、ひだりした、さがる、さげる、だうん、ひだりななめした、した、や
	おんせん、ふろ、おふろ、いいきぶん、ゆげ		やじるし、ぐっど、あがる、あげる、ぐっと、うえ、や
	はな、かわいい		やじるし、ばっど、さがる、さげる、ばっと、した、や

絵文字	見出し（ヨミ）	絵文字	見出し（ヨミ）
	かお、め、からだ、みる、みて	GS	がそりんすたんど、がそりん、がすすた、すたんど、がす、がすすたんど、がそすた
	かお、みみ、からだ、きく	P	ちゅうしゃじょう、ちゅうしゃ、ぱーきんぐ、ぴー
	ぐー、ぐう、じゃんけん、て、こぶし、ぱんち、からだ		しんごう、しんごうき
	ちょき、じゃんけん、て、ぴーす		といれ、かっぷる、でーと、けっこん、べんじょ
	ぱー、ぱあ、じゃんけん、て、ぱい、さんせい		しょくじ、ごはん、れすとらん、ふぁみれす、めし、ないふ、ふぉーく
	あし、あしあと、あるく、とほ、からだ、きっく、けり、ける		こーひー、どりんく、のみもの、かっぷ、こっぷ、きっさてん、さてん、おちゃ、しょくじ、かふぇ、きゅうけい、いっぷく
	とらんぷ、はーと、あい、こころ		かくてる、おさけ、さけ、ばー、しょくじ、かんぱい
	とらんぷ、すぺーど		びーる、おさけ、さけ、いざかや、のみかい、こんぱ、かんぱい、しょくじ、なま、なまびーる
	とらんぷ、だいや		はんばーがー、ばーがー、けいしょく、ふぁーすとふーど、しょくじ
	とらんぷ、くらぶ、くろーばー		はいひーる、ひーる、くつ、あし、ぶてぃっく、ふく
	のりもの、こうつう、でんしゃ、れっしゃ、えき		はさみ、かっと、びよういん、びようしつ、さんぱつ、とこや
	のりもの、こうつう、ちかてつ、えむ、めとろ		まいく、からおけ、うた、うたう
	のりもの、こうつう、しんかんせん、のぞみ、ひかり、こだま		えいが、えいがかん、しねま、かめら、さつえい、びでお
	のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、せだん		うま、けいば、もくば、めりーごーらんど、ゆうえんち
	のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、あーるぶい		おんがく、おと、きく、へっどほん、へっどふぉん
	のりもの、こうつう、ばす		え、あーと、げいじゅつ、びじゅつ、ぱれっと、かいが
	のりもの、こうつう、ふね、ふぇりー、こうかい		えんげき、ひと、しんし、ぼうし、しばい
	のりもの、こうつう、ひこうき、じぇっと、じぇっとき、ふらいと、くうこう、えあー		いべんと、はた
	のりもの、よっと、ふね、りぞーと		ちけっと、きっぷ、けん
	つりー、くりすます、き		すぽーつ、うんどう、しゃつ、たんくとっぷ、ふく、ゆにふぉーむ
	いえ、うち、おうち、じたく、たてもの		すぽーつ、うんどう、やきゅう、そふと、ぼーる、そふとぼーる
	びる、かいしゃ、しょくば、がっこう、たてもの		すぽーつ、うんどう、ごるふ
	ゆうびん、ゆうびんきょく、ぽすと		すぽーつ、うんどう、てにす、たっきゅう、らけっと
	びょういん、びょうき、けが、きゅうきゅう		すぽーつ、うんどう、さっかー、ぼーる
BK	ぎんこう、ばんく		すぽーつ、うんどう、すきー、すのーぼーど、ぼーど、すけーと、すのぼ、すべる
ATM	えーてぃーえむ、えいてぃえむ、ぎんこう、ばんく		すぽーつ、うんどう、ばすけっと、ばすけ、ばすけっとぼーる
H	ほてる、しゅくはく、やど、りょかん		すぽーつ、うんどう、ごーる、はた、れーすわん、もーたーすぽーつ、ふらっぐ
CVS	こんびに、こんびにえんす、こんびにえんすとあ		ぽけべる、ぽけっとべる、ぺーじゃー、べる

絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)
	たばこ、しがー、しがれっと、きつえん、いっぷく、きつえんせき		せいざ、みずがめざ、みずがめ、なみ
	たばこ、しがー、しがれっと、きんえん、きんえんせき		せいざ、うおざ、うお、さかな
	かめら、しゃしん、さつえい、げきしゃ、でじかめ、でじたるかめら、いちがんれふ		つき、しんげつ、まる
	かばん、ばっぐ、てさげ、りょこう、ぷれぜんと		つき、はんつき、ややかけつき
	ほん、のーと、しょしんしゃ		つき、はんげつ、はんつき
	りぼん、ちょうねくたい、ねくたい、あめ		つき、みかづき
	ぷれぜんと、たんじょうび、おくりもの、おめでとう		つき、まんげつ、まる
	ろうそく、きゃんどる、たんじょうび、ばーすでい、ばーすでー、おめでとう		でんわ、けいたいでんわ、けいたい、けーたい、ふぉーん、ふぉん、ぴっち、はっしん、ちゃくしん、でんわばんごう
	でんわ、くろでん、てれふぉん、てれほん、てる、てれ		めーる、てがみ、じゅしん、あどれす
	けいたいでんわ、けいたい、けーたい、でんわ、ぴっち、ふぉーん、ふぉん	FAX	ふぁっくす、ふぁくす、じゅしん
	めーる、てがみ、あどれす		あいもーど、あい、どこも
	めも、しょるい、れぽーと、しゅくだい、しけん		あいもーど、あい、どこも
	てれび、がめん、ばんぐみ		どこもていきょう、でぃ、でー、でぃー、どこも
	げーむ、こんとろーら、こんとろーらー		どこもぽいんと、ぽいんと、でぃ、でー、でぃー、どこも
	しーでぃー、あるばむ、しんぐる、でぃすく、でぃーぶいでぃー	¥	えん、かね、きんがく、ねだん、りょうきん、ゆうりょう、おかね
	くつ、しゅーず、すにーかー、あし、ふく	FREE	ただ、むりょう、じゆう、ひま、ふりー
	めがね	ID	あいでぃ、あいでぃー、あいでー
	くるまいす		かぎ、きー、ひみつ、ぱすわーど、ろっく、しーくれっと
	せいざ、おひつじざ、おひつじ		かいぎょう、まがる、つづく、つづき、つぎ、りたーん
	せいざ、おうしざ、おうし	CL	さくじょ、しーえる、くりあ、くーる
	せいざ、ふたござ、ふたご、すなどけい		さがす、しらべる、むしめがね、さーち
	せいざ、かにざ、かに	NEW	にゅー、にゅう、あたらしい、しん
	せいざ、ししざ、しし		はた、もくひょう、ごるふ、いちじょうほう、いち、ふらっぐ、ぐりーん、ぴん
	せいざ、おとめざ、おとめ		だいやる、だいある、ふりーだいやる、ふりーだいある
	せいざ、てんびんざ、てんびん、おもち、もち	#	しゃーぷ
	せいざ、さそりざ、さそり		もばきゅー、もばきゅう、しつもん、きゅう、きゅー
	せいざ、いてざ、いて、あがる、あっぷ	1	いち、すうじ、ばんごう
	せいざ、やぎざ、やぎ	2	に、すうじ、ばんごう

絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)
3	さん、すうじ、ばんごう	禁	きんし、げんきん、だめ
4	よん、し、すうじ、ばんごう	空	くうしつ、くうせき、くうしゃ、あき、あく、から
5	ご、すうじ、ばんごう	合	ごうかく
6	ろく、すうじ、ばんごう	満	まんしつ、まんせき、まんしゃ、いっぱい、まんたん、ふる
7	しち、なな、すうじ、ばんごう		けいこく、きけん、びっくり、ちゅうい
8	はち、すうじ、ばんごう	©	こぴーらいと、しー、まるしー
9	きゅう、く、きゅー、すうじ、ばんごう	TM	とれーどまーく、てぃーえむ、しょうひょう
0	ぜろ、れい、すうじ、ばんごう	®	れじすたーどとれーどまーく、とれーどまーく、あーる、まるあーる、しょうひょう
	かちんこ、さつえい、すたーと、はこ、かっと、かんとく		あいあぷり、あるふぁ、あぷり
	ふくろ、つぼ		あいあぷり、あるふぁ、あぷり
	ぺんさき、ぺん、めも		どるぶくろ、どる、かね、おかね
	はんこ、ひと、ひとかげ		うでどけい、とけい、うぉっち、じかん
	いす、ざせき、すわる、せき		すなどけい、とけい、じかん
	よる、よなか、しんや、れいと、つき、おやすみ		おにぎり、おむすび、ごはん、おべんとう、べんとう、たべもの
soon	すぐ、もうすぐ、すーん		けーき、しょーとけーき、でざーと、おかし、かし、たべもの、おやつ
ON!	おん		ぱん、ぶれっど、たべもの、しょくじ、しょくぱん
end	おわり、えんど、ここまで		どんぶり、らーめん、めん、うどん、そば、たべもの、ごはん、しょくじ、ゆげ
	じかん、じこく、たいむ、とけい		ゆのみ、おゆのみ、おちゃ、ちゃ、ゆげ
	じてんしゃ、ちゃり、ちゃりんこ、のりもの、ばいく		とっくり、おちょこ、おさけ、さけ、にほんしゅ、かんぱい、のみや、いざかや
	れんち、すぱな、こうぐ、どうぐ、しゅうり		わいんぐらす、わいん、おさけ、さけ、かんぱい、しょくじ、ぐらす
	ぱそこん、ぴーしー、こんぴゅーた、こんぴゅーたー、ですくとっぷ		ばなな、くだもの、たべもの
	えんぴつ、ぶんぼうぐ、めも、べんきょう、しけん、てすと、しゅくだい、れぽーと		りんご、あっぷる、くだもの、たべもの
	くりっぷ、ぶんぼうぐ、てんぷ		さくらんぼ、ちぇりー、くだもの、はな
	やじるし、さゆう、や		くろーばー、よつば、はっぱ、はな
	やじるし、じょうげ、や		ちゅーりっぷ、はな
	やじるし、りさいくる、かいてん、まわる、りたーん		わかば、ふたば、はっぱ、め、は、はな
NG	えぬじー、だめ		もみじ、こうよう、はっぱ、は、はな
秘	ひみつ、まるひ、しーくれっと		さくら、はな、そつぎょう、にゅうがく

次ページへ続く

絵文字	見出し（ヨミ）	絵文字	見出し（ヨミ）
	かたつむり、まいまい、でんでんむし、どうぶつ、むし、ゆっくり、おそい		かお、ほっ、にこ
	ひよこ、とり、どうぶつ		かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる
	ぺんぎん、とり、どうぶつ		かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる
	さかな、おさかな、どうぶつ、つり		かお、おこる、ぷー、ぶー、いかり、むか、むかっ、ぷっくっく
	うま、どうぶつ、けいば		かお、ほけー、しらー、しらけ、ほけ
	ぶた、どうぶつ、ぶー		かお、はーと、らぶ、すき、わーい、うれしい、はあと、はぁと
	しゃつ、てぃーしゃつ、ふく、ようふく、てぃしゃつ		かお、あっかんべー、べー、いたずら、あかんべ
	ずぼん、ぱんつ、じーぱん、じーんず、ふく、ようふく		かお、うぃんく、ういんく、ぱちっ、ぱち
	けしょう、くちべに、るーじゅ、りっぷ		かお、うれしい、わーい、きゃっ、きゃ、にこ
	ゆびわ、あくせさりー、りんぐ、ぶれぜんと、けっこん		かお、がまん、かなしい
	おうかん、かんむり、おうさま、おう、きんぐ		かお、どうぶつ、ねこ、むふふ
	べる、ちゃぺる、かね、きょうかい、けっこん		かお、かなしい、なく、えーん、わーん、なきがお、なみだ、なき
	どあ、とびら、と		かお、なみだ、かなしい、ぽろり、なく、なきがお、なき
	がっこう、だいがく、しょうがっこう、ちゅうがく、ちゅうがっこう、こうこう		かお、おいしい、うまい、まんぞく、たべる
	なみ、うみ、つなみ、おおなみ、うぇーぶ		かお、えがお、わらう、うっしっし、うしし、ししし、にやり、わらい
	ふじさん、やま、とざん、やまのぼり		かお、さけぶ、さけび、げっそり、ひゃー、むんく
	すぽーつ、うんどう、すのーぼーど、ぼーど、すのぼ、すべる		て、おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、ぐっど、ゆび、おやゆび、ぐっと、あうと、ないす
	すぽーつ、うんどう、はしる、にげる、ひと、はしるひと、だっしゅ、まらそん、じょぎんぐ		てがみ、めーる、らぶれたー、こいぶみ、らぶめーる
	かお、こまる、うーむ、うーん、うむ、むすっ、かんがえる		がまぐち、さいふ、おかね、かね

● 本絵文字を送信した場合、相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。また、iモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。SMSでは[♥]、[♥]、[☎]以外はスペースになります。

マルチアクセスの組み合わせ

マルチアクセスで同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは次のとおりです。

実行する通信＼現在の通信状態	音声電話		テレビ電話		iモード接続	iモードメール		SMS		データ通信(パケット)		データ通信(64K)		位置測位	ワンセグ	アクセスポイントモード
	発信	着信	発信	着信		送信	受信	送信	受信	発信	着信	発信	着信			
音声電話中	△※1	△※1	×	△※2	○	○	○	○	○	○	○	×	×※3	○	○	×
テレビ電話中	×	△※2	×	△※2	×	×	×	×	○	×	×	×	×※3	○	×	×
iモード中	○	○	△※4	△※5	×	○	○	○	○	×	×	×	×※6	○	○	×
iアプリ通信中	△※7	△※7	△※7	△※5	×	△※7	○	△※7	○	×	×	×	×※6	△※7	○	×
データ通信中(パケット)	○	○	×	×※6	×	×	×	○	○	×	×	×	×※6	○	○	×
データ通信中(64K)	×	△※2	×	×※3	×	×	×	×	○	×	×	×	×※3	○	○	×
ワンセグ視聴中	○	○	△※8	△※8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
アクセスポイントモード中	○	○	×※9	×※6 ※9	×	×	×	○	○	×	×	×※9	×※6 ※9	○	△※10	×

○：現在の通信状態を継続したまま、実行する通信を処理できます。
×：現在の通信状態を継続します（実行する通信を処理することはできません）。
△：条件により処理できます。
※1　キャッチホンをご利用の場合は、処理できます（☞P.455）。
※2　キャッチホンをご利用の場合は、現在の通信を切断し着信に応答できます。
※3　キャッチホンをご利用の場合は、着信履歴には記憶されます。
※4　iモード接続を切断してからテレビ電話発信を行います。
※5　テレビ電話を着信するか、パケット通信を継続するかを選択できます（☞P.88）。
※6　着信履歴には記憶されます。
※7　iモード、iアプリからの通信は切断または中断され、実行する通信を処理できます。
※8　発信または着信するとワンセグは中断され、テレビ電話終了後に再開します。
※9　無通信状態が一定時間続いた場合は、発着信が可能となることがあります。
※10　iモード接続が必要なデータ通信は行えません。

オプション･関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ01※1／02※1
- 電池パック SH23
- リアカバー SH44
- 卓上ホルダ SH34
- イヤホンターミナル P001※2
- 平型ステレオイヤホンセット P01※3
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01※3／P02※3
- ステレオイヤホンセット P001※2
- スイッチ付イヤホンマイク P001※2／P002※2
- イヤホンマイク 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- イヤホンジャック変換アダプタ P001※3
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- イヤホン変換アダプタ 01
- FOMA USB接続ケーブル※4
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※1
- FOMA DCアダプタ01／02
- FOMA室内用補助アンテナ※5
- 車載ハンズフリーキット 01※6
- FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- 車内ホルダ01※7
- FOMA乾電池アダプタ 01
- キャリングケースL 01
- キャリングケース 02
- 骨伝導レシーバマイク 01※3／02
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02※4
- FOMA 補助充電アダプタ 01／02
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※5

※1 ACアダプタでの充電方法については、P.55をご覧ください。
※2 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01とイヤホンジャック変換アダプタを接続しないとご利用になれません。
※3 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01を接続しないとご利用になれません。
※4 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※5 日本国内でご利用ください。
※6 SH-01Cを充電するためには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01が必要です。
※7 車内ホルダ01をご利用になるときは、サイドキーロックを設定してください。

外部機器との連携

対応する外部機器を利用してmicroSDカードに保存した動画を、FOMA端末で再生できます。※
microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。microSDカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます（☞P.365）。
対応機器などについては、http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-01c/をご覧ください。または下記にお問い合わせください。

- 外部機器で作成したｉモーション（AAC形式の音楽データを含む）をFOMA端末で再生する（☞P.273）。

※ 保存した動画や外部機器の形式によっては、再生できない場合があります。

シャープ　データ通信サポートセンター
TEL 03-5396-2351
受付時間：平日10:00～12:00／13:00～17:00
（土・日・祝日および所定の休日を除く）

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。
QuickTime™ Playerは、下記のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法などについては、アップルコンピュータ(株)のホームページをご覧ください。

故障かな?と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(☞P.544)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

FOMA端末の電源が入らない	
● 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.54
● 電池切れになっていませんか。	P.59

■ 充電

充電ができない(充電ランプが点灯しない、または点滅する)	
● 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.54
● アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。	P.57
● アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。	P.57
● ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。	P.56 P.57
● 卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。	P.56
● 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	P.55

■ 端末操作

操作中・充電中に熱くなる	
● 操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタの温度が高くなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	P.55
電池の使用時間が短い	
● 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	P.56
● 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	P.56
● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	P.56
電源断・再起動が起きる	
● 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	−
● ドコモUIMカードのＩＣ部分が汚れていませんか。	P.52
タッチしたり、ボタンを押しても動作しない	
● オールロックを設定していませんか。	P.126
● サイドキーロックを設定していませんか。	P.130
● FOMA端末の電源が切れていませんか。	P.60
タッチしたり、ボタンを押したときの画面の反応が遅い	
● FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	P.370 P.556
ドコモUIMカードが認識しない	
● ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.52
● FOMAカード(青色)を挿入していませんか。	P.52
時計がずれる	
● 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。自動時刻・時差補正が[ON]に設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。	P.61

■ 通話

ダイヤル発信できない	
● オールロックを設定していませんか。	P.126
● ダイヤル発信制限を設定していませんか。	P.129
● セルフモードを設定していませんか。	P.127
着信音が鳴らない	
● 着信音量を[Silent]にしていませんか。	P.103
● 公共モード(ドライブモード)、マナーモード、セルフモードを設定していませんか。	P.81 P.105 P.127
● メモリ別着信拒否/許可、着信拒否設定、呼出動作開始時間設定、メモリ登録外着信拒否を設定していませんか。	P.79 P.132 P.131
● 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。	P.454 P.457
● 応答時間を「0秒」にしていませんか。	P.83
● オート着信設定の着信時間を「0秒」にしていませんか。	P.79
通話ができない(場所を移動しても[圏外]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)	
● 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを入れ直してください。	P.52 P.54 P.60
● 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[Yıll]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	P.35
● メモリ別着信許可、メモリ別着信拒否など着信制限を設定していませんか。	P.131
● 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は[しばらくお待ちください]と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	–
クイックダイヤルで電話がかけられない	
● パーソナルデータロックを設定していませんか。	P.129
● オールロックを設定していませんか。	P.126

■ 画面

ディスプレイが暗い	
● ecoモードに設定したり、照明点灯時間設定を短く設定していませんか。	P.112 P.113
● 表示画質設定のシーン別制御を[ON]にしていませんか。	P.118
● ワンセグecoモードを設定していませんか。	P.254
● ベールビューを設定していませんか。	P.120
画面表示が消えた	
● FOMA端末の電源が切れていませんか。	P.60
● 電池切れになっていませんか。	P.59
● 一定時間FOMA端末を使用しないと、ディスプレイの表示が消えます。画面オフ時間設定で表示時間を変更することができます。	P.112
● 自動電源OFFを設定していませんか。	P.411
画面が白っぽく見えたり、模様などが映り込んで見える	
● ベールビューを設定していませんか。	P.120

■ 音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	
● 受話音量を変更していませんか。	P.76

■ メール

メールを自動で受信しない	
● メール設定のメール選択受信設定を[ON]に設定していませんか。[OFF]に設定してください。	P.169
メールを受信したときにストックアイコンが表示されない	
● プライバシー設定のメールの未読マーク・受信件数表示を[表示しない]に設定していませんか。	P.130
メールを受信したときに着信音が鳴らない	
● 受信・自動送信表示を[操作優先]に設定していませんか。	P.166

● プライバシー設定のメールの受信時表示・鳴動設定を［表示しない／鳴動なし］に設定していませんか。	P.130

添付ファイルが削除されて画像を見ることができない	
● メール受信添付ファイル設定を確認してください。	P.169
●「メールサイズ制限の設定」を確認してください。詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。	P.138

■ ｉモード

ｉモード、ｉモードメール、ｉアプリ、ｉチャネル、ｉコンシェルに接続できない	
● 接続先設定を［ｉモード］以外に設定していませんか。	P.200
● ｉモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.60
● ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。	P.178

ｉモードマークが点滅したまま消えない	
● メール／メッセージ問合せ・メール送受信などのあとや途中でｉモード接続が切れたときは、ｉモードマークは点滅したままになります。データのやりとりを行わなければ自動的に切断されますが、を押すとすぐに終了できます。	P.178

■ カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	
● 近くの被写体を撮影するときは、フォーカス設定を［接写］に設定してください。	P.230
● カメラのレンズにくもりや汚れが付いていないかを確認してください。	P.216
● フォーカスロックを利用してください。	P.231
● 人物を撮影するときは、フォーカス設定の顔認識フォーカスを［ON］に設定してください。	P.230
● 手ぶれ補正を［オート］（静止画）／［ON］（動画）で撮影してください。	P.231

■ ワンセグ

ワンセグの視聴ができない	
● 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。	P.248
● チャンネル設定をしていますか。	P.250

■ おサイフケータイ

おサイフケータイ対応ｉアプリが削除できない	
● ＩＣカード内データを削除したあと、ｉアプリを削除してください。なお、iD 設定アプリは削除できません。削除したいｉアプリが利用しているＩＣカード内データを削除しないと、ｉアプリを削除できない場合があります。 削除できなかった場合は、ドコモショップなどまでお問い合わせください。	P.287

おサイフケータイが使えない	
● 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ＩＣカードロックの設定にかかわらずＩＣカード機能が利用できなくなります。	P.126 P.315
● ＩＣカードロックを設定していませんか。	P.315
● FOMA端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。	P.314

■ 海外利用

［圏外］が表示され、国際ローミングサービスが利用できない	
● 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。	P.35 P.468
● 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。	P.468
● ネットワークサーチ設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。	P.472
● 日本国内から海外へ移動したあとに3G／GSM切替を［自動］または対応しているネットワークに切り替えてください。日本国内で［自動］にしていた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。	P.472

次ページへ続く

海外での利用中に音声電話やテレビ電話がかかってこない	
● ローミング時着信規制を「開始」に設定していませんか。	P.473
● パケット通信中着信設定を[テレビ電話優先]以外に設定していませんか。	P.88
● GSM／GPRSネットワーク利用中にテレビ電話は利用できません。	P.468

海外で利用中に突然、発信や着信ができない	
● ドコモ インフォメーションセンターで、ご利用累積額をご確認ください。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。超過するとサービスがすべて停止します。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を清算していただくことで、サービスを再開します。	P.468
● ネットワーク通信方式を確認してください。3G／GSM切替を[自動]に設定していると、特定のネットワークを受信し利用できない場合があります。[3G]または[GSM／GPRS]に切り替え、滞在中の国や地域に対応するネットワーク通信方式にしてください。	P.472

相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	
● 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	P.471

■ データ管理

データ転送が行われない	
● USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	P.480

microSDカードに保存したデータが表示されない	
● microSDカードの管理情報の更新を行ってください。	P.376

画像表示しようとするとアイコンが表示される、またはプレビューでアイコンが表示される	
● 画像データが壊れている場合は[ ]が表示されるときがあります。	P.341

■ データ表示

各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する	
● 画像やメロディなどの取得時に挿入していたドコモUIMカードが挿入されていますか。	P.53

■ Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	
● Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、FOMA端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。	P.434

カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない	
● 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.60

■ 地図・GPS機能

オートGPSサービス情報が設定できない。	
● 電池残量が少なくなり、オートGPS機能が停止していませんか。低電力時動作設定により、オートGPS機能が停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、低電力時動作設定を[停止しない]に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。	P.333
● オートGPS動作設定が[OFF]になっていませんか。	P.333
● オートGPS機能が動作しない状態になっていませんか。	P.333

■ その他

着信またはメールの受信をしたとき設定した着信ランプ以外の着信ランプが点滅する	
● グループの電話着信イルミネーション／グループのメール着信イルミネーションを設定した相手からの着信またはメールを受信したときは、そのグループに設定したイルミネーションで点滅します。	P.92
● 電話帳の電話着信イルミネーション／電話帳のメール着信イルミネーションとグループの電話着信イルミネーション／グループのメール着信イルミネーションを両方設定した相手からの着信またはメールを受信したときは、電話帳の電話着信イルミネーション／電話帳のメール着信イルミネーションで設定したイルミネーションで点滅します。	P.118
● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールアドレスに設定したイルミネーションで点滅します。	－

現在地が確認できない	
● ご利用になるにはｉモードのお申し込みが必要です。	P.178

現在地通知／位置提供が利用できない	
● 現在地通知先が正しく設定されていますか。	P.331
● 位置提供可否設定を［位置提供OFF］に設定していませんか。	P.328
● サービス利用設定で位置提供に必要な設定をしていますか。	P.330

こんな表示が出たら

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを「英数字」、「50音」の順に記載しております。

● ｉモード関連のエラーメッセージ中の（　）で囲まれた数字は、ｉモードセンターから送信されるもので、エラーの内容を区別するためのコードです。

[Bluetooth機器と接続できません]

● Bluetooth出力を行った場合にBluetooth機器と接続できなかったときに表示されます。音はFOMA端末から出力されます。☞P.435

[Bluetooth機器と接続できません再接続しますか？]

● Bluetooth出力を行った場合にBluetooth機器と接続できなかったときや、出力中に切断されたときに表示されます。[再接続]／[本体から出力]を選択できます。☞P.435

[Bluetooth接続できませんでした]
[（サービス名）と接続できませんでした]

● Bluetooth機器との接続に失敗した場合に表示されます。☞P.435

[ＩＣカード内データがいっぱいのため、ダウンロードできません。いずれかのサービスを削除しますか？]

● おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする際、ＩＣカード内データの容量が足りない場合に表示されます。[はい]を選択すると、すでに登録しているおサイフケータイ対応ｉアプリの一覧と、ＩＣカード内の容量（バイト数）が表示されますので、不足エリアサイズを確認したあと、削除するサービスを選択し、ｉアプリを起動して削除してください。ただし、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては[はい]を選択したあとに、おサイフケータイ対応ｉアプリの一覧のみが表示されることがあります。この場合は、一覧からｉアプリを選択して削除してください。

[ＩＣカード内データがいっぱいのためバージョンアップできません　いずれかのサービスを削除しますか？]

● おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする際、ＩＣカード内データの保存領域が不足している場合に表示されます。画面の指示に従ってＩＣカード内データを削除後、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。

[ＩＣカード内データが削除できないソフトが存在します。それ以外を削除しますか？]

● 削除するｉアプリの中に、ＩＣカード内データを削除できないために削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれています。それ以外のｉアプリを削除するときは「はい」を選択します。

[ＩＣカード内データにエラーがあるため削除できません]

● ＩＣカード内データに不正があるおサイフケータイ対応ｉアプリは削除できません。

[ｉアプリTo設定されていません]

- サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールからソフトを起動しようとした場合に、指定したソフトが連携許可されていないため、起動できません。☞P.304

[ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]

- ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。
- 通信を行ってｉアプリを継続する場合は[はい]を選択します。通信を行わずにｉアプリを継続する場合は[いいえ]を選択します。ｉアプリを終了する場合は[終了]を選択します。

[ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？]

- [ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]と表示された際に[いいえ]を選択してｉアプリを継続している場合、再度ｉアプリが通信を行おうとしたときに表示されます。
- 通信を行ってｉアプリを継続する場合は[はい]を選択します。通信を行わずにｉアプリを継続する場合は[いいえ]を選択します。ｉアプリを終了する場合は[終了]を選択します。

[ｉモーション再生サイズを超えました]

- 標準タイプのｉモーションを取得する場合、ｉモーションのサイズが10Mバイトを超えているため取得が完了しなかったときに表示されます。☞P.206

[ｉモーション最大サイズを超えています]

- 標準タイプで分割して取得可能なｉモーションまたはストリーミングタイプのｉモーションを取得する場合、ｉモーションのサイズが10Mバイトを超えているため取得ができないときに表示されます。☞P.206

[ｉモーション最大サイズを超えました]

- 標準タイプで分割して取得可能なｉモーションまたはストリーミングタイプのｉモーションを取得する場合、ｉモーションのサイズが10Mバイトを超えているため取得が完了しなかったときに表示されます。☞P.206

[ｉモードセンターが混み合っています。しばらくお待ちください(555)]

- ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

[microSDが使用中です]

- 録画設定の録画先を[microSD]に設定している場合、録画開始時にmicroSDカードを利用していたときに表示されます。

[microSDが挿入されていません]

- 録画設定の録画先を[microSD]に設定している場合、録画開始時にmicroSDカードが挿入されていないときに表示されます。☞P.263

[microSDが抜かれました]

- microSDカード内のデータを使用中や閲覧中にmicroSDカードが取り外されたときなどに表示されます。

[Music&Videoチャネル未契約です]
[Music&Videoチャネル未契約です　番組を削除しました]

- Music&Videoチャネルのサービスをご契約されておりません。Music&Videoチャネルをご利用になるにはお申し込みが必要です。☞P.266

[PIN1コードがロックされています]

- PIN1コードがロックされている場合に、電源を入れると表示されます。PINロック解除コードを入力し、ロックを解除してください。☞P.125

[PINロック解除コードがロックされています]

- PINロック解除コードがロックされている場合に、電源を入れたりドコモUIMカードに関係した操作を行うと表示されます。
ドコモショップ窓口までお問い合わせください。☞P.123

[SMSがいっぱいです。これ以上コピーできません]

- FOMA端末またはドコモUIMカード内のSMSが最大件数まで保存されていてコピーできなかった場合に表示されます。☞P.176

[SMSセンター設定を確認してください]

- SMSセンター設定の内容が誤っています。☞P.176

[SSL／TLS通信が切断されました]

- SSL／TLS通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかった場合に表示されます。再び接続し直してください。☞P.181

[SSL／TLS通信が無効です]

- SSL／TLS通信の認証中にエラーが発生してSSL／TLS通信が切断された場合に表示されます。☞P.181

[SSL／TLS通信が無効に設定されています]
- 証明書設定で無効に設定した証明書を受信した場合に表示されます。無効に設定した理由を確認し、証明書の安全性に問題がない場合は、証明書を有効に設定してから再び接続し直してください。☞P.201
- ソフトウェアの更新時、SSL／TLS証明書が有効に設定されていない場合に表示されます。証明書設定でCA証明書1～16のすべてを有効にしてください。☞P.202

[SSL／TLS通信を切断しました]
- ソフトウェアの更新時、FOMA端末の日付（年月日）が正しく設定されていない場合に表示されます。FOMA端末の日付時刻設定を行ってください。☞P.61

[URLが長すぎて登録できません]
- URLが登録可能文字数を超えるため、Bookmarkへ登録できません。☞P.189

[WMAデータの管理情報が正しくないか、本機で作成されたものではありません。ファイル種別画面のWMAフォルダ上で「全削除」操作を行ってください]
[WMAデータの管理情報が正しくないか、本機で作成されたものではありません。WMAデータの全削除を行いますか？]
- WMAファイルのデータベースが破損している場合に表示されます。

[アプリケーションを起動できません]
- ドキュメントビューアの起動に失敗した場合に表示されます。☞P.392

[暗号化できませんでした]
- Bluetooth機器との接続に失敗した場合に表示されます。☞P.435

[以下の宛先にはメール送信できませんでした（561）　Mails could not be sent to following address.（561）　○○@△△△.ne.jp]
- メールアドレスは送信先により表示が異なります。電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
- 表示された宛先にメールが正しく送信できなかった場合に表示されます。

[一部コピーできない項目がありますが、コピーしますか？]
- FOMA端末とドコモUIMカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号やメールアドレスの件数、使える文字や文字数などが異なるため、2件以上の電話番号やメールアドレスが登録されている場合や、コピーできないデータがある場合にドコモUIMカードにコピーしようとすると表示されます。［はい］を選択すると、1件目の電話番号とメールアドレスがコピーされます。コピーできないデータは削除されます。

[一部コピーできませんでした]
- microSDカード内に、SH-01C以外の端末やパソコンで作成したファイルやフォルダが存在する場合に表示されることがあります。

[一部登録できないデータがあります。登録しますか？]
- コラムリーダーで読み取った文字を電話帳に登録する場合、登録できないデータがあるときに表示されます。［はい］を選択すると、登録されます。

[閲覧可能回数が終了しました。削除しますか？]
- 閲覧可能回数が終了した電子書籍などを表示しようとした場合に表示されます。☞P.394

[閲覧可能期限が切れました。削除しますか？]
- 閲覧期間または閲覧期限が終了した電子書籍などを表示しようとした場合に表示されます。☞P.394

[閲覧可能日前です。閲覧できません]
- 閲覧期間が設定されている電子書籍などを、閲覧可能期間前に表示しようとした場合に表示されます。☞P.394

[エリアメールを受信しました]
- エリアメールを受信するように設定し、エリアメールを受信した場合に表示されることがあります。しばらくすると自動的に受信前の画面に戻ります。☞P.173

[応答がありませんでした（408）]
- サイトやインターネットホームページからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続をお試しください。☞P.178

[同じサービスを利用するソフトがあるため[ダウンロード／バージョンアップ／起動]できません。該当するサービスを削除しますか？]

- 同様のサービスをすでにダウンロード済みの場合、すでに登録されている該当サービスを削除しないと、新しいサービスを[ダウンロード／バージョンアップ／起動]できません。[はい]を選択すると削除対象となるサービスが表示されますので、登録済みのサービスを削除してください。

[おまかせロック中です]

- おまかせロックが設定されている場合に表示されます。☞P.126

[海外でご利用の場合、Bナンバー発信はできません。Aナンバー発信します]

- 海外で2in1利用時に、Bナンバーから発信しようとした場合に表示されます。[発信]を選択するとAナンバーで発信します。[非通知発信]を選択すると発信者番号非通知で発信します。☞P.461

[画像に誤りがあり、正しく動作しません]

- Flash画像に誤りがあります。

[カメラを終了します。しばらくしてからお使いください]

- カメラを長時間連続で使用して、FOMA端末やカメラ周辺部の温度が高くなった場合に表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。

[カメラを正常に起動できません]

- ソフトウェア更新が正常に完了していない可能性がありますので、ドコモ指定の故障取扱窓口にお問い合わせください。

[画面メモがいっぱいです。上書きしますか？]

- 画面メモを登録するメモリの空き容量がない場合に表示されます。
[はい]を選択して上書きする画面メモを選択すると、登録確認の画面に進みます。

[機器登録しました　取得できなかったサービスがあります]

- Bluetooth機器の登録を行った場合、対応しているサービス（プロファイル）が相手機器に見つからなかったときに表示されます。☞P.434

[携帯電話／ドコモUIMカード（FOMAカード）の製造番号を送信します]

- サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。[はい]を選択すると、「携帯電話／ドコモUIMカードの製造番号」が送信されます。送信せずに元の画面に戻るには、[戻る]を選択するか、CLRを押します。☞P.181
- 送信される「携帯電話／ドコモUIMカードの製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。

[圏外です]

- サービスエリア外や電波が届かないところで、電話発信やｉモード通信、各種ネットワークサービスの操作をしようとした場合に表示されます。
[Yıl]が表示されるところまで移動して操作をしてください。☞P.35

[圏外です　送信予約しますか？]

- サービスエリア外や電波が届かないところで、メールを送信しようとした場合に表示されます。[はい]を選択すると、圏内になったときにメールを自動送信することができます。☞P.151

[現在お使いのドコモUIMカード（FOMAカード）がＩＣオーナーではないため[ダウンロード／バージョンアップ／起動]できません。詳細はおサイフケータイメニューのＩＣオーナーをご確認ください]

- 挿入しているドコモUIMカードとFeliCaに対応付けされているドコモUIMカード情報が異なる場合に表示されます。ＩＣオーナーとして登録されているドコモUIMカードを挿入してご利用ください。☞P.314

[このカードは使用できません]
[このカードは認識できません]

- 使用できないドコモUIMカードが差し込まれている可能性がある場合に表示されます。なお、本FOMA端末ではFOMAカード（青色）はご使用になれません。☞P.52
- ドコモUIMカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性がある場合に表示されます。
ドコモUIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.52

[このサイトとのSSL／TLS通信は無効です]

● 書換えられたSSL／TLS証明書を受信した場合に表示されます。このサイトやインターネットホームページとはSSL／TLS通信できません。☞P.181

[このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？]

● FOMA端末では検証できないサーバ証明書を受信した場合に表示されます。
安全性を確認できないことを承知の上で接続する場合は、[はい]を選択します。接続しない場合には、[いいえ]を選択します。☞P.180

[このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？]

● 期限切れまたは有効期間前のSSL／TLSサーバ証明書を受信した場合に表示されます。
安全性を確認できないことを承知の上で接続する場合は、[はい]を選択します。接続しない場合には、[いいえ]を選択します。☞P.181

[この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？]

● 署名の有効期限が切れたサーバ証明書を受信した場合に表示されます。
安全性を確認できないことを承知の上で接続する場合は、[はい]を選択します。接続しない場合には、[いいえ]を選択します。
日付時刻設定を行ってください。☞P.180

[この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？]

● 正しくない情報を持ったSSL／TLSサーバ証明書を受信した場合に表示されます。安全性を確認できないことを承知の上で接続する場合は、[はい]を選択します。接続しない場合には、[いいえ]を選択します。☞P.181

[このソフトは最新です]

● ｉアプリが更新されていないためバージョンアップされません。☞P.306

[このチャンネルは受信できません]

● 放送電波圏外のため受信できません。[圏外アイコン]が表示されるところまで移動してご利用ください。☞P.252

[このチャンネルは放送休止中です]

● 放送休止中のため受信できません。
● 放送電波の受信状況によっては、放送中であっても放送休止中と表示されることがあります。

[このデータは閲覧できません。削除しますか？]

● 日付時刻設定がリセットされたあとで、閲覧期限／閲覧期間のある電子書籍などを表示しようとした場合に表示されます。

[このデータは再生できない可能性があります]

● FOMA端末では再生できない可能性があるｉモーションを取得しようとした場合に表示されます。☞P.342

[このデータは再生できません]

● microSDカード内のうた・ホーダイを再生しようとした場合、対応するミュージック（会員制）サービスのライセンスがないときに表示されます。

[このデータは再生できません。削除しますか？]

● 日付時刻設定がリセットされたあとで、再生期限／再生期間のあるFOMA端末内のｉモーションや着うたフル®を再生しようとした場合に表示されます。
● FOMA端末のうた・ホーダイを再生しようとした場合、対応するミュージック（会員制）サービスのライセンスがないときに表示されます。

[このデータを閲覧するためには日時設定をして下さい]

● 閲覧期限／閲覧期間のある電子書籍などを表示しようとした場合、日付・時刻が正しく設定されていないときに表示されます。

[このデータを再生するためには自動時刻時差補正をONにし時刻情報を取得してください]

● [ｉモード（microSD）]フォルダ内の再生期限／再生期間のある着うたフル®や、再生期限／再生期間のあるWMAファイル、Music&Videoチャネルの時刻連動が設定されている番組を再生しようとした場合、日付・時刻が正しく設定されていないときに表示されます。☞P.61、P.268、P.279
● うた・ホーダイをダウンロードしようとした場合、日付・時刻が正しく設定されていないときに表示されます。☞P.61、P.272

[このデータを再生するためには日時設定をしてください]

● [移行可能コンテンツ]フォルダ内の再生期限／再生期間のあるｉモーションを再生しようとした場合、日付・時刻が正しく設定されていないときに表示されます。

[この番組は録画禁止です]

● 番組が録画禁止の場合に表示されます。

[これ以上接続することは出来ません]

- Bluetooth対応機器とシリアルポートサービスで接続中に、iアプリからBluetooth通信を利用しようとした場合に表示されます。

[これ以上タブを開けません。別のタブを閉じますか？]

- 表示可能なフレーム数を超えた場合やメモリ不足などにより、新タブウィンドウで開くことができないときに表示されます。

[これ以上保護できません]

- Bluetooth機器リストで保護できる最大件数を超えています。保護を解除してください。

[サービス未契約です]

- iモードをご契約されておりません。iモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。☞P.178
- iモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから再度電源を入れ直してください。

[(IP(情報サービス提供者)名)サービス未登録です。再生するにはサービス登録が必要です。サイトに接続しますか？]

- 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新時に、IP(情報サービス提供者)と未契約の場合に表示されます。[はい]を選択するとIP(情報サービス提供者)のサイトに接続されます。☞P.280

[再起動しました。ドコモUIMカード(FOMAカード)の金属部分の汚れは再起動の原因となります。金属部分は定期的な清掃をお勧めします]

- ドコモUIMカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性がある場合に表示されます。
  ドコモUIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.52

[最後まで取得できないデータの可能性があります。取得しますか？]

- 標準タイプのiモーションを取得する場合、ファイルサイズが不明なときに表示されます。☞P.206

[再生可能回数が終了しました。再生できません]
[再生可能回数が終了しました。削除しますか？]

- 再生可能回数が終了したiモーションや着うたフル®、Music&Videoチャネルの番組を再生しようとした場合に表示されます。☞P.207、P.268、P.279

[再生可能期限が切れました。再生できません]
[再生可能期限が切れました。削除しますか？]

- 再生期間または再生期限が終了したiモーションや着うたフル®、Music&Videoチャネルの番組を再生しようとした場合に表示されます。☞P.207、P.268、P.279

[再生可能日前です。再生できません]

- 再生期間が設定されているiモーションや着うたフル®、Music&Videoチャネルの番組を、再生可能期間前に再生しようとした場合に表示されます。☞P.207、P.268、P.279

[(IP(情報サービス提供者)名)再生期限の更新ができませんでした]

- 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新に失敗した場合に表示されます。☞P.280

[再生時間外のため再生できません。次回の番組再生開始時間は、××××年××月××日××時××分です]

- 時刻連動が設定されているMusic&Videoチャネルの番組を、再生可能期間前に再生しようとした場合に表示されます。☞P.268

[再生できません。microSDのメモリがいっぱいです]

- WMAファイルを再生しようとした場合、microSDカードの空き容量が64Kバイト以下のときに表示されます。☞P.273

[最大サイズを超えたので中断しました]

- メロディやダウンロード辞書などをダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。

[最大サイズを超えているため、一部のデータが失われる可能性があります。編集終了しますか？]

- 本文のみのサイズが10000バイトを超えている場合に表示されます。
  [はい]を選択すると、メール作成画面が表示されますが、超過しているデータは削除され、[✉]が表示されます。メールの内容(文字、画像など)によっては、削除されない場合もあります。編集し直す場合は、[いいえ]を選択すると本文入力画面に戻ります。10000バイト以内になるように編集してください。

[最大サイズを超えているためダウンロードできません]

- 着うたフル®やマチキャラなどをダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。

[最大サイズを超えました]

- ｉモードでサイトやインターネットホームページを表示する場合、受信したデータが最大サイズを超えたときに表示されます。[OK]を選択すると、ダウンロードしたところまでのデータを表示します。☞P.178、P.188

[(IP(情報サービス提供者)名)サイトが移動していたため再生期限を更新できませんでした]

- 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新時に、サイトが移動したため接続できず、再生期限の更新に失敗した場合に表示されます。☞P.280

[サイトが移動しました(301)]

- サイトやインターネットホームページが移動したためURLが変更されています。古いURLをBookmarkに登録している場合は新しいURLに更新されます。☞P.189

[サイトが移動しました。移動先に接続しますか？]

- 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新時に、サイトが移動したためURLが変更されている場合に表示されます。[はい]を選択すると移動先に接続されます。☞P.280

[(IP(情報サービス提供者)名)サイトに接続できなかったため再生期限の更新ができませんでした]

- 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新時に、何らかの原因でサイトに接続できず、再生期限の更新に失敗した場合に表示されます。もう一度接続をお試しください。☞P.280

[サイトに接続できませんでした(403)]

- 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。☞P.178

[削除される添付ファイルがあります]

- 転送または引用返信するｉモードメールに、ｉモードメールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付／貼り付けされています。☞P.149
  メッセージが表示されたあと、ファイルが削除された状態でｉモードメール編集画面が表示されます。

[シークレット属性のため、上書きできません]

- シークレットモードが[OFF]の場合に、シークレット属性設定中のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとすると表示されます。☞P.99、P.131

[次回再生時に再生期限の更新あるいはサービス登録をしてください]

- 再生期限の更新有効期間中のうた・ホーダイを再生しようとした場合に表示されます。☞P.280

[時間内に接続できませんでした]

- ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってからサイトやインターネットホームページへの接続やｉモードメール送信などを行ってください。

[実行できませんでした]

- マンガ・ブックリーダーで現在位置の取得やコピー時の開始点の選択失敗のときなどに表示されます。

[指定サイトがみつかりません(404)]

- サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。サイトやインターネットホームページが存在しない可能性があります。

[指定サイトに表示データがありません(204)]

- 接続したサイトやインターネットホームページに表示するデータがない場合に表示されます。

[指定されたソフトがありません]

- ｉモードメール、赤外線通信機能からのｉアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。☞P.304

[指定されたソフトが起動できませんでした]

- サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメール、赤外線通信機能からソフトを起動しようとした場合、指定したソフトが起動できなかったときに表示されます。☞P.304
- 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときに、メール連動型ｉアプリのソフトを起動しようとすると表示されます。☞P.461

[指定したサイトへは接続できませんでした(504)]

- 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。☞P.178

[指定の番組を選局できません]

- 指定したチャンネルが検出できなかった場合や、放送電波圏外のため受信できない場合に表示されます。

[しばらくお待ちください]

- 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。ダイヤルボタンを押すとメッセージが消えます。
- 110番、119番、118番には電話をかけることができます。
  ただし、状況によりつながらない場合があります。

[しばらくお待ちください(パケット)]

- パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。

[重複したアドレスを削除しました]

- ｉモードメール作成時、複数の宛先に同じメールアドレスを入力して送信しようとすると表示され、重複するアドレスを削除します。☞P.140

[祝日データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？]

- 登録した祝日データが壊れているため、起動できません。[はい]を選択して、お買い上げ時の状態に戻してください。

[スケジュールデータと祝日データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？]

- 登録したスケジュールデータと祝日データが壊れているため、起動できません。[はい]を選択して、お買い上げ時の状態に戻してください。

[既に起動されています。実行中の機能を終了し新規起動しますか？]

- すでに起動している機能を選択した場合に表示されます。すでに起動中の機能を終了させて新規に起動するか、起動中の画面に切り替えるかを選択できます。

[既にメッセージをお預かりしています]

- すでにSMSは送信済みです。

[正常に接続できませんでした(400)]

- サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URLが正しいかどうか確認してください。

[セキュリティエラーのため、終了しました]

- ｉアプリが不正な動作をしようとしました。☞P.304
- ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとする場合に表示されます。セキュリティエラーによりソフトが終了した場合、エラー履歴が保存されます。☞P.306

[接続相手が見つかりません。続けますか？]

- 赤外線通信の相手が認識できなかった場合に表示されます。[はい]を選択すると、もう一度やり直すことができます。☞P.385

[接続が中断されました]

- 電波が弱いため、ｉモードが中断されました。
  電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。☞P.35
- 電波が強く[Yıl]が表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトやインターネットホームページが非常に混み合っています。しばらくたってから接続してください。

[接続できません]

- 接続先の設定が正しくない場合に表示されます。
  ｉモード／web設定の共通設定の接続先設定で接続先を正しく設定し直してください。☞P.200
- 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。☞P.178

[接続できませんでした(562)]

- ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所で操作し直してください。

[セルフモード中です]

- セルフモード設定中に、使えない機能の操作をしようとした場合に表示されます。☞P.127

[送信相手が見つかりません]

- ｉＣ通信の相手が認識できなかった場合に表示されます。

[送信できません。宛先を確認してください(451)]

- ｉモードメールやSMSを正常に送信できなかった場合に表示されます。宛先を確認し、修正してから送信してください。

[送信できませんでした]

- ｉモードメールやSMSを正常に送信できなかった場合に表示されますので、電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。
- [送信先のメールがいっぱいです]が合わせて表示される場合は、送信先でメールを受け取ることができないためメールを送信できません。

[ソフトに誤りがあります]
[ソフトに誤りがあるため、ダウンロードできません]

- ｉアプリのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。

[対応機種ではありません]

- ダウンロードしようとしたｉアプリがFOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。

[ダイヤル発信制限中です]

- 電話帳に登録されていない電話番号へ電話をかける場合は、ダイヤル発信制限を解除してください。☞P.129

[ダウンロード済みです]

- 同じバージョンのソフトがすでにダウンロードされています。☞P.305

[ダウンロードできませんでした]
[コンテンツに誤りがあるためダウンロードできません]

- ダウンロードするデータがない場合や、データが正しくない場合に表示されます。ダウンロードすることはできません。
- 正しくない、または未対応の形式であるためダウンロードできません。

[ダウンロードを中止しました]

- ダウンロード中に、ダウンロードを中止する操作を行った場合に表示されます。

[他機能実行中のため起動できませんでした]

- 他の機能が実行されているため、予約時刻にソフトウェア更新を実行できませんでした。即時更新を行うか、別の日時を予約し直してください。☞P.546、P.547

[ただいまカメラを利用できません]

- メインカメラの周辺の温度が高くなっている場合にメインカメラを起動しようとすると表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。
- カメラの撮影画面が表示されている場合に着信などが発生すると、機能制限により表示され、カメラが終了することがあります。この場合、再度カメラを起動すると使用できます。
- 電話帳やメールなどからカメラを起動した直後にFOMA端末を閉じると、FOMA端末を開いた場合に表示されるときがあります。再度カメラを起動してください。

[ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい]

- ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。☞P.178

[端末暗証番号が誤っています]

- 端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えた場合に表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。☞P.122

[端末暗証番号を入力してください]

- 端末暗証番号の入力が必要な機能を利用しようとした場合に表示されます。

[中断しました]

- 赤外線通信やｉＣ通信、Bluetooth通信を中止する操作をした場合に表示されます。☞P.385、P.387、P.433

[著作権管理情報が正しくありません。WMAフォルダから全削除を行ってください]

- WMAファイルを利用していたmicroSDカードを別のFOMA端末に入れ、WMAファイルの再生を行おうとした場合に表示されます。☞P.273

[通信エラーが発生しました]

- 現在地確認、現在地通知、位置提供の測位時に、システムに異常が発生した場合や、ｉモードのサービス未契約の場合に表示されます。

[通信に失敗しました]

- ソフトウェアの更新ができなかった場合に表示されます。
  再度ソフトウェア更新を実施してください。☞P.544

[通話料金が上限を超えました]

● ドコモUIMカード内に設定されている積算通話料金上限値を超えているため発信できない場合に表示されます。積算通話料金リセットを実行すると規制が解除されます。☞P.425

[データベースの更新を行います]

● データBOXのデータベースの復旧処理を行います。
復旧処理を行っても、データBOX内の下記情報などは復旧できない可能性があります。
  ■ 破損されたデータ
  ■ お客様が作成したフォルダ(ユーザフォルダ)
  ただし、フォルダ内のデータは消えずに、移動元のフォルダに残っています。
  ■ 再生制限のあるｉモーション、ミュージックのデータ
  ■ プリインストール以外のPDFデータ
  ■ データBOXに保存されるｉアプリが使用する一部のデータ

[伝言メモ件数がいっぱいのため起動できません。不要なメモを削除してください]

● 音声電話伝言メモとテレビ電話伝言メモが合わせて4件、録音/録画済みです。
不要な伝言メモ・音声メモを削除してからやり直してください。☞P.85

[電池がありません。操作を終了して充電してください]

● 電源が切れそうになると表示されます。充電してください。☞P.55、P.59

[電池残量が少ないため、これ以上録画できません]

● 電池残量が少ない場合にワンセグのビデオ録画を行うと表示されます。

[電池残量が足りません]

● 電池残量が不足しています。カメラモードを起動できません。充電してからお使いください。☞P.55

[電池不足です]
[Battery too low.]
[フル充電してください]
[Please recharge and retry]

● ソフトウェアの更新時、電池残量が少ない場合に表示されます。[▨]になるように充電してください。☞P.55

[添付可能サイズを超えるため、添付できません]

● サイズを超えているため添付できません。
本文を削除するかファイルを添付せずに送信してください。☞P.149

[同時に利用できない機能を使用中です。起動できません。MULTIボタンを押して機能を終了させてください]

● 同時に利用できない機能を使用しています。
使用中の機能を終了させてから操作してください。

[登録件数がいっぱいです。不要な電話帳を削除してから登録してください]

● すでにFOMA端末の電話帳が2000件登録されている場合に、メモリ番号を入力せずに、新たに電話帳を登録しようとしたときに表示されます。☞P.90、P.242、P.243

[登録中です。しばらくしてからご利用ください(554)]

● ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

[登録できるサービスがいっぱいです。上書きされたサービスの楽曲は再生できなくなります。上書きしますか？]

● 登録できるミュージック(会員制)サービスの上限値(50件)を超えている場合に表示されます。[はい]を選択すると、再生期限が最も古いミュージック(会員制)サービスから上書きされます。また、上書きされたミュージック(会員制)サービスからダウンロードしたうた・ホーダイは再生できなくなります。

[ドコモUIMカード(FOMAカード)が異なるため起動できませんでした]

● ドコモUIMカードセキュリティ機能により保護されているｉアプリを自動起動しようとした場合に表示されます。☞P.53

[ドコモUIMカード(FOMAカード)が異なるためご利用できません]

● ドコモUIMカードセキュリティ機能により保護されている画面メモ、メッセージR/F、ｉアプリを選んで起動しようとした場合に表示されます。☞P.53

[ドコモUIMカード(FOMAカード)が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした]
[ドコモUIMカード(FOMAカード)が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした]

- 受信したデータにｉアプリToが設定されていても、ドコモUIMカード未挿入やドコモUIMカードセキュリティ機能により起動できません。☞P.53
- サイトやインターネットホームページ、ｉモードメールから、ｉアプリを指定して起動しようとした場合にドコモUIMカード未挿入やドコモUIMカードセキュリティ機能により起動できません。☞P.53

[ドコモUIMカード(FOMAカード)を挿入してください]
[ドコモUIMカード(FOMAカード)を挿入／再確認してください]

- ドコモUIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.52

[トルカがいっぱいのため、ワンセグからトルカを取得できませんでした]

- トルカを保存するメモリの空き容量がない、またはトルカが最大件数まで保存されているため、放送トルカを保存できなかった場合に表示されます。

[入力値が正しくありません]

- 受信メールの振分け条件設定でドメイン(差出人)を選択した場合、入力したドメインに「@」が含まれているときに表示されます。☞P.167
- エリアメールの受信登録を設定する場合、MessageIDが正しくないときに表示されます。☞P.174

[入力データまたはURLが長すぎます]

- テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信できません。
  文字数を減らしてから送信し直してください。

[入力データをご確認ください(205)]

- サイトやインターネットホームページで入力を行い送信したあとに、サーバがこの内容をリセットしたい場合に表示されます。
  画面上の入力した文字や設定が消去されます(直前に送信した内容はすでに送信されています)。

[認証接続できませんでした]

- 認証パスワードが正しくないため、赤外線通信やｉC通信、Bluetooth通信でのデータの全件送信や全件受信が正確に行えなかった場合に表示されます。[OK]を選択すると、もう一度やり直すことができます。☞P.385

[認証タイプに未対応です(401)]

- 認証できない場合に表示されます。
  元のページに戻ります。

[認証を中止しました]

- サイトやインターネットホームページの認証画面(IDとパスワードの入力画面)で[中止]や[キャンセル]を選択した場合、またはCLRを押した場合に表示されます。

[ネットワーク暗証番号が誤っています]

- ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えた場合に表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。
  ネットワーク暗証番号を万が一お忘れになった場合は、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。☞P.122

[パーソナルデータロック中です]

- パーソナルデータロックが設定されています。
  解除してからやり直してください。☞P.129

[パスワードをご確認ください(401)]

- サイトやインターネットホームページの認証画面(IDとパスワードの入力画面)で認証できない場合に表示されます。

[ファイルが正しくありません]

- ファイル内に、ドキュメントビューアがサポートしていない機能がある場合に表示されます。☞P.392

[ファイルの読み込みができませんでした]

- ドキュメントビューアの起動に失敗した場合に表示されます。☞P.392

[放送圏外のため録画できません]

- 放送電波圏外のため録画できません。[📺]が表示されるところまで移動してご利用ください。☞P.252

[保存中止しました]

● ダウンロード時に保存できなかった場合に表示されます。

[保存データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？]

● データが壊れているため、起動できません。[はい]を選択して、お買い上げ時の状態に戻してください。

[保存領域がいっぱいです。不要なファイルを削除してください]

● FOMA端末のメモリやmicroSDカードの空き容量がないため、ビデオ録画できない場合に表示されます。

[保存領域がいっぱいのため録画を終了しました]

● ワンセグのビデオ録画中にFOMA端末のメモリやmicroSDカードの空き容量がなくなった場合に表示されます。

[本体／ドコモUIMカード(FOMAカード)の容量がいっぱいです。空きがないため、これ以上受信できません]
[本体内の容量がいっぱいです。空きがないため、これ以上受信できません]

● FOMA端末とドコモUIMカードの容量がいっぱいで、新規にSMSを受信できない場合に表示されます。FOMA端末とドコモUIMカード内の未読ｉモードメール／SMSの確認(☞P.155)、保護解除(☞P.164)、不要なｉモードメール／SMSの削除(☞P.165)を行ってください。

[未送信BOXがいっぱいのため、起動できません]

● 未送信BOXの空き容量がない、または未送信メールが500件保存されているために新規メール／SMSを作成できません。
未送信メールを送信または削除してから作成してください。☞P.151、P.165

[未対応画像です。画像編集できません]

● 画像データが正しくないため編集ができません。

[無効なデータが含まれています。一部送信できませんでした]

● お預かりセンターとFOMA端末電話帳の更新時やメールの選択保存時に、ドコモUIMカードセキュリティ機能が設定された画像を削除して送信した場合に表示されます。

[無効なデータを受信しました]
[無効なデータを受信しました(xxx)]

● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。
受信したデータは破棄されます。
● 「xxx」には３桁の数字が表示されます。

[メッセージがいっぱいです]

● 受信BOXの空き容量がない、または未読メールと保護された既読メールが合わせて2500件保存されているため、ｉモードメールを受信できなかった場合に表示されます。

[メモリがいっぱいです。]
[メモリまたは件数がいっぱいです。]
[microSDの保存領域がいっぱいです]

● データのコピー中や移動中、バックアップ中などに、メモリの空き容量がなくなった場合や最大登録(保存)件数を超えた場合に表示されます。また、[これ以上○△□できません]、[○△□できません]、[一部○△□できませんでした]などが合わせて表示されることがあります。不要なデータを削除してから、もう一度操作してください。

[メモリが少なくなっています]

● FOMA端末のメモリまたはmicroSDカードの空き容量が少なくなっている場合に、静止画モード／動画モードを起動したときに表示されます。
● FOMA端末のメモリの空き容量が少なくなっている場合に、カメラ(バーコードリーダー、コラムリーダーを除く)を起動したときに表示されます。
● microSDカードの空き容量が少なくなっている場合に、ボイスレコーダーを起動したときに表示されます。

[メモリが不足しているか保存可能件数を超えました。上書きしますか？]

● データを保存する場合にメモリの空き容量がない、または最大件数まで保存されているときに表示されます。不要なデータやファイルを削除してから保存できます。☞P.382

[メモリが不足しているため、情報の更新ができませんでした]

● メモリが不足しデータの更新ができない場合に表示されます。

[メモリ不足です]

● サイト表示中に表示や操作などの処理に必要なメモリが不足した場合に表示されます。この場合は、[確認]を選択してください。開いていたすべてのタブウィンドウが終了します。

[有効期限が切れています]

● 有効期限が切れているテレビリンクを選択すると表示されます。☞P.262

[容量が不十分です。他の画面メモを上書きしますか？]

● 登録する画面メモの容量が選択した画面メモよりも大きい場合に表示されます。[はい]を選択して上書きする画面メモを選択します。選択した時点で、その画面メモは削除されます。

[読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか？]

● トルカ自動読取チェックを[OFF]に設定している場合に読み取り機で自動読取機能を利用しようとすると表示されます。[はい]を選択するとトルカ自動読取チェックが[ON]に設定され、自動読取機能が利用可能になります。☞P.321

[読み取りパスワードが設定されているため開けません]

● ファイルにパスワードが設定されているためドキュメントビューアの起動に失敗した場合に表示されます。☞P.392

[録音処理に失敗しました]

● microSDカードの空き容量が少ない場合、または1000件を超えて録音しようとした場合に表示され、ボイスレコーダーが終了します。余分なデータを削除して録音し直してください。☞P.388

[録画禁止の番組が開始されたため、録画を終了しました]

● 録画中に録画禁止の番組が開始された場合に表示されます。

[録画処理に失敗しました]

● microSDカードに空き容量がない場合、保存先をmicroSDカードに設定して動画撮影をしようとしたときに表示され、カメラモードが終了します。

[ワークメモリ不足が発生したためアプリケーションを終了します]

● メモリ不足が発生したため、アプリケーションの処理を中断して終了する場合に表示されます。

[ワークメモリ不足です。起動中の機能を終了してください]

● メモリが不足したため、ソフトを起動できません。
● メモリ不足が発生したため、処理を中断します。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。

[“○△□.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信することができません(555)　Unable to send. “○△□.ne.jp”is not available temporarily.]

● ドメイン名は送信先により表示が異なります。
● 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくたってから送信し直してください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。
  必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。
  無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

※ 本FOMA端末は、電話帳やiモーション、iアプリの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本FOMA端末は、ケータイデータお預かりサービス(お申し込みが必要な有料サービス)をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(☞P.482)とFOMA充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)またはFOMA USB接続ケーブル(別売)をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良(ディスプレイ・コネクタなどの破損)による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合(例:水濡れシールが反応している場合)
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合(外部接続端子(イヤホンマイク端子)・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります)

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

● FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
■ 火災・けが・故障の原因となります。
■ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
・ ディスプレイやボタン部にシールなどを貼る
・ 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
・ 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
■ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

● FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
■ 銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

技術基準適合認証品

● 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。
■ お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

● 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

● FOMA端末の下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
■ 使用箇所：スピーカ、受話口部

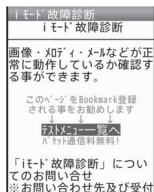
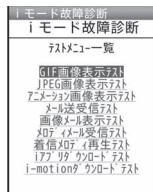
● 本端末は防水／防塵性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

■ メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

● FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。

※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

iモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

TOP画面　　テストメニュー一覧画面

「ｉモード故障診断サイト」への接続方法

ｉモードサイト：[ｉMenu]▶[お知らせ]▶[サポート情報]▶[お問い合わせ]▶[故障・電波状況お問い合わせ先]▶[ｉモード故障診断]

サイト接続用QRコード

- 海外からのアクセスの場合は有料となります。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更されることがあります。
- 各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

FOMA端末を操作する上で重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA端末の機能・操作性を向上させることができます。

- ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内させていただきます。
- 更新方法には、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の３種類があります。

自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。

即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。

予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ご利用にあたって

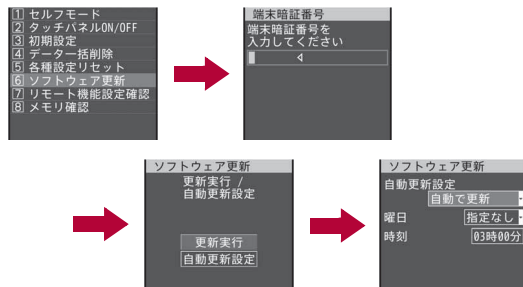
- ｉモード／web設定の共通設定の接続先設定をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ■ セルフモード中　■ 通話中・圏外にいるとき　■ 外部機器と接続中
  - ■ おまかせロック中　■ 国際ローミング中
  - ■ 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - ■ ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ■ アクセスポイントモードでWi-Fiを利用中
  - ■ DLNA対応機器と接続中／接続待機中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用できません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。SSL／TLS証明書を有効にしておく必要があります（お買い上げ時は[有効]に設定されています☞P.202）。

● ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
● すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に[更新は必要ありません　このままご利用ください]と表示されます。
● ソフトウェア更新中に送信されてきた、iモードメールやメッセージR/FはiモードセンターにSMSはSMSセンターに保管されます。
● ソフトウェア更新の再起動時、iモードセンター保管状態表示(☞P.36)のアイコンは消えます。また、メール選択受信設定を[ON]に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。iモードセンターには保管されています。
● ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報(機種や製造番号など)が、自動的にサーバ(当社が管理するソフトウェア更新用サーバ)に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
● ソフトウェア更新に失敗した場合、[書換え失敗しました]と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
● ソフトウェア更新中は、視聴予約アラームは動作しません。また、視聴・録画も開始されません。

ソフトウェア更新を自動で行う<自動更新設定>

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
お買い上げ時は、自動更新設定が[自動で更新]、曜日が[指定なし]、時刻が[03時00分]に設定されています。
書換え可能な状態になると[ ]が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えするかを選択できます。
[ ]が表示された状態で書換え時刻になると、自動で書換えが行われ、[ ]は消去されます。

■ 自動更新日時の設定

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[その他設定]▶[ソフトウェア更新]▶端末暗証番号を入力▶[自動更新設定]

2 各項目を設定▶[📷]

● 自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、待受画面に[ ]または[ ]が表示されます。
● [更新の通知のみ]を選択したときは、新しいソフトウェアはダウンロードされません。ダウンロードして、書換えを行う方法については☞P.546

■ 更新が必要な場合の動作

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、待受画面に[ ]が表示されます。

1 待受画面に[ ]表示▶◉▶[ ]を選ぶ

2 書換え方法を選ぶ

- 設定の確認:[OK]
  - 待受画面に戻ります。設定時刻になると書換えを開始します。
- 設定の変更:[時刻変更]
  - 曜日と時刻を設定します。
- 書換え開始:[今すぐ書換え]

次ページへ続く

- アイコンは、一度確認すると消えます。

ソフトウェア更新を起動する

ソフトウェア更新を起動するには、待受画面で[ ]から行う方法とメニューを選択して行う方法があります。

- 待受画面で[ ]は、次の場合に表示されます。
  - ■ 自動更新設定を[更新の通知のみ]に設定しているときに、ドコモから通知があったとき
  - ■ 予約更新に失敗したり、取り消したとき
  - ■ ソフトウェア更新の中断後、更新が必要なとき

■ アイコンから起動する

1 待受画面に[ ]表示▶◉▶[ ]を選ぶ▶[はい]

- ソフトウェア更新を起動しないとき：[いいえ]

2 端末暗証番号を入力

- 入力した端末暗証番号は、[＊]で表示されます。お買い上げ時は[0000]に設定されています。

3 更新方法を選ぶ

- ソフトウェア更新が必要なときは、[更新が必要です]と表示されます。
- 更新開始：[今すぐ更新]▶P.546「すぐにソフトウェアを更新する」の操作1へ
- 予約して更新：[予約]▶P.547「日時を予約してソフトウェアを更新する」の操作1へ
- 更新しない：[更新しない]▶[はい]▶待受画面へ戻る
- ソフトウェア更新の必要がないときは、[更新は必要ありません　このままご利用ください]と表示されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

■ メニューから起動する

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[その他設定]▶[ソフトウェア更新]

2 端末暗証番号を入力▶[更新実行]

- ソフトウェア更新が必要かどうかのチェックを開始します。
- 以降の操作については☞P.546「アイコンから起動する」の操作3へ

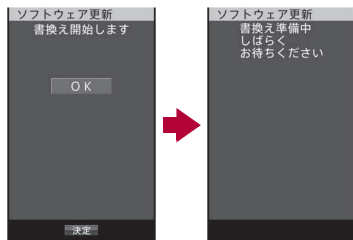
すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>

1 [今すぐ更新]▶[OK]▶ダウンロード開始

- [今すぐ更新]を選択して約5秒経過すると、自動的にダウンロードを開始します。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは削除されます。

- 予約更新のときは[SSL/TLS通信を開始します(認証中)]→[通信中]が表示されます。

2 ダウンロードが終了すると[書換え開始します]が表示▶[OK]

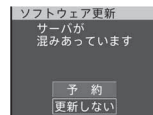
- [書換え開始します]の表示が約5秒経過すると、自動的に書換えを開始します。
- 書換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止したり、電話を受けることもできません。
- 書換えが終了すると、自動的に電源が切れ、すぐに電源が入ります。

3 電源が入ると、自動的にソフトウェア更新が開始

- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止したり、電話を受けることもできません。
- 更新が終了すると、約5秒後に電源が切れ、すぐに電源が入ります。

4 [ソフトウェア更新完了しました]が表示▶[OK]

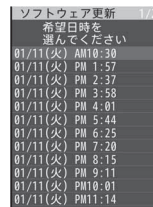
- ソフトウェア更新を終了し、待受画面が表示されます。

■ サーバが混み合っているとき

[サーバが混みあっています]と表示されたときは、[予約]を選んで更新日時を設定してください(☞P.547)。

日時を予約してソフトウェアを更新する<予約更新>

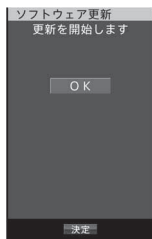
ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合には、ソフトウェア更新を行う日時をあらかじめ設定しておくことができます。

1 [予約]

- 予約候補選択画面が表示されます。
- 日時は、サーバの時刻に合わせて表示されます。

2 希望日時を選ぶ▶[はい]

- [その他の日時]を選んだときは、サーバと通信したあと、ご希望の日、時間帯を選ぶことができます。時間帯を選択する画面には、各時間帯の予約空き状況が[○:空あり]、[△:空わずか]のように表示されます。希望する時間帯を1つ選択すると、再びサーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。ご希望の予約候補を選択します。
- 予約が完了すると、待受画面に[ ]が表示されます。

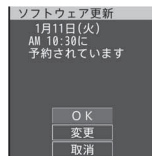
■ 予約した日時になると

ソフトウェア更新
更新を開始します
OK
決定

1 [更新を開始します]が表示▶[OK]

- [更新を開始します]の表示が約5秒経過すると、自動的にソフトウェア更新を開始します。
- ソフトウェア更新の予約日時には、電波の十分届くところで待受画面を表示させておいてください。また、予約した日時にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときは、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した日時にメール送信中、メール受信中、i モード中、i アプリ起動中などの操作を行っていた場合、ソフトウェアは更新されません。操作終了後に待受画面に戻ると、ソフトウェアが更新されます。
- 予約した日時に外部機器接続中、セルフモード中、おまかせロック中、アクセスポイントモードでWi-Fiを利用中、DLNA対応機器と接続中／接続待機中の場合、ソフトウェアは更新されません。
- ソフトウェア更新の予約日時になったときFOMA端末の電源が切れている場合や、予約起動後すぐにFOMA端末の電源を切った場合は、予約は無効となります。
- 予約が完了したあとに「データ一括削除」(☞P.136)を行うと、予約は取り消されます。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

■ 予約した日時を確認・変更・取り消す

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[その他設定]▶[ソフトウェア更新]▶端末暗証番号を入力▶[更新実行]

ソフトウェア更新
1月11日(火)
AM 10:30に
予約されています
OK
変更
取消

2 項目を選ぶ

- 予約の確認：[OK]
- 予約の変更：[変更]▶希望日時を選ぶ▶P.547「日時を予約してソフトウェアを更新する」の操作2へ
- 予約を取り消す：[取消]▶[はい]▶[OK]

■ ソフトウェアの更新を終了する

各画面で[いいえ]を選択した場合や中止した場合は、操作終了の画面が表示されます。
[はい]を選択するとソフトウェア更新を終了してメニュー画面に戻ります。[いいえ]を選択すると前の画面に戻ります。

スキャン機能

有害なデータをチェックする

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど、外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください(☞P.549)。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。

● パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

パターンデータを更新する＜パターンデータ更新＞

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[ロック・セキュリティ]▶[スキャン機能]▶[パターンデータ更新]

2 [はい]▶[はい]

パターンデータを更新しますか？
はい
いいえ

携帯電話情報を送信します
はい
いいえ

- 携帯電話情報を送信しないときは、[いいえ]を選択します。
- ダウンロードが開始されます。
- パターンデータ更新の必要がないときは、[パターンデータは最新です]と表示されます。[OK]を選択して、そのままご利用ください。

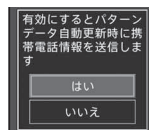
3 パターンデータ更新が完了したら[OK]

● パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報(機種や製造番号など)が自動的にサーバ(当社が管理するスキャン機能用サーバ)に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
● 電波の状態により、ダウンロードが中断される場合があります。

パターンデータを自動的に更新するように設定する＜自動更新設定＞

自動更新設定を[有効]に設定すると、パターンデータがバージョンアップされたときに、自動的に更新されます。
自動更新が成功した場合、待受画面に自動更新を行った旨のメッセージが表示されます。また、FOMA端末の状態によっては自動更新が行われないことがあります。その場合は、パターンデータのバージョンアップがあった旨のメッセージが表示されます。

1 ノーマルメニューで[本体設定]▶[ロック・セキュリティ]▶[スキャン機能]▶[自動更新設定]

有効にするとパターンデータ自動更新時に携帯電話情報を送信します
はい
いいえ

2 [有効]▶[はい]▶[はい]▶[OK]

● 自動更新設定の有効／無効の情報はネットワークで保持しています。そのため、設定の際、FOMA端末では常に[有効]が選択された状態になっています。
● 自動更新設定の際、お客様のFOMA端末固有の情報(機種や製造番号など)が自動的にサーバ(当社が管理するスキャン機能用サーバ)に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
● 電波の状態により、自動更新設定が中断される場合があります。

スキャン機能を設定する＜スキャン機能設定＞

スキャン機能を[有効]に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。
SMSにスキャン機能を実行するかどうかを設定することもできます。

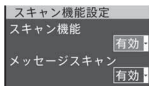
● メッセージスキャンの設定は、スキャン機能が[有効]に設定されている場合に設定できます。
● スキャン機能が[無効]の場合、メッセージスキャンは現在の設定にかかわらず[無効]となります。

次ページへ続く

1 **ノーマルメニューで[本体設定]▶[ロック・セキュリティ]▶[スキャン機能]▶[スキャン機能設定]**

スキャン機能設定
スキャン機能
有効
メッセージスキャン
有効

2 **各項目を設定▶📷▶[はい]**

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ スキャン機能:スキャン機能を有効にするかどうかを設定できます。
    - ・スキャン機能を[有効]に設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます(☞P.550)。
  - ■ メッセージスキャン:メッセージスキャンを有効にするかどうかを設定できます。

スキャン結果の表示について

障害を引き起こす可能性を含むデータがあった場合は、警告画面が表示されます。

■ スキャンされた問題要素の表示について

- 警告画面で[詳細]を選択すると、問題要素名が表示されます。パターンデータの内容によって問題要素名がない場合、[詳細]は表示されません。
- 問題要素名は最大5個まで表示されます。6個以上検出した場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。また、同じ問題要素を複数検出した場合は、1個のみ表示されます。

問題要素一覧
BehaviorLv4
BehaviorLv3
BehaviorLv2
BehaviorLv1
BehaviorLv0
以下省略、総数6
OK

■ スキャン結果の表示について

警告レベル	画面	説明
警告レベル0	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります［OK］［詳細］	表示／起動／発信できます。以前に問題があったが、現在は問題が起こらない場合に表示されます。 [OK]:表示／起動／発信
警告レベル1	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？［はい］［いいえ］［詳細］	[いいえ]:表示／起動／発信 [はい]:動作の中止
警告レベル2	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します［OK］［詳細］	表示／起動／発信できません。 [OK]:終了
警告レベル3	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？［はい］［いいえ］［詳細］	表示／起動／発信できません。 [はい]:データ削除 [いいえ]:データを削除しないで終了
警告レベル4	問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します［OK］［詳細］	表示／起動／発信できません。 [OK]:データ削除

- パターンデータの内容によっては、前記以外の警告画面が表示されることがあります。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

1 **ノーマルメニューで[本体設定]▶[ロック・セキュリティ]▶[スキャン機能]▶[バージョン表示]**

主な仕様

■ 本体

品名			SH-01C
サイズ			高さ約112mm×幅約50mm×厚さ約16.9mm(最厚部:約21mm)(折りたたみ時)
質量			約138g(電池パック装着時)
連続通話時間※1※2	FOMA/3G		音声電話時:約220分
			テレビ電話時:約110分
	GSM		音声電話時:約200分
連続待受時間※2※3	FOMA/3G	3G/GSM切替:3G	移動時:約330時間※4
		3G/GSM切替:自動	移動時:約310時間※4
			静止時:約460時間※5
	GSM	3G/GSM切替:自動	静止時:約250時間※5
ワンセグ視聴時間			約290分
充電時間			ACアダプタ:約120分
			DCアダプタ:約120分

ディスプレイ	方式	メインディスプレイ:NEWモバイルASV液晶　16,777,216色 サブディスプレイ:有機EL　1色
	サイズ	メインディスプレイ:約3.4inch サブディスプレイ:約1.4inch
	画素数	メインディスプレイ:409,920画素(480×854ドット) サブディスプレイ:12,288画素(192×64ドット)
撮像素子	種類	メインカメラ:CCD※6 サブカメラ:CMOS※6
	サイズ	メインカメラ:1/2.3inch サブカメラ:1/8.2inch
カメラ部	有効画素数	メインカメラ:約1410万画素 サブカメラ:約43万画素
	記録画素数(最大時)	メインカメラ:約1400万画素 サブカメラ:約41万画素
	ズーム(デジタル)	メインカメラ:最大約27.0倍 サブカメラ:最大約5.4倍
ピクチャーライト光源LED特性		a) 連続発光 b) 波長 白:400-700nm c) 最大出力 白:1.4mW(本体内部4.3mW)
記録部	静止画記録枚数	約1500枚※7※8
		約60000枚(microSDカード(2Gバイト)保存時)※7
	静止画連続撮影	14M:3枚/10M:3枚/5M:3枚/3M:3枚/フルHD:6枚/待受:8枚/VGA:10枚/QVGA:40枚/QCIF:40枚
	静止画ファイル形式	JPEG

次ページへ続く

記録部	動画録画時間	1件あたり約26分※9
		1件あたり約60分(microSDカード(2Gバイト)保存時)※9
	動画ファイル形式	MP4
音楽再生	連続再生時間	iモーション:約410分※10
		着うたフル®(バックグラウンド再生対応):約3300分※10
		WMAファイル(バックグラウンド再生対応):約2510分※11
		Music&Videoチャネル(音声)(バックグラウンド再生対応):約1010分
		Music&Videoチャネル(動画):約410分
保存容量	着うた®	約152Mバイト※12
	着うたフル®	
無線LAN		IEEE 802.11b/g/n(2.4GHz)準拠

※1 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
※2 データ通信やマルチアクセス実行時およびカメラ起動時も、前述の通話時間や待受時間より短くなります。
※3 連続待受時間とは、FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより、通話・待受時間は半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくても、ワンセグの視聴、iモードメールの作成、Bluetooth機能、ダウンロードしたiアプリ、iアプリ待受画面を起動させると通話(通信)・待受時間は短くなります。
※4 FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」、「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
※5 FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
※6 CCD(charge coupled device:電荷結合素子)およびCMOS(complementary metal-oxide semiconductor:相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムに当たる部分を構成する撮像素子です。
※7 画像サイズ:QVGA(240×320ドット)/画質:ノーマル/ファイルサイズ:25Kバイト
※8 お買い上げ時に登録されているデータ(削除可能なデータ)を削除していない場合の撮影枚数です。
※9 画像サイズ:QCIF(176×144ドット)/画質:ノーマル/ファイルサイズ制限:制限なし/種別:映像+音声
※10 ファイル形式:AAC形式
※11 ファイル形式:WMA形式
※12 静止画、動画、ミュージック、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、iアプリ、電子書籍/電子辞書/電子コミック、Music&Videoチャネル、ビデオ、トルカを保存している場合には、着うた®/着うたフル®の保存容量は少なくなります。

■ 電池パック

品名	電池パック SH23
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.7 V
公称容量	800 mAh

撮影/保存できる目安

撮影枚数/撮影時間は、FOMA端末、2GバイトのmicroSDカードに保存したときの目安です。FOMA端末、2GバイトのmicroSDカードに他の画像やiアプリのソフトなどが保存されているとき、撮影できる枚数や時間は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる枚数や時間が少なくなることがあります。

- 静止画および動画の撮影サイズの設定方法については☞P.228

■ 静止画の撮影枚数

FOMA端末

	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
14M:3240×4320	約130枚	約55枚	約30枚
10M:2736×3648	約150枚	約75枚	約45枚
5M:1944×2592	約300枚	約150枚	約80枚
3M:1536×2048	約300枚	約200枚	約100枚
フルHD:1080×1920	約520枚	約330枚	約200枚

	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
待受：480×854	約1500枚	約1500枚	約770枚
VGA：480×640	約1500枚	約1500枚	約970枚
QVGA：240×320	約1500枚	約1500枚	約1500枚
QCIF：176×144	約1500枚	約1500枚	約1500枚

2Gバイトのmicro SDカード

	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
14M：3240×4320	約1500枚	約710枚	約380枚
10M：2736×3648	約1900枚	約950枚	約570枚
5M：1944×2592	約3700枚	約1900枚	約1000枚
3M：1536×2048	約3700枚	約2400枚	約1300枚
フルHD：1080×1920	約6000枚	約4000枚	約2500枚
待受：480×854	約30000枚	約15000枚	約8600枚
VGA：480×640	約30000枚	約20000枚	約12000枚
QVGA：240×320	約60000枚	約30000枚	約20000枚
QCIF：176×144	約60000枚	約60000枚	約30000枚

■ 動画の撮影時間

FOMA端末の1回あたりの連続撮影時間

			エコノミー	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
フルHD：1920×1080	制限なし	映像＋音声	ー	ー	約13秒	約9秒
		映像のみ	ー	ー	約13秒	約9秒
		音声のみ	約40分			
HD：1280×720	制限なし	映像＋音声	ー	ー	ー	約13秒
		映像のみ	ー	ー	ー	約13秒
		音声のみ	約40分			
FWVGA：864×480	制限なし	映像＋音声	ー	ー	ー	約26秒
		映像のみ	ー	ー	ー	約27秒
		音声のみ	約40分			
VGA：640×480	制限なし	映像＋音声	ー	ー	ー	約26秒
		映像のみ	ー	ー	ー	約27秒
		音声のみ	約40分			
QVGA：320×240	メール用(短)	映像＋音声	ー	ー	ー	約10秒
		映像のみ	ー	ー	ー	約10秒
		音声のみ	約119秒			
	メール用(長)	映像＋音声	ー	ー	ー	約41秒
		映像のみ	ー	ー	ー	約42秒
		音声のみ	約488秒			
	制限なし	映像＋音声	ー	ー	ー	約206秒
		映像のみ	ー	ー	ー	約212秒
		音声のみ	約40分			
QCIF：176×144	メール用(短)	映像＋音声	約134秒	約78秒	約28秒	約19秒
		映像のみ	約176秒	約91秒	約31秒	約20秒
		音声のみ	約119秒			
	メール用(長)	映像＋音声	約552秒	約323秒	約117秒	約79秒
		映像のみ	約12分	約375秒	約129秒	約85秒
		音声のみ	約488秒			
	制限なし	映像＋音声	約46分	約26分	約588秒	約399秒
		映像のみ	約60分	約31分	約10分	約425秒
		音声のみ	約40分			

FOMA端末の合計撮影時間

			エコノミー	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
フルHD：1920×1080	制限なし	映像＋音声	ー	ー	約206秒	約138秒
		映像のみ	ー	ー	約207秒	約138秒
		音声のみ	約619分			

次ページへ続く

			エコノミー	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
HD:1280×720	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約206秒
		映像のみ	－	－	－	約207秒
		音声のみ	約619分			
FWVGA:864×480	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約410秒
		映像のみ	－	－	－	約415秒
		音声のみ	約619分			
VGA:640×480	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約410秒
		映像のみ	－	－	－	約415秒
		音声のみ	約619分			
QVGA:320×240	メール用(短)	映像＋音声	－	－	－	約33分
		映像のみ	－	－	－	約33分
		音声のみ	約396分			
	メール用(長)	映像＋音声	－	－	－	約51分
		映像のみ	－	－	－	約53分
		音声のみ	約618分			
	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約52分
		映像のみ	－	－	－	約53分
		音声のみ	約619分			
QCIF:176×144	メール用(短)	映像＋音声	約446分	約260分	約93分	約63分
		映像のみ	約586分	約303分	約103分	約66分
		音声のみ	約396分			
	メール用(長)	映像＋音声	約699分	約409分	約148分	約100分
		映像のみ	約915分	約475分	約163分	約107分
		音声のみ	約618分			
	制限なし	映像＋音声	約699分	約409分	約149分	約101分
		映像のみ	約917分	約475分	約163分	約107分
		音声のみ	約619分			

2GバイトのmicroSDカードの1回あたりの連続撮影時間

			エコノミー	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
フルHD:1920×1080	制限なし	映像＋音声	－	－	約42分	約30分
		映像のみ	－	－	約42分	約30分
		音声のみ	約360分			
HD:1280×720	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約42分
		映像のみ	－	－	－	約42分
		音声のみ	約360分			
FWVGA:864×480	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約60分
		映像のみ	－	－	－	約60分
		音声のみ	約360分			
VGA:640×480	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約60分
		映像のみ	－	－	－	約60分
		音声のみ	約360分			
QVGA:320×240	メール用(短)	映像＋音声	－	－	－	約10秒
		映像のみ	－	－	－	約10秒
		音声のみ	約119秒			
	メール用(長)	映像＋音声	－	－	－	約41秒
		映像のみ	－	－	－	約42秒
		音声のみ	約488秒			
	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約60分
		映像のみ	－	－	－	約60分
		音声のみ	約360分			

			エコノミー	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
QCIF：176×144	メール用（短）	映像＋音声	約134秒	約78秒	約28秒	約19秒
		映像のみ	約176秒	約91秒	約31秒	約20秒
		音声のみ	約119秒			
	メール用（長）	映像＋音声	約552秒	約323秒	約117秒	約79秒
		映像のみ	約12分	約375秒	約129秒	約85秒
		音声のみ	約488秒			
	制限なし	映像＋音声	約60分	約60分	約60分	約60分
		映像のみ	約60分	約60分	約60分	約60分
		音声のみ	約360分			

2GバイトのmicroSDカードの合計撮影時間

			エコノミー	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
フルHD：1920×1080	制限なし	映像＋音声	－	－	約42分	約30分
		映像のみ	－	－	約42分	約30分
		音声のみ	約7690分			
HD：1280×720	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約42分
		映像のみ	－	－	－	約42分
		音声のみ	約7690分			
FWVGA：864×480	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約84分
		映像のみ	－	－	－	約85分
		音声のみ	約7690分			
VGA：640×480	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約84分
		映像のみ	－	－	－	約85分
		音声のみ	約7690分			

			エコノミー	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
QVGA：320×240	メール用（短）	映像＋音声	－	－	－	約641分
		映像のみ	－	－	－	約641分
		音声のみ	約7630分			
	メール用（長）	映像＋音声	－	－	－	約642分
		映像のみ	－	－	－	約658分
		音声のみ	約7640分			
	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約648分
		映像のみ	－	－	－	約669分
		音声のみ	約7690分			
QCIF：176×144	メール用（短）	映像＋音声	約8590分	約5000分	約1790分	約1210分
		映像のみ	約11200分	約5830分	約1980分	約1280分
		音声のみ	約7630分			
	メール用（長）	映像＋音声	約8640分	約5000分	約1830分	約1230分
		映像のみ	約11300分	約5870分	約2020分	約1330分
		音声のみ	約7640分			
	制限なし	映像＋音声	約8680分	約5080分	約1850分	約1250分
		映像のみ	約11300分	約5900分	約2030分	約1330分
		音声のみ	約7690分			

ボイスレコーダーの録音時間

	保存件数	録音時間
microSDカード（2Gバイト）※	最大1000件	最長約128時間

※ 1回あたりの録音時間は約360分までです。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種別			保存・登録可能件数	保護可能件数
電話帳			2000※1※2	−
ワンセグ	テレビリンク		50	−
	視聴予約／録画予約		100※3	−
チャンネルリスト			10	−
Music&Videoチャネルの番組			22※2	−
ミュージック	着うたフル®		50※2	−
	うた文字		100※2	−
	プレイリスト		10	−
スケジュール	スケジュール		2600※2※4	−
	休日		30	−
	祝日		5※5	−
メモ			2600※6	−
メール(SMSとｉモードメールの合計)	受信メール		2500※2※7※8	2500
		ユーザフォルダ	20	−
	送信メール		500※2※7	500
		ユーザフォルダ	20	−
	未送信メール		500※2	500
		ユーザフォルダ	20	−
エリアメール			30	−
デコメ®テンプレート	デコメール®		100※8	−
	デコメアニメ®		100※8	−
デコメ®アイテム	変換パターン		10	−
	フォント		5	−
メッセージ	メッセージR		50※2	25
	メッセージF		50※2	25

種別		保存・登録可能件数	保護可能件数
Bookmark		200	−
	Bookmarkフォルダ	20※9	−
画面メモ		400※2	400
ダウンロード辞書		10※10	−
ｉアプリ		100※2※8	−
	メール連動型ｉアプリ	5	−
	ユーザフォルダ	19	−
画像		3000※2※8※11	−
	ユーザフォルダ	20	−
動画／ｉモーション		200※2※8	−
	ユーザフォルダ	20	−
きせかえツール		50※2※8	−
	ユーザフォルダ	20	−
マチキャラ		50※2※8	−
	ユーザフォルダ	20	−
キャラ電		50※2※8	−
	ユーザフォルダ	20	−
メロディ		500※2	−
	ユーザフォルダ	20	−
PDFデータ		100※2※8	−
	ユーザフォルダ	20	−
Word、Excel、PowerPoint		100	−
トルカ		200※2	−
	ユーザフォルダ	20	−
電子書籍／電子辞書／電子コミック		1000※2※8	−
	フォルダ	400※9	−
ワンセグのビデオ		99※2	−
フォント(TTF)		3	−

※1　50件までドコモUIMカードに保存できます。

※2 メモリの使用状況によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります（☞P.382）。
※3 視聴予約と録画予約を合わせた件数です。
※4 視聴予約、録画予約、メモも含みます。
※5 あらかじめ登録されている国民の祝日とは別に登録できます。
※6 スケジュールも含みます。
※7 SMSの場合はさらに受信メールと送信メールを合わせて20件までドコモUIMカードに保存できます（☞P.176）。
※8 お買い上げ時に登録されている削除可能なデータも含みます。
※9 お買い上げ時に登録されているフォルダも含みます。
※10 使用辞書には5件まで設定できます。
※11 ワンセグで録画した静止画も含みます。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種SH-01Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.285W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※2）。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
シャープ株式会社のホームページ
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された局所吸収指針委員会にて審議している段階です（平成22年10月現在）。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 1.23 W/kg※.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

CE 0168 ⓘ

In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi. If you intend to use Wi-Fi on the handset abroad, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SH-01C is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.298 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.503 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID APYHRO00129.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

Wi-Fiとは

無線LAN標準規格のIEEE 802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が実施している認証テストで、この認証テストにパスした製品のみ「Wi-Fi Certified™」という認定が与えられ、Wi-Fiロゴがついた製品との相互接続が保証されます。

■ 認証取得内容

IEEE Standard※1

■ IEEE 802.11b
■ IEEE 802.11g
■ IEEE 802.11n

b g Wi Fi n CERTIFIED®

Security※2

■ WPA™ - Personal
■ WPA2™ - Personal

Special Features

■ Wi-Fi Protected Setup™※3

Wi-Fi PROTECTED SETUP®

※1 無線LAN規格IEEE 802.11に基づいたWi-Fi認証のベースとなる規格です。
※2 IEEE 802.11iに基づきWi-Fi Alliance®が策定した無線LANの暗号化方式の規格です。
- WPA™
  Wi-Fi Protected Accessの略で、相互運用可能なセキュリティ拡張の標準化仕様です。
  暗号化方式はTemporal Key Integrity Protocol(TKIP)を使用します。
- WPA2™
  IEEE 802.11i規格に準拠し、WPA™認証をさらに強化しており、下位互換性があります。
  暗号化方式はAdvanced Encryption Standard(AES)を使用し、現在Wi-Fi認証ではWPA2™認証は必須となっています。

次ページへ続く

WPA™、WPA2™のPersonalでは事前共有キー(WPA/WPA2-PSK)で認証を行います。

※3 WPS機能で、無線LANの接続設定内容(SSIDや認証方式、暗号キーなど)をプッシュボタン方式、PINコード入力方式で設定できる機能を有しています。

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。
  また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」、「mova」、「おサイフケータイ」、「トルカ」、「mopera」、「mopera U」、「FirstPass」、「キャラ電」、「デコメール®」、「デコメ®」、「デコメアニメ®」、「デコメ絵文字®」、「着モーション」、「iモーションメール」、「iアプリ」、「iアプリタッチ」、「iアプリDX」、「iモーション」、「iモード」、「iチャネル」、「iD」、「DCMX」、「WORLD WING」、「公共モード」、「DoPa」、「WORLD CALL」、「デュアルネットワーク」、「ビジュアルネット」、「セキュリティスキャン」、「sigmarion」、「メッセージF」、「マルチナンバー」、「おまかせロック」、「ケータイデータお預かりサービス」、「着もじ」、「iCお引っこしサービス」、「きせかえツール」、「ケータイお探しサービス」、「OFFICEED」、「IMCS」、「iエリア」、「2in1」、「うた・ホーダイ」、「Music&Videoチャネル」、「メロディコール」、「エリアメール」、「直感ゲーム」、「イマドコサーチ」、「イマドコかんたんサーチ」、「マチキャラ」、「iコンシェル」、「iウィジェット」、「iアプリコール」、「iスケジュール」、「docomo PRIME series」、「ドコモwebメール」、「i Bodymo」、「かんたんデコメ」、「spモードメール」、「i-mode」ロゴ、「i-αppli」ロゴ、「iC」ロゴ、「DCMX」ロゴ、「iD」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 本機には、Symbian Foundation Limitedよりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。
  SymbianはSymbian Foundation Limitedの登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- マルチタスク/Multitaskは、日本電気株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、PowerPoint®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

付録/困ったときには

- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2010 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- 「AXISフォント」は株式会社アクシスの登録商標です。
また、「AXIS」フォントはタイププロジェクト株式会社が制作したフォントです。
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび LC® は、シャープ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. またはその関係会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Google, モバイルGoogle マップは、Google, Inc.の登録商標です。
- OBEX™、IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- 「CROSS YOU」は、ソニー株式会社の商標です。
- 「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- 「いっしょにデコ」は、ソニー株式会社の商標です。
- 「ｉアバター」は、株式会社ディーツーコミュニケーションズの登録商標です。
- 「アバターメーカー」は、株式会社アクロディアの登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルＤ記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- FlashFX® Pro™は、米国Datalight, Inc.の商標または登録商標です。
（U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156）
- PhotoSolid®、PhotoScouter®、ImageSurf®、StroboPhoto®、TrackSolid®、MovieSolid®、Morpho Smart Select™、Morpho Motion Sensor™は株式会社モルフォの商標または登録商標です。
- 本製品には株式会社モルフォのMorpho Effect Library [PRETTY]を採用しております。
Morpho Effect Library [PRETTY]は株式会社モルフォの商標です。
- AOSS™及び、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WMM®、Wi-FiロゴおよびWi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標です。
- DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Alliance の商標です。
DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。
- 本製品は沖電気工業株式会社の顔認識エンジンFSE（Face Sensing Engine）を使用しています。
FSEおよびFSEロゴは沖電気工業株式会社の商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2010 All Rights Reserved.
- SNSF © J-DATA Co., Ltd. © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2004-2009 All Rights Reserved.
- HDMI、HDMIロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- 「らくらく瞬漢ルーペ®」及び「ラクラク瞬英ルーペ®」は株式会社アイエスピーの登録商標です。
- Myきせかえクリエイターは、プライムワークス株式会社の商標です。
- 「ベールビュー」、「VeilView」、「笑顔フォーカスシャッター」、「振り向きシャッター」、「チェイスフォーカス」、「スマートリサイズズーム」、「AQUOS SHOT」、「ショットメモ」、「モーションデコ」、「ショットデコ」、「ベストセレクトフォト」、「プリティアレンジカメラ」、「ロングタッチメニュー」、「クイック設定」、「待受タッチランチャ」、「クイック壁紙セッティング」、「フォトリモ」、「フォトリモ@ナビ」、「プレゼンアシスト」、「ピクチャテーブル」、「トリプルくっきりトーク」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
  - ■ MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
  - ■ 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
  - ■ ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。

  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
  - ■ タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
  - ■ 永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

  追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（ｉ）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ｉｉ）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（ｉ）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ｉｉ）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite®および Adobe Reader® Mobileテクノロジーを搭載しています。

  Powered by ADOBE® FLASH®

  Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash Lite はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

● 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewer、NetFront Sync Client、NetFront Browser DTV Profile One-seg Editionを搭載しています。
ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

本製品の一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

ACCESS™ NetFront®

● 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。

● 本製品のBluetoothソフトウェア・スタックは、株式会社東芝が開発し、著作権を有するToshiba Embedded Bluetooth Stack for Symbianを搭載しております。
● コンテンツ所有者は、WMDRM(Windows Media digital rights management)技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護コンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、保護コンテンツを再生またはコピーするために必要なソフトウェアのWMDRM機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツが影響を受けることはありません。保護コンテンツを利用するためにライセンスをダウンロードする場合、Microsoftがライセンスに無効化リストを含める場合がありますのであらかじめご了承ください。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、WMDRMのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
● 「CP8 PATENT」
● 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  ■ Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
  ■ Windows Vistaは、Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
  ■ Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
● Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
● 本製品内蔵のネット辞典ではBSDライセンスを使用しています。

  ・ Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
  ・ Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
  ・ Neither the name of the <ORGANIZATION> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

次ページへ続く

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

● 本製品に搭載しているHMM音声合成エンジンは、修正BSDライセンスを使用しています。

The HMM-Based Speech Synthesis System (HTS)
hts_engine API developed by HTS Working Group
http://hts-engine.sourceforge.net/
Copyright ©
2001-2010 Nagoya Institute of Technology, Department of Computer Science
2001-2008 Tokyo Institute of Technology, Interdisciplinary Graduate School of Science and Engineering
All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the HTS working group nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

索引

本索引は、機能名や記載内容を要約した用語を「50音」、「英数字」の順に収録しています。

- サブメニュー操作（☞P.45）については、P.575「画面別サブメニュー一覧」をご利用ください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

画面別サブメニュー一覧

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申し込み、各種資料請求をオンライン上で承っております。

ｉモードから	ｉMenu ▶ お客様サポート ▶ お申込・お手続き ▶ 各種お申込・お手続き パケット通信料無料
パソコンから	My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種お申込・お手続き

※ ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※ 「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気を付けましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード（☞P.105）／オリジナルマナーモード（☞P.105）
キー確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消し、伝言メモが起動します（マナーモード）。マナーモード設定時に、自動的に設定される機能（バイブレータ、キー確認音、開閉操作音、電池アラーム音、アラーム音、スケジュール音、ｉアプリ音、マイク感度UP、伝言メモのON（設定）／OFF（解除）、電話着信音量、メール着信音量、ｉコンシェル着信音量、メロディ音量、GPS測位動作音量）を設定することもできます（オリジナルマナーモード）。

● 公共モード（ドライブモード／電源OFF）（☞P.81）
電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、通話を終了します。

● バイブレータ（☞P.104）
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

● 伝言メモ（☞P.82）
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※ その他にも、留守番電話サービス（☞P.454）、転送でんわサービス（☞P.456）などのオプションサービスが利用できます。

総合お問い合わせ先<ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151（無料）

※ 一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113（無料）

※ 一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

iモードサイト　iMenu▶お客様サポート▶ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて <ドコモ インフォメーションセンター>（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SH-01Cからご利用の場合は、＋81-3-6832-6600でつながります。
（「＋」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について <ネットワークオペレーションセンター>（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6718-1414*（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SH-01Cからご利用の場合は、＋81-3-6718-1414でつながります。
（「＋」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8005931-8600*

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　シャープ株式会社

Li-ion00

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

PRINTED WITH SOY INK
大豆油インキを使用しています。

再生紙を使用しています

'10.11（1.5版）
TINSJA745AFZZ
10L 20.0 DS SM580①